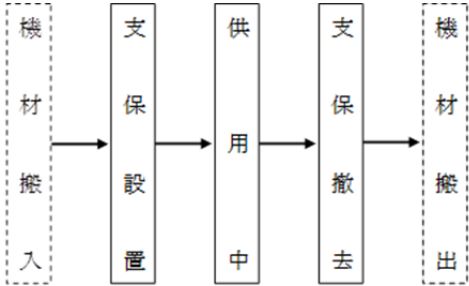
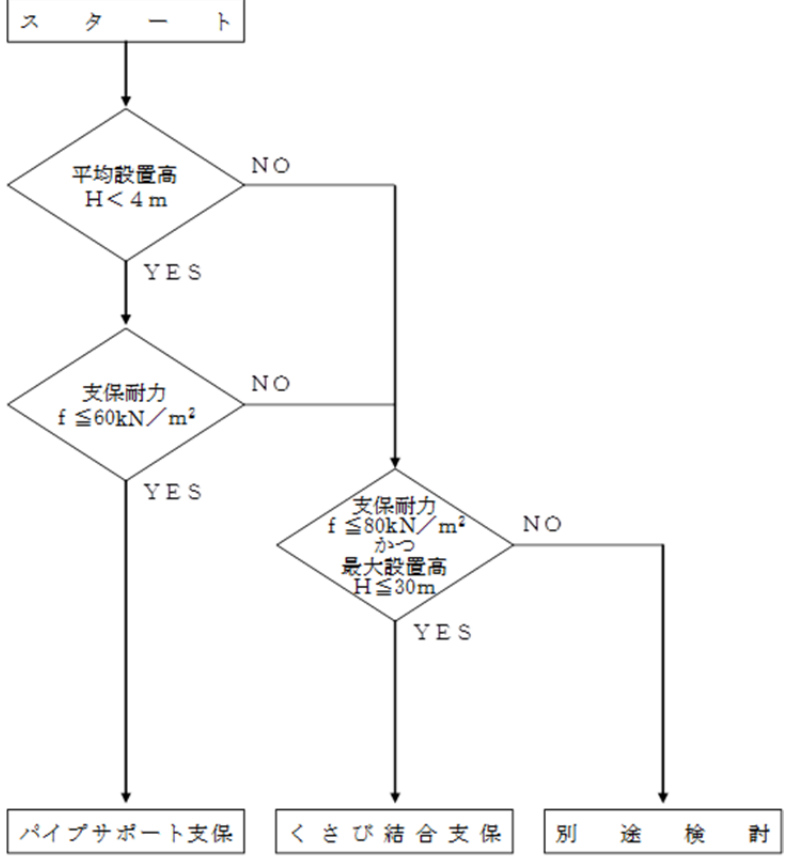


土木工事標準歩掛の一部改定
支保工

工種名	現 行	改 定
仮設工 支保工	<p>⑥ 支保工</p> <p>1. 適用範囲</p> <p>本資料は、一般土木工事の構造物施工にかかる平均設置高 30m以下の支保工に適用する。</p> <p>ただし、鋼橋床版、砂防、ダム、トンネル等で標準歩掛が設定されている工種には適用しない。</p> <p>なお、橋台・橋脚、擁壁、函渠、共同溝等の構造物については、別途資料による。</p> <p>2. 施工概要</p> <p>(1) 施工フロー</p> <p>施工フローは、下記を標準とする。</p>  <p>(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。</p>	<p>現行のとおり</p>

土木工事標準歩掛の一部改定
支保工

工種名	現 行	改 定
	<p>(2) 工法の選定</p> <p>工法の選定は、図2-1による。</p>  <pre> graph TD Start[スタート] --> D1{平均設置高 H < 4 m} D1 -- YES --> D2{支保耐力 f ≤ 60kN/m²} D1 -- NO --> D3{支保耐力 f ≤ 80kN/m² かつ 最大設置高 H ≤ 30 m} D2 -- YES --> A1[パイプサポート支保] D2 -- NO --> D3 D3 -- YES --> A2[くさび結合支保] D3 -- NO --> A3[別途検討] </pre> <p>図2-1 工法の選定</p>	<p>現行のとおり</p>

土木工事標準歩掛の一部改定
支保工

工種名	現 行						改 定																																																																																																																								
<p>3. 施工歩掛</p> <p>支保材の設置・撤去歩掛は、次表とする。</p> <p>表 3.1 支保材設置・撤去歩掛 (100 空m3 当り)</p> <table border="1" data-bbox="255 363 1115 679"> <thead> <tr> <th rowspan="3">名 称</th> <th rowspan="3">規 格</th> <th rowspan="3">単位</th> <th colspan="4">支保耐力 f (kN/m²)</th> </tr> <tr> <th colspan="2">パイプサポート支保</th> <th colspan="2">くさび結合支保</th> </tr> <tr> <th>f ≤ 40</th> <th>40 < f ≤ 60</th> <th>f ≤ 40</th> <th>40 < f ≤ 80</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンクリート厚 (t) (参考)</td> <td>cm</td> <td>t ≤ 120</td> <td>120 < t ≤ 190</td> <td>t ≤ 120</td> <td>120 < t ≤ 250</td> </tr> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>2.6</td> <td>4.2</td> <td>1.4</td> <td>2.1</td> </tr> <tr> <td>型 枠 工</td> <td></td> <td>"</td> <td>4.7</td> <td>8.7</td> <td>1.3</td> <td>2.7</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>"</td> <td>2.2</td> <td>2.4</td> <td>3.3</td> <td>4.2</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>"</td> <td>5.1</td> <td>11.1</td> <td>3.3</td> <td>6.0</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン 運 転</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型20 t 吊</td> <td>日</td> <td colspan="2">—</td> <td>0.5</td> <td>1.2</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td colspan="2">15</td> <td colspan="2">33</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 諸雑費は、仮設材等の費用であり、労務費及び賃料の合計に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <ul style="list-style-type: none"> パイプサポート支保における仮設材内訳は、パイプサポート、型枠受台、根がらみ、水平つなぎ、根がらみクランプ、直交クランプ、頭つなぎ等である。 くさび結合支保における仮設材内訳は、ジャッキベース、大引受ジャッキ、建地材、つなぎ材、斜材等である。 <p>2. 参考値のコンクリート厚について、張出し部等で断面の変化する場合のコンクリート厚は、平均とする。</p> <p>3. ラフテレーンクレーンは、賃料とする。</p>	名 称	規 格	単位	支保耐力 f (kN/m ²)				パイプサポート支保		くさび結合支保		f ≤ 40	40 < f ≤ 60	f ≤ 40	40 < f ≤ 80	コンクリート厚 (t) (参考)	cm	t ≤ 120	120 < t ≤ 190	t ≤ 120	120 < t ≤ 250	世 話 役		人	2.6	4.2	1.4	2.1	型 枠 工		"	4.7	8.7	1.3	2.7	と び 工		"	2.2	2.4	3.3	4.2	普 通 作 業 員		"	5.1	11.1	3.3	6.0	ラフテレーンクレーン 運 転	排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型20 t 吊	日	—		0.5	1.2	諸 雑 費 率		%	15		33		<p>3. 施工歩掛</p> <p>支保材の設置・撤去歩掛は、次表とする。</p> <p>表 3.1 支保材設置・撤去歩掛 (100 空m3 当り)</p> <table border="1" data-bbox="1173 357 2011 699"> <thead> <tr> <th rowspan="3">名 称</th> <th rowspan="3">規 格</th> <th rowspan="3">単位</th> <th colspan="4">支保耐力 f (kN/m²)</th> </tr> <tr> <th colspan="2">パイプサポート支保</th> <th colspan="2">くさび結合支保</th> </tr> <tr> <th>f ≤ 40</th> <th>40 < f ≤ 60</th> <th>f ≤ 40</th> <th>40 < f ≤ 80</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンクリート厚 (t) (参考)</td> <td>cm</td> <td>t ≤ 120</td> <td>120 < t ≤ 190</td> <td>t ≤ 120</td> <td>120 < t ≤ 250</td> </tr> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>2.6</td> <td>4.2</td> <td>1.4</td> <td>2.1</td> </tr> <tr> <td>型 枠 工</td> <td></td> <td>"</td> <td>4.7</td> <td>8.7</td> <td>1.3</td> <td>2.7</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>"</td> <td>2.2</td> <td>2.4</td> <td>3.3</td> <td>4.2</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>"</td> <td>5.1</td> <td>11.1</td> <td>3.3</td> <td>6.0</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン 運 転</td> <td>排出ガス対策型 (第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型20 t 吊</td> <td>日</td> <td colspan="2">—</td> <td>0.5</td> <td>1.2</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td colspan="2">15</td> <td colspan="2">33</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 諸雑費は、仮設材等の費用であり、労務費及び賃料の合計に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <ul style="list-style-type: none"> パイプサポート支保における仮設材内訳は、パイプサポート、型枠受台、根がらみ、水平つなぎ、根がらみクランプ、直交クランプ、頭つなぎ等である。 くさび結合支保における仮設材内訳は、ジャッキベース、大引受ジャッキ、建地材、つなぎ材、斜材等である。 <p>2. 参考値のコンクリート厚について、張出し部等で断面の変化する場合のコンクリート厚は、平均とする。</p> <p>3. ラフテレーンクレーンは、賃料とする。</p>	名 称	規 格	単位	支保耐力 f (kN/m ²)				パイプサポート支保		くさび結合支保		f ≤ 40	40 < f ≤ 60	f ≤ 40	40 < f ≤ 80	コンクリート厚 (t) (参考)	cm	t ≤ 120	120 < t ≤ 190	t ≤ 120	120 < t ≤ 250	世 話 役		人	2.6	4.2	1.4	2.1	型 枠 工		"	4.7	8.7	1.3	2.7	と び 工		"	2.2	2.4	3.3	4.2	普 通 作 業 員		"	5.1	11.1	3.3	6.0	ラフテレーンクレーン 運 転	排出ガス対策型 (第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型20 t 吊	日	—		0.5	1.2	諸 雑 費 率		%	15		33	
名 称				規 格	単位	支保耐力 f (kN/m ²)																																																																																																																									
						パイプサポート支保		くさび結合支保																																																																																																																							
	f ≤ 40	40 < f ≤ 60	f ≤ 40			40 < f ≤ 80																																																																																																																									
コンクリート厚 (t) (参考)	cm	t ≤ 120	120 < t ≤ 190	t ≤ 120	120 < t ≤ 250																																																																																																																										
世 話 役		人	2.6	4.2	1.4	2.1																																																																																																																									
型 枠 工		"	4.7	8.7	1.3	2.7																																																																																																																									
と び 工		"	2.2	2.4	3.3	4.2																																																																																																																									
普 通 作 業 員		"	5.1	11.1	3.3	6.0																																																																																																																									
ラフテレーンクレーン 運 転	排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型20 t 吊	日	—		0.5	1.2																																																																																																																									
諸 雑 費 率		%	15		33																																																																																																																										
名 称	規 格	単位	支保耐力 f (kN/m ²)																																																																																																																												
			パイプサポート支保		くさび結合支保																																																																																																																										
			f ≤ 40	40 < f ≤ 60	f ≤ 40	40 < f ≤ 80																																																																																																																									
コンクリート厚 (t) (参考)	cm	t ≤ 120	120 < t ≤ 190	t ≤ 120	120 < t ≤ 250																																																																																																																										
世 話 役		人	2.6	4.2	1.4	2.1																																																																																																																									
型 枠 工		"	4.7	8.7	1.3	2.7																																																																																																																									
と び 工		"	2.2	2.4	3.3	4.2																																																																																																																									
普 通 作 業 員		"	5.1	11.1	3.3	6.0																																																																																																																									
ラフテレーンクレーン 運 転	排出ガス対策型 (第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型20 t 吊	日	—		0.5	1.2																																																																																																																									
諸 雑 費 率		%	15		33																																																																																																																										

土木工事標準歩掛の一部改定
支保工

工種名	現 行					改 定																																																																																				
	<p>4. 単価表</p> <p>(1) パイプサポート・くさび結合支保 100 空m3 当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="277 319 1088 643"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表3.1</td> </tr> <tr> <td>型 枠 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ラ フ テ レ ー ン 賃 料</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型20t吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表3.1	型 枠 工		〃		〃	と び 工		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	ラ フ テ レ ー ン 賃 料	排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型20t吊	日		〃	諸 雑 費		式	1	〃	計					<p>4. 単価表</p> <p>(1) パイプサポート・くさび結合支保 100 空m3 当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="1176 319 1986 643"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表3.1</td> </tr> <tr> <td>型 枠 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ラ フ テ レ ー ン 賃 料</td> <td>排出ガス対策型 (第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型20t吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表3.1	型 枠 工		〃		〃	と び 工		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	ラ フ テ レ ー ン 賃 料	排出ガス対策型 (第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型20t吊	日		〃	諸 雑 費		式	1	〃	計				
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																						
世 話 役		人		表3.1																																																																																						
型 枠 工		〃		〃																																																																																						
と び 工		〃		〃																																																																																						
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																						
ラ フ テ レ ー ン 賃 料	排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型20t吊	日		〃																																																																																						
諸 雑 費		式	1	〃																																																																																						
計																																																																																										
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																						
世 話 役		人		表3.1																																																																																						
型 枠 工		〃		〃																																																																																						
と び 工		〃		〃																																																																																						
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																						
ラ フ テ レ ー ン 賃 料	排出ガス対策型 (第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型20t吊	日		〃																																																																																						
諸 雑 費		式	1	〃																																																																																						
計																																																																																										

土木工事標準歩掛の一部改定
 締切排水工

工種名	現 行	改 定
仮設工 締切排水工	<p>締 切 排 水 工</p> <p>1. 適 用 範 囲 本資料は、仮設工のうち水門、樋門、樋管、橋台、橋脚、護岸、砂防えん堤などの水中締切、地中締切の排水工事で、揚程が15m以下の場合に適用するものとし、ダム本体工事などの大規模工事の排水工事には適用しない。</p> <p>2. 施 工 概 要 2-1 施工フロー 施工フローは、下記を標準とする。</p> <div data-bbox="504 443 913 678" data-label="Diagram"> <pre> graph LR A[機材搬入] --> B[ポンプ据付け] B --> C[ポンプ運転] C --> D[ポンプ撤去] D --> E[機材搬出] style A stroke-dasharray: 5 5 style B stroke-width: 2px style C stroke-width: 2px style D stroke-width: 2px style E stroke-dasharray: 5 5 </pre> </div> <p>(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。</p> <p>2-2 排水方法の選定 排水方法は、作業時排水又は常時排水とする。 (1) 作業時排水とは、作業前（1～3時間）から排水し始めて作業終了後には排水を中止する方法をいう。 なお、作業時排水には、コンクリート打設前後の型枠組立養生などのための一時的に昼夜排水するものも含む。 (2) 常時排水とは、昼夜連続的に排水する方法をいう。</p>	<p>締 切 排 水 工</p> <p>1. 適 用 範 囲 本資料は、仮設工のうち河川、道路、砂防工事などの水中締切、地中締切の排水工事で、揚程が15m以下の場合に適用するものとし、ダム本体工事などの大規模工事の排水工事には適用しない。</p> <div data-bbox="1182 368 1335 895" data-label="Text"> <p>現行どおり</p> </div>

土木工事標準歩掛の一部改定
 締切排水工

工種名	現 行							改 定													
	3. 施 工 歩 掛 3-1 機種を選定 機械・規格は、次表を標準とする。							現行どおり													
	表3.1 機種を選定 (ポンプ運転)																				
	機 械 名	規 格	単 位	数 量											摘 要						
				排水量 (m ³ / h)																	
				0 以上 40 未満	40 以上 120 未満	120 以上 450 未満	450 以上 1,300 未満														
	工 事 用 水 中 ポ ン プ	口径150mm 電動機出力7.5kW	台	1	-	1	-														
		口径200mm 電動機出力11.0kW	"	-	1	2	5														
	発 動 発 電 機	排出ガス対策型 (第2次基準値) ディーゼル エンジン駆動	20kVA	"	1	-	-								-						
			25kVA	"	-	1	-								-						
			60kVA	"	-	-	1								-						
100kVA			"	-	-	-	1														
(注) 1. 工事中ポンプの動力源は、発動発電機を標準とする。 2. 工事中ポンプ及び発動発電機は、賃料を標準とする。 3. 現場の状況により上表により難い場合は、別途考慮する。 4. 工期、現場の条件により、工事中ポンプの動力源が商用電源の場合は、別途考慮する。																					

土木工事標準歩掛の一部改定
 締切排水工

工種名	現 行	改 定														
	<p>3-2 運転工歩掛</p> <p>(1) 運転日数 排水期間中のポンプの運転日数は、工事の規模、現場状況などから積上げて算出するものとする。</p> <p>(2) 労務歩掛 ポンプの運転歩掛は、排水現場1箇所当り、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 ポンプ運転歩掛 (人/1箇所・日)</p> <table border="1" data-bbox="371 387 1021 520"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th colspan="2">排 水 方 法</th> </tr> <tr> <th>作 業 時 排 水</th> <th>常 時 排 水</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td>0.14</td> <td>0.17</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 歩掛は、運転日当り運転時間が作業時排水8h、常時排水24hを標準としたものである。 2. 労務単価は、時間外手当等を考慮しない。 3. 歩掛は、排水方法にかかわらず、排水現場1箇所当りポンプ台数が1～5台の運転労務歩掛を標準としたものである。現場条件により上表により難しい場合は別途考慮する。 4. 1工事に数分割の締切がある場合は、1締切現場を1箇所とする。</p> <p>(3) 諸雑費 諸雑費は、ポンプの配管材料の損料等の費用であり、労務費、賃料及び運転経費の合計に下表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表3.3 諸 雑 費 率 (%)</p> <table border="1" data-bbox="371 866 1021 951"> <thead> <tr> <th>排 水 方 法</th> <th>作 業 時 排 水</th> <th>常 時 排 水</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>3</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	排 水 方 法		作 業 時 排 水	常 時 排 水	特 殊 作 業 員	0.14	0.17	排 水 方 法	作 業 時 排 水	常 時 排 水	諸 雑 費 率	3	1	<p style="text-align: center;">現行どおり</p>
名 称	排 水 方 法															
	作 業 時 排 水	常 時 排 水														
特 殊 作 業 員	0.14	0.17														
排 水 方 法	作 業 時 排 水	常 時 排 水														
諸 雑 費 率	3	1														

土木工事標準歩掛の一部改定
縮切排水工

工種名	現 行	改 定																																								
	<p>3-3 据付・撤去歩掛 ポンプの据付・撤去に要する1箇所当りの歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.4 据付・撤去歩掛 (1箇所)</p> <table border="1" data-bbox="275 327 1115 531"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td>—</td> <td>人</td> <td>0.5</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td>—</td> <td>〃</td> <td>0.1</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>—</td> <td>〃</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 クレーン機能付 山積0.8m³(平積0.6m³) 2.9t吊</td> <td>日</td> <td>0.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. バックホウは、賃料とする。 2. 歩掛及び重転日数は、1縮切現場当りポンプ据付・撤去台数が1～5台が標準であり、上表により 難い場合は、別途考慮する。 3. 使用機械・規格については上表を標準とするが、現場条件により上表により難い場合は、別途選定 出来るものとする。 4. 歩掛には、配管布設・撤去労務を含む。 5. 1工事に数分割の縮切がある場合は、1縮切現場を1箇所とする。</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	世 話 役	—	人	0.5	特 殊 作 業 員	—	〃	0.1	普 通 作 業 員	—	〃	2.0	バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 クレーン機能付 山積0.8m ³ (平積0.6m ³) 2.9t吊	日	0.5	<p>3-3 据付・撤去歩掛 ポンプの据付・撤去に要する1箇所当りの歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.4 据付・撤去歩掛 (1箇所)</p> <table border="1" data-bbox="1191 327 2031 531"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td>—</td> <td>人</td> <td>0.5</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td>—</td> <td>〃</td> <td>0.1</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>—</td> <td>〃</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 クレーン機能付 山積0.8m³(平積0.6m³) 2.9t吊</td> <td>日</td> <td>0.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. バックホウは、賃料とする。 2. 歩掛及び重転日数は、1縮切現場当りポンプ据付・撤去台数が1～5台が標準であり、上表により 難い場合は、別途考慮する。 3. 使用機械・規格については上表を標準とするが、現場条件により上表により難い場合は、別途選定 出来るものとする。 4. 歩掛には、配管布設・撤去労務を含む。 5. 1工事に数分割の縮切がある場合は、1縮切現場を1箇所とする。</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	世 話 役	—	人	0.5	特 殊 作 業 員	—	〃	0.1	普 通 作 業 員	—	〃	2.0	バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 クレーン機能付 山積0.8m ³ (平積0.6m ³) 2.9t吊	日	0.5
名 称	規 格	単 位	数 量																																							
世 話 役	—	人	0.5																																							
特 殊 作 業 員	—	〃	0.1																																							
普 通 作 業 員	—	〃	2.0																																							
バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 クレーン機能付 山積0.8m ³ (平積0.6m ³) 2.9t吊	日	0.5																																							
名 称	規 格	単 位	数 量																																							
世 話 役	—	人	0.5																																							
特 殊 作 業 員	—	〃	0.1																																							
普 通 作 業 員	—	〃	2.0																																							
バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 クレーン機能付 山積0.8m ³ (平積0.6m ³) 2.9t吊	日	0.5																																							

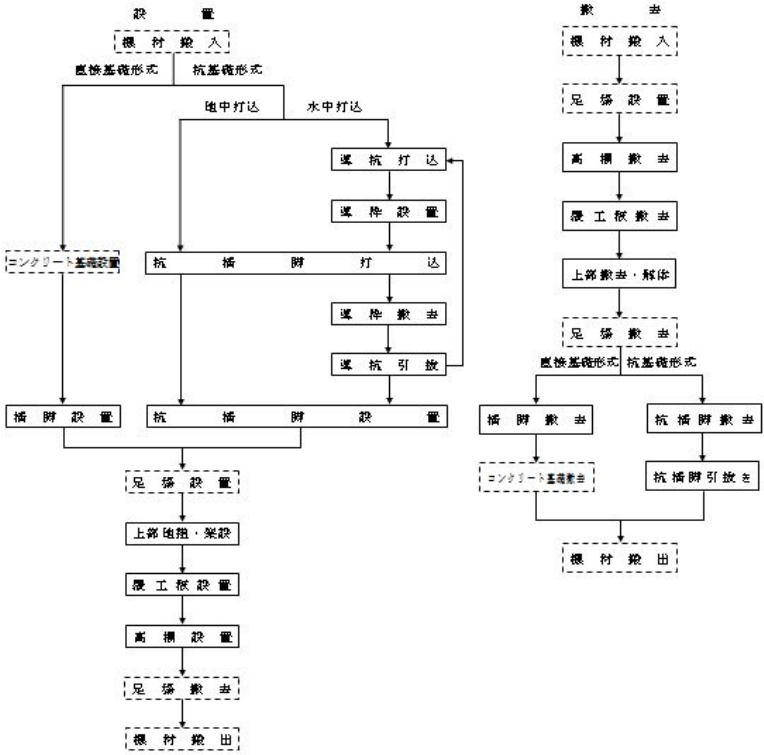
土木工事標準歩掛の一部改定
縮切排水工

工種名	現 行	改 定																																																																																																																			
	<p>4. 単 価 表</p> <p>(1) 縮切排水内訳表</p> <table border="1" data-bbox="336 276 1055 424"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ボ ン プ 運 転</td> <td></td> <td>日</td> <td></td> <td>(2)単価表</td> </tr> <tr> <td>ボ ン プ 据 付 ・ 撤 去</td> <td></td> <td>箇所</td> <td></td> <td>(3)単価表</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) ポンプ運転1日当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="336 475 1055 715"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表3.2</td> </tr> <tr> <td>工 事 用 水 中 ボ ン プ 運 転</td> <td></td> <td>日</td> <td>1</td> <td>表3.1</td> </tr> <tr> <td>発 動 発 電 機 運 転</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表3.3</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) ポンプ据付・撤去1箇所当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="336 766 1055 1147"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表3.4</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ 運 転</td> <td>排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型クレーン機能付 山積0.8m³(平積0.6m³) 2.9 t吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	ボ ン プ 運 転		日		(2)単価表	ボ ン プ 据 付 ・ 撤 去		箇所		(3)単価表	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	特 殊 作 業 員		人		表3.2	工 事 用 水 中 ボ ン プ 運 転		日	1	表3.1	発 動 発 電 機 運 転		〃	1	〃	諸 雑 費		式	1	表3.3	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表3.4	特 殊 作 業 員		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型クレーン機能付 山積0.8m ³ (平積0.6m ³) 2.9 t吊	日		〃	諸 雑 費		式	1		計					<p>現行どおり</p> <p>(3) ポンプ据付・撤去1箇所当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="1249 766 1968 1147"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表3.4</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ 運 転</td> <td>排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型クレーン機能付 山積0.8m³(平積0.6m³) 2.9 t吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表3.4	特 殊 作 業 員		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型クレーン機能付 山積0.8m ³ (平積0.6m ³) 2.9 t吊	日		〃	諸 雑 費		式	1		計				
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																	
ボ ン プ 運 転		日		(2)単価表																																																																																																																	
ボ ン プ 据 付 ・ 撤 去		箇所		(3)単価表																																																																																																																	
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																	
特 殊 作 業 員		人		表3.2																																																																																																																	
工 事 用 水 中 ボ ン プ 運 転		日	1	表3.1																																																																																																																	
発 動 発 電 機 運 転		〃	1	〃																																																																																																																	
諸 雑 費		式	1	表3.3																																																																																																																	
計																																																																																																																					
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																	
世 話 役		人		表3.4																																																																																																																	
特 殊 作 業 員		〃		〃																																																																																																																	
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																	
バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型クレーン機能付 山積0.8m ³ (平積0.6m ³) 2.9 t吊	日		〃																																																																																																																	
諸 雑 費		式	1																																																																																																																		
計																																																																																																																					
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																	
世 話 役		人		表3.4																																																																																																																	
特 殊 作 業 員		〃		〃																																																																																																																	
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																	
バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型クレーン機能付 山積0.8m ³ (平積0.6m ³) 2.9 t吊	日		〃																																																																																																																	
諸 雑 費		式	1																																																																																																																		
計																																																																																																																					

土木工事標準歩掛の一部改定
 締切排水工

工種名	現 行	改 定																																								
	<p>(4) 機械運転単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="300 240 510 284">機 械 名</th> <th data-bbox="510 240 680 284">規 格</th> <th data-bbox="680 240 779 284">適用単価表</th> <th data-bbox="779 240 1093 284">指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="300 284 510 363">工事中水中ポンプ</td> <td data-bbox="510 284 680 363"></td> <td data-bbox="680 284 779 363">機-30</td> <td data-bbox="779 284 1093 363">賃料数量 →(常時排水) 1.1 (作業時排水) 1.2</td> </tr> <tr> <td data-bbox="300 363 510 552">発 動 発 電 機</td> <td data-bbox="510 363 680 552">排出ガス対策型 (第2次基準値) ディーゼルエンジン駆動 20kVA 25kVA 60kVA 100kVA</td> <td data-bbox="680 363 779 552">機-16</td> <td data-bbox="779 363 1093 552">(常時排水) 燃料消費量 → 20kVA→ 77 25kVA→ 94 60kVA→233 100kVA→384 賃料数量 →1.1</td> </tr> <tr> <td data-bbox="300 552 510 740">発 動 発 電 機</td> <td data-bbox="510 552 680 740">排出ガス対策型 (第2次基準値) ディーゼルエンジン駆動 20kVA 25kVA 60kVA 100kVA</td> <td data-bbox="680 552 779 740">機-16</td> <td data-bbox="779 552 1093 740">(作業時排水) 燃料消費量 → 20kVA→ 26 25kVA→ 31 60kVA→ 78 100kVA→128 賃料数量 →1.2</td> </tr> <tr> <td data-bbox="300 740 510 922">バ ッ ク ホ ウ</td> <td data-bbox="510 740 680 922">排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型 クレーン機能付 山積0.8m³ (平積0.6m³) 2.9 t吊</td> <td data-bbox="680 740 779 922">機-28</td> <td data-bbox="779 740 1093 922">運転労務数量→1.00 燃料消費量 →77 賃料数量 →1.16</td> </tr> </tbody> </table>	機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	工事中水中ポンプ		機-30	賃料数量 →(常時排水) 1.1 (作業時排水) 1.2	発 動 発 電 機	排出ガス対策型 (第2次基準値) ディーゼルエンジン駆動 20kVA 25kVA 60kVA 100kVA	機-16	(常時排水) 燃料消費量 → 20kVA→ 77 25kVA→ 94 60kVA→233 100kVA→384 賃料数量 →1.1	発 動 発 電 機	排出ガス対策型 (第2次基準値) ディーゼルエンジン駆動 20kVA 25kVA 60kVA 100kVA	機-16	(作業時排水) 燃料消費量 → 20kVA→ 26 25kVA→ 31 60kVA→ 78 100kVA→128 賃料数量 →1.2	バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型 クレーン機能付 山積0.8m ³ (平積0.6m ³) 2.9 t吊	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量 →77 賃料数量 →1.16	<p>(4) 機械運転単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1218 240 1429 284">機 械 名</th> <th data-bbox="1429 240 1599 284">規 格</th> <th data-bbox="1599 240 1697 284">適用単価表</th> <th data-bbox="1697 240 2011 284">指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1218 284 1429 363">工事中水中ポンプ</td> <td data-bbox="1429 284 1599 363"></td> <td data-bbox="1599 284 1697 363">機-30</td> <td data-bbox="1697 284 2011 363">賃料数量 →(常時排水) 1.1 (作業時排水) 1.2</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1218 363 1429 552">発 動 発 電 機</td> <td data-bbox="1429 363 1599 552">排出ガス対策型 (第2次基準値) ディーゼルエンジン駆動 20kVA 25kVA 60kVA 100kVA</td> <td data-bbox="1599 363 1697 552">機-16</td> <td data-bbox="1697 363 2011 552">(常時排水) 燃料消費量 → 20kVA→ 77 25kVA→ 94 60kVA→233 100kVA→384 賃料数量 →1.1</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1218 552 1429 740">発 動 発 電 機</td> <td data-bbox="1429 552 1599 740">排出ガス対策型 (第2次基準値) ディーゼルエンジン駆動 20kVA 25kVA 60kVA 100kVA</td> <td data-bbox="1599 552 1697 740">機-16</td> <td data-bbox="1697 552 2011 740">(作業時排水) 燃料消費量 → 20kVA→ 26 25kVA→ 31 60kVA→ 78 100kVA→128 賃料数量 →1.2</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1218 740 1429 922">バ ッ ク ホ ウ</td> <td data-bbox="1429 740 1599 922">排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型 クレーン機能付 山積0.8m³ (平積0.6m³) 2.9 t吊</td> <td data-bbox="1599 740 1697 922">機-28</td> <td data-bbox="1697 740 2011 922">運転労務数量→1.00 燃料消費量 →77 賃料数量 →1.16</td> </tr> </tbody> </table>	機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	工事中水中ポンプ		機-30	賃料数量 →(常時排水) 1.1 (作業時排水) 1.2	発 動 発 電 機	排出ガス対策型 (第2次基準値) ディーゼルエンジン駆動 20kVA 25kVA 60kVA 100kVA	機-16	(常時排水) 燃料消費量 → 20kVA→ 77 25kVA→ 94 60kVA→233 100kVA→384 賃料数量 →1.1	発 動 発 電 機	排出ガス対策型 (第2次基準値) ディーゼルエンジン駆動 20kVA 25kVA 60kVA 100kVA	機-16	(作業時排水) 燃料消費量 → 20kVA→ 26 25kVA→ 31 60kVA→ 78 100kVA→128 賃料数量 →1.2	バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型 クレーン機能付 山積0.8m ³ (平積0.6m ³) 2.9 t吊	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量 →77 賃料数量 →1.16
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																							
工事中水中ポンプ		機-30	賃料数量 →(常時排水) 1.1 (作業時排水) 1.2																																							
発 動 発 電 機	排出ガス対策型 (第2次基準値) ディーゼルエンジン駆動 20kVA 25kVA 60kVA 100kVA	機-16	(常時排水) 燃料消費量 → 20kVA→ 77 25kVA→ 94 60kVA→233 100kVA→384 賃料数量 →1.1																																							
発 動 発 電 機	排出ガス対策型 (第2次基準値) ディーゼルエンジン駆動 20kVA 25kVA 60kVA 100kVA	機-16	(作業時排水) 燃料消費量 → 20kVA→ 26 25kVA→ 31 60kVA→ 78 100kVA→128 賃料数量 →1.2																																							
バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型 クレーン機能付 山積0.8m ³ (平積0.6m ³) 2.9 t吊	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量 →77 賃料数量 →1.16																																							
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																							
工事中水中ポンプ		機-30	賃料数量 →(常時排水) 1.1 (作業時排水) 1.2																																							
発 動 発 電 機	排出ガス対策型 (第2次基準値) ディーゼルエンジン駆動 20kVA 25kVA 60kVA 100kVA	機-16	(常時排水) 燃料消費量 → 20kVA→ 77 25kVA→ 94 60kVA→233 100kVA→384 賃料数量 →1.1																																							
発 動 発 電 機	排出ガス対策型 (第2次基準値) ディーゼルエンジン駆動 20kVA 25kVA 60kVA 100kVA	機-16	(作業時排水) 燃料消費量 → 20kVA→ 26 25kVA→ 31 60kVA→ 78 100kVA→128 賃料数量 →1.2																																							
バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型 クレーン機能付 山積0.8m ³ (平積0.6m ³) 2.9 t吊	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量 →77 賃料数量 →1.16																																							

土木工事標準歩掛の一部改定
仮橋・仮栈橋工

工種名	現 行	改 定
仮設工	<p>⑨ 仮橋・仮栈橋工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、鋼製による仮橋及び仮栈橋の上部工（桁の架設・撤去、覆工板設置・撤去、高欄設置・撤去）と下部工（橋脚設置・撤去、杭橋脚打込み・引抜き及び設置・撤去）で、支間長39m以下に適用する。 ただし、下部工は橋脚高24m以下とし、橋脚と杭橋脚の区分については（参考）図2-1の概念図による。</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p>  <p>(注) 本伊掛で対応しているのは、業務部分のみである。</p>	<p>現行どおり</p>

土木工事標準歩掛の一部改定
仮橋・仮栈橋工

工種名	現 行	改 定																																		
	<p>(参考) 概念図 橋脚, 杭橋脚等の区分は, 下図による。</p> <p>(参考) 概念図 橋脚, 杭橋脚等の区分は, 下図による。</p> <p>図2-1 仮橋・仮栈橋工概念図</p> <p>3. 機種の選定</p> <p>機械・規格は, 次表を標準とする。</p> <p>表3.1 機種の選定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>作業種別</th> <th>機械名</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>直接基礎形式</td> <td>ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型</td> <td rowspan="2">〇〇t吊</td> <td>台</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>杭基礎形式</td> <td>クローラクレーン 排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. クレーンは, 最大部材質量(地組がある場合は, 地組部材質量)作業半径・吊上げ高及び主桁等の架設・撤去, 高欄設置・撤去, 覆工板設置・撤去, 橋脚設置・撤去, 杭橋脚打込・引抜き, 導杭打込・引抜き, 導枠設置・撤去等の工程を配慮し, 同一機種で選定することを標準とするが, 現場条件により上表により難しい場合は, 現場条件に適合した機種とすることが出来る。</p> <p>2. ラフテレーンクレーン, クローラクレーンは, 賃料とする。</p>	作業種別	機械名	規格	単位	数量	摘要	直接基礎形式	ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型	〇〇t吊	台	1		杭基礎形式	クローラクレーン 排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型	〃	1		<p>現行どおり</p> <p>3. 機種の選定</p> <p>機械・規格は, 次表を標準とする。</p> <p>表3.1 機種の選定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>作業種別</th> <th>機械名</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>直接基礎形式</td> <td>ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型 (第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型</td> <td rowspan="2">〇〇t吊</td> <td>台</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>杭基礎形式</td> <td>クローラクレーン 排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. クレーンは, 最大部材質量(地組がある場合は, 地組部材質量)作業半径・吊上げ高及び主桁等の架設・撤去, 高欄設置・撤去, 覆工板設置・撤去, 橋脚設置・撤去, 導枠設置・撤去等の工程を配慮し, 同一機種で選定することを標準とするが, 現場条件により難しい場合は, 現場条件に適合した機種とすることが出来る。</p> <p>2. ラフテレーンクレーン, クローラクレーンは, 賃料とする。</p> <p>3. 杭橋脚打込・引抜き, 導杭打込・引抜きについては, 表4. 8より選定する。</p> <p>4. ラフテレーンクレーンで7t吊, 10t吊, 45t吊を選定した場合は, 第1次基準値とする。</p>	作業種別	機械名	規格	単位	数量	摘要	直接基礎形式	ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型 (第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型	〇〇t吊	台	1		杭基礎形式	クローラクレーン 排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型	〃	1	
作業種別	機械名	規格	単位	数量	摘要																															
直接基礎形式	ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型	〇〇t吊	台	1																																
杭基礎形式	クローラクレーン 排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型		〃	1																																
作業種別	機械名	規格	単位	数量	摘要																															
直接基礎形式	ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型 (第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型	〇〇t吊	台	1																																
杭基礎形式	クローラクレーン 排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型		〃	1																																

土木工事標準歩掛の一部改定
仮橋・仮栈橋工

工種名	現 行					改 定																																																																												
	<p>4. 施 工 歩 掛 4-1 上部工 4-1-1 架設・撤去工 上部工の架設・撤去工の歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.1 架設・撤去工歩掛 (10t当り)</p> <table border="1" data-bbox="257 376 1171 751"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="2">数 量</th> <th rowspan="2">摘 要</th> </tr> <tr> <th>架 設</th> <th>撤 去</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋 梁 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1.2</td> <td>0.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>橋 梁 特 殊 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>3.4</td> <td>1.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>溶 接 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>—</td> <td>0.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>2.0</td> <td>1.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン 又はクローラクレーン 運 転</td> <td>〇〇t吊</td> <td>日</td> <td>1.3</td> <td>0.7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>16</td> <td>2</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 本歩掛には、地組・解体作業及び架設に伴う本締めも含む。 2. 架設・撤去の対象質量は、架設・撤去すべき主桁、横桁の質量で、高力ボルト、覆工板、高欄の質量は含まない。 3. 諸雑費は、ガス切断器、酸素、アセチレン、ホース、ドリフトピン、仮締ボルト、インパクトレンチ、トルクレンチ、高力ボルト及び電力に関する経費等の費用であり、設置または撤去工労務費の合計に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>4-1-2 覆工板設置・撤去工 覆工板設置・撤去工の歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.2 覆工板設置・撤去工歩掛 (100m²当り)</p> <table border="1" data-bbox="257 1067 1171 1358"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="2">数 量</th> <th rowspan="2">摘 要</th> </tr> <tr> <th>設 置</th> <th>撤 去</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.9</td> <td>0.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>2.9</td> <td>1.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1.1</td> <td>0.7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン 又はクローラクレーン 運 転</td> <td>〇〇t吊</td> <td>日</td> <td>1.0</td> <td>0.5</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 上表には、路面のすりつけ作業は含まない。</p>					名 称	規 格	単 位	数 量		摘 要	架 設	撤 去	橋 梁 世 話 役		人	1.2	0.8		橋 梁 特 殊 工		〃	3.4	1.6		溶 接 工		〃	—	0.5		普 通 作 業 員		〃	2.0	1.4		ラフテレーンクレーン 又はクローラクレーン 運 転	〇〇t吊	日	1.3	0.7		諸 雑 費 率		%	16	2		名 称	規 格	単 位	数 量		摘 要	設 置	撤 去	世 話 役		人	0.9	0.5		と び 工		〃	2.9	1.5		普 通 作 業 員		〃	1.1	0.7		ラフテレーンクレーン 又はクローラクレーン 運 転	〇〇t吊	日	1.0	0.5		<p>現行どおり</p>
名 称	規 格	単 位	数 量		摘 要																																																																													
			架 設	撤 去																																																																														
橋 梁 世 話 役		人	1.2	0.8																																																																														
橋 梁 特 殊 工		〃	3.4	1.6																																																																														
溶 接 工		〃	—	0.5																																																																														
普 通 作 業 員		〃	2.0	1.4																																																																														
ラフテレーンクレーン 又はクローラクレーン 運 転	〇〇t吊	日	1.3	0.7																																																																														
諸 雑 費 率		%	16	2																																																																														
名 称	規 格	単 位	数 量		摘 要																																																																													
			設 置	撤 去																																																																														
世 話 役		人	0.9	0.5																																																																														
と び 工		〃	2.9	1.5																																																																														
普 通 作 業 員		〃	1.1	0.7																																																																														
ラフテレーンクレーン 又はクローラクレーン 運 転	〇〇t吊	日	1.0	0.5																																																																														

土木工事標準歩掛の一部改定
仮橋・仮栈橋工

工種名	現 行							改 定																																																							
	<p>4-1-3 高欄設置・撤去工 高欄設置・撤去工の歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.3 高欄設置・撤去工歩掛 (100m当り)</p> <table border="1" data-bbox="257 343 1171 718"> <thead> <tr> <th rowspan="3">名 称</th> <th rowspan="3">規 格</th> <th rowspan="3">単 位</th> <th colspan="4">数 量</th> <th rowspan="3">摘 要</th> </tr> <tr> <th colspan="2">ガードレール型</th> <th colspan="2">単管パイプ型</th> </tr> <tr> <th>設置</th> <th>撤去</th> <th>設置</th> <th>撤去</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1.3</td> <td>0.7</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>5.0</td> <td>3.3</td> <td>3.8</td> <td>2.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>溶 接 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>(2.6)</td> <td>(1.3)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td rowspan="2">必要に応じ 計上する (注)2 (注)3</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン 又はクローラクレーン 運 転</td> <td>〇〇t吊</td> <td>日</td> <td>(1.1)</td> <td>(0.7)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>(6)</td> <td>(2)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 高欄型式は、仮橋はガードレール型、仮栈橋は単管パイプ型を標準とする。 2. 溶接工及びクレーンは、高欄の支柱基礎として形鋼を橋面上に設置する場合の支柱と基礎の溶接及び基礎の吊込用として計上する。 3. 諸雑費は、溶接または切断が必要な場合の電気溶接機（エンジン付）またはガス切断器、酸素、アセチレン、ホース等の費用であり、設置または撤去工労務費の合計に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p>							名 称	規 格	単 位	数 量				摘 要	ガードレール型		単管パイプ型		設置	撤去	設置	撤去	世 話 役		人	1.3	0.7	1.0	0.6		普 通 作 業 員		〃	5.0	3.3	3.8	2.1		溶 接 工		〃	(2.6)	(1.3)	—	—	必要に応じ 計上する (注)2 (注)3	ラフテレーンクレーン 又はクローラクレーン 運 転	〇〇t吊	日	(1.1)	(0.7)	—	—	諸 雑 費 率		%	(6)	(2)	—	—		<p>現行どおり</p>
名 称	規 格	単 位	数 量				摘 要																																																								
			ガードレール型		単管パイプ型																																																										
			設置	撤去	設置	撤去																																																									
世 話 役		人	1.3	0.7	1.0	0.6																																																									
普 通 作 業 員		〃	5.0	3.3	3.8	2.1																																																									
溶 接 工		〃	(2.6)	(1.3)	—	—	必要に応じ 計上する (注)2 (注)3																																																								
ラフテレーンクレーン 又はクローラクレーン 運 転	〇〇t吊	日	(1.1)	(0.7)	—	—																																																									
諸 雑 費 率		%	(6)	(2)	—	—																																																									

土木工事標準歩掛の一部改定
仮橋・仮栈橋工

工種名	現 行					改 定																																												
	<p>4-2 下部工 4-2-1 橋脚設置・撤去工（直接基礎形式） 橋脚設置・撤去工の歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.4 橋脚設置・撤去工歩掛 (10t当り)</p> <table border="1" data-bbox="257 399 1169 767"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="2">数 量</th> <th rowspan="2">摘 要</th> </tr> <tr> <th>設 置</th> <th>撤 去</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋 梁 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1.7</td> <td>1.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>橋 梁 特 殊 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>4.2</td> <td>3.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>溶 接 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1.1</td> <td>1.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>2.6</td> <td>1.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン 運 転</td> <td>〇〇t吊</td> <td>日</td> <td>1.5</td> <td>0.7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>28</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 橋脚設置に伴う本締めも含む。 2. 設置・撤去の対象質量は、設置・撤去すべき橋脚、枕、ブラケット、つなぎ材等の質量で、高力ボルトの質量は含まない。 3. 諸雑費は、電気溶接機（エンジン付）、ガス切断器、酸素、アセチレン、ホース、ドリフトピン、仮締ボルト、インパクトレンチ、トルクレンチ、高力ボルト及び電力に関する経費等の費用であり、設置または撤去工労務費の合計に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p>					名 称	規 格	単 位	数 量		摘 要	設 置	撤 去	橋 梁 世 話 役		人	1.7	1.1		橋 梁 特 殊 工		〃	4.2	3.0		溶 接 工		〃	1.1	1.0		普 通 作 業 員		〃	2.6	1.4		ラフテレーンクレーン 運 転	〇〇t吊	日	1.5	0.7		諸 雑 費 率		%	28	1		<p>現行どおり</p>
名 称	規 格	単 位	数 量		摘 要																																													
			設 置	撤 去																																														
橋 梁 世 話 役		人	1.7	1.1																																														
橋 梁 特 殊 工		〃	4.2	3.0																																														
溶 接 工		〃	1.1	1.0																																														
普 通 作 業 員		〃	2.6	1.4																																														
ラフテレーンクレーン 運 転	〇〇t吊	日	1.5	0.7																																														
諸 雑 費 率		%	28	1																																														

土木工事標準歩掛の一部改定
仮橋・仮栈橋工

工種名	現 行	改 定																																																										
	<p>4-2-2 杭橋脚設置・撤去工 (杭基礎形式) 4-2-2-1 杭橋脚打込・引抜工 (1)-1 機種を選定 H形鋼の打込みに使用する電動式バイプロハンマの機械・規格は、次表を標準とする。 ① 打込み</p> <p style="text-align: center;">表 4.5 機種を選定</p> <table border="1" data-bbox="257 435 1169 718"> <tr> <td></td> <td></td> <td>バイプロハンマ施工</td> <td>ウォータージェット併用施工</td> </tr> <tr> <td>最 大 N 値</td> <td></td> <td>Nmax<50</td> <td>50≦Nmax≦80</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">打込 み長</td> <td>20m以下</td> <td colspan="2">60kW</td> </tr> <tr> <td>25m以下</td> <td colspan="2">90kW</td> </tr> <tr> <td>杭 打 ち 用 ウオータージェット</td> <td></td> <td>—</td> <td>14.7MPa 325 ℓ/min×2台 ※(14.7MPa 325 ℓ/min×1台)</td> </tr> </table> <p>(注) 1. ※はNmax<50で転石等によりやむを得ず杭打ち用ウォータージェットを使用する必要が生じた場合に計上するものである。 2. 対象地盤の最大N値が50を超えるものについては、次式により換算N値を求めたうえで適用する。 換算N値 = $\frac{1,500}{\text{落下 50 回当り貫入量 (cm)}}$ 3. 打込長は、地表面よりのH形鋼の打込み長であり、H形鋼長とは異なる。 4. 本歩掛の適用範囲は、表4.6のとおりとするが、これにより難しい場合は別途考慮する。</p> <p style="text-align: center;">表 4.6 打込長</p> <table border="1" data-bbox="257 1045 1169 1193"> <tr> <td></td> <td>H 形 鋼 形 式</td> <td>H200・250</td> <td>H300</td> <td>H350・400</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">打込長 (m)</td> <td>バイプロハンマ施工</td> <td>12 以下</td> <td>20 以下</td> <td>25 以下</td> </tr> <tr> <td>ウォータージェット併用施工</td> <td>16 以下</td> <td>24 以下</td> <td>25 以下</td> </tr> </table> <p>H形鋼の引抜きに使用する電動式バイプロハンマの機械・規格は、N値に関係なく次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 4.7 機種を選定</p> <table border="1" data-bbox="488 1286 943 1386"> <tr> <td></td> <td>引抜長</td> <td>規格 (kW)</td> </tr> <tr> <td>H形鋼</td> <td>25m以下</td> <td>60</td> </tr> </table> <p>(注) 引抜長は、地表面よりのH形鋼の引抜長であり、H形鋼長とは異なる。</p>			バイプロハンマ施工	ウォータージェット併用施工	最 大 N 値		Nmax<50	50≦Nmax≦80	打込 み長	20m以下	60kW		25m以下	90kW		杭 打 ち 用 ウオータージェット		—	14.7MPa 325 ℓ/min×2台 ※(14.7MPa 325 ℓ/min×1台)		H 形 鋼 形 式	H200・250	H300	H350・400	打込長 (m)	バイプロハンマ施工	12 以下	20 以下	25 以下	ウォータージェット併用施工	16 以下	24 以下	25 以下		引抜長	規格 (kW)	H形鋼	25m以下	60	<p>4-2-2 杭橋脚設置・撤去工 (杭基礎形式) 4-2-2-1 杭橋脚打込・引抜工 (1)-1 機種を選定 H形鋼の打込みに使用する電動式バイプロハンマの機械・規格は、次表を標準とする。 ① 打込み</p> <p style="text-align: center;">表 4.5 機種を選定</p> <table border="1" data-bbox="1200 446 2112 729"> <tr> <td></td> <td></td> <td>バイプロハンマ施工</td> <td>ウォータージェット併用施工</td> </tr> <tr> <td>最 大 N 値</td> <td></td> <td>Nmax<50</td> <td>50≦Nmax≦80</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">打込 み長</td> <td>20m以下</td> <td colspan="2">60kW</td> </tr> <tr> <td>25m以下</td> <td colspan="2">90kW</td> </tr> <tr> <td>杭 打 ち 用 ウオータージェット</td> <td></td> <td>—</td> <td>14.7MPa 325 ℓ/min×2台 ※(14.7MPa 325 ℓ/min×1台)</td> </tr> </table> <p>(注) 1. ※はNmax<50で転石等によりやむを得ず杭打ち用ウォータージェットを使用する必要が生じた場合に計上するものである。 2. 対象地盤の最大N値が50を超えるものについては、次式により換算N値を求めたうえで適用する。 換算N値 = $\frac{1,500}{\text{落下 50 回当り貫入量 (cm)}}$ 3. 打込長は、地表面よりのH形鋼の打込長であり、H形鋼長とは異なる。 4. 本歩掛の適用範囲は、表4.6のとおりとするが、これにより難しい場合は別途考慮する。</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>			バイプロハンマ施工	ウォータージェット併用施工	最 大 N 値		Nmax<50	50≦Nmax≦80	打込 み長	20m以下	60kW		25m以下	90kW		杭 打 ち 用 ウオータージェット		—	14.7MPa 325 ℓ/min×2台 ※(14.7MPa 325 ℓ/min×1台)
		バイプロハンマ施工	ウォータージェット併用施工																																																									
最 大 N 値		Nmax<50	50≦Nmax≦80																																																									
打込 み長	20m以下	60kW																																																										
	25m以下	90kW																																																										
杭 打 ち 用 ウオータージェット		—	14.7MPa 325 ℓ/min×2台 ※(14.7MPa 325 ℓ/min×1台)																																																									
	H 形 鋼 形 式	H200・250	H300	H350・400																																																								
打込長 (m)	バイプロハンマ施工	12 以下	20 以下	25 以下																																																								
	ウォータージェット併用施工	16 以下	24 以下	25 以下																																																								
	引抜長	規格 (kW)																																																										
H形鋼	25m以下	60																																																										
		バイプロハンマ施工	ウォータージェット併用施工																																																									
最 大 N 値		Nmax<50	50≦Nmax≦80																																																									
打込 み長	20m以下	60kW																																																										
	25m以下	90kW																																																										
杭 打 ち 用 ウオータージェット		—	14.7MPa 325 ℓ/min×2台 ※(14.7MPa 325 ℓ/min×1台)																																																									

土木工事標準歩掛の一部改定
仮橋・仮栈橋工

工種名	現 行	改 定																																																																																												
	<p>(1)ー2 付属機械 パイプロハンマの付属機器の機種・規格は、次表を標準とするが現場条件によりこれにより難い場合は、別途考慮する。</p> <p style="text-align: center;">表 4.8 付属機械の機種・規格</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">機 種</td> <td style="text-align: center;">パイプロハンマ規格</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">電動式パイプロハンマ</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">60kW</td> <td style="text-align: center;">90kW</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">クローラクレーン (油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">50～55 t 吊</td> </tr> </table> <p>(2) 編成人員 H形鋼の打込み、引抜き作業の日当り編成人員は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 4.9 日当り編成人員 (人)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>世話役</th> <th>とび工</th> <th>普通作業員</th> <th>特殊作業員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>パイプロハンマ施工</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>ウォータージェット併用施工</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 日当り施工本数 H形鋼の日当り打込、引抜本数 (N) は次表を標準とする。</p> <p>①電動式パイプロハンマによる施工 (Nmax<50)</p> <p style="text-align: center;">表4.10 日当り施工本数 (N) (本/日)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>型 式 打込長 (m)</th> <th>H200</th> <th>H250</th> <th>H300</th> <th>H350</th> <th>H400</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>2以下</td><td style="text-align: center;">63</td><td style="text-align: center;">59</td><td style="text-align: center;">55</td><td style="text-align: center;">49</td><td style="text-align: center;">45</td></tr> <tr><td>4以下</td><td style="text-align: center;">47</td><td style="text-align: center;">40</td><td style="text-align: center;">35</td><td style="text-align: center;">28</td><td style="text-align: center;">24</td></tr> <tr><td>6以下</td><td style="text-align: center;">38</td><td style="text-align: center;">31</td><td style="text-align: center;">26</td><td style="text-align: center;">20</td><td style="text-align: center;">17</td></tr> <tr><td>8以下</td><td style="text-align: center;">32</td><td style="text-align: center;">25</td><td style="text-align: center;">21</td><td style="text-align: center;">16</td><td style="text-align: center;">13</td></tr> <tr><td>10以下</td><td style="text-align: center;">27</td><td style="text-align: center;">21</td><td style="text-align: center;">17</td><td style="text-align: center;">13</td><td style="text-align: center;">10</td></tr> <tr><td>13以下</td><td style="text-align: center;">23</td><td style="text-align: center;">17</td><td style="text-align: center;">14</td><td style="text-align: center;">10</td><td style="text-align: center;">8</td></tr> <tr><td>16以下</td><td></td><td></td><td style="text-align: center;">12</td><td style="text-align: center;">8</td><td style="text-align: center;">7</td></tr> <tr><td>20以下</td><td></td><td></td><td style="text-align: center;">10</td><td style="text-align: center;">7</td><td style="text-align: center;">6</td></tr> <tr><td>22以下</td><td></td><td></td><td></td><td style="text-align: center;">6</td><td style="text-align: center;">5</td></tr> <tr><td>25以下</td><td></td><td></td><td></td><td style="text-align: center;">5</td><td style="text-align: center;">4</td></tr> </tbody> </table> <p>(注) 継施工が必要な場合、施工本数 (N) は別途考慮する。</p>	機 種	パイプロハンマ規格	電動式パイプロハンマ			60kW	90kW	クローラクレーン (油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型)		50～55 t 吊		項 目	世話役	とび工	普通作業員	特殊作業員	パイプロハンマ施工	1	2	1	-	ウォータージェット併用施工	1	2	1	1	型 式 打込長 (m)	H200	H250	H300	H350	H400	2以下	63	59	55	49	45	4以下	47	40	35	28	24	6以下	38	31	26	20	17	8以下	32	25	21	16	13	10以下	27	21	17	13	10	13以下	23	17	14	10	8	16以下			12	8	7	20以下			10	7	6	22以下				6	5	25以下				5	4	<p style="text-align: center;">現行どおり</p>
機 種	パイプロハンマ規格		電動式パイプロハンマ																																																																																											
		60kW	90kW																																																																																											
クローラクレーン (油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型)		50～55 t 吊																																																																																												
項 目	世話役	とび工	普通作業員	特殊作業員																																																																																										
パイプロハンマ施工	1	2	1	-																																																																																										
ウォータージェット併用施工	1	2	1	1																																																																																										
型 式 打込長 (m)	H200	H250	H300	H350	H400																																																																																									
2以下	63	59	55	49	45																																																																																									
4以下	47	40	35	28	24																																																																																									
6以下	38	31	26	20	17																																																																																									
8以下	32	25	21	16	13																																																																																									
10以下	27	21	17	13	10																																																																																									
13以下	23	17	14	10	8																																																																																									
16以下			12	8	7																																																																																									
20以下			10	7	6																																																																																									
22以下				6	5																																																																																									
25以下				5	4																																																																																									

土木工事標準歩掛の一部改定
仮橋・仮栈橋工

工種名	現 行											改 定		
	電動式バイブロハンマとウォータージェット併用施工 表4.11 日当り施工本数 (N) (本/日)											現行どおり		
	形式 打込長 (m)	H200	H250	H300	H350	H400								
	2以下	60 (65)	55 (60)	50 (56)	43 (49)	38 (45)								
	4以下	35 (40)	30 (35)	26 (31)	20 (25)	18 (22)								
	6以下	25 (29)	21 (25)	17 (21)	13 (17)	11 (15)								
	8以下	19 (23)	16 (19)	13 (16)	10 (13)	8 (11)								
	10以下	16 (19)	13 (16)	11 (13)	8 (10)	7 (9)								
	13以下	13 (15)	10 (13)	8 (11)	6 (8)	5 (7)								
	16以下	10 (13)	8 (10)	7 (9)	5 (7)	4 (6)								
	20以下			6 (7)	4 (5)	3 (5)								
	22以下			5 (6)	4 (5)	3 (4)								
	25以下			4 (6)	3 (4)	3 (4)								
	※ 上段 : $50 \leq N_{max} \leq 80$ 下段 () 書き : $N_{max} < 50$ で、転石等により、やむを得ずウォータージェットを使用する必要が生じた場合。 (注) 継施工が必要な場合、施工本数 (N) は別途考慮する。													
	②	引抜き												
	表4.12 日当り施工本数 (N) (本/日)													
引抜長 (m)	2以下	4以下	6以下	8以下	10以下	13以下	16以下	20以下	22以下	25以下				
引抜数量 (本/日)	56	46	39	34	30	26	22	19	17	16				

土木工事標準歩掛の一部改定
仮橋・仮栈橋工

工種名	現 行			改 定																				
	<p>(4) 諸雑費</p> <p style="text-align: center;">表4.13 諸雑费率</p> <table border="1" data-bbox="280 336 1149 627"> <thead> <tr> <th data-bbox="280 336 539 411">施 工 区 分</th> <th colspan="2" data-bbox="539 336 864 411">バ イ プ ロ ハ ン マ 機 種・規 格</th> <th data-bbox="864 336 1149 411">諸 雑 費 率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="280 411 539 497" rowspan="2">パイプロハンマ単独打込</td> <td data-bbox="539 411 698 497" rowspan="2">電動式</td> <td data-bbox="698 411 864 453">60kW</td> <td data-bbox="864 411 1149 453">20</td> </tr> <tr> <td data-bbox="698 453 864 497">90kW</td> <td data-bbox="864 453 1149 497">27</td> </tr> <tr> <td data-bbox="280 497 539 584" rowspan="2">ウォータージェット併用打込</td> <td data-bbox="539 497 698 584" rowspan="2">電動式</td> <td data-bbox="698 497 864 539">60kW</td> <td data-bbox="864 497 1149 539">23 (25)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="698 539 864 584">90kW</td> <td data-bbox="864 539 1149 584">27 (30)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="280 584 539 627">引 抜 き</td> <td data-bbox="539 584 698 627">電動式</td> <td data-bbox="698 584 864 627">60kW</td> <td data-bbox="864 584 1149 627">20</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="302 638 1149 858">(注) 1. ウォータージェット併用打込における () 書きはNmax<50の場合で、転石等によりやむを得ずウォータージェットを使用する必要が生じた場合。 2. 電力に関する経費、現場内小運搬費用、電気溶接機運搬経費（パイプロハンマ施工時）、ウォータージェット併用施工用付属機器運転経費及び材料費（電力に関する経費、水中ポンプ及び電気溶接機運転経費、水槽及び配管損料、配管バンド及び溶接棒）等の費用であり、打込労務費、杭打機及びウォータージェット運転経費の合計に、上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p>			施 工 区 分	バ イ プ ロ ハ ン マ 機 種・規 格		諸 雑 費 率 (%)	パイプロハンマ単独打込	電動式	60kW	20	90kW	27	ウォータージェット併用打込	電動式	60kW	23 (25)	90kW	27 (30)	引 抜 き	電動式	60kW	20	<p data-bbox="1317 568 1402 592">現行どおり</p>
施 工 区 分	バ イ プ ロ ハ ン マ 機 種・規 格		諸 雑 費 率 (%)																					
パイプロハンマ単独打込	電動式	60kW	20																					
		90kW	27																					
ウォータージェット併用打込	電動式	60kW	23 (25)																					
		90kW	27 (30)																					
引 抜 き	電動式	60kW	20																					

土木工事標準歩掛の一部改定
仮橋・仮栈橋工

工種名	現 行	改 定																																												
	<p>4-2-2-2 杭橋脚設置・撤去工 杭橋脚設置・撤去工の歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.14 杭橋脚設置・撤去工歩掛 (10t当り)</p> <table border="1" data-bbox="280 371 1149 732"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="2">数 量</th> <th rowspan="2">摘 要</th> </tr> <tr> <th>設 置</th> <th>撤 去</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋 梁 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>2.1</td> <td>1.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>橋 梁 特 殊 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>3.9</td> <td>2.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>溶 接 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>3.2</td> <td>1.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>2.6</td> <td>1.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン 運 転</td> <td>〇〇t吊</td> <td>日</td> <td>1.9</td> <td>1.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>28</td> <td>2</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 杭橋脚設置に伴う本締めも含む。 2. 設置・撤去の対象質量は、設置・撤去すべき枕、ブラケット、つなぎ材等の質量で、高力ボルト及び杭の質量は含まない。 3. 諸雑費は、電気溶接機（エンジン付）、ガス切断器、酸素、アセチレン、ホース、ドリフトピン、仮締ボルト、インパクトレンチ、トルクレンチ、高力ボルト及び電力に関する経費等の費用であり、設置又は撤去工労務費の合計に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p>	名 称	規 格	単 位	数 量		摘 要	設 置	撤 去	橋 梁 世 話 役		人	2.1	1.2		橋 梁 特 殊 工		〃	3.9	2.3		溶 接 工		〃	3.2	1.6		普 通 作 業 員		〃	2.6	1.3		クローラクレーン 運 転	〇〇t吊	日	1.9	1.4		諸 雑 費 率		%	28	2		<p style="text-align: center;">現行どおり</p>
名 称	規 格				単 位	数 量		摘 要																																						
		設 置	撤 去																																											
橋 梁 世 話 役		人	2.1	1.2																																										
橋 梁 特 殊 工		〃	3.9	2.3																																										
溶 接 工		〃	3.2	1.6																																										
普 通 作 業 員		〃	2.6	1.3																																										
クローラクレーン 運 転	〇〇t吊	日	1.9	1.4																																										
諸 雑 費 率		%	28	2																																										

土木工事標準歩掛の一部改定
仮橋・仮栈橋工

工種名	現 行	改 定																																																																						
	<p>4-2-3 定規工（導杭・導枠） 杭橋脚（H鋼杭）を水中に打込む場合に計上することを標準とする。</p> <p>(1) 導杭打込・引抜工 導杭打込・引抜工は、4-2-2-1 杭橋脚打込・引抜工による。 導杭の規格は、H形鋼（300×300）とし、施工本数は、杭橋脚打込10本当たり8本で、打込長は杭橋脚打込長の50%とする。</p> <p>(2) 導枠設置・撤去工 導枠設置・撤去工の歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.15 導枠設置・撤去工歩掛 (杭橋脚打込10本当たり)</p> <table border="1" data-bbox="257 491 1171 767"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.45</td> <td></td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1.23</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.52</td> <td></td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン運</td> <td>〇〇t吊</td> <td>日</td> <td>0.65</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>10</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 諸雑費は、導杭、導枠に使用するH形鋼の賃料及びボルト等の費用であり、労務費の合計に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>5. 単 価 表 (1) 架設・撤去工10t当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="257 943 1171 1297"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋 梁 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>橋 梁 特 殊 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>溶 接 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン又はクローラクレーン賃料</td> <td>〇〇t吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>表3.1, 表4.1</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	0.45		と び 工		〃	1.23		普 通 作 業 員		〃	0.52		クローラクレーン運	〇〇t吊	日	0.65		諸 雑 費 率		%	10		名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	橋 梁 世 話 役		人		表4.1	橋 梁 特 殊 工		〃		〃	溶 接 工		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	ラフテレーンクレーン又はクローラクレーン賃料	〇〇t吊	日		表3.1, 表4.1	諸 雑 費		式	1	表4.1	計					<p style="text-align: center;">現行どおり</p>
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																				
世 話 役		人	0.45																																																																					
と び 工		〃	1.23																																																																					
普 通 作 業 員		〃	0.52																																																																					
クローラクレーン運	〇〇t吊	日	0.65																																																																					
諸 雑 費 率		%	10																																																																					
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																				
橋 梁 世 話 役		人		表4.1																																																																				
橋 梁 特 殊 工		〃		〃																																																																				
溶 接 工		〃		〃																																																																				
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																				
ラフテレーンクレーン又はクローラクレーン賃料	〇〇t吊	日		表3.1, 表4.1																																																																				
諸 雑 費		式	1	表4.1																																																																				
計																																																																								

土木工事標準歩掛の一部改定
仮橋・仮栈橋工

工種名	現 行					改 定																																								
	<p>(2) 覆工板設置・撤去工 100m²当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="259 268 1173 582"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.2</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン又はクローラクレーン賃料</td> <td>〇〇t吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>表3.1, 表4.2</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表4.2	と び 工		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	ラフテレーンクレーン又はクローラクレーン賃料	〇〇t吊	日		表3.1, 表4.2	諸 雑 費		式	1		計										
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																										
世 話 役		人		表4.2																																										
と び 工		〃		〃																																										
普 通 作 業 員		〃		〃																																										
ラフテレーンクレーン又はクローラクレーン賃料	〇〇t吊	日		表3.1, 表4.2																																										
諸 雑 費		式	1																																											
計																																														
	<p>(3) 高欄設置・撤去工 100m当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="259 635 1173 949"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.3</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>溶 接 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>必要に応じ計上 表4.3</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン又はクローラクレーン賃料</td> <td>〇〇t吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>必要に応じ計上表3.1, 表4.3</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>必要に応じ計上 表4.3</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表4.3	普 通 作 業 員		〃		〃	溶 接 工		〃		必要に応じ計上 表4.3	ラフテレーンクレーン又はクローラクレーン賃料	〇〇t吊	日		必要に応じ計上表3.1, 表4.3	諸 雑 費		式	1	必要に応じ計上 表4.3	計					<p>現行どおり</p>					
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																										
世 話 役		人		表4.3																																										
普 通 作 業 員		〃		〃																																										
溶 接 工		〃		必要に応じ計上 表4.3																																										
ラフテレーンクレーン又はクローラクレーン賃料	〇〇t吊	日		必要に応じ計上表3.1, 表4.3																																										
諸 雑 費		式	1	必要に応じ計上 表4.3																																										
計																																														
	<p>(4) 橋脚設置・撤去工 10t当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="259 986 1173 1337"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋 梁 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.4</td> </tr> <tr> <td>橋 梁 特 殊 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>溶 接 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン賃料</td> <td>〇〇t吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>表3.1, 表4.3</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表4.4</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	橋 梁 世 話 役		人		表4.4	橋 梁 特 殊 工		〃		〃	溶 接 工		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	ラフテレーンクレーン賃料	〇〇t吊	日		表3.1, 表4.3	諸 雑 費		式	1	表4.4	計					
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																										
橋 梁 世 話 役		人		表4.4																																										
橋 梁 特 殊 工		〃		〃																																										
溶 接 工		〃		〃																																										
普 通 作 業 員		〃		〃																																										
ラフテレーンクレーン賃料	〇〇t吊	日		表3.1, 表4.3																																										
諸 雑 費		式	1	表4.4																																										
計																																														

土木工事標準歩掛の一部改定
仮橋・仮栈橋工

工種名	現 行					改 定																																								
	<p>(5) 杭橋脚設置・撤去工 10 t 当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="259 268 1173 608"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋 梁 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.14</td> </tr> <tr> <td>橋 梁 特 殊 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>溶 接 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン賃料</td> <td>〇〇 t 吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>表3.1, 表4.14</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表4.14</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	橋 梁 世 話 役		人		表4.14	橋 梁 特 殊 工		〃		〃	溶 接 工		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	クローラクレーン賃料	〇〇 t 吊	日		表3.1, 表4.14	諸 雑 費		式	1	表4.14	計					
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																										
橋 梁 世 話 役		人		表4.14																																										
橋 梁 特 殊 工		〃		〃																																										
溶 接 工		〃		〃																																										
普 通 作 業 員		〃		〃																																										
クローラクレーン賃料	〇〇 t 吊	日		表3.1, 表4.14																																										
諸 雑 費		式	1	表4.14																																										
計																																														
	<p>(6) 導枠設置・撤去工 杭橋脚打込10本当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="259 651 1173 944"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.15</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン賃料</td> <td>〇〇 t 吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>表3.1, 表4.15</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表4.15</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表4.15	と び 工		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	クローラクレーン賃料	〇〇 t 吊	日		表3.1, 表4.15	諸 雑 費		式	1	表4.15	計					<p>現行どおり</p>					
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																										
世 話 役		人		表4.15																																										
と び 工		〃		〃																																										
普 通 作 業 員		〃		〃																																										
クローラクレーン賃料	〇〇 t 吊	日		表3.1, 表4.15																																										
諸 雑 費		式	1	表4.15																																										
計																																														
	<p>(7) パイプロハンマ施工によるH形鋼の打込み又は引抜き10本当り単価表 (H形鋼打込み, 又は引抜き長〇〇m)</p> <table border="1" data-bbox="259 1050 1173 1390"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>$\frac{10}{N} \times 1$</td> <td>※表4.9 表4.10~4.12</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>$\frac{10}{N} \times 2$</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>$\frac{10}{N} \times 1$</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>パイプロハンマ杭 打 機 運 転</td> <td></td> <td>日</td> <td>$\frac{10}{N}$</td> <td>※表4.5, 4.8 〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表4.13</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	$\frac{10}{N} \times 1$	※表4.9 表4.10~4.12	と び 工		〃	$\frac{10}{N} \times 2$	〃	普 通 作 業 員		〃	$\frac{10}{N} \times 1$	〃	パイプロハンマ杭 打 機 運 転		日	$\frac{10}{N}$	※表4.5, 4.8 〃	諸 雑 費		式	1	表4.13	計										
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																										
世 話 役		人	$\frac{10}{N} \times 1$	※表4.9 表4.10~4.12																																										
と び 工		〃	$\frac{10}{N} \times 2$	〃																																										
普 通 作 業 員		〃	$\frac{10}{N} \times 1$	〃																																										
パイプロハンマ杭 打 機 運 転		日	$\frac{10}{N}$	※表4.5, 4.8 〃																																										
諸 雑 費		式	1	表4.13																																										
計																																														
	<p>(注) N : 日当り施工本数 [本/日]</p>																																													

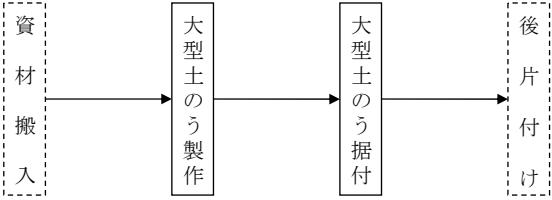
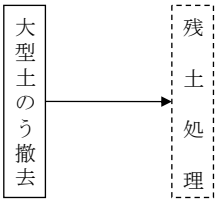
土木工事標準歩掛の一部改定
仮橋・仮栈橋工

工種名	現 行					改 定																																													
	<p>(8) パイプロハンマとウォータージェット併用施工によるH形鋼の打込み10本当り単価表 (H形鋼打込長〇〇m)</p> <table border="1" data-bbox="255 336 1171 858"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>$\frac{10}{N} \times 1$</td> <td>※表4.9 表4.10~4.12</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>$\frac{10}{N} \times 2$</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>$\frac{10}{N} \times 1$</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>$\frac{10}{N} \times 1$</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>パイプロハンマ 杭打機運転</td> <td></td> <td>日</td> <td>$\frac{10}{N}$</td> <td>※表4.5, 4.8 〃</td> </tr> <tr> <td>ウォータージェット運転</td> <td>エンジン式 排出ガス対策型 (第1次基準値) 14.7MPa 325 ℓ/min</td> <td>〃</td> <td>$\frac{10}{N} \times$台数</td> <td>※表4.5 〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表4.13</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) N : 日当り施工本数 [本/日]</p>					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	$\frac{10}{N} \times 1$	※表4.9 表4.10~4.12	と び 工		〃	$\frac{10}{N} \times 2$	〃	特 殊 作 業 員		〃	$\frac{10}{N} \times 1$	〃	普 通 作 業 員		〃	$\frac{10}{N} \times 1$	〃	パイプロハンマ 杭打機運転		日	$\frac{10}{N}$	※表4.5, 4.8 〃	ウォータージェット運転	エンジン式 排出ガス対策型 (第1次基準値) 14.7MPa 325 ℓ/min	〃	$\frac{10}{N} \times$ 台数	※表4.5 〃	諸 雑 費		式	1	表4.13	計					<p>現行どおり</p>
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																															
世 話 役		人	$\frac{10}{N} \times 1$	※表4.9 表4.10~4.12																																															
と び 工		〃	$\frac{10}{N} \times 2$	〃																																															
特 殊 作 業 員		〃	$\frac{10}{N} \times 1$	〃																																															
普 通 作 業 員		〃	$\frac{10}{N} \times 1$	〃																																															
パイプロハンマ 杭打機運転		日	$\frac{10}{N}$	※表4.5, 4.8 〃																																															
ウォータージェット運転	エンジン式 排出ガス対策型 (第1次基準値) 14.7MPa 325 ℓ/min	〃	$\frac{10}{N} \times$ 台数	※表4.5 〃																																															
諸 雑 費		式	1	表4.13																																															
計																																																			

土木工事標準歩掛の一部改定
仮橋・仮栈橋工

工種名	現 行				改 定																																			
	<p>(9) 機械運転単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="257 293 488 336">機 械 名</th> <th data-bbox="488 293 698 336">規 格</th> <th data-bbox="698 293 808 336">適用単価表</th> <th data-bbox="808 293 1169 336">指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="257 336 488 619">クローラクレーン</td> <td data-bbox="488 336 698 619">油圧駆動式 ウインチ・ラチスジブ型 35 t吊 40 t吊 50 t吊 55 t吊 65 t吊 80 t吊 100 t吊 150 t吊</td> <td data-bbox="698 336 808 619">機-27</td> <td data-bbox="808 336 1169 619">燃料消費量 35 t→80 40 t→80 50 t→96 55 t→96 65 t→120 80 t→120 100 t→144 150 t→160 賃料数量 → 1.0</td> </tr> <tr> <td data-bbox="257 619 488 927">電動式 パイプロハンマ杭打機</td> <td data-bbox="488 619 698 927">60kW 90kW</td> <td data-bbox="698 619 808 927">機-20</td> <td data-bbox="808 619 1169 927">運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 74 機械損料 1→パイプロハンマ(単体) 電動式・普通型 60kW, 90kW 機械損料数量→ 1.20 機械損料 2→クローラクレーン (油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型) 50~55 t吊 機械損料数量→ 1.20</td> </tr> <tr> <td data-bbox="257 927 488 1015">杭打用 ウォータージェット</td> <td data-bbox="488 927 698 1015">ポンプ圧力 14.7MPa 吐出量325ℓ/min</td> <td data-bbox="698 927 808 1015">機-24</td> <td data-bbox="808 927 1169 1015">燃料消費量→118 機械損料数量→ 1.20</td> </tr> </tbody> </table>				機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	クローラクレーン	油圧駆動式 ウインチ・ラチスジブ型 35 t吊 40 t吊 50 t吊 55 t吊 65 t吊 80 t吊 100 t吊 150 t吊	機-27	燃料消費量 35 t→80 40 t→80 50 t→96 55 t→96 65 t→120 80 t→120 100 t→144 150 t→160 賃料数量 → 1.0	電動式 パイプロハンマ杭打機	60kW 90kW	機-20	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 74 機械損料 1→パイプロハンマ(単体) 電動式・普通型 60kW, 90kW 機械損料数量→ 1.20 機械損料 2→クローラクレーン (油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型) 50~55 t吊 機械損料数量→ 1.20	杭打用 ウォータージェット	ポンプ圧力 14.7MPa 吐出量325ℓ/min	機-24	燃料消費量→118 機械損料数量→ 1.20	<p>(9) 機械運転単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1223 252 1424 295">機 械 名</th> <th data-bbox="1424 252 1637 295">規 格</th> <th data-bbox="1637 252 1753 295">適用単価表</th> <th data-bbox="1753 252 2092 295">指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1223 295 1424 630">クローラクレーン</td> <td data-bbox="1424 295 1637 630">油圧駆動式 排出ガス対策型 (第1次基準値) ウインチ・ラチスジブ型 35 t吊 40 t吊 50 t吊 55 t吊 65 t吊 80 t吊 100 t吊 150 t吊</td> <td data-bbox="1637 295 1753 630">機-27</td> <td data-bbox="1753 295 2092 630">燃料消費量 35 t→80 40 t→80 50 t→96 55 t→96 65 t→112 80 t→120 100 t→128 150 t→168 賃料数量 → 1.0</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1223 630 1424 933">電動式 パイプロハンマ杭打機</td> <td data-bbox="1424 630 1637 933">60kW 90kW</td> <td data-bbox="1637 630 1753 933">機-20</td> <td data-bbox="1753 630 2092 933">運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 74 機械損料 1→パイプロハンマ(単体) 電動式・普通型 60kW, 90kW 機械損料数量→ 1.20 機械損料 2→クローラクレーン (油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型) 50~55 t吊 機械損料数量→ 1.20</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1223 933 1424 1015">杭打用 ウォータージェット</td> <td data-bbox="1424 933 1637 1015">ポンプ圧力 14.7MPa 吐出量325ℓ/min</td> <td data-bbox="1637 933 1753 1015">機-24</td> <td data-bbox="1753 933 2092 1015">燃料消費量→118 機械損料数量→1.20</td> </tr> </tbody> </table>				機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	クローラクレーン	油圧駆動式 排出ガス対策型 (第1次基準値) ウインチ・ラチスジブ型 35 t吊 40 t吊 50 t吊 55 t吊 65 t吊 80 t吊 100 t吊 150 t吊	機-27	燃料消費量 35 t→80 40 t→80 50 t→96 55 t→96 65 t→112 80 t→120 100 t→128 150 t→168 賃料数量 → 1.0	電動式 パイプロハンマ杭打機	60kW 90kW	機-20	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 74 機械損料 1→パイプロハンマ(単体) 電動式・普通型 60kW, 90kW 機械損料数量→ 1.20 機械損料 2→クローラクレーン (油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型) 50~55 t吊 機械損料数量→ 1.20	杭打用 ウォータージェット	ポンプ圧力 14.7MPa 吐出量325ℓ/min	機-24	燃料消費量→118 機械損料数量→1.20
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																					
クローラクレーン	油圧駆動式 ウインチ・ラチスジブ型 35 t吊 40 t吊 50 t吊 55 t吊 65 t吊 80 t吊 100 t吊 150 t吊	機-27	燃料消費量 35 t→80 40 t→80 50 t→96 55 t→96 65 t→120 80 t→120 100 t→144 150 t→160 賃料数量 → 1.0																																					
電動式 パイプロハンマ杭打機	60kW 90kW	機-20	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 74 機械損料 1→パイプロハンマ(単体) 電動式・普通型 60kW, 90kW 機械損料数量→ 1.20 機械損料 2→クローラクレーン (油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型) 50~55 t吊 機械損料数量→ 1.20																																					
杭打用 ウォータージェット	ポンプ圧力 14.7MPa 吐出量325ℓ/min	機-24	燃料消費量→118 機械損料数量→ 1.20																																					
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																					
クローラクレーン	油圧駆動式 排出ガス対策型 (第1次基準値) ウインチ・ラチスジブ型 35 t吊 40 t吊 50 t吊 55 t吊 65 t吊 80 t吊 100 t吊 150 t吊	機-27	燃料消費量 35 t→80 40 t→80 50 t→96 55 t→96 65 t→112 80 t→120 100 t→128 150 t→168 賃料数量 → 1.0																																					
電動式 パイプロハンマ杭打機	60kW 90kW	機-20	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 74 機械損料 1→パイプロハンマ(単体) 電動式・普通型 60kW, 90kW 機械損料数量→ 1.20 機械損料 2→クローラクレーン (油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型) 50~55 t吊 機械損料数量→ 1.20																																					
杭打用 ウォータージェット	ポンプ圧力 14.7MPa 吐出量325ℓ/min	機-24	燃料消費量→118 機械損料数量→1.20																																					

土木工事標準歩掛の一部改定
大型土のう工

工種名	現 行	改 定																																																						
仮設工 大型土のう工	<p>大型土のう工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、大型土のうの製作・据付、撤去に適用する。 なお、大型土のうの袋材は容量1m³を標準とする。</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <p>①製作・据付</p>  <p>②撤去</p>  <p>(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。</p> <p>3. 機種の選定 機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 機種の選定</p> <table border="1" data-bbox="302 1093 1176 1444"> <thead> <tr> <th>作業種別</th> <th>作業半径</th> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>製 作</td> <td>—</td> <td>バ ッ ク ホ ウ</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型 クレーン機能付2.9t吊 山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>台</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">据付・撤去</td> <td>6m以下</td> <td>バ ッ ク ホ ウ</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型 クレーン機能付2.9t吊 山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6mを超え 20m以下</td> <td>ラフテレーンクレーン</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25t吊</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. ラフテレーンクレーンは、賃料とする。 2. 現場条件により、上記により難しい場合は、別途考慮する。</p>	作業種別	作業半径	機 械 名	規 格	単位	数量	摘要	製 作	—	バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型 クレーン機能付2.9t吊 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	台	1		据付・撤去	6m以下	バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型 クレーン機能付2.9t吊 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	〃	1		6mを超え 20m以下	ラフテレーンクレーン	排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25t吊	〃	1		<p>現行どおり</p> <p>3. 機種の選定 機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 機種の選定</p> <table border="1" data-bbox="1265 1093 2116 1444"> <thead> <tr> <th>作業種別</th> <th>作業半径</th> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>製 作</td> <td>—</td> <td>バ ッ ク ホ ウ</td> <td>排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型 クレーン機能付2.9t吊 山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>台</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">据付・撤去</td> <td>6m以下</td> <td>バ ッ ク ホ ウ</td> <td>排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型 クレーン機能付2.9t吊 山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6mを超え 20m以下</td> <td>ラフテレーンクレーン</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25t吊</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. バックホウ及びラフテレーンクレーンは、賃料とする。 2. 現場条件により、上記により難しい場合は、別途考慮する。</p>	作業種別	作業半径	機 械 名	規 格	単位	数量	摘要	製 作	—	バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型 クレーン機能付2.9t吊 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	台	1		据付・撤去	6m以下	バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型 クレーン機能付2.9t吊 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	〃	1		6mを超え 20m以下	ラフテレーンクレーン	排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25t吊	〃	1	
作業種別	作業半径	機 械 名	規 格	単位	数量	摘要																																																		
製 作	—	バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型 クレーン機能付2.9t吊 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	台	1																																																			
据付・撤去	6m以下	バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型 クレーン機能付2.9t吊 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	〃	1																																																			
	6mを超え 20m以下	ラフテレーンクレーン	排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25t吊	〃	1																																																			
作業種別	作業半径	機 械 名	規 格	単位	数量	摘要																																																		
製 作	—	バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型 クレーン機能付2.9t吊 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	台	1																																																			
据付・撤去	6m以下	バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型 クレーン機能付2.9t吊 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	〃	1																																																			
	6mを超え 20m以下	ラフテレーンクレーン	排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25t吊	〃	1																																																			

土木工事標準歩掛の一部改定
大型土のう工

工種名	現 行	改 定																														
	<p>4. 製作・据付歩掛</p> <p>4-1 編成人員 製作から据付までの一連の日当り編成人員は次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.1 日当り編成人員 (人)</p> <table border="1" data-bbox="349 370 1081 456"> <thead> <tr> <th>世話役</th> <th>特殊作業員</th> <th>普通作業員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、横取り作業（12mまで：製作現場～仮置場）を含む。 2. 製作現場と据付現場が異なる場合は、積込・荷卸・運搬等必要な費用を別途計上する。</p> <p>4-2 日当り施工量 日当り施工量は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.2 日当り施工量</p> <table border="1" data-bbox="349 683 1081 769"> <thead> <tr> <th>工 種</th> <th>単 位</th> <th>施 工 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>製 作 ・ 据 付</td> <td>袋</td> <td>36 (52)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) ラフテレーンクレーンを使用する場合は、()内を使用する。</p> <p>4-3 諸雑費 諸雑費は、製作枠等の費用であり、労務費に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表4.3 諸 雑 費 率 (%)</p> <table border="1" data-bbox="349 941 1081 983"> <tbody> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>4 (6)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) ラフテレーンクレーンを使用する場合は、()内を使用する。</p> <p>5. 施 工 歩 掛</p> <p>5-1 編成人員 製作、据付、撤去作業を単独で行う場合の日当り編成人員は次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.1 日当り編成人員 (人)</p> <table border="1" data-bbox="322 1206 1108 1385"> <thead> <tr> <th>作 業 種 別</th> <th>世 話 役</th> <th>特殊作業員</th> <th>普通作業員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>製 作</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>据 付</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>撤 去</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	世話役	特殊作業員	普通作業員	1	1	1	工 種	単 位	施 工 量	製 作 ・ 据 付	袋	36 (52)	諸 雑 費 率	4 (6)	作 業 種 別	世 話 役	特殊作業員	普通作業員	製 作	1	1	1	据 付	1	1	1	撤 去	1	1	—	<p style="text-align: center;">現行どおり</p>
世話役	特殊作業員	普通作業員																														
1	1	1																														
工 種	単 位	施 工 量																														
製 作 ・ 据 付	袋	36 (52)																														
諸 雑 費 率	4 (6)																															
作 業 種 別	世 話 役	特殊作業員	普通作業員																													
製 作	1	1	1																													
据 付	1	1	1																													
撤 去	1	1	—																													

土木工事標準歩掛の一部改定
大型土のう工

工種名	現 行	改 定																																																																																														
	<p>(注) 1. 製作には、横取り作業（12mまで：製作現場～仮置場）を含む。 2. 製作現場と据付現場が異なる場合は、積込・荷卸・運搬等必要な費用を別途計上する。 3. 撤去には、中詰材排出を含む。</p> <p>5-2 日当り施工量 日当り施工量は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.2 日当り施工量</p> <table border="1" data-bbox="324 466 1108 638"> <thead> <tr> <th>作業種別</th> <th>単位</th> <th>施工量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>製作</td> <td>袋</td> <td>62</td> </tr> <tr> <td>据付</td> <td>〃</td> <td>86 (80)</td> </tr> <tr> <td>撤去</td> <td>〃</td> <td>169 (158)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. ラフテレーンクレーンを使用する場合は、()内を使用する。 2. 袋材の処分費及び残土処理費が必要な場合は、別途計上する。</p> <p>5-3 諸雑費 諸雑費は、製作等々の費用であり、製作の労務費に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表5.3 諸雑費率 (%)</p> <table border="1" data-bbox="347 833 1079 874"> <tbody> <tr> <td>諸雑費率(製作)</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table> <p>6. 単 価 表 (1) 大型土のう製作・据付10袋当り単価表 (バックホウ据付)</p> <table border="1" data-bbox="257 965 1169 1359"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1×10/D</td> <td>表4.1, 表4.2</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1×10/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1×10/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>大型土のう</td> <td>容量1m³</td> <td>袋</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>土砂</td> <td></td> <td>m³</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型 クレーン機能付2.9t吊 山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>日</td> <td>10/D</td> <td>表4.2</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表4.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D：日当り施工量</p>	作業種別	単位	施工量	製作	袋	62	据付	〃	86 (80)	撤去	〃	169 (158)	諸雑費率(製作)	7	名称	規格	単位	数量	摘要	世話役		人	1×10/D	表4.1, 表4.2	特殊作業員		〃	1×10/D	〃	普通作業員		〃	1×10/D	〃	大型土のう	容量1m ³	袋	10		土砂		m ³	10		バックホウ運転	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型 クレーン機能付2.9t吊 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	日	10/D	表4.2	諸雑費		式	1	表4.3	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>6. 単 価 表 (1) 大型土のう製作・据付10袋当り単価表 (バックホウ据付)</p> <table border="1" data-bbox="1205 954 2116 1348"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1×10/D</td> <td>表4.1, 表4.2</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1×10/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1×10/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>大型土のう</td> <td>容量1m³</td> <td>袋</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>土砂</td> <td></td> <td>m³</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 クレーン機能付2.9t吊 山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>日</td> <td>10/D</td> <td>表4.2</td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表4.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D：日当り施工量</p>	名称	規格	単位	数量	摘要	世話役		人	1×10/D	表4.1, 表4.2	特殊作業員		〃	1×10/D	〃	普通作業員		〃	1×10/D	〃	大型土のう	容量1m ³	袋	10		土砂		m ³	10		バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 クレーン機能付2.9t吊 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	日	10/D	表4.2	諸雑費		式	1	表4.3
作業種別	単位	施工量																																																																																														
製作	袋	62																																																																																														
据付	〃	86 (80)																																																																																														
撤去	〃	169 (158)																																																																																														
諸雑費率(製作)	7																																																																																															
名称	規格	単位	数量	摘要																																																																																												
世話役		人	1×10/D	表4.1, 表4.2																																																																																												
特殊作業員		〃	1×10/D	〃																																																																																												
普通作業員		〃	1×10/D	〃																																																																																												
大型土のう	容量1m ³	袋	10																																																																																													
土砂		m ³	10																																																																																													
バックホウ運転	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型 クレーン機能付2.9t吊 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	日	10/D	表4.2																																																																																												
諸雑費		式	1	表4.3																																																																																												
名称	規格	単位	数量	摘要																																																																																												
世話役		人	1×10/D	表4.1, 表4.2																																																																																												
特殊作業員		〃	1×10/D	〃																																																																																												
普通作業員		〃	1×10/D	〃																																																																																												
大型土のう	容量1m ³	袋	10																																																																																													
土砂		m ³	10																																																																																													
バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 クレーン機能付2.9t吊 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	日	10/D	表4.2																																																																																												
諸雑費		式	1	表4.3																																																																																												

土木工事標準歩掛の一部改定
大型土のう工

工種名	現 行					改 定				
	(2) 大型土のう製作・据付 10袋当り単価表 (ラフテレーンクレーン据付)					(2) 大型土のう製作・据付 10袋当り単価表 (ラフテレーンクレーン据付)				
	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
	世 話 役		人	1×10/D	表4.1, 表4.2	世 話 役		人	1×10/D	表4.1, 表4.2
	特殊作業員		〃	1×10/D	〃	特殊作業員		〃	1×10/D	〃
	普通作業員		〃	1×10/D	〃	普通作業員		〃	1×10/D	〃
	大型土のう	容量1m ³	袋	10		大型土のう	容量1m ³	袋	10	
	土 砂		m ³	10		土 砂		m ³	10	
	バックホウ運転	排出ガス対策型(第1次基準値)クローラ型クレーン機能付 2.9t吊 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	日	10/D	表4.2	バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準値)クローラ型クレーン機能付 2.9t吊 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	日	10/D	表4.2
	ラフテレーンクレーン賃料	排出ガス対策型(第1次基準値)油圧伸縮ジブ型 25t吊	〃	10/D	〃	ラフテレーンクレーン賃料	排出ガス対策型(第1次基準値)油圧伸縮ジブ型 25t吊	〃	10/D	〃
	諸 雑 費		式	1	表4.3	諸 雑 費		式	1	表4.3
	(注) D:日当り施工量					(注) D:日当り施工量				
	(3) 大型土のう製作 10袋当り単価表					(3) 大型土のう製作 10袋当り単価表				
	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
	世 話 役		人	1×10/D	表5.1, 表5.2	世 話 役		人	1×10/D	表5.1, 表5.2
	特殊作業員		〃	1×10/D	〃	特殊作業員		〃	1×10/D	〃
	普通作業員		〃	1×10/D	〃	普通作業員		〃	1×10/D	〃
	大型土のう	容量1m ³	袋	10		大型土のう	容量1m ³	袋	10	
	土 砂		m ³	10		土 砂		m ³	10	
	バックホウ運転	排出ガス対策型(第1次基準値)クローラ型クレーン機能付2.9t吊 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	日	10/D	表5.2	バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準値)クローラ型クレーン機能付2.9t吊 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	日	10/D	表5.2
	諸 雑 費		式	1	表5.3	諸 雑 費		式	1	表5.3
(注) D:日当り施工量					(注) D:日当り施工量					

土木工事標準歩掛の一部改定
大型土のう工

工種名	現 行	改 定																																																																																																																																		
	<p>(4) 大型土のう掘付 10袋当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1×10/D</td> <td>表5.1, 表5.2</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1×10/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1×10/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型 クレーン機能付2.9t吊 山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>日</td> <td>10/D</td> <td>表5.2 作業半径6m以下の場合</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン賃料</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25t吊</td> <td>〃</td> <td>10/D</td> <td>表5.2 作業半径6mを超え20m以下の場合</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D:日当り施工量</p> <p>(5) 大型土のう撤去 10袋当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1×10/D</td> <td>表5.1, 表5.2</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1×10/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型 クレーン機能付2.9t吊 山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>日</td> <td>10/D</td> <td>表5.2 作業半径6m以下の場合</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン賃料</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25t吊</td> <td>〃</td> <td>10/D</td> <td>表5.2 作業半径6mを超え20m以下の場合</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D:日当り施工量</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	1×10/D	表5.1, 表5.2	特 殊 作 業 員		〃	1×10/D	〃	普 通 作 業 員		〃	1×10/D	〃	バックホウ運転	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型 クレーン機能付2.9t吊 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	日	10/D	表5.2 作業半径6m以下の場合	ラフテレーンクレーン賃料	排出ガス対策型(第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25t吊	〃	10/D	表5.2 作業半径6mを超え20m以下の場合	諸 雑 費		式	1		名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	1×10/D	表5.1, 表5.2	特 殊 作 業 員		〃	1×10/D	〃	バックホウ運転	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型 クレーン機能付2.9t吊 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	日	10/D	表5.2 作業半径6m以下の場合	ラフテレーンクレーン賃料	排出ガス対策型(第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25t吊	〃	10/D	表5.2 作業半径6mを超え20m以下の場合	諸 雑 費		式	1		<p>(4) 大型土のう掘付 10袋当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1×10/D</td> <td>表5.1, 表5.2</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1×10/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1×10/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 クレーン機能付2.9t吊 山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>日</td> <td>10/D</td> <td>表5.2 作業半径6m以下の場合</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン賃料</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25t吊</td> <td>〃</td> <td>10/D</td> <td>表5.2 作業半径6mを超え20m以下の場合</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D:日当り施工量</p> <p>(5) 大型土のう撤去 10袋当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1×10/D</td> <td>表5.1, 表5.2</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1×10/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 クレーン機能付2.9t吊 山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>日</td> <td>10/D</td> <td>表5.2 作業半径6m以下の場合</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン賃料</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25t吊</td> <td>〃</td> <td>10/D</td> <td>表5.2 作業半径6mを超え20m以下の場合</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D:日当り施工量</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	1×10/D	表5.1, 表5.2	特 殊 作 業 員		〃	1×10/D	〃	普 通 作 業 員		〃	1×10/D	〃	バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 クレーン機能付2.9t吊 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	日	10/D	表5.2 作業半径6m以下の場合	ラフテレーンクレーン賃料	排出ガス対策型(第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25t吊	〃	10/D	表5.2 作業半径6mを超え20m以下の場合	諸 雑 費		式	1		名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	1×10/D	表5.1, 表5.2	特 殊 作 業 員		〃	1×10/D	〃	バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 クレーン機能付2.9t吊 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	日	10/D	表5.2 作業半径6m以下の場合	ラフテレーンクレーン賃料	排出ガス対策型(第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25t吊	〃	10/D	表5.2 作業半径6mを超え20m以下の場合	諸 雑 費		式	1	
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																
世 話 役		人	1×10/D	表5.1, 表5.2																																																																																																																																
特 殊 作 業 員		〃	1×10/D	〃																																																																																																																																
普 通 作 業 員		〃	1×10/D	〃																																																																																																																																
バックホウ運転	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型 クレーン機能付2.9t吊 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	日	10/D	表5.2 作業半径6m以下の場合																																																																																																																																
ラフテレーンクレーン賃料	排出ガス対策型(第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25t吊	〃	10/D	表5.2 作業半径6mを超え20m以下の場合																																																																																																																																
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																	
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																
世 話 役		人	1×10/D	表5.1, 表5.2																																																																																																																																
特 殊 作 業 員		〃	1×10/D	〃																																																																																																																																
バックホウ運転	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型 クレーン機能付2.9t吊 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	日	10/D	表5.2 作業半径6m以下の場合																																																																																																																																
ラフテレーンクレーン賃料	排出ガス対策型(第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25t吊	〃	10/D	表5.2 作業半径6mを超え20m以下の場合																																																																																																																																
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																	
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																
世 話 役		人	1×10/D	表5.1, 表5.2																																																																																																																																
特 殊 作 業 員		〃	1×10/D	〃																																																																																																																																
普 通 作 業 員		〃	1×10/D	〃																																																																																																																																
バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 クレーン機能付2.9t吊 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	日	10/D	表5.2 作業半径6m以下の場合																																																																																																																																
ラフテレーンクレーン賃料	排出ガス対策型(第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25t吊	〃	10/D	表5.2 作業半径6mを超え20m以下の場合																																																																																																																																
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																	
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																
世 話 役		人	1×10/D	表5.1, 表5.2																																																																																																																																
特 殊 作 業 員		〃	1×10/D	〃																																																																																																																																
バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 クレーン機能付2.9t吊 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	日	10/D	表5.2 作業半径6m以下の場合																																																																																																																																
ラフテレーンクレーン賃料	排出ガス対策型(第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25t吊	〃	10/D	表5.2 作業半径6mを超え20m以下の場合																																																																																																																																
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																	

土木工事標準歩掛の一部改定
大型土のう工

工種名	現 行				改 定																			
	(6) 機械運搬単価表 <table border="1" data-bbox="257 252 1169 812"> <thead> <tr> <th data-bbox="257 252 430 296">機 械 名</th> <th data-bbox="430 252 723 296">規 格</th> <th data-bbox="723 252 846 296">適用単価表</th> <th data-bbox="846 252 1169 296">指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="257 296 430 812">バックホウ</td> <td data-bbox="430 296 723 812">排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型 クレーン機能付2.9t吊 山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td data-bbox="723 296 846 812">機-18</td> <td data-bbox="846 296 1169 812"> 【製作・据付】 (バックホウによる据付) 運転労務数量→1.00 燃料消費量→110 機械損料数量→1.39 【製作・据付】 (ラフテレーンクレーンによる据付) 運転労務数量→1.00 燃料消費量→126 機械損料数量→1.44 【製作】 運転労務数量→1.00 燃料消費量→126 機械損料数量→1.44 【据付】 運転労務数量→1.00 燃料消費量→99 機械損料数量→1.36 【撤去】 運転労務数量→1.00 燃料消費量→83 機械損料数量→1.26 </td> </tr> </tbody> </table>				機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	バックホウ	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型 クレーン機能付2.9t吊 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	機-18	【製作・据付】 (バックホウによる据付) 運転労務数量→1.00 燃料消費量→110 機械損料数量→1.39 【製作・据付】 (ラフテレーンクレーンによる据付) 運転労務数量→1.00 燃料消費量→126 機械損料数量→1.44 【製作】 運転労務数量→1.00 燃料消費量→126 機械損料数量→1.44 【据付】 運転労務数量→1.00 燃料消費量→99 機械損料数量→1.36 【撤去】 運転労務数量→1.00 燃料消費量→83 機械損料数量→1.26	(6) 機械運搬単価表 <table border="1" data-bbox="1200 252 2112 812"> <thead> <tr> <th data-bbox="1200 252 1373 296">機 械 名</th> <th data-bbox="1373 252 1666 296">規 格</th> <th data-bbox="1666 252 1789 296">適用単価表</th> <th data-bbox="1789 252 2112 296">指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1200 296 1373 812">バックホウ</td> <td data-bbox="1373 296 1666 812">排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 クレーン機能付2.9t吊 山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td data-bbox="1666 296 1789 812">機-28</td> <td data-bbox="1789 296 2112 812"> 【製作・据付】 (バックホウによる据付) 運転労務数量→1.00 燃料消費量→110 質料数量→1.39 【製作・据付】 (ラフテレーンクレーンによる据付) 運転労務数量→1.00 燃料消費量→126 質料数量→1.44 【製作】 運転労務数量→1.00 燃料消費量→126 質料数量→1.44 【据付】 運転労務数量→1.00 燃料消費量→99 質料数量→1.36 【撤去】 運転労務数量→1.00 燃料消費量→83 質料数量→1.26 </td> </tr> </tbody> </table>				機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	バックホウ	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 クレーン機能付2.9t吊 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	機-28	【製作・据付】 (バックホウによる据付) 運転労務数量→1.00 燃料消費量→110 質料数量→1.39 【製作・据付】 (ラフテレーンクレーンによる据付) 運転労務数量→1.00 燃料消費量→126 質料数量→1.44 【製作】 運転労務数量→1.00 燃料消費量→126 質料数量→1.44 【据付】 運転労務数量→1.00 燃料消費量→99 質料数量→1.36 【撤去】 運転労務数量→1.00 燃料消費量→83 質料数量→1.26
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																					
バックホウ	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型 クレーン機能付2.9t吊 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	機-18	【製作・据付】 (バックホウによる据付) 運転労務数量→1.00 燃料消費量→110 機械損料数量→1.39 【製作・据付】 (ラフテレーンクレーンによる据付) 運転労務数量→1.00 燃料消費量→126 機械損料数量→1.44 【製作】 運転労務数量→1.00 燃料消費量→126 機械損料数量→1.44 【据付】 運転労務数量→1.00 燃料消費量→99 機械損料数量→1.36 【撤去】 運転労務数量→1.00 燃料消費量→83 機械損料数量→1.26																					
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																					
バックホウ	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 クレーン機能付2.9t吊 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	機-28	【製作・据付】 (バックホウによる据付) 運転労務数量→1.00 燃料消費量→110 質料数量→1.39 【製作・据付】 (ラフテレーンクレーンによる据付) 運転労務数量→1.00 燃料消費量→126 質料数量→1.44 【製作】 運転労務数量→1.00 燃料消費量→126 質料数量→1.44 【据付】 運転労務数量→1.00 燃料消費量→99 質料数量→1.36 【撤去】 運転労務数量→1.00 燃料消費量→83 質料数量→1.26																					

土木工事標準歩掛の一部改定
伐木除根工

工種名	現 行	改 定
伐木除根工	<p style="text-align: center;">④ 伐木除根工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、河川堤防、高水敷又は中州等に繁茂している樹木の伐木又は竹の伐竹を行う伐木除根工のうち、伐木又は伐竹、除根、整地、集積、現場内小運搬、積込み、現場外搬出に適用する。</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <div style="text-align: center;"> <pre> graph TD A[伐木(粗), 伐木(密), 又は伐竹] --> B{除根作業} B -- 有 --> C[除根] C --> D[整地] D --> E[集積(機械施工)] E --> F[現場外搬出] B -- 無 --> G[集積(機械施工)] G --> H[現場外搬出] B -- 無 --> I["(注)"] I --> J[集積(人力施工)] J --> K[積込み(人力施工)] K --> L[現場外搬出] </pre> <p style="text-align: center;">I II III</p> </div> <p>(注) 1. 除根作業が無い場合の集積の機械施工と人力施工の選定は、集積機械であるバックホウが現地に入れるか否かで決定するものとする。 2. 集積(機械施工)には、現場内小運搬、積込作業を含む。 3. 集積(人力施工)には、現場内小運搬を含む。</p>	<p style="text-align: center;">現行どおり</p>

土木工事標準歩掛の一部改定
伐木除根工

工種名	現 行	改 定																																			
	<p>3. 施 工 歩 掛</p> <p>3-1 伐木 伐木作業の歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 伐木作業歩掛 (1,000m²当り)</p> <table border="1" data-bbox="293 395 1137 608"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>粗</th> <th>密</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td>人</td> <td>0.75</td> <td>0.96</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td>〃</td> <td>2.2</td> <td>3.3</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>〃</td> <td>0.15</td> <td>0.71</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>%</td> <td>9</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上記歩掛は、除草(下草刈)を含む。 2. 刈草及び伐木の集積は含まない。 3. 伐木を運搬可能な大きさに切断する作業を含む。 4. 諸雑費は、草刈機(肩掛式)、チェーンソーの運転経費、損耗費であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 5. 粗とは、概ね50(本/100m²)未満とする。 6. 密とは、概ね50(本/100m²)以上とする。</p> <p>3-2 伐竹 伐竹作業の歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 伐竹作業歩掛 (1,000m²当り)</p> <table border="1" data-bbox="293 959 1137 1123"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td>人</td> <td>1.6</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td>〃</td> <td>3.4</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>〃</td> <td>0.63</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>%</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上記歩掛は、除草(下草刈)を含む。 2. 刈草及び伐竹の集積は含まない。 3. 伐竹を運搬可能な大きさに切断する作業を含む。 4. 諸雑費は、草刈機(肩掛式)、チェーンソーの運転経費、損耗費であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p>	名 称	単 位	粗	密	世 話 役	人	0.75	0.96	特 殊 作 業 員	〃	2.2	3.3	普 通 作 業 員	〃	0.15	0.71	諸 雑 費 率	%	9	7	名 称	単 位	数 量	世 話 役	人	1.6	特 殊 作 業 員	〃	3.4	普 通 作 業 員	〃	0.63	諸 雑 費 率	%	4	<p style="text-align: center;">現行どおり</p>
名 称	単 位	粗	密																																		
世 話 役	人	0.75	0.96																																		
特 殊 作 業 員	〃	2.2	3.3																																		
普 通 作 業 員	〃	0.15	0.71																																		
諸 雑 費 率	%	9	7																																		
名 称	単 位	数 量																																			
世 話 役	人	1.6																																			
特 殊 作 業 員	〃	3.4																																			
普 通 作 業 員	〃	0.63																																			
諸 雑 費 率	%	4																																			

土木工事標準歩掛の一部改定
伐木除根工

工種名	現 行	改 定																																																																								
	<p>3-3 除根 除根作業の歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.3 除根作業歩掛 (1,000m²当り)</p> <table border="1" data-bbox="293 317 1137 485"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.45</td> </tr> <tr> <td>掴み装置付バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型山積0.45m³(平積0.35m³)掴み装置0.7m級</td> <td>h</td> <td>3.4</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 対象面積は、3-1, 3-2の伐木, 伐竹面積と同面積とする。 2. 除根した根の集積は含まない。</p> <p>3-4 整地 整地作業の歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.4 整地作業歩掛 (1,000m²当り)</p> <table border="1" data-bbox="293 657 1137 805"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.54</td> </tr> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ 運 転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>日</td> <td>0.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 対象面積は、3-1, 3-2の伐木, 伐竹面積と同面積とする。 2. バックホウは賃料とする。</p> <p>3-5 集積 (人力施工) 機械施工が困難な箇所での人力施工による集積作業の歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.5 集積作業 (人力施工) 歩掛 (1,000m²当り)</p> <table border="1" data-bbox="293 983 1137 1118"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td>人</td> <td>0.77</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>〃</td> <td>1.7</td> </tr> <tr> <td>軽 作 業 員</td> <td>〃</td> <td>0.58</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 対象面積は、3-1, 3-2項の伐木, 伐竹面積と同面積とする。 2. 現場内小運搬は、100m程度まで含まれている。 3. 現場外搬出時の積込作業は含まない。</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	世 話 役		人	0.45	掴み装置付バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型山積0.45m ³ (平積0.35m ³)掴み装置0.7m級	h	3.4	名 称	規 格	単 位	数 量	世 話 役		人	0.54	バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	日	0.8	名 称	単 位	数 量	世 話 役	人	0.77	普 通 作 業 員	〃	1.7	軽 作 業 員	〃	0.58	<p>3-3 除根 除根作業の歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.3 除根作業歩掛 (1,000m²当り)</p> <table border="1" data-bbox="1236 317 2080 485"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.45</td> </tr> <tr> <td>掴み装置付バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型山積0.45m³(平積0.35m³)掴み装置0.7m級</td> <td>h</td> <td>3.4</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 対象面積は、3-1, 3-2の伐木, 伐竹面積と同面積とする。 2. 除根した根の集積は含まない。</p> <p>3-4 整地 整地作業の歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.4 整地作業歩掛 (1,000m²当り)</p> <table border="1" data-bbox="1236 657 2080 805"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.54</td> </tr> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ 運 転</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>日</td> <td>0.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 対象面積は、3-1, 3-2の伐木, 伐竹面積と同面積とする。 2. バックホウは賃料とする。</p> <p>3-5 集積 (人力施工) 機械施工が困難な箇所での人力施工による集積作業の歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.5 集積作業 (人力施工) 歩掛 (1,000m²当り)</p> <table border="1" data-bbox="1236 983 2080 1118"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td>人</td> <td>0.77</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>〃</td> <td>1.7</td> </tr> <tr> <td>軽 作 業 員</td> <td>〃</td> <td>0.58</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 対象面積は、3-1, 3-2項の伐木, 伐竹面積と同面積とする。 2. 現場内小運搬は、100m程度まで含まれている。 3. 現場外搬出時の積込作業は含まない。</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	世 話 役		人	0.45	掴み装置付バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型山積0.45m ³ (平積0.35m ³)掴み装置0.7m級	h	3.4	名 称	規 格	単 位	数 量	世 話 役		人	0.54	バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	日	0.8	名 称	単 位	数 量	世 話 役	人	0.77	普 通 作 業 員	〃	1.7	軽 作 業 員	〃	0.58
名 称	規 格	単 位	数 量																																																																							
世 話 役		人	0.45																																																																							
掴み装置付バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型山積0.45m ³ (平積0.35m ³)掴み装置0.7m級	h	3.4																																																																							
名 称	規 格	単 位	数 量																																																																							
世 話 役		人	0.54																																																																							
バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	日	0.8																																																																							
名 称	単 位	数 量																																																																								
世 話 役	人	0.77																																																																								
普 通 作 業 員	〃	1.7																																																																								
軽 作 業 員	〃	0.58																																																																								
名 称	規 格	単 位	数 量																																																																							
世 話 役		人	0.45																																																																							
掴み装置付バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型山積0.45m ³ (平積0.35m ³)掴み装置0.7m級	h	3.4																																																																							
名 称	規 格	単 位	数 量																																																																							
世 話 役		人	0.54																																																																							
バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	日	0.8																																																																							
名 称	単 位	数 量																																																																								
世 話 役	人	0.77																																																																								
普 通 作 業 員	〃	1.7																																																																								
軽 作 業 員	〃	0.58																																																																								

土木工事標準歩掛の一部改定
伐木除根工

工種名	現 行	改 定																																																	
	<p>3-6 集積（機械施工）</p> <p>機械施工による集積作業の歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.6 集積作業（機械施工）歩掛 (1,000m²当り)</p> <table border="1" data-bbox="293 352 1137 549"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>除根有</th> <th>除根無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.54</td> <td>0.36</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.19</td> <td>0.18</td> </tr> <tr> <td>捆み装置付バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型山積0.45m³(平積0.35m³)、捆み装置0.7m級</td> <td>h</td> <td>5.5</td> <td>4.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 対象面積は、3-1, 3-2の伐木、伐竹面積と同面積とする。 2. 上記歩掛は、人力による補助作業を含む。 3. 現場内小運搬は、200m程度まで含まれている。 4. 現場外搬出時の積込作業を含む。</p> <p>3-7 積込み（人力施工）</p> <p>人力施工による集積作業時の現場外搬出時に伴う積込作業の歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.7 積込作業歩掛 (1,000m²当り)</p> <table border="1" data-bbox="293 783 1137 911"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td>人</td> <td>0.05</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>〃</td> <td>0.12</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 対象面積は、3-1, 3-2の伐木、伐竹面積と同面積とする。</p>	名 称	規 格	単 位	除根有	除根無	世 話 役		人	0.54	0.36	普 通 作 業 員		〃	0.19	0.18	捆み装置付バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型山積0.45m ³ (平積0.35m ³)、捆み装置0.7m級	h	5.5	4.2	名 称	単 位	数 量	世 話 役	人	0.05	普 通 作 業 員	〃	0.12	<p>3-6 集積（機械施工）</p> <p>機械施工による集積作業の歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.6 集積作業（機械施工）歩掛 (1,000m²当り)</p> <table border="1" data-bbox="1236 352 2080 549"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>除根有</th> <th>除根無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.54</td> <td>0.36</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.19</td> <td>0.18</td> </tr> <tr> <td>捆み装置付バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型山積0.45m³(平積0.35m³)、捆み装置0.7m級</td> <td>h</td> <td>5.5</td> <td>4.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 対象面積は、3-1, 3-2の伐木、伐竹面積と同面積とする。 2. 上記歩掛は、人力による補助作業を含む。 3. 現場内小運搬は、200m程度まで含まれている。 4. 現場外搬出時の積込作業を含む。</p> <p style="font-size: 2em; margin-left: 20px;">}</p> <p style="margin-left: 20px;">現行どおり</p>	名 称	規 格	単 位	除根有	除根無	世 話 役		人	0.54	0.36	普 通 作 業 員		〃	0.19	0.18	捆み装置付バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型山積0.45m ³ (平積0.35m ³)、捆み装置0.7m級	h	5.5	4.2
名 称	規 格	単 位	除根有	除根無																																															
世 話 役		人	0.54	0.36																																															
普 通 作 業 員		〃	0.19	0.18																																															
捆み装置付バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型山積0.45m ³ (平積0.35m ³)、捆み装置0.7m級	h	5.5	4.2																																															
名 称	単 位	数 量																																																	
世 話 役	人	0.05																																																	
普 通 作 業 員	〃	0.12																																																	
名 称	規 格	単 位	除根有	除根無																																															
世 話 役		人	0.54	0.36																																															
普 通 作 業 員		〃	0.19	0.18																																															
捆み装置付バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型山積0.45m ³ (平積0.35m ³)、捆み装置0.7m級	h	5.5	4.2																																															

土木工事標準歩掛の一部改定
伐木除根工

工種名	現 行													改 定																																																																																																						
<p>3-8 運搬作業</p> <p>現場外搬出に伴う運搬時間は、次表を標準とする。</p> <p>3-8-1 積込人力施工時</p> <p style="text-align: center;">表3.8 1,000m²当り運搬時間</p> <table border="1" data-bbox="257 368 1435 691"> <tr> <td colspan="2">運搬機種・規格</td> <td colspan="13">ダンプトラック 2t積級</td> </tr> <tr> <td colspan="15" style="text-align: center;">D I D 区 間 : 無 し</td> </tr> <tr> <td>運 搬 距 離 (km)</td> <td>1.0 以下</td> <td>2.5 以下</td> <td>4.0 以下</td> <td>5.5 以下</td> <td>7.5 以下</td> <td>9.5 以下</td> <td>12.0 以下</td> <td>15.0 以下</td> <td>19.0 以下</td> <td>24.0 以下</td> <td>31.0 以下</td> <td>49.0 以下</td> <td>60.0 以下</td> </tr> <tr> <td>運 搬 時 間 (h)</td> <td>1.2</td> <td>1.3</td> <td>1.4</td> <td>1.5</td> <td>1.7</td> <td>1.8</td> <td>2.0</td> <td>2.2</td> <td>2.4</td> <td>2.6</td> <td>2.9</td> <td>3.2</td> <td>3.5</td> </tr> <tr> <td colspan="15" style="text-align: center;">D I D 区 間 : 有 り</td> </tr> <tr> <td>運 搬 距 離 (km)</td> <td>1.0 以下</td> <td>2.5 以下</td> <td>4.0 以下</td> <td>5.5 以下</td> <td>7.5 以下</td> <td>9.5 以下</td> <td>11.5 以下</td> <td>14.5 以下</td> <td>18.0 以下</td> <td>22.0 以下</td> <td>27.5 以下</td> <td>34.5 以下</td> <td>60.0 以下</td> </tr> <tr> <td>運 搬 時 間 (h)</td> <td>1.2</td> <td>1.3</td> <td>1.4</td> <td>1.5</td> <td>1.7</td> <td>1.8</td> <td>2.0</td> <td>2.2</td> <td>2.4</td> <td>2.6</td> <td>2.9</td> <td>3.2</td> <td>3.5</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 運搬距離は片道であり、往路と復路が異なる場合は、平均値とする。 2. 自動車専用道路を利用する場合には、別途考慮する。 3. D I D (人口集中地区)は、総務省統計局の国勢調査報告資料添付の人口集中地区境界図によるものとする。 4. 運搬距離が60kmを超える場合は、別途計上とする。 5. 集積物の処分費は、別途計上とする。</p>	運搬機種・規格		ダンプトラック 2t積級													D I D 区 間 : 無 し															運 搬 距 離 (km)	1.0 以下	2.5 以下	4.0 以下	5.5 以下	7.5 以下	9.5 以下	12.0 以下	15.0 以下	19.0 以下	24.0 以下	31.0 以下	49.0 以下	60.0 以下	運 搬 時 間 (h)	1.2	1.3	1.4	1.5	1.7	1.8	2.0	2.2	2.4	2.6	2.9	3.2	3.5	D I D 区 間 : 有 り															運 搬 距 離 (km)	1.0 以下	2.5 以下	4.0 以下	5.5 以下	7.5 以下	9.5 以下	11.5 以下	14.5 以下	18.0 以下	22.0 以下	27.5 以下	34.5 以下	60.0 以下	運 搬 時 間 (h)	1.2	1.3	1.4	1.5	1.7	1.8	2.0	2.2	2.4	2.6	2.9	3.2	3.5	<p>現行どおり</p>														
	運搬機種・規格		ダンプトラック 2t積級																																																																																																																	
	D I D 区 間 : 無 し																																																																																																																			
	運 搬 距 離 (km)	1.0 以下	2.5 以下	4.0 以下	5.5 以下	7.5 以下	9.5 以下	12.0 以下	15.0 以下	19.0 以下	24.0 以下	31.0 以下	49.0 以下	60.0 以下																																																																																																						
	運 搬 時 間 (h)	1.2	1.3	1.4	1.5	1.7	1.8	2.0	2.2	2.4	2.6	2.9	3.2	3.5																																																																																																						
	D I D 区 間 : 有 り																																																																																																																			
	運 搬 距 離 (km)	1.0 以下	2.5 以下	4.0 以下	5.5 以下	7.5 以下	9.5 以下	11.5 以下	14.5 以下	18.0 以下	22.0 以下	27.5 以下	34.5 以下	60.0 以下																																																																																																						
	運 搬 時 間 (h)	1.2	1.3	1.4	1.5	1.7	1.8	2.0	2.2	2.4	2.6	2.9	3.2	3.5																																																																																																						

土木工事標準歩掛の一部改定
伐木除根工

工種名	現 行													改 定
	3-8-2 積込機械施工時 (除根有)													現行どおり
	表3.9 1,000m ² 当り運搬時間													
	運搬機種・規格	ダンプトラック 10t積級												
	D I D 区 間 : 無 し													
	運搬距離 (km)	0.5 以下	1.0 以下	1.5 以下	2.0 以下	2.5 以下	3.0 以下	3.5 以下	4.0 以下	4.5 以下	5.5 以下	6.5 以下	7.5 以下	
	運搬時間 (h)	1.1	1.3	1.4	1.5	1.7	1.8	1.9	2.0	2.1	2.3	2.5	2.7	
	運搬距離 (km)	8.5 以下	10.0 以下	11.5 以下	13.5 以下	15.5 以下	18.0 以下	21.0 以下	25.0 以下	30.5 以下	41.5 以下	60.0 以下		
	運搬時間 (h)	3.0	3.2	3.5	3.8	4.2	4.5	4.9	5.4	5.9	6.5	7.1		
	D I D 区 間 : 有 り													
	運搬距離 (km)	0.5 以下	1.0 以下	1.5 以下	2.0 以下	2.5 以下	3.0 以下	3.5 以下	4.0 以下	4.5 以下	5.0 以下	6.0 以下	7.0 以下	
	運搬時間 (h)	1.1	1.3	1.4	1.6	1.7	1.8	1.9	2.1	2.2	2.3	2.5	2.7	
	運搬距離 (km)	8.0 以下	9.5 以下	11.0 以下	12.5 以下	14.0 以下	16.0 以下	18.5 以下	21.0 以下	25.0 以下	29.0 以下	60.0 以下		
	運搬時間 (h)	2.9	3.2	3.5	3.9	4.2	4.5	4.9	5.4	5.8	6.5	7.1		
	(注) 1. 運搬距離は片道であり、往路と復路が異なる場合は、平均値とする。 2. 自動車専用道路を利用する場合には、別途考慮する。 3. D I D (人口集中地区) は、総務省統計局の国勢調査報告資料添付の人口集中地区境界図によるものとする。 4. 運搬距離が60kmを超える場合は、別途計上とする。 5. 集積物の処分費は、別途計上とする。													

土木工事標準歩掛の一部改定
伐木除根工

工種名	現 行												改 定																								
	3-8-3 積込機械施工時 (除根無)													現行どおり																							
	表3.10 1,000m ² 当り運搬時間																																				
	運搬機種・規格		ダンプトラック 10t積級																																		
	D I D 区 間 : 無 し																																				
	運 搬 距 離 (km)	0.5 以下	1.5 以下	2.0 以下	2.5 以下	3.0 以下	4.0 以下	4.5 以下	5.0 以下	6.5 以下	7.5 以下	8.5 以下																									
	運 搬 時 間 (h)	0.5	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	1.1	1.2	1.3	1.5	1.6																									
	運 搬 距 離 (km)	9.5 以下	11.0 以下	12.5 以下	14.5 以下	16.5 以下	19.0 以下	22.0 以下	26.0 以下	32.0 以下	47.0 以下	60.0 以下																									
	運 搬 時 間 (h)	1.8	1.9	2.1	2.3	2.5	2.7	3.0	3.3	3.6	4.0	4.4																									
	D I D 区 間 : 有 り																																				
	運 搬 距 離 (km)	0.5 以下	1.5 以下	2.0 以下	2.5 以下	3.0 以下	4.0 以下	4.5 以下	5.0 以下	6.0 以下	7.0 以下	8.0 以下																									
	運 搬 時 間 (h)	0.5	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	1.1	1.2	1.3	1.5	1.6																									
	運 搬 距 離 (km)	9.0 以下	10.0 以下	11.5 以下	13.0 以下	15.0 以下	17.0 以下	19.5 以下	22.0 以下	25.5 以下	30.0 以下	60.0 以下																									
	運 搬 時 間 (h)	1.8	1.9	2.1	2.3	2.5	2.7	3.0	3.3	3.6	4.0	4.4																									
	(注) 1. 運搬距離は片道であり、往路と復路が異なる場合は、平均値とする。 2. 自動車専用道路を利用する場合には、別途考慮する。 3. D I D (人口集中地区) は、総務省統計局の国勢調査報告資料添付の人口集中地区境界図によるものとする。 4. 運搬距離が60kmを超える場合は、別途計上とする。 5. 集積物の処分費は、別途計上とする。																																				

土木工事標準歩掛の一部改定
伐木除根工

工種名	現 行					改 定																																																																																																										
	<p>4. 総合歩掛 4-1 総合歩掛 [伐木 (粗)] 伐木 (粗) の場合の歩掛は、次表を標準とする。また、粗とは概ね50 (本/100m²) 未満とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.1 総合歩掛[伐木 (粗)] (1,000m²当り)</p> <table border="1" data-bbox="257 379 1167 847"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="3">伐 木 (粗)</th> </tr> <tr> <th>I</th> <th>II</th> <th>III</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>2.28</td> <td>1.11</td> <td>1.57</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>2.2</td> <td>2.2</td> <td>2.2</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.34</td> <td>0.33</td> <td>1.97</td> </tr> <tr> <td>軽 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>0.58</td> </tr> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型 山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>日</td> <td>0.8</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>掴み装置付バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型 山積0.45m³(平積0.35m³)掴み装置0.7m級</td> <td>h</td> <td>8.9</td> <td>4.2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>2</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 諸雑費は、草刈機(肩掛式)、チェーンソーの各機械損料、運転経費及び損耗費であり、労務費、機械損料及び運転経費の合計に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 2. 伐木を運搬可能な大きさに切断する作業を含む。 3. 集積時の現場内小運搬は、人力施工の場合(III)100m程度、機械施工の場合(I, II)は200m程度まで含まれている。 4. 現場外搬出時の積込作業を含む。 5. (I, II, III)は、施工フローによる工程毎の各作業内容を示す。</p>					名 称	規 格	単 位	伐 木 (粗)			I	II	III	世 話 役		人	2.28	1.11	1.57	特 殊 作 業 員		〃	2.2	2.2	2.2	普 通 作 業 員		〃	0.34	0.33	1.97	軽 作 業 員		〃	—	—	0.58	バックホウ運転	排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	日	0.8	—	—	掴み装置付バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)掴み装置0.7m級	h	8.9	4.2	—	諸 雑 費 率		%	2	5	5	<p>4. 総合歩掛 4-1 総合歩掛 [伐木 (粗)] 伐木 (粗) の場合の歩掛は、次表を標準とする。また、粗とは概ね50 (本/100m²) 未満とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.1 総合歩掛[伐木 (粗)] (1,000m²当り)</p> <table border="1" data-bbox="1198 379 2107 847"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="3">伐 木 (粗)</th> </tr> <tr> <th>I</th> <th>II</th> <th>III</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>2.28</td> <td>1.11</td> <td>1.57</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>2.2</td> <td>2.2</td> <td>2.2</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.34</td> <td>0.33</td> <td>1.97</td> </tr> <tr> <td>軽 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>0.58</td> </tr> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型 山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>日</td> <td>0.8</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>掴み装置付バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型 山積0.45m³(平積0.35m³)掴み装置0.7m級</td> <td>h</td> <td>8.9</td> <td>4.2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>2</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 諸雑費は、草刈機(肩掛式)、チェーンソーの各機械損料、運転経費及び損耗費であり、労務費、機械損料及び運転経費の合計に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 2. 伐木を運搬可能な大きさに切断する作業を含む。 3. 集積時の現場内小運搬は、人力施工の場合(III)100m程度、機械施工の場合(I, II)は200m程度まで含まれている。 4. 現場外搬出時の積込作業を含む。 5. (I, II, III)は、施工フローによる工程毎の各作業内容を示す。</p>					名 称	規 格	単 位	伐 木 (粗)			I	II	III	世 話 役		人	2.28	1.11	1.57	特 殊 作 業 員		〃	2.2	2.2	2.2	普 通 作 業 員		〃	0.34	0.33	1.97	軽 作 業 員		〃	—	—	0.58	バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	日	0.8	—	—	掴み装置付バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)掴み装置0.7m級	h	8.9	4.2	—	諸 雑 費 率		%	2	5	5
名 称	規 格	単 位	伐 木 (粗)																																																																																																													
			I	II	III																																																																																																											
世 話 役		人	2.28	1.11	1.57																																																																																																											
特 殊 作 業 員		〃	2.2	2.2	2.2																																																																																																											
普 通 作 業 員		〃	0.34	0.33	1.97																																																																																																											
軽 作 業 員		〃	—	—	0.58																																																																																																											
バックホウ運転	排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	日	0.8	—	—																																																																																																											
掴み装置付バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)掴み装置0.7m級	h	8.9	4.2	—																																																																																																											
諸 雑 費 率		%	2	5	5																																																																																																											
名 称	規 格	単 位	伐 木 (粗)																																																																																																													
			I	II	III																																																																																																											
世 話 役		人	2.28	1.11	1.57																																																																																																											
特 殊 作 業 員		〃	2.2	2.2	2.2																																																																																																											
普 通 作 業 員		〃	0.34	0.33	1.97																																																																																																											
軽 作 業 員		〃	—	—	0.58																																																																																																											
バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	日	0.8	—	—																																																																																																											
掴み装置付バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)掴み装置0.7m級	h	8.9	4.2	—																																																																																																											
諸 雑 費 率		%	2	5	5																																																																																																											

土木工事標準歩掛の一部改定
伐木除根工

工種名	現 行					改 定																																																																																																								
	4-2 総合歩掛 [伐木 (密)] 伐木 (密) の場合の歩掛は、次表を標準とする。また、密とは概ね50 (本/100m ²) 以上とする。					4-2 総合歩掛 [伐木 (密)] 伐木 (密) の場合の歩掛は、次表を標準とする。また、密とは概ね50 (本/100m ²) 以上とする。																																																																																																								
	表4.2 総合歩掛 [伐木 (密)] (1,000m ² 当り)					表4.2 総合歩掛 [伐木 (密)] (1,000m ² 当り)																																																																																																								
	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="3">伐 木 (密)</th> </tr> <tr> <th>I</th> <th>II</th> <th>III</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>2.49</td> <td>1.32</td> <td>1.78</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>3.3</td> <td>3.3</td> <td>3.3</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.9</td> <td>0.89</td> <td>2.53</td> </tr> <tr> <td>軽 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>0.58</td> </tr> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型 山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>日</td> <td>0.8</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>掘み装置付 バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型山積0.45m³(平積0.35m³),掘み装置0.7m級</td> <td>h</td> <td>8.9</td> <td>4.2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>		名 称	規 格	単 位	伐 木 (密)			I	II	III	世 話 役		人	2.49	1.32	1.78	特 殊 作 業 員		〃	3.3	3.3	3.3	普 通 作 業 員		〃	0.9	0.89	2.53	軽 作 業 員		〃	—	—	0.58	バックホウ運転	排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	日	0.8	—	—	掘み装置付 バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型山積0.45m ³ (平積0.35m ³),掘み装置0.7m級	h	8.9	4.2	—	諸 雑 費 率		%	3	5	5			<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="3">伐 木 (密)</th> </tr> <tr> <th>I</th> <th>II</th> <th>III</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>2.49</td> <td>1.32</td> <td>1.78</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>3.3</td> <td>3.3</td> <td>3.3</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.9</td> <td>0.89</td> <td>2.53</td> </tr> <tr> <td>軽 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>0.58</td> </tr> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型 山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>日</td> <td>0.8</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>掘み装置付 バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型山積0.45m³(平積0.35m³),掘み装置0.7m級</td> <td>h</td> <td>8.9</td> <td>4.2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>		名 称	規 格	単 位	伐 木 (密)			I	II	III	世 話 役		人	2.49	1.32	1.78	特 殊 作 業 員		〃	3.3	3.3	3.3	普 通 作 業 員		〃	0.9	0.89	2.53	軽 作 業 員		〃	—	—	0.58	バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	日	0.8	—	—	掘み装置付 バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型山積0.45m ³ (平積0.35m ³),掘み装置0.7m級	h	8.9	4.2	—	諸 雑 費 率		%	3	5	5		
	名 称	規 格				単 位	伐 木 (密)																																																																																																							
			I	II	III																																																																																																									
	世 話 役		人	2.49	1.32	1.78																																																																																																								
	特 殊 作 業 員		〃	3.3	3.3	3.3																																																																																																								
	普 通 作 業 員		〃	0.9	0.89	2.53																																																																																																								
	軽 作 業 員		〃	—	—	0.58																																																																																																								
	バックホウ運転	排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	日	0.8	—	—																																																																																																								
掘み装置付 バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型山積0.45m ³ (平積0.35m ³),掘み装置0.7m級	h	8.9	4.2	—																																																																																																									
諸 雑 費 率		%	3	5	5																																																																																																									
名 称	規 格	単 位	伐 木 (密)																																																																																																											
			I	II	III																																																																																																									
世 話 役		人	2.49	1.32	1.78																																																																																																									
特 殊 作 業 員		〃	3.3	3.3	3.3																																																																																																									
普 通 作 業 員		〃	0.9	0.89	2.53																																																																																																									
軽 作 業 員		〃	—	—	0.58																																																																																																									
バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	日	0.8	—	—																																																																																																									
掘み装置付 バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型山積0.45m ³ (平積0.35m ³),掘み装置0.7m級	h	8.9	4.2	—																																																																																																									
諸 雑 費 率		%	3	5	5																																																																																																									
(注) 1. 諸雑費は、草刈機 (肩掛式)、チェーンソーの各機械損料、運転経費及び損耗費であり、労務費、機械損料及び運転経費の合計に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 2. 伐木を運搬可能な大きさに切断する作業を含む。 3. 集積時の現場内小運搬は、人力施工の場合 (Ⅲ) 100m程度、機械施工の場合 (Ⅰ, Ⅱ) は 200m程度まで含まれている。 4. 現場外搬出時の積込作業を含む。 5. (Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ) は、施工フローによる工程毎の各作業内容を示す。					(注) 1. 諸雑費は、草刈機 (肩掛式)、チェーンソーの各機械損料、運転経費及び損耗費であり、労務費、機械損料及び運転経費の合計に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 2. 伐木を運搬可能な大きさに切断する作業を含む。 3. 集積時の現場内小運搬は、人力施工の場合 (Ⅲ) 100m程度、機械施工の場合 (Ⅰ, Ⅱ) は 200m程度まで含まれている。 4. 現場外搬出時の積込作業を含む。 5. (Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ) は、施工フローによる工程毎の各作業内容を示す。																																																																																																									

土木工事標準歩掛の一部改定
伐木除根工

工種名	現 行					改 定								
	4-3 総合歩掛 [伐竹] 伐竹の場合の歩掛は、次表を標準とする。					4-3 総合歩掛 [伐竹] 伐竹の場合の歩掛は、次表を標準とする。								
	表4.3 総合歩掛 [伐竹] (1,000m ² 当り)					表4.3 総合歩掛 [伐竹] (1,000m ² 当り)								
	名 称		規 格	単 位	伐 竹			名 称		規 格	単 位	伐 竹		
					I	II	III					I	II	III
	世 話 役			人	3.13	1.96	2.42	世 話 役			人	3.13	1.96	2.42
	特 殊 作 業 員			〃	3.4	3.4	3.4	特 殊 作 業 員			〃	3.4	3.4	3.4
	普 通 作 業 員			〃	0.82	0.81	2.45	普 通 作 業 員			〃	0.82	0.81	2.45
	軽 作 業 員			〃	-	-	0.58	軽 作 業 員			〃	-	-	0.58
	バックホウ運転		排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	日	0.8	-	-	バックホウ運転		排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	日	0.8	-	-
	掘み装置付 バックホウ運転		排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型山積0.45m ³ (平積0.35m ³),掘み装置0.7m級	h	8.9	4.2	-	掘み装置付 バックホウ運転		排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型山積0.45m ³ (平積0.35m ³),掘み装置0.7m級	h	8.9	4.2	-
諸 雑 費 率			%	2	3	3	諸 雑 費 率			%	2	3	3	
<p>(注) 1. 諸雑費は、草刈機(肩掛式)、チェーンソーの各機械損料、運転経費及び損耗費であり、労務費、機械損料及び運転経費の合計に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>2. 伐木を運搬可能な大きさに切断する作業を含む。</p> <p>3. 集積時の現場内小運搬は、人力施工の場合(Ⅲ)100m程度、機械施工の場合(Ⅰ,Ⅱ)は200m程度まで含まれている。</p> <p>4. 現場外搬出時の積込作業を含む。</p> <p>5. (Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ)は、施工フローによる工程毎の各作業内容を示す。</p>					<p>(注) 1. 諸雑費は、草刈機(肩掛式)、チェーンソーの各機械損料、運転経費及び損耗費であり、労務費、機械損料及び運転経費の合計に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>2. 伐木を運搬可能な大きさに切断する作業を含む。</p> <p>3. 集積時の現場内小運搬は、人力施工の場合(Ⅲ)100m程度、機械施工の場合(Ⅰ,Ⅱ)は200m程度まで含まれている。</p> <p>4. 現場外搬出時の積込作業を含む。</p> <p>5. (Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ)は、施工フローによる工程毎の各作業内容を示す。</p>									

土木工事標準歩掛の一部改定
伐木除根工

工種名	現 行					改 定																																																																																									
	<p>5. 単 価 表</p> <p>(1) 伐木(粗)又は(密)1,000m²当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="257 316 1171 571"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表3.1</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 伐竹1,000m²当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="257 627 1171 882"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表3.2</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 除根1,000m²当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="257 938 1171 1193"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表3.3</td> </tr> <tr> <td>掴 み 装 置 付 転 パ ッ ク ホ ウ 運 転</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型山積0.45m³(平積0.35m³),掴み装置0.7m級</td> <td>h</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表3.1	特 殊 作 業 員		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	諸 雑 費		式	1	〃	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表3.2	特 殊 作 業 員		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	諸 雑 費		式	1	〃	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表3.3	掴 み 装 置 付 転 パ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型山積0.45m ³ (平積0.35m ³),掴み装置0.7m級	h		〃	諸 雑 費		式	1		計					<p>現行どおり</p>				
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																											
世 話 役		人		表3.1																																																																																											
特 殊 作 業 員		〃		〃																																																																																											
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																											
諸 雑 費		式	1	〃																																																																																											
計																																																																																															
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																											
世 話 役		人		表3.2																																																																																											
特 殊 作 業 員		〃		〃																																																																																											
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																											
諸 雑 費		式	1	〃																																																																																											
計																																																																																															
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																											
世 話 役		人		表3.3																																																																																											
掴 み 装 置 付 転 パ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型山積0.45m ³ (平積0.35m ³),掴み装置0.7m級	h		〃																																																																																											
諸 雑 費		式	1																																																																																												
計																																																																																															

土木工事標準歩掛の一部改定
伐木除根工

工種名	現 行	改 定																																																																																																																																																																										
	<p>(4) 整地 1,000m² 当り 単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表3.4</td> </tr> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ 運 転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>日</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(5) 集積 (人力施工) 1,000m² 当り 単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表3.5</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>軽 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(6) 集積 (機械施工) 1,000m² 当り 単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表3.6</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>掴 み 装 置 付 バ ッ ク ホ ウ 運 転</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型山積0.45m³(平積0.35m³), 掴み装置0.7m級</td> <td>h</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表3.4	バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	日		〃	諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表3.5	普 通 作 業 員		〃		〃	軽 作 業 員		〃		〃	諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表3.6	普 通 作 業 員		〃		〃	掴 み 装 置 付 バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型山積0.45m ³ (平積0.35m ³), 掴み装置0.7m級	h		〃	諸 雑 費		式	1		計					<p>(4) 整地 1,000m² 当り 単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表3.4</td> </tr> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ 運 転</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>日</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(5) 集積 (人力施工) 1,000m² 当り 単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表3.5</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>軽 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(6) 集積 (機械施工) 1,000m² 当り 単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表3.6</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>掴 み 装 置 付 バ ッ ク ホ ウ 運 転</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型山積0.45m³(平積0.35m³), 掴み装置0.7m級</td> <td>h</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表3.4	バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	日		〃	諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表3.5	普 通 作 業 員		〃		〃	軽 作 業 員		〃		〃	諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表3.6	普 通 作 業 員		〃		〃	掴 み 装 置 付 バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型山積0.45m ³ (平積0.35m ³), 掴み装置0.7m級	h		〃	諸 雑 費		式	1		計				
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																								
世 話 役		人		表3.4																																																																																																																																																																								
バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	日		〃																																																																																																																																																																								
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																																																									
計																																																																																																																																																																												
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																								
世 話 役		人		表3.5																																																																																																																																																																								
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																								
軽 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																								
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																																																									
計																																																																																																																																																																												
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																								
世 話 役		人		表3.6																																																																																																																																																																								
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																								
掴 み 装 置 付 バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型山積0.45m ³ (平積0.35m ³), 掴み装置0.7m級	h		〃																																																																																																																																																																								
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																																																									
計																																																																																																																																																																												
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																								
世 話 役		人		表3.4																																																																																																																																																																								
バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	日		〃																																																																																																																																																																								
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																																																									
計																																																																																																																																																																												
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																								
世 話 役		人		表3.5																																																																																																																																																																								
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																								
軽 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																								
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																																																									
計																																																																																																																																																																												
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																								
世 話 役		人		表3.6																																																																																																																																																																								
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																								
掴 み 装 置 付 バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型山積0.45m ³ (平積0.35m ³), 掴み装置0.7m級	h		〃																																																																																																																																																																								
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																																																									
計																																																																																																																																																																												

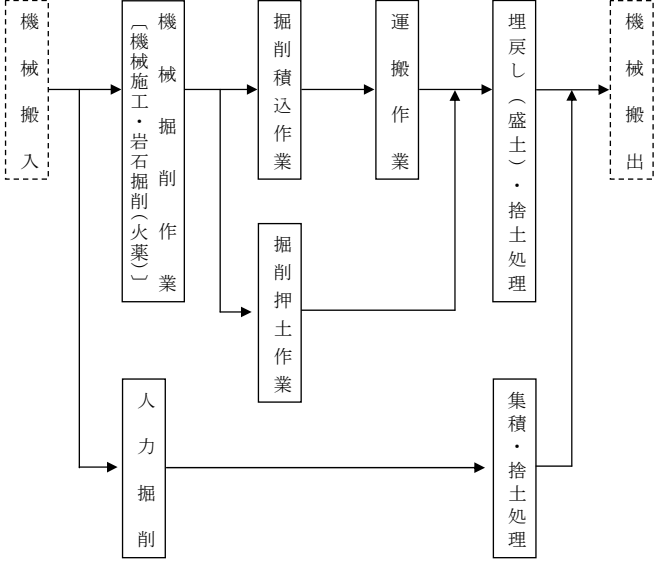
土木工事標準歩掛の一部改定
伐木除根工

工種名	現 行					改 定																									
	(7) 積み込み(人力施工)1,000m ² 当り単価表					<div style="font-size: 4em; margin-left: 10px;">}</div> 現行どおり																									
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">名 称</th> <th style="width: 30%;">規 格</th> <th style="width: 10%;">単 位</th> <th style="width: 10%;">数 量</th> <th style="width: 20%;">摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表3.7</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量		摘 要	世 話 役		人		表3.7	普 通 作 業 員		〃		〃	諸 雑 費		式	1		計								
	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																										
	世 話 役		人		表3.7																										
	普 通 作 業 員		〃		〃																										
	諸 雑 費		式	1																											
	計																														
	世 話 役		人		表3.7																										
	普 通 作 業 員		〃		〃																										
	諸 雑 費		式	1																											
	計																														
	(8) ダンプトラック運転1,000m ² 当り単価表																														
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">名 称</th> <th style="width: 30%;">規 格</th> <th style="width: 10%;">単 位</th> <th style="width: 10%;">数 量</th> <th style="width: 20%;">摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ダンプトラック</td> <td></td> <td>h</td> <td></td> <td>表3.8~3.10</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量		摘 要	ダンプトラック		h		表3.8~3.10	諸 雑 費		式	1		計													
	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																										
ダンプトラック		h		表3.8~3.10																											
諸 雑 費		式	1																												
計																															
ダンプトラック		h		表3.8~3.10																											
諸 雑 費		式	1																												
計																															

土木工事標準歩掛の一部改定
伐木除根工

工種名	現 行	改 定																																																																																										
	(9) 総合歩掛 伐木(粗) 伐木(密) 又は伐竹1,000m ² 当り単価表	(9) 総合歩掛 伐木(粗) 伐木(密) 又は伐竹1,000m ² 当り単価表																																																																																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.1, 表4.2, 表4.3</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>軽 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>日</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>掴み装置付バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型山積0.45m³(平積0.35m³), 掴み装置0.7m級</td> <td>h</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単位	数量	摘 要	世 話 役		人		表4.1, 表4.2, 表4.3	特 殊 作 業 員		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	軽 作 業 員		〃		〃	バックホウ運転	排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	日		〃	掴み装置付バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型山積0.45m ³ (平積0.35m ³), 掴み装置0.7m級	h		〃	諸 雑 費		式	1	〃	計					<table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.1, 表4.2, 表4.3</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>軽 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>日</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>掴み装置付バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型山積0.45m³(平積0.35m³), 掴み装置0.7m級</td> <td>h</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単位	数量	摘 要	世 話 役		人		表4.1, 表4.2, 表4.3	特 殊 作 業 員		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	軽 作 業 員		〃		〃	バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	日		〃	掴み装置付バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型山積0.45m ³ (平積0.35m ³), 掴み装置0.7m級	h		〃	諸 雑 費		式	1	〃	計				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要																																																																																								
世 話 役		人		表4.1, 表4.2, 表4.3																																																																																								
特 殊 作 業 員		〃		〃																																																																																								
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																								
軽 作 業 員		〃		〃																																																																																								
バックホウ運転	排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	日		〃																																																																																								
掴み装置付バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型山積0.45m ³ (平積0.35m ³), 掴み装置0.7m級	h		〃																																																																																								
諸 雑 費		式	1	〃																																																																																								
計																																																																																												
名 称	規 格	単位	数量	摘 要																																																																																								
世 話 役		人		表4.1, 表4.2, 表4.3																																																																																								
特 殊 作 業 員		〃		〃																																																																																								
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																								
軽 作 業 員		〃		〃																																																																																								
バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	日		〃																																																																																								
掴み装置付バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型山積0.45m ³ (平積0.35m ³), 掴み装置0.7m級	h		〃																																																																																								
諸 雑 費		式	1	〃																																																																																								
計																																																																																												
	(10) 機械運転単価表	(10) 機械運転単価表																																																																																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>機-28</td> <td>運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→104 賃料数量→ 1.78</td> </tr> <tr> <td>掴み装置付バックホウ</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型山積0.45m³(平積0.35m³), 掴み装置0.7m級</td> <td>機-3</td> <td>運転労務数量→ 0.16 燃料消費量→ 11 機械損料1→掴み装置(0.7m級) 機械損料2→バックホウ(排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型山積0.45m³(平積0.35m³))</td> </tr> <tr> <td>ダンプトラック</td> <td>2t積級</td> <td>機-7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ダンプトラック</td> <td>10t積級</td> <td>〃</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	機-28	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→104 賃料数量→ 1.78	掴み装置付バックホウ	排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型山積0.45m ³ (平積0.35m ³), 掴み装置0.7m級	機-3	運転労務数量→ 0.16 燃料消費量→ 11 機械損料1→掴み装置(0.7m級) 機械損料2→バックホウ(排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型山積0.45m ³ (平積0.35m ³))	ダンプトラック	2t積級	機-7		ダンプトラック	10t積級	〃		<table border="1"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>機-28</td> <td>運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→104 賃料数量→ 1.78</td> </tr> <tr> <td>掴み装置付バックホウ</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型山積0.45m³(平積0.35m³), 掴み装置0.7m級</td> <td>機-3</td> <td>運転労務数量→ 0.16 燃料消費量→ 11 機械損料1→掴み装置(0.7m級) 機械損料2→バックホウ(排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型山積0.45m³(平積0.35m³))</td> </tr> <tr> <td>ダンプトラック</td> <td>2t積級</td> <td>機-7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ダンプトラック</td> <td>10t積級</td> <td>〃</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	機-28	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→104 賃料数量→ 1.78	掴み装置付バックホウ	排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型山積0.45m ³ (平積0.35m ³), 掴み装置0.7m級	機-3	運転労務数量→ 0.16 燃料消費量→ 11 機械損料1→掴み装置(0.7m級) 機械損料2→バックホウ(排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型山積0.45m ³ (平積0.35m ³))	ダンプトラック	2t積級	機-7		ダンプトラック	10t積級	〃																																																			
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																																																																									
バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	機-28	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→104 賃料数量→ 1.78																																																																																									
掴み装置付バックホウ	排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型山積0.45m ³ (平積0.35m ³), 掴み装置0.7m級	機-3	運転労務数量→ 0.16 燃料消費量→ 11 機械損料1→掴み装置(0.7m級) 機械損料2→バックホウ(排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型山積0.45m ³ (平積0.35m ³))																																																																																									
ダンプトラック	2t積級	機-7																																																																																										
ダンプトラック	10t積級	〃																																																																																										
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																																																																									
バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	機-28	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→104 賃料数量→ 1.78																																																																																									
掴み装置付バックホウ	排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型山積0.45m ³ (平積0.35m ³), 掴み装置0.7m級	機-3	運転労務数量→ 0.16 燃料消費量→ 11 機械損料1→掴み装置(0.7m級) 機械損料2→バックホウ(排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型山積0.45m ³ (平積0.35m ³))																																																																																									
ダンプトラック	2t積級	機-7																																																																																										
ダンプトラック	10t積級	〃																																																																																										

土木工事標準歩掛の一部改定
砂防 土工

工種名	現 行	改 定
砂防 土工	<p>① 土 工</p> <p>1. 適 用 範 囲 本資料は、砂防工（本堰堤、副堰堤、床固め、帯工、水叩き、側壁、護岸）の施工に適用する。</p> <p>2. 施 工 概 要 施工フローは、下記を標準とする。</p>  <pre> graph LR subgraph Mechanical_Path [機械施工・岩石掘削(火薬)] M1[機械掘削] --> M2[掘削積込作業] M2 --> M3[運搬作業] M3 --> M4[埋戻し(盛土)・捨土処理] end subgraph Manual_Path [人力掘削] M5[人力掘削] --> M6[集積・捨土処理] end M4 --> M7[機械搬出] M6 --> M7 </pre> <p>(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。</p> <p>図2-1 施工フロー</p>	<p>現行どおり</p>

土木工事標準歩掛の一部改定
砂防 土工

工種名	現 行	改 定																																																																																																																																					
砂防 土工	<p>3. 機種 の 選 定 機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 機種 の選定</p> <table border="1" data-bbox="282 288 1149 754"> <thead> <tr> <th>作業種別</th> <th>機械名</th> <th>規 格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">掘削 掘切</td> <td rowspan="2">機械施工</td> <td>バックホウ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型 山積0.8m³ (平積0.6m³)</td> <td>台</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ブルドーザ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>岩石掘削 (機械)</td> <td>大型ブレーカ</td> <td>油圧式1,300kg級</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>積 込 み</td> <td>バックホウ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型 山積0.8m³ (平積0.6m³)</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>ダンプトラック 使用時に適用</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">運 搬</td> <td>ダンプトラック</td> <td>10t積級</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td rowspan="4">土運搬作業の機種選定は、 表3.2を標準とする</td> </tr> <tr> <td>ブルドーザ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級</td> <td>〃</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">埋戻・敷均し</td> <td>バックホウ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型 山積0.8m³ (平積0.6m³)</td> <td>〃</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>ブルドーザ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級</td> <td>〃</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 現場条件により、上表により難しい場合は、別途考慮する。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 土運搬作業の機種選定</p> <table border="1" data-bbox="282 839 1149 914"> <thead> <tr> <th>運 搬 距 離</th> <th>標 準 工 法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>60m以下</td> <td>ブルドーザが標準</td> </tr> <tr> <td>60mを超える</td> <td>バックホウ+ダンプトラックが標準</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 上表により難しい場合は、別途考慮する。</p> <p>4. 機械の施工歩掛 (1) 土量の表示 すべて地山土量で表示する。 ただし、施工土量(地山土量)をほぐした土量及び締め後の土量の状態に換算する場合は、「第2章土工②機械土工」4(1)の土量換算係数fを乗じて算出する。 4-1 バックホウの作業能力 運転日当り土工量は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.1 日当り施工量 (1日当り)</p> <table border="1" data-bbox="282 1158 1149 1302"> <thead> <tr> <th rowspan="2">作業の種類</th> <th rowspan="2">土 質 名</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="2">数 量</th> </tr> <tr> <th>障害なし</th> <th>障害あり</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">地山の掘削積込</td> <td>レキ質土・砂・砂質土・粘性土</td> <td>m³</td> <td>220</td> <td>160</td> </tr> <tr> <td>岩塊玉石</td> <td>〃</td> <td>180</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">ルーズな状態の積込み</td> <td>レキ質土・砂・砂質土・粘性土</td> <td>〃</td> <td colspan="2">240</td> </tr> <tr> <td>岩塊玉石</td> <td>〃</td> <td colspan="2">200</td> </tr> <tr> <td>破碎岩</td> <td>〃</td> <td colspan="2">160</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 作業範囲は、機械走行面より上下に5m以内を標準とする。 2. 地山の掘削積込(現場条件の内容) 障害なし：作業現場が広い、作業範囲が標準内及び転石の混入等の影響による作業妨害が少なく、連続した掘削作業が出来る場合。 障害あり：作業現場が狭い、作業範囲が標準外及び転石の混入等の影響による作業妨害が多く、連続した掘削作業が困難な場合。 3. 破碎岩(中硬岩以上)の積込みは、機械損料の割増を行う。岩石作業の補正は、+0.25とする。 4. ルーズな状態の積込みは、締めを伴わない埋戻作業に適用出来る。</p>	作業種別	機械名	規 格	単位	数量	摘 要	掘削 掘切	機械施工	バックホウ	排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	台	1		ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級	〃	1		岩石掘削 (機械)	大型ブレーカ	油圧式1,300kg級	〃	1		積 込 み	バックホウ	排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	〃	1	ダンプトラック 使用時に適用	運 搬	ダンプトラック	10t積級	〃	1	土運搬作業の機種選定は、 表3.2を標準とする	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級	〃	1	埋戻・敷均し	バックホウ	排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	〃	1	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級	〃	1	運 搬 距 離	標 準 工 法	60m以下	ブルドーザが標準	60mを超える	バックホウ+ダンプトラックが標準	作業の種類	土 質 名	単 位	数 量		障害なし	障害あり	地山の掘削積込	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	m ³	220	160	岩塊玉石	〃	180	120	ルーズな状態の積込み	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	〃	240		岩塊玉石	〃	200		破碎岩	〃	160		<p>3. 機種 の 選 定 機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 機種 の選定</p> <table border="1" data-bbox="1223 288 2089 754"> <thead> <tr> <th>作業種別</th> <th>機械名</th> <th>規 格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">掘削 掘切</td> <td rowspan="2">機械施工</td> <td>バックホウ</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型 山積0.8m³ (平積0.6m³)</td> <td>台</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ブルドーザ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>岩石掘削 (機械)</td> <td>大型ブレーカ</td> <td>油圧式1,300kg級</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>積 込 み</td> <td>バックホウ</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型 山積0.8m³ (平積0.6m³)</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>ダンプトラック 使用時に適用</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">運 搬</td> <td>ダンプトラック</td> <td>10t積級</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td rowspan="4">土運搬作業の機種選定は、 表3.2を標準とする</td> </tr> <tr> <td>ブルドーザ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級</td> <td>〃</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">埋戻・敷均し</td> <td>バックホウ</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型 山積0.8m³ (平積0.6m³)</td> <td>〃</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>ブルドーザ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級</td> <td>〃</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 現場条件により、上表により難しい場合は、別途考慮する。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 機種 の選定</p> <p style="text-align: center;">表3.2 土運搬作業の機種選定</p> <p style="text-align: center;">表4.1 日当り施工量 (1日当り)</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	作業種別	機械名	規 格	単位	数量	摘 要	掘削 掘切	機械施工	バックホウ	排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	台	1		ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級	〃	1		岩石掘削 (機械)	大型ブレーカ	油圧式1,300kg級	〃	1		積 込 み	バックホウ	排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	〃	1	ダンプトラック 使用時に適用	運 搬	ダンプトラック	10t積級	〃	1	土運搬作業の機種選定は、 表3.2を標準とする	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級	〃	1	埋戻・敷均し	バックホウ	排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	〃	1	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級	〃	1
作業種別	機械名	規 格	単位	数量	摘 要																																																																																																																																		
掘削 掘切	機械施工	バックホウ	排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	台	1																																																																																																																																		
		ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級	〃	1																																																																																																																																		
	岩石掘削 (機械)	大型ブレーカ	油圧式1,300kg級	〃	1																																																																																																																																		
積 込 み	バックホウ	排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	〃	1	ダンプトラック 使用時に適用																																																																																																																																		
運 搬	ダンプトラック	10t積級	〃	1	土運搬作業の機種選定は、 表3.2を標準とする																																																																																																																																		
	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級	〃	1																																																																																																																																			
埋戻・敷均し	バックホウ	排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	〃	1																																																																																																																																			
	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級	〃	1																																																																																																																																			
運 搬 距 離	標 準 工 法																																																																																																																																						
60m以下	ブルドーザが標準																																																																																																																																						
60mを超える	バックホウ+ダンプトラックが標準																																																																																																																																						
作業の種類	土 質 名	単 位	数 量																																																																																																																																				
			障害なし	障害あり																																																																																																																																			
地山の掘削積込	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	m ³	220	160																																																																																																																																			
	岩塊玉石	〃	180	120																																																																																																																																			
ルーズな状態の積込み	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	〃	240																																																																																																																																				
	岩塊玉石	〃	200																																																																																																																																				
	破碎岩	〃	160																																																																																																																																				
作業種別	機械名	規 格	単位	数量	摘 要																																																																																																																																		
掘削 掘切	機械施工	バックホウ	排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	台	1																																																																																																																																		
		ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級	〃	1																																																																																																																																		
	岩石掘削 (機械)	大型ブレーカ	油圧式1,300kg級	〃	1																																																																																																																																		
積 込 み	バックホウ	排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	〃	1	ダンプトラック 使用時に適用																																																																																																																																		
運 搬	ダンプトラック	10t積級	〃	1	土運搬作業の機種選定は、 表3.2を標準とする																																																																																																																																		
	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級	〃	1																																																																																																																																			
埋戻・敷均し	バックホウ	排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	〃	1																																																																																																																																			
	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級	〃	1																																																																																																																																			

土木工事標準歩掛の一部改定
砂防 土工

工種名	現 行	改 定																																																																																																																					
砂防 土工	<p>4-2 ブルドーザの掘削押土作業能力 運転日当り土工量は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.2 日当り施工量 (1日当り)</p> <table border="1" data-bbox="282 312 1149 507"> <thead> <tr> <th>作業の種類</th> <th>土質名</th> <th>単位</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">地山の掘削押土</td> <td>レキ質土・砂・砂質土・粘性土</td> <td>m³</td> <td>230</td> </tr> <tr> <td>岩塊玉石</td> <td>〃</td> <td>190</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">ルーズな状態の押土</td> <td>レキ質土・砂・砂質土・粘性土</td> <td>〃</td> <td>240</td> </tr> <tr> <td>岩塊玉石</td> <td>〃</td> <td>210</td> </tr> <tr> <td>破碎岩</td> <td>〃</td> <td>110</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. ブルドーザは、作業ヤードが広く、転石の混入等による作業妨害が少ない現場作業に適用する。 2. 上記の施工量は、運搬距離60mまでの押土作業を含んだ値である。 3. 上記の施工量は、転圧を伴わない敷均しを含んだ作業にも適用出来る。ただし、転圧を伴う場合は、別途計上する。 4. 破碎岩(中硬岩以上)の押土は機械損料の割増を行う。岩石作業の補正は、+0.25とする。</p> <p>4-3 ダンプトラックの運搬作業能力 (1) ダンプトラック(10t積級)による河床路の土砂100m³当り運搬日数は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.3 100m³当り運搬日数(土砂) (100m³当り)</p> <table border="1" data-bbox="282 788 1149 963"> <thead> <tr> <th>積込機種</th> <th colspan="7">バックホウ 排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型山積0.8m³(平積0.6m³)</th> </tr> <tr> <th>運搬機種</th> <th colspan="7">ダンプトラック 10t積級</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>運搬距離(km)</td> <td>0.5以下</td> <td>1.0以下</td> <td>1.5以下</td> <td>2.0以下</td> <td>2.5以下</td> <td>3.0以下</td> <td>4.0以下</td> </tr> <tr> <td>運搬日数(日)</td> <td>0.80</td> <td>0.90</td> <td>1.0</td> <td>1.1</td> <td>1.3</td> <td>1.4</td> <td>1.6</td> </tr> <tr> <td>運搬距離(km)</td> <td>5.0以下</td> <td>6.0以下</td> <td>7.0以下</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>運搬日数(日)</td> <td>1.8</td> <td>2.1</td> <td>2.3</td> <td colspan="4"></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、地山100m³の土量を運搬する日数である。 2. 運搬距離は片道であり、往路と復路が異なる時は、平均値とする。 3. 運搬路に一般道路を含む場合で、一般道路の走行距離が河床路より長い場合は、「第2章土工②機械土工4-4(1)」による。 4. 破碎岩(中硬岩以上)の運搬は、機械損料の割増を行う(専用ダンプは除く)岩石作業の補正は、+0.25とする。</p> <p>(2) 100m³当り運搬日数(軟岩・硬岩) 軟岩及び硬岩の運搬日数の補正は、「第2章土工②機械土工(土砂)4-4(2)」による。</p>	作業の種類	土質名	単位	数量	地山の掘削押土	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	m ³	230	岩塊玉石	〃	190	ルーズな状態の押土	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	〃	240	岩塊玉石	〃	210	破碎岩	〃	110	積込機種	バックホウ 排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型山積0.8m ³ (平積0.6m ³)							運搬機種	ダンプトラック 10t積級							運搬距離(km)	0.5以下	1.0以下	1.5以下	2.0以下	2.5以下	3.0以下	4.0以下	運搬日数(日)	0.80	0.90	1.0	1.1	1.3	1.4	1.6	運搬距離(km)	5.0以下	6.0以下	7.0以下					運搬日数(日)	1.8	2.1	2.3					<p>4-3 ダンプトラックの運搬作業能力 (1) ダンプトラック(10t積級)による河床路の土砂100m³当り運搬日数は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.3 100m³当り運搬日数(土砂) (100m³当り)</p> <table border="1" data-bbox="1223 778 2089 954"> <thead> <tr> <th>積込機種</th> <th colspan="7">バックホウ 排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型山積0.8m³(平積0.6m³)</th> </tr> <tr> <th>運搬機種</th> <th colspan="7">ダンプトラック 10t積級</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>運搬距離(km)</td> <td>0.5以下</td> <td>1.0以下</td> <td>1.5以下</td> <td>2.0以下</td> <td>2.5以下</td> <td>3.0以下</td> <td>4.0以下</td> </tr> <tr> <td>運搬日数(日)</td> <td>0.80</td> <td>0.90</td> <td>1.0</td> <td>1.1</td> <td>1.3</td> <td>1.4</td> <td>1.6</td> </tr> <tr> <td>運搬距離(km)</td> <td>5.0以下</td> <td>6.0以下</td> <td>7.0以下</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>運搬日数(日)</td> <td>1.8</td> <td>2.1</td> <td>2.3</td> <td colspan="4"></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、地山100m³の土量を運搬する日数である。 2. 運搬距離は片道であり、往路と復路が異なる時は、平均値とする。 3. 運搬路に一般道路を含む場合で、一般道路の走行距離が河床路より長い場合は、「第2章土工②機械土工4-4(1)」による。 4. 破碎岩(中硬岩以上)の運搬は、機械損料の割増を行う(専用ダンプは除く)岩石作業の補正は、+0.25とする。</p>	積込機種	バックホウ 排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型山積0.8m ³ (平積0.6m ³)							運搬機種	ダンプトラック 10t積級							運搬距離(km)	0.5以下	1.0以下	1.5以下	2.0以下	2.5以下	3.0以下	4.0以下	運搬日数(日)	0.80	0.90	1.0	1.1	1.3	1.4	1.6	運搬距離(km)	5.0以下	6.0以下	7.0以下					運搬日数(日)	1.8	2.1	2.3				
作業の種類	土質名	単位	数量																																																																																																																				
地山の掘削押土	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	m ³	230																																																																																																																				
	岩塊玉石	〃	190																																																																																																																				
ルーズな状態の押土	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	〃	240																																																																																																																				
	岩塊玉石	〃	210																																																																																																																				
	破碎岩	〃	110																																																																																																																				
積込機種	バックホウ 排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型山積0.8m ³ (平積0.6m ³)																																																																																																																						
運搬機種	ダンプトラック 10t積級																																																																																																																						
運搬距離(km)	0.5以下	1.0以下	1.5以下	2.0以下	2.5以下	3.0以下	4.0以下																																																																																																																
運搬日数(日)	0.80	0.90	1.0	1.1	1.3	1.4	1.6																																																																																																																
運搬距離(km)	5.0以下	6.0以下	7.0以下																																																																																																																				
運搬日数(日)	1.8	2.1	2.3																																																																																																																				
積込機種	バックホウ 排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型山積0.8m ³ (平積0.6m ³)																																																																																																																						
運搬機種	ダンプトラック 10t積級																																																																																																																						
運搬距離(km)	0.5以下	1.0以下	1.5以下	2.0以下	2.5以下	3.0以下	4.0以下																																																																																																																
運搬日数(日)	0.80	0.90	1.0	1.1	1.3	1.4	1.6																																																																																																																
運搬距離(km)	5.0以下	6.0以下	7.0以下																																																																																																																				
運搬日数(日)	1.8	2.1	2.3																																																																																																																				

土木工事標準歩掛の一部改定
砂防 土工

工種名	現 行	改 定																																																						
砂防 土工	<p>5. 岩 石 工</p> <p>5-1 破碎を要する転石粒径 破碎を要する転石粒径は、0.5m以上とする。</p> <p>5-2 施 工 歩 掛 軟岩は軟岩（Ⅰ）と軟岩（Ⅱ）を含む。硬岩は中硬岩と硬岩（Ⅰ）を含む。</p> <p>5-2-1 岩石掘削（機械）歩掛 大型ブレーカ使用の岩石掘削歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.1 岩石掘削（機械）日当り施工量</p> <table border="1" data-bbox="389 469 1041 628"> <thead> <tr> <th>土質・岩分類</th> <th>単 位</th> <th>施 工 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>軟 岩</td> <td>m³</td> <td>51</td> </tr> <tr> <td>硬 岩</td> <td>〃</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>転 石</td> <td>〃</td> <td>31</td> </tr> </tbody> </table> <p>日当り掘削歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.2 岩石掘削（機械）日当り歩掛 (1日当り)</p> <table border="1" data-bbox="280 756 1149 916"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="3">土 質 ・ 岩 分 類</th> </tr> <tr> <th>軟 岩</th> <th>硬 岩</th> <th>転 石</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大型ブレーカ運転</td> <td>油圧式1,300kg級</td> <td>日</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>10</td> <td>29</td> <td>13</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 作業範囲は、機械走行面より上下に5m以内とする。 2. 上表には、破砕片除去、法面整形は含まない。 3. 大型ブレーカのベースマシンは、バックホウ排出ガス対策型（第1次基準値）・クローラ型山積0.8m³（平積0.6m³）とする。 4. 転石歩掛は、粒径50cm程度の大きさに破砕するものである。 5. 大型ブレーカ用バックホウの岩石作業の損料の補正係数は、+0.25とする。ただし、軟岩を掘削する場合の補正係数は、+0.10とする。 6. 諸雑費は大型ブレーカ用チゼル損耗費であり、機械損料及び運転経費に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 7. 上表により難い場合は、別途考慮する。</p>	土質・岩分類	単 位	施 工 量	軟 岩	m ³	51	硬 岩	〃	29	転 石	〃	31	名 称	規 格	単 位	土 質 ・ 岩 分 類			軟 岩	硬 岩	転 石	大型ブレーカ運転	油圧式1,300kg級	日	1.0	1.0	1.0	諸 雑 費 率		%	10	29	13	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center;">表5.2 岩石掘削（機械）日当り歩掛 (1日当り)</p> <table border="1" data-bbox="1223 750 2092 909"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="3">土 質 ・ 岩 分 類</th> </tr> <tr> <th>軟 岩</th> <th>硬 岩</th> <th>転 石</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大型ブレーカ運転</td> <td>油圧式1,300kg級</td> <td>日</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>10</td> <td>29</td> <td>13</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 作業範囲は、機械走行面より上下に5m以内とする。 2. 上表には、破砕片除去、法面整形は含まない。 3. 大型ブレーカのベースマシンは、バックホウ排出ガス対策型（第2次基準値）・クローラ型山積0.8m³（平積0.6m³）とする。 4. 転石歩掛は、粒径50cm程度の大きさに破砕するものである。 5. 大型ブレーカ用バックホウの岩石作業の損料の補正係数は、+0.25とする。ただし、軟岩を掘削する場合の補正係数は、+0.10とする。 6. 諸雑費は大型ブレーカ用チゼル損耗費であり、機械損料及び運転経費に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 7. 上表により難い場合は、別途考慮する。</p>	名 称	規 格	単 位	土 質 ・ 岩 分 類			軟 岩	硬 岩	転 石	大型ブレーカ運転	油圧式1,300kg級	日	1.0	1.0	1.0	諸 雑 費 率		%	10	29	13
土質・岩分類	単 位	施 工 量																																																						
軟 岩	m ³	51																																																						
硬 岩	〃	29																																																						
転 石	〃	31																																																						
名 称	規 格	単 位	土 質 ・ 岩 分 類																																																					
			軟 岩	硬 岩	転 石																																																			
大型ブレーカ運転	油圧式1,300kg級	日	1.0	1.0	1.0																																																			
諸 雑 費 率		%	10	29	13																																																			
名 称	規 格	単 位	土 質 ・ 岩 分 類																																																					
			軟 岩	硬 岩	転 石																																																			
大型ブレーカ運転	油圧式1,300kg級	日	1.0	1.0	1.0																																																			
諸 雑 費 率		%	10	29	13																																																			

土木工事標準歩掛の一部改定
砂防 土工

工種名	現 行	改 定																																																															
砂防 土工	<p>5-2-2 岩石掘削（火薬） 火薬使用の岩石掘削歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.3 岩石掘削（火薬）日当り施工量</p> <table border="1" data-bbox="383 292 1050 437"> <thead> <tr> <th>土質・岩分類</th> <th>単 位</th> <th>施 工 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>軟 岩</td> <td>m³</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>硬 岩</td> <td>〃</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>転 石</td> <td>〃</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table> <p>日当り掘削歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.4 岩石掘削（火薬）日当り歩掛 (1日当り)</p> <table border="1" data-bbox="259 569 1173 869"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="3">土 質 ・ 岩 分 類</th> </tr> <tr> <th>軟 岩</th> <th>硬 岩</th> <th>転 石</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.7</td> <td>0.6</td> <td>0.3</td> </tr> <tr> <td>削 岩 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1.9</td> <td>1.6</td> <td>1.4</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>2.7</td> <td>1.8</td> <td>0.7</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>2.2</td> <td>1.9</td> <td>0.3</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>18</td> <td>23</td> <td>26</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 歩掛には、仕上掘削を含む。 2. 表土除き、伐根、爆破後の岩破砕片の集積、積み込み、岩盤清掃等の作業が必要な場合は、別途計上する。 3. 上表の労務には、空気圧縮機（排出ガス対策型（第1次基準値））、削岩機の運転労務を含む。 4. 諸雑費は、火薬・雷管の費用、レッグハンマ損料、ロッド・ビット等の損耗費及び空気圧縮機（排出ガス対策型（第1次基準値））運転経費であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 5. 上表により難い場合は、別途考慮する。</p> <p>5-2-3 人力掘削歩掛 機械施工が出来ない箇所及び火薬による破砕が出来ない箇所の人力掘削歩掛は、次表とする。 なお、粘性土、砂及び砂質土、レキ質土、岩塊・玉石は、「第2章土工⑥人力土工」による。</p> <p style="text-align: center;">表5.5 人力掘削 日当り施工量</p> <table border="1" data-bbox="389 1240 1043 1385"> <thead> <tr> <th>土質・岩分類</th> <th>単 位</th> <th>施 工 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>軟 岩</td> <td>m³</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>硬 岩</td> <td>〃</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>転 石</td> <td>〃</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table>	土質・岩分類	単 位	施 工 量	軟 岩	m ³	37	硬 岩	〃	21	転 石	〃	9	名 称	規 格	単 位	土 質 ・ 岩 分 類			軟 岩	硬 岩	転 石	世 話 役		人	0.7	0.6	0.3	削 岩 工		〃	1.9	1.6	1.4	特 殊 作 業 員		〃	2.7	1.8	0.7	普 通 作 業 員		〃	2.2	1.9	0.3	諸 雑 費 率		%	18	23	26	土質・岩分類	単 位	施 工 量	軟 岩	m ³	9	硬 岩	〃	7	転 石	〃	12	<p style="text-align: center;">現行どおり</p>
土質・岩分類	単 位	施 工 量																																																															
軟 岩	m ³	37																																																															
硬 岩	〃	21																																																															
転 石	〃	9																																																															
名 称	規 格	単 位	土 質 ・ 岩 分 類																																																														
			軟 岩	硬 岩	転 石																																																												
世 話 役		人	0.7	0.6	0.3																																																												
削 岩 工		〃	1.9	1.6	1.4																																																												
特 殊 作 業 員		〃	2.7	1.8	0.7																																																												
普 通 作 業 員		〃	2.2	1.9	0.3																																																												
諸 雑 費 率		%	18	23	26																																																												
土質・岩分類	単 位	施 工 量																																																															
軟 岩	m ³	9																																																															
硬 岩	〃	7																																																															
転 石	〃	12																																																															

土木工事標準歩掛の一部改定
砂防 土工

工種名	現 行	改 定																																																																																																																																					
砂防 土工	<p>日当り掘削歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.6 岩石掘削（人力）歩掛 (1日当り)</p> <table border="1" data-bbox="282 261 1151 442"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="3">土 質 ・ 岩 分 類</th> </tr> <tr> <th>軟 岩</th> <th>硬 岩</th> <th>転 石</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.9</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>2.8</td> <td>2.9</td> <td>2.9</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1.9</td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表の硬岩は、硬岩（I）は含まないものとする。 2. 伐根、岩盤清掃等の作業が必要な場合は、別途計上する。 3. 歩掛には、仕上掘削を含む。 4. 対象土量は、地山土量とする。 5. 上表の労務には、空気圧縮機（排出ガス対策型（第1次基準値））、削岩機の運転労務を含む。 6. 歩掛には、掘り起こし及び切崩し作業のほか投棄を含む。 7. 諸雑費は、空気圧縮機（排出ガス対策型（第1次基準値））運転経費、削岩機損料であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>6. 単 価 表</p> <p>(1) バックホウ掘削・積込・床掘 100m³当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="282 694 1151 834"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>日</td> <td>100/D</td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D：日当り施工量</p> <p>(2) ブルドーザ掘削押土 100m³当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="282 917 1151 1058"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ブルドーザ運転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級</td> <td>日</td> <td>100/D</td> <td>表4.2</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D：日当り施工量</p> <p>(3) ダンプトラック運搬 100m³当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="282 1141 1151 1281"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ダンプトラック運転</td> <td>10t積級</td> <td>日</td> <td></td> <td>表4.3</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 岩石掘削（機械）10m³当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="282 1377 1151 1492"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大型ブレーカ運転</td> <td>油圧式1,300kg級</td> <td>日</td> <td>10/D</td> <td>表5.1, 表5.2</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表5.2</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D：日当り施工量</p>	名 称	規 格	単 位	土 質 ・ 岩 分 類			軟 岩	硬 岩	転 石	世 話 役		人	0.9	1.0	1.0	特 殊 作 業 員		〃	2.8	2.9	2.9	普 通 作 業 員		〃	1.9	2.0	2.0	諸 雑 費 率		%	7	7	7	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	バックホウ運転	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	日	100/D	表4.1	諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	ブルドーザ運転	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級	日	100/D	表4.2	諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	ダンプトラック運転	10t積級	日		表4.3	諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	大型ブレーカ運転	油圧式1,300kg級	日	10/D	表5.1, 表5.2	諸 雑 費		式	1	表5.2	計					<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>6. 単 価 表</p> <p>(1) バックホウ掘削・積込・床掘 100m³当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="1223 699 2092 839"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>日</td> <td>100/D</td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D：日当り施工量</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	日	100/D	表4.1	諸 雑 費		式	1		計				
名 称	規 格				単 位	土 質 ・ 岩 分 類																																																																																																																																	
		軟 岩	硬 岩	転 石																																																																																																																																			
世 話 役		人	0.9	1.0	1.0																																																																																																																																		
特 殊 作 業 員		〃	2.8	2.9	2.9																																																																																																																																		
普 通 作 業 員		〃	1.9	2.0	2.0																																																																																																																																		
諸 雑 費 率		%	7	7	7																																																																																																																																		
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																			
バックホウ運転	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	日	100/D	表4.1																																																																																																																																			
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																				
計																																																																																																																																							
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																			
ブルドーザ運転	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級	日	100/D	表4.2																																																																																																																																			
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																				
計																																																																																																																																							
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																			
ダンプトラック運転	10t積級	日		表4.3																																																																																																																																			
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																				
計																																																																																																																																							
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																			
大型ブレーカ運転	油圧式1,300kg級	日	10/D	表5.1, 表5.2																																																																																																																																			
諸 雑 費		式	1	表5.2																																																																																																																																			
計																																																																																																																																							
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																			
バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	日	100/D	表4.1																																																																																																																																			
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																				
計																																																																																																																																							

土木工事標準歩掛の一部改定
砂防 土工

工種名	現 行	改 定																																																																																																											
砂防 土工	<p>(5) 岩石掘削 (火薬) 10m³当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="280 264 1149 526"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>表5.4×10/D</td> <td>表5.3, 表5.4</td> </tr> <tr> <td>削 岩 工</td> <td></td> <td>"</td> <td>表5.4×10/D</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>"</td> <td>表5.4×10/D</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>"</td> <td>表5.4×10/D</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表5.4</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D:日当り施工量</p> <p>(6) 岩石掘削 (人力) 10m³当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="280 616 1149 836"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>表5.6×10/D</td> <td>表5.5, 表5.6</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>"</td> <td>表5.6×10/D</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>"</td> <td>表5.6×10/D</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表5.6</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D:日当り施工量</p> <p>(7) 機械運転単価表</p> <table border="1" data-bbox="280 924 1149 1474"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型 山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→108 機械損料数量→1.67</td> </tr> <tr> <td>ブ ル ド ー ザ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→104 機械損料数量→2.16</td> </tr> <tr> <td>ダ ンプ ト ラ ッ ク</td> <td>10t積級</td> <td>機-22</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→92 機械損料数量→1.23</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">大 型 プ レ ー カ (バックホウ装着)</td> <td rowspan="2">油圧式1,300kg級</td> <td rowspan="2">機-20</td> <td>機 械 損 料 1 →バックホウ (排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型山積0.8m³(平積0.6m³)) 運転労務数量→1.00 燃料消費量→95 機械損料数量→1.30</td> </tr> <tr> <td>機 械 損 料 2 →大型プレーカ (油圧式1,300kg級) 機械損料数量→1.30</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	表5.4×10/D	表5.3, 表5.4	削 岩 工		"	表5.4×10/D	"	特 殊 作 業 員		"	表5.4×10/D	"	普 通 作 業 員		"	表5.4×10/D	"	諸 雑 費		式	1	表5.4	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	表5.6×10/D	表5.5, 表5.6	特 殊 作 業 員		"	表5.6×10/D	"	普 通 作 業 員		"	表5.6×10/D	"	諸 雑 費		式	1	表5.6	計					機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→108 機械損料数量→1.67	ブ ル ド ー ザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→104 機械損料数量→2.16	ダ ンプ ト ラ ッ ク	10t積級	機-22	運転労務数量→1.00 燃料消費量→92 機械損料数量→1.23	大 型 プ レ ー カ (バックホウ装着)	油圧式1,300kg級	機-20	機 械 損 料 1 →バックホウ (排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型山積0.8m ³ (平積0.6m ³)) 運転労務数量→1.00 燃料消費量→95 機械損料数量→1.30	機 械 損 料 2 →大型プレーカ (油圧式1,300kg級) 機械損料数量→1.30	<p>現行どおり</p> <p>(7) 機械運転単価表</p> <table border="1" data-bbox="1223 928 2092 1474"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型 山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→108 機械損料数量→1.67</td> </tr> <tr> <td>ブ ル ド ー ザ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→104 機械損料数量→2.16</td> </tr> <tr> <td>ダ ンプ ト ラ ッ ク</td> <td>10t積級</td> <td>機-22</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→92 機械損料数量→1.23</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">大 型 プ レ ー カ (バックホウ装着)</td> <td rowspan="2">油圧式1,300kg級</td> <td rowspan="2">機-20</td> <td>機 械 損 料 1 →バックホウ (排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型山積0.8m³(平積0.6m³)) 運転労務数量→1.00 燃料消費量→95 機械損料数量→1.30</td> </tr> <tr> <td>機 械 損 料 2 →大型プレーカ (油圧式1,300kg級) 機械損料数量→1.30</td> </tr> </tbody> </table>	機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→108 機械損料数量→1.67	ブ ル ド ー ザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→104 機械損料数量→2.16	ダ ンプ ト ラ ッ ク	10t積級	機-22	運転労務数量→1.00 燃料消費量→92 機械損料数量→1.23	大 型 プ レ ー カ (バックホウ装着)	油圧式1,300kg級	機-20	機 械 損 料 1 →バックホウ (排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型山積0.8m ³ (平積0.6m ³)) 運転労務数量→1.00 燃料消費量→95 機械損料数量→1.30	機 械 損 料 2 →大型プレーカ (油圧式1,300kg級) 機械損料数量→1.30
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																									
世 話 役		人	表5.4×10/D	表5.3, 表5.4																																																																																																									
削 岩 工		"	表5.4×10/D	"																																																																																																									
特 殊 作 業 員		"	表5.4×10/D	"																																																																																																									
普 通 作 業 員		"	表5.4×10/D	"																																																																																																									
諸 雑 費		式	1	表5.4																																																																																																									
計																																																																																																													
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																									
世 話 役		人	表5.6×10/D	表5.5, 表5.6																																																																																																									
特 殊 作 業 員		"	表5.6×10/D	"																																																																																																									
普 通 作 業 員		"	表5.6×10/D	"																																																																																																									
諸 雑 費		式	1	表5.6																																																																																																									
計																																																																																																													
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																																																																																										
バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→108 機械損料数量→1.67																																																																																																										
ブ ル ド ー ザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→104 機械損料数量→2.16																																																																																																										
ダ ンプ ト ラ ッ ク	10t積級	機-22	運転労務数量→1.00 燃料消費量→92 機械損料数量→1.23																																																																																																										
大 型 プ レ ー カ (バックホウ装着)	油圧式1,300kg級	機-20	機 械 損 料 1 →バックホウ (排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型山積0.8m ³ (平積0.6m ³)) 運転労務数量→1.00 燃料消費量→95 機械損料数量→1.30																																																																																																										
			機 械 損 料 2 →大型プレーカ (油圧式1,300kg級) 機械損料数量→1.30																																																																																																										
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																																																																																										
バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→108 機械損料数量→1.67																																																																																																										
ブ ル ド ー ザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通15t級	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→104 機械損料数量→2.16																																																																																																										
ダ ンプ ト ラ ッ ク	10t積級	機-22	運転労務数量→1.00 燃料消費量→92 機械損料数量→1.23																																																																																																										
大 型 プ レ ー カ (バックホウ装着)	油圧式1,300kg級	機-20	機 械 損 料 1 →バックホウ (排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型山積0.8m ³ (平積0.6m ³)) 運転労務数量→1.00 燃料消費量→95 機械損料数量→1.30																																																																																																										
			機 械 損 料 2 →大型プレーカ (油圧式1,300kg級) 機械損料数量→1.30																																																																																																										

土木工事標準歩掛の一部改定 集排水ボーリング工

工種名	現 行	改 定																																																												
地すべり防止工 集排水ボーリング工	<p>地すべり防止工 2 集排水ボーリング工</p> <p>2-1 適用範囲 本資料は、地表及び集水井内において、ロータリーパーカッション式ボーリングマシン（二重管方式）によって集排水ボーリング工を施工するものであり、呼び径 90～135 mm、削孔長 80m以下、削孔角度は水平±10 度以内の作業に適用する。</p> <p>2-2 施工概要 2-2-1 施工フロー 施工フローは、下記を標準とする。</p> <div style="text-align: center;"> </div> <p>(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。 () 書きは必要な場合計上する。</p> <p>2-3 施工歩掛 2-3-1 機種を選定 機械・規格の選定は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 機種を選定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ボーリングマシン</td> <td>ロータリーパーカッション式・スキッド型55kW級</td> <td>台</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>グラウトポンプ</td> <td>横型二連複動ピストン式 200ℓ/min</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事用水中ポンプ</td> <td>φ50, 30m</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>(注) 1 給水用</td> </tr> <tr> <td>工事用水中ポンプ</td> <td>φ50, 30m</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>(注) 1, 2 排水用</td> </tr> <tr> <td>発 動 発 電 機</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) ディーゼルエンジン駆動 125kVA</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 工事用水中ポンプの規格及び台数は、作業条件等により別途考慮する。 2. 工事用水中ポンプ (排水用) は、集水井内施工の場合にのみ計上する。 3. 発動発電機は、賃料とする。</p>	機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要	ボーリングマシン	ロータリーパーカッション式・スキッド型55kW級	台	1		グラウトポンプ	横型二連複動ピストン式 200ℓ/min	〃	1		工事用水中ポンプ	φ50, 30m	〃	1	(注) 1 給水用	工事用水中ポンプ	φ50, 30m	〃	1	(注) 1, 2 排水用	発 動 発 電 機	排出ガス対策型 (第1次基準値) ディーゼルエンジン駆動 125kVA	〃	1		<p>地すべり防止工 2 集排水ボーリング工</p> <p>2-1 適用範囲 本資料は、地表及び集水井内において、ロータリーパーカッション式ボーリングマシン（二重管方式）によって集排水ボーリング工を施工するものであり、呼び径 90～135 mm、削孔長 80m以下、削孔角度は水平±10 度以内の作業に適用する。</p> <p>2-2 施工概要 2-2-1 施工フロー 施工フローは、下記を標準とする。</p> <div style="text-align: center;"> </div> <p>(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。 () 書きは必要な場合計上する。</p> <p>2-3 施工歩掛 2-3-1 機種を選定 機械・規格の選定は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 機種を選定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ボーリングマシン</td> <td>ロータリーパーカッション式・スキッド型55kW級</td> <td>台</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>グラウトポンプ</td> <td>横型二連複動ピストン式 200ℓ/min</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事用水中ポンプ</td> <td>φ50, 30m</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>(注) 1 給水用</td> </tr> <tr> <td>工事用水中ポンプ</td> <td>φ50, 30m</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>(注) 1, 2 排水用</td> </tr> <tr> <td>発 動 発 電 機</td> <td>排出ガス対策型 (第2次基準値) ディーゼルエンジン駆動 125kVA</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>(注) 3</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 工事用水中ポンプの規格及び台数について、現場条件等により上表により難い場合は別途考慮する。 2. 工事用水中ポンプ (排水用) は、集水井内施工の場合にのみ計上する。 3. 発動発電機は、賃料とする。</p>	機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要	ボーリングマシン	ロータリーパーカッション式・スキッド型55kW級	台	1		グラウトポンプ	横型二連複動ピストン式 200ℓ/min	〃	1		工事用水中ポンプ	φ50, 30m	〃	1	(注) 1 給水用	工事用水中ポンプ	φ50, 30m	〃	1	(注) 1, 2 排水用	発 動 発 電 機	排出ガス対策型 (第2次基準値) ディーゼルエンジン駆動 125kVA	〃	1	(注) 3
機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																										
ボーリングマシン	ロータリーパーカッション式・スキッド型55kW級	台	1																																																											
グラウトポンプ	横型二連複動ピストン式 200ℓ/min	〃	1																																																											
工事用水中ポンプ	φ50, 30m	〃	1	(注) 1 給水用																																																										
工事用水中ポンプ	φ50, 30m	〃	1	(注) 1, 2 排水用																																																										
発 動 発 電 機	排出ガス対策型 (第1次基準値) ディーゼルエンジン駆動 125kVA	〃	1																																																											
機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																										
ボーリングマシン	ロータリーパーカッション式・スキッド型55kW級	台	1																																																											
グラウトポンプ	横型二連複動ピストン式 200ℓ/min	〃	1																																																											
工事用水中ポンプ	φ50, 30m	〃	1	(注) 1 給水用																																																										
工事用水中ポンプ	φ50, 30m	〃	1	(注) 1, 2 排水用																																																										
発 動 発 電 機	排出ガス対策型 (第2次基準値) ディーゼルエンジン駆動 125kVA	〃	1	(注) 3																																																										

土木工事標準歩掛の一部改定
集排水ボーリング工

工種名	現 行	改 定																																																																
	<p>2-3-2 削 孔 工 削孔工は、ボーリングマシンによる集排水孔の削孔作業に適用する。 なお、土質ごとに積上げを行うこととする。</p> <p>(1) 編 成 人 員 削孔工の編成人員は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 編 成 人 員 (人/台)</p> <table border="1" data-bbox="472 389 920 443"> <thead> <tr> <th>世 話 役</th> <th>特殊作業員</th> <th>普通作業員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 運 転 時 間 ボーリングマシンの運転時間は、ドリルパイプの引抜きを含み 7.0h/日とする。</p> <p>(3) 削 孔 歩 掛 削孔歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.3 削 孔 歩 掛 (日/10m)</p> <table border="1" data-bbox="318 619 1070 895"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施工場所</th> <th colspan="2">保 孔 管 径</th> <th rowspan="2">土質 呼び径</th> <th colspan="4">削 孔 日 数</th> </tr> <tr> <th>V P 管</th> <th>S G P 管</th> <th>粘 性 土 砂 質 土</th> <th>レキ質土</th> <th>岩塊・玉石</th> <th>軟 岩</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">地 表</td> <td>40mm</td> <td>40A</td> <td>90mm</td> <td>0.31</td> <td>0.46</td> <td>0.63</td> <td>0.50</td> </tr> <tr> <td>50, 65</td> <td>50, 65</td> <td>115</td> <td>0.42</td> <td>0.57</td> <td>0.71</td> <td>0.60</td> </tr> <tr> <td>75</td> <td>80, 90</td> <td>135</td> <td>0.50</td> <td>0.65</td> <td>0.76</td> <td>0.66</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">集水井</td> <td>40mm</td> <td>40A</td> <td>90mm</td> <td>0.37</td> <td>0.54</td> <td>0.75</td> <td>0.60</td> </tr> <tr> <td>50, 65</td> <td>50, 65</td> <td>115</td> <td>0.50</td> <td>0.67</td> <td>0.83</td> <td>0.70</td> </tr> <tr> <td>75</td> <td>80, 90</td> <td>135</td> <td>0.59</td> <td>0.77</td> <td>0.90</td> <td>0.78</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 呼び径とは、ドリルパイプ外径 (mm) をいう。 2. 同一足場上での移動を含む。 3. 削孔長が50mを超える場合は、全長について20%の割増補正を行う。</p>	世 話 役	特殊作業員	普通作業員	1	1	2	施工場所	保 孔 管 径		土質 呼び径	削 孔 日 数				V P 管	S G P 管	粘 性 土 砂 質 土	レキ質土	岩塊・玉石	軟 岩	地 表	40mm	40A	90mm	0.31	0.46	0.63	0.50	50, 65	50, 65	115	0.42	0.57	0.71	0.60	75	80, 90	135	0.50	0.65	0.76	0.66	集水井	40mm	40A	90mm	0.37	0.54	0.75	0.60	50, 65	50, 65	115	0.50	0.67	0.83	0.70	75	80, 90	135	0.59	0.77	0.90	0.78	<p style="text-align: center;">現行どおり</p>
世 話 役	特殊作業員	普通作業員																																																																
1	1	2																																																																
施工場所	保 孔 管 径		土質 呼び径	削 孔 日 数																																																														
	V P 管	S G P 管		粘 性 土 砂 質 土	レキ質土	岩塊・玉石	軟 岩																																																											
地 表	40mm	40A	90mm	0.31	0.46	0.63	0.50																																																											
	50, 65	50, 65	115	0.42	0.57	0.71	0.60																																																											
	75	80, 90	135	0.50	0.65	0.76	0.66																																																											
集水井	40mm	40A	90mm	0.37	0.54	0.75	0.60																																																											
	50, 65	50, 65	115	0.50	0.67	0.83	0.70																																																											
	75	80, 90	135	0.59	0.77	0.90	0.78																																																											

土木工事標準歩掛の一部改定
集排水ボーリング工

工種名	現 行	改 定																																																																																																																		
	<p>(4) 削孔材料の損耗 削孔に要する削孔材料の損耗は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.4 削孔材料損耗表 (削孔10m当り)</p> <table border="1" data-bbox="293 347 1104 847"> <thead> <tr> <th>施工場所</th> <th>名 称</th> <th>呼び径</th> <th>単位</th> <th>粘性土 砂質土</th> <th>レキ質土</th> <th>岩塊・玉石</th> <th>軟 岩</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="8">地 表</td> <td>シャंकロッド</td> <td rowspan="8">各 種</td> <td>個</td> <td>0.03</td> <td>0.04</td> <td>0.06</td> <td>0.05</td> </tr> <tr> <td>クリーニングアダプタ</td> <td>〃</td> <td>0.02</td> <td>0.03</td> <td>0.05</td> <td>0.04</td> </tr> <tr> <td>エクステンションロッド</td> <td>〃</td> <td>0.03</td> <td>0.04</td> <td>0.05</td> <td>0.05</td> </tr> <tr> <td>ドリルパイプ (1.5m標準)</td> <td>本</td> <td>0.07</td> <td>0.20</td> <td>0.38</td> <td>0.29</td> </tr> <tr> <td>インナーロッド (1.5m標準)</td> <td>〃</td> <td>0.09</td> <td>0.22</td> <td>0.50</td> <td>0.34</td> </tr> <tr> <td>リングビット</td> <td>個</td> <td>0.13</td> <td>0.20</td> <td>0.28</td> <td>0.24</td> </tr> <tr> <td>インナービット</td> <td>〃</td> <td>0.09</td> <td>0.16</td> <td>0.18</td> <td>0.16</td> </tr> <tr> <td>ウォータースイベル</td> <td>〃</td> <td>0.01</td> <td>0.02</td> <td>0.03</td> <td>0.02</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">集水井</td> <td>シャंकロッド</td> <td rowspan="8">各 種</td> <td>個</td> <td>0.03</td> <td>0.04</td> <td>0.06</td> <td>0.05</td> </tr> <tr> <td>クリーニングアダプタ</td> <td>〃</td> <td>0.02</td> <td>0.03</td> <td>0.05</td> <td>0.04</td> </tr> <tr> <td>エクステンションロッド</td> <td>〃</td> <td>0.03</td> <td>0.04</td> <td>0.05</td> <td>0.05</td> </tr> <tr> <td>ドリルパイプ (1.0m標準)</td> <td>本</td> <td>0.11</td> <td>0.30</td> <td>0.57</td> <td>0.30</td> </tr> <tr> <td>インナーロッド (1.0m標準)</td> <td>〃</td> <td>0.14</td> <td>0.33</td> <td>0.75</td> <td>0.51</td> </tr> <tr> <td>リングビット</td> <td>個</td> <td>0.13</td> <td>0.20</td> <td>0.28</td> <td>0.24</td> </tr> <tr> <td>インナービット</td> <td>〃</td> <td>0.09</td> <td>0.16</td> <td>0.18</td> <td>0.16</td> </tr> <tr> <td>ウォータースイベル</td> <td>〃</td> <td>0.01</td> <td>0.02</td> <td>0.03</td> <td>0.02</td> </tr> </tbody> </table> <p>(5) 諸 雑 費 諸雑費は、ファン、水槽等の費用であり、労務費の合計に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表3.5 諸 雑 費 率 (%)</p> <table border="1" data-bbox="405 970 987 1034"> <thead> <tr> <th></th> <th>地 表</th> <th>集 水 井</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>0.4</td> <td>0.6</td> </tr> </tbody> </table>	施工場所	名 称	呼び径	単位	粘性土 砂質土	レキ質土	岩塊・玉石	軟 岩	地 表	シャंकロッド	各 種	個	0.03	0.04	0.06	0.05	クリーニングアダプタ	〃	0.02	0.03	0.05	0.04	エクステンションロッド	〃	0.03	0.04	0.05	0.05	ドリルパイプ (1.5m標準)	本	0.07	0.20	0.38	0.29	インナーロッド (1.5m標準)	〃	0.09	0.22	0.50	0.34	リングビット	個	0.13	0.20	0.28	0.24	インナービット	〃	0.09	0.16	0.18	0.16	ウォータースイベル	〃	0.01	0.02	0.03	0.02	集水井	シャंकロッド	各 種	個	0.03	0.04	0.06	0.05	クリーニングアダプタ	〃	0.02	0.03	0.05	0.04	エクステンションロッド	〃	0.03	0.04	0.05	0.05	ドリルパイプ (1.0m標準)	本	0.11	0.30	0.57	0.30	インナーロッド (1.0m標準)	〃	0.14	0.33	0.75	0.51	リングビット	個	0.13	0.20	0.28	0.24	インナービット	〃	0.09	0.16	0.18	0.16	ウォータースイベル	〃	0.01	0.02	0.03	0.02		地 表	集 水 井	諸 雑 費 率	0.4	0.6	<p style="text-align: center;">現行どおり</p>
施工場所	名 称	呼び径	単位	粘性土 砂質土	レキ質土	岩塊・玉石	軟 岩																																																																																																													
地 表	シャंकロッド	各 種	個	0.03	0.04	0.06	0.05																																																																																																													
	クリーニングアダプタ		〃	0.02	0.03	0.05	0.04																																																																																																													
	エクステンションロッド		〃	0.03	0.04	0.05	0.05																																																																																																													
	ドリルパイプ (1.5m標準)		本	0.07	0.20	0.38	0.29																																																																																																													
	インナーロッド (1.5m標準)		〃	0.09	0.22	0.50	0.34																																																																																																													
	リングビット		個	0.13	0.20	0.28	0.24																																																																																																													
	インナービット		〃	0.09	0.16	0.18	0.16																																																																																																													
	ウォータースイベル		〃	0.01	0.02	0.03	0.02																																																																																																													
集水井	シャंकロッド	各 種	個	0.03	0.04	0.06	0.05																																																																																																													
	クリーニングアダプタ		〃	0.02	0.03	0.05	0.04																																																																																																													
	エクステンションロッド		〃	0.03	0.04	0.05	0.05																																																																																																													
	ドリルパイプ (1.0m標準)		本	0.11	0.30	0.57	0.30																																																																																																													
	インナーロッド (1.0m標準)		〃	0.14	0.33	0.75	0.51																																																																																																													
	リングビット		個	0.13	0.20	0.28	0.24																																																																																																													
	インナービット		〃	0.09	0.16	0.18	0.16																																																																																																													
	ウォータースイベル		〃	0.01	0.02	0.03	0.02																																																																																																													
	地 表	集 水 井																																																																																																																		
諸 雑 費 率	0.4	0.6																																																																																																																		

土木工事標準歩掛の一部改定
集排水ボーリング工

工種名	現 行	改 定																																																																																																
	<p>2-3-3 保孔管加工・挿入工 保孔管加工・挿入工は、保孔管の加工から孔内挿入までの作業に適用する。</p> <p>(1) 編成人員 保孔管加工・挿入工の編成人員は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.6 編 成 人 員 (人/台)</p> <table border="1" data-bbox="398 384 994 445"> <tr> <th>世 話 役</th> <th>特 殊 作 業 員</th> <th>普 通 作 業 員</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </table> <p>(2) 保孔管加工・挿入歩掛 保孔管加工・挿入歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.7 保孔管加工・挿入歩掛 (10m当り)</p> <table border="1" data-bbox="264 593 1128 1038"> <thead> <tr> <th colspan="3">施 工 場 所</th> <th colspan="3">地 表</th> <th colspan="3">集 水 井</th> </tr> <tr> <th colspan="3">保 孔 材 料</th> <th>VP</th> <th colspan="2">SGP</th> <th>VP</th> <th colspan="2">SGP</th> </tr> <tr> <th colspan="3">ス ト レ ー ナ 加 工</th> <th>有</th> <th>有</th> <th>無</th> <th>有</th> <th>有</th> <th>無</th> </tr> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.05</td> <td>0.03</td> <td>0.03</td> <td>0.07</td> <td>0.04</td> <td>0.04</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.11</td> <td>0.07</td> <td>0.07</td> <td>0.14</td> <td>0.09</td> <td>0.09</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.10</td> <td>0.07</td> <td>0.07</td> <td>0.14</td> <td>0.08</td> <td>0.08</td> </tr> <tr> <td>配 管 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>—</td> <td>0.60</td> <td>0.24</td> <td>—</td> <td>0.86</td> <td>0.50</td> </tr> <tr> <td>ボーリングマシン 設 備 運 転</td> <td>ロータリーバーカッ ション式・スキッド型 55kW級</td> <td>日</td> <td>—</td> <td>0.10</td> <td>0.10</td> <td>—</td> <td>0.10</td> <td>0.10</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>—</td> <td>10</td> <td>15</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>11</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. VP管は、JIS K6741を標準とする。 2. 諸雑費は、工事用水中ポンプ、ファンの運転経費及び電力に関する費用であり、労務費、機械損料及び運転経費の合計に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 3. ボーリングマシンの運転時間は、7.0h/日とする。</p>	世 話 役	特 殊 作 業 員	普 通 作 業 員	1	2	2	施 工 場 所			地 表			集 水 井			保 孔 材 料			VP	SGP		VP	SGP		ス ト レ ー ナ 加 工			有	有	無	有	有	無	名 称	規 格	単 位							世 話 役		人	0.05	0.03	0.03	0.07	0.04	0.04	特 殊 作 業 員		〃	0.11	0.07	0.07	0.14	0.09	0.09	普 通 作 業 員		〃	0.10	0.07	0.07	0.14	0.08	0.08	配 管 工		〃	—	0.60	0.24	—	0.86	0.50	ボーリングマシン 設 備 運 転	ロータリーバーカッ ション式・スキッド型 55kW級	日	—	0.10	0.10	—	0.10	0.10	諸 雑 費 率		%	—	10	15	7	8	11	<p style="text-align: center;">現行どおり</p>
世 話 役	特 殊 作 業 員	普 通 作 業 員																																																																																																
1	2	2																																																																																																
施 工 場 所			地 表			集 水 井																																																																																												
保 孔 材 料			VP	SGP		VP	SGP																																																																																											
ス ト レ ー ナ 加 工			有	有	無	有	有	無																																																																																										
名 称	規 格	単 位																																																																																																
世 話 役		人	0.05	0.03	0.03	0.07	0.04	0.04																																																																																										
特 殊 作 業 員		〃	0.11	0.07	0.07	0.14	0.09	0.09																																																																																										
普 通 作 業 員		〃	0.10	0.07	0.07	0.14	0.08	0.08																																																																																										
配 管 工		〃	—	0.60	0.24	—	0.86	0.50																																																																																										
ボーリングマシン 設 備 運 転	ロータリーバーカッ ション式・スキッド型 55kW級	日	—	0.10	0.10	—	0.10	0.10																																																																																										
諸 雑 費 率		%	—	10	15	7	8	11																																																																																										

土木工事標準歩掛の一部改定
集排水ボーリング工

工種名	現 行	改 定																		
	<p>(3) 保孔管材料</p> <p>1) 保孔管の使用区分は、VP管を標準とするが、活動中の地すべり地区等で、挿入後せん断、よじれ等により保孔管破損のおそれのある場合はSGP管とする。</p> <p>2) 保孔管の使用量は、次式による。 使用量=挿入長×(1+ロス率)</p> <p style="text-align: center;">表3.8 ロス率</p> <table border="1" data-bbox="297 440 1093 603"> <thead> <tr> <th>施 工 場 所</th> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>ロ ス 率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">地 表</td> <td>硬質塩化ビニル管</td> <td>VP 一般管</td> <td>+0.03</td> </tr> <tr> <td>配管用炭素鋼鋼管</td> <td>SGP 黒ネジ無し管</td> <td>+0.04</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">集 水 井 内</td> <td>硬質塩化ビニル管</td> <td>VP 一般管</td> <td>+0.06</td> </tr> <tr> <td>配管用炭素鋼鋼管</td> <td>SGP 黒ネジ無し管</td> <td>+0.08</td> </tr> </tbody> </table>	施 工 場 所	名 称	規 格	ロ ス 率	地 表	硬質塩化ビニル管	VP 一般管	+0.03	配管用炭素鋼鋼管	SGP 黒ネジ無し管	+0.04	集 水 井 内	硬質塩化ビニル管	VP 一般管	+0.06	配管用炭素鋼鋼管	SGP 黒ネジ無し管	+0.08	<p style="text-align: center;">現行どおり</p>
施 工 場 所	名 称	規 格	ロ ス 率																	
地 表	硬質塩化ビニル管	VP 一般管	+0.03																	
	配管用炭素鋼鋼管	SGP 黒ネジ無し管	+0.04																	
集 水 井 内	硬質塩化ビニル管	VP 一般管	+0.06																	
	配管用炭素鋼鋼管	SGP 黒ネジ無し管	+0.08																	

土木工事標準歩掛の一部改定
集排水ボーリング工

工種名	現 行	改 定																																																																																																																																																		
	<p>2-3-4 機械据付・撤去工 (1) 機械据付・撤去歩掛 機械据付・撤去歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.9 機械据付・撤去歩掛 (1回当り)</p> <table border="1" data-bbox="309 343 1081 635"> <thead> <tr> <th colspan="3">施 工 場 所</th> <th rowspan="2">地 表</th> <th rowspan="2">集水井内</th> </tr> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.9</td> <td>3.1</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1.8</td> <td>2.6</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>—</td> <td>1.7</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1.8</td> <td>6.0</td> </tr> <tr> <td>トラッククレーン賃料</td> <td>油圧伸縮ジブ型4.9t吊</td> <td>日</td> <td>0.7</td> <td>2.5</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>—</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 集水井内の歩掛には、足場設置・撤去を含む。 2. 同一足場上の移動は、削孔歩掛を含む。 3. トラッククレーンの規格は、現場条件にあった規格を別途選定する。 4. トラッククレーンは、賃料とする。 5. 諸雑費は、足場材等の費用であり、労務費の合計に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>2-3-5 足場工 (1) 足場設置・撤去歩掛 足場設置・撤去歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.10 足場設置・撤去歩掛 (100空m³当り)</p> <table border="1" data-bbox="309 946 1081 1238"> <thead> <tr> <th colspan="3">施 工 場 所</th> <th colspan="2">地 表</th> </tr> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>平 地</th> <th>傾 斜 地</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>2.4</td> <td>3.1</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>2.4</td> <td>3.1</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>4.7</td> <td>6.2</td> </tr> <tr> <td>トラッククレーン賃料</td> <td>油圧伸縮ジブ型4.9t吊</td> <td>日</td> <td>0.3</td> <td>0.5</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>29</td> <td>20</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 作業面の足場幅は、4.5mとする。 2. トラッククレーンの規格は、現場条件にあった規格を別途選定する。 3. トラッククレーンは、賃料とする。 4. 諸雑費は、足場材等の費用であり、労務費の合計に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p>	施 工 場 所			地 表	集水井内	名 称	規 格	単 位	世 話 役		人	0.9	3.1	特 殊 作 業 員		〃	1.8	2.6	と び 工		〃	—	1.7	普 通 作 業 員		〃	1.8	6.0	トラッククレーン賃料	油圧伸縮ジブ型4.9t吊	日	0.7	2.5	諸 雑 費 率		%	—	4	施 工 場 所			地 表		名 称	規 格	単 位	平 地	傾 斜 地	世 話 役		人	2.4	3.1	と び 工		〃	2.4	3.1	普 通 作 業 員		〃	4.7	6.2	トラッククレーン賃料	油圧伸縮ジブ型4.9t吊	日	0.3	0.5	諸 雑 費 率		%	29	20	<p>2-3-4 機械据付・撤去工 (1) 機械据付・撤去歩掛 機械据付・撤去歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.9 機械据付・撤去歩掛 (1回当り)</p> <table border="1" data-bbox="1225 343 1998 655"> <thead> <tr> <th colspan="3">施 工 場 所</th> <th rowspan="2">地 表</th> <th rowspan="2">集水井内</th> </tr> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.9</td> <td>3.1</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1.8</td> <td>2.6</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>—</td> <td>1.7</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1.8</td> <td>6.0</td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン賃料</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型4.9t吊</td> <td>日</td> <td>0.7</td> <td>2.5</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>—</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 集水井内の歩掛には、足場設置・撤去を含む。 2. 同一足場上の移動は、削孔歩掛を含む。 3. 現場条件により上表により難しい場合は別途考慮する。 4. クローラクレーンは、賃料とする。 5. 諸雑費は、足場材等の費用であり、労務費の合計に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>2-3-5 足場工 (1) 足場設置・撤去歩掛 足場設置・撤去歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.10 足場設置・撤去歩掛 (100空m³当り)</p> <table border="1" data-bbox="1225 967 1998 1279"> <thead> <tr> <th colspan="3">施 工 場 所</th> <th colspan="2">地 表</th> </tr> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>平 地</th> <th>傾 斜 地</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>2.4</td> <td>3.1</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>2.4</td> <td>3.1</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>4.7</td> <td>6.2</td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン賃料</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型4.9t吊</td> <td>日</td> <td>0.3</td> <td>0.5</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>29</td> <td>20</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 作業面の足場幅は、4.5mとする。 2. 現場条件により上表により難しい場合は別途考慮する。 3. クローラクレーンは、賃料とする。 4. 諸雑費は、足場材等の費用であり、労務費の合計に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p>	施 工 場 所			地 表	集水井内	名 称	規 格	単 位	世 話 役		人	0.9	3.1	特 殊 作 業 員		〃	1.8	2.6	と び 工		〃	—	1.7	普 通 作 業 員		〃	1.8	6.0	クローラクレーン賃料	排出ガス対策型(第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型4.9t吊	日	0.7	2.5	諸 雑 費 率		%	—	4	施 工 場 所			地 表		名 称	規 格	単 位	平 地	傾 斜 地	世 話 役		人	2.4	3.1	と び 工		〃	2.4	3.1	普 通 作 業 員		〃	4.7	6.2	クローラクレーン賃料	排出ガス対策型(第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型4.9t吊	日	0.3	0.5	諸 雑 費 率		%	29	20
施 工 場 所			地 表	集水井内																																																																																																																																																
名 称	規 格	単 位																																																																																																																																																		
世 話 役		人	0.9	3.1																																																																																																																																																
特 殊 作 業 員		〃	1.8	2.6																																																																																																																																																
と び 工		〃	—	1.7																																																																																																																																																
普 通 作 業 員		〃	1.8	6.0																																																																																																																																																
トラッククレーン賃料	油圧伸縮ジブ型4.9t吊	日	0.7	2.5																																																																																																																																																
諸 雑 費 率		%	—	4																																																																																																																																																
施 工 場 所			地 表																																																																																																																																																	
名 称	規 格	単 位	平 地	傾 斜 地																																																																																																																																																
世 話 役		人	2.4	3.1																																																																																																																																																
と び 工		〃	2.4	3.1																																																																																																																																																
普 通 作 業 員		〃	4.7	6.2																																																																																																																																																
トラッククレーン賃料	油圧伸縮ジブ型4.9t吊	日	0.3	0.5																																																																																																																																																
諸 雑 費 率		%	29	20																																																																																																																																																
施 工 場 所			地 表	集水井内																																																																																																																																																
名 称	規 格	単 位																																																																																																																																																		
世 話 役		人	0.9	3.1																																																																																																																																																
特 殊 作 業 員		〃	1.8	2.6																																																																																																																																																
と び 工		〃	—	1.7																																																																																																																																																
普 通 作 業 員		〃	1.8	6.0																																																																																																																																																
クローラクレーン賃料	排出ガス対策型(第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型4.9t吊	日	0.7	2.5																																																																																																																																																
諸 雑 費 率		%	—	4																																																																																																																																																
施 工 場 所			地 表																																																																																																																																																	
名 称	規 格	単 位	平 地	傾 斜 地																																																																																																																																																
世 話 役		人	2.4	3.1																																																																																																																																																
と び 工		〃	2.4	3.1																																																																																																																																																
普 通 作 業 員		〃	4.7	6.2																																																																																																																																																
クローラクレーン賃料	排出ガス対策型(第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型4.9t吊	日	0.3	0.5																																																																																																																																																
諸 雑 費 率		%	29	20																																																																																																																																																

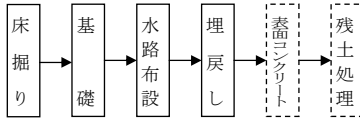
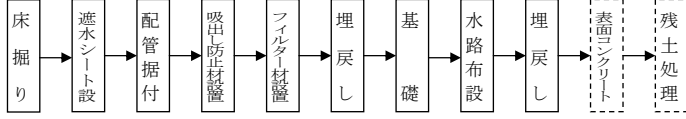
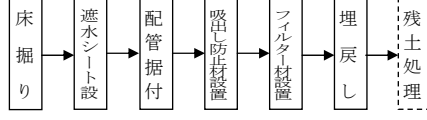
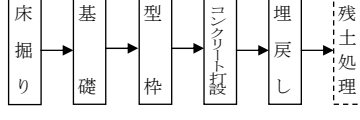

土木工事標準歩掛の一部改定
集排水ボーリング工

工種名	現 行	改 定																																																																																																																																																											
	<p>2-4 単 価 表</p> <p>(1) 削孔（土質名、地表、集水井内、削孔長50m以下、超える場合）10m当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="295 287 1093 873"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>世 話 役</td><td></td><td>人</td><td></td><td>表3.2, 表3.3</td></tr> <tr><td>特 殊 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr> <tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr> <tr><td>シ ャ ン ク ロ ッ ド</td><td></td><td>個</td><td></td><td>表3.4</td></tr> <tr><td>ク リ ー ニ ン グ ア ダ プ タ</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr> <tr><td>エ キ ス テ ン シ ョ ン ロ ッ ド</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr> <tr><td>ド リ ル バ イ プ</td><td></td><td>本</td><td></td><td>〃</td></tr> <tr><td>イ ン ナ ー ロ ッ ド</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr> <tr><td>リ ン グ ビ ッ ト</td><td></td><td>個</td><td></td><td>〃</td></tr> <tr><td>イ ン ナ ー ビ ッ ト</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr> <tr><td>ウ ォ ー タ ー ス イ ベ ル</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr> <tr><td>ボ ー リ ン グ マ シ ン 設 備 運 転</td><td></td><td>日</td><td></td><td>表3.3 (2)単価表</td></tr> <tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>表3.5</td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>(2) ボーリングマシン設備運転1日当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="295 917 1093 1233"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>ボーリングマシン損料</td><td>ロータリーパーカッション式 ・スキッド型55kW級</td><td>日</td><td>1</td><td></td></tr> <tr><td>グラウトポンプ損料</td><td>横型二連複動ピストン式 200ℓ/min</td><td>〃</td><td>1</td><td></td></tr> <tr><td>水中ポンプ損料</td><td>φ50, 30m</td><td>〃</td><td>1</td><td>給水用</td></tr> <tr><td>水中ポンプ損料</td><td>φ50, 30m</td><td>〃</td><td>1</td><td>排水用 集水井内施工の場合</td></tr> <tr><td>発 動 発 電 機 運 転</td><td>排出ガス対策型(第1次基準値) ディーゼルエンジン駆動125kVA</td><td>〃</td><td>1</td><td></td></tr> <tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td></td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表3.2, 表3.3	特 殊 作 業 員		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	シ ャ ン ク ロ ッ ド		個		表3.4	ク リ ー ニ ン グ ア ダ プ タ		〃		〃	エ キ ス テ ン シ ョ ン ロ ッ ド		〃		〃	ド リ ル バ イ プ		本		〃	イ ン ナ ー ロ ッ ド		〃		〃	リ ン グ ビ ッ ト		個		〃	イ ン ナ ー ビ ッ ト		〃		〃	ウ ォ ー タ ー ス イ ベ ル		〃		〃	ボ ー リ ン グ マ シ ン 設 備 運 転		日		表3.3 (2)単価表	諸 雑 費		式	1	表3.5	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	ボーリングマシン損料	ロータリーパーカッション式 ・スキッド型55kW級	日	1		グラウトポンプ損料	横型二連複動ピストン式 200ℓ/min	〃	1		水中ポンプ損料	φ50, 30m	〃	1	給水用	水中ポンプ損料	φ50, 30m	〃	1	排水用 集水井内施工の場合	発 動 発 電 機 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) ディーゼルエンジン駆動125kVA	〃	1		諸 雑 費		式	1		計					<p>現行どおり</p> <p>(2) ボーリングマシン設備運転1日当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="1211 903 2009 1219"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>ボーリングマシン損料</td><td>ロータリーパーカッション式 ・スキッド型55kW級</td><td>日</td><td>1</td><td></td></tr> <tr><td>グラウトポンプ損料</td><td>横型二連複動ピストン式 200ℓ/min</td><td>〃</td><td>1</td><td></td></tr> <tr><td>水中ポンプ損料</td><td>φ50, 30m</td><td>〃</td><td>1</td><td>給水用</td></tr> <tr><td>水中ポンプ損料</td><td>φ50, 30m</td><td>〃</td><td>1</td><td>排水用 集水井内施工の場合</td></tr> <tr><td>発 動 発 電 機 運 転</td><td>排出ガス対策型(第2次基準値) ディーゼルエンジン駆動125kVA</td><td>〃</td><td>1</td><td></td></tr> <tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td></td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>(注) 発動発電機は賃料とする。</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	ボーリングマシン損料	ロータリーパーカッション式 ・スキッド型55kW級	日	1		グラウトポンプ損料	横型二連複動ピストン式 200ℓ/min	〃	1		水中ポンプ損料	φ50, 30m	〃	1	給水用	水中ポンプ損料	φ50, 30m	〃	1	排水用 集水井内施工の場合	発 動 発 電 機 運 転	排出ガス対策型(第2次基準値) ディーゼルエンジン駆動125kVA	〃	1		諸 雑 費		式	1		計				
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																									
世 話 役		人		表3.2, 表3.3																																																																																																																																																									
特 殊 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																									
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																									
シ ャ ン ク ロ ッ ド		個		表3.4																																																																																																																																																									
ク リ ー ニ ン グ ア ダ プ タ		〃		〃																																																																																																																																																									
エ キ ス テ ン シ ョ ン ロ ッ ド		〃		〃																																																																																																																																																									
ド リ ル バ イ プ		本		〃																																																																																																																																																									
イ ン ナ ー ロ ッ ド		〃		〃																																																																																																																																																									
リ ン グ ビ ッ ト		個		〃																																																																																																																																																									
イ ン ナ ー ビ ッ ト		〃		〃																																																																																																																																																									
ウ ォ ー タ ー ス イ ベ ル		〃		〃																																																																																																																																																									
ボ ー リ ン グ マ シ ン 設 備 運 転		日		表3.3 (2)単価表																																																																																																																																																									
諸 雑 費		式	1	表3.5																																																																																																																																																									
計																																																																																																																																																													
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																									
ボーリングマシン損料	ロータリーパーカッション式 ・スキッド型55kW級	日	1																																																																																																																																																										
グラウトポンプ損料	横型二連複動ピストン式 200ℓ/min	〃	1																																																																																																																																																										
水中ポンプ損料	φ50, 30m	〃	1	給水用																																																																																																																																																									
水中ポンプ損料	φ50, 30m	〃	1	排水用 集水井内施工の場合																																																																																																																																																									
発 動 発 電 機 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) ディーゼルエンジン駆動125kVA	〃	1																																																																																																																																																										
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																																										
計																																																																																																																																																													
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																									
ボーリングマシン損料	ロータリーパーカッション式 ・スキッド型55kW級	日	1																																																																																																																																																										
グラウトポンプ損料	横型二連複動ピストン式 200ℓ/min	〃	1																																																																																																																																																										
水中ポンプ損料	φ50, 30m	〃	1	給水用																																																																																																																																																									
水中ポンプ損料	φ50, 30m	〃	1	排水用 集水井内施工の場合																																																																																																																																																									
発 動 発 電 機 運 転	排出ガス対策型(第2次基準値) ディーゼルエンジン駆動125kVA	〃	1																																																																																																																																																										
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																																										
計																																																																																																																																																													

土木工事標準歩掛の一部改定
集排水ボーリング工

工種名	現 行	改 定																																																																																																																																																																																																																												
	<p>(3) 保孔管加工・挿入10m当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="293 256 1095 632"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表3.7</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>配 管 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>硬 質 塩 化 ビ ニ ル 管</td> <td>VP一般管</td> <td>m</td> <td>10.3又 は10.6</td> <td>表3.8による 地表又は集水井内</td> </tr> <tr> <td>配 管 用 炭 素 鋼 鋼 管</td> <td>SGP黒ネジ無管</td> <td>〃</td> <td>10.4又 は10.8</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ボーリングマシン運転</td> <td>ロータリーパーカッション式 ・スキッド型55kW級</td> <td>日</td> <td></td> <td>表3.7</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 機械据付・撤去1回当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="293 676 1095 967"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表3.9</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>トラッククレーン賃料</td> <td>油圧伸縮ジブ型4.9t吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(5) 足場設置・撤去100空m³当り単価表(地表)</p> <table border="1" data-bbox="293 1011 1095 1257"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表3.10</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>トラッククレーン賃料</td> <td>油圧伸縮ジブ型4.9t吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(6) 機械運転単価表</p> <table border="1" data-bbox="293 1302 1095 1410"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>発 動 発 電 機</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) ディーゼルエンジン駆動125kVA</td> <td>機-16</td> <td>燃料消費量→140 賃料数量→1.3</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表3.7	特 殊 作 業 員		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	配 管 工		〃		〃	硬 質 塩 化 ビ ニ ル 管	VP一般管	m	10.3又 は10.6	表3.8による 地表又は集水井内	配 管 用 炭 素 鋼 鋼 管	SGP黒ネジ無管	〃	10.4又 は10.8	〃	ボーリングマシン運転	ロータリーパーカッション式 ・スキッド型55kW級	日		表3.7	諸 雑 費		式	1	〃	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表3.9	特 殊 作 業 員		〃		〃	と び 工		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	トラッククレーン賃料	油圧伸縮ジブ型4.9t吊	日		〃	諸 雑 費		式	1	〃	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表3.10	と び 工		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	トラッククレーン賃料	油圧伸縮ジブ型4.9t吊	日		〃	諸 雑 費		式	1	〃	計					機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	発 動 発 電 機	排出ガス対策型(第1次基準値) ディーゼルエンジン駆動125kVA	機-16	燃料消費量→140 賃料数量→1.3	<p>現行どおり</p> <p>(4) 機械据付・撤去1回当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="1211 600 2013 911"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表3.9</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン賃料</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型4.9t吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(5) 足場設置・撤去100空m³当り単価表(地表)</p> <table border="1" data-bbox="1211 956 2013 1222"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表3.10</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン賃料</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型4.9t吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(6) 機械運転単価表</p> <table border="1" data-bbox="1211 1267 2013 1450"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クローラクレーン</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型4.9t吊</td> <td>機-28</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→14 賃料数量→1.50</td> </tr> <tr> <td>発 動 発 電 機</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値) ディーゼルエンジン駆動125kVA</td> <td>機-16</td> <td>燃料消費量→140 賃料数量→1.30</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表3.9	特 殊 作 業 員		〃		〃	と び 工		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	クローラクレーン賃料	排出ガス対策型(第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型4.9t吊	日		〃	諸 雑 費		式	1	〃	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表3.10	と び 工		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	クローラクレーン賃料	排出ガス対策型(第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型4.9t吊	日		〃	諸 雑 費		式	1	〃	計					機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	クローラクレーン	排出ガス対策型(第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型4.9t吊	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→14 賃料数量→1.50	発 動 発 電 機	排出ガス対策型(第2次基準値) ディーゼルエンジン駆動125kVA	機-16	燃料消費量→140 賃料数量→1.30
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																										
世 話 役		人		表3.7																																																																																																																																																																																																																										
特 殊 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																																																																										
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																																																																										
配 管 工		〃		〃																																																																																																																																																																																																																										
硬 質 塩 化 ビ ニ ル 管	VP一般管	m	10.3又 は10.6	表3.8による 地表又は集水井内																																																																																																																																																																																																																										
配 管 用 炭 素 鋼 鋼 管	SGP黒ネジ無管	〃	10.4又 は10.8	〃																																																																																																																																																																																																																										
ボーリングマシン運転	ロータリーパーカッション式 ・スキッド型55kW級	日		表3.7																																																																																																																																																																																																																										
諸 雑 費		式	1	〃																																																																																																																																																																																																																										
計																																																																																																																																																																																																																														
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																										
世 話 役		人		表3.9																																																																																																																																																																																																																										
特 殊 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																																																																										
と び 工		〃		〃																																																																																																																																																																																																																										
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																																																																										
トラッククレーン賃料	油圧伸縮ジブ型4.9t吊	日		〃																																																																																																																																																																																																																										
諸 雑 費		式	1	〃																																																																																																																																																																																																																										
計																																																																																																																																																																																																																														
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																										
世 話 役		人		表3.10																																																																																																																																																																																																																										
と び 工		〃		〃																																																																																																																																																																																																																										
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																																																																										
トラッククレーン賃料	油圧伸縮ジブ型4.9t吊	日		〃																																																																																																																																																																																																																										
諸 雑 費		式	1	〃																																																																																																																																																																																																																										
計																																																																																																																																																																																																																														
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																																																																																																																																																																																																											
発 動 発 電 機	排出ガス対策型(第1次基準値) ディーゼルエンジン駆動125kVA	機-16	燃料消費量→140 賃料数量→1.3																																																																																																																																																																																																																											
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																										
世 話 役		人		表3.9																																																																																																																																																																																																																										
特 殊 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																																																																										
と び 工		〃		〃																																																																																																																																																																																																																										
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																																																																										
クローラクレーン賃料	排出ガス対策型(第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型4.9t吊	日		〃																																																																																																																																																																																																																										
諸 雑 費		式	1	〃																																																																																																																																																																																																																										
計																																																																																																																																																																																																																														
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																										
世 話 役		人		表3.10																																																																																																																																																																																																																										
と び 工		〃		〃																																																																																																																																																																																																																										
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																																																																										
クローラクレーン賃料	排出ガス対策型(第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型4.9t吊	日		〃																																																																																																																																																																																																																										
諸 雑 費		式	1	〃																																																																																																																																																																																																																										
計																																																																																																																																																																																																																														
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																																																																																																																																																																																																											
クローラクレーン	排出ガス対策型(第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型4.9t吊	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→14 賃料数量→1.50																																																																																																																																																																																																																											
発 動 発 電 機	排出ガス対策型(第2次基準値) ディーゼルエンジン駆動125kVA	機-16	燃料消費量→140 賃料数量→1.30																																																																																																																																																																																																																											

土木工事標準歩掛の一部改定
地すべり防止工（山腹水路工）

工種名	現 行	改 定
地すべり防止工 (山腹水路工)	<p>① 地すべり防止工 3. 山腹水路工</p> <p>3-1 適用範囲 本資料は地すべり防止施設及び急傾斜崩壊対策施設の水路工に適用する。各工種における適用範囲は以下のとおりとする。</p> <p>3-1-1 山腹集水路・排水路工，山腹明暗渠工，山腹暗渠工</p> <p>(1) 機械据付 プレキャストU型側溝の製品質量100kg/個を超え450kg/個以下に適用する。</p> <p>(2) 人力据付 プレキャストU型側溝，コルゲートフリューム，暗渠管の製品質量100kg/個以下に適用する。</p> <p>3-1-2 集水桝工</p> <p>(1) 集水桝設置 内空積1m³/基以下の現場打ち集水桝の設置に適用する。</p> <p>(2) プレキャスト集水桝据付 プレキャスト集水桝の製品質量150kg/個を超え1,700kg/個以下の機械据付に適用する。</p> <p>3-2 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <p>(1) 山腹集水路・排水路の場合</p>  <p>(2) 山腹明暗渠の場合</p>  <p>(3) 山腹暗渠の場合</p>  <p>(4) 集水桝の場合</p>  <p>(5) プレキャスト集水桝の場合</p>  <p>(注) 本歩掛に対応しているのは、実線部分のみである。</p> <p>図 3-1 施工フロー</p>	<p>現行どおり</p>

土木工事標準歩掛の一部改定
地すべり防止工（山腹水路工）

工種名	現 行	改 定																																																						
地すべり防止工 (山腹水路工)	<p>3-3 機種の選定 機械・規格は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 機種の選定</p> <table border="1" data-bbox="295 300 1111 443"> <thead> <tr> <th>作業種別</th> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>掘削及び据付け</td> <td>バックホウ</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m³（平積0.2m³）吊能力1.7t</td> <td>台</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>資 材 運 搬</td> <td>不整地運搬車</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型・ダンプ式2.5t積</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>必要に応じて計上</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 運搬機械が上表により難い場合は、別途考慮する。 2. 不整地運搬車は賃料とする。</p> <p>3-4 編 成 人 員 山腹水路工の日当り編成人員は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 日当り編成人員 (人)</p> <table border="1" data-bbox="376 580 1021 689"> <thead> <tr> <th>工 種</th> <th>世 話 役</th> <th>特殊作業員</th> <th>普通作業員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>山腹集水路・排水路工 山 腹 明 暗 渠 工 山 腹 暗 渠 工</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>3-5 施 工 歩 掛 3-5-1 山腹集水路・排水路工 3-5-1-1 山腹U型側溝（機械据付）歩掛 (1) 日当り施工量 日当り施工量は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.3 日当り施工量 (m/日)</p> <table border="1" data-bbox="407 849 999 928"> <thead> <tr> <th>掘削断面積 (m²)</th> <th>0.5m²以下</th> <th>0.5を超え 1.0m²以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日 当 り 施 工 量</td> <td>14.7</td> <td>10.4</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 歩掛は、平均運搬距離50m以下の現場内小運搬を含む。ただし、平均運搬距離が50mを超え200m以下の場合は、不整地運搬車を計上する。 2. 歩掛は、床掘り（仕上げ含む）、基礎、埋戻しの労務を含む。ただし、材料は別途計上する。 3. 表面コンクリートの打設は、「第5章コンクリート工①コンクリート工」による。</p> <p>(2) 諸雑費 諸雑費は、締固め機械、目地モルタルの費用であり、労務費、バックホウの機械損料及び運転経費の合計に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表 3.4 諸雑费率 (%)</p> <table border="1" data-bbox="483 1219 936 1257"> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>0.4</td> </tr> </table>	作業種別	機 械 名	規 格	単位	数量	摘 要	掘削及び据付け	バックホウ	排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m ³ （平積0.2m ³ ）吊能力1.7t	台	1		資 材 運 搬	不整地運搬車	排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型・ダンプ式2.5t積	〃	1	必要に応じて計上	工 種	世 話 役	特殊作業員	普通作業員	山腹集水路・排水路工 山 腹 明 暗 渠 工 山 腹 暗 渠 工	1	1	2	掘削断面積 (m ²)	0.5m ² 以下	0.5を超え 1.0m ² 以下	日 当 り 施 工 量	14.7	10.4	諸 雑 費 率	0.4	<p>3-3 機種の選定 機械・規格は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 機種の選定</p> <table border="1" data-bbox="1236 300 2051 443"> <thead> <tr> <th>作業種別</th> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>掘削及び据付け</td> <td>バックホウ</td> <td>排出ガス対策型（第2次基準値） クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m³（平積0.2m³）吊能力1.7t</td> <td>台</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>資 材 運 搬</td> <td>不整地運搬車</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型・ダンプ式2.5t積</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>必要に応じて計上</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 運搬機械が上表により難い場合は、別途考慮する。 2. 不整地運搬車は賃料とする。</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>(2) 諸雑費 諸雑費は、締固め機械、目地モルタルの費用であり、労務費、バックホウの機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表 3.4 諸雑费率 (%)</p> <table border="1" data-bbox="1424 1219 1877 1257"> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>0.4</td> </tr> </table>	作業種別	機 械 名	規 格	単位	数量	摘 要	掘削及び据付け	バックホウ	排出ガス対策型（ 第2次基準値 ） クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m ³ （平積0.2m ³ ）吊能力1.7t	台	1		資 材 運 搬	不整地運搬車	排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型・ダンプ式2.5t積	〃	1	必要に応じて計上	諸 雑 費 率	0.4
作業種別	機 械 名	規 格	単位	数量	摘 要																																																			
掘削及び据付け	バックホウ	排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m ³ （平積0.2m ³ ）吊能力1.7t	台	1																																																				
資 材 運 搬	不整地運搬車	排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型・ダンプ式2.5t積	〃	1	必要に応じて計上																																																			
工 種	世 話 役	特殊作業員	普通作業員																																																					
山腹集水路・排水路工 山 腹 明 暗 渠 工 山 腹 暗 渠 工	1	1	2																																																					
掘削断面積 (m ²)	0.5m ² 以下	0.5を超え 1.0m ² 以下																																																						
日 当 り 施 工 量	14.7	10.4																																																						
諸 雑 費 率	0.4																																																							
作業種別	機 械 名	規 格	単位	数量	摘 要																																																			
掘削及び据付け	バックホウ	排出ガス対策型（ 第2次基準値 ） クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m ³ （平積0.2m ³ ）吊能力1.7t	台	1																																																				
資 材 運 搬	不整地運搬車	排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型・ダンプ式2.5t積	〃	1	必要に応じて計上																																																			
諸 雑 費 率	0.4																																																							

土木工事標準歩掛の一部改定
地すべり防止工（山腹水路工）

工種名	現 行	改 定																																
地すべり防止工 (山腹水路工)	<p>3-5-1-2 山腹U型側溝（人力据付）歩掛</p> <p>(1) 日当り施工量 日当り施工量は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.5 日当り施工量 (m/日)</p> <table border="1" data-bbox="409 319 938 395"> <tr> <td>掘削断面積 (㎡)</td> <td>0.5㎡以下</td> <td>0.5を超え 1.0㎡以下</td> </tr> <tr> <td>日 当 り 施 工 量</td> <td>15.1</td> <td>13.3</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 歩掛は、平均運搬距離50m以下の現場内小運搬を含む。ただし、平均運搬距離が50mを超え200m以下の場合は、不整地運搬車を計上する。 2. 歩掛は、床掘り（仕上げ含む）、基礎、埋戻しの労務を含む。 3. 表面コンクリートの打設は、「第5章コンクリート工①コンクリート工」による。</p> <p>(2) 諸雑費 諸雑費は、締固め機械、目地モルタルの費用であり、労務費、バックホウの機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表 3.6 諸雑费率 (%)</p> <table border="1" data-bbox="483 643 938 679"> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>0.4</td> </tr> </table> <p>3-5-1-3 山腹コルゲートフリューム歩掛</p> <p>(1) 日当り施工量 日当り施工量は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.7 日当り施工量 (m/日)</p> <table border="1" data-bbox="349 798 1066 874"> <tr> <td>掘削断面積 (㎡)</td> <td>0.5㎡以下</td> <td>0.5を超え 1.0㎡以下</td> <td>1.0を超え 2.0㎡以下</td> </tr> <tr> <td>日 当 り 施 工 量</td> <td>24.3</td> <td>19.1</td> <td>14.1</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 歩掛は、平均運搬距離50m以下の現場内小運搬を含む。ただし、平均運搬距離が50mを超え200m以下の場合は、不整地運搬車を計上する。 2. 歩掛は、床掘り（仕上げ含む）、基礎、埋戻しの労務を含む。 3. ポリエチレン製角型U字溝据付の場合も本歩掛を適用できる。 4. 表面コンクリートの打設は、「第5章コンクリート工①コンクリート工」による。</p> <p>(2) 諸雑費 諸雑費は、締固め機械の費用であり、労務費、バックホウの機械損料及び運転経費の合計に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表 3.8 諸雑费率 (%)</p> <table border="1" data-bbox="483 1098 938 1134"> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>0.3</td> </tr> </table> <p>3-5-2 山腹明暗渠</p> <p>3-5-2-1 山腹U型側溝明暗渠（機械据付）歩掛</p> <p>(1) 日当り施工量 日当り施工量は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.9 日当り施工量 (m/日)</p> <table border="1" data-bbox="349 1278 1104 1370"> <tr> <td>掘削断面積 (㎡)</td> <td>0.5㎡以下</td> <td>0.5を超え 1.0㎡以下</td> <td>1.0を超え 2.0㎡以下</td> <td>2.0を超え 3.0㎡以下</td> <td>3.0を超え 4.0㎡以下</td> </tr> <tr> <td>日 当 り 施 工 量</td> <td>12.4</td> <td>9.4</td> <td>7.0</td> <td>5.2</td> <td>4.1</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 歩掛は、平均運搬距離50m以下の現場内小運搬を含む。ただし、平均運搬距離が50mを超え200m以下の場合は、不整地運搬車を計上する。 2. 歩掛は、床掘り（仕上げ含む）、フィルター材、基礎、埋戻しの労務を含む。 3. 表面コンクリートの打設は、「第5章コンクリート工①コンクリート工」による。</p>	掘削断面積 (㎡)	0.5㎡以下	0.5を超え 1.0㎡以下	日 当 り 施 工 量	15.1	13.3	諸 雑 費 率	0.4	掘削断面積 (㎡)	0.5㎡以下	0.5を超え 1.0㎡以下	1.0を超え 2.0㎡以下	日 当 り 施 工 量	24.3	19.1	14.1	諸 雑 費 率	0.3	掘削断面積 (㎡)	0.5㎡以下	0.5を超え 1.0㎡以下	1.0を超え 2.0㎡以下	2.0を超え 3.0㎡以下	3.0を超え 4.0㎡以下	日 当 り 施 工 量	12.4	9.4	7.0	5.2	4.1	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>(2) 諸雑費 諸雑費は、締固め機械の費用であり、労務費、バックホウの機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表 3.8 諸雑费率 (%)</p> <table border="1" data-bbox="1426 1114 1881 1150"> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>0.3</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	諸 雑 費 率	0.3
掘削断面積 (㎡)	0.5㎡以下	0.5を超え 1.0㎡以下																																
日 当 り 施 工 量	15.1	13.3																																
諸 雑 費 率	0.4																																	
掘削断面積 (㎡)	0.5㎡以下	0.5を超え 1.0㎡以下	1.0を超え 2.0㎡以下																															
日 当 り 施 工 量	24.3	19.1	14.1																															
諸 雑 費 率	0.3																																	
掘削断面積 (㎡)	0.5㎡以下	0.5を超え 1.0㎡以下	1.0を超え 2.0㎡以下	2.0を超え 3.0㎡以下	3.0を超え 4.0㎡以下																													
日 当 り 施 工 量	12.4	9.4	7.0	5.2	4.1																													
諸 雑 費 率	0.3																																	

土木工事標準歩掛の一部改定
地すべり防止工（山腹水路工）

工種名	現 行	改 定																																				
地すべり防止工 (山腹水路工)	<p>(2) 諸雑費 諸雑費は、遮水シート及び吸出し防止材の設置、締固め機械、目地モルタルの費用であり、労務費、バックホウの機械損料及び運転経費の合計に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表 3.10 諸雑費率 (%)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">諸 雑 費 率</td> <td style="text-align: center;">4</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 遮水シート、吸出し防止材の材料は、諸雑費に含まないので別途計上する。</p> <p>3-5-2-2 山腹U型側溝明暗渠（人力掘付）歩掛</p> <p>(1) 日当り施工量 日当り施工量は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.11 日当り施工量 (m/日)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>掘削断面積 (㎡)</th> <th>0.5㎡以下</th> <th>0.5を超え 1.0㎡以下</th> <th>1.0を超え 2.0㎡以下</th> <th>2.0を超え 3.0㎡以下</th> <th>3.0を超え 4.0㎡以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日 当 り 施 工 量</td> <td style="text-align: center;">12.5</td> <td style="text-align: center;">11.0</td> <td style="text-align: center;">9.4</td> <td style="text-align: center;">7.6</td> <td style="text-align: center;">5.9</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 歩掛は、平均運搬距離50m以下の現場内小運搬を含む。ただし、平均運搬距離が50mを超え200m以下の場合は、不整地運搬車を計上する。 2. 歩掛は、床掘り（仕上げ含む）、フィルター材、基礎、埋戻しの労務を含む。 3. 表面コンクリートの打設は、「第5章コンクリート工①コンクリート工」による。</p> <p>(2) 諸雑費 諸雑費は、遮水シート及び吸出し防止材の設置、締固め機械、目地モルタルの費用であり、労務費、バックホウの機械損料及び運転経費の合計に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表 3.12 諸雑費率 (%)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">諸 雑 費 率</td> <td style="text-align: center;">4</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 遮水シート、吸出し防止材の材料費は、諸雑費に含まない。</p> <p>3-5-2-3 山腹コルゲートフリューム明暗渠歩掛</p> <p>(1) 日当り施工量 日当り施工量は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.13 日当り施工量 (m/日)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>掘削断面積 (㎡)</th> <th>0.5㎡以下</th> <th>0.5を超え 1.0㎡以下</th> <th>1.0を超え 2.0㎡以下</th> <th>2.0を超え 3.0㎡以下</th> <th>3.0を超え 4.0㎡以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日 当 り 施 工 量</td> <td style="text-align: center;">20.0</td> <td style="text-align: center;">17.3</td> <td style="text-align: center;">12.4</td> <td style="text-align: center;">8.8</td> <td style="text-align: center;">6.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 歩掛は、平均運搬距離50m以下の現場内小運搬を含む。ただし、平均運搬距離が50mを超え200m以下の場合は、不整地運搬車を計上する。 2. 歩掛は、床掘り（仕上げ含む）、フィルター材、基礎、埋戻しの労務を含む。 3. ポリエチレン製角型U字溝掘付の場合も本歩掛を適用できる。 4. 表面コンクリートの打設は、「第5章コンクリート工①コンクリート工」による。</p> <p>(2) 諸雑費 諸雑費は、遮水シート及び吸出し防止材の設置、締固め機械の費用であり、労務費、バックホウの機械損料及び運転経費の合計に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表 3.14 諸雑費率 (%)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">諸 雑 費 率</td> <td style="text-align: center;">6</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 遮水シート、吸出し防止材の材料費は、諸雑費に含まない。</p>	諸 雑 費 率	4	掘削断面積 (㎡)	0.5㎡以下	0.5を超え 1.0㎡以下	1.0を超え 2.0㎡以下	2.0を超え 3.0㎡以下	3.0を超え 4.0㎡以下	日 当 り 施 工 量	12.5	11.0	9.4	7.6	5.9	諸 雑 費 率	4	掘削断面積 (㎡)	0.5㎡以下	0.5を超え 1.0㎡以下	1.0を超え 2.0㎡以下	2.0を超え 3.0㎡以下	3.0を超え 4.0㎡以下	日 当 り 施 工 量	20.0	17.3	12.4	8.8	6.8	諸 雑 費 率	6	<p>(2) 諸雑費 諸雑費は、遮水シート及び吸出し防止材の設置、締固め機械、目地モルタルの費用であり、労務費、バックホウの機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表 3.10 諸雑費率 (%)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">諸 雑 費 率</td> <td style="text-align: center;">4</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 遮水シート、吸出し防止材の材料は、諸雑費に含まないので別途計上する。</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>(2) 諸雑費 諸雑費は、遮水シート及び吸出し防止材の設置、締固め機械、目地モルタルの費用であり、労務費、バックホウの機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表 3.12 諸雑費率 (%)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">諸 雑 費 率</td> <td style="text-align: center;">4</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 遮水シート、吸出し防止材の材料費は、諸雑費に含まない。</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>(2) 諸雑費 諸雑費は、遮水シート及び吸出し防止材の設置、締固め機械の費用であり、労務費、バックホウの機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表 3.14 諸雑費率 (%)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">諸 雑 費 率</td> <td style="text-align: center;">6</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 遮水シート、吸出し防止材の材料費は、諸雑費に含まない。</p>	諸 雑 費 率	4	諸 雑 費 率	4	諸 雑 費 率	6
諸 雑 費 率	4																																					
掘削断面積 (㎡)	0.5㎡以下	0.5を超え 1.0㎡以下	1.0を超え 2.0㎡以下	2.0を超え 3.0㎡以下	3.0を超え 4.0㎡以下																																	
日 当 り 施 工 量	12.5	11.0	9.4	7.6	5.9																																	
諸 雑 費 率	4																																					
掘削断面積 (㎡)	0.5㎡以下	0.5を超え 1.0㎡以下	1.0を超え 2.0㎡以下	2.0を超え 3.0㎡以下	3.0を超え 4.0㎡以下																																	
日 当 り 施 工 量	20.0	17.3	12.4	8.8	6.8																																	
諸 雑 費 率	6																																					
諸 雑 費 率	4																																					
諸 雑 費 率	4																																					
諸 雑 費 率	6																																					

土木工事標準歩掛の一部改定
地すべり防止工（山腹水路工）

工種名	現 行	改 定																																																																																																																																												
地すべり防止工 （山腹水路工）	<p>3-5-3 山腹暗渠工 （1）日当り施工量 日当り施工量は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.15 日当り施工量 (m/日)</p> <table border="1" data-bbox="347 331 1102 411"> <thead> <tr> <th>掘削断面積 (㎡)</th> <th>0.5㎡以下</th> <th>0.5を超え 1.0㎡以下</th> <th>1.0を超え 2.0㎡以下</th> <th>2.0を超え 3.0㎡以下</th> <th>3.0を超え 4.0㎡以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日 当 り 施 工 量</td> <td>23.9</td> <td>19.6</td> <td>15.5</td> <td>12.1</td> <td>9.9</td> </tr> </tbody> </table> <p>（注） 1. 歩掛は、平均運搬距離50m以下の現場内小運搬を含む。ただし、平均運搬距離が50mを超え200m以下の場合は、不整地運搬車を計上する。 2. 歩掛は、床掘り（仕上げ含む）、フィルター材、埋戻しの労務を含む。</p> <p>（2） 諸雑費 諸雑費は、遮水シート及び吸出し防止材の設置、締固め機械の費用であり、労務費、バックホウの機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表 3.16 諸雑费率 (%)</p> <table border="1" data-bbox="488 598 943 635"> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>6</td> </tr> </table> <p>（注） 1. 遮水シート、吸出し防止材の材料費は、諸雑費に含まない。</p> <p>3-5-4 集水樹工 3-5-4-1 集水樹設置歩掛 集水樹設置の歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.17 集水樹設置歩掛 (1基当り)</p> <table border="1" data-bbox="286 802 1126 1193"> <thead> <tr> <th colspan="3">内 空 積</th> <th>0.4㎡以下</th> <th>0.4を超え 0.8㎡以下</th> <th>0.8を超え 1.0㎡以下</th> <th>摘 要</th> </tr> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.7</td> <td>0.8</td> <td>1.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.5</td> <td>0.6</td> <td>0.7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1.0</td> <td>1.2</td> <td>1.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>型 枠 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.2</td> <td>0.3</td> <td>0.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型 （第1次基準値） クローラ型・クレーン機能付 山積0.28㎡（平積0.2㎡） 吊能力1.7t</td> <td>h</td> <td>3.4</td> <td>4.2</td> <td>4.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>不整地運搬車運 転</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型・ダンプ式2.5t積</td> <td>日</td> <td colspan="3">0.1</td> <td>必要に応じて計上 （注）1.</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td colspan="3">7</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>（注） 1. 歩掛は、平均運搬距離50m以下の現場内小運搬を含む。ただし、平均運搬距離が50mを超え200m以下の場合は、不整地運搬車を計上する。 2. 歩掛は、床掘り（仕上げ含む）、基礎、型枠、コンクリート打設、埋戻しの労務を含む。 3. 諸雑費は、型枠用合板、鋼製型枠、型枠用金物、組立支持材、はく離材及び電気ドリル、電気ノコギリ損料、電力に関する経費、仮設材の持上（下）げ機械、締固め機械に要する費用であり、労務費、バックホウの機械損料及び運転経費の合計に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 4. 運搬機械が上表により難しい場合は、別途考慮する。 5. 不整地運搬車は賃料とする。 6. 養生工が必要な場合は別途計上する。</p>	掘削断面積 (㎡)	0.5㎡以下	0.5を超え 1.0㎡以下	1.0を超え 2.0㎡以下	2.0を超え 3.0㎡以下	3.0を超え 4.0㎡以下	日 当 り 施 工 量	23.9	19.6	15.5	12.1	9.9	諸 雑 費 率	6	内 空 積			0.4㎡以下	0.4を超え 0.8㎡以下	0.8を超え 1.0㎡以下	摘 要	名 称	規 格	単 位					世 話 役		人	0.7	0.8	1.0		特 殊 作 業 員		〃	0.5	0.6	0.7		普 通 作 業 員		〃	1.0	1.2	1.4		型 枠 工		〃	0.2	0.3	0.4		バックホウ運転	排出ガス対策型 （第1次基準値） クローラ型・クレーン機能付 山積0.28㎡（平積0.2㎡） 吊能力1.7t	h	3.4	4.2	4.8		不整地運搬車運 転	排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型・ダンプ式2.5t積	日	0.1			必要に応じて計上 （注）1.	諸 雑 費 率		%	7				<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>3-5-4 集水樹工 3-5-4-1 集水樹設置歩掛 集水樹設置の歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.17 集水樹設置歩掛 (1基当り)</p> <table border="1" data-bbox="1232 810 2072 1201"> <thead> <tr> <th colspan="3">内 空 積</th> <th>0.4㎡以下</th> <th>0.4を超え 0.8㎡以下</th> <th>0.8を超え 1.0㎡以下</th> <th>摘 要</th> </tr> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.7</td> <td>0.8</td> <td>1.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.5</td> <td>0.6</td> <td>0.7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1.0</td> <td>1.2</td> <td>1.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>型 枠 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.2</td> <td>0.3</td> <td>0.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型 （第2次基準値） クローラ型・クレーン機能付 山積0.28㎡（平積0.2㎡） 吊能力1.7t</td> <td>h</td> <td>3.4</td> <td>4.2</td> <td>4.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>不整地運搬車運 転</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型・ダンプ式2.5t積</td> <td>日</td> <td colspan="3">0.1</td> <td>必要に応じて計上 （注）1.</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td colspan="3">7</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>（注） 1. 歩掛は、平均運搬距離50m以下の現場内小運搬を含む。ただし、平均運搬距離が50mを超え200m以下の場合は、不整地運搬車を計上する。 2. 歩掛は、床掘り（仕上げ含む）、基礎、型枠、コンクリート打設、埋戻しの労務を含む。 3. 諸雑費は、型枠用合板、鋼製型枠、型枠用金物、組立支持材、はく離材及び電気ドリル、電気ノコギリ損料、電力に関する経費、仮設材の持上（下）げ機械、締固め機械に要する費用であり、労務費、バックホウの機械損料及び運転経費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 4. 運搬機械が上表により難しい場合は、別途考慮する。 5. 不整地運搬車は賃料とする。 6. 養生工が必要な場合は別途計上する。</p>	内 空 積			0.4㎡以下	0.4を超え 0.8㎡以下	0.8を超え 1.0㎡以下	摘 要	名 称	規 格	単 位					世 話 役		人	0.7	0.8	1.0		特 殊 作 業 員		〃	0.5	0.6	0.7		普 通 作 業 員		〃	1.0	1.2	1.4		型 枠 工		〃	0.2	0.3	0.4		バックホウ運転	排出ガス対策型 （第2次基準値） クローラ型・クレーン機能付 山積0.28㎡（平積0.2㎡） 吊能力1.7t	h	3.4	4.2	4.8		不整地運搬車運 転	排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型・ダンプ式2.5t積	日	0.1			必要に応じて計上 （注）1.	諸 雑 費 率		%	7			
掘削断面積 (㎡)	0.5㎡以下	0.5を超え 1.0㎡以下	1.0を超え 2.0㎡以下	2.0を超え 3.0㎡以下	3.0を超え 4.0㎡以下																																																																																																																																									
日 当 り 施 工 量	23.9	19.6	15.5	12.1	9.9																																																																																																																																									
諸 雑 費 率	6																																																																																																																																													
内 空 積			0.4㎡以下	0.4を超え 0.8㎡以下	0.8を超え 1.0㎡以下	摘 要																																																																																																																																								
名 称	規 格	単 位																																																																																																																																												
世 話 役		人	0.7	0.8	1.0																																																																																																																																									
特 殊 作 業 員		〃	0.5	0.6	0.7																																																																																																																																									
普 通 作 業 員		〃	1.0	1.2	1.4																																																																																																																																									
型 枠 工		〃	0.2	0.3	0.4																																																																																																																																									
バックホウ運転	排出ガス対策型 （第1次基準値） クローラ型・クレーン機能付 山積0.28㎡（平積0.2㎡） 吊能力1.7t	h	3.4	4.2	4.8																																																																																																																																									
不整地運搬車運 転	排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型・ダンプ式2.5t積	日	0.1			必要に応じて計上 （注）1.																																																																																																																																								
諸 雑 費 率		%	7																																																																																																																																											
内 空 積			0.4㎡以下	0.4を超え 0.8㎡以下	0.8を超え 1.0㎡以下	摘 要																																																																																																																																								
名 称	規 格	単 位																																																																																																																																												
世 話 役		人	0.7	0.8	1.0																																																																																																																																									
特 殊 作 業 員		〃	0.5	0.6	0.7																																																																																																																																									
普 通 作 業 員		〃	1.0	1.2	1.4																																																																																																																																									
型 枠 工		〃	0.2	0.3	0.4																																																																																																																																									
バックホウ運転	排出ガス対策型 （第2次基準値） クローラ型・クレーン機能付 山積0.28㎡（平積0.2㎡） 吊能力1.7t	h	3.4	4.2	4.8																																																																																																																																									
不整地運搬車運 転	排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型・ダンプ式2.5t積	日	0.1			必要に応じて計上 （注）1.																																																																																																																																								
諸 雑 費 率		%	7																																																																																																																																											

土木工事標準歩掛の一部改定
地すべり防止工（山腹水路工）

工種名	現 行	改 定																																																																																																																																										
地すべり防止工 (山腹水路工)	<p>3-5-4-2 プレキャスト集水樹据付 プレキャスト集水樹据付の歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3.18 集水樹据付歩掛 (1基当り)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="3">集水樹製品質量</th> <th>150を超え 500kg以下</th> <th>500を超え 1000kg以下</th> <th>1000を超え 1500kg以下</th> <th>1500を超え 1700kg以下</th> <th>摘 要</th> </tr> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.2</td> <td>0.3</td> <td>0.3</td> <td>0.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.3</td> <td>0.3</td> <td>0.3</td> <td>0.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.5</td> <td>0.5</td> <td>0.6</td> <td>0.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型・クレーン機能付 山積0.28㎡(平積0.2㎡) 吊能力1.7t</td> <td>h</td> <td>2.2</td> <td>2.7</td> <td>3.2</td> <td>3.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>不整地運搬車運転</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型・ダンプ式2.5t積</td> <td>日</td> <td colspan="3">0.1</td> <td colspan="2">必要に応じて計上 (注)1.</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td colspan="3">0.5</td> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 歩掛は、平均運搬距離50m以下の現場内小運搬を含む。ただし、平均運搬距離が50mを超え200m以下の場合は、不整地運搬車を計上する。 2. 歩掛は、床掘り(仕上げ含む)、基礎、埋戻しの労務を含む。 3. 諸雑費は、締固め機械の費用であり、労務費、バックホウの機械損料及び運転経費の合計に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 4. 運搬機械が上表により難い場合は、別途考慮する。 5. 不整地運搬車は賃料とする。</p> <p>3-6 材料使用量 3-6-1 遮水シート、吸出し防止材使用量 遮水シート、吸出し防止材使用量は、次式による。 使用量(㎡) = 設計量(㎡) × (1 + K)</p> <p style="text-align: center;">表 3.19 ロス率(K)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>材 料 名</th> <th>遮 水 シ ー ト</th> <th>吸 出 し 防 止 材</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ロ ス 率</td> <td>+0.10</td> <td>+0.10</td> </tr> </tbody> </table> <p>3-6-2 砕石使用量 埋戻し、基礎、フィルター材等に使用する砕石の使用量は、次式による。 使用量(㎡) = 設計量(㎡) × (1 + K)</p> <p style="text-align: center;">表 3.20 ロス率(K)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>材 料 名</th> <th>砕 石</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ロ ス 率</td> <td>+0.20</td> </tr> </tbody> </table>	集水樹製品質量			150を超え 500kg以下	500を超え 1000kg以下	1000を超え 1500kg以下	1500を超え 1700kg以下	摘 要	名 称	規 格	単 位						世 話 役		人	0.2	0.3	0.3	0.3		特 殊 作 業 員		〃	0.3	0.3	0.3	0.4		普 通 作 業 員		〃	0.5	0.5	0.6	0.6		バックホウ運転	排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型・クレーン機能付 山積0.28㎡(平積0.2㎡) 吊能力1.7t	h	2.2	2.7	3.2	3.5		不整地運搬車運転	排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型・ダンプ式2.5t積	日	0.1			必要に応じて計上 (注)1.		諸 雑 費 率		%	0.5					材 料 名	遮 水 シ ー ト	吸 出 し 防 止 材	ロ ス 率	+0.10	+0.10	材 料 名	砕 石	ロ ス 率	+0.20	<p>3-5-4-2 プレキャスト集水樹据付 プレキャスト集水樹据付の歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3.18 集水樹据付歩掛 (1基当り)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="3">集水樹製品質量</th> <th>150を超え 500kg以下</th> <th>500を超え 1000kg以下</th> <th>1000を超え 1500kg以下</th> <th>1500を超え 1700kg以下</th> <th>摘 要</th> </tr> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.2</td> <td>0.3</td> <td>0.3</td> <td>0.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.3</td> <td>0.3</td> <td>0.3</td> <td>0.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.5</td> <td>0.5</td> <td>0.6</td> <td>0.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型・クレーン機能付 山積0.28㎡(平積0.2㎡) 吊能力1.7t</td> <td>h</td> <td>2.2</td> <td>2.7</td> <td>3.2</td> <td>3.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>不整地運搬車運転</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型・ダンプ式2.5t積</td> <td>日</td> <td colspan="3">0.1</td> <td colspan="2">必要に応じて計上 (注)1.</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td colspan="3">0.5</td> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 歩掛は、平均運搬距離50m以下の現場内小運搬を含む。ただし、平均運搬距離が50mを超え200m以下の場合は、不整地運搬車を計上する。 2. 歩掛は、床掘り(仕上げ含む)、基礎、埋戻しの労務を含む。 3. 諸雑費は、締固め機械の費用であり、労務費、バックホウの機械損料及び運転経費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 4. 運搬機械が上表により難い場合は、別途考慮する。 5. 不整地運搬車は賃料とする。</p> <p style="font-size: 2em; margin-left: 20px;">}</p> <p style="margin-left: 20px;">現行どおり</p>	集水樹製品質量			150を超え 500kg以下	500を超え 1000kg以下	1000を超え 1500kg以下	1500を超え 1700kg以下	摘 要	名 称	規 格	単 位						世 話 役		人	0.2	0.3	0.3	0.3		特 殊 作 業 員		〃	0.3	0.3	0.3	0.4		普 通 作 業 員		〃	0.5	0.5	0.6	0.6		バックホウ運転	排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型・クレーン機能付 山積0.28㎡(平積0.2㎡) 吊能力1.7t	h	2.2	2.7	3.2	3.5		不整地運搬車運転	排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型・ダンプ式2.5t積	日	0.1			必要に応じて計上 (注)1.		諸 雑 費 率		%	0.5				
	集水樹製品質量			150を超え 500kg以下	500を超え 1000kg以下	1000を超え 1500kg以下	1500を超え 1700kg以下	摘 要																																																																																																																																				
名 称	規 格	単 位																																																																																																																																										
世 話 役		人	0.2	0.3	0.3	0.3																																																																																																																																						
特 殊 作 業 員		〃	0.3	0.3	0.3	0.4																																																																																																																																						
普 通 作 業 員		〃	0.5	0.5	0.6	0.6																																																																																																																																						
バックホウ運転	排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型・クレーン機能付 山積0.28㎡(平積0.2㎡) 吊能力1.7t	h	2.2	2.7	3.2	3.5																																																																																																																																						
不整地運搬車運転	排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型・ダンプ式2.5t積	日	0.1			必要に応じて計上 (注)1.																																																																																																																																						
諸 雑 費 率		%	0.5																																																																																																																																									
材 料 名	遮 水 シ ー ト	吸 出 し 防 止 材																																																																																																																																										
ロ ス 率	+0.10	+0.10																																																																																																																																										
材 料 名	砕 石																																																																																																																																											
ロ ス 率	+0.20																																																																																																																																											
集水樹製品質量			150を超え 500kg以下	500を超え 1000kg以下	1000を超え 1500kg以下	1500を超え 1700kg以下	摘 要																																																																																																																																					
名 称	規 格	単 位																																																																																																																																										
世 話 役		人	0.2	0.3	0.3	0.3																																																																																																																																						
特 殊 作 業 員		〃	0.3	0.3	0.3	0.4																																																																																																																																						
普 通 作 業 員		〃	0.5	0.5	0.6	0.6																																																																																																																																						
バックホウ運転	排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型・クレーン機能付 山積0.28㎡(平積0.2㎡) 吊能力1.7t	h	2.2	2.7	3.2	3.5																																																																																																																																						
不整地運搬車運転	排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型・ダンプ式2.5t積	日	0.1			必要に応じて計上 (注)1.																																																																																																																																						
諸 雑 費 率		%	0.5																																																																																																																																									

土木工事標準歩掛の一部改定
地すべり防止工（山腹水路工）

工種名	現 行	改 定																																																																																																																																																																																																																												
地すべり防止工 （山腹水路工）	<p>3-7 単 価 表 (1) 山腹U形側溝 10m当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="333 256 1088 632"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1×10/D</td> <td>表3.2</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1×10/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>2×10/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>U 形 側 溝</td> <td></td> <td>個</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>コ ン ク リ ー ト</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>砕 石</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>設計数量×(1+ロス率) (表3.20)</td> </tr> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ 運 転</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m(平積0.2m)吊能力1.7t</td> <td>日</td> <td>1×10/D</td> <td></td> </tr> <tr> <td>不 整 地 運 搬 車 運 転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・ダンプ式2.5t積</td> <td>〃</td> <td></td> <td>必要に応じて計上</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表3.4, 表3.6</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <p>(注) D:日当り施工量(m/日)</p> <p>(2) 山腹コルゲートフリューム 10m当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="333 695 1088 1082"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1×10/D</td> <td>表3.2</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1×10/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>2×10/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>コ ル ゲ ー ト フ リ ュ ー ム (ポリエチレン製角型U字溝)</td> <td></td> <td>個</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>コ ン ク リ ー ト</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>砕 石</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>設計数量×(1+ロス率) (表3.20)</td> </tr> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ 運 転</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m(平積0.2m)吊能力1.7t</td> <td>日</td> <td>1×10/D</td> <td></td> </tr> <tr> <td>不 整 地 運 搬 車 運 転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・ダンプ式2.5t積</td> <td>〃</td> <td></td> <td>必要に応じて計上</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表3.8</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <p>(注) D:日当り施工量(m/日)</p> </tbody></table></tbody></table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	1×10/D	表3.2	特 殊 作 業 員		〃	1×10/D	〃	普 通 作 業 員		〃	2×10/D	〃	U 形 側 溝		個			コ ン ク リ ー ト		m ³			砕 石		〃		設計数量×(1+ロス率) (表3.20)	バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m(平積0.2m)吊能力1.7t	日	1×10/D		不 整 地 運 搬 車 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・ダンプ式2.5t積	〃		必要に応じて計上	諸 雑 費		式	1	表3.4, 表3.6	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	1×10/D	表3.2	特 殊 作 業 員		〃	1×10/D	〃	普 通 作 業 員		〃	2×10/D	〃	コ ル ゲ ー ト フ リ ュ ー ム (ポリエチレン製角型U字溝)		個			コ ン ク リ ー ト		m ³			砕 石		〃		設計数量×(1+ロス率) (表3.20)	バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m(平積0.2m)吊能力1.7t	日	1×10/D		不 整 地 運 搬 車 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・ダンプ式2.5t積	〃		必要に応じて計上	諸 雑 費		式	1	表3.8	計					<p>3-7 単 価 表 (1) 山腹U形側溝 10m当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="1274 264 2029 639"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1×10/D</td> <td>表3.2</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1×10/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>2×10/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>U 形 側 溝</td> <td></td> <td>個</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>コ ン ク リ ー ト</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>砕 石</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>設計数量×(1+ロス率) (表3.20)</td> </tr> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ 運 転</td> <td>排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m(平積0.2m)吊能力1.7t</td> <td>日</td> <td>1×10/D</td> <td></td> </tr> <tr> <td>不 整 地 運 搬 車 運 転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・ダンプ式2.5t積</td> <td>〃</td> <td></td> <td>必要に応じて計上</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表3.4, 表3.6</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <p>(注) D:日当り施工量(m/日)</p> <p>(2) 山腹コルゲートフリューム 10m当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="1274 703 2029 1090"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1×10/D</td> <td>表3.2</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1×10/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>2×10/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>コ ル ゲ ー ト フ リ ュ ー ム (ポリエチレン製角型U字溝)</td> <td></td> <td>個</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>コ ン ク リ ー ト</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>砕 石</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>設計数量×(1+ロス率) (表3.20)</td> </tr> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ 運 転</td> <td>排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m(平積0.2m)吊能力1.7t</td> <td>日</td> <td>1×10/D</td> <td></td> </tr> <tr> <td>不 整 地 運 搬 車 運 転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・ダンプ式2.5t積</td> <td>〃</td> <td></td> <td>必要に応じて計上</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表3.8</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <p>(注) D:日当り施工量(m/日)</p> </tbody></table></tbody></table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	1×10/D	表3.2	特 殊 作 業 員		〃	1×10/D	〃	普 通 作 業 員		〃	2×10/D	〃	U 形 側 溝		個			コ ン ク リ ー ト		m ³			砕 石		〃		設計数量×(1+ロス率) (表3.20)	バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m(平積0.2m)吊能力1.7t	日	1×10/D		不 整 地 運 搬 車 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・ダンプ式2.5t積	〃		必要に応じて計上	諸 雑 費		式	1	表3.4, 表3.6	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	1×10/D	表3.2	特 殊 作 業 員		〃	1×10/D	〃	普 通 作 業 員		〃	2×10/D	〃	コ ル ゲ ー ト フ リ ュ ー ム (ポリエチレン製角型U字溝)		個			コ ン ク リ ー ト		m ³			砕 石		〃		設計数量×(1+ロス率) (表3.20)	バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m(平積0.2m)吊能力1.7t	日	1×10/D		不 整 地 運 搬 車 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・ダンプ式2.5t積	〃		必要に応じて計上	諸 雑 費		式	1	表3.8	計				
	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																									
	世 話 役		人	1×10/D	表3.2																																																																																																																																																																																																																									
	特 殊 作 業 員		〃	1×10/D	〃																																																																																																																																																																																																																									
	普 通 作 業 員		〃	2×10/D	〃																																																																																																																																																																																																																									
	U 形 側 溝		個																																																																																																																																																																																																																											
	コ ン ク リ ー ト		m ³																																																																																																																																																																																																																											
	砕 石		〃		設計数量×(1+ロス率) (表3.20)																																																																																																																																																																																																																									
	バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m(平積0.2m)吊能力1.7t	日	1×10/D																																																																																																																																																																																																																										
	不 整 地 運 搬 車 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・ダンプ式2.5t積	〃		必要に応じて計上																																																																																																																																																																																																																									
諸 雑 費		式	1	表3.4, 表3.6																																																																																																																																																																																																																										
計																																																																																																																																																																																																																														
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																										
世 話 役		人	1×10/D	表3.2																																																																																																																																																																																																																										
特 殊 作 業 員		〃	1×10/D	〃																																																																																																																																																																																																																										
普 通 作 業 員		〃	2×10/D	〃																																																																																																																																																																																																																										
コ ル ゲ ー ト フ リ ュ ー ム (ポリエチレン製角型U字溝)		個																																																																																																																																																																																																																												
コ ン ク リ ー ト		m ³																																																																																																																																																																																																																												
砕 石		〃		設計数量×(1+ロス率) (表3.20)																																																																																																																																																																																																																										
バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m(平積0.2m)吊能力1.7t	日	1×10/D																																																																																																																																																																																																																											
不 整 地 運 搬 車 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・ダンプ式2.5t積	〃		必要に応じて計上																																																																																																																																																																																																																										
諸 雑 費		式	1	表3.8																																																																																																																																																																																																																										
計																																																																																																																																																																																																																														
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																										
世 話 役		人	1×10/D	表3.2																																																																																																																																																																																																																										
特 殊 作 業 員		〃	1×10/D	〃																																																																																																																																																																																																																										
普 通 作 業 員		〃	2×10/D	〃																																																																																																																																																																																																																										
U 形 側 溝		個																																																																																																																																																																																																																												
コ ン ク リ ー ト		m ³																																																																																																																																																																																																																												
砕 石		〃		設計数量×(1+ロス率) (表3.20)																																																																																																																																																																																																																										
バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m(平積0.2m)吊能力1.7t	日	1×10/D																																																																																																																																																																																																																											
不 整 地 運 搬 車 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・ダンプ式2.5t積	〃		必要に応じて計上																																																																																																																																																																																																																										
諸 雑 費		式	1	表3.4, 表3.6																																																																																																																																																																																																																										
計																																																																																																																																																																																																																														
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																										
世 話 役		人	1×10/D	表3.2																																																																																																																																																																																																																										
特 殊 作 業 員		〃	1×10/D	〃																																																																																																																																																																																																																										
普 通 作 業 員		〃	2×10/D	〃																																																																																																																																																																																																																										
コ ル ゲ ー ト フ リ ュ ー ム (ポリエチレン製角型U字溝)		個																																																																																																																																																																																																																												
コ ン ク リ ー ト		m ³																																																																																																																																																																																																																												
砕 石		〃		設計数量×(1+ロス率) (表3.20)																																																																																																																																																																																																																										
バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m(平積0.2m)吊能力1.7t	日	1×10/D																																																																																																																																																																																																																											
不 整 地 運 搬 車 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・ダンプ式2.5t積	〃		必要に応じて計上																																																																																																																																																																																																																										
諸 雑 費		式	1	表3.8																																																																																																																																																																																																																										
計																																																																																																																																																																																																																														

土木工事標準歩掛の一部改定
地すべり防止工（山腹水路工）

工種名	現 行	改 定																																																																																																																																												
地すべり防止工 （山腹水路工）	<p>(3) 山腹U型側溝明暗渠 10m当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1×10/D</td> <td>表3.2</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1×10/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>2×10/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>U 形 側 溝</td> <td></td> <td>個</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>暗 渠 管</td> <td></td> <td>m又は本</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>コ ン ク リ ー ト</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>砕 石</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>設計数量×(1+ロス率) (表3.20)</td> </tr> <tr> <td>遮 水 シ ー ト</td> <td></td> <td>m²</td> <td></td> <td>設計数量×(1+ロス率) (表3.19)</td> </tr> <tr> <td>吸 出 し 防 止 材</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃 必要に応じて計上</td> </tr> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ 運 転</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m³(平積0.2m³)吊能力1.7t</td> <td>日</td> <td>1×10/D</td> <td></td> </tr> <tr> <td>不 整 地 運 搬 車 運 転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・ダンプ式2.5t積</td> <td>〃</td> <td></td> <td>必要に応じて計上</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表3.10, 表3.12</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D:日当り施工量(m/日)</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	1×10/D	表3.2	特 殊 作 業 員		〃	1×10/D	〃	普 通 作 業 員		〃	2×10/D	〃	U 形 側 溝		個			暗 渠 管		m又は本			コ ン ク リ ー ト		m ³			砕 石		〃		設計数量×(1+ロス率) (表3.20)	遮 水 シ ー ト		m ²		設計数量×(1+ロス率) (表3.19)	吸 出 し 防 止 材		〃		〃 必要に応じて計上	バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m ³ (平積0.2m ³)吊能力1.7t	日	1×10/D		不 整 地 運 搬 車 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・ダンプ式2.5t積	〃		必要に応じて計上	諸 雑 費		式	1	表3.10, 表3.12	計					<p>(3) 山腹U型側溝明暗渠 10m当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1×10/D</td> <td>表3.2</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1×10/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>2×10/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>U 形 側 溝</td> <td></td> <td>個</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>暗 渠 管</td> <td></td> <td>m又は本</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>コ ン ク リ ー ト</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>砕 石</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>設計数量×(1+ロス率) (表3.20)</td> </tr> <tr> <td>遮 水 シ ー ト</td> <td></td> <td>m²</td> <td></td> <td>設計数量×(1+ロス率) (表3.19)</td> </tr> <tr> <td>吸 出 し 防 止 材</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃 必要に応じて計上</td> </tr> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ 運 転</td> <td>排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m³(平積0.2m³)吊能力1.7t</td> <td>日</td> <td>1×10/D</td> <td></td> </tr> <tr> <td>不 整 地 運 搬 車 運 転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・ダンプ式2.5t積</td> <td>〃</td> <td></td> <td>必要に応じて計上</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表3.10, 表3.12</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D:日当り施工量(m/日)</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	1×10/D	表3.2	特 殊 作 業 員		〃	1×10/D	〃	普 通 作 業 員		〃	2×10/D	〃	U 形 側 溝		個			暗 渠 管		m又は本			コ ン ク リ ー ト		m ³			砕 石		〃		設計数量×(1+ロス率) (表3.20)	遮 水 シ ー ト		m ²		設計数量×(1+ロス率) (表3.19)	吸 出 し 防 止 材		〃		〃 必要に応じて計上	バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m ³ (平積0.2m ³)吊能力1.7t	日	1×10/D		不 整 地 運 搬 車 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・ダンプ式2.5t積	〃		必要に応じて計上	諸 雑 費		式	1	表3.10, 表3.12	計				
	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																									
世 話 役		人	1×10/D	表3.2																																																																																																																																										
特 殊 作 業 員		〃	1×10/D	〃																																																																																																																																										
普 通 作 業 員		〃	2×10/D	〃																																																																																																																																										
U 形 側 溝		個																																																																																																																																												
暗 渠 管		m又は本																																																																																																																																												
コ ン ク リ ー ト		m ³																																																																																																																																												
砕 石		〃		設計数量×(1+ロス率) (表3.20)																																																																																																																																										
遮 水 シ ー ト		m ²		設計数量×(1+ロス率) (表3.19)																																																																																																																																										
吸 出 し 防 止 材		〃		〃 必要に応じて計上																																																																																																																																										
バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m ³ (平積0.2m ³)吊能力1.7t	日	1×10/D																																																																																																																																											
不 整 地 運 搬 車 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・ダンプ式2.5t積	〃		必要に応じて計上																																																																																																																																										
諸 雑 費		式	1	表3.10, 表3.12																																																																																																																																										
計																																																																																																																																														
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																										
世 話 役		人	1×10/D	表3.2																																																																																																																																										
特 殊 作 業 員		〃	1×10/D	〃																																																																																																																																										
普 通 作 業 員		〃	2×10/D	〃																																																																																																																																										
U 形 側 溝		個																																																																																																																																												
暗 渠 管		m又は本																																																																																																																																												
コ ン ク リ ー ト		m ³																																																																																																																																												
砕 石		〃		設計数量×(1+ロス率) (表3.20)																																																																																																																																										
遮 水 シ ー ト		m ²		設計数量×(1+ロス率) (表3.19)																																																																																																																																										
吸 出 し 防 止 材		〃		〃 必要に応じて計上																																																																																																																																										
バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m ³ (平積0.2m ³)吊能力1.7t	日	1×10/D																																																																																																																																											
不 整 地 運 搬 車 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・ダンプ式2.5t積	〃		必要に応じて計上																																																																																																																																										
諸 雑 費		式	1	表3.10, 表3.12																																																																																																																																										
計																																																																																																																																														
	<p>(4) 山腹コルゲートフリューム明暗渠 10m当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1×10/D</td> <td>表3.2</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1×10/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>2×10/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>コ ル ゲ ー ト フ リ ュ ー ム (ポリエチレン製角型U字溝)</td> <td></td> <td>個</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>暗 渠 管</td> <td></td> <td>m又は本</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>コ ン ク リ ー ト</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>砕 石</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>設計数量×(1+ロス率) (表3.20)</td> </tr> <tr> <td>遮 水 シ ー ト</td> <td></td> <td>m²</td> <td></td> <td>設計数量×(1+ロス率) (表3.19)</td> </tr> <tr> <td>吸 出 し 防 止 材</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃 必要に応じて計上</td> </tr> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ 運 転</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m³(平積0.2m³)吊能力1.7t</td> <td>日</td> <td>1×10/D</td> <td></td> </tr> <tr> <td>不 整 地 運 搬 車 運 転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・ダンプ式2.5t積</td> <td>〃</td> <td></td> <td>必要に応じて計上</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表3.14</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D:日当り施工量(m/日)</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	1×10/D	表3.2	特 殊 作 業 員		〃	1×10/D	〃	普 通 作 業 員		〃	2×10/D	〃	コ ル ゲ ー ト フ リ ュ ー ム (ポリエチレン製角型U字溝)		個			暗 渠 管		m又は本			コ ン ク リ ー ト		m ³			砕 石		〃		設計数量×(1+ロス率) (表3.20)	遮 水 シ ー ト		m ²		設計数量×(1+ロス率) (表3.19)	吸 出 し 防 止 材		〃		〃 必要に応じて計上	バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m ³ (平積0.2m ³)吊能力1.7t	日	1×10/D		不 整 地 運 搬 車 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・ダンプ式2.5t積	〃		必要に応じて計上	諸 雑 費		式	1	表3.14	計					<p>(4) 山腹コルゲートフリューム明暗渠 10m当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1×10/D</td> <td>表3.2</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1×10/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>2×10/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>コ ル ゲ ー ト フ リ ュ ー ム (ポリエチレン製角型U字溝)</td> <td></td> <td>個</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>暗 渠 管</td> <td></td> <td>m又は本</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>コ ン ク リ ー ト</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>砕 石</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>設計数量×(1+ロス率) (表3.20)</td> </tr> <tr> <td>遮 水 シ ー ト</td> <td></td> <td>m²</td> <td></td> <td>設計数量×(1+ロス率) (表3.19)</td> </tr> <tr> <td>吸 出 し 防 止 材</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃 必要に応じて計上</td> </tr> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ 運 転</td> <td>排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m³(平積0.2m³)吊能力1.7t</td> <td>日</td> <td>1×10/D</td> <td></td> </tr> <tr> <td>不 整 地 運 搬 車 運 転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・ダンプ式2.5t積</td> <td>〃</td> <td></td> <td>必要に応じて計上</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表3.14</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D:日当り施工量(m/日)</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	1×10/D	表3.2	特 殊 作 業 員		〃	1×10/D	〃	普 通 作 業 員		〃	2×10/D	〃	コ ル ゲ ー ト フ リ ュ ー ム (ポリエチレン製角型U字溝)		個			暗 渠 管		m又は本			コ ン ク リ ー ト		m ³			砕 石		〃		設計数量×(1+ロス率) (表3.20)	遮 水 シ ー ト		m ²		設計数量×(1+ロス率) (表3.19)	吸 出 し 防 止 材		〃		〃 必要に応じて計上	バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m ³ (平積0.2m ³)吊能力1.7t	日	1×10/D		不 整 地 運 搬 車 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・ダンプ式2.5t積	〃		必要に応じて計上	諸 雑 費		式	1	表3.14	計				
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																										
世 話 役		人	1×10/D	表3.2																																																																																																																																										
特 殊 作 業 員		〃	1×10/D	〃																																																																																																																																										
普 通 作 業 員		〃	2×10/D	〃																																																																																																																																										
コ ル ゲ ー ト フ リ ュ ー ム (ポリエチレン製角型U字溝)		個																																																																																																																																												
暗 渠 管		m又は本																																																																																																																																												
コ ン ク リ ー ト		m ³																																																																																																																																												
砕 石		〃		設計数量×(1+ロス率) (表3.20)																																																																																																																																										
遮 水 シ ー ト		m ²		設計数量×(1+ロス率) (表3.19)																																																																																																																																										
吸 出 し 防 止 材		〃		〃 必要に応じて計上																																																																																																																																										
バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m ³ (平積0.2m ³)吊能力1.7t	日	1×10/D																																																																																																																																											
不 整 地 運 搬 車 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・ダンプ式2.5t積	〃		必要に応じて計上																																																																																																																																										
諸 雑 費		式	1	表3.14																																																																																																																																										
計																																																																																																																																														
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																										
世 話 役		人	1×10/D	表3.2																																																																																																																																										
特 殊 作 業 員		〃	1×10/D	〃																																																																																																																																										
普 通 作 業 員		〃	2×10/D	〃																																																																																																																																										
コ ル ゲ ー ト フ リ ュ ー ム (ポリエチレン製角型U字溝)		個																																																																																																																																												
暗 渠 管		m又は本																																																																																																																																												
コ ン ク リ ー ト		m ³																																																																																																																																												
砕 石		〃		設計数量×(1+ロス率) (表3.20)																																																																																																																																										
遮 水 シ ー ト		m ²		設計数量×(1+ロス率) (表3.19)																																																																																																																																										
吸 出 し 防 止 材		〃		〃 必要に応じて計上																																																																																																																																										
バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m ³ (平積0.2m ³)吊能力1.7t	日	1×10/D																																																																																																																																											
不 整 地 運 搬 車 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・ダンプ式2.5t積	〃		必要に応じて計上																																																																																																																																										
諸 雑 費		式	1	表3.14																																																																																																																																										
計																																																																																																																																														

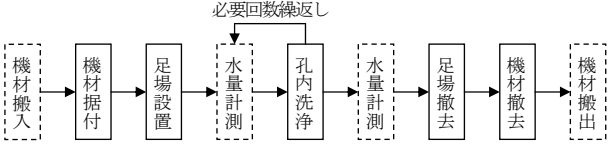
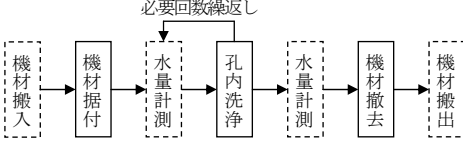
土木工事標準歩掛の一部改定
地すべり防止工（山腹水路工）

工種名	現 行	改 定																																																																																																																								
地すべり防止工 (山腹水路工)	<p>(5) 山腹暗渠管 10m当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1×10/D</td> <td>表3.2</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1×10/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>2×10/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>暗 渠 管</td> <td></td> <td>m又は本</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>砕 石</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td>設計数量×(1+ロス率) (表3.20)</td> </tr> <tr> <td>遮 水 シ ー ト</td> <td></td> <td>m²</td> <td></td> <td>設計数量×(1+ロス率) (表3.19)</td> </tr> <tr> <td>吸 出 防 止 材</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃 必要に応じて計上</td> </tr> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ 運 転</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m(平積0.2m)吊能力1.7t</td> <td>日</td> <td>1×10/D</td> <td></td> </tr> <tr> <td>不 整 地 運 搬 車 運 転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・ダンプ式2.5t積</td> <td>〃</td> <td></td> <td>必要に応じて計上</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表3.16</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D:日当り施工量(m/日)</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	1×10/D	表3.2	特 殊 作 業 員		〃	1×10/D	〃	普 通 作 業 員		〃	2×10/D	〃	暗 渠 管		m又は本			砕 石		m ³		設計数量×(1+ロス率) (表3.20)	遮 水 シ ー ト		m ²		設計数量×(1+ロス率) (表3.19)	吸 出 防 止 材		〃		〃 必要に応じて計上	バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m(平積0.2m)吊能力1.7t	日	1×10/D		不 整 地 運 搬 車 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・ダンプ式2.5t積	〃		必要に応じて計上	諸 雑 費		式	1	表3.16	計					<p>(5) 山腹暗渠管 10m当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1×10/D</td> <td>表3.2</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1×10/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>2×10/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>暗 渠 管</td> <td></td> <td>m又は本</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>砕 石</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td>設計数量×(1+ロス率) (表3.20)</td> </tr> <tr> <td>遮 水 シ ー ト</td> <td></td> <td>m²</td> <td></td> <td>設計数量×(1+ロス率) (表3.19)</td> </tr> <tr> <td>吸 出 防 止 材</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃 必要に応じて計上</td> </tr> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ 運 転</td> <td>排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m(平積0.2m)吊能力1.7t</td> <td>日</td> <td>1×10/D</td> <td></td> </tr> <tr> <td>不 整 地 運 搬 車 運 転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・ダンプ式2.5t積</td> <td>〃</td> <td></td> <td>必要に応じて計上</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表3.16</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D:日当り施工量(m/日)</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	1×10/D	表3.2	特 殊 作 業 員		〃	1×10/D	〃	普 通 作 業 員		〃	2×10/D	〃	暗 渠 管		m又は本			砕 石		m ³		設計数量×(1+ロス率) (表3.20)	遮 水 シ ー ト		m ²		設計数量×(1+ロス率) (表3.19)	吸 出 防 止 材		〃		〃 必要に応じて計上	バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m(平積0.2m)吊能力1.7t	日	1×10/D		不 整 地 運 搬 車 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・ダンプ式2.5t積	〃		必要に応じて計上	諸 雑 費		式	1	表3.16	計				
	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																					
	世 話 役		人	1×10/D	表3.2																																																																																																																					
	特 殊 作 業 員		〃	1×10/D	〃																																																																																																																					
	普 通 作 業 員		〃	2×10/D	〃																																																																																																																					
	暗 渠 管		m又は本																																																																																																																							
	砕 石		m ³		設計数量×(1+ロス率) (表3.20)																																																																																																																					
	遮 水 シ ー ト		m ²		設計数量×(1+ロス率) (表3.19)																																																																																																																					
	吸 出 防 止 材		〃		〃 必要に応じて計上																																																																																																																					
	バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m(平積0.2m)吊能力1.7t	日	1×10/D																																																																																																																						
	不 整 地 運 搬 車 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・ダンプ式2.5t積	〃		必要に応じて計上																																																																																																																					
	諸 雑 費		式	1	表3.16																																																																																																																					
	計																																																																																																																									
	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																					
	世 話 役		人	1×10/D	表3.2																																																																																																																					
	特 殊 作 業 員		〃	1×10/D	〃																																																																																																																					
	普 通 作 業 員		〃	2×10/D	〃																																																																																																																					
	暗 渠 管		m又は本																																																																																																																							
砕 石		m ³		設計数量×(1+ロス率) (表3.20)																																																																																																																						
遮 水 シ ー ト		m ²		設計数量×(1+ロス率) (表3.19)																																																																																																																						
吸 出 防 止 材		〃		〃 必要に応じて計上																																																																																																																						
バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m(平積0.2m)吊能力1.7t	日	1×10/D																																																																																																																							
不 整 地 運 搬 車 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・ダンプ式2.5t積	〃		必要に応じて計上																																																																																																																						
諸 雑 費		式	1	表3.16																																																																																																																						
計																																																																																																																										
<p>(6) 集水樹設置 1基当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表3.17</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>型 枠 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>コ ン ク リ ー ト</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>砕 石</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td>設計数量×(1+ロス率) (表3.20)</td> </tr> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ 運 転</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m(平積0.2m)吊能力1.7t</td> <td>h</td> <td></td> <td>表3.17</td> </tr> <tr> <td>不 整 地 運 搬 車 運 転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・ダンプ式2.5t積</td> <td>日</td> <td></td> <td>〃 必要に応じて計上</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表3.17</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表3.17	特 殊 作 業 員		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	型 枠 工		〃		〃	コ ン ク リ ー ト		m ³			砕 石		m ³		設計数量×(1+ロス率) (表3.20)	バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m(平積0.2m)吊能力1.7t	h		表3.17	不 整 地 運 搬 車 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・ダンプ式2.5t積	日		〃 必要に応じて計上	諸 雑 費		式	1	表3.17	計					<p>(6) 集水樹設置 1基当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表3.17</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>型 枠 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>コ ン ク リ ー ト</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>砕 石</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td>設計数量×(1+ロス率) (表3.20)</td> </tr> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ 運 転</td> <td>排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m(平積0.2m)吊能力1.7t</td> <td>h</td> <td></td> <td>表3.17</td> </tr> <tr> <td>不 整 地 運 搬 車 運 転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・ダンプ式2.5t積</td> <td>日</td> <td></td> <td>〃 必要に応じて計上</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表3.17</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表3.17	特 殊 作 業 員		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	型 枠 工		〃		〃	コ ン ク リ ー ト		m ³			砕 石		m ³		設計数量×(1+ロス率) (表3.20)	バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m(平積0.2m)吊能力1.7t	h		表3.17	不 整 地 運 搬 車 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・ダンプ式2.5t積	日		〃 必要に応じて計上	諸 雑 費		式	1	表3.17	計															
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																						
世 話 役		人		表3.17																																																																																																																						
特 殊 作 業 員		〃		〃																																																																																																																						
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																						
型 枠 工		〃		〃																																																																																																																						
コ ン ク リ ー ト		m ³																																																																																																																								
砕 石		m ³		設計数量×(1+ロス率) (表3.20)																																																																																																																						
バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m(平積0.2m)吊能力1.7t	h		表3.17																																																																																																																						
不 整 地 運 搬 車 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・ダンプ式2.5t積	日		〃 必要に応じて計上																																																																																																																						
諸 雑 費		式	1	表3.17																																																																																																																						
計																																																																																																																										
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																						
世 話 役		人		表3.17																																																																																																																						
特 殊 作 業 員		〃		〃																																																																																																																						
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																						
型 枠 工		〃		〃																																																																																																																						
コ ン ク リ ー ト		m ³																																																																																																																								
砕 石		m ³		設計数量×(1+ロス率) (表3.20)																																																																																																																						
バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m(平積0.2m)吊能力1.7t	h		表3.17																																																																																																																						
不 整 地 運 搬 車 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・ダンプ式2.5t積	日		〃 必要に応じて計上																																																																																																																						
諸 雑 費		式	1	表3.17																																																																																																																						
計																																																																																																																										
<p>(7) プレキャスト集水樹設置 1基当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表3.18</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>集 水 樹</td> <td></td> <td>基</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>砕 石</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td>設計数量×(1+ロス率) (表3.20)</td> </tr> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ 運 転</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m(平積0.2m)吊能力1.7t</td> <td>h</td> <td></td> <td>表3.18</td> </tr> <tr> <td>不 整 地 運 搬 車 運 転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・ダンプ式2.5t積</td> <td>日</td> <td></td> <td>〃 必要に応じて計上</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表3.18</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表3.18	特 殊 作 業 員		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	集 水 樹		基	1		砕 石		m ³		設計数量×(1+ロス率) (表3.20)	バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m(平積0.2m)吊能力1.7t	h		表3.18	不 整 地 運 搬 車 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・ダンプ式2.5t積	日		〃 必要に応じて計上	諸 雑 費		式	1	表3.18	計					<p>(7) プレキャスト集水樹設置 1基当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表3.18</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>集 水 樹</td> <td></td> <td>基</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>砕 石</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td>設計数量×(1+ロス率) (表3.20)</td> </tr> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ 運 転</td> <td>排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m(平積0.2m)吊能力1.7t</td> <td>h</td> <td></td> <td>表3.18</td> </tr> <tr> <td>不 整 地 運 搬 車 運 転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・ダンプ式2.5t積</td> <td>日</td> <td></td> <td>〃 必要に応じて計上</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表3.18</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表3.18	特 殊 作 業 員		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	集 水 樹		基	1		砕 石		m ³		設計数量×(1+ロス率) (表3.20)	バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m(平積0.2m)吊能力1.7t	h		表3.18	不 整 地 運 搬 車 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・ダンプ式2.5t積	日		〃 必要に応じて計上	諸 雑 費		式	1	表3.18	計																									
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																						
世 話 役		人		表3.18																																																																																																																						
特 殊 作 業 員		〃		〃																																																																																																																						
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																						
集 水 樹		基	1																																																																																																																							
砕 石		m ³		設計数量×(1+ロス率) (表3.20)																																																																																																																						
バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m(平積0.2m)吊能力1.7t	h		表3.18																																																																																																																						
不 整 地 運 搬 車 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・ダンプ式2.5t積	日		〃 必要に応じて計上																																																																																																																						
諸 雑 費		式	1	表3.18																																																																																																																						
計																																																																																																																										
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																						
世 話 役		人		表3.18																																																																																																																						
特 殊 作 業 員		〃		〃																																																																																																																						
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																						
集 水 樹		基	1																																																																																																																							
砕 石		m ³		設計数量×(1+ロス率) (表3.20)																																																																																																																						
バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m(平積0.2m)吊能力1.7t	h		表3.18																																																																																																																						
不 整 地 運 搬 車 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・ダンプ式2.5t積	日		〃 必要に応じて計上																																																																																																																						
諸 雑 費		式	1	表3.18																																																																																																																						
計																																																																																																																										

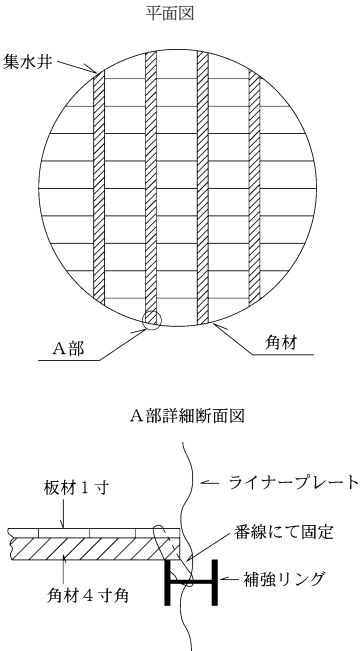
土木工事標準歩掛の一部改定
地すべり防止工（山腹水路工）

工種名	現 行	改 定																																
地すべり防止工 (山腹水路工)	<p>(8) 機械運転単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ (集 水 枳 工)</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m(平積0.2m)吊能力1.7t</td> <td>機-1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ (山腹集水路・排水路工) (山腹明暗渠工) (山腹暗渠工)</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m(平積0.2m)吊能力1.7t</td> <td>機-18</td> <td>運 転 労 務 数 量 → 1.00 燃 料 消 費 量 → 45 機 械 損 料 数 量 → 1.56</td> </tr> <tr> <td>不 整 地 運 搬 車</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・ダンプ式2.5t積</td> <td>機-28</td> <td>運 転 労 務 数 量 → 1.00 燃 料 消 費 量 → 12 賃 料 数 量 → 1.66</td> </tr> </tbody> </table>	機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	バ ッ ク ホ ウ (集 水 枳 工)	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m(平積0.2m)吊能力1.7t	機-1		バ ッ ク ホ ウ (山腹集水路・排水路工) (山腹明暗渠工) (山腹暗渠工)	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m(平積0.2m)吊能力1.7t	機-18	運 転 労 務 数 量 → 1.00 燃 料 消 費 量 → 45 機 械 損 料 数 量 → 1.56	不 整 地 運 搬 車	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・ダンプ式2.5t積	機-28	運 転 労 務 数 量 → 1.00 燃 料 消 費 量 → 12 賃 料 数 量 → 1.66	<p>(8) 機械運転単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ (集 水 枳 工)</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m(平積0.2m)吊能力1.7t</td> <td>機-1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ (山腹集水路・排水路工) (山腹明暗渠工) (山腹暗渠工)</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m(平積0.2m)吊能力1.7t</td> <td>機-18</td> <td>運 転 労 務 数 量 → 1.00 燃 料 消 費 量 → 45 機 械 損 料 数 量 → 1.56</td> </tr> <tr> <td>不 整 地 運 搬 車</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・ダンプ式2.5t積</td> <td>機-28</td> <td>運 転 労 務 数 量 → 1.00 燃 料 消 費 量 → 12 賃 料 数 量 → 1.66</td> </tr> </tbody> </table>	機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	バ ッ ク ホ ウ (集 水 枳 工)	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m(平積0.2m)吊能力1.7t	機-1		バ ッ ク ホ ウ (山腹集水路・排水路工) (山腹明暗渠工) (山腹暗渠工)	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m(平積0.2m)吊能力1.7t	機-18	運 転 労 務 数 量 → 1.00 燃 料 消 費 量 → 45 機 械 損 料 数 量 → 1.56	不 整 地 運 搬 車	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・ダンプ式2.5t積	機-28	運 転 労 務 数 量 → 1.00 燃 料 消 費 量 → 12 賃 料 数 量 → 1.66
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																															
バ ッ ク ホ ウ (集 水 枳 工)	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m(平積0.2m)吊能力1.7t	機-1																																
バ ッ ク ホ ウ (山腹集水路・排水路工) (山腹明暗渠工) (山腹暗渠工)	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m(平積0.2m)吊能力1.7t	機-18	運 転 労 務 数 量 → 1.00 燃 料 消 費 量 → 45 機 械 損 料 数 量 → 1.56																															
不 整 地 運 搬 車	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・ダンプ式2.5t積	機-28	運 転 労 務 数 量 → 1.00 燃 料 消 費 量 → 12 賃 料 数 量 → 1.66																															
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																															
バ ッ ク ホ ウ (集 水 枳 工)	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m(平積0.2m)吊能力1.7t	機-1																																
バ ッ ク ホ ウ (山腹集水路・排水路工) (山腹明暗渠工) (山腹暗渠工)	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型・クレーン機能付 山積0.28m(平積0.2m)吊能力1.7t	機-18	運 転 労 務 数 量 → 1.00 燃 料 消 費 量 → 45 機 械 損 料 数 量 → 1.56																															
不 整 地 運 搬 車	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・ダンプ式2.5t積	機-28	運 転 労 務 数 量 → 1.00 燃 料 消 費 量 → 12 賃 料 数 量 → 1.66																															

土木工事標準歩掛の一部改定
地すべり防止工（集排水ボーリング洗浄工）

工種名	現 行	改 定																																						
地すべり防止工 集排水ボーリング洗浄工	<p>5. 集排水ボーリング孔洗浄工</p> <p>5-1 適用範囲 本資料は、地すべり防止施設における横ボーリング孔及び集水井内の集排水ボーリング孔（φ30mm～φ150mm、延長130m以下/本）の高压ポンプによる洗浄工に適用する。 なお、洗浄工程数については、集水孔は4工程まで、排水孔は3工程までに適用する。</p> <p>5-2 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <p>(1) 井内作業</p>  <p>(2) 井外作業</p>  <p>(注) 本歩掛で対応しているのは実線部分のみである。</p> <p>図5-1 施工フロー</p> <p>5-3 機種を選定 洗浄作業における機械等の機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p>表5.1 機種を選定</p> <table border="1" data-bbox="295 890 1088 983"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工用高压洗浄機</td> <td>エンジン駆動35～70ℓ/min 14.7MPa</td> <td>台</td> <td>1</td> <td>ノズル、高压ホース含む</td> </tr> </tbody> </table> <p>5-4 施工歩掛 洗浄工の施工歩掛は、次表とする。</p> <p>表5.2 洗浄工歩掛</p> <table border="1" data-bbox="295 1088 1102 1257"> <thead> <tr> <th>日当り作業量 (m/日)</th> <th colspan="2">編成人員 (人)</th> <th>使 用 機 械</th> <th>諸雑費率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">D=220</td> <td>世 話 役</td> <td>1</td> <td rowspan="3">工用高压洗浄機 1台</td> <td rowspan="3">2</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 諸雑費は、水中ポンプ賃料、ファン（軸流式）損料、水槽の損料、電力に関する経費等であり、労務費の合計に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p>	機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要	工用高压洗浄機	エンジン駆動35～70ℓ/min 14.7MPa	台	1	ノズル、高压ホース含む	日当り作業量 (m/日)	編成人員 (人)		使 用 機 械	諸雑費率 (%)	D=220	世 話 役	1	工用高压洗浄機 1台	2	特 殊 作 業 員	2	普 通 作 業 員	1	<p>現行どおり</p> <p>5-4 施工歩掛 洗浄工の施工歩掛は、次表とする。</p> <p>表5.2 洗浄工歩掛</p> <table border="1" data-bbox="1236 1088 2042 1257"> <thead> <tr> <th>日当り施工量 (m/日)</th> <th colspan="2">編成人員 (人)</th> <th>使 用 機 械</th> <th>諸雑費率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">D=220</td> <td>世 話 役</td> <td>1</td> <td rowspan="3">工用高压洗浄機 1台</td> <td rowspan="3">2</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 諸雑費は、水中ポンプ賃料、ファン（軸流式）損料、水槽の損料、電力に関する経費等であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p>	日当り 施工量 (m/日)	編成人員 (人)		使 用 機 械	諸雑費率 (%)	D=220	世 話 役	1	工用高压洗浄機 1台	2	特 殊 作 業 員	2	普 通 作 業 員	1
機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要																																				
工用高压洗浄機	エンジン駆動35～70ℓ/min 14.7MPa	台	1	ノズル、高压ホース含む																																				
日当り作業量 (m/日)	編成人員 (人)		使 用 機 械	諸雑費率 (%)																																				
D=220	世 話 役	1	工用高压洗浄機 1台	2																																				
	特 殊 作 業 員	2																																						
	普 通 作 業 員	1																																						
日当り 施工量 (m/日)	編成人員 (人)		使 用 機 械	諸雑費率 (%)																																				
D=220	世 話 役	1	工用高压洗浄機 1台	2																																				
	特 殊 作 業 員	2																																						
	普 通 作 業 員	1																																						

土木工事標準歩掛の一部改定
地すべり防止工（集排水ボーリング洗浄工）

工種名	現 行	改 定																														
地すべり防止工 集排水ボーリング洗浄工	<p>5-5 集水井内足場工 5-5-1 適用範囲 井内作業における集水井内足場の設置・撤去に適用する。 また、本歩掛は足場設置高さに関係なく適用できる。 5-5-2 施工歩掛 井内作業における集水井内足場の設置・撤去歩掛は、次表のとおりとする。 なお、本歩掛で対応しているのは、5-5-3 [参考図] 集水井内足場概念図に示す足場工である。</p> <p style="text-align: center;">表5.3 集水井内足場設置・撤去歩掛 (1回当り)</p> <table border="1" data-bbox="483 438 871 632"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td>人</td> <td>0.4</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td>〃</td> <td>0.7</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>〃</td> <td>0.5</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>%</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 諸雑費は、ファン（軸流式）損料、足場板合板、角材、安全ネット及び電力に関する経費等であり、労務費の合計に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>5-5-3 [参考図] 集水井内足場概念図</p> <div style="text-align: center;">  </div>	名 称	単 位	数 量	世 話 役	人	0.4	と び 工	〃	0.7	普 通 作 業 員	〃	0.5	諸 雑 費 率	%	7	<p style="text-align: center;">表5.3 集水井内足場設置・撤去歩掛 (1回当り)</p> <table border="1" data-bbox="1424 432 1812 625"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td>人</td> <td>0.4</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td>〃</td> <td>0.7</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>〃</td> <td>0.5</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>%</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 諸雑費は、ファン（軸流式）損料、足場板合板、角材、安全ネット及び電力に関する経費等であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p>	名 称	単 位	数 量	世 話 役	人	0.4	と び 工	〃	0.7	普 通 作 業 員	〃	0.5	諸 雑 費 率	%	7
名 称	単 位	数 量																														
世 話 役	人	0.4																														
と び 工	〃	0.7																														
普 通 作 業 員	〃	0.5																														
諸 雑 費 率	%	7																														
名 称	単 位	数 量																														
世 話 役	人	0.4																														
と び 工	〃	0.7																														
普 通 作 業 員	〃	0.5																														
諸 雑 費 率	%	7																														

土木工事標準歩掛の一部改定
地すべり防止工（集排水ボーリング洗浄工）

工種名	現 行	改 定																																																																																																																				
地すべり防止工 集排水ボーリング 孔洗浄工	<p>5-6 単 価 表</p> <p>(1) 洗浄工10m当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>(10/D) × 1</td> <td>表5.2(注)</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>(10/D) × 2</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>(10/D) × 1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>工 事 用 高 圧 洗 浄 機</td> <td>エンジン駆動 35~700/min 14.7MPa</td> <td>日</td> <td>(10/D) × 1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D：日当り作業量</p> <p>(2) 集水井内足場設置・撤去1回当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.4</td> <td>表5.3</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.7</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.5</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 機械運転単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工事用高圧洗浄機</td> <td>エンジン駆動 35~700/min 14.7MPa</td> <td>機-24</td> <td>燃料消費量→35 機械損料数量→1.61</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	(10/D) × 1	表5.2(注)	特 殊 作 業 員		〃	(10/D) × 2	〃	普 通 作 業 員		〃	(10/D) × 1	〃	工 事 用 高 圧 洗 浄 機	エンジン駆動 35~700/min 14.7MPa	日	(10/D) × 1	〃	諸 雑 費		式	1	〃	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	0.4	表5.3	と び 工		〃	0.7	〃	普 通 作 業 員		〃	0.5	〃	諸 雑 費		式	1	〃	計					機 械 名	規 格	適用単価表	摘 要	工事用高圧洗浄機	エンジン駆動 35~700/min 14.7MPa	機-24	燃料消費量→35 機械損料数量→1.61	<p>5-6 単 価 表</p> <p>(1) 洗浄工10m当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>(10/D) × 1</td> <td>表5.2(注)</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>(10/D) × 2</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>(10/D) × 1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>工 事 用 高 圧 洗 浄 機 運 転</td> <td>エンジン駆動 吐出量35~700/min 圧力14.7MPa</td> <td>日</td> <td>(10/D) × 1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D：日当り施工量</p> <p style="text-align: center;">} 現行どおり</p> <p>(3) 機械運転単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工事用高圧洗浄機</td> <td>エンジン駆動 吐出量35~700/min 圧力14.7MPa</td> <td>機-24</td> <td>燃料消費量→28 機械損料数量→1.61</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	(10/D) × 1	表5.2(注)	特 殊 作 業 員		〃	(10/D) × 2	〃	普 通 作 業 員		〃	(10/D) × 1	〃	工 事 用 高 圧 洗 浄 機 運 転	エンジン駆動 吐出量35~700/min 圧力14.7MPa	日	(10/D) × 1	〃	諸 雑 費		式	1	〃	計					機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	工事用高圧洗浄機	エンジン駆動 吐出量35~700/min 圧力14.7MPa	機-24	燃料消費量→ 28 機械損料数量→1.61
	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																	
	世 話 役		人	(10/D) × 1	表5.2(注)																																																																																																																	
	特 殊 作 業 員		〃	(10/D) × 2	〃																																																																																																																	
	普 通 作 業 員		〃	(10/D) × 1	〃																																																																																																																	
	工 事 用 高 圧 洗 浄 機	エンジン駆動 35~700/min 14.7MPa	日	(10/D) × 1	〃																																																																																																																	
	諸 雑 費		式	1	〃																																																																																																																	
	計																																																																																																																					
	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																	
	世 話 役		人	0.4	表5.3																																																																																																																	
と び 工		〃	0.7	〃																																																																																																																		
普 通 作 業 員		〃	0.5	〃																																																																																																																		
諸 雑 費		式	1	〃																																																																																																																		
計																																																																																																																						
機 械 名	規 格	適用単価表	摘 要																																																																																																																			
工事用高圧洗浄機	エンジン駆動 35~700/min 14.7MPa	機-24	燃料消費量→35 機械損料数量→1.61																																																																																																																			
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																		
世 話 役		人	(10/D) × 1	表5.2(注)																																																																																																																		
特 殊 作 業 員		〃	(10/D) × 2	〃																																																																																																																		
普 通 作 業 員		〃	(10/D) × 1	〃																																																																																																																		
工 事 用 高 圧 洗 浄 機 運 転	エンジン駆動 吐出量35~700/min 圧力14.7MPa	日	(10/D) × 1	〃																																																																																																																		
諸 雑 費		式	1	〃																																																																																																																		
計																																																																																																																						
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																																																																																																			
工事用高圧洗浄機	エンジン駆動 吐出量35~700/min 圧力14.7MPa	機-24	燃料消費量→ 28 機械損料数量→1.61																																																																																																																			

土木工事標準歩掛の一部改定
コンクリート舗装工

工種名	現 行	改 定																																																								
道路舗装 コンクリート舗装工	<p>1. 適用範囲</p> <p>本資料は、レディーミクストコンクリートを用いたセメントコンクリート舗装工事に適用する。</p> <p>なお、特殊舗装（連続鉄筋コンクリート・プレストレストコンクリート舗装等）及び両勾配における2車線同時施工には適用しない。</p> <p>2. 施工概要</p> <p>施工フローは、下記を標準とする。</p> <p>(注) 1. 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。 2. 路盤工は、「第11章道路舗装①路盤工」による。 3. アスファルト中間層の施工は、「第11章道路舗装②アスファルト舗装工」による。</p> <p>3. 舗設工</p> <p>舗設は機械舗設を標準とするが、施工量が少ない場合、交差点、すりつけ部等機械持込みが不適当な場合は、人力舗設とする。</p> <p>3-1 機種を選定</p> <p>機械舗設における機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p>表3.1 機種を選定</p> <table border="1" data-bbox="280 1225 1088 1425"> <thead> <tr> <th>作業種別</th> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">舗 設</td> <td>コンクリートスプレッダ</td> <td>ブレード式3～7.5m</td> <td>台</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>コンクリートフィニッシャ</td> <td>3～7.5m</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>コンクリートレベラー</td> <td>3～7.5m</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>舗 設 機 械 設 置 ・ 撤 去</td> <td>ラフテレーンクレーン</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型25 t吊</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	作業種別	機 械 名	規 格	単位	数量	摘要	舗 設	コンクリートスプレッダ	ブレード式3～7.5m	台	1		コンクリートフィニッシャ	3～7.5m	〃	1		コンクリートレベラー	3～7.5m	〃	1		舗 設 機 械 設 置 ・ 撤 去	ラフテレーンクレーン	排出ガス対策型(第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型25 t吊	〃	1		<p>現行どおり</p> <p>3. 舗設工</p> <p>舗設は機械舗設を標準とするが、施工量が少ない場合、交差点、すりつけ部等機械持込みが不適当な場合は、人力舗設とする。</p> <p>3-1 機種を選定</p> <p>機械舗設における機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p>表3.1 機種を選定</p> <table border="1" data-bbox="1176 1217 2042 1425"> <thead> <tr> <th>作業種別</th> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">舗 設</td> <td>コンクリートスプレッダ</td> <td>ブレード式3～7.5m</td> <td>台</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>コンクリートフィニッシャ</td> <td>3～7.5m</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>コンクリートレベラー</td> <td>3～7.5m</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>舗 設 機 械 設 置 ・ 撤 去</td> <td>ラフテレーンクレーン</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型25 t吊</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	作業種別	機 械 名	規 格	単位	数量	摘要	舗 設	コンクリートスプレッダ	ブレード式3～7.5m	台	1		コンクリートフィニッシャ	3～7.5m	〃	1		コンクリートレベラー	3～7.5m	〃	1		舗 設 機 械 設 置 ・ 撤 去	ラフテレーンクレーン	排出ガス対策型(第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型25 t吊	〃	1	
作業種別	機 械 名	規 格	単位	数量	摘要																																																					
舗 設	コンクリートスプレッダ	ブレード式3～7.5m	台	1																																																						
	コンクリートフィニッシャ	3～7.5m	〃	1																																																						
	コンクリートレベラー	3～7.5m	〃	1																																																						
舗 設 機 械 設 置 ・ 撤 去	ラフテレーンクレーン	排出ガス対策型(第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型25 t吊	〃	1																																																						
作業種別	機 械 名	規 格	単位	数量	摘要																																																					
舗 設	コンクリートスプレッダ	ブレード式3～7.5m	台	1																																																						
	コンクリートフィニッシャ	3～7.5m	〃	1																																																						
	コンクリートレベラー	3～7.5m	〃	1																																																						
舗 設 機 械 設 置 ・ 撤 去	ラフテレーンクレーン	排出ガス対策型(第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型25 t吊	〃	1																																																						

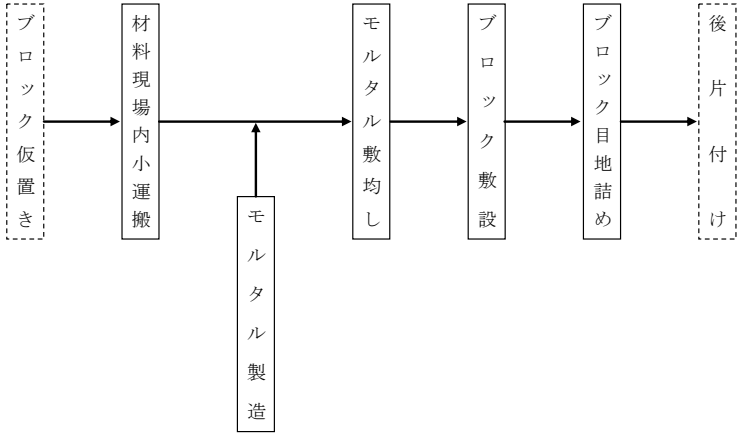
土木工事標準歩掛の一部改定
コンクリート舗装工

工種名	現 行	改 定																																																																
	<p>3-2 舗設歩掛</p> <p>舗設歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 舗 設 歩 掛 (100m²当り)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="2">機 械 舗 設</th> <th colspan="2">人 力 舗 設</th> </tr> <tr> <th>1 車</th> <th>2 車</th> <th>舗設厚 20cm以上</th> <th>舗設厚 20cm未満</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役 人</td> <td>人</td> <td>0.81</td> <td>0.70</td> <td>1.56</td> <td>1.08</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td>〃</td> <td>2.52</td> <td>2.16</td> <td>4.85</td> <td>3.35</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>〃</td> <td>5.66</td> <td>4.87</td> <td>9.23</td> <td>6.38</td> </tr> <tr> <td>コンクリートスプレッド運転</td> <td>h</td> <td>1.42</td> <td>1.21</td> <td colspan="2">—</td> </tr> <tr> <td>コンクリートフィニッシュ運転</td> <td>〃</td> <td>1.42</td> <td>1.21</td> <td colspan="2">—</td> </tr> <tr> <td>コンクリートレベラー運転</td> <td>〃</td> <td>1.42</td> <td>1.21</td> <td colspan="2">—</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン運転</td> <td>日</td> <td colspan="2">0.12</td> <td colspan="2">—</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>%</td> <td>18</td> <td>20</td> <td>18</td> <td>27</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 機械舗設で1車とは1車線施工であり、2車とは2車線同時施工をいう。 2. 1車において、片側交互通行規制で施工する場合は、ラフテレーンクレーン運転及び諸雑費を除いた、上記歩掛の各々に1.1を乗じた数値を計上する。 3. ラフテレーンクレーンは、賃料とする。 4. コンクリートの搬入にアジテータ車を用いる場合は、コンクリートスプレッドは計上しない。 5. 諸雑費は、養生材料等（初期、後期養生用）及び舗設に使用する機械（型枠、軌条、トラック（クレーン装置付4t積、2t吊）、コンクリートカッタ、小機械器具）の費用であり、労務費、賃料、機械損料及び運転経費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。ただし、人力施工の場合は、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>3-3 舗設用コンクリート使用量</p> <p>舗設用コンクリート使用量は、次式による。</p> <p>使用量 (m³)=設計面積 (m²)×舗設厚 (m)×(1+K)……式 3.1</p> <p style="text-align: center;">K：ロス率</p> <p style="text-align: center;">表3.3 ロ ス 率 (K)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>舗 設 厚</th> <th>25cm未満</th> <th>25cm以上30cm以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ロ ス 率</td> <td>+0.04</td> <td>+0.03</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	単 位	機 械 舗 設		人 力 舗 設		1 車	2 車	舗設厚 20cm以上	舗設厚 20cm未満	世 話 役 人	人	0.81	0.70	1.56	1.08	特 殊 作 業 員	〃	2.52	2.16	4.85	3.35	普 通 作 業 員	〃	5.66	4.87	9.23	6.38	コンクリートスプレッド運転	h	1.42	1.21	—		コンクリートフィニッシュ運転	〃	1.42	1.21	—		コンクリートレベラー運転	〃	1.42	1.21	—		ラフテレーンクレーン運転	日	0.12		—		諸 雑 費 率	%	18	20	18	27	舗 設 厚	25cm未満	25cm以上30cm以下	ロ ス 率	+0.04	+0.03	<p>現行どおり</p>
名 称	単 位			機 械 舗 設		人 力 舗 設																																																												
		1 車	2 車	舗設厚 20cm以上	舗設厚 20cm未満																																																													
世 話 役 人	人	0.81	0.70	1.56	1.08																																																													
特 殊 作 業 員	〃	2.52	2.16	4.85	3.35																																																													
普 通 作 業 員	〃	5.66	4.87	9.23	6.38																																																													
コンクリートスプレッド運転	h	1.42	1.21	—																																																														
コンクリートフィニッシュ運転	〃	1.42	1.21	—																																																														
コンクリートレベラー運転	〃	1.42	1.21	—																																																														
ラフテレーンクレーン運転	日	0.12		—																																																														
諸 雑 費 率	%	18	20	18	27																																																													
舗 設 厚	25cm未満	25cm以上30cm以下																																																																
ロ ス 率	+0.04	+0.03																																																																

土木工事標準歩掛の一部改定
コンクリート舗装工

工種名	現 行	改 定																																																																																																																																																																																																																																																											
	<p>4. 単価表</p> <p>(1) 機械舗設 100m2 当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="304 309 1001 821"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>世 話 役</td><td></td><td>人</td><td></td><td>表3.2</td></tr> <tr><td>特 殊 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr> <tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr> <tr><td>コ ン ク リ ー ト</td><td></td><td>m³</td><td></td><td>式3.1</td></tr> <tr><td>石 粉 又 は 瀝 青 材</td><td></td><td>kg, 〇</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>鉄 網</td><td>D 6 150×150</td><td>m²</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>補 強 鉄 筋</td><td></td><td>kg</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>縦 目 地</td><td>(膨張) (収縮)</td><td>m</td><td></td><td>目地材・目地板・スリップバ ー・チェア等含む</td></tr> <tr><td>横 目 地</td><td>(膨張) (収縮)</td><td>〃</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>縦 自 由 縁 部</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>目地材・目地板等含む</td></tr> <tr><td>コンクリートスプレッド運転</td><td>ブレード式 3～7.5m</td><td>h</td><td></td><td>表3.2</td></tr> <tr><td>コンクリートフィニッシャ運転</td><td>3～7.5m</td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr> <tr><td>コンクリートレベラー運転</td><td>3～7.5m</td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr> <tr><td>ラフテレーンクレーン賃料</td><td>排出ガス対策型(第1 次基準値) 油圧伸縮ジブ型25 t 吊</td><td>日</td><td></td><td>〃</td></tr> <tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>〃</td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>(2) 人力舗設 100m2 当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="286 863 1001 1240"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>世 話 役</td><td></td><td>人</td><td></td><td>表3.2</td></tr> <tr><td>特 殊 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr> <tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr> <tr><td>コ ン ク リ ー ト</td><td></td><td>m³</td><td></td><td>式3.1</td></tr> <tr><td>石 粉 又 は 瀝 青 材</td><td></td><td>kg, 〇</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>鉄 網</td><td>D 6 150×150</td><td>m²</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>補 強 鉄 筋</td><td></td><td>kg</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>縦 目 地</td><td>(膨張) (収縮)</td><td>m</td><td></td><td>目地材・目地板・スリップバ ー・チェア等含む</td></tr> <tr><td>横 目 地</td><td>(膨張) (収縮)</td><td>〃</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>縦 自 由 縁 部</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>目地材・目地板等含む</td></tr> <tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>表3.2</td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>(3) 機械運転単価表</p> <table border="1" data-bbox="277 1335 1014 1468"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適 用 単 価 表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>コンクリートスプレッド</td><td>ブレード式 3～7.5m</td><td>機-1</td><td></td></tr> <tr><td>コンクリートフィニッシャ</td><td>勾配固定式 3～7.5m</td><td>機-1</td><td></td></tr> <tr><td>コンクリートレベラー</td><td>勾配固定式 3～7.5m</td><td>機-1</td><td></td></tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表3.2	特 殊 作 業 員		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	コ ン ク リ ー ト		m ³		式3.1	石 粉 又 は 瀝 青 材		kg, 〇			鉄 網	D 6 150×150	m ²			補 強 鉄 筋		kg			縦 目 地	(膨張) (収縮)	m		目地材・目地板・スリップバ ー・チェア等含む	横 目 地	(膨張) (収縮)	〃			縦 自 由 縁 部		〃		目地材・目地板等含む	コンクリートスプレッド運転	ブレード式 3～7.5m	h		表3.2	コンクリートフィニッシャ運転	3～7.5m	〃		〃	コンクリートレベラー運転	3～7.5m	〃		〃	ラフテレーンクレーン賃料	排出ガス対策型(第1 次基準値) 油圧伸縮ジブ型25 t 吊	日		〃	諸 雑 費		式	1	〃	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表3.2	特 殊 作 業 員		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	コ ン ク リ ー ト		m ³		式3.1	石 粉 又 は 瀝 青 材		kg, 〇			鉄 網	D 6 150×150	m ²			補 強 鉄 筋		kg			縦 目 地	(膨張) (収縮)	m		目地材・目地板・スリップバ ー・チェア等含む	横 目 地	(膨張) (収縮)	〃			縦 自 由 縁 部		〃		目地材・目地板等含む	諸 雑 費		式	1	表3.2	計					機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項	コンクリートスプレッド	ブレード式 3～7.5m	機-1		コンクリートフィニッシャ	勾配固定式 3～7.5m	機-1		コンクリートレベラー	勾配固定式 3～7.5m	機-1		<p>4. 単価表</p> <p>(1) 機械舗設 100m2 当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="1252 309 1948 831"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>世 話 役</td><td></td><td>人</td><td></td><td>表3.2</td></tr> <tr><td>特 殊 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr> <tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr> <tr><td>コ ン ク リ ー ト</td><td></td><td>m³</td><td></td><td>式3.1</td></tr> <tr><td>石 粉 又 は 瀝 青 材</td><td></td><td>kg, 〇</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>鉄 網</td><td>D 6 150×150</td><td>m²</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>補 強 鉄 筋</td><td></td><td>kg</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>縦 目 地</td><td>(膨張) (収縮)</td><td>m</td><td></td><td>目地材・目地板・スリップバ ー・チェア等含む</td></tr> <tr><td>横 目 地</td><td>(膨張) (収縮)</td><td>〃</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>縦 自 由 縁 部</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>目地材・目地板等含む</td></tr> <tr><td>コンクリートスプレッド運転</td><td>ブレード式 3～7.5m</td><td>h</td><td></td><td>表3.2</td></tr> <tr><td>コンクリートフィニッシャ運転</td><td>3～7.5m</td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr> <tr><td>コンクリートレベラー運転</td><td>3～7.5m</td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr> <tr><td>ラフテレーンクレーン賃料</td><td>排出ガス対策型(第2 次基準値) 油圧伸縮ジブ型25 t 吊</td><td>日</td><td></td><td>〃</td></tr> <tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>〃</td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>現行どおり</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表3.2	特 殊 作 業 員		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	コ ン ク リ ー ト		m ³		式3.1	石 粉 又 は 瀝 青 材		kg, 〇			鉄 網	D 6 150×150	m ²			補 強 鉄 筋		kg			縦 目 地	(膨張) (収縮)	m		目地材・目地板・スリップバ ー・チェア等含む	横 目 地	(膨張) (収縮)	〃			縦 自 由 縁 部		〃		目地材・目地板等含む	コンクリートスプレッド運転	ブレード式 3～7.5m	h		表3.2	コンクリートフィニッシャ運転	3～7.5m	〃		〃	コンクリートレベラー運転	3～7.5m	〃		〃	ラフテレーンクレーン賃料	排出ガス対策型(第2 次基準値) 油圧伸縮ジブ型25 t 吊	日		〃	諸 雑 費		式	1	〃	計				
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																																									
世 話 役		人		表3.2																																																																																																																																																																																																																																																									
特 殊 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																																									
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																																									
コ ン ク リ ー ト		m ³		式3.1																																																																																																																																																																																																																																																									
石 粉 又 は 瀝 青 材		kg, 〇																																																																																																																																																																																																																																																											
鉄 網	D 6 150×150	m ²																																																																																																																																																																																																																																																											
補 強 鉄 筋		kg																																																																																																																																																																																																																																																											
縦 目 地	(膨張) (収縮)	m		目地材・目地板・スリップバ ー・チェア等含む																																																																																																																																																																																																																																																									
横 目 地	(膨張) (収縮)	〃																																																																																																																																																																																																																																																											
縦 自 由 縁 部		〃		目地材・目地板等含む																																																																																																																																																																																																																																																									
コンクリートスプレッド運転	ブレード式 3～7.5m	h		表3.2																																																																																																																																																																																																																																																									
コンクリートフィニッシャ運転	3～7.5m	〃		〃																																																																																																																																																																																																																																																									
コンクリートレベラー運転	3～7.5m	〃		〃																																																																																																																																																																																																																																																									
ラフテレーンクレーン賃料	排出ガス対策型(第1 次基準値) 油圧伸縮ジブ型25 t 吊	日		〃																																																																																																																																																																																																																																																									
諸 雑 費		式	1	〃																																																																																																																																																																																																																																																									
計																																																																																																																																																																																																																																																													
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																																									
世 話 役		人		表3.2																																																																																																																																																																																																																																																									
特 殊 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																																									
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																																									
コ ン ク リ ー ト		m ³		式3.1																																																																																																																																																																																																																																																									
石 粉 又 は 瀝 青 材		kg, 〇																																																																																																																																																																																																																																																											
鉄 網	D 6 150×150	m ²																																																																																																																																																																																																																																																											
補 強 鉄 筋		kg																																																																																																																																																																																																																																																											
縦 目 地	(膨張) (収縮)	m		目地材・目地板・スリップバ ー・チェア等含む																																																																																																																																																																																																																																																									
横 目 地	(膨張) (収縮)	〃																																																																																																																																																																																																																																																											
縦 自 由 縁 部		〃		目地材・目地板等含む																																																																																																																																																																																																																																																									
諸 雑 費		式	1	表3.2																																																																																																																																																																																																																																																									
計																																																																																																																																																																																																																																																													
機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項																																																																																																																																																																																																																																																										
コンクリートスプレッド	ブレード式 3～7.5m	機-1																																																																																																																																																																																																																																																											
コンクリートフィニッシャ	勾配固定式 3～7.5m	機-1																																																																																																																																																																																																																																																											
コンクリートレベラー	勾配固定式 3～7.5m	機-1																																																																																																																																																																																																																																																											
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																																									
世 話 役		人		表3.2																																																																																																																																																																																																																																																									
特 殊 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																																									
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																																									
コ ン ク リ ー ト		m ³		式3.1																																																																																																																																																																																																																																																									
石 粉 又 は 瀝 青 材		kg, 〇																																																																																																																																																																																																																																																											
鉄 網	D 6 150×150	m ²																																																																																																																																																																																																																																																											
補 強 鉄 筋		kg																																																																																																																																																																																																																																																											
縦 目 地	(膨張) (収縮)	m		目地材・目地板・スリップバ ー・チェア等含む																																																																																																																																																																																																																																																									
横 目 地	(膨張) (収縮)	〃																																																																																																																																																																																																																																																											
縦 自 由 縁 部		〃		目地材・目地板等含む																																																																																																																																																																																																																																																									
コンクリートスプレッド運転	ブレード式 3～7.5m	h		表3.2																																																																																																																																																																																																																																																									
コンクリートフィニッシャ運転	3～7.5m	〃		〃																																																																																																																																																																																																																																																									
コンクリートレベラー運転	3～7.5m	〃		〃																																																																																																																																																																																																																																																									
ラフテレーンクレーン賃料	排出ガス対策型(第2 次基準値) 油圧伸縮ジブ型25 t 吊	日		〃																																																																																																																																																																																																																																																									
諸 雑 費		式	1	〃																																																																																																																																																																																																																																																									
計																																																																																																																																																																																																																																																													

土木工事標準歩掛の一部改定
路側工

工種名	現 行	改 定
道路付属施設 路側工	<p>② 路側工</p> <p>②-1 路側工</p> <p>1. 適用範囲</p> <p>本資料は、プレキャスト製品による歩車道境界ブロック及び地先境界ブロックの据付作業に適用する。</p> <p>2. 施工概要</p> <p>施工フローは、下記を標準とする。</p>  <pre> graph LR A[ブロック仮置き] --> B[材料現場内小運搬] B --> C[モルタル敷均し] D[モルタル製造] --> C C --> E[ブロック敷設] E --> F[ブロック目地詰め] F --> G[後片付け] </pre> <p>(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。</p>	<p>現行のどおり</p>

土木工事標準歩掛の一部改定
路側工

工種名	現 行	改 定																																													
	<p>3. 機種の選定</p> <p>ブロック据付作業（ブロックの長さ：1,000mmを超え2,000mm以下 ブロックの質量：150kg以上550kg未満）における機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3.1 機種の選定</p> <table border="1" data-bbox="282 405 1070 520"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値), クローラ型・クレーン機能付, 山積0.45m³(平積0.35m³), 吊能力2.9t</td> <td>台</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. バックホウは、賃料とする。</p> <p>2. バックホウは、「クレーン等安全規則」, 「移動式クレーン構造規格」に準拠した機械である。</p> <p>4. 日当り編成人員</p> <p>ブロック据付作業の日当り編成人員は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 4.1 日当り編成人員 (人)</p> <table border="1" data-bbox="286 960 1061 1184"> <thead> <tr> <th colspan="2">ブ ロ ッ ク の 規 格</th> <th colspan="3">職 種</th> </tr> <tr> <th>ブ ロ ッ ク の 長 さ</th> <th>ブ ロ ッ ク の 質 量</th> <th>世話役</th> <th>ブロック工</th> <th>普通作業員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">600mm以下</td> <td>50kg未満</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>50kg以上100kg未満</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>600mmを超え1,000mm以下</td> <td>50kg以上150kg未満</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>1,000mmを超え2,000mm以下</td> <td>150kg以上550kg未満</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>	機 械 名	規 格	単 位	数 量	バックホウ	排出ガス対策型(第1次基準値), クローラ型・クレーン機能付, 山積0.45m ³ (平積0.35m ³), 吊能力2.9t	台	1	ブ ロ ッ ク の 規 格		職 種			ブ ロ ッ ク の 長 さ	ブ ロ ッ ク の 質 量	世話役	ブロック工	普通作業員	600mm以下	50kg未満	1	2	2	50kg以上100kg未満	1	2	2	600mmを超え1,000mm以下	50kg以上150kg未満	1	2	2	1,000mmを超え2,000mm以下	150kg以上550kg未満	1	1	2	<p>3. 機種の選定</p> <p>ブロック据付作業（ブロックの長さ：1,000mmを超え2,000mm以下 ブロックの質量：150kg以上550kg未満）における機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3.1 機種の選定</p> <table border="1" data-bbox="1236 402 2002 517"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値), クローラ型・クレーン機能付, 山積0.45m³(平積0.35m³), 吊能力2.9t</td> <td>台</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. バックホウは、賃料とする。</p> <p>2. バックホウは、「クレーン等安全規則」, 「移動式クレーン構造規格」に準拠した機械である。</p> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>現行のとおり</p> </div>	機 械 名	規 格	単 位	数 量	バックホウ	排出ガス対策型(第2次基準値), クローラ型・クレーン機能付, 山積0.45m ³ (平積0.35m ³), 吊能力2.9t	台	1
機 械 名	規 格	単 位	数 量																																												
バックホウ	排出ガス対策型(第1次基準値), クローラ型・クレーン機能付, 山積0.45m ³ (平積0.35m ³), 吊能力2.9t	台	1																																												
ブ ロ ッ ク の 規 格		職 種																																													
ブ ロ ッ ク の 長 さ	ブ ロ ッ ク の 質 量	世話役	ブロック工	普通作業員																																											
600mm以下	50kg未満	1	2	2																																											
	50kg以上100kg未満	1	2	2																																											
600mmを超え1,000mm以下	50kg以上150kg未満	1	2	2																																											
1,000mmを超え2,000mm以下	150kg以上550kg未満	1	1	2																																											
機 械 名	規 格	単 位	数 量																																												
バックホウ	排出ガス対策型(第2次基準値), クローラ型・クレーン機能付, 山積0.45m ³ (平積0.35m ³), 吊能力2.9t	台	1																																												

土木工事標準歩掛の一部改定
路側工

工種名	現 行	改 定																																
	<p>5. 日当り施工量</p> <p>ブロック据付作業の日当り施工量は、次表を標準とする。</p> <p>表 5.1 日当り施工量 (m/日)</p> <table border="1" data-bbox="282 367 1066 593"> <thead> <tr> <th colspan="2">ブ ロ ッ ク の 規 格</th> <th rowspan="2">日当り施工量</th> </tr> <tr> <th>ブ ロ ッ ク の 長 さ</th> <th>ブ ロ ッ ク の 質 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">600mm以下</td> <td>50kg未満</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>50kg以上100kg未満</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>600mmを超え1,000mm以下</td> <td>50kg以上150kg未満</td> <td>65</td> </tr> <tr> <td>1,000mmを超え2,000mm以下</td> <td>150kg以上550kg未満</td> <td>70</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、直線部、曲線部及び片面用、両面用、乗入れ、すりつけ用ブロックを含んでいる。 2. 上表には、敷モルタル、目地モルタルの施工を含む。 3. 上表には、ブロックの現場内小運搬を含む。 4. 床掘り、埋戻し、基礎の施工は、別途計上する。</p> <p>6. 諸雑費</p> <p>諸雑費は、敷モルタル、目地モルタル、器具、補助機械等の費用であり、労務費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>表 6.1 諸雑费率 (%)</p> <table border="1" data-bbox="271 1066 1077 1305"> <thead> <tr> <th colspan="2">ブ ロ ッ ク の 規 格</th> <th rowspan="2">諸雑费率</th> </tr> <tr> <th>ブ ロ ッ ク の 長 さ</th> <th>ブ ロ ッ ク の 質 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">600mm以下</td> <td>50kg未満</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>50kg以上100kg未満</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>600mmを超え1,000mm以下</td> <td>50kg以上150kg未満</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>1,000mmを超え2,000mm以下</td> <td>150kg以上550kg未満</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table>	ブ ロ ッ ク の 規 格		日当り施工量	ブ ロ ッ ク の 長 さ	ブ ロ ッ ク の 質 量	600mm以下	50kg未満	70	50kg以上100kg未満	60	600mmを超え1,000mm以下	50kg以上150kg未満	65	1,000mmを超え2,000mm以下	150kg以上550kg未満	70	ブ ロ ッ ク の 規 格		諸雑费率	ブ ロ ッ ク の 長 さ	ブ ロ ッ ク の 質 量	600mm以下	50kg未満	9	50kg以上100kg未満	9	600mmを超え1,000mm以下	50kg以上150kg未満	13	1,000mmを超え2,000mm以下	150kg以上550kg未満	9	<p>現行どおり</p>
ブ ロ ッ ク の 規 格		日当り施工量																																
ブ ロ ッ ク の 長 さ	ブ ロ ッ ク の 質 量																																	
600mm以下	50kg未満	70																																
	50kg以上100kg未満	60																																
600mmを超え1,000mm以下	50kg以上150kg未満	65																																
1,000mmを超え2,000mm以下	150kg以上550kg未満	70																																
ブ ロ ッ ク の 規 格		諸雑费率																																
ブ ロ ッ ク の 長 さ	ブ ロ ッ ク の 質 量																																	
600mm以下	50kg未満	9																																
	50kg以上100kg未満	9																																
600mmを超え1,000mm以下	50kg以上150kg未満	13																																
1,000mmを超え2,000mm以下	150kg以上550kg未満	9																																

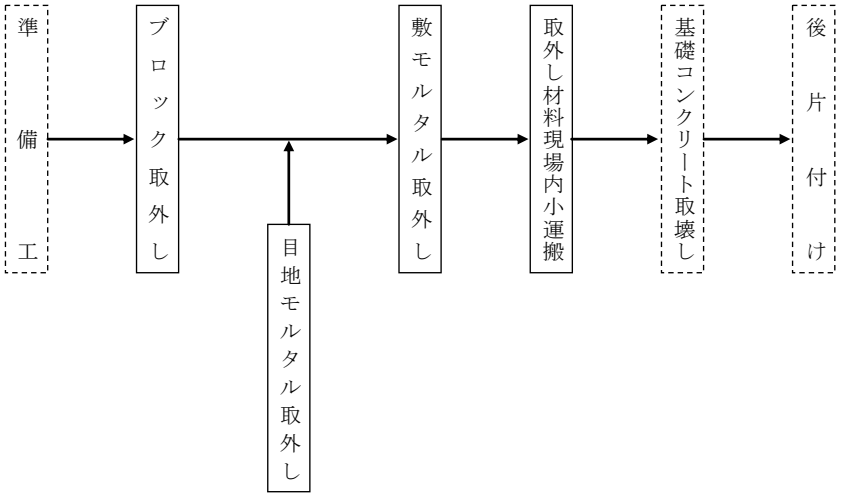
土木工事標準歩掛の一部改定
路側工

工種名	現 行	改 定																																																																						
	<p>7. 単価表</p> <p>(1) ブロック長が600mm以下の境界ブロック据付100m当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="275 309 1072 564"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1×100/D</td> <td>表4.1, 表5.1</td> </tr> <tr> <td>ブ ロ ッ ク 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>2×100/D</td> <td>〃 〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>2×100/D</td> <td>〃 〃</td> </tr> <tr> <td>境 界 ブ ロ ッ ク</td> <td></td> <td>個</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表6.1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D：日当り施工量 (m/日)</p> <p>(2) ブロック長が600mmを超え1,000mm以下の境界ブロック据付100m当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="271 689 1072 944"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1×100/D</td> <td>表4.1, 表5.1</td> </tr> <tr> <td>ブ ロ ッ ク 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>2×100/D</td> <td>〃 〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>2×100/D</td> <td>〃 〃</td> </tr> <tr> <td>境 界 ブ ロ ッ ク</td> <td></td> <td>個</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表6.1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D：日当り施工量 (m/日)</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	1×100/D	表4.1, 表5.1	ブ ロ ッ ク 工		〃	2×100/D	〃 〃	普 通 作 業 員		〃	2×100/D	〃 〃	境 界 ブ ロ ッ ク		個			諸 雑 費		式	1	表6.1	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	1×100/D	表4.1, 表5.1	ブ ロ ッ ク 工		〃	2×100/D	〃 〃	普 通 作 業 員		〃	2×100/D	〃 〃	境 界 ブ ロ ッ ク		個			諸 雑 費		式	1	表6.1	計					<p>現行のとおり</p>
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																				
世 話 役		人	1×100/D	表4.1, 表5.1																																																																				
ブ ロ ッ ク 工		〃	2×100/D	〃 〃																																																																				
普 通 作 業 員		〃	2×100/D	〃 〃																																																																				
境 界 ブ ロ ッ ク		個																																																																						
諸 雑 費		式	1	表6.1																																																																				
計																																																																								
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																				
世 話 役		人	1×100/D	表4.1, 表5.1																																																																				
ブ ロ ッ ク 工		〃	2×100/D	〃 〃																																																																				
普 通 作 業 員		〃	2×100/D	〃 〃																																																																				
境 界 ブ ロ ッ ク		個																																																																						
諸 雑 費		式	1	表6.1																																																																				
計																																																																								

土木工事標準歩掛の一部改定
路側工

工種名	現 行	改 定																																																																																																
	<p>(3) ブロック長が1,000mmを超え2,000mm以下の境界ブロック据付100m当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="300 268 1061 638"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1×100/D</td> <td>表4.1, 表5.1</td> </tr> <tr> <td>ブ ロ ッ ク 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1×100/D</td> <td>〃 〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>2×100/D</td> <td>〃 〃</td> </tr> <tr> <td>境 界 ブ ロ ッ ク</td> <td></td> <td>個</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ 運 転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値), クローラ型・クレーン機能付, 山積0.45m³(平積0.35m³), 吊能力2.9t</td> <td>日</td> <td>1×100/D</td> <td>表3.1, 表5.1</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表6.1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D : 日当り施工量 (m/日)</p> <p>(4) 機械運転単価表</p> <table border="1" data-bbox="268 839 1043 960"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指定事項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値), クローラ型・クレーン機能付, 山積0.45m³(平積0.35m³), 吊能力2.9t</td> <td>機-28</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量 →67 賃料数量→1.14</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	1×100/D	表4.1, 表5.1	ブ ロ ッ ク 工		〃	1×100/D	〃 〃	普 通 作 業 員		〃	2×100/D	〃 〃	境 界 ブ ロ ッ ク		個			バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値), クローラ型・クレーン機能付, 山積0.45m ³ (平積0.35m ³), 吊能力2.9t	日	1×100/D	表3.1, 表5.1	諸 雑 費		式	1	表6.1	計					機 械 名	規 格	適用単価表	指定事項	バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型(第1次基準値), クローラ型・クレーン機能付, 山積0.45m ³ (平積0.35m ³), 吊能力2.9t	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量 →67 賃料数量→1.14	<p>(3) ブロック長が1,000mmを超え2,000mm以下の境界ブロック据付100m当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="1187 261 1926 622"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1×100/D</td> <td>表4.1, 表5.1</td> </tr> <tr> <td>ブ ロ ッ ク 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1×100/D</td> <td>〃 〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>2×100/D</td> <td>〃 〃</td> </tr> <tr> <td>境 界 ブ ロ ッ ク</td> <td></td> <td>個</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ 運 転</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値), クローラ型・クレーン機能付, 山積0.45m³(平積0.35m³), 吊能力2.9t</td> <td>日</td> <td>1×100/D</td> <td>表3.1, 表5.1</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表6.1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D : 日当り施工量 (m/日)</p> <p>(4) 機械運転単価表</p> <table border="1" data-bbox="1178 833 1908 957"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指定事項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値), クローラ型・クレーン機能付, 山積0.45m³(平積0.35m³), 吊能力2.9t</td> <td>機-28</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量 →67 賃料数量→1.14</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	1×100/D	表4.1, 表5.1	ブ ロ ッ ク 工		〃	1×100/D	〃 〃	普 通 作 業 員		〃	2×100/D	〃 〃	境 界 ブ ロ ッ ク		個			バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型(第2次基準値), クローラ型・クレーン機能付, 山積0.45m ³ (平積0.35m ³), 吊能力2.9t	日	1×100/D	表3.1, 表5.1	諸 雑 費		式	1	表6.1	計					機 械 名	規 格	適用単価表	指定事項	バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型(第2次基準値), クローラ型・クレーン機能付, 山積0.45m ³ (平積0.35m ³), 吊能力2.9t	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量 →67 賃料数量→1.14
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																														
世 話 役		人	1×100/D	表4.1, 表5.1																																																																																														
ブ ロ ッ ク 工		〃	1×100/D	〃 〃																																																																																														
普 通 作 業 員		〃	2×100/D	〃 〃																																																																																														
境 界 ブ ロ ッ ク		個																																																																																																
バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値), クローラ型・クレーン機能付, 山積0.45m ³ (平積0.35m ³), 吊能力2.9t	日	1×100/D	表3.1, 表5.1																																																																																														
諸 雑 費		式	1	表6.1																																																																																														
計																																																																																																		
機 械 名	規 格	適用単価表	指定事項																																																																																															
バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型(第1次基準値), クローラ型・クレーン機能付, 山積0.45m ³ (平積0.35m ³), 吊能力2.9t	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量 →67 賃料数量→1.14																																																																																															
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																														
世 話 役		人	1×100/D	表4.1, 表5.1																																																																																														
ブ ロ ッ ク 工		〃	1×100/D	〃 〃																																																																																														
普 通 作 業 員		〃	2×100/D	〃 〃																																																																																														
境 界 ブ ロ ッ ク		個																																																																																																
バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型(第2次基準値), クローラ型・クレーン機能付, 山積0.45m ³ (平積0.35m ³), 吊能力2.9t	日	1×100/D	表3.1, 表5.1																																																																																														
諸 雑 費		式	1	表6.1																																																																																														
計																																																																																																		
機 械 名	規 格	適用単価表	指定事項																																																																																															
バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型(第2次基準値), クローラ型・クレーン機能付, 山積0.45m ³ (平積0.35m ³), 吊能力2.9t	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量 →67 賃料数量→1.14																																																																																															

土木工事標準歩掛の一部改定
路側工

工種名	現 行	改 定
	<p>②-2 路側取外し工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、プレキャスト製品による歩車道境界ブロック及び地先境界ブロックの取外し作業に適用する。</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p>  <pre> graph LR A[準備工] --> B[ブロック取外し] B --> C[目地モルタル取外し] B --> D[敷モルタル取外し] C --> D D --> E[取外し材料現場内小運搬] E --> F[基礎コンクリート取壊し] F --> G[後片付け] </pre> <p>(注) 1. 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。 2. ブロック、モルタルの処分費及び現場搬出の費用は、別途計上する。</p>	<p>現行どおり</p>

土木工事標準歩掛の一部改定
路側工

工種名	現 行	改 定																																																					
	<p>3. 機種の選定</p> <p>ブロック取外し作業における機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3.1 機種の選定</p> <table border="1" data-bbox="271 376 1048 491"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小型バックホウ</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型・超小旋回型 山積0.22m³(平積0.16m³)</td> <td>台</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 小型バックホウは、賃料とする。</p> <p>4. 日当り編成人員</p> <p>ブロック取外し作業の日当り編成人員は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.1 日当り編成人員 (人)</p> <table border="1" data-bbox="275 705 1068 868"> <thead> <tr> <th rowspan="2">再利用区分</th> <th colspan="2">ブロックの規格</th> <th colspan="3">職 種</th> </tr> <tr> <th>ブロックの長さ</th> <th>ブロックの質量</th> <th>世 話 役</th> <th>ブロック工</th> <th>普通作業員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>撤去・処分</td> <td>800mm以下</td> <td>105kg未満</td> <td>1</td> <td>—</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>再 利 用</td> <td>800mm以下</td> <td>105kg未満</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>5. 日当り施工量</p> <p>ブロック取外し作業の日当り施工量は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 5.1 日当り施工量 (m/日)</p> <table border="1" data-bbox="282 1026 1068 1185"> <thead> <tr> <th rowspan="2">再利用区分</th> <th colspan="2">ブロックの規格</th> <th rowspan="2">日当り施工量</th> </tr> <tr> <th>ブロックの長さ</th> <th>ブロックの質量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>撤去・処分</td> <td>800mm以下</td> <td>105kg未満</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>再 利 用</td> <td>800mm以下</td> <td>105kg未満</td> <td>115</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、直線部、曲線部及び片面用、両面用、乗入れ、すりつけ用ブロックを含んでいる。</p> <p>2. 上表には、敷モルタル、目地モルタルの取外しを含む。</p> <p>3. 上表には、ブロックの現場内小運搬を含む。</p> <p>4. 基礎コンクリートのとりこわしは、別途計上する。</p>	機 械 名	規 格	単 位	数 量	小型バックホウ	排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型・超小旋回型 山積0.22m ³ (平積0.16m ³)	台	1	再利用区分	ブロックの規格		職 種			ブロックの長さ	ブロックの質量	世 話 役	ブロック工	普通作業員	撤去・処分	800mm以下	105kg未満	1	—	3	再 利 用	800mm以下	105kg未満	1	1	2	再利用区分	ブロックの規格		日当り施工量	ブロックの長さ	ブロックの質量	撤去・処分	800mm以下	105kg未満	200	再 利 用	800mm以下	105kg未満	115	<p>3. 機種の選定</p> <p>ブロック取外し作業における機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3.1 機種の選定</p> <table border="1" data-bbox="1265 376 1975 491"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小型バックホウ</td> <td>排出ガス対策型（第2次基準値） クローラ型・超小旋回型 山積0.22m³(平積0.16m³)</td> <td>台</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 小型バックホウは、賃料とする。</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	機 械 名	規 格	単 位	数 量	小型バックホウ	排出ガス対策型（第2次基準値） クローラ型・超小旋回型 山積0.22m ³ (平積0.16m ³)	台	1
機 械 名	規 格	単 位	数 量																																																				
小型バックホウ	排出ガス対策型（第1次基準値） クローラ型・超小旋回型 山積0.22m ³ (平積0.16m ³)	台	1																																																				
再利用区分	ブロックの規格		職 種																																																				
	ブロックの長さ	ブロックの質量	世 話 役	ブロック工	普通作業員																																																		
撤去・処分	800mm以下	105kg未満	1	—	3																																																		
再 利 用	800mm以下	105kg未満	1	1	2																																																		
再利用区分	ブロックの規格		日当り施工量																																																				
	ブロックの長さ	ブロックの質量																																																					
撤去・処分	800mm以下	105kg未満	200																																																				
再 利 用	800mm以下	105kg未満	115																																																				
機 械 名	規 格	単 位	数 量																																																				
小型バックホウ	排出ガス対策型（第2次基準値） クローラ型・超小旋回型 山積0.22m ³ (平積0.16m ³)	台	1																																																				

土木工事標準歩掛の一部改定
路側工

工種名	現 行	改 定																																																																				
	<p>6. 諸雑費</p> <p>諸雑費は、モルタルはつり、器具、補助機械等の費用であり、労務費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表 6.1 諸雑费率 (%)</p> <table border="1" data-bbox="271 408 1016 515"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小型バックホウ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・超小旋回型 山積0.22m³(平積0.16m³)</td> <td>台</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>7. 単価表</p> <p>(1) 撤去・処分(ブロック長800mm以下)の境界ブロック取外し100m当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="253 746 1034 1032"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1×100/D</td> <td>表4.1, 表5.1</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>3×100/D</td> <td>〃, 〃</td> </tr> <tr> <td>小 型 バ ッ ク ホ ウ 運</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値), クローラ型・超小旋回型, 山積0.22m³(平積0.16m³)</td> <td>日</td> <td>1×100/D</td> <td>表3.1, 〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表6.1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D: 日当り施工量 (m/日)</p>	機 械 名	規 格	単 位	数 量	小型バックホウ	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・超小旋回型 山積0.22m ³ (平積0.16m ³)	台	1	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	1×100/D	表4.1, 表5.1	普 通 作 業 員		〃	3×100/D	〃, 〃	小 型 バ ッ ク ホ ウ 運	排出ガス対策型(第1次基準値), クローラ型・超小旋回型, 山積0.22m ³ (平積0.16m ³)	日	1×100/D	表3.1, 〃	諸 雑 費		式	1	表6.1	計					<p>現行どおり</p> <p>7. 単価表</p> <p>(1) 撤去・処分(ブロック長800mm以下)の境界ブロック取外し100m当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="1205 738 1933 1032"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1×100/D</td> <td>表4.1, 表5.1</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>3×100/D</td> <td>〃, 〃</td> </tr> <tr> <td>小 型 バ ッ ク ホ ウ 運</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値), クローラ型・超小旋回型, 山積0.22m³(平積0.16m³)</td> <td>日</td> <td>1×100/D</td> <td>表3.1, 〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表6.1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D: 日当り施工量 (m/日)</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	1×100/D	表4.1, 表5.1	普 通 作 業 員		〃	3×100/D	〃, 〃	小 型 バ ッ ク ホ ウ 運	排出ガス対策型(第2次基準値), クローラ型・超小旋回型, 山積0.22m ³ (平積0.16m ³)	日	1×100/D	表3.1, 〃	諸 雑 費		式	1	表6.1	計				
機 械 名	規 格	単 位	数 量																																																																			
小型バックホウ	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型・超小旋回型 山積0.22m ³ (平積0.16m ³)	台	1																																																																			
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																		
世 話 役		人	1×100/D	表4.1, 表5.1																																																																		
普 通 作 業 員		〃	3×100/D	〃, 〃																																																																		
小 型 バ ッ ク ホ ウ 運	排出ガス対策型(第1次基準値), クローラ型・超小旋回型, 山積0.22m ³ (平積0.16m ³)	日	1×100/D	表3.1, 〃																																																																		
諸 雑 費		式	1	表6.1																																																																		
計																																																																						
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																		
世 話 役		人	1×100/D	表4.1, 表5.1																																																																		
普 通 作 業 員		〃	3×100/D	〃, 〃																																																																		
小 型 バ ッ ク ホ ウ 運	排出ガス対策型(第2次基準値), クローラ型・超小旋回型, 山積0.22m ³ (平積0.16m ³)	日	1×100/D	表3.1, 〃																																																																		
諸 雑 費		式	1	表6.1																																																																		
計																																																																						

土木工事標準歩掛の一部改定
路側工

工種名	現 行	改 定																																																																																						
	<p>(2) 再利用（ブロック長800mm以下）の境界ブロック取外し100m当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="295 264 1077 592"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1×100/D</td> <td>表4.1, 表5.1</td> </tr> <tr> <td>ブ ロ ッ ク 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1×100/D</td> <td>〃, 〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>2×100/D</td> <td>〃, 〃</td> </tr> <tr> <td>小 型 バ ッ ク ホ ウ 運</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値), クローラ型・超小旋回型, 山積0.22m³(平積0.16m³)</td> <td>日</td> <td>1×100/D</td> <td>表3.1, 〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表6.1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D: 日当り施工量 (m/日)</p> <p>(3) 機械運転単価表</p> <table border="1" data-bbox="277 703 1106 815"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指定事項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小型バックホウ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値), クローラ型・超小旋回型, 山積0.22m³(平積0.16m³)</td> <td>機-28</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量 →23 賃料数量→1.34</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	1×100/D	表4.1, 表5.1	ブ ロ ッ ク 工		〃	1×100/D	〃, 〃	普 通 作 業 員		〃	2×100/D	〃, 〃	小 型 バ ッ ク ホ ウ 運	排出ガス対策型(第1次基準値), クローラ型・超小旋回型, 山積0.22m ³ (平積0.16m ³)	日	1×100/D	表3.1, 〃	諸 雑 費		式	1	表6.1	計					機 械 名	規 格	適用単価表	指定事項	小型バックホウ	排出ガス対策型(第1次基準値), クローラ型・超小旋回型, 山積0.22m ³ (平積0.16m ³)	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量 →23 賃料数量→1.34	<p>(2) 再利用（ブロック長800mm以下）の境界ブロック取外し100m当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="1211 264 1957 592"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1×100/D</td> <td>表4.1, 表5.1</td> </tr> <tr> <td>ブ ロ ッ ク 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1×100/D</td> <td>〃, 〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>2×100/D</td> <td>〃, 〃</td> </tr> <tr> <td>小 型 バ ッ ク ホ ウ 運</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値), クローラ型・超小旋回型, 山積0.22m³(平積0.16m³)</td> <td>日</td> <td>1×100/D</td> <td>表3.1, 〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表6.1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D: 日当り施工量 (m/日)</p> <p>(3) 機械運転単価表</p> <table border="1" data-bbox="1164 703 1935 815"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指定事項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小型バックホウ</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値), クローラ型・超小旋回型, 山積0.22m³(平積0.16m³)</td> <td>機-28</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量 →23 賃料数量→1.34</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	1×100/D	表4.1, 表5.1	ブ ロ ッ ク 工		〃	1×100/D	〃, 〃	普 通 作 業 員		〃	2×100/D	〃, 〃	小 型 バ ッ ク ホ ウ 運	排出ガス対策型(第2次基準値), クローラ型・超小旋回型, 山積0.22m ³ (平積0.16m ³)	日	1×100/D	表3.1, 〃	諸 雑 費		式	1	表6.1	計					機 械 名	規 格	適用単価表	指定事項	小型バックホウ	排出ガス対策型(第2次基準値), クローラ型・超小旋回型, 山積0.22m ³ (平積0.16m ³)	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量 →23 賃料数量→1.34
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																				
世 話 役		人	1×100/D	表4.1, 表5.1																																																																																				
ブ ロ ッ ク 工		〃	1×100/D	〃, 〃																																																																																				
普 通 作 業 員		〃	2×100/D	〃, 〃																																																																																				
小 型 バ ッ ク ホ ウ 運	排出ガス対策型(第1次基準値), クローラ型・超小旋回型, 山積0.22m ³ (平積0.16m ³)	日	1×100/D	表3.1, 〃																																																																																				
諸 雑 費		式	1	表6.1																																																																																				
計																																																																																								
機 械 名	規 格	適用単価表	指定事項																																																																																					
小型バックホウ	排出ガス対策型(第1次基準値), クローラ型・超小旋回型, 山積0.22m ³ (平積0.16m ³)	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量 →23 賃料数量→1.34																																																																																					
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																				
世 話 役		人	1×100/D	表4.1, 表5.1																																																																																				
ブ ロ ッ ク 工		〃	1×100/D	〃, 〃																																																																																				
普 通 作 業 員		〃	2×100/D	〃, 〃																																																																																				
小 型 バ ッ ク ホ ウ 運	排出ガス対策型(第2次基準値), クローラ型・超小旋回型, 山積0.22m ³ (平積0.16m ³)	日	1×100/D	表3.1, 〃																																																																																				
諸 雑 費		式	1	表6.1																																																																																				
計																																																																																								
機 械 名	規 格	適用単価表	指定事項																																																																																					
小型バックホウ	排出ガス対策型(第2次基準値), クローラ型・超小旋回型, 山積0.22m ³ (平積0.16m ³)	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量 →23 賃料数量→1.34																																																																																					

土木工事標準歩掛の一部改定
切削オーバーレイ工

工種名	現 行	改 定																																									
道路維持修繕 路面切削工	<p>切削オーバーレイ工</p> <p>2-1 適用範囲</p> <p>本資料は、路面切削機によるアスファルト舗装路面の切削作業（複数の路面切削機による並列切削作業を除く）から舗装までを即日で急速施工する作業に適用する。</p> <p>ただし、特殊結合材（エポキシ樹脂）及び特殊骨材（エメリー）を含むアスファルト舗装路面の切削作業を除く。アスファルト混合物の積算は購入方式を標準とし、プラント方式の場合は別途考慮する。</p> <p>また、排水性舗装、シックリフト工法、QRP工法等並びに、路面切削機を使用しない道路打換え工のための舗装版とりこわしには適用しない。</p> <p>2-2 施工概要</p> <p>施工フローは、下記を標準とする。</p> <div data-bbox="448 542 996 821" data-label="Diagram"> <pre> graph LR A[準備] --> B[切削・廃材積込] B --> C[清掃] C --> D[瀝青材料散布] D --> E[敷均し] E --> F[締固め] F --> G[後片付け] B --> H[廃材運搬] subgraph DashedBox [] A G end </pre> <p>※即日舗設層数</p> <p>(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。</p> <p>2-3 機種を選定</p> <p>切削オーバーレイ工に使用する機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表2.1 機種を選定</p> <table border="1" data-bbox="309 1037 1124 1372"> <thead> <tr> <th>作業種別</th> <th>機械名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>路面切削</td> <td>路面切削機</td> <td>ホイール式2m級 廃材積込装置付</td> <td>台</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃材運搬</td> <td>ダンプトラック</td> <td>10t積級</td> <td>〃</td> <td>必要数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>路面清掃</td> <td>路面清掃車</td> <td>ブラシ式2.5～3.1m³ 四輪式</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合材敷均し</td> <td>アスファルトフィニッシャー</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) ホイール型2.4～6.0m</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">合材締固め</td> <td>ロードローラー</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) マカダム 10～12t</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>タイヤローラー</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 8～20t</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> </div> <td data-bbox="1184 204 2132 1509"> <p>切削オーバーレイ工</p> <p>2-1 適用範囲</p> <p>本資料は、路面切削機によるアスファルト舗装路面の切削作業（複数の路面切削機による並列切削作業を除く）から舗装までを即日で急速施工する作業に適用する。</p> <p>ただし、特殊結合材（エポキシ樹脂）及び特殊骨材（エメリー）を含むアスファルト舗装路面の切削作業を除く。アスファルト混合物の積算は購入方式を標準とし、プラント方式の場合は別途考慮する。</p> <p>また、橋面防水工を同時に施工する場合の橋面舗装、排水性舗装、シックリフト工法、QRP工法等並びに、路面切削機を使用しない道路打換え工のための舗装版とりこわしには適用しない。</p> <p>現行どおり</p> </td>	作業種別	機械名	規 格	単 位	数 量	摘要	路面切削	路面切削機	ホイール式2m級 廃材積込装置付	台	1		廃材運搬	ダンプトラック	10t積級	〃	必要数		路面清掃	路面清掃車	ブラシ式2.5～3.1m ³ 四輪式	〃	1		合材敷均し	アスファルトフィニッシャー	排出ガス対策型(第1次基準値) ホイール型2.4～6.0m	〃	1		合材締固め	ロードローラー	排出ガス対策型(第1次基準値) マカダム 10～12t	〃	1		タイヤローラー	排出ガス対策型(第1次基準値) 8～20t	〃	1		<p>切削オーバーレイ工</p> <p>2-1 適用範囲</p> <p>本資料は、路面切削機によるアスファルト舗装路面の切削作業（複数の路面切削機による並列切削作業を除く）から舗装までを即日で急速施工する作業に適用する。</p> <p>ただし、特殊結合材（エポキシ樹脂）及び特殊骨材（エメリー）を含むアスファルト舗装路面の切削作業を除く。アスファルト混合物の積算は購入方式を標準とし、プラント方式の場合は別途考慮する。</p> <p>また、橋面防水工を同時に施工する場合の橋面舗装、排水性舗装、シックリフト工法、QRP工法等並びに、路面切削機を使用しない道路打換え工のための舗装版とりこわしには適用しない。</p> <p>現行どおり</p>
作業種別	機械名	規 格	単 位	数 量	摘要																																						
路面切削	路面切削機	ホイール式2m級 廃材積込装置付	台	1																																							
廃材運搬	ダンプトラック	10t積級	〃	必要数																																							
路面清掃	路面清掃車	ブラシ式2.5～3.1m ³ 四輪式	〃	1																																							
合材敷均し	アスファルトフィニッシャー	排出ガス対策型(第1次基準値) ホイール型2.4～6.0m	〃	1																																							
合材締固め	ロードローラー	排出ガス対策型(第1次基準値) マカダム 10～12t	〃	1																																							
	タイヤローラー	排出ガス対策型(第1次基準値) 8～20t	〃	1																																							

土木工事標準歩掛の一部改定
切削オーバーレイ工

工種名	現 行	改 定																								
	<p>2-4 編 成 人 員 切削オーバーレイ工の日当り編成人員は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表2.2 日当り編成人員 (人)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">世 話 役</td> <td style="text-align: center;">特殊作業員</td> <td style="text-align: center;">普通作業員</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">5</td> </tr> </table> <p>2-5 施 工 歩 掛 2-5-1 日当り施工量 切削オーバーレイ工の標準的な日当り施工量は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表2.3 日当り施工量 (m²/日)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">平 均 切 削 深 さ</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">6cm以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">即 日 舗 設</td> <td style="text-align: center;">一層</td> <td style="text-align: center;">1,050</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">二層</td> <td style="text-align: center;">710</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 切削深さが6cmを超える場合は、別途考慮する。 2. 多層舗設の場合、他日に表層のみを施工する場合の表層は別途計上する。 3. 上表には清掃作業を含む。 4. 平均切削深さは、次式を標準とする。</p> $H = \frac{Av}{W} \times 100$ <p>H : 1現場の平均切削深さ (cm) Av : 1現場の平均切削断面積 (m²) W : 平均切削幅員 (m)</p> <p>2-5-2 廃材運搬工 廃材運搬工は、「第13章道路維持修繕①路面切削工1-5-2廃材運搬工」による。</p> <p>2-5-3 舗装工材料 (1) アスファルト混合物のロス率は、「第11章道路舗装②アスファルト舗装工3-4-1アスファルト混合物のロス率」による。</p>	世 話 役	特殊作業員	普通作業員	1	3	5	平 均 切 削 深 さ	6cm以下		即 日 舗 設	一層	1,050	二層	710	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>2-5-2 廃材運搬工 廃材運搬工は、「道路維持修繕 路面切削工 廃材運搬工」による。</p> <p>2-5-3 舗装工材料 (1) アスファルト混合物のロス率は、次表による。</p> <p style="text-align: center;">表2.4 ロス率</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">種 別</th> <th style="text-align: center;">歩 車 道 区 分</th> <th style="text-align: center;">ロ ス 率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">ア ス フ ァ ル ト 混 合 物</td> <td style="text-align: center;">車 道 及 び 路 肩</td> <td style="text-align: center;">+0.07</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">歩 道</td> <td style="text-align: center;">+0.10</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">ア ス カ ー プ</td> <td style="text-align: center;">+0.09</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. ロス率は、材料ロスに対する材料補正である。 2. すりつけに使用する混合物は、ロス率に含まないので別途計上する。</p>	種 別	歩 車 道 区 分	ロ ス 率	ア ス フ ァ ル ト 混 合 物	車 道 及 び 路 肩	+0.07	歩 道	+0.10	ア ス カ ー プ	+0.09
世 話 役	特殊作業員	普通作業員																								
1	3	5																								
平 均 切 削 深 さ	6cm以下																									
即 日 舗 設	一層	1,050																								
	二層	710																								
種 別	歩 車 道 区 分	ロ ス 率																								
ア ス フ ァ ル ト 混 合 物	車 道 及 び 路 肩	+0.07																								
	歩 道	+0.10																								
	ア ス カ ー プ	+0.09																								

土木工事標準歩掛の一部改定
切削オーバーレイ工

工種名	現 行	改 定																			
	<p>(2) 瀝青材料の散布量は、「第 11 章道路舗装②アスファルト舗装工 3-4-2 瀝青材料の散布量」による。</p> <p>2-6 諸 雑 費 諸雑費は下記事項の費用であり、労務費と組合せ機械（路面切削機、路面清掃車、アスファルトフィニッシャ、ロードローラ、タイヤローラ）の機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>(1) 切削作業に使用する雑器具（スコップ、ホウキ等）の費用 (2) 路面切削機のビットの損耗費 (3) 路面清掃車のブラシの損耗費 (4) 瀝青材料の散布費用 (5) 舗装用器具及び加熱燃料等の費用 (6) 切削に伴う段差すりつけ設置、撤去にかかる費用（必要な場合）</p> <p style="text-align: center;">表2.4 諸 雑 費 率 (%)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>平 均 切 削 深 さ</th> <th>6cm以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">即 日 舗 設</td> <td>一層 (設置のみ29, 設置撤去30)</td> </tr> <tr> <td>二層 18</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 路面清掃車は、業者持ち込みとする。 2. 段差すりつけが必要な場合は、() 内の率を計上する。 3. 切削深さが6cmを超える場合は、別途考慮する。</p>	平 均 切 削 深 さ	6cm以下	即 日 舗 設	一層 (設置のみ29, 設置撤去30)	二層 18	<p>(2) 瀝青材料の散布量は、次表による。</p> <p style="text-align: center;">表2.5 瀝青材料の散布量 (100m²当り)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>タ ッ ク コ ー ト</td> <td>ℓ</td> <td>43</td> </tr> <tr> <td>プ ラ イ ム コ ー ト</td> <td>〃</td> <td>126</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 基層にグースアスファルト混合物を使用する場合の瀝青材料は、タックコート（ゴム入り）を使用する。 2. 上記の散布量には、材料ロス分を含む。</p> <p style="text-align: center;">表2.6 諸 雑 費 率 (%)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>平 均 切 削 深 さ</th> <th>6cm以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">即 日 舗 設</td> <td>一層 (設置のみ29, 設置撤去30)</td> </tr> <tr> <td>二層 18</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 路面清掃車は、業者持ち込みとする。 2. 段差すりつけが必要な場合は、() 内の率を計上する。 3. 切削深さが6cmを超える場合は、別途考慮する。</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	種 別	単 位	数 量	タ ッ ク コ ー ト	ℓ	43	プ ラ イ ム コ ー ト	〃	126	平 均 切 削 深 さ	6cm以下	即 日 舗 設	一層 (設置のみ29, 設置撤去30)	二層 18
平 均 切 削 深 さ	6cm以下																				
即 日 舗 設	一層 (設置のみ29, 設置撤去30)																				
	二層 18																				
種 別	単 位	数 量																			
タ ッ ク コ ー ト	ℓ	43																			
プ ラ イ ム コ ー ト	〃	126																			
平 均 切 削 深 さ	6cm以下																				
即 日 舗 設	一層 (設置のみ29, 設置撤去30)																				
	二層 18																				

土木工事標準歩掛の一部改定
切削オーバーレイ工

工種名	現 行	改 定																																																																																																																																																																						
	<p>2-7 単 価 表 (1) 切削オーバーレイ 100m²当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="297 277 1131 892"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1×100/D</td> <td>表2.2, 表2.3</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>3×100/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>5×100/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>アスファルト混合物</td> <td></td> <td>t</td> <td></td> <td>(注) 1</td> </tr> <tr> <td>瀝 青 材 料</td> <td></td> <td>ℓ</td> <td></td> <td>(注) 2</td> </tr> <tr> <td>路 面 切 削 機 運 転</td> <td>ホイール式2m級 廃材積込装置付</td> <td>日</td> <td>100/D</td> <td>表2.3</td> </tr> <tr> <td>路 面 清 掃 車 運 転</td> <td>ブラシ式2.5~3.1m³ 四輪式</td> <td>〃</td> <td>100/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>アスファルトフィニッシャ 運 転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) ホイール型2.4~6.0m</td> <td>〃</td> <td>100/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ロ ー ド ロ ー ラ 運 転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) マカダム 10~12 t</td> <td>〃</td> <td>100/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>タ イ ヤ ロ ー ラ 運 転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 8~20 t</td> <td>〃</td> <td>100/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表2.4</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 100×厚さ (m) × 締固め後密度 (t/m³) × (1+ロス率) 2. 「第11章道路舗装②アスファルト舗装工」による。 3. D: 日当り施工量</p> <p>(2) 機械運転単価表</p> <table border="1" data-bbox="309 1018 1122 1445"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指 定 事 項</th> <th>即 日 一 層 舗 設</th> <th>即 日 二 層 舗 設</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>路 面 切 削 機</td> <td>ホイール式2m級 廃材積込装置付</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量 燃料消費量 機械損料数量</td> <td>1.00 139 0.85</td> <td>1.00 90 0.55</td> </tr> <tr> <td>路 面 清 掃 車</td> <td>ブラシ式 2.5~3.1m³ 四輪式</td> <td>機-19</td> <td>運転労務数量 燃料消費量 機械損料数量</td> <td>0.93 41 1.14</td> <td>0.6 26 0.73</td> </tr> <tr> <td>アスファルトフィニッシャ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) ホイール型 2.4~6.0m</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量 燃料消費量 機械損料数量</td> <td>1.00 37 1.23</td> <td>1.00 59 1.96</td> </tr> <tr> <td>ロ ー ド ロ ー ラ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) マカダム 10~12 t</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量 燃料消費量 機械損料数量</td> <td>1.00 20 0.93</td> <td>1.00 32 1.48</td> </tr> <tr> <td>タ イ ヤ ロ ー ラ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 8~20 t</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量 燃料消費量 機械損料数量</td> <td>1.00 23 1.31</td> <td>1.00 39 2.18</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	1×100/D	表2.2, 表2.3	特 殊 作 業 員		〃	3×100/D	〃	普 通 作 業 員		〃	5×100/D	〃	アスファルト混合物		t		(注) 1	瀝 青 材 料		ℓ		(注) 2	路 面 切 削 機 運 転	ホイール式2m級 廃材積込装置付	日	100/D	表2.3	路 面 清 掃 車 運 転	ブラシ式2.5~3.1m ³ 四輪式	〃	100/D	〃	アスファルトフィニッシャ 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) ホイール型2.4~6.0m	〃	100/D	〃	ロ ー ド ロ ー ラ 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) マカダム 10~12 t	〃	100/D	〃	タ イ ヤ ロ ー ラ 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) 8~20 t	〃	100/D	〃	諸 雑 費		式	1	表2.4	計					機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	即 日 一 層 舗 設	即 日 二 層 舗 設	路 面 切 削 機	ホイール式2m級 廃材積込装置付	機-18	運転労務数量 燃料消費量 機械損料数量	1.00 139 0.85	1.00 90 0.55	路 面 清 掃 車	ブラシ式 2.5~3.1m ³ 四輪式	機-19	運転労務数量 燃料消費量 機械損料数量	0.93 41 1.14	0.6 26 0.73	アスファルトフィニッシャ	排出ガス対策型(第1次基準値) ホイール型 2.4~6.0m	機-18	運転労務数量 燃料消費量 機械損料数量	1.00 37 1.23	1.00 59 1.96	ロ ー ド ロ ー ラ	排出ガス対策型(第1次基準値) マカダム 10~12 t	機-18	運転労務数量 燃料消費量 機械損料数量	1.00 20 0.93	1.00 32 1.48	タ イ ヤ ロ ー ラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 8~20 t	機-18	運転労務数量 燃料消費量 機械損料数量	1.00 23 1.31	1.00 39 2.18	<p>2-7 単 価 表 (1) 切削オーバーレイ 100m²当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="1240 277 2074 892"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1×100/D</td> <td>表2.2, 表2.3</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>3×100/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>5×100/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>アスファルト混合物</td> <td></td> <td>t</td> <td></td> <td>(注) 1, 表2.4</td> </tr> <tr> <td>瀝 青 材 料</td> <td></td> <td>ℓ</td> <td></td> <td>表2.5</td> </tr> <tr> <td>路 面 切 削 機 運 転</td> <td>ホイール式2m級 廃材積込装置付</td> <td>日</td> <td>100/D</td> <td>表2.3</td> </tr> <tr> <td>路 面 清 掃 車 運 転</td> <td>ブラシ式2.5~3.1m³ 四輪式</td> <td>〃</td> <td>100/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>アスファルトフィニッシャ 運 転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) ホイール型2.4~6.0m</td> <td>〃</td> <td>100/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ロ ー ド ロ ー ラ 運 転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) マカダム 10~12 t</td> <td>〃</td> <td>100/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>タ イ ヤ ロ ー ラ 運 転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 8~20 t</td> <td>〃</td> <td>100/D</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表2.6</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 100×厚さ (m) × 締固め後密度 (t/m³) × (1+ロス率) 2. D: 日当り施工量</p> <p>現行どおり</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	1×100/D	表2.2, 表2.3	特 殊 作 業 員		〃	3×100/D	〃	普 通 作 業 員		〃	5×100/D	〃	アスファルト混合物		t		(注) 1, 表2.4	瀝 青 材 料		ℓ		表2.5	路 面 切 削 機 運 転	ホイール式2m級 廃材積込装置付	日	100/D	表2.3	路 面 清 掃 車 運 転	ブラシ式2.5~3.1m ³ 四輪式	〃	100/D	〃	アスファルトフィニッシャ 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) ホイール型2.4~6.0m	〃	100/D	〃	ロ ー ド ロ ー ラ 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) マカダム 10~12 t	〃	100/D	〃	タ イ ヤ ロ ー ラ 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) 8~20 t	〃	100/D	〃	諸 雑 費		式	1	表2.6	計				
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																				
世 話 役		人	1×100/D	表2.2, 表2.3																																																																																																																																																																				
特 殊 作 業 員		〃	3×100/D	〃																																																																																																																																																																				
普 通 作 業 員		〃	5×100/D	〃																																																																																																																																																																				
アスファルト混合物		t		(注) 1																																																																																																																																																																				
瀝 青 材 料		ℓ		(注) 2																																																																																																																																																																				
路 面 切 削 機 運 転	ホイール式2m級 廃材積込装置付	日	100/D	表2.3																																																																																																																																																																				
路 面 清 掃 車 運 転	ブラシ式2.5~3.1m ³ 四輪式	〃	100/D	〃																																																																																																																																																																				
アスファルトフィニッシャ 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) ホイール型2.4~6.0m	〃	100/D	〃																																																																																																																																																																				
ロ ー ド ロ ー ラ 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) マカダム 10~12 t	〃	100/D	〃																																																																																																																																																																				
タ イ ヤ ロ ー ラ 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) 8~20 t	〃	100/D	〃																																																																																																																																																																				
諸 雑 費		式	1	表2.4																																																																																																																																																																				
計																																																																																																																																																																								
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	即 日 一 層 舗 設	即 日 二 層 舗 設																																																																																																																																																																			
路 面 切 削 機	ホイール式2m級 廃材積込装置付	機-18	運転労務数量 燃料消費量 機械損料数量	1.00 139 0.85	1.00 90 0.55																																																																																																																																																																			
路 面 清 掃 車	ブラシ式 2.5~3.1m ³ 四輪式	機-19	運転労務数量 燃料消費量 機械損料数量	0.93 41 1.14	0.6 26 0.73																																																																																																																																																																			
アスファルトフィニッシャ	排出ガス対策型(第1次基準値) ホイール型 2.4~6.0m	機-18	運転労務数量 燃料消費量 機械損料数量	1.00 37 1.23	1.00 59 1.96																																																																																																																																																																			
ロ ー ド ロ ー ラ	排出ガス対策型(第1次基準値) マカダム 10~12 t	機-18	運転労務数量 燃料消費量 機械損料数量	1.00 20 0.93	1.00 32 1.48																																																																																																																																																																			
タ イ ヤ ロ ー ラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 8~20 t	機-18	運転労務数量 燃料消費量 機械損料数量	1.00 23 1.31	1.00 39 2.18																																																																																																																																																																			
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																				
世 話 役		人	1×100/D	表2.2, 表2.3																																																																																																																																																																				
特 殊 作 業 員		〃	3×100/D	〃																																																																																																																																																																				
普 通 作 業 員		〃	5×100/D	〃																																																																																																																																																																				
アスファルト混合物		t		(注) 1, 表2.4																																																																																																																																																																				
瀝 青 材 料		ℓ		表2.5																																																																																																																																																																				
路 面 切 削 機 運 転	ホイール式2m級 廃材積込装置付	日	100/D	表2.3																																																																																																																																																																				
路 面 清 掃 車 運 転	ブラシ式2.5~3.1m ³ 四輪式	〃	100/D	〃																																																																																																																																																																				
アスファルトフィニッシャ 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) ホイール型2.4~6.0m	〃	100/D	〃																																																																																																																																																																				
ロ ー ド ロ ー ラ 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) マカダム 10~12 t	〃	100/D	〃																																																																																																																																																																				
タ イ ヤ ロ ー ラ 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) 8~20 t	〃	100/D	〃																																																																																																																																																																				
諸 雑 費		式	1	表2.6																																																																																																																																																																				
計																																																																																																																																																																								

土木工事標準歩掛の一部改定
舗装版破碎工

工種名	現 行	改 定
<p>道路維持修繕 舗装版破碎工</p>	<p>舗装版破碎工</p> <p>1. 舗装版破碎工</p> <p>1-1 適用範囲</p> <p>本資料は、コンクリート舗装版、アスファルト舗装版、コンクリート+アスファルト（カバー）舗装版の破碎作業及び掘削・積込の作業に適用する。</p> <p>ただし、急速施工、橋梁舗装版撤去、を除く。</p> <p>なお、急速施工の場合は「第13章道路維持修繕③道路打換え工」によるものとし、路盤・路床の掘削は、「第2章土工②機械土工」によるものとする。</p> <p>1-2 施工概要</p> <p>施工フローは、下記を標準とする。</p> <p>(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。</p> <p>1-3 機種の選定</p> <p>機械・規格は、図1-1及び表1.1を標準とする。</p>	<p>舗装版破碎工</p> <p>1. 舗装版破碎工</p> <p>1-1 適用範囲</p> <p>本資料は、コンクリート舗装版、アスファルト舗装版、コンクリート+アスファルト（カバー）舗装版の破碎作業及び掘削・積込の作業に適用する。</p> <p>ただし、急速施工、橋梁舗装版撤去、を除く。</p> <p>なお、急速施工の場合は「道路維持修繕 道路打換え工」によるものとし、路盤・路床の掘削は、「土工 機械土工」によるものとする。</p> <p>現行どおり</p>

土木工事標準歩掛の一部改定
舗装版破碎工

工種名	現 行				改 定																								
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">工種</td> <td>舗装版切断</td> </tr> <tr> <td>使用機械</td> <td>コンクリートカッタ *「舗装版切断工」による</td> </tr> </table>	工種	舗装版切断	使用機械	コンクリートカッタ *「舗装版切断工」による	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>条件 a</td> <td>条件 b</td> </tr> <tr> <td>破碎する舗装版の厚さ 15cm</td> <td>以下</td> </tr> <tr> <td>超 15cm 以上の地域</td> <td>騒音振動対策技術指針の適用地域等(注)2</td> </tr> <tr> <td></td> <td>上記以外の地域</td> </tr> </table>	条件 a	条件 b	破碎する舗装版の厚さ 15cm	以下	超 15cm 以上の地域	騒音振動対策技術指針の適用地域等(注)2		上記以外の地域	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th colspan="2">施 工 工 程</th> </tr> <tr> <td>舗装版破碎</td> <td>掘削・積込</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">直接掘削・積込 バックホウ</td> </tr> <tr> <td>コンクリート圧砕機 + バックホウ (ベースマシン)</td> <td rowspan="2">掘削・積込 バックホウ</td> </tr> <tr> <td>大型ブレーカ + バックホウ (ベースマシン)</td> </tr> </table>		施 工 工 程		舗装版破碎	掘削・積込	直接掘削・積込 バックホウ		コンクリート圧砕機 + バックホウ (ベースマシン)	掘削・積込 バックホウ	大型ブレーカ + バックホウ (ベースマシン)	<p style="text-align: center;">現行どおり</p>				
工種	舗装版切断																												
使用機械	コンクリートカッタ *「舗装版切断工」による																												
条件 a	条件 b																												
破碎する舗装版の厚さ 15cm	以下																												
超 15cm 以上の地域	騒音振動対策技術指針の適用地域等(注)2																												
	上記以外の地域																												
施 工 工 程																													
舗装版破碎	掘削・積込																												
直接掘削・積込 バックホウ																													
コンクリート圧砕機 + バックホウ (ベースマシン)	掘削・積込 バックホウ																												
大型ブレーカ + バックホウ (ベースマシン)																													
<p style="text-align: center;">図 1-1 機種の種類</p>																													
<p style="text-align: center;">表1.1 機種の種類</p>				<p style="text-align: center;">表1.1 機種の種類</p>																									
作業種別		機械名	規 格	単位	数量	摘 要	作業種別		機械名	規 格	単位	数量	摘 要																
直接掘削積込 バックホウによる 掘削積込		バックホウ	排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	台	1		直接掘削積込 バックホウによる 掘削積込		バックホウ	排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	台	1																	
コンクリート圧砕機によるとりこわし		コンクリート圧砕機 (コンクリート圧砕機ベースマシン)バックホウ	開口幅 735~850mm 破碎力549~981kN (56~100 t) 排出ガス対策型クローラ型 (第1次基準値) 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	"	1		コンクリート圧砕機によるとりこわし		コンクリート圧砕機 (コンクリート圧砕機ベースマシン)バックホウ	開口幅 735~850mm 破碎力549~981kN (56~100 t) 排出ガス対策型クローラ型 (第2次基準値) 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	"	1																	
大型ブレーカによるとりこわし		大型ブレーカ (大型ブレーカベースマシン)バックホウ	ブレーカ 600~800kg級 排出ガス対策型クローラ型 (第1次基準値) 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	"	1		大型ブレーカによるとりこわし		大型ブレーカ (大型ブレーカベースマシン)バックホウ	ブレーカ 600~800kg級 排出ガス対策型クローラ型 (第2次基準値) 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	"	1																	
<p>(注) 1. 舗装版破碎: 大型ブレーカ又は、コンクリート圧砕機により舗装版のみを破碎する作業。 掘削・積込: 大型ブレーカ又は、コンクリート圧砕機により舗装版を破碎後バックホウにより掘削し、積込む作業。 直接掘削・積込: バックホウにより直接舗装版を掘削し、積込む作業。</p> <p>2. 「建設工事に伴う騒音、振動対策技術指針」の第2章適用範囲に示す地域等。</p> <p>3. 破碎する舗装版の厚さが15cm以下の場合にはバックホウによる直接掘削積込を標準とするが、施工上騒音振動対策を必要とする場合は、コンクリート圧砕機を選定することができる。</p> <p>4. 条件bで「上記以外の地域」となった場合においても、施工上騒音振動対策が必要となった場合は、コンクリート圧砕機を選定することができる。</p> <p>5. 現場状況、作業量、占有物件等により上図及び上表により難しい場合は、別途考慮する。</p>							<p>(注) 1. 舗装版破碎: 大型ブレーカ又は、コンクリート圧砕機により舗装版のみを破碎する作業。 掘削・積込: 大型ブレーカ又は、コンクリート圧砕機により舗装版を破碎後バックホウにより掘削し、積込む作業。 直接掘削・積込: バックホウにより直接舗装版を掘削し、積込む作業。</p> <p>2. 「建設工事に伴う騒音、振動対策技術指針」の第2章適用範囲に示す地域等。</p> <p>3. 破碎する舗装版の厚さが15cm以下の場合にはバックホウによる直接掘削積込を標準とするが、施工上騒音振動対策を必要とする場合は、コンクリート圧砕機を選定することができる。</p> <p>4. 条件bで「上記以外の地域」となった場合においても、施工上騒音振動対策が必要となった場合は、コンクリート圧砕機を選定することができる。</p> <p>5. 現場状況、作業量、占有物件等により上図及び上表により難しい場合は、別途考慮する。</p> <p>6. バックホウ及びバックホウ(コンクリート圧砕機ベースマシン、大型ブレーカベースマシン)は、賃料とする。</p>																						

土木工事標準歩掛の一部改定
舗装版破碎工

工種名	現 行	改 定																										
	<p>1-4 施 工 歩 掛</p> <p>1-4-1 舗装版の破碎と掘削・積込の施工歩掛</p> <p>1-4-1-1 舗装版の破碎施工歩掛</p> <p>舗装版を破碎する作業の日当り編成人員及び日当り施工量は、下記を標準とする。</p> <p>(1) 編成人員</p> <p style="text-align: center;">表1.2 舗装版破碎作業の日当り編成人員 (人)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">普通作業員</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> </table> <p>(注) 破碎屑の飛散防止及び飛散物の収集を行うものである。</p> <p>(2) アスファルト舗装版を破碎する作業の日当り施工量</p> <p style="text-align: center;">表1.3 日当り施工量 (A₁) (m²/日)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">アスファルト舗装厚</th> <th style="text-align: center;">15cm以下</th> <th style="text-align: center;">15cmを超え35cm以下</th> <th style="text-align: center;">15cmを超え40cm以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">大 型 プ レ ー カ</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">310</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">コ ン ク リ ー ト 圧 碎 機</td> <td style="text-align: center;">260 (注) 1</td> <td style="text-align: center;">180</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 舗装版厚15cm以下は次の場合に適用し、これ以外の場合には「1-4-2舗装版の直接掘削・積込の施工歩掛」を適用する。 ・施工上騒音振動対策を必要とする場合でコンクリート圧碎機を使用する時</p> <p>2. 破碎塊の大きさは受入れ地等の条件により決定するが、本歩掛は、バックホウにより掘削・積込が可能な場合に適用できる。ただし、バックホウ以外の方法により積込む事を前提として特に大きく分割する場合は適用できない。</p> <p>(3) コンクリート舗装版及びコンクリート+アスファルト(カバー)舗装版を破碎する作業の日当り施工量</p> <p style="text-align: center;">表1.4 日当り施工量 (A₂) (m²/日)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">アスファルト舗装厚</th> <th style="text-align: center;">15cm以下</th> <th style="text-align: center;">15cmを超え35cm以下 (15cm以上35cm以下)</th> <th style="text-align: center;">摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">大 型 プ レ ー カ (コンクリート舗装版、コンクリート+アスファルト(カバー)舗装版)</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">230</td> <td style="text-align: center;">注3, 注4, 注5, 注6</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">コ ン ク リ ー ト 圧 碎 機 (コンクリート舗装版)</td> <td style="text-align: center;">190 (注) 1</td> <td style="text-align: center;">150</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	普通作業員	1	アスファルト舗装厚	15cm以下	15cmを超え35cm以下	15cmを超え40cm以下	大 型 プ レ ー カ	—	—	310	コ ン ク リ ー ト 圧 碎 機	260 (注) 1	180	—	アスファルト舗装厚	15cm以下	15cmを超え35cm以下 (15cm以上35cm以下)	摘 要	大 型 プ レ ー カ (コンクリート舗装版、コンクリート+アスファルト(カバー)舗装版)	—	230	注3, 注4, 注5, 注6	コ ン ク リ ー ト 圧 碎 機 (コンクリート舗装版)	190 (注) 1	150		<p>現行どおり</p>
普通作業員																												
1																												
アスファルト舗装厚	15cm以下	15cmを超え35cm以下	15cmを超え40cm以下																									
大 型 プ レ ー カ	—	—	310																									
コ ン ク リ ー ト 圧 碎 機	260 (注) 1	180	—																									
アスファルト舗装厚	15cm以下	15cmを超え35cm以下 (15cm以上35cm以下)	摘 要																									
大 型 プ レ ー カ (コンクリート舗装版、コンクリート+アスファルト(カバー)舗装版)	—	230	注3, 注4, 注5, 注6																									
コ ン ク リ ー ト 圧 碎 機 (コンクリート舗装版)	190 (注) 1	150																										

土木工事標準歩掛の一部改定
舗装版破碎工

工種名	現 行	改 定																				
	<p>(注) 1. コンクリート圧砕機（コンクリート舗装版）のコンクリート舗装版厚15cm以下は次の場合に適用し、これ以外の場合には「1-4-2舗装版の直接掘削・積込の施工歩掛」を適用する。 ・施工上騒音振動対策を必要とする場合でコンクリート圧砕機を使用する時</p> <p>2. 破碎塊の大きさは受入れ地等の条件により決定するが、本歩掛は、バックホウにより掘削・積込が可能な場合に適用できる。ただし、バックホウ以外の方法により積込むことを前提として特に大きく分割する場合は適用できない。</p> <p>3. コンクリート+アスファルト（カバー）舗装版の場合、舗装版厚はコンクリート舗装版のみの厚さとし、厚さ区分は（ ）書きを適用する。なお、コンクリート舗装版厚15cm未満については適用外とする。</p> <p>4. コンクリート+アスファルト（カバー）舗装版の場合、全体厚が45cmを超える場合は、別途考慮する。</p> <p>5. コンクリート+アスファルト（カバー）舗装版の場合、破碎は大型ブレーカのみ適用する。</p> <p>6. コンクリート+アスファルト（カバー）舗装版の場合、舗装版厚のうちアスファルト層が占める割合が50%を超える場合は別途考慮する。</p> <p>1-4-1-2 舗装版の掘削・積込施工歩掛 バックホウにより舗装版を掘削・積込する作業の日当り編成人員及び日当り施工量は、下記を標準とする。</p> <p>(1) 編成人員</p> <p style="text-align: center;">表1.5 掘削・積込作業の日当り編成人員 (人)</p> <table border="1" data-bbox="336 829 1093 917"> <thead> <tr> <th>世 話 役</th> <th>普 通 作 業 員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 掘削・積込作業の補助労務であり、基面整正は含まない。</p> <p>(2) アスファルト舗装版を掘削・積込する作業の日当り施工量</p> <p style="text-align: center;">表1.6 日当り施工歩掛 (Q₁) (m²/日)</p> <table border="1" data-bbox="336 1045 1093 1181"> <thead> <tr> <th rowspan="2">使用機械</th> <th colspan="2">アスファルト版厚</th> </tr> <tr> <th>15cm以下</th> <th>15cmを超え40cm以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ 排出ガス対策型(第1次基準値)クローラ型 山積0.45m³(平積0.35m³)</td> <td style="text-align: center;">490</td> <td style="text-align: center;">370</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. コンクリート+アスファルト（カバー）舗装版の場合、舗装版厚は、アスファルト（カバー）舗装版のみの厚さである。</p> <p>2. 舗装版厚15cm以下は次のいずれかの場合に適用し、これ以外の場合には「1-4-2舗装版の直接掘削・積込の施工歩掛」を適用する。 ・施工上騒音振動対策を必要とする場合でコンクリート圧砕機を使用する時 ・コンクリート+アスファルト（カバー）舗装版を破碎する場合でアスファルト（カバー）舗装版のみの厚さが15cm以下の場合</p>	世 話 役	普 通 作 業 員	1	1	使用機械	アスファルト版厚		15cm以下	15cmを超え40cm以下	バックホウ 排出ガス対策型(第1次基準値)クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	490	370	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>(2) アスファルト舗装版を掘削・積込する作業の日当り施工量</p> <p style="text-align: center;">表1.6 日当り施工歩掛 (Q₁) (m²/日)</p> <table border="1" data-bbox="1276 1061 2038 1189"> <thead> <tr> <th rowspan="2">使用機械</th> <th colspan="2">アスファルト版厚</th> </tr> <tr> <th>15cm以下</th> <th>15cmを超え40cm以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ 排出ガス対策型(第2次基準値)クローラ型 山積0.45m³(平積0.35m³)</td> <td style="text-align: center;">490</td> <td style="text-align: center;">370</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. コンクリート+アスファルト（カバー）舗装版の場合、舗装版厚は、アスファルト（カバー）舗装版のみの厚さである。</p> <p>2. 舗装版厚15cm以下は次のいずれかの場合に適用し、これ以外の場合には「1-4-2舗装版の直接掘削・積込の施工歩掛」を適用する。 ・施工上騒音振動対策を必要とする場合でコンクリート圧砕機を使用する時 ・コンクリート+アスファルト（カバー）舗装版を破碎する場合でアスファルト（カバー）舗装版のみの厚さが15cm以下の場合</p>	使用機械	アスファルト版厚		15cm以下	15cmを超え40cm以下	バックホウ 排出ガス対策型(第2次基準値)クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	490	370
世 話 役	普 通 作 業 員																					
1	1																					
使用機械	アスファルト版厚																					
	15cm以下	15cmを超え40cm以下																				
バックホウ 排出ガス対策型(第1次基準値)クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	490	370																				
使用機械	アスファルト版厚																					
	15cm以下	15cmを超え40cm以下																				
バックホウ 排出ガス対策型(第2次基準値)クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	490	370																				

土木工事標準歩掛の一部改定
舗装版破碎工

工種名	現 行	改 定																														
	<p>(3) コンクリート舗装版を掘削・積込する作業の日当り施工量</p> <p style="text-align: center;">表1.7 日当り施工量 (Q₂) (m²/日)</p> <table border="1" data-bbox="338 296 1095 427"> <thead> <tr> <th>使用機械</th> <th>15cm以下</th> <th>15cmを超え35cm以下 (15cm以上35cm以下)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ 排出ガス対策型(第1次基準値)クローラ型 山積0.45m³(平積0.35m³)</td> <td>320</td> <td>260</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. コンクリート+アスファルト(カバー)舗装版の場合、舗装版厚は、コンクリート舗装版のみの厚さであり、厚さ区分は()書きを適用する。なお、コンクリート舗装版厚15cm未満については適用外とする。</p> <p>2. アスファルト(カバー)舗装部分の掘削・積込は、「(2)アスファルト舗装版を掘削・積込する作業の日当り施工量」を使用する。</p> <p>3. アスファルト(カバー)舗装版を伴わないコンクリート舗装版において舗装版厚15cm以下は次の場合に適用し、これ以外の場合には「1-4-2舗装版の直接掘削・積込の施工歩掛」を適用する。</p> <p style="text-align: center;">・施工上騒音振動対策を必要とする場合でコンクリート圧砕機を使用する場合</p> <p>1-4-1-3 諸雑費 諸雑費はチゼルの損耗費等であり、大型ブレーカにより舗装版を破碎し、バックホウにより掘削・積込する作業に関わる労務費、機械損料及び運転経費の合計に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表1.8 諸 雑 費 率 (%)</p> <table border="1" data-bbox="521 882 909 970"> <thead> <tr> <th>諸 雑 費 率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 大型ブレーカのみ適用する。</p> <p>1-4-2 舗装版の直接掘削・積込の施工歩掛 バックホウにより舗装版を直接掘削・積込する作業の日当り編成人員及び日当り施工量は、下記を標準とする。</p> <p>(1) 編成人員</p> <p style="text-align: center;">表1.9 直接掘削・積込作業の日当り編成人員 (人)</p> <table border="1" data-bbox="338 1157 1095 1243"> <thead> <tr> <th>世 話 役</th> <th>普 通 作 業 員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 直接掘削・積込作業の補助労務であり、基面整正は含まない。</p> <p>(2) 舗装版を直接掘削・積込する作業の日当り施工量</p> <p style="text-align: center;">表1.10 日当り施工量 (Q₃) (m²/日)</p> <table border="1" data-bbox="338 1378 1095 1506"> <thead> <tr> <th>使用機械</th> <th>10cm以下</th> <th>10cmを超え15cm以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ 排出ガス対策型(第1次基準値)クローラ型 山積0.45m³(平積0.35m³)</td> <td>810</td> <td>560</td> </tr> </tbody> </table>	使用機械	15cm以下	15cmを超え35cm以下 (15cm以上35cm以下)	バックホウ 排出ガス対策型(第1次基準値)クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	320	260	諸 雑 費 率	3	世 話 役	普 通 作 業 員	1	2	使用機械	10cm以下	10cmを超え15cm以下	バックホウ 排出ガス対策型(第1次基準値)クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	810	560	<p>(3) コンクリート舗装版を掘削・積込する作業の日当り施工量</p> <p style="text-align: center;">表1.7 日当り施工量 (Q₂) (m²/日)</p> <table border="1" data-bbox="1279 296 2036 427"> <thead> <tr> <th>使用機械</th> <th>15cm以下</th> <th>15cmを超え35cm以下 (15cm以上35cm以下)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ 排出ガス対策型(第2次基準値)クローラ型 山積0.45m³(平積0.35m³)</td> <td>320</td> <td>260</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. コンクリート+アスファルト(カバー)舗装版の場合、舗装版厚は、コンクリート舗装版のみの厚さであり、厚さ区分は()書きを適用する。なお、コンクリート舗装版厚15cm未満については適用外とする。</p> <p>2. アスファルト(カバー)舗装部分の掘削・積込は、「(2)アスファルト舗装版を掘削・積込する作業の日当り施工量」を使用する。</p> <p>3. アスファルト(カバー)舗装版を伴わないコンクリート舗装版において舗装版厚15cm以下は次の場合に適用し、これ以外の場合には「1-4-2舗装版の直接掘削・積込の施工歩掛」を適用する。</p> <p style="text-align: center;">・施工上騒音振動対策を必要とする場合でコンクリート圧砕機を使用する場合</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>(2) 舗装版を直接掘削・積込する作業の日当り施工量</p> <p style="text-align: center;">表1.10 日当り施工量 (Q₃) (m²/日)</p> <table border="1" data-bbox="1279 1378 2036 1506"> <thead> <tr> <th>使用機械</th> <th>10cm以下</th> <th>10cmを超え15cm以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ 排出ガス対策型(第2次基準値)クローラ型 山積0.45m³(平積0.35m³)</td> <td>810</td> <td>560</td> </tr> </tbody> </table>	使用機械	15cm以下	15cmを超え35cm以下 (15cm以上35cm以下)	バックホウ 排出ガス対策型(第2次基準値)クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	320	260	使用機械	10cm以下	10cmを超え15cm以下	バックホウ 排出ガス対策型(第2次基準値)クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	810	560
使用機械	15cm以下	15cmを超え35cm以下 (15cm以上35cm以下)																														
バックホウ 排出ガス対策型(第1次基準値)クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	320	260																														
諸 雑 費 率																																
3																																
世 話 役	普 通 作 業 員																															
1	2																															
使用機械	10cm以下	10cmを超え15cm以下																														
バックホウ 排出ガス対策型(第1次基準値)クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	810	560																														
使用機械	15cm以下	15cmを超え35cm以下 (15cm以上35cm以下)																														
バックホウ 排出ガス対策型(第2次基準値)クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	320	260																														
使用機械	10cm以下	10cmを超え15cm以下																														
バックホウ 排出ガス対策型(第2次基準値)クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	810	560																														

土木工事標準歩掛の一部改定
舗装版破碎工

工種名	現 行	改 定																																																																						
	<p>1-5 単 価 表 (1) 大型ブレーカ又はコンクリート圧砕機により舗装版を破碎し、バックホウにより掘削・積込する場合の100m²当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>$\frac{100 \times 1}{Q_1 \text{ または } Q_2}$ (注) 6</td> <td>表1.5 表1.6 表1.7</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>$\frac{100 \times 1}{A_1 \text{ または } A_2}$ + $\frac{100 \times 1}{Q_1 \text{ または } Q_2}$ (注) 6</td> <td>表1.2 表1.3 表1.4 表1.5 表1.6 表1.7</td> </tr> <tr> <td>大型ブレーカ又は コンクリート圧砕機 + バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準) 準備クローラ型 [ベスマシ] 山積0.45m(平積0.35m)</td> <td>日</td> <td>$\frac{100}{A_1 \text{ または } A_2}$</td> <td>表1.3 表1.4</td> </tr> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準) 準備クローラ型 山積0.45m(平積0.35m)</td> <td>〃</td> <td>$\frac{100}{Q_1 \text{ または } Q_2}$ (注) 6</td> <td>表1.6 表1.7</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表1.8 (注) 5</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. A₁:アスファルト舗装版破碎の日当り施工量 2. A₂:コンクリート舗装版及びコンクリート+アスファルト(カバー)舗装版破碎の日当り施工量 3. Q₁:アスファルト舗装版掘削・積込の日当り施工量 4. Q₂:コンクリート舗装版掘削・積込の日当り施工量 5. 大型ブレーカのみに適用する。 6. コンクリート+アスファルト(カバー)舗装版の場合は、アスファルト舗装版厚でQ₁を計上し、同時にコンクリート舗装版厚でQ₂を計上するものとする。</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	$\frac{100 \times 1}{Q_1 \text{ または } Q_2}$ (注) 6	表1.5 表1.6 表1.7	普 通 作 業 員		〃	$\frac{100 \times 1}{A_1 \text{ または } A_2}$ + $\frac{100 \times 1}{Q_1 \text{ または } Q_2}$ (注) 6	表1.2 表1.3 表1.4 表1.5 表1.6 表1.7	大型ブレーカ又は コンクリート圧砕機 + バックホウ運転	排出ガス対策型(第1次基準) 準備クローラ型 [ベスマシ] 山積0.45m(平積0.35m)	日	$\frac{100}{A_1 \text{ または } A_2}$	表1.3 表1.4	バックホウ運転	排出ガス対策型(第1次基準) 準備クローラ型 山積0.45m(平積0.35m)	〃	$\frac{100}{Q_1 \text{ または } Q_2}$ (注) 6	表1.6 表1.7	諸 雑 費		式	1	表1.8 (注) 5	計					<p>1-5 単 価 表 (1) 大型ブレーカ又はコンクリート圧砕機により舗装版を破碎し、バックホウにより掘削・積込する場合の100m²当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>$\frac{100 \times 1}{Q_1 \text{ または } Q_2}$ (注) 6</td> <td>表1.5 表1.6 表1.7</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>$\frac{100 \times 1}{A_1 \text{ または } A_2}$ + $\frac{100 \times 1}{Q_1 \text{ または } Q_2}$ (注) 6</td> <td>表1.2 表1.3 表1.4 表1.5 表1.6 表1.7</td> </tr> <tr> <td>大型ブレーカ又は コンクリート圧砕機 + バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準) 準備クローラ型 [ベスマシ] 山積0.45m(平積0.35m)</td> <td>日</td> <td>$\frac{100}{A_1 \text{ または } A_2}$</td> <td>表1.3 表1.4</td> </tr> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準) 準備クローラ型 山積0.45m(平積0.35m)</td> <td>〃</td> <td>$\frac{100}{Q_1 \text{ または } Q_2}$ (注) 6</td> <td>表1.6 表1.7</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表1.8 (注) 5</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. A₁:アスファルト舗装版破碎の日当り施工量 2. A₂:コンクリート舗装版及びコンクリート+アスファルト(カバー)舗装版破碎の日当り施工量 3. Q₁:アスファルト舗装版掘削・積込の日当り施工量 4. Q₂:コンクリート舗装版掘削・積込の日当り施工量 5. 大型ブレーカのみに適用する。 6. コンクリート+アスファルト(カバー)舗装版の場合は、アスファルト舗装版厚でQ₁を計上し、同時にコンクリート舗装版厚でQ₂を計上するものとする。</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	$\frac{100 \times 1}{Q_1 \text{ または } Q_2}$ (注) 6	表1.5 表1.6 表1.7	普 通 作 業 員		〃	$\frac{100 \times 1}{A_1 \text{ または } A_2}$ + $\frac{100 \times 1}{Q_1 \text{ または } Q_2}$ (注) 6	表1.2 表1.3 表1.4 表1.5 表1.6 表1.7	大型ブレーカ又は コンクリート圧砕機 + バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準) 準備クローラ型 [ベスマシ] 山積0.45m(平積0.35m)	日	$\frac{100}{A_1 \text{ または } A_2}$	表1.3 表1.4	バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準) 準備クローラ型 山積0.45m(平積0.35m)	〃	$\frac{100}{Q_1 \text{ または } Q_2}$ (注) 6	表1.6 表1.7	諸 雑 費		式	1	表1.8 (注) 5	計				
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																				
世 話 役		人	$\frac{100 \times 1}{Q_1 \text{ または } Q_2}$ (注) 6	表1.5 表1.6 表1.7																																																																				
普 通 作 業 員		〃	$\frac{100 \times 1}{A_1 \text{ または } A_2}$ + $\frac{100 \times 1}{Q_1 \text{ または } Q_2}$ (注) 6	表1.2 表1.3 表1.4 表1.5 表1.6 表1.7																																																																				
大型ブレーカ又は コンクリート圧砕機 + バックホウ運転	排出ガス対策型(第1次基準) 準備クローラ型 [ベスマシ] 山積0.45m(平積0.35m)	日	$\frac{100}{A_1 \text{ または } A_2}$	表1.3 表1.4																																																																				
バックホウ運転	排出ガス対策型(第1次基準) 準備クローラ型 山積0.45m(平積0.35m)	〃	$\frac{100}{Q_1 \text{ または } Q_2}$ (注) 6	表1.6 表1.7																																																																				
諸 雑 費		式	1	表1.8 (注) 5																																																																				
計																																																																								
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																				
世 話 役		人	$\frac{100 \times 1}{Q_1 \text{ または } Q_2}$ (注) 6	表1.5 表1.6 表1.7																																																																				
普 通 作 業 員		〃	$\frac{100 \times 1}{A_1 \text{ または } A_2}$ + $\frac{100 \times 1}{Q_1 \text{ または } Q_2}$ (注) 6	表1.2 表1.3 表1.4 表1.5 表1.6 表1.7																																																																				
大型ブレーカ又は コンクリート圧砕機 + バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準) 準備クローラ型 [ベスマシ] 山積0.45m(平積0.35m)	日	$\frac{100}{A_1 \text{ または } A_2}$	表1.3 表1.4																																																																				
バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準) 準備クローラ型 山積0.45m(平積0.35m)	〃	$\frac{100}{Q_1 \text{ または } Q_2}$ (注) 6	表1.6 表1.7																																																																				
諸 雑 費		式	1	表1.8 (注) 5																																																																				
計																																																																								

土木工事標準歩掛の一部改定
舗装版破碎工

工種名	現 行	改 定																																																																																																				
	<p>(2) バックホウにより直接掘削・積込する場合の100m²当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="331 264 1099 619"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>$\frac{100}{Q_3} \times 1$</td> <td>表1.9 表1.10</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>$\frac{100}{Q_3} \times 2$</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ 運 転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)クローラ型 山積0.45m³(平積0.35m³)</td> <td>日</td> <td>$\frac{100}{Q_3}$</td> <td>表1.10</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) Q₃: 舗装版の直接掘削・積込の日当り施工量</p> <p>(3) 機械運転単価表</p> <table border="1" data-bbox="331 730 1099 1390"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型山積0.45m³ (平積0.35m³)</td> <td>機-18</td> <td>[直接掘削・積込] 運転労務数量→1.00 燃料消費量→72 機械損料数量→1.62 [破碎後掘削・積込] 運転労務数量→1.00 燃料消費量→67 機械損料数量→1.62</td> </tr> <tr> <td>大 型 プ レ ー カ</td> <td>ブレーカ 600～800kg級</td> <td>機-20</td> <td>機 械 損 料 1→バックホウ (排出ガス対策型クローラ型 山積0.45m³(平積0.35m³)) 運転労務数量→1.00 燃料消費量→62 機械損料数量→1.62 機 械 損 料 2→大型ブレーカ (ブレーカ 600～800kg級) 機械損料数量→1.4</td> </tr> <tr> <td>コ ン ク リ ー ト 圧 碎 機</td> <td>開口幅 735～850mm 破碎力 549～981kN (56～100 t)</td> <td>機-20</td> <td>機 械 損 料 1→バックホウ (排出ガス対策型クローラ型 山積0.45m³(平積0.35m³)) 運転労務数量→1.00 燃料消費量→62 機械損料数量→1.62 機 械 損 料 2→コンクリート圧碎機 破碎力(549～981kN(56～100 t)) 機械損料数量→1.45</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	$\frac{100}{Q_3} \times 1$	表1.9 表1.10	普 通 作 業 員		〃	$\frac{100}{Q_3} \times 2$	〃	バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値)クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	日	$\frac{100}{Q_3}$	表1.10	諸 雑 費		式	1		計					機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	機-18	[直接掘削・積込] 運転労務数量→1.00 燃料消費量→72 機械損料数量→1.62 [破碎後掘削・積込] 運転労務数量→1.00 燃料消費量→67 機械損料数量→1.62	大 型 プ レ ー カ	ブレーカ 600～800kg級	機-20	機 械 損 料 1→バックホウ (排出ガス対策型クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)) 運転労務数量→1.00 燃料消費量→62 機械損料数量→1.62 機 械 損 料 2→大型ブレーカ (ブレーカ 600～800kg級) 機械損料数量→1.4	コ ン ク リ ー ト 圧 碎 機	開口幅 735～850mm 破碎力 549～981kN (56～100 t)	機-20	機 械 損 料 1→バックホウ (排出ガス対策型クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)) 運転労務数量→1.00 燃料消費量→62 機械損料数量→1.62 機 械 損 料 2→コンクリート圧碎機 破碎力(549～981kN(56～100 t)) 機械損料数量→1.45	<p>(2) バックホウにより直接掘削・積込する場合の100m²当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="1274 264 2042 619"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>$\frac{100}{Q_3} \times 1$</td> <td>表1.9 表1.10</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>$\frac{100}{Q_3} \times 2$</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ 運 転</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値)クローラ型 山積0.45m³(平積0.35m³)</td> <td>日</td> <td>$\frac{100}{Q_3}$</td> <td>表1.10</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) Q₃: 舗装版の直接掘削・積込の日当り施工量</p> <p>(3) 機械運転単価表</p> <table border="1" data-bbox="1218 730 2098 1390"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ</td> <td>排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型山積0.45m³ (平積0.35m³)</td> <td>機-28</td> <td>[直接掘削・積込] 運転労務数量→1.00 燃料消費量→72 賃料数量→1.62 [破碎後掘削・積込] 運転労務数量→1.00 燃料消費量→67 賃料数量→1.62</td> </tr> <tr> <td>大 型 プ レ ー カ</td> <td>ブレーカ 600～800kg級</td> <td>機-28</td> <td>機 械 賃 料→バックホウ (排出ガス対策型(第2次基準値)クローラ型 山積0.45m³(平積0.35m³)) 運転労務数量→1.00 燃料消費量→62 賃料数量→1.62</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>機-14</td> <td>機 械 損 料→大型ブレーカ (ブレーカ 600～800kg級) 機械損料数量→1.4</td> </tr> <tr> <td>コ ン ク リ ー ト 圧 碎 機</td> <td>開口幅 735～850mm 破碎力 549～981kN (56～100 t)</td> <td>機-28</td> <td>機 械 賃 料→バックホウ (排出ガス対策型(第2次基準値)クローラ型 山積0.45m³(平積0.35m³)) 運転労務数量→1.00 燃料消費量→62 賃料数量→1.62</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>機-14</td> <td>機 械 損 料→コンクリート圧碎機 破碎力(549～981kN(56～100 t)) 機械損料数量→1.45</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	$\frac{100}{Q_3} \times 1$	表1.9 表1.10	普 通 作 業 員		〃	$\frac{100}{Q_3} \times 2$	〃	バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型(第2次基準値)クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	日	$\frac{100}{Q_3}$	表1.10	諸 雑 費		式	1		計					機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	機-28	[直接掘削・積込] 運転労務数量→1.00 燃料消費量→72 賃料数量→1.62 [破碎後掘削・積込] 運転労務数量→1.00 燃料消費量→67 賃料数量→1.62	大 型 プ レ ー カ	ブレーカ 600～800kg級	機-28	機 械 賃 料→バックホウ (排出ガス対策型(第2次基準値)クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)) 運転労務数量→1.00 燃料消費量→62 賃料数量→1.62			機-14	機 械 損 料→大型ブレーカ (ブレーカ 600～800kg級) 機械損料数量→1.4	コ ン ク リ ー ト 圧 碎 機	開口幅 735～850mm 破碎力 549～981kN (56～100 t)	機-28	機 械 賃 料→バックホウ (排出ガス対策型(第2次基準値)クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)) 運転労務数量→1.00 燃料消費量→62 賃料数量→1.62			機-14	機 械 損 料→コンクリート圧碎機 破碎力(549～981kN(56～100 t)) 機械損料数量→1.45
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																		
世 話 役		人	$\frac{100}{Q_3} \times 1$	表1.9 表1.10																																																																																																		
普 通 作 業 員		〃	$\frac{100}{Q_3} \times 2$	〃																																																																																																		
バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値)クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	日	$\frac{100}{Q_3}$	表1.10																																																																																																		
諸 雑 費		式	1																																																																																																			
計																																																																																																						
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																																																																																			
バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	機-18	[直接掘削・積込] 運転労務数量→1.00 燃料消費量→72 機械損料数量→1.62 [破碎後掘削・積込] 運転労務数量→1.00 燃料消費量→67 機械損料数量→1.62																																																																																																			
大 型 プ レ ー カ	ブレーカ 600～800kg級	機-20	機 械 損 料 1→バックホウ (排出ガス対策型クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)) 運転労務数量→1.00 燃料消費量→62 機械損料数量→1.62 機 械 損 料 2→大型ブレーカ (ブレーカ 600～800kg級) 機械損料数量→1.4																																																																																																			
コ ン ク リ ー ト 圧 碎 機	開口幅 735～850mm 破碎力 549～981kN (56～100 t)	機-20	機 械 損 料 1→バックホウ (排出ガス対策型クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)) 運転労務数量→1.00 燃料消費量→62 機械損料数量→1.62 機 械 損 料 2→コンクリート圧碎機 破碎力(549～981kN(56～100 t)) 機械損料数量→1.45																																																																																																			
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																		
世 話 役		人	$\frac{100}{Q_3} \times 1$	表1.9 表1.10																																																																																																		
普 通 作 業 員		〃	$\frac{100}{Q_3} \times 2$	〃																																																																																																		
バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型(第2次基準値)クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	日	$\frac{100}{Q_3}$	表1.10																																																																																																		
諸 雑 費		式	1																																																																																																			
計																																																																																																						
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																																																																																			
バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	機-28	[直接掘削・積込] 運転労務数量→1.00 燃料消費量→72 賃料数量→1.62 [破碎後掘削・積込] 運転労務数量→1.00 燃料消費量→67 賃料数量→1.62																																																																																																			
大 型 プ レ ー カ	ブレーカ 600～800kg級	機-28	機 械 賃 料→バックホウ (排出ガス対策型(第2次基準値)クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)) 運転労務数量→1.00 燃料消費量→62 賃料数量→1.62																																																																																																			
		機-14	機 械 損 料→大型ブレーカ (ブレーカ 600～800kg級) 機械損料数量→1.4																																																																																																			
コ ン ク リ ー ト 圧 碎 機	開口幅 735～850mm 破碎力 549～981kN (56～100 t)	機-28	機 械 賃 料→バックホウ (排出ガス対策型(第2次基準値)クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)) 運転労務数量→1.00 燃料消費量→62 賃料数量→1.62																																																																																																			
		機-14	機 械 損 料→コンクリート圧碎機 破碎力(549～981kN(56～100 t)) 機械損料数量→1.45																																																																																																			

土木工事標準歩掛の一部改定
道路打換え工

工種名	現 行	改 定
道路維持修繕 道路打換え工	<p>道路打換え工</p> <p>1. 適用範囲</p> <p>本資料は、維持修繕アスファルト舗装工のうち、舗装版とりこわしから舗装までを急速施工する日当り平均作業量が50m²以上420m²以下の現道打換え工事に適用する。</p> <p>舗装版とは、コンクリート層及びアスファルト層を総称していう。</p> <p>また、排水性舗装、シックリフト工法、QRP工法等並びに、舗装版破碎工には適用しない。</p> <p>2. 施工概要</p> <p>施工フローは、下記を標準とする。</p> <pre> graph TD A[コンクリートカッターによる舗装版の切断] --> B{とりこわし舗装版厚さ15cmを超える} A --> C{とりこわし舗装版厚さ15cm以下} B --> D[コンクリート圧砕機・大型ブレーカによる舗装版のとりこわし] C --> E[バックホウによる舗装版の直接掘削・積込] D --> F[バックホウによる掘削・積込] E --> F F --> G[路床・路盤の敷均し・転圧] G --> H[瀝青材散布] H --> I[舗装（アスファルト層）敷均し・転圧] I --> J[区画線工] </pre> <p>(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。</p>	<p>現行どおり</p>

土木工事標準歩掛の一部改定
道路打換え工

工種名	現 行	改 定																																																																										
3. 機種 の 選 定 等 機械・規格は、図3-1及び表3.1を標準とする	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 5%;">工種</th> <th style="width: 15%;">舗装版 切断</th> <th style="width: 5%;">条件 a</th> <th style="width: 5%;">条件 b</th> <th style="width: 10%;">とりこわし</th> <th style="width: 5%;">掘削</th> <th style="width: 5%;">積込</th> <th style="width: 5%;">条件 c</th> <th style="width: 10%;">路 盤 敷均し 転 圧</th> <th style="width: 10%;">舗 装 版 敷均し 転 圧</th> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">使用 機械</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">コンク リート カッタ 別 途 計 上</td> <td style="text-align: center; vertical-align: top;">騒音、振 動対策 技術指 針の適 用地域 等 (注1)</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">超え るも の と り こ わ し 舗 装 版 厚 さ 15 cm 以下</td> <td style="text-align: center; vertical-align: top;">コンクリート 圧砕機 + バックホウ (ベースマシン)</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">バックホウ</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">バックホウ</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">1 箇 切 り の 作 業 量</td> <td colspan="2" style="text-align: center; vertical-align: top;">「第1号道路舗装」路盤工(歩道施工)及び「第1号道路舗装」アスファルト舗装工(人力施工)による。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: top;">上記以 外の地 域(注3)</td> <td style="text-align: center; vertical-align: top;">大型ブレーカ + バックホウ (ベースマシン)</td> <td style="text-align: center; vertical-align: top;">ブルドーザ</td> <td style="text-align: center; vertical-align: top;">タイヤローラ</td> <td style="text-align: center; vertical-align: top;">アスファルト フィニッシャ</td> <td style="text-align: center; vertical-align: top;">タイヤローラ</td> <td style="text-align: center; vertical-align: top;">ロードローラ</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">幅員 2.5m かつ 作業 延長 20m</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	工種	舗装版 切断	条件 a	条件 b	とりこわし	掘削	積込	条件 c	路 盤 敷均し 転 圧	舗 装 版 敷均し 転 圧	使用 機械	コンク リート カッタ 別 途 計 上	騒音、振 動対策 技術指 針の適 用地域 等 (注1)	超え るも の と り こ わ し 舗 装 版 厚 さ 15 cm 以下	コンクリート 圧砕機 + バックホウ (ベースマシン)	バックホウ	バックホウ	1 箇 切 り の 作 業 量	「第1号道路舗装」路盤工(歩道施工)及び「第1号道路舗装」アスファルト舗装工(人力施工)による。		上記以 外の地 域(注3)	大型ブレーカ + バックホウ (ベースマシン)	ブルドーザ	タイヤローラ	アスファルト フィニッシャ	タイヤローラ	ロードローラ								幅員 2.5m かつ 作業 延長 20m			<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 5%;">工種</th> <th style="width: 15%;">舗装版 切断</th> <th style="width: 5%;">条件 a</th> <th style="width: 5%;">条件 b</th> <th style="width: 10%;">とりこわし</th> <th style="width: 5%;">掘削</th> <th style="width: 5%;">積込</th> <th style="width: 5%;">条件 c</th> <th style="width: 10%;">路 盤 敷均し 転 圧</th> <th style="width: 10%;">舗 装 版 敷均し 転 圧</th> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">使用 機械</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">コンク リート カッタ 別 途 計 上</td> <td style="text-align: center; vertical-align: top;">騒音、振 動対策 技術指 針の適 用地域 等 (注1)</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">超え るも の と り こ わ し 舗 装 版 厚 さ 15 cm 以下</td> <td style="text-align: center; vertical-align: top;">コンクリート 圧砕機 + バックホウ (ベースマシン)</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">バックホウ</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">バックホウ</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">1 箇 切 り の 作 業 量</td> <td colspan="2" style="text-align: center; vertical-align: top;">「道路舗装 路盤工(歩道施工)及び「道路舗装 アスファルト舗装工(人力施工)」による。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: top;">上記以 外の地 域(注3)</td> <td style="text-align: center; vertical-align: top;">大型ブレーカ + バックホウ (ベースマシン)</td> <td style="text-align: center; vertical-align: top;">ブルドーザ</td> <td style="text-align: center; vertical-align: top;">タイヤローラ</td> <td style="text-align: center; vertical-align: top;">アスファルト フィニッシャ</td> <td style="text-align: center; vertical-align: top;">タイヤローラ</td> <td style="text-align: center; vertical-align: top;">ロードローラ</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">幅員 2.5m かつ 作業 延長 20m</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	工種	舗装版 切断	条件 a	条件 b	とりこわし	掘削	積込	条件 c	路 盤 敷均し 転 圧	舗 装 版 敷均し 転 圧	使用 機械	コンク リート カッタ 別 途 計 上	騒音、振 動対策 技術指 針の適 用地域 等 (注1)	超え るも の と り こ わ し 舗 装 版 厚 さ 15 cm 以下	コンクリート 圧砕機 + バックホウ (ベースマシン)	バックホウ	バックホウ	1 箇 切 り の 作 業 量	「道路舗装 路盤工(歩道施工)及び「道路舗装 アスファルト舗装工(人力施工)」による。		上記以 外の地 域(注3)	大型ブレーカ + バックホウ (ベースマシン)	ブルドーザ	タイヤローラ	アスファルト フィニッシャ	タイヤローラ	ロードローラ								幅員 2.5m かつ 作業 延長 20m		
	工種	舗装版 切断	条件 a	条件 b	とりこわし	掘削	積込	条件 c	路 盤 敷均し 転 圧	舗 装 版 敷均し 転 圧																																																																		
使用 機械	コンク リート カッタ 別 途 計 上	騒音、振 動対策 技術指 針の適 用地域 等 (注1)	超え るも の と り こ わ し 舗 装 版 厚 さ 15 cm 以下	コンクリート 圧砕機 + バックホウ (ベースマシン)	バックホウ	バックホウ	1 箇 切 り の 作 業 量	「第1号道路舗装」路盤工(歩道施工)及び「第1号道路舗装」アスファルト舗装工(人力施工)による。																																																																				
		上記以 外の地 域(注3)		大型ブレーカ + バックホウ (ベースマシン)				ブルドーザ	タイヤローラ	アスファルト フィニッシャ	タイヤローラ	ロードローラ																																																																
							幅員 2.5m かつ 作業 延長 20m																																																																					
工種	舗装版 切断	条件 a	条件 b	とりこわし	掘削	積込	条件 c	路 盤 敷均し 転 圧	舗 装 版 敷均し 転 圧																																																																			
使用 機械	コンク リート カッタ 別 途 計 上	騒音、振 動対策 技術指 針の適 用地域 等 (注1)	超え るも の と り こ わ し 舗 装 版 厚 さ 15 cm 以下	コンクリート 圧砕機 + バックホウ (ベースマシン)	バックホウ	バックホウ	1 箇 切 り の 作 業 量	「道路舗装 路盤工(歩道施工)及び「道路舗装 アスファルト舗装工(人力施工)」による。																																																																				
		上記以 外の地 域(注3)		大型ブレーカ + バックホウ (ベースマシン)				ブルドーザ	タイヤローラ	アスファルト フィニッシャ	タイヤローラ	ロードローラ																																																																
							幅員 2.5m かつ 作業 延長 20m																																																																					
	<p>図3-1 機種 の 選 定</p> <p>(注) 1. 「建設工事に伴う騒音、振動対策技術指針」の第2章適用範囲に示す地域等。 2. とりこわし舗装版の厚さが15cm以下の場合はバックホウによる直接掘削積込を標準とするが、施工上騒音振動対策を必要とする場合は、コンクリート圧砕機を選定することができる。 とりこわし：大型ブレーカ又はコンクリート圧砕機により舗装版のみ破碎する作業 掘削積込：大型ブレーカ又はコンクリート圧砕機により舗装版を破碎後、バックホウにより舗装版、路盤・路床材を各々又は同時に掘削し、積込む作業 直接掘削積込：バックホウにより直接舗装版、路盤・路床材を各々又は同時に掘削し、積込む作業 3. 条件aで「上記以外の地域」となった場合においても、施工上騒音振動対策が必要となった場合は、コンクリート圧砕機を選定することができる。 4. コンクリート圧砕機を選定した場合には、使用するバックホウについては、低騒音型建設機械を用いること。</p>	<p>図3-1 機種 の 選 定</p> <p>(注) 1. 「建設工事に伴う騒音、振動対策技術指針」の第2章適用範囲に示す地域等。 2. とりこわし舗装版の厚さが15cm以下の場合はバックホウによる直接掘削積込を標準とするが、施工上騒音振動対策を必要とする場合は、コンクリート圧砕機を選定することができる。 とりこわし：大型ブレーカ又はコンクリート圧砕機により舗装版のみ破碎する作業 掘削積込：大型ブレーカ又はコンクリート圧砕機により舗装版を破碎後、バックホウにより舗装版、路盤・路床材を各々又は同時に掘削し、積込む作業 直接掘削積込：バックホウにより直接舗装版、路盤・路床材を各々又は同時に掘削し、積込む作業 3. 条件aで「上記以外の地域」となった場合においても、施工上騒音振動対策が必要となった場合は、コンクリート圧砕機を選定することができる。 4. コンクリート圧砕機を選定した場合には、使用するバックホウについては、低騒音型建設機械を用いること。</p>																																																																										

土木工事標準歩掛の一部改定
道路打換え工

工種名	現 行	改 定																																																																																																																																				
	<p style="text-align: center;">表3.1 機種の選定</p> <table border="1" data-bbox="273 268 1153 858"> <thead> <tr> <th>作業種別</th> <th>機械名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>直接掘削積込</td> <td rowspan="2">バックホウ</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値)</td> <td rowspan="2">台</td> <td rowspan="2">1</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>バックホウによる掘削積込</td> <td>クローラ型山積0.45m³(平積0.35m³)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">コンクリート圧砕機によるとりこわし</td> <td>コンクリート圧砕機</td> <td>破砕力600kN級 開口幅 715mm</td> <td>”</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(コンクリート圧砕機ベースマシン)バックホウ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型山積0.45m³(平積0.35m³)</td> <td>”</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>大型ブレーカによるとりこわし</td> <td>大型ブレーカ</td> <td>油圧ブレーカ・バケット容量0.2m³対応 ベースマシン含む</td> <td>”</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>路床及び路盤の敷均し</td> <td>ブルドーザ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 普通3t級</td> <td>”</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>舗装の敷均し</td> <td>アスファルトフィニッシャー</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) ホイール型2.0~4.5m</td> <td>”</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>路床及び路盤の転圧</td> <td rowspan="2">タイヤローラ</td> <td rowspan="2">排出ガス対策型(第1次基準値) 8~20t</td> <td>”</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>舗装の転圧</td> <td>”</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>路床及び路盤の転圧</td> <td rowspan="2">ロードローラ</td> <td rowspan="2">排出ガス対策型(第1次基準値) マカダム10~12t</td> <td>”</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>舗装の転圧</td> <td>”</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) バックホウ、(コンクリート圧砕機ベースマシン)バックホウ、大型ブレーカ、ブルドーザは賃料とする。</p> <p>4. 編 成 人 員 日当り編成人員は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.1 日当り編成人員 (人)</p> <table border="1" data-bbox="403 1034 1025 1121"> <thead> <tr> <th>世 話 役</th> <th>特殊作業員</th> <th>普通作業員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>	作業種別	機械名	規 格	単 位	数 量	摘 要	直接掘削積込	バックホウ	排出ガス対策型 (第1次基準値)	台	1		バックホウによる掘削積込	クローラ型山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	コンクリート圧砕機によるとりこわし	コンクリート圧砕機	破砕力600kN級 開口幅 715mm	”	1		(コンクリート圧砕機ベースマシン)バックホウ	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	”	1		大型ブレーカによるとりこわし	大型ブレーカ	油圧ブレーカ・バケット容量0.2m ³ 対応 ベースマシン含む	”	1		路床及び路盤の敷均し	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通3t級	”	1		舗装の敷均し	アスファルトフィニッシャー	排出ガス対策型(第1次基準値) ホイール型2.0~4.5m	”	1		路床及び路盤の転圧	タイヤローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 8~20t	”	1		舗装の転圧	”	1		路床及び路盤の転圧	ロードローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) マカダム10~12t	”	1		舗装の転圧	”	1		世 話 役	特殊作業員	普通作業員	1	3	4	<p style="text-align: center;">表3.1 機種の選定</p> <table border="1" data-bbox="1216 268 2096 858"> <thead> <tr> <th>作業種別</th> <th>機械名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>直接掘削積込</td> <td rowspan="2">バックホウ</td> <td>排出ガス対策型 (第2次基準値)</td> <td rowspan="2">台</td> <td rowspan="2">1</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>バックホウによる掘削積込</td> <td>クローラ型山積0.45m³(平積0.35m³)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">コンクリート圧砕機によるとりこわし</td> <td>コンクリート圧砕機</td> <td>破砕力600kN級 開口幅 715mm</td> <td>”</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(コンクリート圧砕機ベースマシン)バックホウ</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型山積0.45m³(平積0.35m³)</td> <td>”</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>大型ブレーカによるとりこわし</td> <td>大型ブレーカ</td> <td>油圧ブレーカ・バケット容量0.2m³対応 ベースマシン含む</td> <td>”</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>路床及び路盤の敷均し</td> <td>ブルドーザ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 普通3t級</td> <td>”</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>舗装の敷均し</td> <td>アスファルトフィニッシャー</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) ホイール型2.0~4.5m</td> <td>”</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>路床及び路盤の転圧</td> <td rowspan="2">タイヤローラ</td> <td rowspan="2">排出ガス対策型(第1次基準値) 8~20t</td> <td>”</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>舗装の転圧</td> <td>”</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>路床及び路盤の転圧</td> <td rowspan="2">ロードローラ</td> <td rowspan="2">排出ガス対策型(第1次基準値) マカダム10~12t</td> <td>”</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>舗装の転圧</td> <td>”</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) バックホウ、(コンクリート圧砕機ベースマシン)バックホウ、大型ブレーカ、ブルドーザは賃料とする。</p> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 20px;"> <div style="font-size: 4em; margin-right: 10px;">}</div> <p>現行どおり</p> </div>	作業種別	機械名	規 格	単 位	数 量	摘 要	直接掘削積込	バックホウ	排出ガス対策型 (第2次基準値)	台	1		バックホウによる掘削積込	クローラ型山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	コンクリート圧砕機によるとりこわし	コンクリート圧砕機	破砕力600kN級 開口幅 715mm	”	1		(コンクリート圧砕機ベースマシン)バックホウ	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	”	1		大型ブレーカによるとりこわし	大型ブレーカ	油圧ブレーカ・バケット容量0.2m ³ 対応 ベースマシン含む	”	1		路床及び路盤の敷均し	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通3t級	”	1		舗装の敷均し	アスファルトフィニッシャー	排出ガス対策型(第1次基準値) ホイール型2.0~4.5m	”	1		路床及び路盤の転圧	タイヤローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 8~20t	”	1		舗装の転圧	”	1		路床及び路盤の転圧	ロードローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) マカダム10~12t	”	1		舗装の転圧	”	1	
作業種別	機械名	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																	
直接掘削積込	バックホウ	排出ガス対策型 (第1次基準値)	台	1																																																																																																																																		
バックホウによる掘削積込		クローラ型山積0.45m ³ (平積0.35m ³)																																																																																																																																				
コンクリート圧砕機によるとりこわし	コンクリート圧砕機	破砕力600kN級 開口幅 715mm	”	1																																																																																																																																		
	(コンクリート圧砕機ベースマシン)バックホウ	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	”	1																																																																																																																																		
大型ブレーカによるとりこわし	大型ブレーカ	油圧ブレーカ・バケット容量0.2m ³ 対応 ベースマシン含む	”	1																																																																																																																																		
路床及び路盤の敷均し	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通3t級	”	1																																																																																																																																		
舗装の敷均し	アスファルトフィニッシャー	排出ガス対策型(第1次基準値) ホイール型2.0~4.5m	”	1																																																																																																																																		
路床及び路盤の転圧	タイヤローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 8~20t	”	1																																																																																																																																		
舗装の転圧			”	1																																																																																																																																		
路床及び路盤の転圧	ロードローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) マカダム10~12t	”	1																																																																																																																																		
舗装の転圧			”	1																																																																																																																																		
世 話 役	特殊作業員	普通作業員																																																																																																																																				
1	3	4																																																																																																																																				
作業種別	機械名	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																	
直接掘削積込	バックホウ	排出ガス対策型 (第2次基準値)	台	1																																																																																																																																		
バックホウによる掘削積込		クローラ型山積0.45m ³ (平積0.35m ³)																																																																																																																																				
コンクリート圧砕機によるとりこわし	コンクリート圧砕機	破砕力600kN級 開口幅 715mm	”	1																																																																																																																																		
	(コンクリート圧砕機ベースマシン)バックホウ	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	”	1																																																																																																																																		
大型ブレーカによるとりこわし	大型ブレーカ	油圧ブレーカ・バケット容量0.2m ³ 対応 ベースマシン含む	”	1																																																																																																																																		
路床及び路盤の敷均し	ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通3t級	”	1																																																																																																																																		
舗装の敷均し	アスファルトフィニッシャー	排出ガス対策型(第1次基準値) ホイール型2.0~4.5m	”	1																																																																																																																																		
路床及び路盤の転圧	タイヤローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) 8~20t	”	1																																																																																																																																		
舗装の転圧			”	1																																																																																																																																		
路床及び路盤の転圧	ロードローラ	排出ガス対策型(第1次基準値) マカダム10~12t	”	1																																																																																																																																		
舗装の転圧			”	1																																																																																																																																		

土木工事標準歩掛の一部改定
道路打換え工

工種名	現 行	改 定																																																							
	<p>5. 施 工 歩 掛</p> <p>5-1 日当り施工量 道路打換え工の標準的な日当り施工量は、次表を標準とする。</p> <p>日当り標準施工量 ㎡/日</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width:30%;">全体掘削厚</th> <th colspan="2">40 cm以下</th> <th>40 cmを超え 80 cm以下</th> <th>80 cmを超え 120 cm以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>復旧層数</td> <td>2層</td> <td>3層以上 5層以下</td> <td>4層以上 6層以下</td> <td>5, 6層</td> </tr> <tr> <td>コンクリート圧砕機 15 cm以下</td> <td rowspan="3" style="text-align:center">270</td> <td style="text-align:center">230</td> <td style="text-align:center">190</td> <td style="text-align:center">170</td> </tr> <tr> <td>コンクリート圧砕機・大型ブレーカ 15 cmを超え 30 cm以下</td> <td style="text-align:center">220</td> <td style="text-align:center">180</td> <td style="text-align:center">160</td> </tr> <tr> <td>コンクリート圧砕機・大型ブレーカ 30 cmを超え 40 cm以下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align:right">㎡/日</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <tbody> <tr> <td>復旧層数</td> <td>2層</td> <td>3層以上 5層以下</td> </tr> <tr> <td>バックホウによる直接掘削積込・掘削全体厚 40 cm以下</td> <td style="text-align:center">400</td> <td style="text-align:center">310</td> </tr> <tr> <td>復旧層数</td> <td>2層</td> <td>3層以上 6層以下</td> </tr> <tr> <td>バックホウによる直接掘削積込・掘削全体厚 40 cmを超え 80 cm以下</td> <td style="text-align:center">280</td> <td style="text-align:center">220</td> </tr> <tr> <td>バックホウによる直接掘削積込・掘削全体厚 80 cmを超え 120 cm以下</td> <td style="text-align:center">210</td> <td style="text-align:center">180</td> </tr> </tbody> </table> <p>5-2 施工機械の運転時間 100㎡当りの機械の運転時間は、次表とする。</p> <p>(1) とりこわし</p> <p style="text-align:center">表5.1 とりこわし時間 (h/100㎡)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:25%;">舗装版厚さ 使用機械</th> <th>15cm以下</th> <th>15 cm を超え 30 cm 以下</th> <th>30 cm を超え 40 cm 以下</th> <th>記号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウによるとりこわし</td> <td>掘削・積込に含む</td> <td style="text-align:center">—</td> <td style="text-align:center">—</td> <td style="text-align:center">—</td> </tr> <tr> <td>大型ブレーカによるとりこわし</td> <td style="text-align:center">—</td> <td rowspan="2" style="text-align:center">1.3</td> <td rowspan="2" style="text-align:center">1.7</td> <td rowspan="2" style="text-align:center">T_H</td> </tr> <tr> <td>コンクリート圧砕機 (油圧ジャッキ式)によるとりこわし</td> <td style="text-align:center">1.1</td> </tr> </tbody> </table>	全体掘削厚	40 cm以下		40 cmを超え 80 cm以下	80 cmを超え 120 cm以下	復旧層数	2層	3層以上 5層以下	4層以上 6層以下	5, 6層	コンクリート圧砕機 15 cm以下	270	230	190	170	コンクリート圧砕機・大型ブレーカ 15 cmを超え 30 cm以下	220	180	160	コンクリート圧砕機・大型ブレーカ 30 cmを超え 40 cm以下				復旧層数	2層	3層以上 5層以下	バックホウによる直接掘削積込・掘削全体厚 40 cm以下	400	310	復旧層数	2層	3層以上 6層以下	バックホウによる直接掘削積込・掘削全体厚 40 cmを超え 80 cm以下	280	220	バックホウによる直接掘削積込・掘削全体厚 80 cmを超え 120 cm以下	210	180	舗装版厚さ 使用機械	15cm以下	15 cm を超え 30 cm 以下	30 cm を超え 40 cm 以下	記号	バックホウによるとりこわし	掘削・積込に含む	—	—	—	大型ブレーカによるとりこわし	—	1.3	1.7	T _H	コンクリート圧砕機 (油圧ジャッキ式)によるとりこわし	1.1	<p>現行どおり</p>
全体掘削厚	40 cm以下		40 cmを超え 80 cm以下	80 cmを超え 120 cm以下																																																					
復旧層数	2層	3層以上 5層以下	4層以上 6層以下	5, 6層																																																					
コンクリート圧砕機 15 cm以下	270	230	190	170																																																					
コンクリート圧砕機・大型ブレーカ 15 cmを超え 30 cm以下		220	180	160																																																					
コンクリート圧砕機・大型ブレーカ 30 cmを超え 40 cm以下																																																									
復旧層数	2層	3層以上 5層以下																																																							
バックホウによる直接掘削積込・掘削全体厚 40 cm以下	400	310																																																							
復旧層数	2層	3層以上 6層以下																																																							
バックホウによる直接掘削積込・掘削全体厚 40 cmを超え 80 cm以下	280	220																																																							
バックホウによる直接掘削積込・掘削全体厚 80 cmを超え 120 cm以下	210	180																																																							
舗装版厚さ 使用機械	15cm以下	15 cm を超え 30 cm 以下	30 cm を超え 40 cm 以下	記号																																																					
バックホウによるとりこわし	掘削・積込に含む	—	—	—																																																					
大型ブレーカによるとりこわし	—	1.3	1.7	T _H																																																					
コンクリート圧砕機 (油圧ジャッキ式)によるとりこわし	1.1																																																								

土木工事標準歩掛の一部改定
道路打換え工

工種名	現 行	改 定																																														
	<p>(2) 掘削・積込</p> <p style="text-align: center;">表5.2 掘削積込時間 (h/100m²)</p> <table border="1" data-bbox="259 296 1169 501"> <thead> <tr> <th>掘削積込の 掘削深さ</th> <th>40cm以下</th> <th>40 cm を 超 え 80 cm 以 下</th> <th>80 cm を 超 え 120 cm 以 下</th> <th>記号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウによる直接掘削・積込</td> <td>2.0</td> <td>3.3</td> <td>4.7</td> <td>T_{B1}</td> </tr> <tr> <td>大型ブレーカとりこわし後の バックホウ掘削・積込</td> <td rowspan="2">2.1</td> <td rowspan="2">2.8</td> <td rowspan="2">3.5</td> <td rowspan="2">T_{B2}</td> </tr> <tr> <td>コンクリート圧砕機(油圧ジャッキ式) とりこわし後のバックホウ掘削・積込</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 路床及び路盤敷均し, 転圧 (安定処理を含まず)</p> <p style="text-align: center;">表5.3 路床及び路盤の敷均し, 転圧時間 (h/100m² 1層当り)</p> <table border="1" data-bbox="259 608 1169 780"> <thead> <tr> <th>使 用 機 械</th> <th>作 業 時 間</th> <th>記 号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ブルドーザによる敷均し</td> <td>0.5</td> <td rowspan="3">T_D</td> </tr> <tr> <td>ロードローラによる転圧</td> <td>0.5</td> </tr> <tr> <td>タイヤローラによる転圧</td> <td>0.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 安定処理は, (4)舗装(アスファルト層)で計上する。 2. 1層当りとは, 敷均し, 転圧層数をいう。 3. 不陸整正は, 掘削後の路床・路盤面の整正を目的とし, 補足材の有無にかかわらず1層分計上する。</p> <p>(4) 舗装(アスファルト層・安定処理)敷均し, 転圧</p> <p style="text-align: center;">表5.4 舗装敷均し, 転圧時間 (h/100m² 1層当り)</p> <table border="1" data-bbox="259 999 1169 1171"> <thead> <tr> <th>使 用 機 械</th> <th>作 業 時 間</th> <th>記 号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アスファルトフィニッシャーによる敷均し</td> <td>0.5</td> <td rowspan="3">T_F</td> </tr> <tr> <td>ロードローラによる転圧</td> <td>0.5</td> </tr> <tr> <td>タイヤローラによる転圧</td> <td>0.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 表層を別途施工の場合は, 「第11章道路舗装②アスファルト舗装工」による。 2. 1層当りとは, 敷均し, 転圧層数をいう。</p> <p>5-3 労務歩掛 道路打換え100m²当りの作業歩掛は, 5-2の(1)~(4)までの使用する主機械の時間で, 次式による。 T'=[(T_H+T_{B2})又はT_{B1}]+T_D×層数+T_F×層数×0.66 (h/100m²) 0.66:一連作業のための重複度</p>	掘削積込の 掘削深さ	40cm以下	40 cm を 超 え 80 cm 以 下	80 cm を 超 え 120 cm 以 下	記号	バックホウによる直接掘削・積込	2.0	3.3	4.7	T _{B1}	大型ブレーカとりこわし後の バックホウ掘削・積込	2.1	2.8	3.5	T _{B2}	コンクリート圧砕機(油圧ジャッキ式) とりこわし後のバックホウ掘削・積込	使 用 機 械	作 業 時 間	記 号	ブルドーザによる敷均し	0.5	T _D	ロードローラによる転圧	0.5	タイヤローラによる転圧	0.5	使 用 機 械	作 業 時 間	記 号	アスファルトフィニッシャーによる敷均し	0.5	T _F	ロードローラによる転圧	0.5	タイヤローラによる転圧	0.5	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>(4) 舗装(アスファルト層・安定処理)敷均し, 転圧</p> <p style="text-align: center;">表5.4 舗装敷均し, 転圧時間 (h/100m² 1層当り)</p> <table border="1" data-bbox="1202 999 2112 1171"> <thead> <tr> <th>使 用 機 械</th> <th>作 業 時 間</th> <th>記 号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アスファルトフィニッシャーによる敷均し</td> <td>0.5</td> <td rowspan="3">T_F</td> </tr> <tr> <td>ロードローラによる転圧</td> <td>0.5</td> </tr> <tr> <td>タイヤローラによる転圧</td> <td>0.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 表層を別途施工の場合は, 「道路舗装 アスファルト舗装工」による。 2. 1層当りとは, 敷均し, 転圧層数をいう。</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	使 用 機 械	作 業 時 間	記 号	アスファルトフィニッシャーによる敷均し	0.5	T _F	ロードローラによる転圧	0.5	タイヤローラによる転圧	0.5
掘削積込の 掘削深さ	40cm以下	40 cm を 超 え 80 cm 以 下	80 cm を 超 え 120 cm 以 下	記号																																												
バックホウによる直接掘削・積込	2.0	3.3	4.7	T _{B1}																																												
大型ブレーカとりこわし後の バックホウ掘削・積込	2.1	2.8	3.5	T _{B2}																																												
コンクリート圧砕機(油圧ジャッキ式) とりこわし後のバックホウ掘削・積込																																																
使 用 機 械	作 業 時 間	記 号																																														
ブルドーザによる敷均し	0.5	T _D																																														
ロードローラによる転圧	0.5																																															
タイヤローラによる転圧	0.5																																															
使 用 機 械	作 業 時 間	記 号																																														
アスファルトフィニッシャーによる敷均し	0.5	T _F																																														
ロードローラによる転圧	0.5																																															
タイヤローラによる転圧	0.5																																															
使 用 機 械	作 業 時 間	記 号																																														
アスファルトフィニッシャーによる敷均し	0.5	T _F																																														
ロードローラによる転圧	0.5																																															
タイヤローラによる転圧	0.5																																															

土木工事標準歩掛の一部改定
道路打換え工

工種名	現 行	改 定																																																							
	<p>5-4 諸 雑 費 諸雑費は、瀝青材料費及び散布費用、加熱器具燃料費、チゼル損耗費（大型プレーカのみ）、すりつけ作業等の費用であり、労務費、材料費、機械損料及び運転経費の合計額に次表の諸雑費率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表5.5 諸 雑 費 率 (%)</p> <table border="1" data-bbox="331 359 1097 531"> <thead> <tr> <th rowspan="2">すりつけ作業 施工範囲</th> <th colspan="2">すりつけ作業の計上</th> </tr> <tr> <th>あ り</th> <th>な し</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全 層 打 換 え の 場 合</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> <tr> <td>舗 装 版 の みの 打 換 え の 場 合</td> <td style="text-align: center;">8</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 「全層打換え」とは、下層路盤又は路床まで打換える場合とする。</p> <p>5-5 道路打換え工事の供用日当り運転時間及び運転日当り運転時間 道路打換え工で使用するアスファルトフィニッシャについては、次表の供用日当り運転時間（t）により損料補正を行う。</p> <p style="text-align: center;">表5.6 供用日当り運転時間（t）及び運転日当り運転時間（T）</p> <table border="1" data-bbox="327 738 1102 1149"> <thead> <tr> <th rowspan="2">機 械 名</th> <th colspan="2">供用日当り運転時間 t (h / (供) 日)</th> <th colspan="2">運転日当り運転時間 T (h / 日)</th> </tr> <tr> <th>全層打換えの 場 合</th> <th>舗装版のみの 打換えの場合</th> <th>全層打換えの 場 合</th> <th>舗装版のみの 打換えの場合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大 型 プ レ ー カ</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">1.8</td> <td style="text-align: center;">1.9</td> </tr> <tr> <td>コ ン ク リ ー ト 圧 砕 機</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">1.8</td> <td style="text-align: center;">1.9</td> </tr> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">3.8</td> <td style="text-align: center;">2.6</td> </tr> <tr> <td>ブ ル ド ー ザ</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">2.9</td> <td style="text-align: center;">2.1</td> </tr> <tr> <td>タ イ ヤ ロ ー ラ</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">4.6</td> <td style="text-align: center;">4.7</td> </tr> <tr> <td>ロ ー ド ロ ー ラ</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">4.4</td> <td style="text-align: center;">4.4</td> </tr> <tr> <td>アスファルトフィニッシャ</td> <td style="text-align: center;">1.8</td> <td style="text-align: center;">2.2</td> <td style="text-align: center;">2.2</td> <td style="text-align: center;">2.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 運転時間Tは、運転労務算出に用いる。</p>	すりつけ作業 施工範囲	すりつけ作業の計上		あ り	な し	全 層 打 換 え の 場 合	6	2	舗 装 版 の みの 打 換 え の 場 合	8	2	機 械 名	供用日当り運転時間 t (h / (供) 日)		運転日当り運転時間 T (h / 日)		全層打換えの 場 合	舗装版のみの 打換えの場合	全層打換えの 場 合	舗装版のみの 打換えの場合	大 型 プ レ ー カ	-	-	1.8	1.9	コ ン ク リ ー ト 圧 砕 機	-	-	1.8	1.9	バ ッ ク ホ ウ	-	-	3.8	2.6	ブ ル ド ー ザ	-	-	2.9	2.1	タ イ ヤ ロ ー ラ	-	-	4.6	4.7	ロ ー ド ロ ー ラ	-	-	4.4	4.4	アスファルトフィニッシャ	1.8	2.2	2.2	2.7	<p style="text-align: center;">現行どおり</p>
すりつけ作業 施工範囲	すりつけ作業の計上																																																								
	あ り	な し																																																							
全 層 打 換 え の 場 合	6	2																																																							
舗 装 版 の みの 打 換 え の 場 合	8	2																																																							
機 械 名	供用日当り運転時間 t (h / (供) 日)		運転日当り運転時間 T (h / 日)																																																						
	全層打換えの 場 合	舗装版のみの 打換えの場合	全層打換えの 場 合	舗装版のみの 打換えの場合																																																					
大 型 プ レ ー カ	-	-	1.8	1.9																																																					
コ ン ク リ ー ト 圧 砕 機	-	-	1.8	1.9																																																					
バ ッ ク ホ ウ	-	-	3.8	2.6																																																					
ブ ル ド ー ザ	-	-	2.9	2.1																																																					
タ イ ヤ ロ ー ラ	-	-	4.6	4.7																																																					
ロ ー ド ロ ー ラ	-	-	4.4	4.4																																																					
アスファルトフィニッシャ	1.8	2.2	2.2	2.7																																																					

土木工事標準歩掛の一部改定
道路打換え工

工種名	現 行	改 定																																																																																																																																																																										
	<p>6. 単 価 表 (1) 100m²当り単価表 大型ブレーカ又はコンクリート圧砕機+機械施工</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>1×1/8×T' 「表4.1」(注)1</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>3×1/8×T' 「〃」(注)1</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>4×1/8×T' 「〃」(注)1</td> </tr> <tr> <td>クラッシュラン</td> <td></td> <td>m³</td> <td>A</td> <td>100m²×仕上り厚×(1+ロス率)=A, (注)2</td> </tr> <tr> <td>粒度調整碎石</td> <td></td> <td>〃</td> <td>B</td> <td>100m²×仕上り厚×(1+ロス率)=B, (注)2</td> </tr> <tr> <td>生アスファルト</td> <td></td> <td>t</td> <td>C</td> <td>100m²×仕上り厚×設定密度 (t/m³) ×(1+ロス率)=C, (注)3</td> </tr> <tr> <td>大型ブレーカ運転</td> <td>油圧ブレーカバケット容量0.2m³対応ベースマシン含む</td> <td>日</td> <td></td> <td>T_{II}/T (注)4</td> </tr> <tr> <td>バックホウ(コンクリート圧砕機ベースマシン) 運転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)クローラ型 山積0.45m³(平積0.35m³)</td> <td>〃</td> <td></td> <td>T_{II}/T (注)4</td> </tr> <tr> <td>コンクリート圧砕機 損 料</td> <td>破碎力600k級 開口幅15mm</td> <td>〃</td> <td></td> <td>T_{II}/T (注)4</td> </tr> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)クローラ型 山積0.45m³(平積0.35m³)</td> <td>〃</td> <td></td> <td>(T_{BI}又はT_{BI})/T</td> </tr> <tr> <td>ブルドーザ運転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)3t級</td> <td>〃</td> <td></td> <td>「表5.3」 T_V/T×層数</td> </tr> <tr> <td>タイヤローラ運転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)8~20t</td> <td>h</td> <td></td> <td>「表5.3」「表5.4」 T_D×層数+T_F×層数</td> </tr> <tr> <td>ロードローラ運転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)マカダム10~12t</td> <td>〃</td> <td></td> <td>「表5.3」「表5.4」 T_D×層数+T_F×層数</td> </tr> <tr> <td>アスファルトフィニッシャ運転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)ホイール型 2.0~4.5m</td> <td>〃</td> <td></td> <td>「表5.4」 T_F×層数</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表5.5</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単位	数量	摘 要	世 話 役		人		1×1/8×T' 「表4.1」(注)1	特 殊 作 業 員		〃		3×1/8×T' 「〃」(注)1	普 通 作 業 員		〃		4×1/8×T' 「〃」(注)1	クラッシュラン		m ³	A	100m ² ×仕上り厚×(1+ロス率)=A, (注)2	粒度調整碎石		〃	B	100m ² ×仕上り厚×(1+ロス率)=B, (注)2	生アスファルト		t	C	100m ² ×仕上り厚×設定密度 (t/m ³) ×(1+ロス率)=C, (注)3	大型ブレーカ運転	油圧ブレーカバケット容量0.2m ³ 対応ベースマシン含む	日		T _{II} /T (注)4	バックホウ(コンクリート圧砕機ベースマシン) 運転	排出ガス対策型(第1次基準値)クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	〃		T _{II} /T (注)4	コンクリート圧砕機 損 料	破碎力600k級 開口幅15mm	〃		T _{II} /T (注)4	バックホウ運転	排出ガス対策型(第1次基準値)クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	〃		(T _{BI} 又はT _{BI})/T	ブルドーザ運転	排出ガス対策型(第1次基準値)3t級	〃		「表5.3」 T _V /T×層数	タイヤローラ運転	排出ガス対策型(第1次基準値)8~20t	h		「表5.3」「表5.4」 T _D ×層数+T _F ×層数	ロードローラ運転	排出ガス対策型(第1次基準値)マカダム10~12t	〃		「表5.3」「表5.4」 T _D ×層数+T _F ×層数	アスファルトフィニッシャ運転	排出ガス対策型(第1次基準値)ホイール型 2.0~4.5m	〃		「表5.4」 T _F ×層数	諸 雑 費		式	1	表5.5	計					<p>6. 単 価 表 (1) 100m²当り単価表 大型ブレーカ又はコンクリート圧砕機+機械施工</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>1×1/8×T' 「表4.1」(注)1</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>3×1/8×T' 「〃」(注)1</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>4×1/8×T' 「〃」(注)1</td> </tr> <tr> <td>クラッシュラン</td> <td></td> <td>m³</td> <td>A</td> <td>100m²×仕上り厚×(1+ロス率)=A, (注)2</td> </tr> <tr> <td>粒度調整碎石</td> <td></td> <td>〃</td> <td>B</td> <td>100m²×仕上り厚×(1+ロス率)=B, (注)2</td> </tr> <tr> <td>生アスファルト</td> <td></td> <td>t</td> <td>C</td> <td>100m²×仕上り厚×設定密度 (t/m³) ×(1+ロス率)=C, (注)3</td> </tr> <tr> <td>大型ブレーカ運転</td> <td>油圧ブレーカバケット容量0.2m³対応ベースマシン含む</td> <td>日</td> <td></td> <td>T_{II}/T (注)4</td> </tr> <tr> <td>バックホウ(コンクリート圧砕機ベースマシン) 運転</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値)クローラ型 山積0.45m³(平積0.35m³)</td> <td>〃</td> <td></td> <td>T_{II}/T (注)4</td> </tr> <tr> <td>コンクリート圧砕機 損 料</td> <td>破碎力600k級 開口幅15mm</td> <td>〃</td> <td></td> <td>T_{II}/T (注)4</td> </tr> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値)クローラ型 山積0.45m³(平積0.35m³)</td> <td>〃</td> <td></td> <td>(T_{BI}又はT_{BI})/T</td> </tr> <tr> <td>ブルドーザ運転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)3t級</td> <td>〃</td> <td></td> <td>「表5.3」 T_V/T×層数</td> </tr> <tr> <td>タイヤローラ運転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)8~20t</td> <td>h</td> <td></td> <td>「表5.3」「表5.4」 T_D×層数+T_F×層数</td> </tr> <tr> <td>ロードローラ運転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)マカダム10~12t</td> <td>〃</td> <td></td> <td>「表5.3」「表5.4」 T_D×層数+T_F×層数</td> </tr> <tr> <td>アスファルトフィニッシャ運転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)ホイール型 2.0~4.5m</td> <td>〃</td> <td></td> <td>「表5.4」 T_F×層数</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表5.5</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単位	数量	摘 要	世 話 役		人		1×1/8×T' 「表4.1」(注)1	特 殊 作 業 員		〃		3×1/8×T' 「〃」(注)1	普 通 作 業 員		〃		4×1/8×T' 「〃」(注)1	クラッシュラン		m ³	A	100m ² ×仕上り厚×(1+ロス率)=A, (注)2	粒度調整碎石		〃	B	100m ² ×仕上り厚×(1+ロス率)=B, (注)2	生アスファルト		t	C	100m ² ×仕上り厚×設定密度 (t/m ³) ×(1+ロス率)=C, (注)3	大型ブレーカ運転	油圧ブレーカバケット容量0.2m ³ 対応ベースマシン含む	日		T _{II} /T (注)4	バックホウ(コンクリート圧砕機ベースマシン) 運転	排出ガス対策型(第2次基準値)クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	〃		T _{II} /T (注)4	コンクリート圧砕機 損 料	破碎力600k級 開口幅15mm	〃		T _{II} /T (注)4	バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準値)クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	〃		(T _{BI} 又はT _{BI})/T	ブルドーザ運転	排出ガス対策型(第1次基準値)3t級	〃		「表5.3」 T _V /T×層数	タイヤローラ運転	排出ガス対策型(第1次基準値)8~20t	h		「表5.3」「表5.4」 T _D ×層数+T _F ×層数	ロードローラ運転	排出ガス対策型(第1次基準値)マカダム10~12t	〃		「表5.3」「表5.4」 T _D ×層数+T _F ×層数	アスファルトフィニッシャ運転	排出ガス対策型(第1次基準値)ホイール型 2.0~4.5m	〃		「表5.4」 T _F ×層数	諸 雑 費		式	1	表5.5	計				
名 称	規 格	単位	数量	摘 要																																																																																																																																																																								
世 話 役		人		1×1/8×T' 「表4.1」(注)1																																																																																																																																																																								
特 殊 作 業 員		〃		3×1/8×T' 「〃」(注)1																																																																																																																																																																								
普 通 作 業 員		〃		4×1/8×T' 「〃」(注)1																																																																																																																																																																								
クラッシュラン		m ³	A	100m ² ×仕上り厚×(1+ロス率)=A, (注)2																																																																																																																																																																								
粒度調整碎石		〃	B	100m ² ×仕上り厚×(1+ロス率)=B, (注)2																																																																																																																																																																								
生アスファルト		t	C	100m ² ×仕上り厚×設定密度 (t/m ³) ×(1+ロス率)=C, (注)3																																																																																																																																																																								
大型ブレーカ運転	油圧ブレーカバケット容量0.2m ³ 対応ベースマシン含む	日		T _{II} /T (注)4																																																																																																																																																																								
バックホウ(コンクリート圧砕機ベースマシン) 運転	排出ガス対策型(第1次基準値)クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	〃		T _{II} /T (注)4																																																																																																																																																																								
コンクリート圧砕機 損 料	破碎力600k級 開口幅15mm	〃		T _{II} /T (注)4																																																																																																																																																																								
バックホウ運転	排出ガス対策型(第1次基準値)クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	〃		(T _{BI} 又はT _{BI})/T																																																																																																																																																																								
ブルドーザ運転	排出ガス対策型(第1次基準値)3t級	〃		「表5.3」 T _V /T×層数																																																																																																																																																																								
タイヤローラ運転	排出ガス対策型(第1次基準値)8~20t	h		「表5.3」「表5.4」 T _D ×層数+T _F ×層数																																																																																																																																																																								
ロードローラ運転	排出ガス対策型(第1次基準値)マカダム10~12t	〃		「表5.3」「表5.4」 T _D ×層数+T _F ×層数																																																																																																																																																																								
アスファルトフィニッシャ運転	排出ガス対策型(第1次基準値)ホイール型 2.0~4.5m	〃		「表5.4」 T _F ×層数																																																																																																																																																																								
諸 雑 費		式	1	表5.5																																																																																																																																																																								
計																																																																																																																																																																												
名 称	規 格	単位	数量	摘 要																																																																																																																																																																								
世 話 役		人		1×1/8×T' 「表4.1」(注)1																																																																																																																																																																								
特 殊 作 業 員		〃		3×1/8×T' 「〃」(注)1																																																																																																																																																																								
普 通 作 業 員		〃		4×1/8×T' 「〃」(注)1																																																																																																																																																																								
クラッシュラン		m ³	A	100m ² ×仕上り厚×(1+ロス率)=A, (注)2																																																																																																																																																																								
粒度調整碎石		〃	B	100m ² ×仕上り厚×(1+ロス率)=B, (注)2																																																																																																																																																																								
生アスファルト		t	C	100m ² ×仕上り厚×設定密度 (t/m ³) ×(1+ロス率)=C, (注)3																																																																																																																																																																								
大型ブレーカ運転	油圧ブレーカバケット容量0.2m ³ 対応ベースマシン含む	日		T _{II} /T (注)4																																																																																																																																																																								
バックホウ(コンクリート圧砕機ベースマシン) 運転	排出ガス対策型(第2次基準値)クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	〃		T _{II} /T (注)4																																																																																																																																																																								
コンクリート圧砕機 損 料	破碎力600k級 開口幅15mm	〃		T _{II} /T (注)4																																																																																																																																																																								
バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準値)クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	〃		(T _{BI} 又はT _{BI})/T																																																																																																																																																																								
ブルドーザ運転	排出ガス対策型(第1次基準値)3t級	〃		「表5.3」 T _V /T×層数																																																																																																																																																																								
タイヤローラ運転	排出ガス対策型(第1次基準値)8~20t	h		「表5.3」「表5.4」 T _D ×層数+T _F ×層数																																																																																																																																																																								
ロードローラ運転	排出ガス対策型(第1次基準値)マカダム10~12t	〃		「表5.3」「表5.4」 T _D ×層数+T _F ×層数																																																																																																																																																																								
アスファルトフィニッシャ運転	排出ガス対策型(第1次基準値)ホイール型 2.0~4.5m	〃		「表5.4」 T _F ×層数																																																																																																																																																																								
諸 雑 費		式	1	表5.5																																																																																																																																																																								
計																																																																																																																																																																												

土木工事標準歩掛の一部改定
道路打換え工

工種名	現 行	改 定																																																																
	<p>(注) 1. T': 5-3 労務歩掛による。 2. ロス率は、「第11章 道路舗装①路盤工」3. 路盤材料の使用数量のロス率による。 3. ロス率は、「第11章 道路舗装②アスファルト舗装工」3-1 混合物の設計数量のロス率による。 4. 大型ブレーカ又はコンクリート圧砕機は、図3-1, 表3. 1により必要な場合のみ計上する。</p> <p>(2) 機械単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>機械名</th> <th>規格</th> <th>適用単価表</th> <th>指定事項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型 山積0.45㎡ (平積0.35㎡)</td> <td>機-28</td> <td>運転労務数量→0.95 (全層打換え) 0.65 (舗装のみ打換え) 燃料消費量→42 (全層打換え) 29 (舗装のみ打換え) 賃料数量→1.27 (全層打換え) 1.24 (舗装のみ打換え)</td> </tr> <tr> <td>大型ブレーカ</td> <td>油圧ブレーカバケット容量0.2m³対応 ベースマシン含む</td> <td>機-28</td> <td>運転労務数量→0.45 (全層打換え) 0.48 (舗装のみ打換え) 燃料消費量→13 (全層打換え) 14 (舗装のみ打換え) 賃料数量→1.29 (全層打換え) 1.27 (舗装のみ打換え)</td> </tr> <tr> <td>コンクリート圧砕機 (ベースマシン)</td> <td>バックホウ排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型 山積0.45㎡ (平積0.35㎡)</td> <td>機-28</td> <td>運転労務数量→0.45 (全層打換え) 0.48 (舗装のみ打換え) 燃料消費量→20 (全層打換え) 21 (舗装のみ打換え) 賃料数量→1.38 (全層打換え) 1.36 (舗装のみ打換え)</td> </tr> <tr> <td>ブルドーザ</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) 普通3t</td> <td>機-28</td> <td>運転労務数量→0.73 (全層打換え) 0.53 (舗装のみ打換え) 燃料消費量→15 (全層打換え) 11 (舗装のみ打換え) 賃料数量→1.16 (全層打換え) 1.17 (舗装のみ打換え)</td> </tr> <tr> <td>タイヤローラ</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) 8~20t</td> <td>機-1</td> <td>運転労務数量→0.22 (全層打換え) 0.21 (舗装のみ打換え)</td> </tr> <tr> <td>ロードローラ</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) マカダム10~12t</td> <td>機-1</td> <td>運転労務数量→0.23</td> </tr> <tr> <td>アスファルトフィニッシャ</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) ホイール型2.0~4.5m</td> <td>機-1</td> <td>運転労務数量→0.25</td> </tr> </tbody> </table>	機械名	規格	適用単価表	指定事項	バックホウ	排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型 山積0.45㎡ (平積0.35㎡)	機-28	運転労務数量→0.95 (全層打換え) 0.65 (舗装のみ打換え) 燃料消費量→42 (全層打換え) 29 (舗装のみ打換え) 賃料数量→1.27 (全層打換え) 1.24 (舗装のみ打換え)	大型ブレーカ	油圧ブレーカバケット容量0.2m³対応 ベースマシン含む	機-28	運転労務数量→0.45 (全層打換え) 0.48 (舗装のみ打換え) 燃料消費量→13 (全層打換え) 14 (舗装のみ打換え) 賃料数量→1.29 (全層打換え) 1.27 (舗装のみ打換え)	コンクリート圧砕機 (ベースマシン)	バックホウ排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型 山積0.45㎡ (平積0.35㎡)	機-28	運転労務数量→0.45 (全層打換え) 0.48 (舗装のみ打換え) 燃料消費量→20 (全層打換え) 21 (舗装のみ打換え) 賃料数量→1.38 (全層打換え) 1.36 (舗装のみ打換え)	ブルドーザ	排出ガス対策型 (第1次基準値) 普通3t	機-28	運転労務数量→0.73 (全層打換え) 0.53 (舗装のみ打換え) 燃料消費量→15 (全層打換え) 11 (舗装のみ打換え) 賃料数量→1.16 (全層打換え) 1.17 (舗装のみ打換え)	タイヤローラ	排出ガス対策型 (第1次基準値) 8~20t	機-1	運転労務数量→0.22 (全層打換え) 0.21 (舗装のみ打換え)	ロードローラ	排出ガス対策型 (第1次基準値) マカダム10~12t	機-1	運転労務数量→0.23	アスファルトフィニッシャ	排出ガス対策型 (第1次基準値) ホイール型2.0~4.5m	機-1	運転労務数量→0.25	<p>(注) 1. T': 5-3 労務歩掛による。 2. 路盤材料のロス率は、+0.27とする。 3. ロス率は、「道路維持修繕 切削オーバーレイ工」アスファルト混合物のロス率による。 4. 大型ブレーカ又はコンクリート圧砕機は、図3-1, 表3. 1により必要な場合のみ計上する。</p> <p>(2) 機械単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>機械名</th> <th>規格</th> <th>適用単価表</th> <th>指定事項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ</td> <td>排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型 山積0.45㎡ (平積0.35㎡)</td> <td>機-28</td> <td>運転労務数量→0.95 (全層打換え) 0.65 (舗装のみ打換え) 燃料消費量→42 (全層打換え) 29 (舗装のみ打換え) 賃料数量→1.27 (全層打換え) 1.24 (舗装のみ打換え)</td> </tr> <tr> <td>大型ブレーカ</td> <td>油圧ブレーカバケット容量0.2m³対応 ベースマシン含む</td> <td>機-28</td> <td>運転労務数量→0.45 (全層打換え) 0.48 (舗装のみ打換え) 燃料消費量→13 (全層打換え) 14 (舗装のみ打換え) 賃料数量→1.29 (全層打換え) 1.27 (舗装のみ打換え)</td> </tr> <tr> <td>コンクリート圧砕機 (ベースマシン)</td> <td>バックホウ排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 山積0.45㎡ (平積0.35㎡)</td> <td>機-28</td> <td>運転労務数量→0.45 (全層打換え) 0.48 (舗装のみ打換え) 燃料消費量→20 (全層打換え) 21 (舗装のみ打換え) 賃料数量→1.38 (全層打換え) 1.36 (舗装のみ打換え)</td> </tr> <tr> <td>ブルドーザ</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) 普通3t</td> <td>機-28</td> <td>運転労務数量→0.73 (全層打換え) 0.53 (舗装のみ打換え) 燃料消費量→15 (全層打換え) 11 (舗装のみ打換え) 賃料数量→1.16 (全層打換え) 1.17 (舗装のみ打換え)</td> </tr> <tr> <td>タイヤローラ</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) 8~20t</td> <td>機-1</td> <td>運転労務数量→0.22 (全層打換え) 0.21 (舗装のみ打換え)</td> </tr> <tr> <td>ロードローラ</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) マカダム10~12t</td> <td>機-1</td> <td>運転労務数量→0.23</td> </tr> <tr> <td>アスファルトフィニッシャ</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) ホイール型2.0~4.5m</td> <td>機-1</td> <td>運転労務数量→0.25</td> </tr> </tbody> </table>	機械名	規格	適用単価表	指定事項	バックホウ	排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型 山積0.45㎡ (平積0.35㎡)	機-28	運転労務数量→0.95 (全層打換え) 0.65 (舗装のみ打換え) 燃料消費量→42 (全層打換え) 29 (舗装のみ打換え) 賃料数量→1.27 (全層打換え) 1.24 (舗装のみ打換え)	大型ブレーカ	油圧ブレーカバケット容量0.2m³対応 ベースマシン含む	機-28	運転労務数量→0.45 (全層打換え) 0.48 (舗装のみ打換え) 燃料消費量→13 (全層打換え) 14 (舗装のみ打換え) 賃料数量→1.29 (全層打換え) 1.27 (舗装のみ打換え)	コンクリート圧砕機 (ベースマシン)	バックホウ排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 山積0.45㎡ (平積0.35㎡)	機-28	運転労務数量→0.45 (全層打換え) 0.48 (舗装のみ打換え) 燃料消費量→20 (全層打換え) 21 (舗装のみ打換え) 賃料数量→1.38 (全層打換え) 1.36 (舗装のみ打換え)	ブルドーザ	排出ガス対策型 (第1次基準値) 普通3t	機-28	運転労務数量→0.73 (全層打換え) 0.53 (舗装のみ打換え) 燃料消費量→15 (全層打換え) 11 (舗装のみ打換え) 賃料数量→1.16 (全層打換え) 1.17 (舗装のみ打換え)	タイヤローラ	排出ガス対策型 (第1次基準値) 8~20t	機-1	運転労務数量→0.22 (全層打換え) 0.21 (舗装のみ打換え)	ロードローラ	排出ガス対策型 (第1次基準値) マカダム10~12t	機-1	運転労務数量→0.23	アスファルトフィニッシャ	排出ガス対策型 (第1次基準値) ホイール型2.0~4.5m	機-1	運転労務数量→0.25
機械名	規格	適用単価表	指定事項																																																															
バックホウ	排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型 山積0.45㎡ (平積0.35㎡)	機-28	運転労務数量→0.95 (全層打換え) 0.65 (舗装のみ打換え) 燃料消費量→42 (全層打換え) 29 (舗装のみ打換え) 賃料数量→1.27 (全層打換え) 1.24 (舗装のみ打換え)																																																															
大型ブレーカ	油圧ブレーカバケット容量0.2m³対応 ベースマシン含む	機-28	運転労務数量→0.45 (全層打換え) 0.48 (舗装のみ打換え) 燃料消費量→13 (全層打換え) 14 (舗装のみ打換え) 賃料数量→1.29 (全層打換え) 1.27 (舗装のみ打換え)																																																															
コンクリート圧砕機 (ベースマシン)	バックホウ排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型 山積0.45㎡ (平積0.35㎡)	機-28	運転労務数量→0.45 (全層打換え) 0.48 (舗装のみ打換え) 燃料消費量→20 (全層打換え) 21 (舗装のみ打換え) 賃料数量→1.38 (全層打換え) 1.36 (舗装のみ打換え)																																																															
ブルドーザ	排出ガス対策型 (第1次基準値) 普通3t	機-28	運転労務数量→0.73 (全層打換え) 0.53 (舗装のみ打換え) 燃料消費量→15 (全層打換え) 11 (舗装のみ打換え) 賃料数量→1.16 (全層打換え) 1.17 (舗装のみ打換え)																																																															
タイヤローラ	排出ガス対策型 (第1次基準値) 8~20t	機-1	運転労務数量→0.22 (全層打換え) 0.21 (舗装のみ打換え)																																																															
ロードローラ	排出ガス対策型 (第1次基準値) マカダム10~12t	機-1	運転労務数量→0.23																																																															
アスファルトフィニッシャ	排出ガス対策型 (第1次基準値) ホイール型2.0~4.5m	機-1	運転労務数量→0.25																																																															
機械名	規格	適用単価表	指定事項																																																															
バックホウ	排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型 山積0.45㎡ (平積0.35㎡)	機-28	運転労務数量→0.95 (全層打換え) 0.65 (舗装のみ打換え) 燃料消費量→42 (全層打換え) 29 (舗装のみ打換え) 賃料数量→1.27 (全層打換え) 1.24 (舗装のみ打換え)																																																															
大型ブレーカ	油圧ブレーカバケット容量0.2m³対応 ベースマシン含む	機-28	運転労務数量→0.45 (全層打換え) 0.48 (舗装のみ打換え) 燃料消費量→13 (全層打換え) 14 (舗装のみ打換え) 賃料数量→1.29 (全層打換え) 1.27 (舗装のみ打換え)																																																															
コンクリート圧砕機 (ベースマシン)	バックホウ排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型 山積0.45㎡ (平積0.35㎡)	機-28	運転労務数量→0.45 (全層打換え) 0.48 (舗装のみ打換え) 燃料消費量→20 (全層打換え) 21 (舗装のみ打換え) 賃料数量→1.38 (全層打換え) 1.36 (舗装のみ打換え)																																																															
ブルドーザ	排出ガス対策型 (第1次基準値) 普通3t	機-28	運転労務数量→0.73 (全層打換え) 0.53 (舗装のみ打換え) 燃料消費量→15 (全層打換え) 11 (舗装のみ打換え) 賃料数量→1.16 (全層打換え) 1.17 (舗装のみ打換え)																																																															
タイヤローラ	排出ガス対策型 (第1次基準値) 8~20t	機-1	運転労務数量→0.22 (全層打換え) 0.21 (舗装のみ打換え)																																																															
ロードローラ	排出ガス対策型 (第1次基準値) マカダム10~12t	機-1	運転労務数量→0.23																																																															
アスファルトフィニッシャ	排出ガス対策型 (第1次基準値) ホイール型2.0~4.5m	機-1	運転労務数量→0.25																																																															

土木工事標準歩掛の一部改定 落橋防止装置工

工種名	現 行	改 定
落橋防止装置工	<p>① 落橋防止装置工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、落橋防止装置設置（けたかかり長、落橋防止構造、変位制限構造及び段差防止構造）に伴う、橋台・橋脚のコンクリート削孔、アンカー施工及び充填補修作業に適用する。なお、橋梁補強工には適用しない。</p> <p>2. 施工概要 施工フローは下記を標準とする。</p> <div style="text-align: center;"> </div> <p>(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。 図 2-1 施工フロー</p> <p>3. 機種を選定 コンクリート削孔機種の選定は下図による。</p> <div style="text-align: center;"> </div> <p>(注) 現場条件とは、作業スペース、騒音・振動による制限及び既設配筋間隔等による施工障害とする。 図 3-1 機種を選定</p>	<p>① 落橋防止装置工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、落橋防止装置設置（けたかかり長、落橋防止構造、変位制限構造及び段差防止構造）に伴う、橋台・橋脚のコンクリート削孔、アンカー施工及び充填補修作業に適用する。なお、橋梁補強工、上方向のコンクリート削孔（ハンマドリル及びさく岩機）、上方向のアンカー施工には適用しない。</p> <p style="text-align: center;">} 現行どおり</p> <p>3. 機種を選定 コンクリート削孔機種の選定は下図による。</p> <div style="text-align: center;"> </div> <p>(注) 現場条件とは、作業スペース、騒音・振動による制限及び既設配筋間隔等による施工障害とする。 図 3-1 機種を選定</p>

土木工事標準歩掛の一部改定
落橋防止装置工

工種名	現 行	改 定																																																																																																																																									
落橋防止装置工	<p>4. 施 工 歩 掛</p> <p>4-1 コンクリート削孔工（コアボーリングマシン） コアボーリングマシン1台当りの削孔歩掛は次表を標準とする。 表 4.1 コンクリート削孔歩掛 (1日当り)</p> <table border="1" data-bbox="257 311 1115 561"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">削孔機械名</th> <th colspan="5">コアボーリングマシン</th> </tr> <tr> <th colspan="2">削孔径(mm)</th> <th colspan="3">削孔径(mm)</th> </tr> <tr> <th colspan="2">単位</th> <th colspan="2">50以下</th> <th colspan="3">50を超え110以下</th> </tr> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>500以下</th> <th>500を超え1000以下</th> <th>500以下</th> <th>500を超え1000以下</th> <th>1000を超え1300以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td>人</td> <td colspan="5">1</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td>＃</td> <td colspan="5">1</td> </tr> <tr> <td>ダイヤモンドビット(N)</td> <td>個</td> <td>2.2</td> <td>1.8</td> <td>1.3</td> <td>1.3</td> <td>1.3</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>%</td> <td>13</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>日 当 り 施 工 量 (D)</td> <td>孔</td> <td>20</td> <td>12</td> <td>11</td> <td>9</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上記歩掛には不達孔（削孔ロス）を含み、不達孔の有無にかかわらず適用出来るものとする。 2. コアボーリングマシンの諸雑費は削孔機損料、水中ポンプ損料、コアボーリングマシン固定用アンカー打込みに必要な費用及び電力に関する経費であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 3. コアボーリングマシンの施工に伴う泥水処理(産業廃棄物の運搬、処理費)が必要な場合は、別途計上する。 4. 足場が必要な場合は、別途計上する。</p> <p>4-2 コアボーリングマシンの使用ビット径 コアボーリングマシンの適用削孔径に対する使用ビット径は次表を標準とする。 表 4.2 適用削孔径と使用ビット径</p> <table border="1" data-bbox="324 774 1102 906"> <thead> <tr> <th>適用削孔径 (mm)</th> <th>27以下</th> <th>27を超え33以下</th> <th>33を超え40以下</th> <th>40を超え53以下</th> <th>53を超え64以下</th> <th>64を超え77以下</th> <th>77を超え90以下</th> <th>90を超え110以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>使用ビット径 (mm)</td> <td>27.6</td> <td>33.1</td> <td>40.0</td> <td>53.1</td> <td>64.7</td> <td>77.4</td> <td>90.8</td> <td>110</td> </tr> </tbody> </table> <p>4-3 コンクリート削孔工（ハンマドリル、さく岩機） 杵座拡幅、コンクリートブロックによる落橋防止等のさし筋におけるコンクリート削孔に適用するものとし、削孔機械1台当りの施工歩掛は次表を標準とする。 表 4.3 コンクリート削孔歩掛 (1日当り)</p> <table border="1" data-bbox="340 1013 1086 1236"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">削孔機械名</th> <th colspan="2">ハンマドリル</th> <th colspan="2">さく岩機（ハンドハンマ）</th> </tr> <tr> <th colspan="2">削孔径(mm)</th> <th colspan="2">削孔径(mm)</th> </tr> <tr> <th colspan="2">単位</th> <th colspan="2">20以上30以下</th> <th colspan="2">20以上50以下</th> </tr> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th colspan="2">削孔径(mm)</th> <th colspan="2">削孔径(mm)</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>200以下</th> <th>200を超え500以下</th> <th colspan="2">500を超え800以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td>人</td> <td colspan="2">1</td> <td colspan="2">1</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td>＃</td> <td colspan="2">1</td> <td colspan="2">2</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>%</td> <td colspan="2">15</td> <td colspan="2">19</td> </tr> <tr> <td>日 当 り 施 工 量 (D)</td> <td>孔</td> <td colspan="2">84</td> <td colspan="2">48</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">38</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上記歩掛には不達孔（削孔ロス）を含み、不達孔の有無にかかわらず適用出来るものとする。 2. 上方向のコンクリート削孔には適用しない。 3. ハンマドリルの諸雑費はビット、ハンマドリル損料及び電力に関する経費であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 4. さく岩機の諸雑費はロッド、ビット、さく岩機損料及び空気圧縮機の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 5. 足場が必要な場合は、別途計上する。</p>	削孔機械名		コアボーリングマシン					削孔径(mm)		削孔径(mm)			単位		50以下		50を超え110以下			名称		500以下	500を超え1000以下	500以下	500を超え1000以下	1000を超え1300以下	世 話 役	人	1					特 殊 作 業 員	＃	1					ダイヤモンドビット(N)	個	2.2	1.8	1.3	1.3	1.3	諸 雑 費 率	%	13	11	11	11	11	日 当 り 施 工 量 (D)	孔	20	12	11	9	6	適用削孔径 (mm)	27以下	27を超え33以下	33を超え40以下	40を超え53以下	53を超え64以下	64を超え77以下	77を超え90以下	90を超え110以下	使用ビット径 (mm)	27.6	33.1	40.0	53.1	64.7	77.4	90.8	110	削孔機械名		ハンマドリル		さく岩機（ハンドハンマ）		削孔径(mm)		削孔径(mm)		単位		20以上30以下		20以上50以下		名称		削孔径(mm)		削孔径(mm)				200以下	200を超え500以下	500を超え800以下		世 話 役	人	1		1		特 殊 作 業 員	＃	1		2		諸 雑 費 率	%	15		19		日 当 り 施 工 量 (D)	孔	84		48						38		<p>現行どおり</p>
削孔機械名				コアボーリングマシン																																																																																																																																							
		削孔径(mm)		削孔径(mm)																																																																																																																																							
単位		50以下		50を超え110以下																																																																																																																																							
名称		500以下	500を超え1000以下	500以下	500を超え1000以下	1000を超え1300以下																																																																																																																																					
世 話 役	人	1																																																																																																																																									
特 殊 作 業 員	＃	1																																																																																																																																									
ダイヤモンドビット(N)	個	2.2	1.8	1.3	1.3	1.3																																																																																																																																					
諸 雑 費 率	%	13	11	11	11	11																																																																																																																																					
日 当 り 施 工 量 (D)	孔	20	12	11	9	6																																																																																																																																					
適用削孔径 (mm)	27以下	27を超え33以下	33を超え40以下	40を超え53以下	53を超え64以下	64を超え77以下	77を超え90以下	90を超え110以下																																																																																																																																			
使用ビット径 (mm)	27.6	33.1	40.0	53.1	64.7	77.4	90.8	110																																																																																																																																			
削孔機械名		ハンマドリル		さく岩機（ハンドハンマ）																																																																																																																																							
		削孔径(mm)		削孔径(mm)																																																																																																																																							
単位		20以上30以下		20以上50以下																																																																																																																																							
名称		削孔径(mm)		削孔径(mm)																																																																																																																																							
		200以下	200を超え500以下	500を超え800以下																																																																																																																																							
世 話 役	人	1		1																																																																																																																																							
特 殊 作 業 員	＃	1		2																																																																																																																																							
諸 雑 費 率	%	15		19																																																																																																																																							
日 当 り 施 工 量 (D)	孔	84		48																																																																																																																																							
				38																																																																																																																																							

土木工事標準歩掛の一部改定
落橋防止装置工

工種名	現 行	改 定																																								
落橋防止装置工	<p>4-4 アンカー工 (1) アンカー工は、孔内清掃、エポキシ樹脂系注入材（現場調合式）によるアンカー定着までの作業を含み、歩掛は次表とする。なお、PC 中間貫通鋼材や沓座幅のアンカーボルト挿入工、注入材が不要なアンカー材及びその他の注入材には適用しない。</p> <p style="text-align: center;">表 4.4 アンカー工歩掛 (1日当り)</p> <table border="1" data-bbox="293 363 1135 577"> <thead> <tr> <th rowspan="2">適用アンカー径(mm)</th> <th colspan="3">編成人員 (人)</th> <th rowspan="2">諸雑費率 (%)</th> <th colspan="2">日当り施工量D(本/日)</th> </tr> <tr> <th>世 話 役</th> <th>特殊作業員</th> <th>普通作業員</th> <th>下方向</th> <th>横方向</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アンカー径 25 以下</td> <td rowspan="5" style="text-align: center;">1</td> <td rowspan="5" style="text-align: center;">2</td> <td rowspan="5" style="text-align: center;">1</td> <td rowspan="5" style="text-align: center;">0.1(1)</td> <td style="text-align: center;">68</td> <td style="text-align: center;">53</td> </tr> <tr> <td>アンカー径 25 を超え 40 以下</td> <td style="text-align: center;">51</td> <td style="text-align: center;">36</td> </tr> <tr> <td>アンカー径 40 を超え 55 以下</td> <td style="text-align: center;">37</td> <td style="text-align: center;">24</td> </tr> <tr> <td>アンカー径 55 を超え 70 以下</td> <td style="text-align: center;">26</td> <td style="text-align: center;">15</td> </tr> <tr> <td>アンカー径 70 を超え 85 以下</td> <td style="text-align: center;">18</td> <td style="text-align: center;">9</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 諸雑費は、集塵機損料及びエポキシ樹脂系シーリング材の費用とし、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。なお、横方向におけるアンカー施工の場合は () 内の率とする。 2. 上方向のアンカー打込みの場合は、別途考慮する。</p> <p>(2) 注入材使用量 エポキシ樹脂系注入材を標準とし、100 本当りの注入材使用量は次式による。 使用量(kg) = $(D^2 - d^2) \times \pi \times 1/4 \times \ell \times 100 \text{本} \times M \times (1 + K)$ (kg/100 本) ……式 4.1 D : 削孔径 (m) d : アンカー材径 (m) ℓ : 削孔深 (m) M : 単位質量は 1,200kg/m³ とする。 K : ロス率は +0.15 とする。</p> <p>4-5 充填補修 (1) 不達孔の充填補修歩掛は次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表 4.5 充填補修歩掛 (1日当り)</p> <table border="1" data-bbox="421 954 1010 1070"> <thead> <tr> <th rowspan="3">充 填 補 修</th> <th colspan="2">編成人員 (人)</th> <th rowspan="2">日当り施工量 D (孔/日)</th> </tr> <tr> <th>世話役</th> <th>普通作業員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">59</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 補修材使用量 セメント系グラウト材を標準とし、100 孔当りの注入材使用量は次式による。 使用量(kg) = $(D^2 \times \pi \times 1/4 \times \ell \times 100 \text{孔}) \times M \times (1 + K)$ (kg/100 孔) ……式 4.2 D : 削孔径 (m) ℓ : 削孔深 (m) M : 単位質量は 1,875kg/m³ とする。 K : ロス率は +0.15 とする。</p>	適用アンカー径(mm)	編成人員 (人)			諸雑費率 (%)	日当り施工量D(本/日)		世 話 役	特殊作業員	普通作業員	下方向	横方向	アンカー径 25 以下	1	2	1	0.1(1)	68	53	アンカー径 25 を超え 40 以下	51	36	アンカー径 40 を超え 55 以下	37	24	アンカー径 55 を超え 70 以下	26	15	アンカー径 70 を超え 85 以下	18	9	充 填 補 修	編成人員 (人)		日当り施工量 D (孔/日)	世話役	普通作業員	1	1	59	<p>現行どおり</p>
適用アンカー径(mm)	編成人員 (人)			諸雑費率 (%)	日当り施工量D(本/日)																																					
	世 話 役	特殊作業員	普通作業員		下方向	横方向																																				
アンカー径 25 以下	1	2	1	0.1(1)	68	53																																				
アンカー径 25 を超え 40 以下					51	36																																				
アンカー径 40 を超え 55 以下					37	24																																				
アンカー径 55 を超え 70 以下					26	15																																				
アンカー径 70 を超え 85 以下					18	9																																				
充 填 補 修	編成人員 (人)		日当り施工量 D (孔/日)																																							
	世話役	普通作業員																																								
	1	1	59																																							

土木工事標準歩掛の一部改定
落橋防止装置工

工種名	現 行	改 定																																																																																																																								
落橋防止装置工	<p>5. 単 価 表</p> <p>(1) コアボーリングマシン 100孔当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="327 277 1095 526"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>100/D×1</td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>100/D×1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>コアボーリングマシン用ビット</td> <td>ダイヤモンドビット</td> <td>個</td> <td>100/D×N</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. D: 日当り施工量 (孔/日) 2. N: 日当りビット使用量 (個/日)</p> <p>(2) ハンマドリル 100孔当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="327 619 1104 815"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>100/D×1</td> <td>表4.3</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>100/D×1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D: 日当り施工量 (孔/日)</p> <p>(3) さく岩機 100孔当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="327 890 1095 1086"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>100/D×1</td> <td>表4.3</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>100/D×2</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D: 日当り施工量 (孔/日)</p> <p>(4) アンカー工 100本当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="327 1161 1097 1474"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>100/D×1</td> <td>表4.4</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>100/D×2</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>100/D×1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>アンカー材材料費</td> <td></td> <td>本</td> <td>100</td> <td></td> </tr> <tr> <td>注 入 材</td> <td>エポキシ樹脂材</td> <td>kg</td> <td></td> <td>式4.1</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表4.4</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D: 日当り施工量 (本/日)</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	100/D×1	表4.1	特 殊 作 業 員		〃	100/D×1	〃	コアボーリングマシン用ビット	ダイヤモンドビット	個	100/D×N	〃	諸 雑 費		式	1	〃	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	100/D×1	表4.3	特 殊 作 業 員		〃	100/D×1	〃	諸 雑 費		式	1	〃	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	100/D×1	表4.3	特 殊 作 業 員		〃	100/D×2	〃	諸 雑 費		式	1	〃	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	100/D×1	表4.4	特 殊 作 業 員		〃	100/D×2	〃	普 通 作 業 員		〃	100/D×1	〃	アンカー材材料費		本	100		注 入 材	エポキシ樹脂材	kg		式4.1	諸 雑 費		式	1	表4.4	計					<p>現行どおり</p>
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																						
世 話 役		人	100/D×1	表4.1																																																																																																																						
特 殊 作 業 員		〃	100/D×1	〃																																																																																																																						
コアボーリングマシン用ビット	ダイヤモンドビット	個	100/D×N	〃																																																																																																																						
諸 雑 費		式	1	〃																																																																																																																						
計																																																																																																																										
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																						
世 話 役		人	100/D×1	表4.3																																																																																																																						
特 殊 作 業 員		〃	100/D×1	〃																																																																																																																						
諸 雑 費		式	1	〃																																																																																																																						
計																																																																																																																										
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																						
世 話 役		人	100/D×1	表4.3																																																																																																																						
特 殊 作 業 員		〃	100/D×2	〃																																																																																																																						
諸 雑 費		式	1	〃																																																																																																																						
計																																																																																																																										
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																						
世 話 役		人	100/D×1	表4.4																																																																																																																						
特 殊 作 業 員		〃	100/D×2	〃																																																																																																																						
普 通 作 業 員		〃	100/D×1	〃																																																																																																																						
アンカー材材料費		本	100																																																																																																																							
注 入 材	エポキシ樹脂材	kg		式4.1																																																																																																																						
諸 雑 費		式	1	表4.4																																																																																																																						
計																																																																																																																										

土木工事標準歩掛の一部改定
落橋防止装置工

工種名	現 行	改 定																														
落橋防止装置工	<p>(5) 充填補修100孔当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">名 称</th> <th style="width: 20%;">規 格</th> <th style="width: 10%;">単 位</th> <th style="width: 10%;">数 量</th> <th style="width: 30%;">摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>100/D×1</td> <td>表4.5</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>100/D×1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>充 填 材</td> <td>セメント系</td> <td>kg</td> <td></td> <td>式4.2</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D：日当り施工量(孔/日)</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	100/D×1	表4.5	普 通 作 業 員		〃	100/D×1	〃	充 填 材	セメント系	kg		式4.2	諸 雑 費		式	1		計					<p>現行どおり</p>
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																												
世 話 役		人	100/D×1	表4.5																												
普 通 作 業 員		〃	100/D×1	〃																												
充 填 材	セメント系	kg		式4.2																												
諸 雑 費		式	1																													
計																																

土木工事標準歩掛の一部改定
道路除雪工

工種名	現 行	改 定
道路維持修繕 道路除雪工	<p>道路除雪工</p> <p>1. 適用範囲</p> <p>本積算資料は、道路除雪作業のうち、次に示す工種区分に適用する。 ただし、人力除雪には適用しない。</p> <p>なお、積算資料は、標準の値を示したものであり、これにより難しい場合は別途算定することが出来る。</p> <p>2. 工種区分</p> <p>2-1 施工概要</p> <p>施工フローは、下記を標準とする。</p> <pre> graph LR A[降雪] --- B[新雪除雪] A --- C[歩道除雪] A --- D[凍結防止] A --- E[待機] B --- F[路面整正] F --- G[拡幅除雪] F --- H[圧雪処理] G --- I[運搬除雪] H --- I </pre> <p>(注) 1. 上記フローは標準的な施工の流れを表したものであり、沿道条件・積雪条件等により異なる。 2. 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。</p> <p>2-2 工種区分</p> <p>(1) 一般除雪</p> <p>新雪除雪</p> <p>新雪を除雪車により路側へ排除する作業をいい、除雪の対象となる雪は、車両などにより圧縮されたり乱されたりする度合も少なく、また結晶同士の結びつきも小さく、比較的高速作業をなし得る状態にある場合をいう。</p> <p>拡幅除雪</p> <p>幅員の確保ならびに次の除雪に備えて、路側に堆積された雪及び地ふぶきによる吹きだまりを、さらに外側に排除する作業をいう。</p> <p>路面整正</p> <p>路面上に残された雪の不陸整正、横断こう配の整形等の作業で、路面上の雪厚も比較的小さく、また、1回の整正厚も薄く、反復整形作業のほとんど伴わない作業をいう。</p> <p>圧雪処理（氷盤処理）</p> <p>路面上に成長した圧雪または氷盤を、除去または削整する作業をいい、専用機械による除去作業のほか反復作業となることが多い。</p> <p>(2) 運搬除雪</p> <p>人家連亘部等で、路側への拡幅作業が困難となった場合、又はその恐れがある場合で堆積した雪を、他の地点に運搬排除する作業をいう。</p> <p>(3) 凍結防止</p> <p>路面上の雪の凍結防止、車両のすべり防止のため砂、凍結防止剤の散布を行う作業で路面整正、氷盤処理の際の補助散布等の作業形態もある。</p> <p>(4) 歩道除雪</p> <p>歩道上の雪を除く作業をいう。</p>	<p>現行どおり</p>

土木工事標準歩掛の一部改定
道路除雪工

工種名	現 行		改 定																																						
	<p>3. 機種を選定 3-1 機種を選定 各工種において使用する機種は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 機種を選定</p> <table border="1" data-bbox="322 352 1099 1497"> <thead> <tr> <th>工種</th> <th>作業条件</th> <th>機械・規格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">新雪除雪</td> <td>標 準</td> <td>除雪グレーダ・排出ガス対策型(第○次基準値) 3.7m, 4.0m, 4.3m級 除雪トラック(ワンウェイブラウ付) 7 t 級</td> </tr> <tr> <td>幅員の狭い 場合又は 積雪量の 小さい場合</td> <td>除雪グレーダ・排出ガス対策型(第○次基準値) 3.7m級 除雪トラック(ワンウェイブラウ付) 7 t 級</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">拡幅除雪</td> <td>雪堤の 低い場合</td> <td>除雪トラック(ワンウェイブラウ付) 7 t 級 除雪グレーダ・排出ガス対策型(第○次基準値) 3.7m, 4.0m, 4.3m級</td> </tr> <tr> <td>雪堤の 高い場合</td> <td>除雪トラック(サンドウィング付) 10 t 級 除雪グレーダ・排出ガス対策型(第○次基準値) 3.7m, 4.0m, 4.3m級 ロータリ除雪車・排出ガス対策型(第○次基準値) 160~290kW(220~400PS) 級</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">路面整正</td> <td>標 準</td> <td>除雪グレーダ・排出ガス対策型(第○次基準値) 3.7m, 4.0m, 4.3m級</td> </tr> <tr> <td>柔らかい雪, サクレ状の雪 の場合</td> <td>除雪グレーダの代用又は補助として 除雪トラック 7 t 級 除雪トラック(路面整正装置付) 7 t 級</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">圧雪処理 (氷盤処理)</td> <td>標 準</td> <td>除雪グレーダ・排出ガス対策型(第○次基準値) 3.7m, 4.0m, 4.3m級</td> </tr> <tr> <td>軽度な場合 特に硬い氷盤</td> <td>除雪ドーザ・排出ガス対策型(第○次基準値) 氷盤破砕装置</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">運搬除雪</td> <td>幅員の広い 場合</td> <td>ロータリ除雪車・排出ガス対策型(第○次基準値) 160~290kW(220~400PS) 級 +ダンプトラック 10 t 積級 又は、除雪ドーザ(山積1.2~2.2?)・排出ガス対策型(第○次基準値) +ダンプトラック 10 t 積級</td> </tr> <tr> <td>幅員の狭い 場所、交通量 が特に多い 場合</td> <td>一車線積込除雪車(ロータリ式)・排出ガス対策型(第○次基準値) +ダンプトラック 8 t 積級</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">凍結防止</td> <td>砂 砂、薬剤混合</td> <td>砂散布機・架装車(マテリアルスプレッダ)</td> </tr> <tr> <td>薬剤 薬液</td> <td>凍結防止剤散布車 散水車</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">歩道除雪</td> <td>歩道幅員 (1.5m程度以上)</td> <td>小型除雪車・排出ガス対策型(第○次基準値) (ロータリ車29~90kW(40~130PS) 級)</td> </tr> <tr> <td>歩道幅員 (1.2m程度以上)</td> <td>小型除雪機 (ハンドガイド式7~22kW(10~30PS) 級)</td> </tr> </tbody> </table>		工種	作業条件	機械・規格	新雪除雪	標 準	除雪グレーダ・排出ガス対策型(第○次基準値) 3.7m, 4.0m, 4.3m級 除雪トラック(ワンウェイブラウ付) 7 t 級	幅員の狭い 場合又は 積雪量の 小さい場合	除雪グレーダ・排出ガス対策型(第○次基準値) 3.7m級 除雪トラック(ワンウェイブラウ付) 7 t 級	拡幅除雪	雪堤の 低い場合	除雪トラック(ワンウェイブラウ付) 7 t 級 除雪グレーダ・排出ガス対策型(第○次基準値) 3.7m, 4.0m, 4.3m級	雪堤の 高い場合	除雪トラック(サンドウィング付) 10 t 級 除雪グレーダ・排出ガス対策型(第○次基準値) 3.7m, 4.0m, 4.3m級 ロータリ除雪車・排出ガス対策型(第○次基準値) 160~290kW(220~400PS) 級	路面整正	標 準	除雪グレーダ・排出ガス対策型(第○次基準値) 3.7m, 4.0m, 4.3m級	柔らかい雪, サクレ状の雪 の場合	除雪グレーダの代用又は補助として 除雪トラック 7 t 級 除雪トラック(路面整正装置付) 7 t 級	圧雪処理 (氷盤処理)	標 準	除雪グレーダ・排出ガス対策型(第○次基準値) 3.7m, 4.0m, 4.3m級	軽度な場合 特に硬い氷盤	除雪ドーザ・排出ガス対策型(第○次基準値) 氷盤破砕装置	運搬除雪	幅員の広い 場合	ロータリ除雪車・排出ガス対策型(第○次基準値) 160~290kW(220~400PS) 級 +ダンプトラック 10 t 積級 又は、除雪ドーザ(山積1.2~2.2?)・排出ガス対策型(第○次基準値) +ダンプトラック 10 t 積級	幅員の狭い 場所、交通量 が特に多い 場合	一車線積込除雪車(ロータリ式)・排出ガス対策型(第○次基準値) +ダンプトラック 8 t 積級	凍結防止	砂 砂、薬剤混合	砂散布機・架装車(マテリアルスプレッダ)	薬剤 薬液	凍結防止剤散布車 散水車	歩道除雪	歩道幅員 (1.5m程度以上)	小型除雪車・排出ガス対策型(第○次基準値) (ロータリ車29~90kW(40~130PS) 級)	歩道幅員 (1.2m程度以上)	小型除雪機 (ハンドガイド式7~22kW(10~30PS) 級)	<p>現行どおり</p>
工種	作業条件	機械・規格																																							
新雪除雪	標 準	除雪グレーダ・排出ガス対策型(第○次基準値) 3.7m, 4.0m, 4.3m級 除雪トラック(ワンウェイブラウ付) 7 t 級																																							
	幅員の狭い 場合又は 積雪量の 小さい場合	除雪グレーダ・排出ガス対策型(第○次基準値) 3.7m級 除雪トラック(ワンウェイブラウ付) 7 t 級																																							
拡幅除雪	雪堤の 低い場合	除雪トラック(ワンウェイブラウ付) 7 t 級 除雪グレーダ・排出ガス対策型(第○次基準値) 3.7m, 4.0m, 4.3m級																																							
	雪堤の 高い場合	除雪トラック(サンドウィング付) 10 t 級 除雪グレーダ・排出ガス対策型(第○次基準値) 3.7m, 4.0m, 4.3m級 ロータリ除雪車・排出ガス対策型(第○次基準値) 160~290kW(220~400PS) 級																																							
路面整正	標 準	除雪グレーダ・排出ガス対策型(第○次基準値) 3.7m, 4.0m, 4.3m級																																							
	柔らかい雪, サクレ状の雪 の場合	除雪グレーダの代用又は補助として 除雪トラック 7 t 級 除雪トラック(路面整正装置付) 7 t 級																																							
圧雪処理 (氷盤処理)	標 準	除雪グレーダ・排出ガス対策型(第○次基準値) 3.7m, 4.0m, 4.3m級																																							
	軽度な場合 特に硬い氷盤	除雪ドーザ・排出ガス対策型(第○次基準値) 氷盤破砕装置																																							
運搬除雪	幅員の広い 場合	ロータリ除雪車・排出ガス対策型(第○次基準値) 160~290kW(220~400PS) 級 +ダンプトラック 10 t 積級 又は、除雪ドーザ(山積1.2~2.2?)・排出ガス対策型(第○次基準値) +ダンプトラック 10 t 積級																																							
	幅員の狭い 場所、交通量 が特に多い 場合	一車線積込除雪車(ロータリ式)・排出ガス対策型(第○次基準値) +ダンプトラック 8 t 積級																																							
凍結防止	砂 砂、薬剤混合	砂散布機・架装車(マテリアルスプレッダ)																																							
	薬剤 薬液	凍結防止剤散布車 散水車																																							
歩道除雪	歩道幅員 (1.5m程度以上)	小型除雪車・排出ガス対策型(第○次基準値) (ロータリ車29~90kW(40~130PS) 級)																																							
	歩道幅員 (1.2m程度以上)	小型除雪機 (ハンドガイド式7~22kW(10~30PS) 級)																																							

土木工事標準歩掛の一部改定
道路除雪工

工種名	現 行	改 定																						
	<p>3-2 作業形態 各工種における作業形態は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 作業形態</p> <table border="1" data-bbox="322 360 1099 1313"> <thead> <tr> <th data-bbox="322 360 434 392">工種</th> <th data-bbox="434 360 613 392">作業条件</th> <th data-bbox="613 360 1099 392">作業形態</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="322 392 434 563" rowspan="2">新雪除雪</td> <td data-bbox="434 392 613 432">幅員の狭い場合</td> <td data-bbox="613 392 1099 432">除雪トラック、除雪グレーダによる単独作業が多い。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="434 432 613 563">幅員の広い場合</td> <td data-bbox="613 432 1099 563">除雪トラック、除雪グレーダによる単独作業及び1台で所定幅員が確保できない場合は除雪トラック、除雪グレーダによる雁行組合せ作業も多い（当該地域の保有台数及び地域条件により規格を使い分ける）。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="322 563 434 871" rowspan="2">拡幅除雪</td> <td data-bbox="434 563 613 667">雪堤の低い場合</td> <td data-bbox="613 563 1099 667">除雪トラック、除雪グレーダによる単独作業が多いが新雪除雪作業と兼ねて行う場合は雁行作業もとられる。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="434 667 613 871">雪堤の高い場合</td> <td data-bbox="613 667 1099 871">除雪トラック、除雪グレーダのサイドウィングによる単独の雪堤段切作業がとられる。 又、ロータリ除雪車による放雪作業が多いが除雪トラック、除雪グレーダのサイドウィング（マックレー法）とロータリ除雪車の組合せ作業もある。なお、山間部等の特殊な場合は除雪ドーザの作業もある。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="322 871 434 970">路面整正</td> <td data-bbox="434 871 613 970"></td> <td data-bbox="613 871 1099 970">除雪グレーダによる単独作業が多い。 新雪除雪、拡幅除雪と兼ねて行う場合は除雪グレーダ、除雪トラックと組合せて雁行作業も行う。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="322 970 434 1246">運搬除雪</td> <td data-bbox="434 970 613 1246"></td> <td data-bbox="613 970 1099 1246">積込障害の多い場合及び歩道の排雪もかねて行う場合等は、堆積の切崩集雪用補助機械として除雪グレーダや除雪ドーザが組合せられる場合が多い。捨場の状況に応じて除雪ドーザやロータリ除雪車を配置する場合がある。 又、幅員が狭い場合、又は交通量の特に多い場合は一車線積込除雪車による一車線積込方式がある。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="322 1246 434 1313">歩道除雪</td> <td data-bbox="434 1246 613 1313"></td> <td data-bbox="613 1246 1099 1313">小型除雪車等を歩道上に直接乗り入れて行う方法が一般的である。</td> </tr> </tbody> </table>	工種	作業条件	作業形態	新雪除雪	幅員の狭い場合	除雪トラック、除雪グレーダによる単独作業が多い。	幅員の広い場合	除雪トラック、除雪グレーダによる単独作業及び1台で所定幅員が確保できない場合は除雪トラック、除雪グレーダによる雁行組合せ作業も多い（当該地域の保有台数及び地域条件により規格を使い分ける）。	拡幅除雪	雪堤の低い場合	除雪トラック、除雪グレーダによる単独作業が多いが新雪除雪作業と兼ねて行う場合は雁行作業もとられる。	雪堤の高い場合	除雪トラック、除雪グレーダのサイドウィングによる単独の雪堤段切作業がとられる。 又、ロータリ除雪車による放雪作業が多いが除雪トラック、除雪グレーダのサイドウィング（マックレー法）とロータリ除雪車の組合せ作業もある。なお、山間部等の特殊な場合は除雪ドーザの作業もある。	路面整正		除雪グレーダによる単独作業が多い。 新雪除雪、拡幅除雪と兼ねて行う場合は除雪グレーダ、除雪トラックと組合せて雁行作業も行う。	運搬除雪		積込障害の多い場合及び歩道の排雪もかねて行う場合等は、堆積の切崩集雪用補助機械として除雪グレーダや除雪ドーザが組合せられる場合が多い。捨場の状況に応じて除雪ドーザやロータリ除雪車を配置する場合がある。 又、幅員が狭い場合、又は交通量の特に多い場合は一車線積込除雪車による一車線積込方式がある。	歩道除雪		小型除雪車等を歩道上に直接乗り入れて行う方法が一般的である。	<p style="text-align: center;">現行どおり</p>
工種	作業条件	作業形態																						
新雪除雪	幅員の狭い場合	除雪トラック、除雪グレーダによる単独作業が多い。																						
	幅員の広い場合	除雪トラック、除雪グレーダによる単独作業及び1台で所定幅員が確保できない場合は除雪トラック、除雪グレーダによる雁行組合せ作業も多い（当該地域の保有台数及び地域条件により規格を使い分ける）。																						
拡幅除雪	雪堤の低い場合	除雪トラック、除雪グレーダによる単独作業が多いが新雪除雪作業と兼ねて行う場合は雁行作業もとられる。																						
	雪堤の高い場合	除雪トラック、除雪グレーダのサイドウィングによる単独の雪堤段切作業がとられる。 又、ロータリ除雪車による放雪作業が多いが除雪トラック、除雪グレーダのサイドウィング（マックレー法）とロータリ除雪車の組合せ作業もある。なお、山間部等の特殊な場合は除雪ドーザの作業もある。																						
路面整正		除雪グレーダによる単独作業が多い。 新雪除雪、拡幅除雪と兼ねて行う場合は除雪グレーダ、除雪トラックと組合せて雁行作業も行う。																						
運搬除雪		積込障害の多い場合及び歩道の排雪もかねて行う場合等は、堆積の切崩集雪用補助機械として除雪グレーダや除雪ドーザが組合せられる場合が多い。捨場の状況に応じて除雪ドーザやロータリ除雪車を配置する場合がある。 又、幅員が狭い場合、又は交通量の特に多い場合は一車線積込除雪車による一車線積込方式がある。																						
歩道除雪		小型除雪車等を歩道上に直接乗り入れて行う方法が一般的である。																						

土木工事標準歩掛の一部改定
道路除雪工

工種名	現 行	改 定																													
	<p>4. 除雪作業量</p> <p>4-1 一般除雪・運搬除雪・歩道除雪・凍結防止 一般除雪・運搬除雪・歩道除雪・凍結防止の各作業量の算定は、除雪機械等の実作業時間による。</p> <p>4-2 凍結防止 (1) 凍結防止剤の散布量は過去の実績を基に推定するものとし、実散布量にて精算を行うものとする。 (2) 凍結防止剤散布車への袋詰薬剤（20～30kg/袋程度）の積込（開封・積込・清掃）歩掛は、普通作業員0.1人/tとする。 (3) 凍結防止剤の散布を人力で行う歩掛は、表4.1による。</p> <p style="text-align: center;">表4.1 凍結防止剤人力散布歩掛 (1 t 当り)</p> <table border="1" data-bbox="320 700 1043 796"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>6.7</td> </tr> <tr> <td>トラック運転</td> <td>2 t 積</td> <td>日</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>4-3 スノーポール設置撤去 スノーポールの設置及び撤去の歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.2 スノーポール設置撤去歩掛 (100本当り)</p> <table border="1" data-bbox="320 917 1099 1042"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="2">数 量</th> </tr> <tr> <th>設 置</th> <th>撤 去</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>2.4</td> <td>2.1</td> </tr> <tr> <td>トラック運転</td> <td>2 t 積</td> <td>日</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表歩掛は、積雪寒冷地の冬期視線誘導対策として、既存の視線誘導標にスノーポールを取付ける「かぶせ型タイプ」に適用し、土中に差し込む「単柱型タイプ」の設置撤去及び「二段式デリニエータポール」等の引上げには適用しない。 2. 上表には、現場内における荷降し、荷積み及び小運搬を含む。 3. スノーポールの長さに関係なく上表を適用する。</p> <p>5. 運 転 労 務 5-1 適用職種 各除雪機械等運転労務の適用職種は、表5.1による。</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	普通作業員		人	6.7	トラック運転	2 t 積	日	1	名 称	規 格	単 位	数 量		設 置	撤 去	普通作業員		人	2.4	2.1	トラック運転	2 t 積	日	1	1	<p>現行どおり</p> <p>(2) 凍結防止剤散布車への袋詰薬剤（20～30kg/袋程度）の積込（開封・積込・清掃）歩掛は、普通作業員0.1人/tとする。 なお、上記により難い場合は、必要に応じて別途考慮する。</p> <p>現行どおり</p>
名 称	規 格	単 位	数 量																												
普通作業員		人	6.7																												
トラック運転	2 t 積	日	1																												
名 称	規 格	単 位	数 量																												
			設 置	撤 去																											
普通作業員		人	2.4	2.1																											
トラック運転	2 t 積	日	1	1																											

土木工事標準歩掛の一部改定
道路除雪工

工種名	現 行								改 定																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	表5.1 除雪機械等運転労務適用職種								表5.1 除雪機械等運転労務適用職種																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">機械名</th> <th rowspan="2">規格</th> <th rowspan="2">運転手 (特殊)</th> <th rowspan="2">運転手 (一般)</th> <th rowspan="2">助 手</th> <th colspan="2">機械付労務</th> <th rowspan="2">摘 要</th> </tr> <tr> <th>一般 世話役</th> <th>特殊 普通 作業員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>除雪トラック (普通・専用)</td><td>各 種</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>除雪グレーダ</td><td>各 種</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>除雪ドーザ (ホイール・クローラ)</td><td>各 種</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td>一般除雪</td></tr> <tr><td>ロータリ除雪車 (ホイール・クローラ)</td><td>160kW以上 (220PS以上) 級</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td>運搬除雪</td></tr> <tr><td rowspan="2">小型除雪車 (ホイール・クローラ)</td><td>29kW, 30kW (40PS) 級</td><td></td><td>○</td><td></td><td>○</td><td></td><td>○</td><td>(注) 2</td></tr> <tr><td>59~90kW (80~130PS) 級</td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td>○</td><td>(注) 2</td></tr> <tr><td>一車線積込除雪車</td><td>ロータリ式各種</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>ダンプトラック</td><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>凍結防止剤散布車</td><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>砂散布機・架装車 (マテリアルスプレッダ)</td><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td>(注) 3</td></tr> <tr><td>散水車</td><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>小型除雪機 (ハンドガイド式)</td><td>7~22kW (10~30PS) 級</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>(注) 4</td></tr> <tr><td>路面整正装置 (除雪トラック)</td><td>各 種</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>凍結防止剤散布装置 (トラック)</td><td>各 種</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	機械名	規格	運転手 (特殊)	運転手 (一般)	助 手	機械付労務		摘 要	一般 世話役	特殊 普通 作業員	除雪トラック (普通・専用)	各 種		○	○	○				除雪グレーダ	各 種	○		○	○				除雪ドーザ (ホイール・クローラ)	各 種	○		○	○			一般除雪	ロータリ除雪車 (ホイール・クローラ)	160kW以上 (220PS以上) 級	○		○	○			運搬除雪	小型除雪車 (ホイール・クローラ)	29kW, 30kW (40PS) 級		○		○		○	(注) 2	59~90kW (80~130PS) 級	○			○		○	(注) 2	一車線積込除雪車	ロータリ式各種	○		○	○				ダンプトラック			○						凍結防止剤散布車			○	○					砂散布機・架装車 (マテリアルスプレッダ)			○				○	(注) 3	散水車			○	○					小型除雪機 (ハンドガイド式)	7~22kW (10~30PS) 級					○	○	(注) 4	路面整正装置 (除雪トラック)	各 種		○	○	○				凍結防止剤散布装置 (トラック)	各 種		○	○					<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">機械名</th> <th rowspan="2">規格</th> <th colspan="2">運転手</th> <th colspan="2">助手</th> <th rowspan="2">世話役 土木一般 世話役</th> <th colspan="2">機械付労務</th> <th rowspan="2">摘 要</th> </tr> <tr> <th>運転手 (特殊)</th> <th>運転手 (一般)</th> <th>特殊 作業員</th> <th>普通 作業員</th> <th>特殊 作業員</th> <th>普通 作業員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>除雪トラック (普通・専用)</td><td>各 種</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>除雪グレーダ</td><td>各 種</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>除雪ドーザ (ホイール・クローラ)</td><td>各 種</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td><td>一般除雪(注) 2</td></tr> <tr><td>ロータリ除雪車 (ホイール・クローラ)</td><td>160kW以上 (220PS以上) 級</td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td>運搬除雪(注) 2</td></tr> <tr><td rowspan="2">小型除雪車 (ホイール・クローラ)</td><td>29kW, 30kW (40PS) 級</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td>(注) 3</td></tr> <tr><td>59~90kW (80~130PS) 級</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td>(注) 3</td></tr> <tr><td>一車線積込除雪車</td><td>ロータリ式各種</td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>ダンプトラック</td><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>凍結防止剤散布車</td><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>砂散布機・架装車 (マテリアルスプレッダ)</td><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td>(注) 4</td></tr> <tr><td>散水車</td><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>小型除雪機 (ハンドガイド式)</td><td>7~22kW (10~30PS) 級</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td>(注) 5</td></tr> <tr><td>路面整正装置 (除雪トラック)</td><td>各 種</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>凍結防止剤散布装置 (トラック)</td><td>各 種</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	機械名	規格	運転手		助手		世話役 土木一般 世話役	機械付労務		摘 要	運転手 (特殊)	運転手 (一般)	特殊 作業員	普通 作業員	特殊 作業員	普通 作業員	除雪トラック (普通・専用)	各 種		○			○				除雪グレーダ	各 種	○				○	○			除雪ドーザ (ホイール・クローラ)	各 種	○				○	○		一般除雪(注) 2	ロータリ除雪車 (ホイール・クローラ)	160kW以上 (220PS以上) 級	○			○				運搬除雪(注) 2	小型除雪車 (ホイール・クローラ)	29kW, 30kW (40PS) 級		○				○		(注) 3	59~90kW (80~130PS) 級	○					○		(注) 3	一車線積込除雪車	ロータリ式各種	○			○					ダンプトラック			○							凍結防止剤散布車			○			○				砂散布機・架装車 (マテリアルスプレッダ)			○					○	(注) 4	散水車			○			○				小型除雪機 (ハンドガイド式)	7~22kW (10~30PS) 級							○	(注) 5	路面整正装置 (除雪トラック)	各 種		○			○	○			凍結防止剤散布装置 (トラック)	各 種		○			○			
	機械名						規格	運転手 (特殊)		運転手 (一般)	助 手	機械付労務		摘 要																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		一般 世話役	特殊 普通 作業員																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	除雪トラック (普通・専用)	各 種		○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	除雪グレーダ	各 種	○		○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	除雪ドーザ (ホイール・クローラ)	各 種	○		○	○			一般除雪																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	ロータリ除雪車 (ホイール・クローラ)	160kW以上 (220PS以上) 級	○		○	○			運搬除雪																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	小型除雪車 (ホイール・クローラ)	29kW, 30kW (40PS) 級		○		○		○	(注) 2																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		59~90kW (80~130PS) 級	○			○		○	(注) 2																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	一車線積込除雪車	ロータリ式各種	○		○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	ダンプトラック			○																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	凍結防止剤散布車			○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	砂散布機・架装車 (マテリアルスプレッダ)			○				○	(注) 3																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	散水車			○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	小型除雪機 (ハンドガイド式)	7~22kW (10~30PS) 級					○	○	(注) 4																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	路面整正装置 (除雪トラック)	各 種		○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	凍結防止剤散布装置 (トラック)	各 種		○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	機械名	規格	運転手		助手		世話役 土木一般 世話役	機械付労務		摘 要																																																																																																																																																																																																																																																																																										
			運転手 (特殊)	運転手 (一般)	特殊 作業員	普通 作業員		特殊 作業員	普通 作業員																																																																																																																																																																																																																																																																																											
除雪トラック (普通・専用)	各 種		○			○																																																																																																																																																																																																																																																																																														
除雪グレーダ	各 種	○				○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																													
除雪ドーザ (ホイール・クローラ)	各 種	○				○	○		一般除雪(注) 2																																																																																																																																																																																																																																																																																											
ロータリ除雪車 (ホイール・クローラ)	160kW以上 (220PS以上) 級	○			○				運搬除雪(注) 2																																																																																																																																																																																																																																																																																											
小型除雪車 (ホイール・クローラ)	29kW, 30kW (40PS) 級		○				○		(注) 3																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	59~90kW (80~130PS) 級	○					○		(注) 3																																																																																																																																																																																																																																																																																											
一車線積込除雪車	ロータリ式各種	○			○																																																																																																																																																																																																																																																																																															
ダンプトラック			○																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
凍結防止剤散布車			○			○																																																																																																																																																																																																																																																																																														
砂散布機・架装車 (マテリアルスプレッダ)			○					○	(注) 4																																																																																																																																																																																																																																																																																											
散水車			○			○																																																																																																																																																																																																																																																																																														
小型除雪機 (ハンドガイド式)	7~22kW (10~30PS) 級							○	(注) 5																																																																																																																																																																																																																																																																																											
路面整正装置 (除雪トラック)	各 種		○			○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																													
凍結防止剤散布装置 (トラック)	各 種		○			○																																																																																																																																																																																																																																																																																														
<p>(注) 1. 上表の助手は、安全確認作業等のため運転手とともに除雪機械に同乗する作業付労務である。</p> <p>2. 歩道除雪等においては、小型除雪車の補助作業員として必要に応じて計上出来る。 補助作業員の適用職種は普通作業員とし、運転1時間当たりn人/Tを計上する。</p> <p>3. 砂散布機架装車の補助作業員として、運転1時間当たり普通作業員2人/Tを計上する。</p> <p>4. 小型除雪機は運転員として特殊作業員を、補助作業員として普通作業員を運転1時間当たり各々1人/Tを計上する。</p> <p>5. 各除雪装置の職種は、ベースマシンの運転適用職種である。</p>	<p>(注) 1. 上表の助手は、安全確認作業等のため運転手とともに除雪機械に同乗する作業付労務である。</p> <p>2. 除雪ドーザの機種が1人乗りの場合は、普通作業員は計上しない。</p> <p>3. 歩道除雪等においては、小型除雪車の補助作業員として必要に応じて計上出来る。 補助作業員の適用職種は普通作業員とし、運転1時間当たりn人/Tを計上する。</p> <p>4. 砂散布機架装車の補助作業員として、運転1時間当たり普通作業員2人/Tを計上する。</p> <p>5. 小型除雪機は運転員として特殊作業員を、補助作業員として普通作業員を運転1時間当たり各々1人/Tを計上する。</p> <p>6. 各除雪装置の職種は、ベースマシンの運転適用職種である。</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
<p>5-2 労務歩掛</p>	<p>(1) 運転手, 助手</p>	<p>運転手, 助手の機械運転1時間当り労務歩掛は、次式による。</p>	$\text{歩掛} = \frac{1}{T} \text{ (人/h)}$	<p>(注) Tは運転日当り運転時間で請負工事機械経費積算要領第4第4項及び同第6の定めによる。</p>	<p>なお、Tは4~7時間について適用するものとし、Tが4時間未満の場合は4を、7時間を超える場合は7を使用する。</p>	<p>(2) 世話役</p>	<p>世話役の労務歩掛は、運転手の1/5を計上する。</p>	<p>(3) 普通作業員</p>	<p>運搬除雪においては、積込機械1台に組合わされる機械の1群に対して、補助作業員として3名を計上する。なお、状況に応じて員数を適宜増減させてもよい。 運搬除雪以外の工種については、助手が兼務することとして、とくに計上しないことを原則とする。</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																											
<p>5-2 労務歩掛</p>	<p>(1) 運転手, 助手</p>	<p>運転手, 助手の機械運転1時間当り労務歩掛は、次式による。</p>	$\text{歩掛} = \frac{1}{T} \text{ (人/h)}$	<p>(注) Tは運転日当り運転時間で請負工事機械経費積算要領第4第4項及び同第6の定めによる。</p>	<p>なお、Tは4~7時間について適用するものとし、Tが4時間未満の場合は4を、7時間を超える場合は7を使用する。</p>	<p>(2) 世話役</p>	<p>世話役の労務歩掛は、運転手の1/5を計上する。</p>	<p>(3) 普通作業員</p>	<p>運搬除雪においては、積込機械1台に組合わされる機械の1群に対して、補助作業員として3名を計上する。なお、状況に応じて員数を適宜増減させてもよい。 運搬除雪以外の工種については、助手が兼務することとして、とくに計上しないことを原則とする。</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																											

土木工事標準歩掛の一部改定
道路除雪工

工種名	現 行	改 定																																																																																																																																																															
	<p>6. 雪道巡回工</p> <p>6-1 適用職種 雪道巡回工における各巡回機械運転労務の適用職種は、表6.1による。</p> <p style="text-align:center;">表6.1 巡回機械運転労務適用職種</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align:center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">機械名</th> <th rowspan="2">規格</th> <th rowspan="2">運転手 (特殊)</th> <th rowspan="2">運転手 (一般)</th> <th rowspan="2">助 手</th> <th rowspan="2">一 般 世 話 役</th> <th colspan="2">機 械 付 労 務</th> <th rowspan="2">摘 要</th> </tr> <tr> <th>特 殊 作 業 員</th> <th>普 通 作 業 員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>パトロール車</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>凍結防止剤散布車</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 標準機種はパトロール車(ライトバン含む)とするが、沿道条件・気象条件等により、凍結防止剤散布車を選択することが出来る。</p> <p>6-2 労務歩掛</p> <p>(1) 運転手 雪道巡回工における運転手の巡回1回当り労務歩掛は、次式及び表6.2による。</p> $\text{歩掛} = \frac{T_r}{T} \text{ (人/回)}$ <p>(2) 世話役 雪道巡回工における世話役の巡回1回当り労務歩掛は、次式及び表6.2による。</p> $\text{歩掛} = \frac{T_r}{8} \text{ (人/回)}$ <p style="text-align:center;">表6.2 巡回1回当り巡回時間 (Tr)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align:center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">機 械 名</th> <th colspan="10">1 回 当 り 巡 回 距 離</th> </tr> <tr> <th>10km 以下</th> <th>25km 以下</th> <th>45km 以下</th> <th>60km 以下</th> <th>75km 以下</th> <th>95km 以下</th> <th>125km 以下</th> <th>160km 以下</th> <th>200km 以下</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>パトロール車</td> <td>0.5</td> <td>0.9</td> <td>1.3</td> <td>1.7</td> <td>2.1</td> <td>2.5</td> <td>2.9</td> <td>3.7</td> <td>4.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>凍結防止剤散布車</td> <td>0.5</td> <td>0.9</td> <td>1.3</td> <td>1.7</td> <td>2.1</td> <td>2.5</td> <td>2.9</td> <td>3.7</td> <td>4.5</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>7. 単価表</p> <p>(1) 巡回1回当り単価表</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align:center;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一 般 運 転 手</td> <td></td> <td>人</td> <td>Tr/T</td> <td></td> </tr> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>〃</td> <td>Tr/8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>機 械 損 料</td> <td></td> <td>h</td> <td>Tr</td> <td>パトロール車又は凍結防止剤散布車</td> </tr> <tr> <td>燃 料 費</td> <td></td> <td>ℓ</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 機械運転単価表</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align:center;"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ト ラ ッ ク (凍結防止剤人力散布)</td> <td>2 t 積</td> <td>機-22</td> <td>運転労務数量→0.40 燃料消費量→8 機械損料数量→2.21</td> </tr> <tr> <td>ト ラ ッ ク (スノーポール設置撤去)</td> <td>2 t 積</td> <td>機-22</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→26 機械損料数量→1.81</td> </tr> </tbody> </table>	機械名	規格	運転手 (特殊)	運転手 (一般)	助 手	一 般 世 話 役	機 械 付 労 務		摘 要	特 殊 作 業 員	普 通 作 業 員	パトロール車			○		○				凍結防止剤散布車			○		○				機 械 名	1 回 当 り 巡 回 距 離										10km 以下	25km 以下	45km 以下	60km 以下	75km 以下	95km 以下	125km 以下	160km 以下	200km 以下		パトロール車	0.5	0.9	1.3	1.7	2.1	2.5	2.9	3.7	4.5		凍結防止剤散布車	0.5	0.9	1.3	1.7	2.1	2.5	2.9	3.7	4.5		名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	一 般 運 転 手		人	Tr/T		世 話 役		〃	Tr/8		機 械 損 料		h	Tr	パトロール車又は凍結防止剤散布車	燃 料 費		ℓ		〃	諸 雑 費		式	1		計					機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	ト ラ ッ ク (凍結防止剤人力散布)	2 t 積	機-22	運転労務数量→0.40 燃料消費量→8 機械損料数量→2.21	ト ラ ッ ク (スノーポール設置撤去)	2 t 積	機-22	運転労務数量→1.00 燃料消費量→26 機械損料数量→1.81	<p>6. 雪道巡回工</p> <p>6-1 適用職種 雪道巡回工における各巡回機械運転労務の適用職種は、表6.1による。</p> <p style="text-align:center;">表6.1 巡回機械運転労務適用職種</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align:center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">機械名</th> <th rowspan="2">規格</th> <th colspan="2">運 転 手</th> <th colspan="2">助 手</th> <th colspan="2">世 話 役</th> <th colspan="2">機 械 付 労 務</th> <th rowspan="2">摘 要</th> </tr> <tr> <th>運 転 手 (特殊)</th> <th>運 転 手 (一般)</th> <th>特 殊 作 業 員</th> <th>普 通 作 業 員</th> <th>土 木 一 般 世 話 役</th> <th>特 殊 作 業 員</th> <th>普 通 作 業 員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>パトロール車</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>凍結防止剤散布車</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 標準機種はパトロール車(ライトバン含む)とするが、沿道条件・気象条件等により、凍結防止剤散布車を選択することが出来る。</p> <p style="text-align:center;">現行どおり</p>	機械名	規格	運 転 手		助 手		世 話 役		機 械 付 労 務		摘 要	運 転 手 (特殊)	運 転 手 (一般)	特 殊 作 業 員	普 通 作 業 員	土 木 一 般 世 話 役	特 殊 作 業 員	普 通 作 業 員	パトロール車			○				○				凍結防止剤散布車			○				○			
機械名	規格							運転手 (特殊)	運転手 (一般)		助 手	一 般 世 話 役	機 械 付 労 務		摘 要																																																																																																																																																		
		特 殊 作 業 員	普 通 作 業 員																																																																																																																																																														
パトロール車			○		○																																																																																																																																																												
凍結防止剤散布車			○		○																																																																																																																																																												
機 械 名	1 回 当 り 巡 回 距 離																																																																																																																																																																
	10km 以下	25km 以下	45km 以下	60km 以下	75km 以下	95km 以下	125km 以下	160km 以下	200km 以下																																																																																																																																																								
パトロール車	0.5	0.9	1.3	1.7	2.1	2.5	2.9	3.7	4.5																																																																																																																																																								
凍結防止剤散布車	0.5	0.9	1.3	1.7	2.1	2.5	2.9	3.7	4.5																																																																																																																																																								
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																													
一 般 運 転 手		人	Tr/T																																																																																																																																																														
世 話 役		〃	Tr/8																																																																																																																																																														
機 械 損 料		h	Tr	パトロール車又は凍結防止剤散布車																																																																																																																																																													
燃 料 費		ℓ		〃																																																																																																																																																													
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																																														
計																																																																																																																																																																	
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																																																																																																																																														
ト ラ ッ ク (凍結防止剤人力散布)	2 t 積	機-22	運転労務数量→0.40 燃料消費量→8 機械損料数量→2.21																																																																																																																																																														
ト ラ ッ ク (スノーポール設置撤去)	2 t 積	機-22	運転労務数量→1.00 燃料消費量→26 機械損料数量→1.81																																																																																																																																																														
機械名	規格	運 転 手		助 手		世 話 役		機 械 付 労 務		摘 要																																																																																																																																																							
		運 転 手 (特殊)	運 転 手 (一般)	特 殊 作 業 員	普 通 作 業 員	土 木 一 般 世 話 役	特 殊 作 業 員	普 通 作 業 員																																																																																																																																																									
パトロール車			○				○																																																																																																																																																										
凍結防止剤散布車			○				○																																																																																																																																																										

土木工事標準歩掛の一部改定
電線共同溝工 (C・C・BOX)

工種名	現 行	改 定
電線共同溝工 (C・C・BOX)	<p>② 電線共同溝工 (C・C・BOX) (参考工種)</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、電線共同溝 (C・C・BOX) の設置工事に適用する。</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <p>注) 1. 「管路部」とは、電線を管路材に収容する部分をいう。 2. 「特殊部」とは、分岐部、接続部並びに地上機器部等を総称していう。 3. 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。 4. 舗装版切断は、「第13章道路維持修繕②舗装版破砕工2.舗装版切断工」により別途計上する。 5. 基礎砕石工は、「第3章共通工②基礎・裏込砕石工」より別途計上する。 6. 型枠工(均し)、型枠工は、「第5章コンクリート工②型枠工」により別途計上する。 7. コンクリート工(均し)、コンクリート工は、「第5章コンクリート工①コンクリート工」による。 8. 鉄筋工は、市場単価により別途計上する。</p>	<p>現行とおり</p>

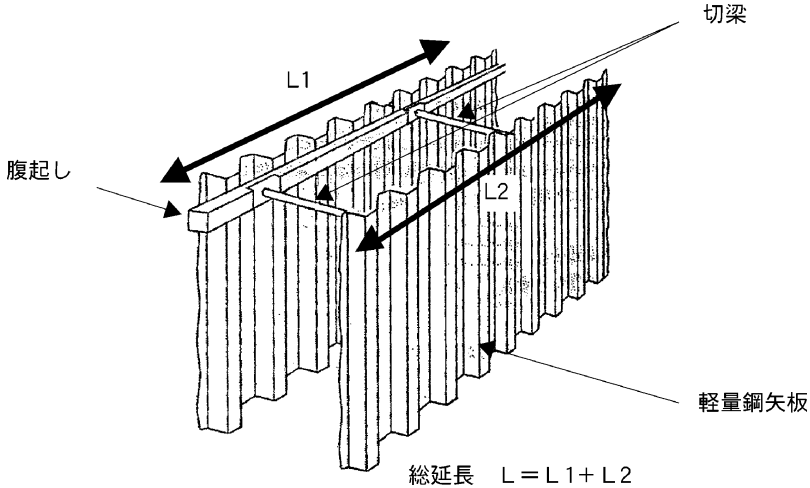
土木工事標準歩掛の一部改定
電線共同溝工 (C・C・BOX)

工種名	現 行	改 定																																																																																																												
	<p>3. 舗装版破砕積込</p> <p>3-1 適用範囲</p> <p>バックホウによるアスファルト舗装版破砕積込作業に適用する。</p> <p>なお、アスファルト舗装厚さは、15cm以下とする。</p> <p>3-2 施工歩掛</p> <p>舗装版の直接掘削・積込の歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 舗装版破砕積込歩掛 (100m²当り)</p> <table border="1" data-bbox="394 555 893 707"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.9</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>2.4</td> </tr> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型山積0.28m³(平積0.2m³)</td> <td>日</td> <td>0.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. バックホウは、賃料とする。 2. 運搬作業は、別途考慮する。</p> <p>4. 土工</p> <p>4-1 施工歩掛</p> <p>4-1-1 床掘り及び埋戻し・締固め</p> <p>床掘り及び埋戻し・締固め歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.1 床掘り及び埋戻し・締固め歩掛 (10m³当り)</p> <table border="1" data-bbox="331 1002 1068 1259"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th rowspan="2">床 掘 り</th> <th colspan="2">埋戻し・締固め</th> </tr> <tr> <th>土 砂</th> <th>中埋砂</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.2</td> <td colspan="2">0.2</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>—</td> <td colspan="2">0.2</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.6</td> <td colspan="2">0.7</td> </tr> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型山積0.28m³(平積0.2m³)</td> <td>日</td> <td>0.4</td> <td colspan="2">0.5</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>—</td> <td>6</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 床掘りの適用土質は、土砂(砂質土及び砂、粘性土、レキ質土)とする。 2. 本歩掛はオープン掘削の場合も適用する。 3. 床掘歩掛には、基面整正を含む。 4. 埋戻し・締固め(中埋砂)の締固めは、水締施工とする。 5. 諸雑費は、締固め機械(中埋砂については、散水設備等)の損料及び運転経費等の費用であり、労務費、賃料及び運転経費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 6. バックホウは、賃料とする。 7. 水締施工に用いる水に水代が必要な場合は、別途計上する。 8. 運搬作業は、別途考慮する。</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	世 話 役		人	0.9	普 通 作 業 員		〃	2.4	バックホウ運転	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	日	0.8	名 称	規 格	単 位	床 掘 り	埋戻し・締固め		土 砂	中埋砂	世 話 役		人	0.2	0.2		特 殊 作 業 員		〃	—	0.2		普 通 作 業 員		〃	0.6	0.7		バックホウ運転	排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	日	0.4	0.5		諸 雑 費 率		%	—	6	9	<p>3. 舗装版破砕積込</p> <p>3-1 適用範囲</p> <p>バックホウによるアスファルト舗装版破砕積込作業に適用する。</p> <p>なお、アスファルト舗装厚さは、15cm以下とする。</p> <p>3-2 施工歩掛</p> <p>舗装版の直接掘削・積込の歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 舗装版破砕積込歩掛 (100m²当り)</p> <table border="1" data-bbox="1330 547 1843 699"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.9</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>2.4</td> </tr> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型山積0.28m³(平積0.2m³)</td> <td>日</td> <td>0.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. バックホウは、賃料とする。 2. 運搬作業は、別途考慮する。</p> <p>4. 土工</p> <p>4-1 施工歩掛</p> <p>4-1-1 床掘り及び埋戻し・締固め</p> <p>床掘り及び埋戻し・締固め歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.1 床掘り及び埋戻し・締固め歩掛 (10m³当り)</p> <table border="1" data-bbox="1229 983 1998 1235"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th rowspan="2">床 掘 り</th> <th colspan="2">埋戻し・締固め</th> </tr> <tr> <th>土 砂</th> <th>中埋砂</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.2</td> <td colspan="2">0.2</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>—</td> <td colspan="2">0.2</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.6</td> <td colspan="2">0.7</td> </tr> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型山積0.28m³(平積0.2m³)</td> <td>日</td> <td>0.4</td> <td colspan="2">0.5</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>—</td> <td>6</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 床掘りの適用土質は、土砂(砂質土及び砂、粘性土、レキ質土)とする。 2. 本歩掛はオープン掘削の場合も適用する。 3. 床掘歩掛には、基面整正を含む。 4. 埋戻し・締固め(中埋砂)の締固めは、水締施工とする。 5. 諸雑費は、締固め機械(中埋砂については、散水設備等)の損料及び運転経費等の費用であり、労務費、賃料及び運転経費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 6. バックホウは、賃料とする。 7. 水締施工に用いる水に水代が必要な場合は、別途計上する。 8. 運搬作業は、別途考慮する。</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	世 話 役		人	0.9	普 通 作 業 員		〃	2.4	バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	日	0.8	名 称	規 格	単 位	床 掘 り	埋戻し・締固め		土 砂	中埋砂	世 話 役		人	0.2	0.2		特 殊 作 業 員		〃	—	0.2		普 通 作 業 員		〃	0.6	0.7		バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	日	0.4	0.5		諸 雑 費 率		%	—	6	9
名 称	規 格	単 位	数 量																																																																																																											
世 話 役		人	0.9																																																																																																											
普 通 作 業 員		〃	2.4																																																																																																											
バックホウ運転	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	日	0.8																																																																																																											
名 称	規 格	単 位	床 掘 り	埋戻し・締固め																																																																																																										
				土 砂	中埋砂																																																																																																									
世 話 役		人	0.2	0.2																																																																																																										
特 殊 作 業 員		〃	—	0.2																																																																																																										
普 通 作 業 員		〃	0.6	0.7																																																																																																										
バックホウ運転	排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	日	0.4	0.5																																																																																																										
諸 雑 費 率		%	—	6	9																																																																																																									
名 称	規 格	単 位	数 量																																																																																																											
世 話 役		人	0.9																																																																																																											
普 通 作 業 員		〃	2.4																																																																																																											
バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	日	0.8																																																																																																											
名 称	規 格	単 位	床 掘 り	埋戻し・締固め																																																																																																										
				土 砂	中埋砂																																																																																																									
世 話 役		人	0.2	0.2																																																																																																										
特 殊 作 業 員		〃	—	0.2																																																																																																										
普 通 作 業 員		〃	0.6	0.7																																																																																																										
バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	日	0.4	0.5																																																																																																										
諸 雑 費 率		%	—	6	9																																																																																																									

土木工事標準歩掛の一部改定
電線共同溝工 (C・C・BOX)

工種名	現 行	改 定				
	<p>4-1-2 材料の使用量</p> <p>材料の使用量は、次式による。</p> <p>使用量 (m3) = 設計数量 (m3) × (1 + K) ……式4.1</p> <p>K : ロス率</p> <p>表4.2 ロス率(K)</p> <table border="1" data-bbox="483 443 835 515"> <tr> <td></td> <td>中埋砂</td> </tr> <tr> <td>ロス率</td> <td>+0.2</td> </tr> </table> <p>(注) 本使用量は締固めによる土量変化も含む。</p>		中埋砂	ロス率	+0.2	<p>}</p> <p>}</p> <p>現行とおり</p>
	中埋砂					
ロス率	+0.2					

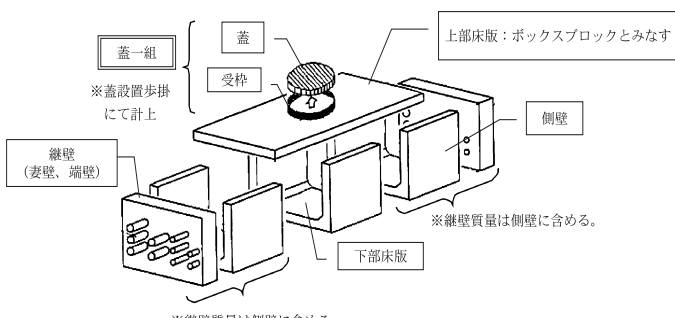
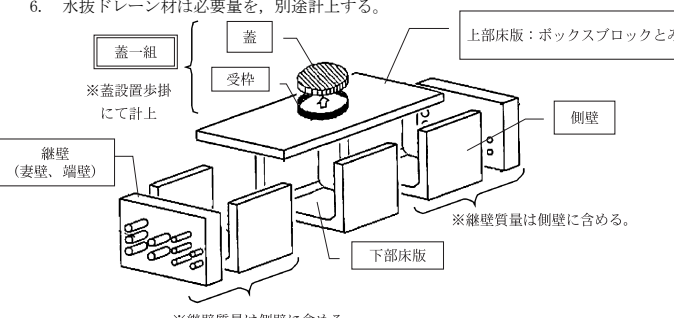
土木工事標準歩掛の一部改定
電線共同溝工 (C・C・BOX)

工種名	現 行	改 定									
	<p>5. 仮設工</p> <p>5-1 土留工</p> <p>土留工における軽量鋼矢板の設置・撤去歩掛は、次表とする。</p> <p>表5.1 軽量鋼矢板の設置・撤去歩掛 (矢板設置延長10m当り)</p> <table border="1" data-bbox="293 379 965 491"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td>人</td> <td>0.3</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>〃</td> <td>1.4</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 本歩掛には、軽量鋼矢板、切梁・腹起し材の設置・撤去及び運搬距離30m程度の現場内小運搬を含む。 2. 現場条件により、根入れが必要な場合及び他の土留工法を行う場合は別途考慮する。 3. 矢板設置延長は、総延長とする。 4. 軽量鋼矢板等に関する賃料等は、別途計上する。</p>  <p>切梁</p> <p>腹起し</p> <p>L1</p> <p>L2</p> <p>軽量鋼矢板</p> <p>総延長 $L = L1 + L2$</p>	名 称	単 位	数 量	世 話 役	人	0.3	普 通 作 業 員	〃	1.4	<p>現行とおりに</p>
名 称	単 位	数 量									
世 話 役	人	0.3									
普 通 作 業 員	〃	1.4									

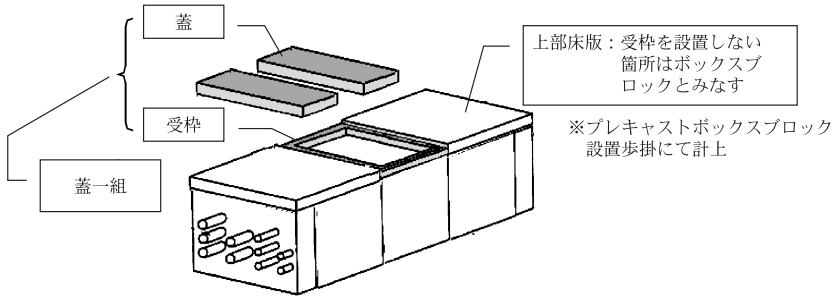
土木工事標準歩掛の一部改定
電線共同溝工 (C・C・BOX)

工種名	現 行	改 定																																								
	<p>5-2 覆工板設置・撤去</p> <p>覆工板の設置・撤去歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.2 覆工板設置・撤去歩掛 (100m²・1回当り)</p> <table border="1" data-bbox="304 336 1010 523"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1.2</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1.4</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>2.2</td> </tr> <tr> <td>トラッククレーン運転</td> <td>油圧伸縮ジブ型4.9t吊</td> <td>日</td> <td>1.4</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 覆工板設置・撤去の施工数量は、工事中の延べ設置・撤去面積とする。 2. トラッククレーンは、上表のものを標準とするが、吊荷重及び作業半径により、標準機種での施工が困難な場合は、現場条件に適合した機種を選定する。 3. トラッククレーンは、賃料とする。</p> <p>6. 管路工</p> <p>6-1 管 路 部</p> <p>6-1-1 適用範囲</p> <p>管路呼び径 150 mm以下の単管設置に適用する。</p> <p>6-1-2 管路材設置歩掛</p> <p>管路材設置歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表6.1 管路材設置歩掛 (管1本・100m当り)</p> <table border="1" data-bbox="331 1031 1039 1203"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>露 出 部</th> <th>埋 設 部</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td>人</td> <td>1.8</td> <td>1.3</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td>〃</td> <td>1.3</td> <td>0.8</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>〃</td> <td>6.0</td> <td>4.6</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>%</td> <td>0.2</td> <td>0.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 本歩掛には、管の接続労務も含む。 2. 露出部歩掛には、受・支持金具の設置労務も含む。 3. 埋設部歩掛には、管路受台 (スパーサ) の設置労務を含む。 4. 本歩掛は、多条管、多孔管を設置する場合には適用しない。 5. 露出部とは、橋梁添架及びトンネル内設置により露出管路となる部分をいう。 6. 単管の材料使用量は、「6-1-3 管路材の使用量」によるものとする。 7. 本歩掛には、管路清掃及び導通試験を含む。 8. 諸雑費は、清掃及び導通検査機械 (コンプレッサー等) の損料及び運転経費等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 9. 受・支持金具、管路受台は必要量を、別途計上する。 10. 接続継手、分岐管、滑剤料は、必要量を、別途計上する。</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	世 話 役		人	1.2	特 殊 作 業 員		〃	1.4	普 通 作 業 員		〃	2.2	トラッククレーン運転	油圧伸縮ジブ型4.9t吊	日	1.4	名 称	単 位	露 出 部	埋 設 部	世 話 役	人	1.8	1.3	特 殊 作 業 員	〃	1.3	0.8	普 通 作 業 員	〃	6.0	4.6	諸 雑 費 率	%	0.2	0.2	<p style="text-align: center;">現行とおり</p>
名 称	規 格	単 位	数 量																																							
世 話 役		人	1.2																																							
特 殊 作 業 員		〃	1.4																																							
普 通 作 業 員		〃	2.2																																							
トラッククレーン運転	油圧伸縮ジブ型4.9t吊	日	1.4																																							
名 称	単 位	露 出 部	埋 設 部																																							
世 話 役	人	1.8	1.3																																							
特 殊 作 業 員	〃	1.3	0.8																																							
普 通 作 業 員	〃	6.0	4.6																																							
諸 雑 費 率	%	0.2	0.2																																							

土木工事標準歩掛の一部改定
電線共同溝工 (C・C・BOX)

工種名	現 行	改 定																																																																				
	<p>6-1-3 管路材の使用量</p> <p>管路材の使用量は、次式による。</p> <p>使用量 (m) = 設計数量 (m) × (1+K) ……式6.1</p> <p>K: ロス率 表6.2 ロス率(K)</p> <table border="1" data-bbox="436 411 873 450"> <tr> <td>ロス率</td> <td>+0.05</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 管路材は、スクラップ控除を行わない。 2. 本使用量は、多条管・多孔管には適用しない。</p> <p>6-2 特殊部</p> <p>6-2-1 プレキャストボックス工</p> <p>プレキャストボックスブロック設置歩掛は、次表とする。</p> <p>表6.3 プレキャストボックスブロック設置歩掛 (ボックスブロック10個当り)</p> <table border="1" data-bbox="291 694 1034 906"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="3">ボックスブロック1個当り質量</th> </tr> <tr> <th>1,000kg以下</th> <th>1,000kg超～ 4,000kg以下</th> <th>4,000kg超～ 11,000kg以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.4</td> <td>0.9</td> <td>1.2</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.3</td> <td>0.6</td> <td>0.8</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1.5</td> <td>2.9</td> <td>4.0</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン運</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型25t吊</td> <td>日</td> <td>0.2</td> <td>0.8</td> <td>1.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 本歩掛には、継壁(妻壁、端壁)の設置、水抜ドレーンの設置を含む。 2. ラフテレーンクレーンは、上表のものを標準とするが、吊荷重及び作業半径により、標準機種での施工が困難な場合は、現場条件に適合した機種を選定することが出来る。 3. ラフテレーンクレーンは、賃料とする。 4. 特殊部(プレキャストボックス)は、下部床版、側壁、継壁、上部床版からなる個々のブロックより、構成される。 5. 本歩掛にて計上するボックスブロック個数は、継壁、蓋、受枠を除くブロック数を計上する。なお、継壁質量は隣接する側壁に含めるものとする。また上部床版質量は蓋及び受枠質量を含めないものとする。 6. 水抜ドレーン材は必要量を、別途計上する。</p>  <p>(プレキャストボックスブロック参考図)</p>	ロス率	+0.05	名 称	規 格	単 位	ボックスブロック1個当り質量			1,000kg以下	1,000kg超～ 4,000kg以下	4,000kg超～ 11,000kg以下	世 話 役		人	0.4	0.9	1.2	特 殊 作 業 員		〃	0.3	0.6	0.8	普 通 作 業 員		〃	1.5	2.9	4.0	ラフテレーンクレーン運	排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型25t吊	日	0.2	0.8	1.3	<p>現行とおり</p> <p>6-2 特殊部</p> <p>6-2-1 プレキャストボックス工</p> <p>プレキャストボックスブロック設置歩掛は、次表とする。</p> <p>表6.3 プレキャストボックスブロック設置歩掛 (ボックスブロック10個当り)</p> <table border="1" data-bbox="1198 694 1942 906"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="3">ボックスブロック1個当り質量</th> </tr> <tr> <th>1,000kg以下</th> <th>1,000kg超～ 4,000kg以下</th> <th>4,000kg超～ 11,000kg以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.4</td> <td>0.9</td> <td>1.2</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.3</td> <td>0.6</td> <td>0.8</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1.5</td> <td>2.9</td> <td>4.0</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン運</td> <td>排出ガス対策型 (第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型25t吊</td> <td>日</td> <td>0.2</td> <td>0.8</td> <td>1.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 本歩掛には、継壁(妻壁、端壁)の設置、水抜ドレーンの設置を含む。 2. ラフテレーンクレーンは、上表のものを標準とするが、吊荷重及び作業半径により、標準機種での施工が困難な場合は、現場条件に適合した機種を選定することが出来る。 3. ラフテレーンクレーンは、賃料とする。 4. 特殊部(プレキャストボックス)は、下部床版、側壁、継壁、上部床版からなる個々のブロックより、構成される。 5. 本歩掛にて計上するボックスブロック個数は、継壁、蓋、受枠を除くブロック数を計上する。なお、継壁質量は隣接する側壁に含めるものとする。また上部床版質量は蓋及び受枠質量を含めないものとする。 6. 水抜ドレーン材は必要量を、別途計上する。</p>  <p>(プレキャストボックスブロック参考図)</p>	名 称	規 格	単 位	ボックスブロック1個当り質量			1,000kg以下	1,000kg超～ 4,000kg以下	4,000kg超～ 11,000kg以下	世 話 役		人	0.4	0.9	1.2	特 殊 作 業 員		〃	0.3	0.6	0.8	普 通 作 業 員		〃	1.5	2.9	4.0	ラフテレーンクレーン運	排出ガス対策型 (第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型25t吊	日	0.2	0.8	1.3
ロス率	+0.05																																																																					
名 称	規 格	単 位	ボックスブロック1個当り質量																																																																			
			1,000kg以下	1,000kg超～ 4,000kg以下	4,000kg超～ 11,000kg以下																																																																	
世 話 役		人	0.4	0.9	1.2																																																																	
特 殊 作 業 員		〃	0.3	0.6	0.8																																																																	
普 通 作 業 員		〃	1.5	2.9	4.0																																																																	
ラフテレーンクレーン運	排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型25t吊	日	0.2	0.8	1.3																																																																	
名 称	規 格	単 位	ボックスブロック1個当り質量																																																																			
			1,000kg以下	1,000kg超～ 4,000kg以下	4,000kg超～ 11,000kg以下																																																																	
世 話 役		人	0.4	0.9	1.2																																																																	
特 殊 作 業 員		〃	0.3	0.6	0.8																																																																	
普 通 作 業 員		〃	1.5	2.9	4.0																																																																	
ラフテレーンクレーン運	排出ガス対策型 (第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型25t吊	日	0.2	0.8	1.3																																																																	

土木工事標準歩掛の一部改定
電線共同溝工 (C・C・BOX)

工種名	現 行	改 定																																	
	<p>6-2-2 蓋設置歩掛</p> <p>蓋設置歩掛は、次表とする。 表6.4 蓋設置歩掛 (蓋10組当り)</p> <table border="1" data-bbox="300 288 1041 494"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="3">蓋 1 組 当 り 質 量</th> </tr> <tr> <th>200kg以下</th> <th>200kg超～ 800kg以下</th> <th>800kg超～ 2,000kg以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.2</td> <td>0.3</td> <td>0.3</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.2</td> <td>0.2</td> <td>0.3</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.7</td> <td>0.9</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>トラッククレーン運転</td> <td>油圧伸縮ジブ型 4.9 t 吊</td> <td>日</td> <td>0.3</td> <td>0.4</td> <td>0.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 本歩掛には、受枠の設置を含む。 2. トラッククレーンは、上表のものを標準とするが、吊荷重及び作業半径により、標準機種での施工が困難な場合は、現場条件に適合した機種を選定することが出来る。 3. トラッククレーンは、賃料とする。 4. 蓋1組当り質量は、受枠も含めた1組当り質量を計上する。</p>  <p>(蓋参考図)</p>	名 称	規 格	単 位	蓋 1 組 当 り 質 量			200kg以下	200kg超～ 800kg以下	800kg超～ 2,000kg以下	世 話 役		人	0.2	0.3	0.3	特 殊 作 業 員		〃	0.2	0.2	0.3	普 通 作 業 員		〃	0.7	0.9	1.0	トラッククレーン運転	油圧伸縮ジブ型 4.9 t 吊	日	0.3	0.4	0.5	<p>現行とおりに</p>
名 称	規 格				単 位	蓋 1 組 当 り 質 量																													
		200kg以下	200kg超～ 800kg以下	800kg超～ 2,000kg以下																															
世 話 役		人	0.2	0.3	0.3																														
特 殊 作 業 員		〃	0.2	0.2	0.3																														
普 通 作 業 員		〃	0.7	0.9	1.0																														
トラッククレーン運転	油圧伸縮ジブ型 4.9 t 吊	日	0.3	0.4	0.5																														

土木工事標準歩掛の一部改定
電線共同溝工 (C・C・BOX)

工種名	現 行	改 定																																																																																																																																																																																																																																																																														
	<p>7. 単価表</p> <p>(1) 舗装版破砕積込 100m2 当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="259 288 983 467"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表3.1</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ 運 転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型山積0.28m³(平積0.2m³)</td> <td>日</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 土 工</p> <p>1) 床掘り 10m3 当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="246 549 965 724"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ 運 転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型山積0.28m³(平積0.2m³)</td> <td>日</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>2) 埋戻し・締固め(土砂) 10m3 当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="264 804 981 1008"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ 運 転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型山積0.28m³(平積0.2m³)</td> <td>日</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3) 埋戻し・締固め(中埋砂) 10m3 当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="264 1069 987 1302"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>砂</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td>式4.1</td> </tr> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ 運 転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型山積0.28m³(平積0.2m³)</td> <td>日</td> <td></td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表3.1	普 通 作 業 員		〃		〃	バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	日		〃	諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表4.1	普 通 作 業 員		〃		〃	バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	日		〃	諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表4.1	特 殊 作 業 員		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	日		〃	諸 雑 費		式	1	〃	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表4.1	特 殊 作 業 員		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	砂		m ³		式4.1	バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	日		表4.1	諸 雑 費		式	1	〃	計					<p>7. 単価表</p> <p>(1) 舗装版破砕積込 100m2 当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="1173 292 1912 470"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表3.1</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ 運 転</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型山積0.28m³(平積0.2m³)</td> <td>日</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 土 工</p> <p>1) 床掘り 10m3 当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="1173 544 1912 724"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ 運 転</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型山積0.28m³(平積0.2m³)</td> <td>日</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>2) 埋戻し・締固め(土砂) 10m3 当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="1169 807 1908 1013"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ 運 転</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型山積0.28m³(平積0.2m³)</td> <td>日</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3) 埋戻し・締固め(中埋砂) 10m3 当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="1169 1072 1908 1315"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>砂</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td>式4.1</td> </tr> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ 運 転</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型山積0.28m³(平積0.2m³)</td> <td>日</td> <td></td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表3.1	普 通 作 業 員		〃		〃	バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	日		〃	諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表4.1	普 通 作 業 員		〃		〃	バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	日		〃	諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表4.1	特 殊 作 業 員		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	日		〃	諸 雑 費		式	1	〃	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表4.1	特 殊 作 業 員		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	砂		m ³		式4.1	バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	日		表4.1	諸 雑 費		式	1	〃	計				
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																																																												
世 話 役		人		表3.1																																																																																																																																																																																																																																																																												
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																																																												
バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	日		〃																																																																																																																																																																																																																																																																												
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																																																																																																																																																													
計																																																																																																																																																																																																																																																																																
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																																																												
世 話 役		人		表4.1																																																																																																																																																																																																																																																																												
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																																																												
バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	日		〃																																																																																																																																																																																																																																																																												
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																																																																																																																																																													
計																																																																																																																																																																																																																																																																																
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																																																												
世 話 役		人		表4.1																																																																																																																																																																																																																																																																												
特 殊 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																																																												
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																																																												
バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	日		〃																																																																																																																																																																																																																																																																												
諸 雑 費		式	1	〃																																																																																																																																																																																																																																																																												
計																																																																																																																																																																																																																																																																																
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																																																												
世 話 役		人		表4.1																																																																																																																																																																																																																																																																												
特 殊 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																																																												
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																																																												
砂		m ³		式4.1																																																																																																																																																																																																																																																																												
バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	日		表4.1																																																																																																																																																																																																																																																																												
諸 雑 費		式	1	〃																																																																																																																																																																																																																																																																												
計																																																																																																																																																																																																																																																																																
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																																																												
世 話 役		人		表3.1																																																																																																																																																																																																																																																																												
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																																																												
バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	日		〃																																																																																																																																																																																																																																																																												
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																																																																																																																																																													
計																																																																																																																																																																																																																																																																																
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																																																												
世 話 役		人		表4.1																																																																																																																																																																																																																																																																												
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																																																												
バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	日		〃																																																																																																																																																																																																																																																																												
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																																																																																																																																																													
計																																																																																																																																																																																																																																																																																
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																																																												
世 話 役		人		表4.1																																																																																																																																																																																																																																																																												
特 殊 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																																																												
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																																																												
バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	日		〃																																																																																																																																																																																																																																																																												
諸 雑 費		式	1	〃																																																																																																																																																																																																																																																																												
計																																																																																																																																																																																																																																																																																
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																																																												
世 話 役		人		表4.1																																																																																																																																																																																																																																																																												
特 殊 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																																																												
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																																																												
砂		m ³		式4.1																																																																																																																																																																																																																																																																												
バ ッ ク ホ ウ 運 転	排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	日		表4.1																																																																																																																																																																																																																																																																												
諸 雑 費		式	1	〃																																																																																																																																																																																																																																																																												
計																																																																																																																																																																																																																																																																																

土木工事標準歩掛の一部改定
電線共同溝工 (C・C・BOX)

工種名	現 行	改 定																																																																																															
	<p>(3) 仮 設 工</p> <p>1) 軽量鋼矢板設置・撤去10m (矢板設置延長) 当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="280 293 1008 445"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表5.1</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>"</td> <td></td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>2) 覆工板設置・撤去100m²・1回当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="280 544 1016 743"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表5.2</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>"</td> <td></td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>"</td> <td></td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>トラッククレーン賃料</td> <td>油圧伸縮ジブ型4.9t吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 管 路 工</p> <p>1) 管路材設置管1本・100m当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="273 863 1008 1062"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表6.1</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>"</td> <td></td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>"</td> <td></td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>管 路 材</td> <td>径○mm</td> <td>m</td> <td></td> <td>式6.1</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表6.1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表5.1	普 通 作 業 員		"		"	諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表5.2	特 殊 作 業 員		"		"	普 通 作 業 員		"		"	トラッククレーン賃料	油圧伸縮ジブ型4.9t吊	日		"	諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表6.1	特 殊 作 業 員		"		"	普 通 作 業 員		"		"	管 路 材	径○mm	m		式6.1	諸 雑 費		式	1	表6.1	計					<p>現行とおり</p>
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																													
世 話 役		人		表5.1																																																																																													
普 通 作 業 員		"		"																																																																																													
諸 雑 費		式	1																																																																																														
計																																																																																																	
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																													
世 話 役		人		表5.2																																																																																													
特 殊 作 業 員		"		"																																																																																													
普 通 作 業 員		"		"																																																																																													
トラッククレーン賃料	油圧伸縮ジブ型4.9t吊	日		"																																																																																													
諸 雑 費		式	1																																																																																														
計																																																																																																	
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																													
世 話 役		人		表6.1																																																																																													
特 殊 作 業 員		"		"																																																																																													
普 通 作 業 員		"		"																																																																																													
管 路 材	径○mm	m		式6.1																																																																																													
諸 雑 費		式	1	表6.1																																																																																													
計																																																																																																	

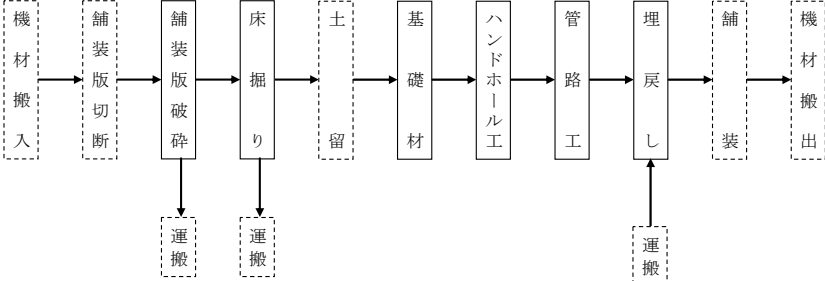
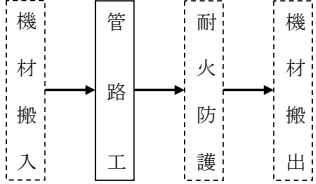
土木工事標準歩掛の一部改定
電線共同溝工 (C・C・BOX)

工種名	現 行	改 定																																																																																																																																								
	<p>2) プレキャストボックスブロック設置10個当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="282 272 1066 531"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表6.3</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>プレキャストボックスブロック</td> <td></td> <td>個</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン賃料</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型25t吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>表6.3</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3) 蓋設置10組当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="282 627 1066 869"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表6.4</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>蓋</td> <td></td> <td>組</td> <td>10</td> <td>受枠含む</td> </tr> <tr> <td>トラッククレーン賃料</td> <td>油圧伸縮ジブ型4.9t吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>表6.4</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 機械運転単価表</p> <p>1) 舗装版破砕</p> <table border="1" data-bbox="255 1043 1039 1142"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)クローラ型 山積0.28m³(平積0.2m³)</td> <td>機-28</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→11 賃料数量→1.64</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表6.3	特 殊 作 業 員		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	プレキャストボックスブロック		個	10		ラフテレーンクレーン賃料	排出ガス対策型(第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型25t吊	日		表6.3	諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表6.4	特 殊 作 業 員		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	蓋		組	10	受枠含む	トラッククレーン賃料	油圧伸縮ジブ型4.9t吊	日		表6.4	諸 雑 費		式	1		計					機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型(第1次基準値)クローラ型 山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→11 賃料数量→1.64	<p>2) プレキャストボックスブロック設置10個当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="1187 285 2009 552"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表6.3</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>プレキャストボックスブロック</td> <td></td> <td>個</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン賃料</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型25t吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>表6.3</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>現行とおり</p> <p>(4) 機械運転単価表</p> <p>1) 舗装版破砕</p> <table border="1" data-bbox="1169 1043 2013 1142"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値)クローラ型 山積0.28m³(平積0.2m³)</td> <td>機-28</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→11 賃料数量→1.64</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表6.3	特 殊 作 業 員		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	プレキャストボックスブロック		個	10		ラフテレーンクレーン賃料	排出ガス対策型(第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型25t吊	日		表6.3	諸 雑 費		式	1		計					機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型(第2次基準値)クローラ型 山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→11 賃料数量→1.64
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																						
世 話 役		人		表6.3																																																																																																																																						
特 殊 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																						
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																						
プレキャストボックスブロック		個	10																																																																																																																																							
ラフテレーンクレーン賃料	排出ガス対策型(第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型25t吊	日		表6.3																																																																																																																																						
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																							
計																																																																																																																																										
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																						
世 話 役		人		表6.4																																																																																																																																						
特 殊 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																						
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																						
蓋		組	10	受枠含む																																																																																																																																						
トラッククレーン賃料	油圧伸縮ジブ型4.9t吊	日		表6.4																																																																																																																																						
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																							
計																																																																																																																																										
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																																																																																																																							
バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型(第1次基準値)クローラ型 山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→11 賃料数量→1.64																																																																																																																																							
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																						
世 話 役		人		表6.3																																																																																																																																						
特 殊 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																						
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																						
プレキャストボックスブロック		個	10																																																																																																																																							
ラフテレーンクレーン賃料	排出ガス対策型(第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型25t吊	日		表6.3																																																																																																																																						
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																							
計																																																																																																																																										
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																																																																																																																							
バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型(第2次基準値)クローラ型 山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→11 賃料数量→1.64																																																																																																																																							

土木工事標準歩掛の一部改定
電線共同溝工 (C・C・BOX)

工種名	現 行				改 定			
	2) 土工 (床掘り)				2) 土工 (床掘り)			
	機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項
	バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型 山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→28 賃料数量→1.64	バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型 山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→28 賃料数量→1.64
	3) 土工 (埋戻し・締固め)				3) 土工 (埋戻し・締固め)			
	機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項
	バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型 山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→23 賃料数量→1.64	バ ッ ク ホ ウ	排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型 山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→23 賃料数量→1.64

土木工事標準歩掛の一部改定
情報ボックス工

種名	現 行	改 定
共同溝 情報ボックス 工	<p>③情報ボックス工 (参考工種)</p> <p>1. 適用範囲</p> <p>本資料は、情報ボックスの設置工事に適用する。ただし、河川堤防に設置する情報管路は適用外とする。</p> <p>2. 施工概要</p> <p>施工フローは、下記を標準とする。</p> <p>2-1 埋設部</p>  <p>(注) 1. 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。</p> <p>2. 舗装版切断は、「第13章道路維持修繕②舗装版破碎工2. 舗装版切断工」による。</p> <p>3. 土留は、「第14章共同溝②電線共同工(C・C・BOX)5. 仮設工」による。</p> <p>4. 運搬は、「第2章土工⑤小規模土工(ダンプトラック運搬4t積み)」による。</p> <p>5. 舗装は、「第11章道路舗装」による。</p> <p>2-2 露出部</p>  <p>(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。</p>	<p>現行のとおり</p>

土木工事標準歩掛の一部改定
情報ボックス工

種名	現 行	改 定																																																		
	<p>3. 機種を選定</p> <p>機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3.1 機種を選定</p> <table border="1" data-bbox="280 368 1086 595"> <thead> <tr> <th>作業種別</th> <th>機械名</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>舗装版破碎 床掘り 埋戻し 基礎材</td> <td>バックホウ</td> <td>クローラ型・超小旋回型・排出ガス対策型(第1次基準値)・山積0.28m³(平積0.2m³)</td> <td>台</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>管路工(埋設部)本体管設置:本体管の材質がコンクリート製の場合のみ 管路工(露出部) ハンドホール工</td> <td>トラック (クレーン装置付)</td> <td>4t積・2.9t吊</td> <td>〃</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>管路工(露出部)</td> <td>高所作業車</td> <td>トラック架装リフト・垂直型作業床高9.9m 積載荷重1,000kg</td> <td>〃</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. バックホウは、賃料とする。 2. トラック(クレーン装置付)は賃料とする。</p> <p>4. 舗装版破碎</p> <p>バックホウによる舗装厚さ15cm以下のアスファルト舗装版破碎積込作業に適用する。これ以外の場合は、「第13章道路維持修繕②舗装版破碎工」による。</p> <p>4-1 日当り編成人員</p> <p>日当り編成人員は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 4.1 日当り編成人員 (人)</p> <table border="1" data-bbox="521 1117 925 1209"> <thead> <tr> <th>世 話 役</th> <th>普通作業員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>4-2 日当り施工量</p> <p>日当り施工量(D1)は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 4.2 日当り施工量 (1日当り)</p> <table border="1" data-bbox="286 1398 987 1449"> <thead> <tr> <th>日 当 り 施 工 量</th> <th>m²</th> <th>248</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	作業種別	機械名	規格	単位	数量	舗装版破碎 床掘り 埋戻し 基礎材	バックホウ	クローラ型・超小旋回型・排出ガス対策型(第1次基準値)・山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	台	1	管路工(埋設部)本体管設置:本体管の材質がコンクリート製の場合のみ 管路工(露出部) ハンドホール工	トラック (クレーン装置付)	4t積・2.9t吊	〃	1	管路工(露出部)	高所作業車	トラック架装リフト・垂直型作業床高9.9m 積載荷重1,000kg	〃	1	世 話 役	普通作業員	1	2	日 当 り 施 工 量	m ²	248				<p>3. 機種を選定</p> <p>機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3.1 機種を選定</p> <table border="1" data-bbox="1227 363 2011 584"> <thead> <tr> <th>作業種別</th> <th>機械名</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>舗装版破碎 床掘り 埋戻し 基礎材</td> <td>バックホウ</td> <td>クローラ型・超小旋回型・排出ガス対策型(第2次基準値)・山積0.28m³(平積0.2m³)</td> <td>台</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>管路工(埋設部)本体管設置:本体管の材質がコンクリート製の場合のみ 管路工(露出部) ハンドホール工</td> <td>トラック (クレーン装置付)</td> <td>4t積・2.9t吊</td> <td>〃</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>管路工(露出部)</td> <td>高所作業車</td> <td>トラック架装リフト・垂直型作業床高9.9m 積載荷重1,000kg</td> <td>〃</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. バックホウは、賃料とする。 2. トラック(クレーン装置付)は賃料とする。</p> <p>現行のとおり</p>	作業種別	機械名	規格	単位	数量	舗装版破碎 床掘り 埋戻し 基礎材	バックホウ	クローラ型・超小旋回型・排出ガス対策型(第2次基準値)・山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	台	1	管路工(埋設部)本体管設置:本体管の材質がコンクリート製の場合のみ 管路工(露出部) ハンドホール工	トラック (クレーン装置付)	4t積・2.9t吊	〃	1	管路工(露出部)	高所作業車	トラック架装リフト・垂直型作業床高9.9m 積載荷重1,000kg	〃	1
作業種別	機械名	規格	単位	数量																																																
舗装版破碎 床掘り 埋戻し 基礎材	バックホウ	クローラ型・超小旋回型・排出ガス対策型(第1次基準値)・山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	台	1																																																
管路工(埋設部)本体管設置:本体管の材質がコンクリート製の場合のみ 管路工(露出部) ハンドホール工	トラック (クレーン装置付)	4t積・2.9t吊	〃	1																																																
管路工(露出部)	高所作業車	トラック架装リフト・垂直型作業床高9.9m 積載荷重1,000kg	〃	1																																																
世 話 役	普通作業員																																																			
1	2																																																			
日 当 り 施 工 量	m ²	248																																																		
作業種別	機械名	規格	単位	数量																																																
舗装版破碎 床掘り 埋戻し 基礎材	バックホウ	クローラ型・超小旋回型・排出ガス対策型(第2次基準値)・山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	台	1																																																
管路工(埋設部)本体管設置:本体管の材質がコンクリート製の場合のみ 管路工(露出部) ハンドホール工	トラック (クレーン装置付)	4t積・2.9t吊	〃	1																																																
管路工(露出部)	高所作業車	トラック架装リフト・垂直型作業床高9.9m 積載荷重1,000kg	〃	1																																																

土木工事標準歩掛の一部改定
情報ボックス工

種名	現 行	改 定																
	<p>5. 床掘り</p> <p>床掘り作業に適用する。基面整正を含む。</p> <p>5-1 日当り編成人員</p> <p>日当り編成人員は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 5.1 日当り編成人員 (人)</p> <table border="1" data-bbox="387 499 1014 595"> <thead> <tr> <th>世 話 役</th> <th>普 通 作 業 員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p>5-2 日当り施工量</p> <p>日当り施工量 (D2) は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 5.2 日当り施工量 (1日当り)</p> <table border="1" data-bbox="365 802 1084 853"> <thead> <tr> <th>日 当 り 施 工 量</th> <th>m³</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>57</td> </tr> </tbody> </table> <p>6. 埋戻し</p> <p>埋戻し・締固め作業に適用する。埋設表示シートの設置作業を含む。なお、埋戻しにコンクリートを使用する場合は適用しない。</p> <p>6-1 日当り編成人員</p> <p>日当り編成人員は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 6.1 日当り編成人員 (人)</p> <table border="1" data-bbox="275 1249 1039 1332"> <thead> <tr> <th>世 話 役</th> <th>特 殊 作 業 員</th> <th>普 通 作 業 員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>	世 話 役	普 通 作 業 員	1	3	日 当 り 施 工 量	m ³				57	世 話 役	特 殊 作 業 員	普 通 作 業 員	1	1	2	<p style="text-align: center;">現行のとおり</p>
世 話 役	普 通 作 業 員																	
1	3																	
日 当 り 施 工 量	m ³																	
		57																
世 話 役	特 殊 作 業 員	普 通 作 業 員																
1	1	2																

土木工事標準歩掛の一部改定
情報ボックス工

種名	現 行	改 定									
	<p>6-2 材料の使用量</p> <p>埋設表示シートの使用数量は、次式による。</p> <p>使用量 (m) = 設計数量 (m) × (1+K) ……式 6.1</p> <p>K : ロス率</p> <p>表 6.2 ロス率</p> <table border="1" data-bbox="282 454 1102 557"> <thead> <tr> <th data-bbox="282 454 680 505">材 料 名</th> <th data-bbox="680 454 1102 505">埋 設 表 示 シ ー ト</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="282 505 680 557">ロ ス 率 (K)</td> <td data-bbox="680 505 1102 557">+0.02</td> </tr> </tbody> </table> <p>6-3 諸雑費</p> <p>諸雑費は、締固め機械の損料・運轉経費等の費用であり、労務費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>表 6.3 諸雑费率 (％)</p> <table border="1" data-bbox="282 825 1079 876"> <tbody> <tr> <td data-bbox="282 825 855 876">諸 雑 費 率</td> <td data-bbox="855 825 1079 876">3</td> </tr> </tbody> </table> <p>6-4 日当り施工量</p> <p>日当り施工量 (D3) は、次表を標準とする。</p> <p>表 6.4 日当り施工量 (1日当り)</p> <table border="1" data-bbox="271 1147 1099 1200"> <tbody> <tr> <td data-bbox="271 1147 766 1200">日 当 り 施 工 量</td> <td data-bbox="766 1147 956 1200">m³</td> <td data-bbox="956 1147 1099 1200">35</td> </tr> </tbody> </table>	材 料 名	埋 設 表 示 シ ー ト	ロ ス 率 (K)	+0.02	諸 雑 費 率	3	日 当 り 施 工 量	m ³	35	<p>現行のとおり</p>
材 料 名	埋 設 表 示 シ ー ト										
ロ ス 率 (K)	+0.02										
諸 雑 費 率	3										
日 当 り 施 工 量	m ³	35									

土木工事標準歩掛の一部改定
情報ボックス工

種名	現 行	改 定															
	<p>7. 基礎材</p> <p>厚さ 20 cm以下の基礎材の施工に適用する。</p> <p>7-1 日当り編成人員</p> <p>日当り編成人員は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 7.1 日当り編成人員 (人)</p> <table border="1" data-bbox="275 456 1099 550"> <tr> <td style="text-align: center;">世 話 役</td> <td style="text-align: center;">特 殊 作 業 員</td> <td style="text-align: center;">普 通 作 業 員</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> </table> <p>7-2 材料の使用量</p> <p>基礎材の使用数量は次式による。</p> <p style="text-align: center;">使用量 (m3) = 設計数量 (m3) × (1 + K) ……式 7.1</p> <p style="text-align: center;">K : ロス率</p> <p style="text-align: center;">表 7.2 ロス率</p> <table border="1" data-bbox="264 812 1111 920"> <tr> <td style="text-align: center;">材 料 名</td> <td style="text-align: center;">ク ラ ッ シ ャ ラ ン 等</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">ロ ス 率</td> <td style="text-align: center;">+0.17</td> </tr> </table> <p>7-3 諸雑費</p> <p>諸雑費は、締め機械の損料・運転経費等の費用であり、労務費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表 7.3 諸雑费率 (%)</p> <table border="1" data-bbox="277 1145 1117 1197"> <tr> <td style="text-align: center;">諸 雑 費 率</td> <td style="text-align: center;">3</td> </tr> </table> <p>7-4 日当り施工量</p> <p>日当り施工量 (D4) は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 7.4 日当り施工量 (1日当り)</p> <table border="1" data-bbox="275 1418 1099 1469"> <tr> <td style="text-align: center;">日 当 り 施 工 量</td> <td style="text-align: center;">m²</td> <td style="text-align: center;">135</td> </tr> </table>	世 話 役	特 殊 作 業 員	普 通 作 業 員	1	1	2	材 料 名	ク ラ ッ シ ャ ラ ン 等	ロ ス 率	+0.17	諸 雑 費 率	3	日 当 り 施 工 量	m ²	135	<p style="text-align: center;">現行のとおり</p>
世 話 役	特 殊 作 業 員	普 通 作 業 員															
1	1	2															
材 料 名	ク ラ ッ シ ャ ラ ン 等																
ロ ス 率	+0.17																
諸 雑 費 率	3																
日 当 り 施 工 量	m ²	135															

土木工事標準歩掛の一部改定
情報ボックス工

種名	現 行	改 定																																																						
	<p>8. 管路工（埋設部）</p> <p>埋設部における管路材の設置作業に適用する。</p> <p>8-1 日当り編成人員</p> <p>日当り編成人員は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表8.1 日当り編成人員 (人)</p> <table border="1" data-bbox="250 459 1059 676"> <thead> <tr> <th colspan="2">本体管の材質</th> <th colspan="2">コンクリート製</th> <th colspan="3">合成樹脂製</th> <th>鋼製</th> </tr> <tr> <th colspan="2">さや管の材質</th> <th colspan="2">VU・FEP管類</th> <th>VU管類</th> <th colspan="2">FEP管類</th> <th>—</th> </tr> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>本体管設置</th> <th>さや管設置</th> <th>本体管及び さや管設置</th> <th>本体管設置</th> <th>さや管設置</th> <th>本体管設置</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td>人</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>〃</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注)1. 本体管設置は、本体管、本体管用スリーブ及び伸縮継手の設置作業である。</p> <p>2. 本体管設置のコンクリート製には、ヒューム管を含む。</p> <p>3. 本体管設置の鋼製は、さや管のない構造でφ50mmの場合に適用する。</p> <p>4. さや管設置は、さや管、さや管用スリーブ、伸縮継手の設置、通線確認及び管内清掃の作業である。</p> <p>5. さや管設置のVU管類は、数mごとに管材どうしを現場接続する管材を用いる場合に適用し、FEP管類は、長尺で現場接続が不要な管材を用いる場合に適用し、管材種が異なっても設置方法が同一であれば上記歩掛を適用する。</p> <p>8-2 材料の使用量</p> <p>基礎材の使用数量は次式による。</p> <p>本体管の使用量 (m) = 設計数量 (m) × (1+K) ……式8.1</p> <p>さや管の使用量 (m) = 設計数量 (m) × 条数 × (1+K) ……式8.2</p> <p style="text-align: center;">K : ロス率</p> <table border="1" data-bbox="338 1375 913 1469"> <thead> <tr> <th>材 料 名</th> <th>本 体 管</th> <th>さ や 管</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ロ ス 率 (K)</td> <td>+0.01</td> <td>+0.01</td> </tr> </tbody> </table>	本体管の材質		コンクリート製		合成樹脂製			鋼製	さや管の材質		VU・FEP管類		VU管類	FEP管類		—	名 称	単 位	本体管設置	さや管設置	本体管及び さや管設置	本体管設置	さや管設置	本体管設置	世 話 役	人	1	1	1	1	1	1	特殊作業員	〃	1	1	1	1	1	1	普通作業員	〃	2	2	2	2	4	2	材 料 名	本 体 管	さ や 管	ロ ス 率 (K)	+0.01	+0.01	<p style="text-align: center;">現行のとおり</p>
本体管の材質		コンクリート製		合成樹脂製			鋼製																																																	
さや管の材質		VU・FEP管類		VU管類	FEP管類		—																																																	
名 称	単 位	本体管設置	さや管設置	本体管及び さや管設置	本体管設置	さや管設置	本体管設置																																																	
世 話 役	人	1	1	1	1	1	1																																																	
特殊作業員	〃	1	1	1	1	1	1																																																	
普通作業員	〃	2	2	2	2	4	2																																																	
材 料 名	本 体 管	さ や 管																																																						
ロ ス 率 (K)	+0.01	+0.01																																																						

土木工事標準歩掛の一部改定
情報ボックス工

種名	現 行	改 定																																		
	<p>8-3 諸雑費</p> <p>諸雑費は、本体管の材質が合成樹脂製のさや管設置（F E P管類）の場合計上する。さや管引込用ウインチの損料及びベルマウス等の費用であり、労務費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表 8.3 諸雑费率 (%)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">諸 雑 費 率</td> <td style="text-align: center;">12</td> </tr> </table> <p>8-4 日当り施工量</p> <p>日当り施工量（D5）は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 8.4 日当り施工量 (1日当り)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="2">本体管の材質</th> <th colspan="2">コンクリート製</th> <th colspan="3">合成樹脂製</th> <th>鋼製</th> </tr> <tr> <th colspan="2">さや管の材質</th> <th colspan="2">V U ・ F E P管類</th> <th>V U管類</th> <th colspan="2">F E P管類</th> <th>—</th> </tr> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>本体管設置</th> <th>さや管設置</th> <th>本体管及びさや管設置</th> <th>本体管設置</th> <th>さや管設置</th> <th>本体管設置</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日当り施工量</td> <td>m</td> <td>98</td> <td>218</td> <td>68</td> <td>146</td> <td>358</td> <td>507</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. さや管設置の施工量とは、本体管延長をいう。 2. さや管設置の日当り施工量は、条数に関係なく上表の値を適用する。</p> <p>9. 管路工（露出部）</p> <p>露出部（トンネル部を除く）における管路材設置（本体管及びさや管を設置するもの）に適用する。高所作業車での施工を標準としているが、高所作業車での施工が不可能な場合は、高所作業車運転を除外し、現場条件に適合する足場工を別途計上する。</p> <p>9-1 日当り編成人員</p> <p>日当り編成人員は、次表を標準とする。</p>	諸 雑 費 率	12	本体管の材質		コンクリート製		合成樹脂製			鋼製	さや管の材質		V U ・ F E P管類		V U管類	F E P管類		—	名 称	単 位	本体管設置	さや管設置	本体管及びさや管設置	本体管設置	さや管設置	本体管設置	日当り施工量	m	98	218	68	146	358	507	<p style="text-align: center;">現行のとおり</p>
諸 雑 費 率	12																																			
本体管の材質		コンクリート製		合成樹脂製			鋼製																													
さや管の材質		V U ・ F E P管類		V U管類	F E P管類		—																													
名 称	単 位	本体管設置	さや管設置	本体管及びさや管設置	本体管設置	さや管設置	本体管設置																													
日当り施工量	m	98	218	68	146	358	507																													

土木工事標準歩掛の一部改定
情報ボックス工

種名	現 行	改 定																																				
	<p style="text-align: center;">表9.1 日当り編成人員 (人)</p> <table border="1" data-bbox="309 268 1043 472"> <tr> <td colspan="2">本体管の材質</td> <td>鋼製・FRP製</td> </tr> <tr> <td colspan="2">さや管の材質</td> <td>VU・FEP管類</td> </tr> <tr> <td>名 称</td> <td>単 位</td> <td>本体管及びさや管設置</td> </tr> <tr> <td>世 話 役</td> <td>人</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td>〃</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>〃</td> <td>2</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 本体管設置は、本体管、本体管用スリーブ、伸縮継手及び受・支持金具の設置作業である。 2. さや管設置は、さや管、さや管用スリーブ、伸縮継手の設置、通線確認及び管内清掃の作業である。また、さや管の条数に関係なく適用する。</p> <p>9-2 材料の使用量 管路材の使用数量は次式による。 $\text{本体管の使用量 (m)} = \text{設計数量 (m)} \times (1 + K) \quad \dots\dots\text{式9.1}$ $\text{さや管の使用量 (m)} = \text{設計数量 (m)} \times \text{条数} \times (1 + K) \quad \dots\dots\text{式9.2}$ <p style="text-align: center;">K : ロス率</p> <p style="text-align: center;">表9.2 ロ ス 率</p> <table border="1" data-bbox="318 976 1052 1062"> <tr> <td>材 料 名</td> <td>本 体 管</td> <td>さ や 管</td> </tr> <tr> <td>ロ ス 率 (K)</td> <td>+0.01</td> <td>+0.01</td> </tr> </table> <p>9-3 日当り施工量 日当り施工量 (D6) は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表9.3 日当り施工量 (1日当り)</p> <table border="1" data-bbox="259 1260 1079 1442"> <tr> <td colspan="2">本体管の材質</td> <td>鋼製・FRP製</td> </tr> <tr> <td colspan="2">さや管の材質</td> <td>VU・FEP管類</td> </tr> <tr> <td>名 称</td> <td>単 位</td> <td>本体管及びさや管設置</td> </tr> <tr> <td>日 当 り 施 工 量</td> <td>m</td> <td>21</td> </tr> </table> <p>(注) さや管の条数に関係なく上表の値を適用する。</p> </p>	本体管の材質		鋼製・FRP製	さや管の材質		VU・FEP管類	名 称	単 位	本体管及びさや管設置	世 話 役	人	1	特 殊 作 業 員	〃	1	普 通 作 業 員	〃	2	材 料 名	本 体 管	さ や 管	ロ ス 率 (K)	+0.01	+0.01	本体管の材質		鋼製・FRP製	さや管の材質		VU・FEP管類	名 称	単 位	本体管及びさや管設置	日 当 り 施 工 量	m	21	<p style="text-align: center;">現行のとおり</p>
本体管の材質		鋼製・FRP製																																				
さや管の材質		VU・FEP管類																																				
名 称	単 位	本体管及びさや管設置																																				
世 話 役	人	1																																				
特 殊 作 業 員	〃	1																																				
普 通 作 業 員	〃	2																																				
材 料 名	本 体 管	さ や 管																																				
ロ ス 率 (K)	+0.01	+0.01																																				
本体管の材質		鋼製・FRP製																																				
さや管の材質		VU・FEP管類																																				
名 称	単 位	本体管及びさや管設置																																				
日 当 り 施 工 量	m	21																																				

土木工事標準歩掛の一部改定
情報ボックス工

種名	現 行	改 定																																																																					
	<p>10. ハンドホール工</p> <p>ハンドホールの設置歩掛は、次表とする。なお、支持金具、蓋、固定板等の設置手間を含む。トラック（クレーン装置付）は、表3.1 機種を選定を標準とするが、吊荷重及び作業半径により、これにより難しい場合は適正規格のトラッククレーンを選定することが出来る。ただし、トラッククレーンは、賃料とする。</p> <p>10-1 日当り編成人員</p> <p>日当り編成人員は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表10.1 日当り編成人員</p> <table border="1" data-bbox="302 582 1077 671"> <thead> <tr> <th>世 話 役</th> <th>特 殊 作 業 員</th> <th>普 通 作 業 員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> </tbody> </table> <p>10-2 日当り施工量</p> <p>日当り施工量（D7）は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表10.2 日当り施工量（1日当り）</p> <table border="1" data-bbox="273 842 1113 892"> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">日 当 り 施 工 量</td> <td style="text-align: center;">個</td> <td style="text-align: center;">4</td> </tr> </tbody> </table> <p>11. 単価表</p> <p>(1) 舗装版破碎 100 m²当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="255 1023 1113 1241"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>○×100/D₁</td> <td>表4.1, 表4.2</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>○×100/D₁</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>クローラ型・超小旋回型・排出ガス対策型(第1次基準値)・山積0.28m³(平積0.2m³)</td> <td>日</td> <td>○×100/D₁</td> <td>表3.1, 表4.2</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D1: 日当り施工量 (m²/日)</p>	世 話 役	特 殊 作 業 員	普 通 作 業 員	1	1	2	日 当 り 施 工 量	個	4	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	○×100/D ₁	表4.1, 表4.2	普 通 作 業 員		〃	○×100/D ₁	〃	バックホウ運転	クローラ型・超小旋回型・排出ガス対策型(第1次基準値)・山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	日	○×100/D ₁	表3.1, 表4.2	諸 雑 費		式	1		計					<p style="text-align: center;">現行のとおり</p> <p>11. 単価表</p> <p>(1) 舗装版破碎 100 m²当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="1205 1034 2047 1252"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>○×100/D₁</td> <td>表4.1, 表4.2</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>○×100/D₁</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>クローラ型・超小旋回型・排出ガス対策型(第2次基準値)・山積0.28m³(平積0.2m³)</td> <td>日</td> <td>○×100/D₁</td> <td>表3.1, 表4.2</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D1: 日当り施工量 (m²/日)</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	○×100/D ₁	表4.1, 表4.2	普 通 作 業 員		〃	○×100/D ₁	〃	バックホウ運転	クローラ型・超小旋回型・排出ガス対策型(第2次基準値)・山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	日	○×100/D ₁	表3.1, 表4.2	諸 雑 費		式	1		計				
世 話 役	特 殊 作 業 員	普 通 作 業 員																																																																					
1	1	2																																																																					
日 当 り 施 工 量	個	4																																																																					
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																			
世 話 役		人	○×100/D ₁	表4.1, 表4.2																																																																			
普 通 作 業 員		〃	○×100/D ₁	〃																																																																			
バックホウ運転	クローラ型・超小旋回型・排出ガス対策型(第1次基準値)・山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	日	○×100/D ₁	表3.1, 表4.2																																																																			
諸 雑 費		式	1																																																																				
計																																																																							
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																			
世 話 役		人	○×100/D ₁	表4.1, 表4.2																																																																			
普 通 作 業 員		〃	○×100/D ₁	〃																																																																			
バックホウ運転	クローラ型・超小旋回型・排出ガス対策型(第2次基準値)・山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	日	○×100/D ₁	表3.1, 表4.2																																																																			
諸 雑 費		式	1																																																																				
計																																																																							

土木工事標準歩掛の一部改定
情報ボックス工

種名	現 行	改 定																																																																																																																																																																																																																																						
	<p>(2) 床掘り 100m³ 当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>○×100/D₂</td> <td>表5.1, 表5.2</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>○×100/D₂</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>クローラ型・超小旋回型・排出ガス対策型(第1次基準値)・山積0.28m³(平積0.2m³)</td> <td>日</td> <td>○×100/D₂</td> <td>表3.1, 表5.2</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D2: 日当り施工量 (m³/日)</p> <p>(3) 埋戻し 100m³ 当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>○×100/D₃</td> <td>表6.1, 表6.4</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>○×100/D₃</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>○×100/D₃</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>中 埋 材 料</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td>必要量計上</td> </tr> <tr> <td>埋設表示シート</td> <td></td> <td>m</td> <td></td> <td>式6.1</td> </tr> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>クローラ型・超小旋回型・排出ガス対策型(第1次基準値)・山積0.28m³(平積0.2m³)</td> <td>日</td> <td>○×100/D₃</td> <td>表3.1, 表6.4</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表6.3</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. D3: 日当り施工量 (m³/日)</p> <p>2. 埋戻し, 締固めに中埋材料(砂, 砕石等)を使用する場合は, 別途計上する。</p> <p>(4) 基礎材 100 m²当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>○×100/D₄</td> <td>表7.1, 表7.4</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>○×100/D₄</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>○×100/D₄</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>クラッシュラン等</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td>式7.1</td> </tr> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>クローラ型・超小旋回型・排出ガス対策型(第1次基準値)・山積0.28m³(平積0.2m³)</td> <td>日</td> <td>○×100/D₄</td> <td>表3.1, 表7.4</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表7.3</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D4: 日当り施工量 (m²/日)</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	○×100/D ₂	表5.1, 表5.2	普 通 作 業 員		〃	○×100/D ₂	〃	バックホウ運転	クローラ型・超小旋回型・排出ガス対策型(第1次基準値)・山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	日	○×100/D ₂	表3.1, 表5.2	諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	○×100/D ₃	表6.1, 表6.4	特 殊 作 業 員		〃	○×100/D ₃	〃	普 通 作 業 員		〃	○×100/D ₃	〃	中 埋 材 料		m ³		必要量計上	埋設表示シート		m		式6.1	バックホウ運転	クローラ型・超小旋回型・排出ガス対策型(第1次基準値)・山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	日	○×100/D ₃	表3.1, 表6.4	諸 雑 費		式	1	表6.3	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	○×100/D ₄	表7.1, 表7.4	特 殊 作 業 員		〃	○×100/D ₄	〃	普 通 作 業 員		〃	○×100/D ₄	〃	クラッシュラン等		m ³		式7.1	バックホウ運転	クローラ型・超小旋回型・排出ガス対策型(第1次基準値)・山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	日	○×100/D ₄	表3.1, 表7.4	諸 雑 費		式	1	表7.3	計					<p>(2) 床掘り 100m³ 当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>○×100/D₂</td> <td>表5.1, 表5.2</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>○×100/D₂</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>クローラ型・超小旋回型・排出ガス対策型(第2次基準値)・山積0.28m³(平積0.2m³)</td> <td>日</td> <td>○×100/D₂</td> <td>表3.1, 表5.2</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D2: 日当り施工量 (m³/日)</p> <p>(3) 埋戻し 100m³ 当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>○×100/D₃</td> <td>表6.1, 表6.4</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>○×100/D₃</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>○×100/D₃</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>中 埋 材 料</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td>必要量計上</td> </tr> <tr> <td>埋設表示シート</td> <td></td> <td>m</td> <td></td> <td>式6.1</td> </tr> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>クローラ型・超小旋回型・排出ガス対策型(第2次基準値)・山積0.28m³(平積0.2m³)</td> <td>日</td> <td>○×100/D₃</td> <td>表3.1, 表6.4</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表6.3</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. D3: 日当り施工量 (m³/日)</p> <p>2. 埋戻し, 締固めに中埋材料(砂, 砕石等)を使用する場合は, 別途計上する。</p> <p>(4) 基礎材 100 m²当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>○×100/D₄</td> <td>表7.1, 表7.4</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>○×100/D₄</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>○×100/D₄</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>クラッシュラン等</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td>式7.1</td> </tr> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>クローラ型・超小旋回型・排出ガス対策型(第2次基準値)・山積0.28m³(平積0.2m³)</td> <td>日</td> <td>○×100/D₄</td> <td>表3.1, 表7.4</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表7.3</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D4: 日当り施工量 (m²/日)</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	○×100/D ₂	表5.1, 表5.2	普 通 作 業 員		〃	○×100/D ₂	〃	バックホウ運転	クローラ型・超小旋回型・排出ガス対策型(第2次基準値)・山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	日	○×100/D ₂	表3.1, 表5.2	諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	○×100/D ₃	表6.1, 表6.4	特 殊 作 業 員		〃	○×100/D ₃	〃	普 通 作 業 員		〃	○×100/D ₃	〃	中 埋 材 料		m ³		必要量計上	埋設表示シート		m		式6.1	バックホウ運転	クローラ型・超小旋回型・排出ガス対策型(第2次基準値)・山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	日	○×100/D ₃	表3.1, 表6.4	諸 雑 費		式	1	表6.3	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	○×100/D ₄	表7.1, 表7.4	特 殊 作 業 員		〃	○×100/D ₄	〃	普 通 作 業 員		〃	○×100/D ₄	〃	クラッシュラン等		m ³		式7.1	バックホウ運転	クローラ型・超小旋回型・排出ガス対策型(第2次基準値)・山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	日	○×100/D ₄	表3.1, 表7.4	諸 雑 費		式	1	表7.3	計				
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																				
世 話 役		人	○×100/D ₂	表5.1, 表5.2																																																																																																																																																																																																																																				
普 通 作 業 員		〃	○×100/D ₂	〃																																																																																																																																																																																																																																				
バックホウ運転	クローラ型・超小旋回型・排出ガス対策型(第1次基準値)・山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	日	○×100/D ₂	表3.1, 表5.2																																																																																																																																																																																																																																				
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																																																																																																																					
計																																																																																																																																																																																																																																								
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																				
世 話 役		人	○×100/D ₃	表6.1, 表6.4																																																																																																																																																																																																																																				
特 殊 作 業 員		〃	○×100/D ₃	〃																																																																																																																																																																																																																																				
普 通 作 業 員		〃	○×100/D ₃	〃																																																																																																																																																																																																																																				
中 埋 材 料		m ³		必要量計上																																																																																																																																																																																																																																				
埋設表示シート		m		式6.1																																																																																																																																																																																																																																				
バックホウ運転	クローラ型・超小旋回型・排出ガス対策型(第1次基準値)・山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	日	○×100/D ₃	表3.1, 表6.4																																																																																																																																																																																																																																				
諸 雑 費		式	1	表6.3																																																																																																																																																																																																																																				
計																																																																																																																																																																																																																																								
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																				
世 話 役		人	○×100/D ₄	表7.1, 表7.4																																																																																																																																																																																																																																				
特 殊 作 業 員		〃	○×100/D ₄	〃																																																																																																																																																																																																																																				
普 通 作 業 員		〃	○×100/D ₄	〃																																																																																																																																																																																																																																				
クラッシュラン等		m ³		式7.1																																																																																																																																																																																																																																				
バックホウ運転	クローラ型・超小旋回型・排出ガス対策型(第1次基準値)・山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	日	○×100/D ₄	表3.1, 表7.4																																																																																																																																																																																																																																				
諸 雑 費		式	1	表7.3																																																																																																																																																																																																																																				
計																																																																																																																																																																																																																																								
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																				
世 話 役		人	○×100/D ₂	表5.1, 表5.2																																																																																																																																																																																																																																				
普 通 作 業 員		〃	○×100/D ₂	〃																																																																																																																																																																																																																																				
バックホウ運転	クローラ型・超小旋回型・排出ガス対策型(第2次基準値)・山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	日	○×100/D ₂	表3.1, 表5.2																																																																																																																																																																																																																																				
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																																																																																																																					
計																																																																																																																																																																																																																																								
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																				
世 話 役		人	○×100/D ₃	表6.1, 表6.4																																																																																																																																																																																																																																				
特 殊 作 業 員		〃	○×100/D ₃	〃																																																																																																																																																																																																																																				
普 通 作 業 員		〃	○×100/D ₃	〃																																																																																																																																																																																																																																				
中 埋 材 料		m ³		必要量計上																																																																																																																																																																																																																																				
埋設表示シート		m		式6.1																																																																																																																																																																																																																																				
バックホウ運転	クローラ型・超小旋回型・排出ガス対策型(第2次基準値)・山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	日	○×100/D ₃	表3.1, 表6.4																																																																																																																																																																																																																																				
諸 雑 費		式	1	表6.3																																																																																																																																																																																																																																				
計																																																																																																																																																																																																																																								
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																				
世 話 役		人	○×100/D ₄	表7.1, 表7.4																																																																																																																																																																																																																																				
特 殊 作 業 員		〃	○×100/D ₄	〃																																																																																																																																																																																																																																				
普 通 作 業 員		〃	○×100/D ₄	〃																																																																																																																																																																																																																																				
クラッシュラン等		m ³		式7.1																																																																																																																																																																																																																																				
バックホウ運転	クローラ型・超小旋回型・排出ガス対策型(第2次基準値)・山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	日	○×100/D ₄	表3.1, 表7.4																																																																																																																																																																																																																																				
諸 雑 費		式	1	表7.3																																																																																																																																																																																																																																				
計																																																																																																																																																																																																																																								

土木工事標準歩掛の一部改定
情報ボックス工

種名	現 行	改 定																																																																																															
	<p>(5) 管路工 (埋設部)</p> <p>1) 埋設部本体管設置100m当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="255 319 1043 663"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>○×100/D₅</td> <td>表8.1, 表8.4</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>○×100/D₅</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>○×100/D₅</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>本 体 管 材</td> <td>径○mm</td> <td>m</td> <td></td> <td>式8.1</td> </tr> <tr> <td>ス リ ー プ 材</td> <td>各種</td> <td>個</td> <td></td> <td>必要量計上</td> </tr> <tr> <td>伸 縮 継 手</td> <td>各種</td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>トラック(クレーン装置付)運転</td> <td>4t積・2.9t吊</td> <td>日</td> <td>○×100/D₅</td> <td>表3.1, 表8.4</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. D5: 日当り施工量 (m/日)</p> <p>2. トラック (クレーン装置付) 運転は, 本体管の材質がコンクリート製の場合のみ計上する。</p> <p>2) 埋設部さや管設置100m当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="273 967 1084 1264"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>○×100/D₅</td> <td>表8.1, 表8.4</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>○×100/D₅</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>○×100/D₅</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>さ や 管 材</td> <td>径○mm</td> <td>m</td> <td></td> <td>式8.2</td> </tr> <tr> <td>ス リ ー プ 材</td> <td>各種</td> <td>個</td> <td></td> <td>必要量計上</td> </tr> <tr> <td>伸 縮 継 手</td> <td>各種</td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表8.3</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D5: 日当り施工量 (m/日)</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	○×100/D ₅	表8.1, 表8.4	特 殊 作 業 員		〃	○×100/D ₅	〃	普 通 作 業 員		〃	○×100/D ₅	〃	本 体 管 材	径○mm	m		式8.1	ス リ ー プ 材	各種	個		必要量計上	伸 縮 継 手	各種	〃		〃	トラック(クレーン装置付)運転	4t積・2.9t吊	日	○×100/D ₅	表3.1, 表8.4	諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	○×100/D ₅	表8.1, 表8.4	特 殊 作 業 員		〃	○×100/D ₅	〃	普 通 作 業 員		〃	○×100/D ₅	〃	さ や 管 材	径○mm	m		式8.2	ス リ ー プ 材	各種	個		必要量計上	伸 縮 継 手	各種	〃		〃	諸 雑 費		式	1	表8.3	計					<p>現行のとおり</p>
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																													
世 話 役		人	○×100/D ₅	表8.1, 表8.4																																																																																													
特 殊 作 業 員		〃	○×100/D ₅	〃																																																																																													
普 通 作 業 員		〃	○×100/D ₅	〃																																																																																													
本 体 管 材	径○mm	m		式8.1																																																																																													
ス リ ー プ 材	各種	個		必要量計上																																																																																													
伸 縮 継 手	各種	〃		〃																																																																																													
トラック(クレーン装置付)運転	4t積・2.9t吊	日	○×100/D ₅	表3.1, 表8.4																																																																																													
諸 雑 費		式	1																																																																																														
計																																																																																																	
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																													
世 話 役		人	○×100/D ₅	表8.1, 表8.4																																																																																													
特 殊 作 業 員		〃	○×100/D ₅	〃																																																																																													
普 通 作 業 員		〃	○×100/D ₅	〃																																																																																													
さ や 管 材	径○mm	m		式8.2																																																																																													
ス リ ー プ 材	各種	個		必要量計上																																																																																													
伸 縮 継 手	各種	〃		〃																																																																																													
諸 雑 費		式	1	表8.3																																																																																													
計																																																																																																	

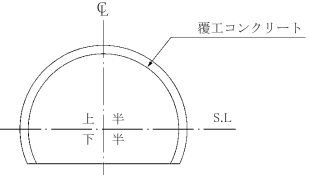
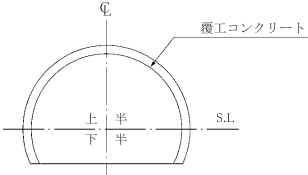
土木工事標準歩掛の一部改定
情報ボックス工

種名	現 行	改 定																																																																																																														
	<p>3) 埋設部本体管及びびさや管設置100m当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="282 272 1070 600"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>○×100/D₅</td> <td>表8.1, 表8.4</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>○×100/D₅</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>○×100/D₅</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>本 体 管 材</td> <td>径○mm</td> <td>m</td> <td></td> <td>式8.1</td> </tr> <tr> <td>さ や 管 材</td> <td>径○mm</td> <td>〃</td> <td></td> <td>式8.2</td> </tr> <tr> <td>ス リ ー プ 材</td> <td>各種</td> <td>個</td> <td></td> <td>必要量計上</td> </tr> <tr> <td>伸 縮 継 手</td> <td>各種</td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D5: 日当り施工量 (m/日)</p> <p>(6) 管路工 (露出部)</p> <p>1) 露出部本体管及びびさや管設置100m当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="259 831 1099 1238"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>○×100/D₆</td> <td>表9.1, 表9.3</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>○×100/D₆</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>○×100/D₆</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>本 体 管 材</td> <td>径○mm</td> <td>m</td> <td></td> <td>式9.1</td> </tr> <tr> <td>さ や 管 材</td> <td>径○mm</td> <td>〃</td> <td></td> <td>式9.2</td> </tr> <tr> <td>ス リ ー プ 材</td> <td>各種</td> <td>個</td> <td></td> <td>必要量計上</td> </tr> <tr> <td>伸 縮 継 手</td> <td>各種</td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>高 所 作 業 車 運 転</td> <td>トラック架装リフト・垂直型 作業床 高9.9m 積載荷重1,000kg</td> <td>日</td> <td>○×100/D₆</td> <td>表3.1, 表9.3</td> </tr> <tr> <td>トラック(クレーン 装置付)運 転</td> <td>4t積・2.9t吊</td> <td>〃</td> <td>○×100/D₆</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D6: 日当り施工量 (m/日)</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	○×100/D ₅	表8.1, 表8.4	特 殊 作 業 員		〃	○×100/D ₅	〃	普 通 作 業 員		〃	○×100/D ₅	〃	本 体 管 材	径○mm	m		式8.1	さ や 管 材	径○mm	〃		式8.2	ス リ ー プ 材	各種	個		必要量計上	伸 縮 継 手	各種	〃		〃	諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	○×100/D ₆	表9.1, 表9.3	特 殊 作 業 員		〃	○×100/D ₆	〃	普 通 作 業 員		〃	○×100/D ₆	〃	本 体 管 材	径○mm	m		式9.1	さ や 管 材	径○mm	〃		式9.2	ス リ ー プ 材	各種	個		必要量計上	伸 縮 継 手	各種	〃		〃	高 所 作 業 車 運 転	トラック架装リフト・垂直型 作業床 高9.9m 積載荷重1,000kg	日	○×100/D ₆	表3.1, 表9.3	トラック(クレーン 装置付)運 転	4t積・2.9t吊	〃	○×100/D ₆	〃	諸 雑 費		式	1		計					<p>現行のとおり</p>
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																												
世 話 役		人	○×100/D ₅	表8.1, 表8.4																																																																																																												
特 殊 作 業 員		〃	○×100/D ₅	〃																																																																																																												
普 通 作 業 員		〃	○×100/D ₅	〃																																																																																																												
本 体 管 材	径○mm	m		式8.1																																																																																																												
さ や 管 材	径○mm	〃		式8.2																																																																																																												
ス リ ー プ 材	各種	個		必要量計上																																																																																																												
伸 縮 継 手	各種	〃		〃																																																																																																												
諸 雑 費		式	1																																																																																																													
計																																																																																																																
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																												
世 話 役		人	○×100/D ₆	表9.1, 表9.3																																																																																																												
特 殊 作 業 員		〃	○×100/D ₆	〃																																																																																																												
普 通 作 業 員		〃	○×100/D ₆	〃																																																																																																												
本 体 管 材	径○mm	m		式9.1																																																																																																												
さ や 管 材	径○mm	〃		式9.2																																																																																																												
ス リ ー プ 材	各種	個		必要量計上																																																																																																												
伸 縮 継 手	各種	〃		〃																																																																																																												
高 所 作 業 車 運 転	トラック架装リフト・垂直型 作業床 高9.9m 積載荷重1,000kg	日	○×100/D ₆	表3.1, 表9.3																																																																																																												
トラック(クレーン 装置付)運 転	4t積・2.9t吊	〃	○×100/D ₆	〃																																																																																																												
諸 雑 費		式	1																																																																																																													
計																																																																																																																

土木工事標準歩掛の一部改定
情報ボックス工

種名	現 行	改 定																																																																																							
	<p>(7) ハンドホール工 10 個当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="248 264 1072 633"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>○×10/D₇</td> <td>表10.1, 表10.2</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>○×10/D₇</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>○×10/D₇</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ハ ン ド ホ ー ル</td> <td></td> <td>個</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>蓋</td> <td></td> <td>枚</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>固 定 板</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>必要量計上</td> </tr> <tr> <td>支 持 金 具</td> <td></td> <td>個</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>トラック(クレーン装置付) 運 転</td> <td>4t積・2.9t吊</td> <td>日</td> <td>○×10/D₇</td> <td>表3.1, 表10.2</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D₇: 日当り施工量 (個/日)</p> <p>(8) 機械運転単価表</p> <table border="1" data-bbox="248 815 1131 1050"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ</td> <td>クローラ型・超小旋回型・排出ガス対策型 (第1次基準値)・山積0.28m³(平積0.2m³)</td> <td>機-28</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→42 賃料数量→1.51</td> </tr> <tr> <td>ト ラ ッ ク (クレーン装置付)</td> <td>4t積・2.9t吊</td> <td>機-28</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→21 賃料数量→1.45</td> </tr> <tr> <td>高 所 作 業 車</td> <td>トラック架装リフト・垂直型 作業床高 9.9m 積載荷重1,000kg</td> <td>機-19</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→10 機械損料数量→1.08</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	○×10/D ₇	表10.1, 表10.2	特 殊 作 業 員		〃	○×10/D ₇	〃	普 通 作 業 員		〃	○×10/D ₇	〃	ハ ン ド ホ ー ル		個	10		蓋		枚	10		固 定 板		〃		必要量計上	支 持 金 具		個		〃	トラック(クレーン装置付) 運 転	4t積・2.9t吊	日	○×10/D ₇	表3.1, 表10.2	諸 雑 費		式	1		計					機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	バ ッ ク ホ ウ	クローラ型・超小旋回型・排出ガス対策型 (第1次基準値)・山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→42 賃料数量→1.51	ト ラ ッ ク (クレーン装置付)	4t積・2.9t吊	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→21 賃料数量→1.45	高 所 作 業 車	トラック架装リフト・垂直型 作業床高 9.9m 積載荷重1,000kg	機-19	運転労務数量→1.00 燃料消費量→10 機械損料数量→1.08	<p>現行のとおり</p> <p>(8) 機械運転単価表</p> <table border="1" data-bbox="1202 802 2067 1035"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ</td> <td>クローラ型・超小旋回型・排出ガス対策型 (第2次基準値)・山積0.28m³(平積0.2m³)</td> <td>機-28</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→42 賃料数量→1.51</td> </tr> <tr> <td>ト ラ ッ ク (クレーン装置付)</td> <td>4t積・2.9t吊</td> <td>機-28</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→21 賃料数量→1.45</td> </tr> <tr> <td>高 所 作 業 車</td> <td>トラック架装リフト・垂直型 作業床高 9.9m 積載荷重1,000kg</td> <td>機-19</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→10 機械損料数量→1.08</td> </tr> </tbody> </table>	機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	バ ッ ク ホ ウ	クローラ型・超小旋回型・排出ガス対策型 (第2次基準値)・山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→42 賃料数量→1.51	ト ラ ッ ク (クレーン装置付)	4t積・2.9t吊	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→21 賃料数量→1.45	高 所 作 業 車	トラック架装リフト・垂直型 作業床高 9.9m 積載荷重1,000kg	機-19	運転労務数量→1.00 燃料消費量→10 機械損料数量→1.08
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																					
世 話 役		人	○×10/D ₇	表10.1, 表10.2																																																																																					
特 殊 作 業 員		〃	○×10/D ₇	〃																																																																																					
普 通 作 業 員		〃	○×10/D ₇	〃																																																																																					
ハ ン ド ホ ー ル		個	10																																																																																						
蓋		枚	10																																																																																						
固 定 板		〃		必要量計上																																																																																					
支 持 金 具		個		〃																																																																																					
トラック(クレーン装置付) 運 転	4t積・2.9t吊	日	○×10/D ₇	表3.1, 表10.2																																																																																					
諸 雑 費		式	1																																																																																						
計																																																																																									
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																																																																						
バ ッ ク ホ ウ	クローラ型・超小旋回型・排出ガス対策型 (第1次基準値)・山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→42 賃料数量→1.51																																																																																						
ト ラ ッ ク (クレーン装置付)	4t積・2.9t吊	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→21 賃料数量→1.45																																																																																						
高 所 作 業 車	トラック架装リフト・垂直型 作業床高 9.9m 積載荷重1,000kg	機-19	運転労務数量→1.00 燃料消費量→10 機械損料数量→1.08																																																																																						
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																																																																						
バ ッ ク ホ ウ	クローラ型・超小旋回型・排出ガス対策型 (第2次基準値)・山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→42 賃料数量→1.51																																																																																						
ト ラ ッ ク (クレーン装置付)	4t積・2.9t吊	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→21 賃料数量→1.45																																																																																						
高 所 作 業 車	トラック架装リフト・垂直型 作業床高 9.9m 積載荷重1,000kg	機-19	運転労務数量→1.00 燃料消費量→10 機械損料数量→1.08																																																																																						

土木工事標準歩掛の一部改定
トンネル工（NATM）〔発破工法〕

工種名	現 行	改 定
トンネル工 (NATM) 〔発破工法〕	<p style="font-size: 1.2em; margin: 0;">15章. ト ン ネ ル 工</p> <p style="margin: 10px 0 0 20px;">①－1 トンネル工（NATM）〔発破工法〕</p> <p>1. 適用範囲</p> <p>本資料は、施工計画編と施工歩掛編に分かれている。</p> <p>なお、本資料は、トンネル工（NATM）における片押し延長2,500m以下、設計掘削断面積50m²以上95m²以下のトンネルに適用するものとし、適用にあたっては下記事項に留意し実施するものとする。</p> <p>① 掘削工法は、発破工法に適用する。</p> <p>② 発破工法は、普通一般地質における補助ベンチ付全断面掘削工法及び上半先進ベンチカット工法に適用する。</p> <p>③ 隣接トンネルや住居近接トンネルで標準の工法が採用できない場合は、別途考慮する。</p> <p>④ 片押し延長が2,500mを超えるもの、設計掘削断面積50m²未満のものは、別途考慮する。また、設計掘削断面積95m²を超える大断面トンネルについても、支保工及び覆工等について検討し、本基準により難い場合は、別途考慮する。</p> <p>⑤ ずり搬出方式は、タイヤ方式とする。</p> <p>⑥ 掘削区分A、CⅡ-a、DⅠ-a、Eについては、別途考慮する。</p> <p>⑦ 標準的な加背割りは、下図のとおりとする。</p> <div style="text-align: center; margin: 20px 0;">  </div> <p style="text-align: center; margin: 0;">図1-1 加背割図</p>	<p style="font-size: 1.2em; margin: 0;">15章. ト ン ネ ル 工</p> <p style="margin: 10px 0 0 20px;">①－1 トンネル工（NATM）〔発破工法〕</p> <p>1. 適用範囲</p> <p>本資料は、施工計画編と施工歩掛編に分かれている。</p> <p>なお、本資料は、トンネル工（NATM）における片押し延長2,500m以下、設計掘削断面積50m²以上95m²以下のトンネルに適用するものとし、適用にあたっては下記事項に留意し実施するものとする。</p> <p>① 掘削工法は、発破工法に適用する。</p> <p>② 発破工法は、普通一般地質における補助ベンチ付全断面掘削工法及び上半先進ベンチカット工法に適用する。</p> <p>③ 隣接トンネルや住居近接トンネルで標準の工法が採用できない場合は、別途考慮する。</p> <p>④ 片押し延長が2,500mを超えるもの、設計掘削断面積50m²未満のものは、別途考慮する。また、設計掘削断面積95m²を超える大断面トンネルについても、支保工及び覆工等について検討し、本基準により難い場合は、別途考慮する。</p> <p>⑤ ずり搬出方式は、タイヤ方式とする。</p> <p>⑥ 掘削区分A、B、CⅡ-a、DⅠ-a、Eについては、別途考慮する。</p> <p>⑦ 標準的な加背割りは、下図のとおりとする。</p> <div style="text-align: center; margin: 20px 0;">  </div> <p style="text-align: center; margin: 0;">図1-1 加背割図</p>

土木工事標準歩掛の一部改定
トンネル工（NATM） [発破工法]

工種名	現 行	改 定
	<p>2. 施 工 概 要 (1) 施工フロー</p> <p>補助ベンチ付全断面工法</p> <p>上半先進ベンチカット工法 (上下半交互併進)</p> <p>機 械 搬 入</p> <p>掘削工 (上下半)</p> <p>穿 孔 装 薬 発破・換気 ずり出し</p> <p>支保工 (上下半)</p> <p>一次吹付コンクリート 鋼製支保建込 金網取付 二次吹付コンクリート ロックボルト打設</p> <p>防 水 シ ー ト 張</p> <p>覆 工</p> <p>機 械 搬 出</p> <p>掘削工 (上 半)</p> <p>穿 孔 装 薬 発破・換気 ずり出し</p> <p>支保工 (上 半)</p> <p>一次吹付コンクリート 鋼製支保建込 金網取付 二次吹付コンクリート ロックボルト打設</p> <p>掘削工 (下 半)</p> <p>穿 孔 装 薬 発破・換気 ずり出し</p> <p>支保工 (下 半)</p> <p>一次吹付コンクリート 鋼製支保建込 金網取付 二次吹付コンクリート ロックボルト打設</p> <p>防 水 シ ー ト 張</p> <p>覆 工</p> <p>機 械 搬 出</p> <p>(注) 本歩掛で対応しているのは実線部分のみである。</p>	<p>現 行 通 り</p>

土木工事標準歩掛の一部改定
トンネル工（NATM） [発破工法]

工種名	現 行	改 定																		
	<p>3. 施 工 計 画</p> <p>3-1 掘削区分及び掘削工法は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 掘削区分、掘削方式及び掘削工法</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">掘削区分</th> <th style="width: 40%;">掘 削 方 式</th> <th style="width: 45%;">掘 削 工 法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>B, C</td> <td>補助ベンチ付全断面工法</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>上半先進ベンチカット工法（ショートベンチカット工法）</td> <td>上下交互併進工法</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-left: 40px;">(注) 地山条件等により切羽の安定性の確立や地上の崩落防止等のために必要に応じて適切な補助工法を別途考慮する。</p> <p>3-2 掘削分類</p> <p>掘削分類は、表3.1.1地山分類表による。</p>	掘削区分	掘 削 方 式	掘 削 工 法	B, C	補助ベンチ付全断面工法	—	D	上半先進ベンチカット工法（ショートベンチカット工法）	上下交互併進工法	<p>3. 施 工 計 画</p> <p>3-1 掘削区分及び掘削工法は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 掘削区分、掘削方式及び掘削工法</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">掘削区分</th> <th style="width: 40%;">掘 削 方 式</th> <th style="width: 45%;">掘 削 工 法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>B-C</td> <td>補助ベンチ付全断面工法</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>上半先進ベンチカット工法（ショートベンチカット工法）</td> <td>上下交互併進工法</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-left: 40px;">(注) 地山条件等により切羽の安定性の確立や地上の崩落防止等のために必要に応じて適切な補助工法を別途考慮する。</p> <p>3-2 掘削分類</p> <p>掘削分類は、表3.1.1地山分類表による。</p>	掘削区分	掘 削 方 式	掘 削 工 法	B -C	補助ベンチ付全断面工法	—	D	上半先進ベンチカット工法（ショートベンチカット工法）	上下交互併進工法
掘削区分	掘 削 方 式	掘 削 工 法																		
B, C	補助ベンチ付全断面工法	—																		
D	上半先進ベンチカット工法（ショートベンチカット工法）	上下交互併進工法																		
掘削区分	掘 削 方 式	掘 削 工 法																		
B -C	補助ベンチ付全断面工法	—																		
D	上半先進ベンチカット工法（ショートベンチカット工法）	上下交互併進工法																		

土木工事標準歩掛の一部改定
トンネル工 (NATM) [発破工法]

工種名	現 行						改 定				
	表3.1.1 地山分類表						<p>現 行 通 り</p>				
地山等級	岩石グループ	代表岩石名	弾性波速度 Vp(km/s)						地山の岩質、水による影響	不連続面の間隔	
B	H塊状	花崗岩, 花崗閃緑岩, 石英斑岩, ホルンフェルス	1.0	2.0	3.0	4.0			5.0	<ul style="list-style-type: none"> 新鮮で堅硬または、多少の風化変質の傾向がある。 水による劣化はない。 	<ul style="list-style-type: none"> 節理の間隔は平均的に50cm程度。 層理、片理の影響が認められるがトンネル掘削に対する影響は小さい。
	M塊状	安山岩, 玄武岩, 流紋岩, 石英安山岩									
	L塊状	第三紀砂岩, 礫岩									
	M層状	蛇紋岩, 凝灰岩, 凝灰角礫岩									
	L層状	粘板岩, 中生層頁岩									
	L層状	黒色片岩, 緑色片岩									
	L層状	第三紀層泥岩									
	C I	花崗岩, 花崗閃緑岩, 石英斑岩, ホルンフェルス								<ul style="list-style-type: none"> 比較的新鮮で堅硬または、多少の風化変質の傾向がある。 固結度の比較的良好軟岩。 水による劣化はない。 	<ul style="list-style-type: none"> 節理の間隔は平均的に30cm程度。 層理、片理が顕著でトンネル掘削に影響を与えるもの。
	M塊状	安山岩, 玄武岩, 流紋岩, 石英安山岩									
	L塊状	第三紀砂岩, 礫岩									
	M層状	蛇紋岩, 凝灰岩, 凝灰角礫岩									
	L層状	粘板岩, 中生層頁岩									
	L層状	黒色片岩, 緑色片岩									
	L層状	第三紀層泥岩									
	C II	花崗岩, 花崗閃緑岩, 石英斑岩, ホルンフェルス								<ul style="list-style-type: none"> 比較的新鮮で堅硬または、多少の風化変質の傾向がある。 風化・変質作用により岩質は多少軟化している。 固結度の比較的良好軟岩。 水により劣化や緩みを部分的に生じる。 	<ul style="list-style-type: none"> 節理の間隔は平均的に20cm程度。 層理、片理が顕著でトンネル掘削に影響を与えるもの。
	M塊状	安山岩, 玄武岩, 流紋岩, 石英安山岩									
	L塊状	第三紀砂岩, 礫岩									
	M層状	蛇紋岩, 凝灰岩, 凝灰角礫岩									
	L層状	粘板岩, 中生層頁岩									
	L層状	黒色片岩, 緑色片岩									
	L層状	第三紀層泥岩									
	D I	花崗岩, 花崗閃緑岩, 石英斑岩, ホルンフェルス						<ul style="list-style-type: none"> 岩質は多少硬い部分もあるが、全体的に強い風化・変質を受けたもの。 層理、片理が非常に顕著なもの。 不連続面の間隔は平均的に10cm以下で、その多くは開口している。 不連続面の開口も大きく鏡肌や粘土を挟むことが多い。 小規模な断層を挟むもの。 転石を多く混じえた土砂、崖錐など。 水により劣化や緩みが著しい。 			
	M塊状	安山岩, 玄武岩, 流紋岩, 石英安山岩									
	L塊状	第三紀砂岩, 礫岩									
	M層状	蛇紋岩, 凝灰岩, 凝灰角礫岩									
	L層状	粘板岩, 中生層頁岩									
	L層状	黒色片岩, 緑色片岩									
	L層状	第三紀層泥岩									

注1) 本分類にあてはまらないほど地山が良好なものを地山等級A、劣悪なもの（掘削幅10m程度で内空変位200mm以上）を地山等級Eとする。
 注2) H, M, Lの区分：岩石の初生的な新鮮な状態での強度により、一軸圧縮強度で次のように区分する。
 H : $qu \geq 80N/mm^2$ M : $20N/mm^2 \leq qu < 80N/mm^2$ L : $qu < 20N/mm^2$
 注3) 塊状、層状の区分 塊状：節理面が支配的な不連続面となるもの。
 層状：層理面あるいは片理面が支配的な不連続面となるもの。

土木工事標準歩掛の一部改定
トンネル工 (NATM) [発破工法]

工種名	現 行	改 定																								
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">状態</th> <th style="width: 15%;">コアの状態, RQD (%)</th> <th style="width: 10%;">地山強度比</th> <th style="width: 60%;">トンネル掘削の状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>不連続面の状態</td> <td>コアの状態, RQD (%)</td> <td>—</td> <td>トンネル掘削の状況</td> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> 不連続面に鏡肌や挟在粘土がほとんどみられない。 不連続面は概ね密着している。 </td> <td> コアの形状は岩片状～短柱状～棒状を示す。 コアの長さが概ね10cm～20cmであるが5cm前後のものもみられる。 RQDは70以上。 </td> <td>—</td> <td> 岩石の強度は、トンネル掘削によって作用する荷重に比べて非常に大きい。 不連続面に状態も良好でトンネル掘削によるゆるみはほとんど生じない。掘削壁面から部分的に肌落ちする場合もある。切羽は自立する。 掘削幅10m程度のトンネルでは、掘削にともなう内空変位は15mm程度以下の微小な弾性変形にとどまる。 </td> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> 不連続面に鏡肌や挟在粘土がごく一部みられる。 不連続面は部分的に開口しているが開口幅は小さい。 </td> <td> コアの長さが概ね5cm～20cmであるが5cm以下のものもみられる。 RQDは40～70。 </td> <td> — 4以上 </td> <td> 岩石の強度は、トンネル掘削によって作用する荷重に比べて大きい。 不連続面の状態も比較的良好でトンネル掘削によるゆるみは部分的なものにとどまる。比較的すべりやすい不連続面に沿って、局部的に抜け落ちる場合もある。切羽は自立する。 掘削幅10m程度のトンネルでは、掘削にともなう内空変位は15～20mm程度以下の小さな弾性変形にとどまる。 </td> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> 不連続面に鏡肌や薄い挟在粘土が部分的にみられる。 不連続面が開口しており、開口幅も比較的大きくなる。 幅の狭い小断層を挟むもの。 </td> <td> コアの長さが10cm以下のものも多く、5cm以下の細片が多量に取れる状態のもの。 RQDは10～40。 </td> <td> — 4以上 </td> <td> 岩石の強度は、トンネル掘削によって作用する荷重に比べてあまり大きくはないが、概ね弾性変形をとどめる程度である。 岩石の強度は大きくても不連続面の状態が悪く、掘削によりすべりやすい不連続面に沿って岩塊が落下しようとしてゆるみが大きくなる。 切羽はほぼ自立する。 掘削にともなう内空変位は、岩石の強度が作用する荷重に比べて小さい場合には、掘削幅10m程度のトンネルで弾塑性境界である30mm程度発生するが、2D離れるまでにほぼ収束する。 </td> </tr> <tr> <td></td> <td> コアは細片状となる。 時には、角礫混じり砂状あるいは粘土状となるもの。 RQDは10程度以下。 </td> <td> 4～2 2～1 </td> <td> 岩石の強度は、トンネル掘削によって作用する荷重に比べて大きくなく、弾性変形とともに一部塑性変形を生じる。 岩石の強度は弾性変形をとどめるに足りるほど大きくても、不連続面の状態が非常に悪く、掘削により多くのすべりやすい不連続面に沿って地山の緩みが拡大する。切羽の自立が悪く、地山条件によってはリングカットや鏡吹きを必要とする。 掘削にともなう内空変位は、岩石の強度が作用する荷重に比べて小さい場合には、インバートで早期に閉合しないならば、掘削幅10m程度のトンネルで30～60mm程度発生し、切羽が2D離れても収束しないことが多い。 岩石の強度は、トンネル掘削によって作用する荷重に比べて小さく、弾性変形とともに大きな塑性変形を生じる。 岩石の強度が小さいことに加えて、不連続面の状態も非常に悪く、掘削により多くのすべりやすい不連続面に沿って地山の緩みが拡大し変位も大きくなる。切羽の自立が悪く、地山条件によってはリングカットや鏡吹きを必要とする。 掘削にともなう内空変位は、インバートで早期に閉合しないならば、掘削幅10cm程度のトンネルで60～200mm程度発生し、切羽が2D離れても収束しない。 </td> </tr> </tbody> </table>	状態	コアの状態, RQD (%)	地山強度比	トンネル掘削の状況	不連続面の状態	コアの状態, RQD (%)	—	トンネル掘削の状況	<ul style="list-style-type: none"> 不連続面に鏡肌や挟在粘土がほとんどみられない。 不連続面は概ね密着している。 	コアの形状は岩片状～短柱状～棒状を示す。 コアの長さが概ね10cm～20cmであるが5cm前後のものもみられる。 RQDは70以上。	—	岩石の強度は、トンネル掘削によって作用する荷重に比べて非常に大きい。 不連続面に状態も良好でトンネル掘削によるゆるみはほとんど生じない。掘削壁面から部分的に肌落ちする場合もある。切羽は自立する。 掘削幅10m程度のトンネルでは、掘削にともなう内空変位は15mm程度以下の微小な弾性変形にとどまる。	<ul style="list-style-type: none"> 不連続面に鏡肌や挟在粘土がごく一部みられる。 不連続面は部分的に開口しているが開口幅は小さい。 	コアの長さが概ね5cm～20cmであるが5cm以下のものもみられる。 RQDは40～70。	— 4以上	岩石の強度は、トンネル掘削によって作用する荷重に比べて大きい。 不連続面の状態も比較的良好でトンネル掘削によるゆるみは部分的なものにとどまる。比較的すべりやすい不連続面に沿って、局部的に抜け落ちる場合もある。切羽は自立する。 掘削幅10m程度のトンネルでは、掘削にともなう内空変位は15～20mm程度以下の小さな弾性変形にとどまる。	<ul style="list-style-type: none"> 不連続面に鏡肌や薄い挟在粘土が部分的にみられる。 不連続面が開口しており、開口幅も比較的大きくなる。 幅の狭い小断層を挟むもの。 	コアの長さが10cm以下のものも多く、5cm以下の細片が多量に取れる状態のもの。 RQDは10～40。	— 4以上	岩石の強度は、トンネル掘削によって作用する荷重に比べてあまり大きくはないが、概ね弾性変形をとどめる程度である。 岩石の強度は大きくても不連続面の状態が悪く、掘削によりすべりやすい不連続面に沿って岩塊が落下しようとしてゆるみが大きくなる。 切羽はほぼ自立する。 掘削にともなう内空変位は、岩石の強度が作用する荷重に比べて小さい場合には、掘削幅10m程度のトンネルで弾塑性境界である30mm程度発生するが、2D離れるまでにほぼ収束する。		コアは細片状となる。 時には、角礫混じり砂状あるいは粘土状となるもの。 RQDは10程度以下。	4～2 2～1	岩石の強度は、トンネル掘削によって作用する荷重に比べて大きくなく、弾性変形とともに一部塑性変形を生じる。 岩石の強度は弾性変形をとどめるに足りるほど大きくても、不連続面の状態が非常に悪く、掘削により多くのすべりやすい不連続面に沿って地山の緩みが拡大する。切羽の自立が悪く、地山条件によってはリングカットや鏡吹きを必要とする。 掘削にともなう内空変位は、岩石の強度が作用する荷重に比べて小さい場合には、インバートで早期に閉合しないならば、掘削幅10m程度のトンネルで30～60mm程度発生し、切羽が2D離れても収束しないことが多い。 岩石の強度は、トンネル掘削によって作用する荷重に比べて小さく、弾性変形とともに大きな塑性変形を生じる。 岩石の強度が小さいことに加えて、不連続面の状態も非常に悪く、掘削により多くのすべりやすい不連続面に沿って地山の緩みが拡大し変位も大きくなる。切羽の自立が悪く、地山条件によってはリングカットや鏡吹きを必要とする。 掘削にともなう内空変位は、インバートで早期に閉合しないならば、掘削幅10cm程度のトンネルで60～200mm程度発生し、切羽が2D離れても収束しない。	<p style="text-align: center;">現 行 通 り</p>
状態	コアの状態, RQD (%)	地山強度比	トンネル掘削の状況																							
不連続面の状態	コアの状態, RQD (%)	—	トンネル掘削の状況																							
<ul style="list-style-type: none"> 不連続面に鏡肌や挟在粘土がほとんどみられない。 不連続面は概ね密着している。 	コアの形状は岩片状～短柱状～棒状を示す。 コアの長さが概ね10cm～20cmであるが5cm前後のものもみられる。 RQDは70以上。	—	岩石の強度は、トンネル掘削によって作用する荷重に比べて非常に大きい。 不連続面に状態も良好でトンネル掘削によるゆるみはほとんど生じない。掘削壁面から部分的に肌落ちする場合もある。切羽は自立する。 掘削幅10m程度のトンネルでは、掘削にともなう内空変位は15mm程度以下の微小な弾性変形にとどまる。																							
<ul style="list-style-type: none"> 不連続面に鏡肌や挟在粘土がごく一部みられる。 不連続面は部分的に開口しているが開口幅は小さい。 	コアの長さが概ね5cm～20cmであるが5cm以下のものもみられる。 RQDは40～70。	— 4以上	岩石の強度は、トンネル掘削によって作用する荷重に比べて大きい。 不連続面の状態も比較的良好でトンネル掘削によるゆるみは部分的なものにとどまる。比較的すべりやすい不連続面に沿って、局部的に抜け落ちる場合もある。切羽は自立する。 掘削幅10m程度のトンネルでは、掘削にともなう内空変位は15～20mm程度以下の小さな弾性変形にとどまる。																							
<ul style="list-style-type: none"> 不連続面に鏡肌や薄い挟在粘土が部分的にみられる。 不連続面が開口しており、開口幅も比較的大きくなる。 幅の狭い小断層を挟むもの。 	コアの長さが10cm以下のものも多く、5cm以下の細片が多量に取れる状態のもの。 RQDは10～40。	— 4以上	岩石の強度は、トンネル掘削によって作用する荷重に比べてあまり大きくはないが、概ね弾性変形をとどめる程度である。 岩石の強度は大きくても不連続面の状態が悪く、掘削によりすべりやすい不連続面に沿って岩塊が落下しようとしてゆるみが大きくなる。 切羽はほぼ自立する。 掘削にともなう内空変位は、岩石の強度が作用する荷重に比べて小さい場合には、掘削幅10m程度のトンネルで弾塑性境界である30mm程度発生するが、2D離れるまでにほぼ収束する。																							
	コアは細片状となる。 時には、角礫混じり砂状あるいは粘土状となるもの。 RQDは10程度以下。	4～2 2～1	岩石の強度は、トンネル掘削によって作用する荷重に比べて大きくなく、弾性変形とともに一部塑性変形を生じる。 岩石の強度は弾性変形をとどめるに足りるほど大きくても、不連続面の状態が非常に悪く、掘削により多くのすべりやすい不連続面に沿って地山の緩みが拡大する。切羽の自立が悪く、地山条件によってはリングカットや鏡吹きを必要とする。 掘削にともなう内空変位は、岩石の強度が作用する荷重に比べて小さい場合には、インバートで早期に閉合しないならば、掘削幅10m程度のトンネルで30～60mm程度発生し、切羽が2D離れても収束しないことが多い。 岩石の強度は、トンネル掘削によって作用する荷重に比べて小さく、弾性変形とともに大きな塑性変形を生じる。 岩石の強度が小さいことに加えて、不連続面の状態も非常に悪く、掘削により多くのすべりやすい不連続面に沿って地山の緩みが拡大し変位も大きくなる。切羽の自立が悪く、地山条件によってはリングカットや鏡吹きを必要とする。 掘削にともなう内空変位は、インバートで早期に閉合しないならば、掘削幅10cm程度のトンネルで60～200mm程度発生し、切羽が2D離れても収束しない。																							
	<p>注4) 内空変位とは、トンネル施工中に実際に計測されるトンネル壁面間距離の変化で、掘削以前に変位したものは含まない。 注5) ゆるみとは、土圧によって閉鎖されていた岩盤中の不連続面が、トンネル掘削により応力を解放することで開口し、それに沿って岩塊が重力により落下しようとするをいう。 注6) 岩石の強度とは、割れ目の影響を受けない岩石の強度のことをいう。</p>	<p style="text-align: center;">現 行 通 り</p>																								

土木工事標準歩掛の一部改定 トンネル工（NATM） [発破工法]

工種名	現 行	改 定																																																																														
	<p>3-3 工事工程 3-3-1 工事工程表 工程表の決定にあたっては、トンネル延長、地質、地形、掘削方式及び掘削工法等を考慮して決定する。</p> <p>3-4 作業内容 作業内容は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 作業内容</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">作業の区分</th> <th style="width: 60%;">作業内容</th> <th style="width: 30%;">摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">坑 内</td> <td>掘削作業 支保工作 ずり運搬 (直送方式)</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">覆工作業</td> <td>型 枠 工</td> </tr> <tr> <td>コンクリート工</td> </tr> <tr> <td></td> <td>インバート工 防 水 工</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">坑 外</td> <td>空気圧縮機運転 仮 設 備 保 守</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 支保工作とは、吹付、金網、ロックボルト、鋼製支保工の総称である。 2. 「明り」の作業は、下記のものとする。 ・地下排水工、路盤工、舗装工、側溝工 ・坑門工、吹付プラント設備組立・解体、ずり出し（積替方式の場合の坑外運搬） ・スライドセントル組立・解体、防水作業台車組立・解体 ・空気圧縮機設備組立・解体、ストックヤード設置・撤去、給排水設備設置・撤去 ・濁水処理設備設置・撤去、坑外電力設備、坑外送気管敷設・撤去</p> <p>3-5 余掘、余巻及び余吹 トンネル工事では、設計断面どおり掘削することは困難であり、設計巻厚を確保するには、設計断面積より大きく掘削しなければならない。これを余掘といい、覆工及び吹付コンクリートで充填する。これをそれぞれ余巻及び余吹という。 この余掘を考慮した断面積の外周を支払線（ペイライン）といい、当初から掘削と覆工及び吹付コンクリートの設計数量に見込むものとする。</p> <p>又、変形余裕を設計図面に明示した場合の設計掘削断面積は、変形余裕厚さを加算した面積とする。 なお、余掘、余巻、余吹及び設計吹付厚は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.3 余掘、余巻及び余吹厚 (cm)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">掘削区分</th> <th style="width: 15%;">余掘厚</th> <th style="width: 15%;">余巻厚</th> <th style="width: 15%;">余吹厚 (N₁)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">B</td> <td style="text-align: center;">27</td> <td style="text-align: center;">23</td> <td style="text-align: center;">4</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">C I</td> <td style="text-align: center;">22</td> <td style="text-align: center;">17</td> <td style="text-align: center;">5</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">C II</td> <td style="text-align: center;">20</td> <td style="text-align: center;">13</td> <td style="text-align: center;">7</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">D I</td> <td style="text-align: center;">17</td> <td style="text-align: center;">10</td> <td style="text-align: center;">7</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">D II</td> <td style="text-align: center;">17</td> <td style="text-align: center;">10</td> <td style="text-align: center;">7</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 設計巻厚、設計吹付コンクリート厚及び設計掘削断面に対する割増し厚さである。 2. 非常駐車帯、避難連絡坑等についても上表を適用する。 3. 変形余裕量を見込む場合は余掘、余巻は上表より5cm減じ、掘削断面に変形余裕量を加えるものとする。 4. 設計値と支払線の関係は、次図を標準とする。</p>	作業の区分	作業内容	摘 要	坑 内	掘削作業 支保工作 ずり運搬 (直送方式)		覆工作業	型 枠 工	コンクリート工		インバート工 防 水 工		坑 外	空気圧縮機運転 仮 設 備 保 守		掘削区分	余掘厚	余巻厚	余吹厚 (N ₁)	B	27	23	4	C I	22	17	5	C II	20	13	7	D I	17	10	7	D II	17	10	7	<p>3-3 工事工程 3-3-1 工事工程表 工程表の決定にあたっては、トンネル延長、地質、地形、掘削方式及び掘削工法等を考慮して決定する。</p> <p>3-4 作業内容 作業内容は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 作業内容</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">作業の区分</th> <th style="width: 60%;">作業内容</th> <th style="width: 30%;">摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">坑 内</td> <td>掘削作業 支保工作 ずり運搬 (直送方式)</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">覆工作業</td> <td>型 枠 工</td> </tr> <tr> <td>コンクリート工</td> </tr> <tr> <td></td> <td>インバート工 防 水 工</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">坑 外</td> <td>空気圧縮機運転 仮 設 備 保 守</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 支保工作とは、吹付、金網、ロックボルト、鋼製支保工の総称である。 2. 「明り」の作業は、下記のものとする。 ・地下排水工、路盤工、舗装工、側溝工 ・坑門工、吹付プラント設備組立・解体、ずり出し（積替方式の場合の坑外運搬） ・スライドセントル組立・解体、防水作業台車組立・解体 ・空気圧縮機設備組立・解体、ストックヤード設置・撤去、給排水設備設置・撤去 ・濁水処理設備設置・撤去、坑外電力設備、坑外送気管敷設・撤去</p> <p>3-5 余掘、余巻及び余吹 トンネル工事では、設計断面どおり掘削することは困難であり、設計巻厚を確保するには、設計断面積より大きく掘削しなければならない。これを余掘といい、覆工及び吹付コンクリートで充填する。これをそれぞれ余巻及び余吹という。 この余掘を考慮した断面積の外周を支払線（ペイライン）といい、当初から掘削と覆工及び吹付コンクリートの設計数量に見込むものとする。</p> <p>又、変形余裕を設計図面に明示した場合の設計掘削断面積は、変形余裕厚さを加算した面積とする。 なお、余掘、余巻、余吹及び設計吹付厚は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.3 余掘、余巻及び余吹厚 (cm)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">掘削区分</th> <th style="width: 15%;">余掘厚</th> <th style="width: 15%;">余巻厚</th> <th style="width: 15%;">余吹厚 (N₁)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">B</td> <td style="text-align: center;">27</td> <td style="text-align: center;">23</td> <td style="text-align: center;">4</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">C I</td> <td style="text-align: center;">22</td> <td style="text-align: center;">17</td> <td style="text-align: center;">5</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">C II</td> <td style="text-align: center;">20</td> <td style="text-align: center;">13</td> <td style="text-align: center;">7</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">D I</td> <td style="text-align: center;">17</td> <td style="text-align: center;">10</td> <td style="text-align: center;">7</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">D II</td> <td style="text-align: center;">17</td> <td style="text-align: center;">10</td> <td style="text-align: center;">7</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 設計巻厚、設計吹付コンクリート厚及び設計掘削断面に対する割増し厚さである。 2. 非常駐車帯、避難連絡坑等についても上表を適用する。 3. 変形余裕量を見込む場合は余掘、余巻は上表より5cm減じ、掘削断面に変形余裕量を加えるものとする。 4. 設計値と支払線の関係は、次図を標準とする。</p>	作業の区分	作業内容	摘 要	坑 内	掘削作業 支保工作 ずり運搬 (直送方式)		覆工作業	型 枠 工	コンクリート工		インバート工 防 水 工		坑 外	空気圧縮機運転 仮 設 備 保 守		掘削区分	余掘厚	余巻厚	余吹厚 (N ₁)	B	27	23	4	C I	22	17	5	C II	20	13	7	D I	17	10	7	D II	17	10	7
作業の区分	作業内容	摘 要																																																																														
坑 内	掘削作業 支保工作 ずり運搬 (直送方式)																																																																															
	覆工作業	型 枠 工																																																																														
		コンクリート工																																																																														
	インバート工 防 水 工																																																																															
坑 外	空気圧縮機運転 仮 設 備 保 守																																																																															
掘削区分	余掘厚	余巻厚	余吹厚 (N ₁)																																																																													
B	27	23	4																																																																													
C I	22	17	5																																																																													
C II	20	13	7																																																																													
D I	17	10	7																																																																													
D II	17	10	7																																																																													
作業の区分	作業内容	摘 要																																																																														
坑 内	掘削作業 支保工作 ずり運搬 (直送方式)																																																																															
	覆工作業	型 枠 工																																																																														
		コンクリート工																																																																														
	インバート工 防 水 工																																																																															
坑 外	空気圧縮機運転 仮 設 備 保 守																																																																															
掘削区分	余掘厚	余巻厚	余吹厚 (N ₁)																																																																													
B	27	23	4																																																																													
C I	22	17	5																																																																													
C II	20	13	7																																																																													
D I	17	10	7																																																																													
D II	17	10	7																																																																													

土木工事標準歩掛の一部改定
トンネル工 (NATM) [発破工法]

工種名	現 行	改 定
	<div data-bbox="470 183 952 502" data-label="Diagram"> </div> <div data-bbox="593 518 817 550" data-label="Caption"> <p>図3-1 変形余裕を見込まない場合</p> </div> <div data-bbox="302 566 1097 678" data-label="Text"> <p>設計掘削半径 = 設計内空半径 (R₁) + 覆工コンクリート厚 (t₁) + 吹付コンクリート厚 (t₃) 支払掘削半径 = [設計内空半径 (R₁) + 覆工コンクリート厚 (t₁) + 吹付コンクリート厚 (t₃)] + 余掘 = 設計掘削半径 + 余掘 余掘 = 余巻コンクリート (t₂) + 余吹コンクリート (t₄)</p> </div> <div data-bbox="470 694 952 1013" data-label="Diagram"> </div> <div data-bbox="593 1013 817 1045" data-label="Caption"> <p>図3-2 変形余裕を見込む場合</p> </div> <div data-bbox="302 1061 1187 1204" data-label="Text"> <p>設計掘削半径 = 設計内空半径 (R₁) + 覆工コンクリート厚 (t₁) + 吹付コンクリート厚 (t₃) + 変形余裕量 (t₅) 支払掘削半径 = [設計内空半径 (R₁) + 覆工コンクリート厚 (t₁) + 吹付コンクリート厚 (t₃) + 変形余裕量 (t₅)] + 余掘 = 設計掘削半径 + 余掘 余掘 = 余巻コンクリート (t₂) + 余吹コンクリート (t₄)</p> </div>	<div data-bbox="1232 199 1265 1444" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1288 805 1422 837" data-label="Text"> <p>現 行 通 り</p> </div>

土木工事標準歩掛の一部改定
トンネル工（NATM） [発破工法]

工種名	現 行	改 定																												
	<p>3-6 トンネル工事の機械器具経費積算 トンネル工事の機械器具損料の算定は、「請負工事機械経費積算要領」に基づき行い、内燃機関付機械（ダンプトラック、コンクリートポンプ車、トラックミキサ等）を使用する場合は、黒煙浄化装置付を標準とし、そのうちドリルジャンボ、バックホウ、ホイールローダを使用する場合は、トンネル工専用排出ガス対策型を標準とする。ただし、道路運送車両の保安基準に排ガス基準が定められている自動車の種別で、有効な自動車検査証の交付を受けているものは除く。</p> <p>3-7 工事用仮設備 3-7-1 吹付プラント設備 吹付プラント設備の機種・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.4 機種の選定</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>機 種</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>セメントサイロ</td> <td>30 t</td> <td>基</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>骨材ホッパ</td> <td>15m³×3</td> <td>＃</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>コンクリートプラント</td> <td>(バッチ型) 定置式25m³/h</td> <td>＃</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 吹付プラント設備は、坑外に設置する。 2. 現場条件等により適合しない場合は、現場条件に見合った機種・規格を別途考慮する。</p> <p>3-7-2 電力設備 (1) 施工に必要な負荷設備に対応できる必要電力を決定する。 (2) 電力会社の供給設備を調査し、負荷設備容量に応じて受電設備を設ける。 (3) 受電設備、変電設備を経て負荷設備までの線路を決める。</p> <p>3-7-3 照明設備 坑内照明は、40W蛍光灯を5m間隔に片側のみ設置するのを標準とする。 又、切羽照明は500W投光器とし、切羽部6個（上半4個、下半2個）、覆工4個を標準とする。</p> <p>3-7-4 換気設備 (1) 換気設備の設置 坑内の換気は、掘削断面、長さ、自然条件等を考慮して、自然換気に期待し得る場合でもこれに依存することなく換気設備を設置することを標準とする。 (2) 送風機 換気に使用する送風機は、反転軸流式ファンを標準とする。 (3) 換気方式 掘削断面、掘削延長、現場条件等を考慮し、必要な換気方式及び換気装置を計上するものとする。 (4) 所要換気量 所要換気量は、発破後ガス、ディーゼル機関から排出される排出ガス、作業者の呼気による炭酸ガス等を考慮し、適切に定めるものとする。 (5) 風 管 風管は、不燃性ビニル風管を標準とする。</p> <p>3-7-5 給排水設備 (1) 給排水設備は、水槽、釜場等の設置・解体及びポンプの運転経費を計上する。ただし、ポンプの運転労務は計上しない。 (2) 給水設備の機種・規格は次表を標準とし、設置期間は掘削期間とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.5 機種の選定</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>機 種</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小型多段遠心ポンプ</td> <td>65mm×45m</td> <td>台</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>水 槽</td> <td>鋼板製20m³</td> <td>＃</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	機 種	規 格	単 位	数 量	セメントサイロ	30 t	基	1	骨材ホッパ	15m ³ ×3	＃	1	コンクリートプラント	(バッチ型) 定置式25m ³ /h	＃	1	機 種	規 格	単 位	数 量	小型多段遠心ポンプ	65mm×45m	台	1	水 槽	鋼板製20m ³	＃	1	現 行 通 り
機 種	規 格	単 位	数 量																											
セメントサイロ	30 t	基	1																											
骨材ホッパ	15m ³ ×3	＃	1																											
コンクリートプラント	(バッチ型) 定置式25m ³ /h	＃	1																											
機 種	規 格	単 位	数 量																											
小型多段遠心ポンプ	65mm×45m	台	1																											
水 槽	鋼板製20m ³	＃	1																											

土木工事標準歩掛の一部改定
トンネル工（NATM） [発破工法]

工種名	現 行	改 定								
	<p>(3) 排水設備の機種・規格は次表を標準とし、縦断勾配が0.3%以下、又は逆勾配の場合等で、ポンプ排水を必要とする場合に設置する。</p> <p style="text-align: center;">表3.6 機種の選定</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">機 種</th> <th style="width: 20%;">規 格</th> <th style="width: 10%;">単 位</th> <th style="width: 10%;">数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工事用水中ポンプ</td> <td>50mm×20m×2.2kW</td> <td>台</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <p>3-7-6 濁水処理設備 坑内及び坑外設備により発生する濁水は、必要に応じ濁水処理を行う。</p> <p>3-7-7 ずりストックヤード ずり出しがタイヤ方式で坑口からずり捨場まで遠距離の場合等、必要に応じてストックヤードを設ける。</p> <p>3-7-8 粉塵発生源に係る措置 下記項目について、必要に応じ設ける。</p> <p>(1) 土砂及び岩石を潤滑な状態に保つための設備 (2) 建設機械等の走行による二次粉塵発散防止のための簡易舗装や散水等設備 (3) 粉塵の拡散防止のためのエアカーテン等設備</p> <p>3-8 工事用仮設備の計上</p> <p>3-8-1 設計書において共通仮設費積算基準における仮設費として計上するもので主なもの。</p> <p>(1) 電力設備 受電・変電・配電設備等に要する設置・解体、保守並びに損料等</p> <p>(2) 吹付プラント設備 組立・解体、運転費及び損料</p> <p>(3) スライドセントル 組立（現地仮組立を含む）・解体</p> <p>(4) スtockヤード 設置・撤去、損料</p> <p>(5) 空気圧縮機設備 組立・解体、運転費及び損料、基礎の設置・撤去、送気管敷設・撤去及び損料</p> <p>(6) 運搬路 工事用道路、仮橋設置・撤去、既設橋の補強</p> <p>(7) 照明設備 設置・撤去、機器費（全損）、電気料</p> <p>(8) 換気設備 解体、運転費及び損料</p> <p>(9) 防水工 防水工作業台車組立・解体及び損料</p> <p>(10) 給排水設備 設置・撤去、運転費及び損料</p> <p>(11) 工事用連絡設備 無線又は有線電話</p> <p>(12) 坑口処理 捨導坑、捨枠、捨巻等</p> <p>(13) 仮設備保守費</p> <p>(14) 濁水処理設備 設置・撤去、運転費、損料及び維持費</p> <p>(15) 粉塵発散防止設備等</p> <p>(16) その他</p>	機 種	規 格	単 位	数 量	工事用水中ポンプ	50mm×20m×2.2kW	台	4	<p style="text-align: center;">現 行 通 り</p> <p>3-8 工事用仮設備の計上</p> <p>3-8-1 設計書において共通仮設費積算基準における仮設費として計上するもので主なもの。</p> <p>(1) 電力設備 受電・変電・配電設備等に要する設置・解体、保守並びに損料等</p> <p>(2) 吹付プラント設備 組立・解体、運転費及び損料</p> <p>(3) スライドセントル 組立（現地仮組立を含む）・解体</p> <p>(4) スtockヤード 設置・撤去、損料</p> <p>(5) 空気圧縮機設備 組立・解体、運転費及び損料、基礎の設置・撤去、送気管敷設・撤去及び損料</p> <p>(5) 運搬路 工事用道路、仮橋設置・撤去、既設橋の補強</p> <p>(6) 照明設備 設置・撤去、機器費（全損）、電気料</p> <p>(7) 換気設備 解体、運転費及び損料</p> <p>(8) 防水工 防水工作業台車組立・解体及び損料</p> <p>(9) 給排水設備 設置・撤去、運転費及び損料</p> <p>(10) 工事用連絡設備 無線又は有線電話</p> <p>(11) 坑口処理 捨導坑、捨枠、捨巻等</p> <p>(12) 仮設備保守費</p> <p>(13) 濁水処理設備 設置・撤去、運転費、損料及び維持費</p> <p>(14) 粉塵発散防止設備等</p> <p>(15) その他</p>
機 種	規 格	単 位	数 量							
工事用水中ポンプ	50mm×20m×2.2kW	台	4							

土木工事標準歩掛の一部改定
トンネル工（NATM） [発破工法]

工種名	現 行	改 定
	<p>3-8-2 設計書において共通仮設費積算基準における営繕費として計上するもので主なもの。</p> <p>(1) 共通仮設費（率分）には、次のものが含まれている。 事務所、倉庫、労務宿舍、試験室、鍛冶場及び修理工場、製材所、空気圧縮機室、労務者休憩室、その他</p> <p>(2) 共通仮設費（率分）に含まれていないもの。 火薬庫類の設備及び監督員詰所等</p> <p>3-9 計 測 工 計測は、計測Aを標準とする。ただし、現地条件によって計測Bが必要な場合は、別途計上する。なお、計測Bは、共通仮設費の技術管理費に計上する。</p> <p>3-10 呼吸用保護具 有効な呼吸用保護具（電動ファン付粉塵用呼吸用保護具等）費用を共通仮設費に別途計上する。</p>	<p>3-8-2 設計書において共通仮設費積算基準における営繕費として計上するもので主なもの。</p> <p>(1) 共通仮設費（率分）には、次のものが含まれている。 事務所、倉庫、労務宿舍、試験室、鍛冶場及び修理工場、製材所、空気圧縮機室、労務者休憩室、その他</p> <p>(2) 共通仮設費（率分）に含まれていないもの。 火薬庫類の設備及び監督員詰所等</p> <p style="text-align: center;">} 現 行 通 り</p>

土木工事標準歩掛の一部改定 トンネル工 (NATM) [発破工法]

工種名	現 行	改 定																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	<p>4. 施 工 歩 掛</p> <p>4-1 掘 削 工 等</p> <p>4-1-1 掘削工等</p> <p>(1) 掘削工等の労務歩掛</p> <p>掘削等作業における労務歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.1 (掘削等)施工歩掛</p> <p style="text-align: right;">人/(トンネル延長)1m当り</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘削方法</th> <th rowspan="2">岩区分</th> <th colspan="10">設計掘削断面積(余掘含まず) (㎡)</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>50</th><th>55</th><th>60</th><th>65</th><th>70</th><th>75</th><th>80</th><th>85</th><th>90</th><th>95</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">補助ベンチ付全断面工法</td> <td rowspan="3">B</td> <td>0.34</td><td>0.36</td><td>0.38</td><td>0.39</td><td>0.41</td><td>0.42</td><td>0.44</td><td>0.45</td><td>0.47</td><td>0.48</td> <td rowspan="10"></td> </tr> <tr> <td>2.05</td><td>2.15</td><td>2.24</td><td>2.34</td><td>2.44</td><td>2.53</td><td>2.63</td><td>2.72</td><td>2.82</td><td>2.92</td> </tr> <tr> <td>0.34</td><td>0.36</td><td>0.38</td><td>0.39</td><td>0.41</td><td>0.42</td><td>0.44</td><td>0.45</td><td>0.47</td><td>0.48</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">C I</td> <td>0.41</td><td>0.43</td><td>0.45</td><td>0.47</td><td>0.49</td><td>0.51</td><td>0.53</td><td>0.55</td><td>0.57</td><td>0.59</td> </tr> <tr> <td>2.45</td><td>2.57</td><td>2.69</td><td>2.82</td><td>2.94</td><td>3.06</td><td>3.18</td><td>3.30</td><td>3.42</td><td>3.55</td> </tr> <tr> <td>0.41</td><td>0.43</td><td>0.45</td><td>0.47</td><td>0.49</td><td>0.51</td><td>0.53</td><td>0.55</td><td>0.57</td><td>0.59</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">C II</td> <td>0.52</td><td>0.54</td><td>0.56</td><td>0.58</td><td>0.61</td><td>0.63</td><td>0.65</td><td>0.67</td><td>0.69</td><td>0.72</td> </tr> <tr> <td>3.10</td><td>3.23</td><td>3.36</td><td>3.49</td><td>3.63</td><td>3.76</td><td>3.89</td><td>4.02</td><td>4.15</td><td>4.29</td> </tr> <tr> <td>0.52</td><td>0.54</td><td>0.56</td><td>0.58</td><td>0.61</td><td>0.63</td><td>0.65</td><td>0.67</td><td>0.69</td><td>0.72</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘削方法</th> <th rowspan="2">岩区分</th> <th rowspan="2">掘削断面積 (㎡)</th> <th colspan="8">必要断面積を上下半各々に計上する。</th> </tr> <tr> <th>40</th><th>45</th><th>50</th><th>55</th><th>60</th><th>65</th><th>70</th><th>75</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">上下半交互併進工法</td> <td rowspan="3">D I</td> <td>掘削断面積 (㎡)</td> <td>40</td><td>45</td><td>50</td><td>55</td><td>60</td><td>65</td><td>70</td><td>75</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td><td></td><td>0.61</td><td>0.63</td><td>0.65</td><td>0.68</td><td>0.70</td><td>0.72</td><td>0.75</td><td>0.77</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td><td></td><td>3.63</td><td>3.77</td><td>3.91</td><td>4.05</td><td>4.18</td><td>4.32</td><td>4.46</td><td>4.60</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">D II</td> <td>掘削断面積 (㎡)</td> <td>40</td><td>45</td><td>50</td><td>55</td><td>60</td><td>65</td><td>70</td><td>75</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td><td></td><td>0.64</td><td>0.66</td><td>0.68</td><td>0.70</td><td>0.72</td><td>0.74</td><td>0.75</td><td>0.78</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td><td></td><td>3.84</td><td>3.95</td><td>4.07</td><td>4.18</td><td>4.31</td><td>4.42</td><td>4.54</td><td>4.65</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">上段</td> <td style="width: 30%;">トンネル世話役</td> <td rowspan="3" style="width: 40%; text-align: center;"> 歩掛の設定範囲 例) $50\text{㎡} \leq A1 = \text{上半} + \text{下半} \leq 95\text{㎡}$ 中間断面(70㎡)の場合 67.5㎡以上72.5㎡未満 上半の上端(75㎡)の場合 72.5㎡以上75㎡以下 下半の下端(10㎡)の場合 10㎡以上12.5㎡未満 </td> </tr> <tr> <td>中段</td> <td>トンネル特殊工</td> </tr> <tr> <td>下段</td> <td>トンネル作業員</td> </tr> </table>	掘削方法	岩区分	設計掘削断面積(余掘含まず) (㎡)										摘要	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	補助ベンチ付全断面工法	B	0.34	0.36	0.38	0.39	0.41	0.42	0.44	0.45	0.47	0.48		2.05	2.15	2.24	2.34	2.44	2.53	2.63	2.72	2.82	2.92	0.34	0.36	0.38	0.39	0.41	0.42	0.44	0.45	0.47	0.48	C I	0.41	0.43	0.45	0.47	0.49	0.51	0.53	0.55	0.57	0.59	2.45	2.57	2.69	2.82	2.94	3.06	3.18	3.30	3.42	3.55	0.41	0.43	0.45	0.47	0.49	0.51	0.53	0.55	0.57	0.59	C II	0.52	0.54	0.56	0.58	0.61	0.63	0.65	0.67	0.69	0.72	3.10	3.23	3.36	3.49	3.63	3.76	3.89	4.02	4.15	4.29	0.52	0.54	0.56	0.58	0.61	0.63	0.65	0.67	0.69	0.72	掘削方法	岩区分	掘削断面積 (㎡)	必要断面積を上下半各々に計上する。								40	45	50	55	60	65	70	75	上下半交互併進工法	D I	掘削断面積 (㎡)	40	45	50	55	60	65	70	75				0.61	0.63	0.65	0.68	0.70	0.72	0.75	0.77				3.63	3.77	3.91	4.05	4.18	4.32	4.46	4.60	D II	掘削断面積 (㎡)	40	45	50	55	60	65	70	75				0.64	0.66	0.68	0.70	0.72	0.74	0.75	0.78				3.84	3.95	4.07	4.18	4.31	4.42	4.54	4.65	上段	トンネル世話役	歩掛の設定範囲 例) $50\text{㎡} \leq A1 = \text{上半} + \text{下半} \leq 95\text{㎡}$ 中間断面(70㎡)の場合 67.5㎡以上72.5㎡未満 上半の上端(75㎡)の場合 72.5㎡以上75㎡以下 下半の下端(10㎡)の場合 10㎡以上12.5㎡未満	中段	トンネル特殊工	下段	トンネル作業員	<p>4. 施 工 歩 掛</p> <p>4-1 掘 削 工 等</p> <p>4-1-1 掘削工等</p> <p>(1) 掘削工等の労務歩掛</p> <p>掘削等作業における労務歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.1 (掘削等)施工歩掛</p> <p style="text-align: right;">人/(トンネル延長)1m当り</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘削方法</th> <th rowspan="2">岩区分</th> <th colspan="10">設計掘削断面積(余掘含まず) (㎡)</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>50</th><th>55</th><th>60</th><th>65</th><th>70</th><th>75</th><th>80</th><th>85</th><th>90</th><th>95</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">補助ベンチ付全断面工法</td> <td rowspan="3">B</td> <td>0.34</td><td>0.36</td><td>0.38</td><td>0.39</td><td>0.41</td><td>0.42</td><td>0.44</td><td>0.45</td><td>0.47</td><td>0.48</td> <td rowspan="10"></td> </tr> <tr> <td>2.05</td><td>2.15</td><td>2.24</td><td>2.34</td><td>2.44</td><td>2.53</td><td>2.63</td><td>2.72</td><td>2.82</td><td>2.92</td> </tr> <tr> <td>0.34</td><td>0.36</td><td>0.38</td><td>0.39</td><td>0.41</td><td>0.42</td><td>0.44</td><td>0.45</td><td>0.47</td><td>0.48</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">C I</td> <td>0.40</td><td>0.42</td><td>0.44</td><td>0.46</td><td>0.47</td><td>0.49</td><td>0.51</td><td>0.53</td><td>0.55</td><td>0.57</td> </tr> <tr> <td>2.38</td><td>2.50</td><td>2.61</td><td>2.74</td><td>2.84</td><td>2.96</td><td>3.07</td><td>3.19</td><td>3.30</td><td>3.42</td> </tr> <tr> <td>0.40</td><td>0.42</td><td>0.44</td><td>0.46</td><td>0.47</td><td>0.49</td><td>0.51</td><td>0.53</td><td>0.55</td><td>0.57</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">C II</td> <td>0.50</td><td>0.52</td><td>0.54</td><td>0.56</td><td>0.59</td><td>0.61</td><td>0.63</td><td>0.65</td><td>0.67</td><td>0.69</td> </tr> <tr> <td>3.01</td><td>3.14</td><td>3.26</td><td>3.39</td><td>3.51</td><td>3.63</td><td>3.76</td><td>3.88</td><td>4.01</td><td>4.13</td> </tr> <tr> <td>0.50</td><td>0.52</td><td>0.54</td><td>0.56</td><td>0.59</td><td>0.61</td><td>0.63</td><td>0.65</td><td>0.67</td><td>0.69</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘削方法</th> <th rowspan="2">岩区分</th> <th rowspan="2">掘削断面積 (㎡)</th> <th colspan="8">必要断面積を上下半各々に計上する。</th> </tr> <tr> <th>40</th><th>45</th><th>50</th><th>55</th><th>60</th><th>65</th><th>70</th><th>75</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">上下半交互併進工法</td> <td rowspan="3">D I</td> <td>掘削断面積 (㎡)</td> <td>40</td><td>45</td><td>50</td><td>55</td><td>60</td><td>65</td><td>70</td><td>75</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td><td></td><td>0.59</td><td>0.61</td><td>0.63</td><td>0.65</td><td>0.67</td><td>0.69</td><td>0.71</td><td>0.73</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td><td></td><td>3.54</td><td>3.66</td><td>3.78</td><td>3.91</td><td>4.03</td><td>4.16</td><td>4.28</td><td>4.40</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">D II</td> <td>掘削断面積 (㎡)</td> <td>40</td><td>45</td><td>50</td><td>55</td><td>60</td><td>65</td><td>70</td><td>75</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td><td></td><td>0.62</td><td>0.64</td><td>0.66</td><td>0.67</td><td>0.69</td><td>0.71</td><td>0.73</td><td>0.74</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td><td></td><td>3.74</td><td>3.84</td><td>3.94</td><td>4.03</td><td>4.16</td><td>4.25</td><td>4.36</td><td>4.45</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">上段</td> <td style="width: 30%;">トンネル世話役</td> <td rowspan="3" style="width: 40%; text-align: center;"> 歩掛の設定範囲 例) $50\text{㎡} \leq A1 = \text{上半} + \text{下半} \leq 95\text{㎡}$ 中間断面(70㎡)の場合 67.5㎡以上72.5㎡未満 上半の上端(75㎡)の場合 72.5㎡以上75㎡以下 下半の下端(10㎡)の場合 10㎡以上12.5㎡未満 </td> </tr> <tr> <td>中段</td> <td>トンネル特殊工</td> </tr> <tr> <td>下段</td> <td>トンネル作業員</td> </tr> </table>	掘削方法	岩区分	設計掘削断面積(余掘含まず) (㎡)										摘要	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	補助ベンチ付全断面工法	B	0.34	0.36	0.38	0.39	0.41	0.42	0.44	0.45	0.47	0.48		2.05	2.15	2.24	2.34	2.44	2.53	2.63	2.72	2.82	2.92	0.34	0.36	0.38	0.39	0.41	0.42	0.44	0.45	0.47	0.48	C I	0.40	0.42	0.44	0.46	0.47	0.49	0.51	0.53	0.55	0.57	2.38	2.50	2.61	2.74	2.84	2.96	3.07	3.19	3.30	3.42	0.40	0.42	0.44	0.46	0.47	0.49	0.51	0.53	0.55	0.57	C II	0.50	0.52	0.54	0.56	0.59	0.61	0.63	0.65	0.67	0.69	3.01	3.14	3.26	3.39	3.51	3.63	3.76	3.88	4.01	4.13	0.50	0.52	0.54	0.56	0.59	0.61	0.63	0.65	0.67	0.69	掘削方法	岩区分	掘削断面積 (㎡)	必要断面積を上下半各々に計上する。								40	45	50	55	60	65	70	75	上下半交互併進工法	D I	掘削断面積 (㎡)	40	45	50	55	60	65	70	75				0.59	0.61	0.63	0.65	0.67	0.69	0.71	0.73				3.54	3.66	3.78	3.91	4.03	4.16	4.28	4.40	D II	掘削断面積 (㎡)	40	45	50	55	60	65	70	75				0.62	0.64	0.66	0.67	0.69	0.71	0.73	0.74				3.74	3.84	3.94	4.03	4.16	4.25	4.36	4.45	上段	トンネル世話役	歩掛の設定範囲 例) $50\text{㎡} \leq A1 = \text{上半} + \text{下半} \leq 95\text{㎡}$ 中間断面(70㎡)の場合 67.5㎡以上72.5㎡未満 上半の上端(75㎡)の場合 72.5㎡以上75㎡以下 下半の下端(10㎡)の場合 10㎡以上12.5㎡未満	中段	トンネル特殊工	下段	トンネル作業員
掘削方法	岩区分			設計掘削断面積(余掘含まず) (㎡)											摘要																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		50	55	60	65	70	75	80	85	90	95																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
補助ベンチ付全断面工法	B	0.34	0.36	0.38	0.39	0.41	0.42	0.44	0.45	0.47	0.48																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		2.05	2.15	2.24	2.34	2.44	2.53	2.63	2.72	2.82	2.92																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		0.34	0.36	0.38	0.39	0.41	0.42	0.44	0.45	0.47	0.48																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	C I	0.41	0.43	0.45	0.47	0.49	0.51	0.53	0.55	0.57	0.59																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		2.45	2.57	2.69	2.82	2.94	3.06	3.18	3.30	3.42	3.55																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		0.41	0.43	0.45	0.47	0.49	0.51	0.53	0.55	0.57	0.59																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	C II	0.52	0.54	0.56	0.58	0.61	0.63	0.65	0.67	0.69	0.72																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		3.10	3.23	3.36	3.49	3.63	3.76	3.89	4.02	4.15	4.29																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		0.52	0.54	0.56	0.58	0.61	0.63	0.65	0.67	0.69	0.72																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	掘削方法	岩区分	掘削断面積 (㎡)	必要断面積を上下半各々に計上する。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
40				45	50	55	60	65	70	75																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
上下半交互併進工法	D I	掘削断面積 (㎡)	40	45	50	55	60	65	70	75																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
					0.61	0.63	0.65	0.68	0.70	0.72	0.75	0.77																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
					3.63	3.77	3.91	4.05	4.18	4.32	4.46	4.60																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	D II	掘削断面積 (㎡)	40	45	50	55	60	65	70	75																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
					0.64	0.66	0.68	0.70	0.72	0.74	0.75	0.78																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
					3.84	3.95	4.07	4.18	4.31	4.42	4.54	4.65																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
上段	トンネル世話役	歩掛の設定範囲 例) $50\text{㎡} \leq A1 = \text{上半} + \text{下半} \leq 95\text{㎡}$ 中間断面(70㎡)の場合 67.5㎡以上72.5㎡未満 上半の上端(75㎡)の場合 72.5㎡以上75㎡以下 下半の下端(10㎡)の場合 10㎡以上12.5㎡未満																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
中段	トンネル特殊工																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
下段	トンネル作業員																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
掘削方法	岩区分	設計掘削断面積(余掘含まず) (㎡)										摘要																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
		50	55	60	65	70	75	80	85	90	95																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
補助ベンチ付全断面工法	B	0.34	0.36	0.38	0.39	0.41	0.42	0.44	0.45	0.47	0.48																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		2.05	2.15	2.24	2.34	2.44	2.53	2.63	2.72	2.82	2.92																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		0.34	0.36	0.38	0.39	0.41	0.42	0.44	0.45	0.47	0.48																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	C I	0.40	0.42	0.44	0.46	0.47	0.49	0.51	0.53	0.55	0.57																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		2.38	2.50	2.61	2.74	2.84	2.96	3.07	3.19	3.30	3.42																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		0.40	0.42	0.44	0.46	0.47	0.49	0.51	0.53	0.55	0.57																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	C II	0.50	0.52	0.54	0.56	0.59	0.61	0.63	0.65	0.67	0.69																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		3.01	3.14	3.26	3.39	3.51	3.63	3.76	3.88	4.01	4.13																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		0.50	0.52	0.54	0.56	0.59	0.61	0.63	0.65	0.67	0.69																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	掘削方法	岩区分	掘削断面積 (㎡)	必要断面積を上下半各々に計上する。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
40				45	50	55	60	65	70	75																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
上下半交互併進工法	D I	掘削断面積 (㎡)	40	45	50	55	60	65	70	75																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
					0.59	0.61	0.63	0.65	0.67	0.69	0.71	0.73																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
					3.54	3.66	3.78	3.91	4.03	4.16	4.28	4.40																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	D II	掘削断面積 (㎡)	40	45	50	55	60	65	70	75																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
					0.62	0.64	0.66	0.67	0.69	0.71	0.73	0.74																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
					3.74	3.84	3.94	4.03	4.16	4.25	4.36	4.45																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
上段	トンネル世話役	歩掛の設定範囲 例) $50\text{㎡} \leq A1 = \text{上半} + \text{下半} \leq 95\text{㎡}$ 中間断面(70㎡)の場合 67.5㎡以上72.5㎡未満 上半の上端(75㎡)の場合 72.5㎡以上75㎡以下 下半の下端(10㎡)の場合 10㎡以上12.5㎡未満																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
中段	トンネル特殊工																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
下段	トンネル作業員																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	<p>(注) 1. 掘削機械の運転手は、上記歩掛に含まれる。</p> <p>2. ゼリ出しにおいて運搬距離(片押し延長+坑外片道運搬距離)が1.2kmを超える場合は、1.2kmを超える部分に対し上表のトンネル特殊工(中段)の施工歩掛を1m当りとして1/6の値を追加する。(下半は除く)</p> <p>3. 掘削等作業の歩掛は、次の作業を行うものとする。</p> <p>①削岩 ②ゼリ出し ③吹付 ④金網 ⑤ロックボルト ⑥鋼製支保工 ⑦坑内送気管設置・撤去 ⑧坑内換気設備設置・運転・撤去 ⑨集塵機運転 ⑩坑内送水管設置・撤去 ⑪給排水設備保守 ⑫坑内排水設備設置・運転・撤去 ⑬坑内運搬路等の保守 ⑭掘削の進行にともなう切羽照明・坑内照明の移設及び坑内排水設備・坑内換気設備・集塵機等の電気配管、配線</p> <p>4. 火薬庫類の保安管理費は、必要に応じて共通仮設費積算基準における安全費で別途計上する。</p>	<p>(注) 1. 掘削機械の運転手は、上記歩掛に含まれる。</p> <p>2. ゼリ出しにおいて運搬距離(片押し延長+坑外片道運搬距離)が1.2kmを超える場合は、1.2kmを超える部分に対し上表のトンネル特殊工(中段)の施工歩掛を1m当りとして1/6の値を追加する。(下半は除く)</p> <p>3. 掘削等作業の歩掛は、次の作業を行うものとする。</p> <p>①削岩 ②ゼリ出し ③吹付 ④金網 ⑤ロックボルト ⑥鋼製支保工 ⑦坑内送気管設置・撤去 ⑧坑内換気設備設置・運転・撤去 ⑨集塵機運転 ⑩坑内送水管設置・撤去 ⑪給排水設備保守 ⑫坑内排水設備設置・運転・撤去 ⑬坑内運搬路等の保守 ⑭掘削の進行にともなう切羽照明・坑内照明の移設及び坑内排水設備・坑内換気設備・集塵機等の電気配管、配線</p> <p>4. 火薬庫類の保安管理費は、必要に応じて共通仮設費積算基準における安全費で別途計上する。</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		

土木工事標準歩掛の一部改定 トンネル工（NATM）〔発破工法〕

工種名	現 行	改 定																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	<p>(2) 掘削機械の機種を選定および機械歩掛 掘削機械の機種・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.2 機種を選定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>施工区分</th> <th>機 種</th> <th>規 格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>穿 孔</td> <td>ドリルジャンボ</td> <td>トンネル工用排出ガス対策型 ホイール式・3ブーム ドリフタ質量150kg級</td> <td>台</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>こ そ く</td> <td>大型ブレーカ</td> <td>トンネル工用油圧式1,300kg級</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ずり出し</td> <td>ホイールローダ</td> <td>トンネル工用排出ガス対策型 サイドダンプ式山積2.3m³</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>ずり積込</td> </tr> <tr> <td>ダンプトラック</td> <td>坑内用普通ディーゼル 10 t 積級</td> <td>〃</td> <td>n</td> <td>ずり運搬</td> </tr> <tr> <td>吹 付</td> <td>コンクリート吹付機</td> <td>トンネル工用排出ガス対策型 湿式 一体型 吹付範囲 半径7m級</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 掘削区分Dにおいては、上半・下半各々でダンプトラックの使用台数を算出する。 2. ダンプトラックの規格は、4-1-2ずり出し工(3)ずり運搬工による。 3. ドリルジャンボは、支保作業においても併用使用する。ただし、下半については使用しない。 4. 大型ブレーカのベースマシンは、トンネル工用排出ガス対策型のバックホウ・クラ型山積0.8m³ (平積0.6m³)とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.3 ドリルジャンボ</p> <p>規格：トンネル工用排出ガス対策型 ホイール式 3ブーム、ドリフタ質量150kg級</p> <p style="text-align: right;">週/(トンネル延長)1m当り</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘削方法</th> <th rowspan="2">岩区分</th> <th colspan="10">設計掘削断面積(m²)</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>50</th><th>55</th><th>60</th><th>65</th><th>70</th><th>75</th><th>80</th><th>85</th><th>90</th><th>95</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">補助ベンチ付全断面工法</td> <td>B</td> <td>0.022</td><td>0.024</td><td>0.026</td><td>0.026</td><td>0.028</td><td>0.030</td><td>0.033</td><td>0.033</td><td>0.035</td><td>0.037</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>C I</td> <td>0.035</td><td>0.035</td><td>0.037</td><td>0.039</td><td>0.041</td><td>0.044</td><td>0.046</td><td>0.048</td><td>0.048</td><td>0.050</td> </tr> <tr> <td>C II</td> <td>0.057</td><td>0.061</td><td>0.063</td><td>0.065</td><td>0.067</td><td>0.070</td><td>0.072</td><td>0.074</td><td>0.076</td><td>0.078</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">上下半交互併進工法</td> <td rowspan="2">D I</td> <td>上半</td> <td></td><td></td><td>40</td><td>45</td><td>50</td><td>55</td><td>60</td><td>65</td><td>70</td><td>75</td> <td rowspan="6">必要な断面積を上下半各々に計上する。</td> </tr> <tr> <td>下半</td> <td></td><td></td><td>0.065</td><td>0.067</td><td>0.072</td><td>0.074</td><td>0.076</td><td>0.081</td><td>0.083</td><td>0.085</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">D II</td> <td>上半</td> <td></td><td></td><td>40</td><td>45</td><td>50</td><td>55</td><td>60</td><td>65</td><td>70</td><td>75</td> </tr> <tr> <td>下半</td> <td></td><td></td><td>0.067</td><td>0.070</td><td>0.072</td><td>0.074</td><td>0.078</td><td>0.081</td><td>0.083</td><td>0.087</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>上半</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>10</td><td>15</td><td>20</td><td>25</td><td>30</td><td>35</td> </tr> <tr> <td>下半</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.026</td><td>0.026</td><td>0.028</td><td>0.028</td><td>0.030</td><td>0.033</td> </tr> </tbody> </table>	施工区分	機 種	規 格	単位	数量	摘 要	穿 孔	ドリルジャンボ	トンネル工用排出ガス対策型 ホイール式・3ブーム ドリフタ質量150kg級	台	1		こ そ く	大型ブレーカ	トンネル工用油圧式1,300kg級	〃	1		ずり出し	ホイールローダ	トンネル工用排出ガス対策型 サイドダンプ式山積2.3m ³	〃	1	ずり積込	ダンプトラック	坑内用普通ディーゼル 10 t 積級	〃	n	ずり運搬	吹 付	コンクリート吹付機	トンネル工用排出ガス対策型 湿式 一体型 吹付範囲 半径7m級	〃	1		掘削方法	岩区分	設計掘削断面積(m ²)										摘要	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	補助ベンチ付全断面工法	B	0.022	0.024	0.026	0.026	0.028	0.030	0.033	0.033	0.035	0.037		C I	0.035	0.035	0.037	0.039	0.041	0.044	0.046	0.048	0.048	0.050	C II	0.057	0.061	0.063	0.065	0.067	0.070	0.072	0.074	0.076	0.078	上下半交互併進工法	D I	上半			40	45	50	55	60	65	70	75	必要な断面積を上下半各々に計上する。	下半			0.065	0.067	0.072	0.074	0.076	0.081	0.083	0.085	D II	上半			40	45	50	55	60	65	70	75	下半			0.067	0.070	0.072	0.074	0.078	0.081	0.083	0.087		上半					10	15	20	25	30	35	下半					0.026	0.026	0.028	0.028	0.030	0.033	<p>(2) 掘削機械の機種を選定および機械歩掛 掘削機械の機種・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.2 機種を選定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>施工区分</th> <th>機 種</th> <th>規 格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>穿 孔</td> <td>ドリルジャンボ</td> <td>トンネル工用排出ガス対策型 ホイール式・3ブーム・2バスケット・ ドリフタ質量170kg超級</td> <td>台</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>こ そ く</td> <td>大型ブレーカ</td> <td>トンネル工用排出ガス対策型 油圧式1,300kg級</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ずり出し</td> <td>ホイールローダ</td> <td>トンネル工用排出ガス対策型 サイドダンプ式山積2.3m³</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>ずり積込</td> </tr> <tr> <td>ダンプトラック</td> <td>坑内用 普通・ディーゼル 10 t 積級</td> <td>〃</td> <td>n</td> <td>ずり運搬</td> </tr> <tr> <td>吹 付</td> <td>コンクリート吹付機</td> <td>トンネル工用排出ガス対策型 湿式吹付・吹付ホッパー・ コップレタ搭載・吹付範囲半径7m級</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 掘削区分Dにおいては、上半・下半各々でダンプトラックの使用台数を算出する。 1. ダンプトラックの規格は、4-1-2ずり出し工(3)ずり運搬工による。 2. ドリルジャンボは、支保作業においても併用使用する。ただし、下半については使用しない。 大型ブレーカのベースマシンは、トンネル工用排出ガス対策型のバックホウ・クラ型山積0.8m³ (平積0.6m³)とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.3 ドリルジャンボ</p> <p>規格：トンネル工用排出ガス対策型 ホイール式・3ブーム・2バスケット ドリフタ質量170kg超級</p> <p style="text-align: right;">週/(トンネル延長)1m当り</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘削方法</th> <th rowspan="2">岩区分</th> <th colspan="10">設計掘削断面積(m²)</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>50</th><th>55</th><th>60</th><th>65</th><th>70</th><th>75</th><th>80</th><th>85</th><th>90</th><th>95</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">補助ベンチ付全断面工法</td> <td>B</td> <td>0.022</td><td>0.024</td><td>0.026</td><td>0.026</td><td>0.028</td><td>0.030</td><td>0.033</td><td>0.033</td><td>0.035</td><td>0.037</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>C I</td> <td>0.029</td><td>0.029</td><td>0.030</td><td>0.032</td><td>0.033</td><td>0.036</td><td>0.037</td><td>0.039</td><td>0.039</td><td>0.041</td> </tr> <tr> <td>C II</td> <td>0.047</td><td>0.049</td><td>0.051</td><td>0.053</td><td>0.055</td><td>0.057</td><td>0.059</td><td>0.061</td><td>0.063</td><td>0.065</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">上下半交互併進工法</td> <td rowspan="2">D I</td> <td>上半</td> <td></td><td></td><td>40</td><td>45</td><td>50</td><td>55</td><td>60</td><td>65</td><td>70</td><td>75</td> <td rowspan="6">必要な断面積を上下半各々に計上する。</td> </tr> <tr> <td>下半</td> <td></td><td></td><td>0.056</td><td>0.058</td><td>0.061</td><td>0.063</td><td>0.066</td><td>0.068</td><td>0.071</td><td>0.073</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">D II</td> <td>上半</td> <td></td><td></td><td>40</td><td>45</td><td>50</td><td>55</td><td>60</td><td>65</td><td>70</td><td>75</td> </tr> <tr> <td>下半</td> <td></td><td></td><td>0.057</td><td>0.061</td><td>0.061</td><td>0.063</td><td>0.067</td><td>0.068</td><td>0.071</td><td>0.075</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>上半</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>10</td><td>15</td><td>20</td><td>25</td><td>30</td><td>35</td> </tr> <tr> <td>下半</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.022</td><td>0.022</td><td>0.024</td><td>0.026</td><td>0.028</td><td>0.028</td> </tr> </tbody> </table>	施工区分	機 種	規 格	単位	数量	摘 要	穿 孔	ドリルジャンボ	トンネル工用排出ガス対策型 ホイール式・3ブーム・2バスケット・ ドリフタ質量170kg超級	台	1		こ そ く	大型ブレーカ	トンネル工用排出ガス対策型 油圧式1,300kg級	〃	1		ずり出し	ホイールローダ	トンネル工用排出ガス対策型 サイドダンプ式山積2.3m ³	〃	1	ずり積込	ダンプトラック	坑内用 普通・ディーゼル 10 t 積級	〃	n	ずり運搬	吹 付	コンクリート吹付機	トンネル工用排出ガス対策型 湿式吹付・吹付ホッパー・ コップレタ搭載・吹付範囲半径7m級	〃	1		掘削方法	岩区分	設計掘削断面積(m ²)										摘要	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	補助ベンチ付全断面工法	B	0.022	0.024	0.026	0.026	0.028	0.030	0.033	0.033	0.035	0.037		C I	0.029	0.029	0.030	0.032	0.033	0.036	0.037	0.039	0.039	0.041	C II	0.047	0.049	0.051	0.053	0.055	0.057	0.059	0.061	0.063	0.065	上下半交互併進工法	D I	上半			40	45	50	55	60	65	70	75	必要な断面積を上下半各々に計上する。	下半			0.056	0.058	0.061	0.063	0.066	0.068	0.071	0.073	D II	上半			40	45	50	55	60	65	70	75	下半			0.057	0.061	0.061	0.063	0.067	0.068	0.071	0.075		上半					10	15	20	25	30	35	下半					0.022	0.022	0.024	0.026	0.028	0.028
施工区分	機 種	規 格	単位	数量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
穿 孔	ドリルジャンボ	トンネル工用排出ガス対策型 ホイール式・3ブーム ドリフタ質量150kg級	台	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
こ そ く	大型ブレーカ	トンネル工用油圧式1,300kg級	〃	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
ずり出し	ホイールローダ	トンネル工用排出ガス対策型 サイドダンプ式山積2.3m ³	〃	1	ずり積込																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	ダンプトラック	坑内用普通ディーゼル 10 t 積級	〃	n	ずり運搬																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
吹 付	コンクリート吹付機	トンネル工用排出ガス対策型 湿式 一体型 吹付範囲 半径7m級	〃	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
掘削方法	岩区分	設計掘削断面積(m ²)										摘要																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
		50	55	60	65	70	75	80	85	90	95																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
補助ベンチ付全断面工法	B	0.022	0.024	0.026	0.026	0.028	0.030	0.033	0.033	0.035	0.037																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	C I	0.035	0.035	0.037	0.039	0.041	0.044	0.046	0.048	0.048	0.050																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	C II	0.057	0.061	0.063	0.065	0.067	0.070	0.072	0.074	0.076	0.078																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
上下半交互併進工法	D I	上半			40	45	50	55	60	65	70	75	必要な断面積を上下半各々に計上する。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
		下半			0.065	0.067	0.072	0.074	0.076	0.081	0.083	0.085																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	D II	上半			40	45	50	55	60	65	70	75																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
		下半			0.067	0.070	0.072	0.074	0.078	0.081	0.083	0.087																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
		上半					10	15	20	25	30	35																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
		下半					0.026	0.026	0.028	0.028	0.030	0.033																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
施工区分	機 種	規 格	単位	数量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
穿 孔	ドリルジャンボ	トンネル工用排出ガス対策型 ホイール式・3ブーム・2バスケット・ ドリフタ質量170kg超級	台	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
こ そ く	大型ブレーカ	トンネル工用排出ガス対策型 油圧式1,300kg級	〃	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
ずり出し	ホイールローダ	トンネル工用排出ガス対策型 サイドダンプ式山積2.3m ³	〃	1	ずり積込																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	ダンプトラック	坑内用 普通・ディーゼル 10 t 積級	〃	n	ずり運搬																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
吹 付	コンクリート吹付機	トンネル工用排出ガス対策型 湿式吹付・吹付ホッパー・ コップレタ搭載・吹付範囲半径7m級	〃	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
掘削方法	岩区分	設計掘削断面積(m ²)										摘要																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
		50	55	60	65	70	75	80	85	90	95																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
補助ベンチ付全断面工法	B	0.022	0.024	0.026	0.026	0.028	0.030	0.033	0.033	0.035	0.037																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	C I	0.029	0.029	0.030	0.032	0.033	0.036	0.037	0.039	0.039	0.041																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	C II	0.047	0.049	0.051	0.053	0.055	0.057	0.059	0.061	0.063	0.065																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
上下半交互併進工法	D I	上半			40	45	50	55	60	65	70	75	必要な断面積を上下半各々に計上する。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
		下半			0.056	0.058	0.061	0.063	0.066	0.068	0.071	0.073																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	D II	上半			40	45	50	55	60	65	70	75																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
		下半			0.057	0.061	0.061	0.063	0.067	0.068	0.071	0.075																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
		上半					10	15	20	25	30	35																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
		下半					0.022	0.022	0.024	0.026	0.028	0.028																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														

土木工事標準歩掛の一部改定
トンネル工（NATM） [発破工法]

工種名	現 行	改 定																																																																																																																																																																																																																																																															
	<p>表4.4 大型ブレーカ</p> <p>規格：トンネル工専用油圧式1,300kg級</p> <p style="text-align: right;">週/(トンネル延長)1m当り</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘削方法</th> <th rowspan="2">岩区分</th> <th colspan="10">設計掘削断面積(m²)</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>50</th><th>55</th><th>60</th><th>65</th><th>70</th><th>75</th><th>80</th><th>85</th><th>90</th><th>95</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">補助ベンチ付全断面工法</td> <td>B</td> <td>0.035</td><td>0.037</td><td>0.039</td><td>0.041</td><td>0.044</td><td>0.046</td><td>0.048</td><td>0.050</td><td>0.052</td><td>0.054</td> <td rowspan="12" style="vertical-align: middle;">必要な断面積を上下半各々に計上する。</td> </tr> <tr> <td>C I</td> <td>0.046</td><td>0.048</td><td>0.050</td><td>0.052</td><td>0.054</td><td>0.057</td><td>0.059</td><td>0.061</td><td>0.063</td><td>0.065</td> </tr> <tr> <td>C II</td> <td>0.057</td><td>0.061</td><td>0.063</td><td>0.065</td><td>0.067</td><td>0.070</td><td>0.072</td><td>0.074</td><td>0.076</td><td>0.078</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">上下半交互併進工法</td> <td rowspan="2">D I</td> <td>上半</td> <td></td><td></td><td>40</td><td>45</td><td>50</td><td>55</td><td>60</td><td>65</td><td>70</td><td>75</td> </tr> <tr> <td>下半</td> <td></td><td></td><td>0.065</td><td>0.067</td><td>0.072</td><td>0.074</td><td>0.076</td><td>0.081</td><td>0.083</td><td>0.085</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">D II</td> <td>上半</td> <td></td><td></td><td>40</td><td>45</td><td>50</td><td>55</td><td>60</td><td>65</td><td>70</td><td>75</td> </tr> <tr> <td>下半</td> <td></td><td></td><td>0.067</td><td>0.070</td><td>0.072</td><td>0.074</td><td>0.078</td><td>0.081</td><td>0.083</td><td>0.087</td> </tr> <tr> <td>上半</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.037</td><td>0.037</td><td>0.039</td><td>0.041</td><td>0.044</td><td>0.046</td> </tr> <tr> <td>下半</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> </tbody> </table>	掘削方法	岩区分	設計掘削断面積(m ²)										摘要	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	補助ベンチ付全断面工法	B	0.035	0.037	0.039	0.041	0.044	0.046	0.048	0.050	0.052	0.054	必要な断面積を上下半各々に計上する。	C I	0.046	0.048	0.050	0.052	0.054	0.057	0.059	0.061	0.063	0.065	C II	0.057	0.061	0.063	0.065	0.067	0.070	0.072	0.074	0.076	0.078	上下半交互併進工法	D I	上半			40	45	50	55	60	65	70	75	下半			0.065	0.067	0.072	0.074	0.076	0.081	0.083	0.085	D II	上半			40	45	50	55	60	65	70	75	下半			0.067	0.070	0.072	0.074	0.078	0.081	0.083	0.087	上半					0.037	0.037	0.039	0.041	0.044	0.046	下半											<p>表4.4 大型ブレーカ</p> <p>規格：トンネル工専用排出ガス対策型 油圧式1,300kg級</p> <p style="text-align: right;">週/(トンネル延長)1m当り</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘削方法</th> <th rowspan="2">岩区分</th> <th colspan="10">設計掘削断面積(m²)</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>50</th><th>55</th><th>60</th><th>65</th><th>70</th><th>75</th><th>80</th><th>85</th><th>90</th><th>95</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">補助ベンチ付全断面工法</td> <td>B</td> <td>0.035</td><td>0.037</td><td>0.039</td><td>0.041</td><td>0.044</td><td>0.046</td><td>0.048</td><td>0.050</td><td>0.052</td><td>0.054</td> <td rowspan="12" style="vertical-align: middle;">必要な断面積を上下半各々に計上する。</td> </tr> <tr> <td>C I</td> <td>0.029</td><td>0.029</td><td>0.030</td><td>0.032</td><td>0.033</td><td>0.036</td><td>0.037</td><td>0.039</td><td>0.039</td><td>0.041</td> </tr> <tr> <td>C II</td> <td>0.047</td><td>0.049</td><td>0.051</td><td>0.053</td><td>0.055</td><td>0.057</td><td>0.059</td><td>0.061</td><td>0.063</td><td>0.065</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">上下半交互併進工法</td> <td rowspan="2">D I</td> <td>上半</td> <td></td><td></td><td>40</td><td>45</td><td>50</td><td>55</td><td>60</td><td>65</td><td>70</td><td>75</td> </tr> <tr> <td>下半</td> <td></td><td></td><td>0.056</td><td>0.058</td><td>0.061</td><td>0.063</td><td>0.066</td><td>0.068</td><td>0.071</td><td>0.073</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">D II</td> <td>上半</td> <td></td><td></td><td>40</td><td>45</td><td>50</td><td>55</td><td>60</td><td>65</td><td>70</td><td>75</td> </tr> <tr> <td>下半</td> <td></td><td></td><td>0.057</td><td>0.061</td><td>0.061</td><td>0.063</td><td>0.067</td><td>0.068</td><td>0.071</td><td>0.075</td> </tr> <tr> <td>上半</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.022</td><td>0.022</td><td>0.024</td><td>0.024</td><td>0.026</td><td>0.028</td> </tr> <tr> <td>下半</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.022</td><td>0.022</td><td>0.024</td><td>0.026</td><td>0.028</td><td>0.028</td> </tr> </tbody> </table>	掘削方法	岩区分	設計掘削断面積(m ²)										摘要	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	補助ベンチ付全断面工法	B	0.035	0.037	0.039	0.041	0.044	0.046	0.048	0.050	0.052	0.054	必要な断面積を上下半各々に計上する。	C I	0.029	0.029	0.030	0.032	0.033	0.036	0.037	0.039	0.039	0.041	C II	0.047	0.049	0.051	0.053	0.055	0.057	0.059	0.061	0.063	0.065	上下半交互併進工法	D I	上半			40	45	50	55	60	65	70	75	下半			0.056	0.058	0.061	0.063	0.066	0.068	0.071	0.073	D II	上半			40	45	50	55	60	65	70	75	下半			0.057	0.061	0.061	0.063	0.067	0.068	0.071	0.075	上半					0.022	0.022	0.024	0.024	0.026	0.028	下半					0.022	0.022	0.024	0.026	0.028	0.028	
掘削方法	岩区分			設計掘削断面積(m ²)											摘要																																																																																																																																																																																																																																																		
		50	55	60	65	70	75	80	85	90	95																																																																																																																																																																																																																																																						
補助ベンチ付全断面工法	B	0.035	0.037	0.039	0.041	0.044	0.046	0.048	0.050	0.052	0.054	必要な断面積を上下半各々に計上する。																																																																																																																																																																																																																																																					
	C I	0.046	0.048	0.050	0.052	0.054	0.057	0.059	0.061	0.063	0.065																																																																																																																																																																																																																																																						
	C II	0.057	0.061	0.063	0.065	0.067	0.070	0.072	0.074	0.076	0.078																																																																																																																																																																																																																																																						
上下半交互併進工法	D I	上半			40	45	50	55	60	65	70		75																																																																																																																																																																																																																																																				
		下半			0.065	0.067	0.072	0.074	0.076	0.081	0.083		0.085																																																																																																																																																																																																																																																				
	D II	上半			40	45	50	55	60	65	70		75																																																																																																																																																																																																																																																				
		下半			0.067	0.070	0.072	0.074	0.078	0.081	0.083		0.087																																																																																																																																																																																																																																																				
		上半					0.037	0.037	0.039	0.041	0.044		0.046																																																																																																																																																																																																																																																				
		下半																																																																																																																																																																																																																																																															
掘削方法	岩区分	設計掘削断面積(m ²)											摘要																																																																																																																																																																																																																																																				
		50	55	60	65	70	75	80	85	90	95																																																																																																																																																																																																																																																						
補助ベンチ付全断面工法	B	0.035	0.037	0.039	0.041	0.044	0.046	0.048	0.050	0.052	0.054		必要な断面積を上下半各々に計上する。																																																																																																																																																																																																																																																				
	C I	0.029	0.029	0.030	0.032	0.033	0.036	0.037	0.039	0.039	0.041																																																																																																																																																																																																																																																						
	C II	0.047	0.049	0.051	0.053	0.055	0.057	0.059	0.061	0.063	0.065																																																																																																																																																																																																																																																						
上下半交互併進工法	D I	上半			40	45	50	55	60	65	70	75																																																																																																																																																																																																																																																					
		下半			0.056	0.058	0.061	0.063	0.066	0.068	0.071	0.073																																																																																																																																																																																																																																																					
	D II	上半			40	45	50	55	60	65	70	75																																																																																																																																																																																																																																																					
		下半			0.057	0.061	0.061	0.063	0.067	0.068	0.071	0.075																																																																																																																																																																																																																																																					
		上半					0.022	0.022	0.024	0.024	0.026	0.028																																																																																																																																																																																																																																																					
		下半					0.022	0.022	0.024	0.026	0.028	0.028																																																																																																																																																																																																																																																					
	<p>(3) 材料等歩掛</p> <p>① 火 薬</p> <p>火薬は、含水爆薬（スラリー200g）を使用するものとし、その使用量は次表を標準とする。</p> <p>火薬使用量は、余掘を含めない設計掘削延長1mに対するものとする。</p>	<p>(3) 材料等歩掛</p> <p>① 火 薬</p> <p>火薬は、含水爆薬（スラリー200g）を使用するものとし、その使用量は次表を標準とする。</p> <p style="color: red;">火薬使用量は、余掘を含めない設計掘削延長1mに対するものとする。</p>																																																																																																																																																																																																																																																															
	<p>表4.5 火薬</p> <p style="text-align: right;">kg/(トンネル延長)1m当り</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘削方法</th> <th rowspan="2">岩区分</th> <th colspan="10">設計掘削断面積(m²)</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>50</th><th>55</th><th>60</th><th>65</th><th>70</th><th>75</th><th>80</th><th>85</th><th>90</th><th>95</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">補助ベンチ付全断面工法</td> <td>B</td> <td>50.0</td><td>55.0</td><td>60.0</td><td>65.0</td><td>70.0</td><td>75.0</td><td>80.0</td><td>85.0</td><td>90.0</td><td>95.0</td> <td rowspan="12" style="vertical-align: middle;">必要な断面積を上下半各々に計上する。</td> </tr> <tr> <td>C I</td> <td>40.0</td><td>44.0</td><td>48.0</td><td>52.0</td><td>56.0</td><td>60.0</td><td>64.0</td><td>68.0</td><td>72.0</td><td>76.0</td> </tr> <tr> <td>C II</td> <td>40.0</td><td>44.0</td><td>48.0</td><td>52.0</td><td>56.0</td><td>60.0</td><td>64.0</td><td>68.0</td><td>72.0</td><td>76.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">上下半交互併進工法</td> <td rowspan="2">D I</td> <td>上半</td> <td></td><td></td><td>40</td><td>45</td><td>50</td><td>55</td><td>60</td><td>65</td><td>70</td><td>75</td> </tr> <tr> <td>下半</td> <td></td><td></td><td>24.0</td><td>27.0</td><td>30.0</td><td>33.0</td><td>36.0</td><td>39.0</td><td>42.0</td><td>45.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">D II</td> <td>上半</td> <td></td><td></td><td>40</td><td>45</td><td>50</td><td>55</td><td>60</td><td>65</td><td>70</td><td>75</td> </tr> <tr> <td>下半</td> <td></td><td></td><td>24.0</td><td>27.0</td><td>30.0</td><td>33.0</td><td>36.0</td><td>39.0</td><td>42.0</td><td>45.0</td> </tr> <tr> <td>上半</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>5.0</td><td>7.5</td><td>10.0</td><td>12.5</td><td>15.0</td><td>17.5</td> </tr> <tr> <td>下半</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>5.0</td><td>7.5</td><td>10.0</td><td>12.5</td><td>15.0</td><td>17.5</td> </tr> </tbody> </table>	掘削方法	岩区分	設計掘削断面積(m ²)										摘要	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	補助ベンチ付全断面工法	B	50.0	55.0	60.0	65.0	70.0	75.0	80.0	85.0	90.0	95.0	必要な断面積を上下半各々に計上する。	C I	40.0	44.0	48.0	52.0	56.0	60.0	64.0	68.0	72.0	76.0	C II	40.0	44.0	48.0	52.0	56.0	60.0	64.0	68.0	72.0	76.0	上下半交互併進工法	D I	上半			40	45	50	55	60	65	70	75	下半			24.0	27.0	30.0	33.0	36.0	39.0	42.0	45.0	D II	上半			40	45	50	55	60	65	70	75	下半			24.0	27.0	30.0	33.0	36.0	39.0	42.0	45.0	上半					5.0	7.5	10.0	12.5	15.0	17.5	下半					5.0	7.5	10.0	12.5	15.0	17.5	<p>表4.5 火薬</p> <p style="text-align: right;">kg/(トンネル延長)1m当り</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘削方法</th> <th rowspan="2">岩区分</th> <th colspan="10">設計掘削断面積(m²)</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>50</th><th>55</th><th>60</th><th>65</th><th>70</th><th>75</th><th>80</th><th>85</th><th>90</th><th>95</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">補助ベンチ付全断面工法</td> <td>B</td> <td>50.0</td><td>55.0</td><td>60.0</td><td>65.0</td><td>70.0</td><td>75.0</td><td>80.0</td><td>85.0</td><td>90.0</td><td>95.0</td> <td rowspan="12" style="vertical-align: middle;">必要な断面積を上下半各々に計上する。</td> </tr> <tr> <td>C I</td> <td>40.0</td><td>44.0</td><td>48.0</td><td>52.0</td><td>56.0</td><td>60.0</td><td>64.0</td><td>68.0</td><td>72.0</td><td>76.0</td> </tr> <tr> <td>C II</td> <td>40.0</td><td>44.0</td><td>48.0</td><td>52.0</td><td>56.0</td><td>60.0</td><td>64.0</td><td>68.0</td><td>72.0</td><td>76.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">上下半交互併進工法</td> <td rowspan="2">D I</td> <td>上半</td> <td></td><td></td><td>40</td><td>45</td><td>50</td><td>55</td><td>60</td><td>65</td><td>70</td><td>75</td> </tr> <tr> <td>下半</td> <td></td><td></td><td>24.0</td><td>27.0</td><td>30.0</td><td>33.0</td><td>36.0</td><td>39.0</td><td>42.0</td><td>45.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">D II</td> <td>上半</td> <td></td><td></td><td>40</td><td>45</td><td>50</td><td>55</td><td>60</td><td>65</td><td>70</td><td>75</td> </tr> <tr> <td>下半</td> <td></td><td></td><td>24.0</td><td>27.0</td><td>30.0</td><td>33.0</td><td>36.0</td><td>39.0</td><td>42.0</td><td>45.0</td> </tr> <tr> <td>上半</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>5.0</td><td>7.5</td><td>10.0</td><td>12.5</td><td>15.0</td><td>17.5</td> </tr> <tr> <td>下半</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>5.0</td><td>7.5</td><td>10.0</td><td>12.5</td><td>15.0</td><td>17.5</td> </tr> </tbody> </table>	掘削方法	岩区分	設計掘削断面積(m ²)										摘要	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	補助ベンチ付全断面工法	B	50.0	55.0	60.0	65.0	70.0	75.0	80.0	85.0	90.0	95.0	必要な断面積を上下半各々に計上する。	C I	40.0	44.0	48.0	52.0	56.0	60.0	64.0	68.0	72.0	76.0	C II	40.0	44.0	48.0	52.0	56.0	60.0	64.0	68.0	72.0	76.0	上下半交互併進工法	D I	上半			40	45	50	55	60	65	70	75	下半			24.0	27.0	30.0	33.0	36.0	39.0	42.0	45.0	D II	上半			40	45	50	55	60	65	70	75	下半			24.0	27.0	30.0	33.0	36.0	39.0	42.0	45.0	上半					5.0	7.5	10.0	12.5	15.0	17.5	下半					5.0	7.5	10.0	12.5	15.0	17.5	
掘削方法	岩区分			設計掘削断面積(m ²)											摘要																																																																																																																																																																																																																																																		
		50	55	60	65	70	75	80	85	90	95																																																																																																																																																																																																																																																						
補助ベンチ付全断面工法	B	50.0	55.0	60.0	65.0	70.0	75.0	80.0	85.0	90.0	95.0	必要な断面積を上下半各々に計上する。																																																																																																																																																																																																																																																					
	C I	40.0	44.0	48.0	52.0	56.0	60.0	64.0	68.0	72.0	76.0																																																																																																																																																																																																																																																						
	C II	40.0	44.0	48.0	52.0	56.0	60.0	64.0	68.0	72.0	76.0																																																																																																																																																																																																																																																						
上下半交互併進工法	D I	上半			40	45	50	55	60	65	70		75																																																																																																																																																																																																																																																				
		下半			24.0	27.0	30.0	33.0	36.0	39.0	42.0		45.0																																																																																																																																																																																																																																																				
	D II	上半			40	45	50	55	60	65	70		75																																																																																																																																																																																																																																																				
		下半			24.0	27.0	30.0	33.0	36.0	39.0	42.0		45.0																																																																																																																																																																																																																																																				
		上半					5.0	7.5	10.0	12.5	15.0		17.5																																																																																																																																																																																																																																																				
		下半					5.0	7.5	10.0	12.5	15.0		17.5																																																																																																																																																																																																																																																				
掘削方法	岩区分	設計掘削断面積(m ²)											摘要																																																																																																																																																																																																																																																				
		50	55	60	65	70	75	80	85	90	95																																																																																																																																																																																																																																																						
補助ベンチ付全断面工法	B	50.0	55.0	60.0	65.0	70.0	75.0	80.0	85.0	90.0	95.0		必要な断面積を上下半各々に計上する。																																																																																																																																																																																																																																																				
	C I	40.0	44.0	48.0	52.0	56.0	60.0	64.0	68.0	72.0	76.0																																																																																																																																																																																																																																																						
	C II	40.0	44.0	48.0	52.0	56.0	60.0	64.0	68.0	72.0	76.0																																																																																																																																																																																																																																																						
上下半交互併進工法	D I	上半			40	45	50	55	60	65	70	75																																																																																																																																																																																																																																																					
		下半			24.0	27.0	30.0	33.0	36.0	39.0	42.0	45.0																																																																																																																																																																																																																																																					
	D II	上半			40	45	50	55	60	65	70	75																																																																																																																																																																																																																																																					
		下半			24.0	27.0	30.0	33.0	36.0	39.0	42.0	45.0																																																																																																																																																																																																																																																					
		上半					5.0	7.5	10.0	12.5	15.0	17.5																																																																																																																																																																																																																																																					
		下半					5.0	7.5	10.0	12.5	15.0	17.5																																																																																																																																																																																																																																																					
	<p>(注) 雷管は別途計上する。</p>	<p>(注) 雷管は別途計上する。</p>																																																																																																																																																																																																																																																															

土木工事標準歩掛の一部改定 トンネル工（NATM）【発破工法】

工種名	現 行	改 定																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	<p>② 諸雑費</p> <p>1) 機械の諸雑費</p> <p>諸雑費は、削岩及びロックボルト打設用のドリルジャンボのビット、ロッド、シャンクスクリュロッド、ジョイントスリーブ、及びこそく用の大型ブレードのチゼルの損耗料等の費用及び、トラック、トラックミキサーおよびアジテータトラック、モルタル注入機、積込補助用バックホウの損料及び燃料費であり、機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表4.6 (掘削等) 諸雑費 (その他機械) %/(トンネル延長)1m当り</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘削方法</th> <th rowspan="2">岩区分</th> <th colspan="10">設計掘削断面積(m²)</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>50</th><th>55</th><th>60</th><th>65</th><th>70</th><th>75</th><th>80</th><th>85</th><th>90</th><th>95</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">補助ベンチ付全断面工法</td> <td>B</td> <td>26</td><td>26</td><td>26</td><td>26</td><td>26</td><td>26</td><td>26</td><td>26</td><td>26</td><td>26</td> <td rowspan="10">必要な断面積を上下半各々に計上する。</td> </tr> <tr> <td>C I</td> <td>17</td><td>17</td><td>17</td><td>17</td><td>17</td><td>17</td><td>17</td><td>17</td><td>17</td><td>17</td> </tr> <tr> <td>C II</td> <td>16</td><td>16</td><td>16</td><td>16</td><td>16</td><td>16</td><td>17</td><td>17</td><td>17</td><td>17</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">上下半交互併進工法</td> <td rowspan="2">D I</td> <td rowspan="2">上半</td> <td>40</td><td>45</td><td>50</td><td>55</td><td>60</td><td>65</td><td>70</td><td>75</td> </tr> <tr> <td>10</td><td>10</td><td>11</td><td>11</td><td>11</td><td>12</td><td>12</td><td>12</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">下半</td> <td>10</td><td>15</td><td>20</td><td>25</td><td>30</td><td>35</td> </tr> <tr> <td>10</td><td>10</td><td>9</td><td>9</td><td>9</td><td>9</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">D II</td> <td rowspan="2">上半</td> <td>40</td><td>45</td><td>50</td><td>55</td><td>60</td><td>65</td><td>70</td><td>75</td> </tr> <tr> <td>11</td><td>11</td><td>11</td><td>12</td><td>12</td><td>12</td><td>12</td><td>12</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">下半</td> <td>10</td><td>15</td><td>20</td><td>25</td><td>30</td><td>35</td> </tr> <tr> <td>10</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td> </tr> </tbody> </table> <p>2) 材料の諸雑費</p> <p>諸雑費は、金網工における金網（JIS-G-3551（溶接金網） 150×150×φ5、2.13kg/m²）、ラップロス、止め金具等の費用、鋼製支保工におけるH形鋼（R止まり・基数エキストラ）、継手板・底版およびボルト・ナット、継ぎ材、さや管、加工費（溶接・穴開け）等の費用であり、材料費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表4.7 (掘削等) 諸雑費 (その他材料) %/(トンネル延長)1m当り</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘削方法</th> <th rowspan="2">岩区分</th> <th colspan="10">設計掘削断面積(m²)</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>50</th><th>55</th><th>60</th><th>65</th><th>70</th><th>75</th><th>80</th><th>85</th><th>90</th><th>95</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">補助ベンチ付全断面工法</td> <td>B</td> <td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td> <td rowspan="10">必要な断面積を上下半各々に計上する。</td> </tr> <tr> <td>C I</td> <td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td> </tr> <tr> <td>C II</td> <td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">上下半交互併進工法</td> <td rowspan="2">D I</td> <td rowspan="2">上半</td> <td>40</td><td>45</td><td>50</td><td>55</td><td>60</td><td>65</td><td>70</td><td>75</td> </tr> <tr> <td>9</td><td>9</td><td>9</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">下半</td> <td>10</td><td>15</td><td>20</td><td>25</td><td>30</td><td>35</td> </tr> <tr> <td>11</td><td>11</td><td>10</td><td>9</td><td>9</td><td>8</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">D II</td> <td rowspan="2">上半</td> <td>40</td><td>45</td><td>50</td><td>55</td><td>60</td><td>65</td><td>70</td><td>75</td> </tr> <tr> <td>8</td><td>8</td><td>8</td><td>8</td><td>9</td><td>9</td><td>9</td><td>9</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">下半</td> <td>10</td><td>15</td><td>20</td><td>25</td><td>30</td><td>35</td> </tr> <tr> <td>18</td><td>15</td><td>13</td><td>10</td><td>7</td><td>5</td> </tr> </tbody> </table>	掘削方法	岩区分	設計掘削断面積(m ²)										摘要	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	補助ベンチ付全断面工法	B	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	必要な断面積を上下半各々に計上する。	C I	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	C II	16	16	16	16	16	16	17	17	17	17	上下半交互併進工法	D I	上半	40	45	50	55	60	65	70	75	10	10	11	11	11	12	12	12	下半	10	15	20	25	30	35	10	10	9	9	9	9	D II	上半	40	45	50	55	60	65	70	75	11	11	11	12	12	12	12	12	下半	10	15	20	25	30	35	10	10	10	10	10	10	掘削方法	岩区分	設計掘削断面積(m ²)										摘要	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	補助ベンチ付全断面工法	B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	必要な断面積を上下半各々に計上する。	C I	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	C II	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	上下半交互併進工法	D I	上半	40	45	50	55	60	65	70	75	9	9	9	10	10	10	10	10	下半	10	15	20	25	30	35	11	11	10	9	9	8	D II	上半	40	45	50	55	60	65	70	75	8	8	8	8	9	9	9	9	下半	10	15	20	25	30	35	18	15	13	10	7	5	<p>② 諸雑費</p> <p>1) 機械の諸雑費</p> <p>諸雑費は、削岩及びロックボルト打設用のドリルジャンボのビット、ロッド、シャンクスクリュロッド、ジョイントスリーブ、及びこそく用の大型ブレードのチゼルの損耗料等の費用及び、トラック、トラックミキサーおよびアジテータトラック、モルタル注入機、積込補助用バックホウの損料及び燃料費であり、機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表4.6 (掘削等) 諸雑費 (その他機械) %/(トンネル延長)1m当り</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘削方法</th> <th rowspan="2">岩区分</th> <th colspan="10">設計掘削断面積(m²)</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>50</th><th>55</th><th>60</th><th>65</th><th>70</th><th>75</th><th>80</th><th>85</th><th>90</th><th>95</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">補助ベンチ付全断面工法</td> <td>B</td> <td>26</td><td>26</td><td>26</td><td>26</td><td>26</td><td>26</td><td>26</td><td>26</td><td>26</td><td>26</td> <td rowspan="10">必要な断面積を上下半各々に計上する。</td> </tr> <tr> <td>C I</td> <td>11</td><td>12</td><td>13</td><td>13</td><td>14</td><td>14</td><td>14</td><td>14</td><td>15</td><td>15</td> </tr> <tr> <td>C II</td> <td>7</td><td>8</td><td>8</td><td>9</td><td>9</td><td>9</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">上下半交互併進工法</td> <td rowspan="2">D I</td> <td rowspan="2">上半</td> <td>40</td><td>45</td><td>50</td><td>55</td><td>60</td><td>65</td><td>70</td><td>75</td> </tr> <tr> <td>7</td><td>7</td><td>8</td><td>8</td><td>9</td><td>9</td><td>10</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">下半</td> <td>10</td><td>15</td><td>20</td><td>25</td><td>30</td><td>35</td> </tr> <tr> <td>3</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>5</td><td>6</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">D II</td> <td rowspan="2">上半</td> <td>40</td><td>45</td><td>50</td><td>55</td><td>60</td><td>65</td><td>70</td><td>75</td> </tr> <tr> <td>7</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>9</td><td>10</td><td>10</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">下半</td> <td>10</td><td>15</td><td>20</td><td>25</td><td>30</td><td>35</td> </tr> <tr> <td>3</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>7</td><td>9</td> </tr> </tbody> </table> <p>2) 材料の諸雑費</p> <p>諸雑費は、金網工における金網（JIS-G-3551（溶接金網） 150×150×φ5、2.13kg/m²）、ラップロス、止め金具等の費用、鋼製支保工におけるH形鋼（R止まり・基数エキストラ）、継手板・底版およびボルト・ナット、継ぎ材、さや管、加工費（溶接・穴開け）等の費用であり、材料費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表4.7 (掘削等) 諸雑費 (その他材料) %/(トンネル延長)1m当り</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘削方法</th> <th rowspan="2">岩区分</th> <th colspan="10">設計掘削断面積(m²)</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>50</th><th>55</th><th>60</th><th>65</th><th>70</th><th>75</th><th>80</th><th>85</th><th>90</th><th>95</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">補助ベンチ付全断面工法</td> <td>B</td> <td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td> <td rowspan="10">必要な断面積を上下半各々に計上する。</td> </tr> <tr> <td>C I</td> <td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td> </tr> <tr> <td>C II</td> <td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">上下半交互併進工法</td> <td rowspan="2">D I</td> <td rowspan="2">上半</td> <td>40</td><td>45</td><td>50</td><td>55</td><td>60</td><td>65</td><td>70</td><td>75</td> </tr> <tr> <td>9</td><td>9</td><td>9</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">下半</td> <td>10</td><td>15</td><td>20</td><td>25</td><td>30</td><td>35</td> </tr> <tr> <td>11</td><td>11</td><td>10</td><td>9</td><td>9</td><td>8</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">D II</td> <td rowspan="2">上半</td> <td>40</td><td>45</td><td>50</td><td>55</td><td>60</td><td>65</td><td>70</td><td>75</td> </tr> <tr> <td>8</td><td>8</td><td>8</td><td>8</td><td>9</td><td>9</td><td>9</td><td>9</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">下半</td> <td>10</td><td>15</td><td>20</td><td>25</td><td>30</td><td>35</td> </tr> <tr> <td>18</td><td>15</td><td>13</td><td>10</td><td>7</td><td>5</td> </tr> </tbody> </table>	掘削方法	岩区分	設計掘削断面積(m ²)										摘要	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	補助ベンチ付全断面工法	B	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	必要な断面積を上下半各々に計上する。	C I	11	12	13	13	14	14	14	14	15	15	C II	7	8	8	9	9	9	10	10	10	10	上下半交互併進工法	D I	上半	40	45	50	55	60	65	70	75	7	7	8	8	9	9	10	下半	10	15	20	25	30	35	3	3	4	5	5	6	D II	上半	40	45	50	55	60	65	70	75	7	7	8	9	9	10	10	下半	10	15	20	25	30	35	3	5	6	7	7	9	掘削方法	岩区分	設計掘削断面積(m ²)										摘要	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	補助ベンチ付全断面工法	B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	必要な断面積を上下半各々に計上する。	C I	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	C II	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	上下半交互併進工法	D I	上半	40	45	50	55	60	65	70	75	9	9	9	10	10	10	10	10	下半	10	15	20	25	30	35	11	11	10	9	9	8	D II	上半	40	45	50	55	60	65	70	75	8	8	8	8	9	9	9	9	下半	10	15	20	25	30	35	18	15	13	10	7	5
掘削方法	岩区分			設計掘削断面積(m ²)											摘要																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		50	55	60	65	70	75	80	85	90	95																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
補助ベンチ付全断面工法	B	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	必要な断面積を上下半各々に計上する。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	C I	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	C II	16	16	16	16	16	16	17	17	17	17																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
上下半交互併進工法	D I	上半	40	45	50	55	60	65	70	75																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
			10	10	11	11	11	12	12	12																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	下半	10	15	20	25	30	35																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
		10	10	9	9	9	9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	D II	上半	40	45	50	55	60	65	70	75																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
			11	11	11	12	12	12	12	12																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
下半	10	15	20	25	30	35																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	10	10	10	10	10	10																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
掘削方法	岩区分	設計掘削断面積(m ²)										摘要																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
		50	55	60	65	70	75	80	85	90	95																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
補助ベンチ付全断面工法	B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	必要な断面積を上下半各々に計上する。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	C I	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	C II	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
上下半交互併進工法	D I	上半	40	45	50	55	60	65	70	75																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
			9	9	9	10	10	10	10	10																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	下半	10	15	20	25	30	35																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
		11	11	10	9	9	8																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	D II	上半	40	45	50	55	60	65	70	75																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
			8	8	8	8	9	9	9	9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
下半	10	15	20	25	30	35																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	18	15	13	10	7	5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
掘削方法	岩区分	設計掘削断面積(m ²)										摘要																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
		50	55	60	65	70	75	80	85	90	95																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
補助ベンチ付全断面工法	B	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	必要な断面積を上下半各々に計上する。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	C I	11	12	13	13	14	14	14	14	15	15																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	C II	7	8	8	9	9	9	10	10	10	10																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
上下半交互併進工法	D I	上半	40	45	50	55	60	65	70	75																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
			7	7	8	8	9	9	10																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	下半	10	15	20	25	30	35																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
		3	3	4	5	5	6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	D II	上半	40	45	50	55	60	65	70	75																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
			7	7	8	9	9	10	10																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
下半	10	15	20	25	30	35																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	3	5	6	7	7	9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
掘削方法	岩区分	設計掘削断面積(m ²)										摘要																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
		50	55	60	65	70	75	80	85	90	95																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
補助ベンチ付全断面工法	B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	必要な断面積を上下半各々に計上する。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	C I	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	C II	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
上下半交互併進工法	D I	上半	40	45	50	55	60	65	70	75																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
			9	9	9	10	10	10	10	10																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	下半	10	15	20	25	30	35																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
		11	11	10	9	9	8																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	D II	上半	40	45	50	55	60	65	70	75																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
			8	8	8	8	9	9	9	9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
下半	10	15	20	25	30	35																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	18	15	13	10	7	5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														

土木工事標準歩掛の一部改定 トンネル工（NATM） [発破工法]

工種名	現 行	改 定																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	<p>4-1-2 ずり出し工</p> <p>(1) ずり出し方式 ずり出しは、直送方式を標準とし、積替方式の場合の積替場所から捨て場までは、一般の運搬工で積算する。なお、直送方式と積替方式の範囲は、運搬距離（片押し延長+坑外片道運搬距離）が3.0km程度が標準である。</p> <p>(2) ずり積込工 ずり積込み用ホイールローダの歩掛は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.8 ホイールローダ</p> <p>規格：トンネル工用排出ガス対策型 サイドダンプ式、山積2.3m³ 週/(トンネル延長)1m当り</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘削方法</th> <th rowspan="2">岩区分</th> <th colspan="10">設計掘削断面積(m²)</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>50</th><th>55</th><th>60</th><th>65</th><th>70</th><th>75</th><th>80</th><th>85</th><th>90</th><th>95</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">補助ベンチ付全断面工法</td> <td>B</td> <td>0.028</td><td>0.030</td><td>0.033</td><td>0.035</td><td>0.037</td><td>0.039</td><td>0.041</td><td>0.044</td><td>0.046</td><td>0.048</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>C I</td> <td>0.039</td><td>0.041</td><td>0.044</td><td>0.052</td><td>0.054</td><td>0.057</td><td>0.059</td><td>0.061</td><td>0.063</td><td>0.065</td> </tr> <tr> <td>C II</td> <td>0.057</td><td>0.061</td><td>0.063</td><td>0.065</td><td>0.067</td><td>0.070</td><td>0.072</td><td>0.074</td><td>0.076</td><td>0.078</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">上下半交互併進工法</td> <td rowspan="4">D I</td> <td rowspan="2">上半</td> <td></td><td></td><td>40</td><td>45</td><td>50</td><td>55</td><td>60</td><td>65</td><td>70</td><td>75</td> <td rowspan="8">必要な断面積を上下半各々に計上する。</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td>0.054</td><td>0.057</td><td>0.063</td><td>0.065</td><td>0.076</td><td>0.081</td><td>0.083</td><td>0.085</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">下半</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>10</td><td>15</td><td>20</td><td>25</td><td>30</td><td>35</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.028</td><td>0.028</td><td>0.030</td><td>0.035</td><td>0.041</td><td>0.044</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">D II</td> <td rowspan="2">上半</td> <td></td><td></td><td>40</td><td>45</td><td>50</td><td>55</td><td>60</td><td>65</td><td>70</td><td>75</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td>0.057</td><td>0.059</td><td>0.061</td><td>0.065</td><td>0.070</td><td>0.081</td><td>0.083</td><td>0.087</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">下半</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>10</td><td>15</td><td>20</td><td>25</td><td>30</td><td>35</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.026</td><td>0.028</td><td>0.033</td><td>0.035</td><td>0.039</td><td>0.046</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) ずり運搬工</p> <p>① ダンプトラックの規格及び使用台数 ダンプトラックの規格及び使用台数は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.9 ダンプトラックの規格及び使用台数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">坑内用普通ディーゼルダンプトラック10t積級</th> <th>L ≤ 0.5km</th> <th>0.5 < L ≤ 1.2km</th> <th>1.2 < L ≤ 1.4km</th> <th>1.4 < L ≤ 2.2km</th> <th>2.2 < L ≤ 3.0km</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>3台</td> <td>4台</td> <td>4台</td> <td>5台</td> <td>6台</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) Lは運搬距離(片押し延長+坑外片道運搬距離)とする。</p>	掘削方法	岩区分	設計掘削断面積(m ²)										摘要	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	補助ベンチ付全断面工法	B	0.028	0.030	0.033	0.035	0.037	0.039	0.041	0.044	0.046	0.048		C I	0.039	0.041	0.044	0.052	0.054	0.057	0.059	0.061	0.063	0.065	C II	0.057	0.061	0.063	0.065	0.067	0.070	0.072	0.074	0.076	0.078	上下半交互併進工法	D I	上半			40	45	50	55	60	65	70	75	必要な断面積を上下半各々に計上する。			0.054	0.057	0.063	0.065	0.076	0.081	0.083	0.085	下半					10	15	20	25	30	35					0.028	0.028	0.030	0.035	0.041	0.044	D II	上半			40	45	50	55	60	65	70	75			0.057	0.059	0.061	0.065	0.070	0.081	0.083	0.087	下半					10	15	20	25	30	35					0.026	0.028	0.033	0.035	0.039	0.046	坑内用普通ディーゼルダンプトラック10t積級	L ≤ 0.5km	0.5 < L ≤ 1.2km	1.2 < L ≤ 1.4km	1.4 < L ≤ 2.2km	2.2 < L ≤ 3.0km		3台	4台	4台	5台	6台	<p>4-1-2 ずり出し工</p> <p>(1) ずり出し方式 ずり出しは、直送方式を標準とし、積替方式の場合の積替場所から捨て場までは、一般の運搬工で積算する。なお、直送方式と積替方式の範囲は、運搬距離（片押し延長+坑外片道運搬距離）が3.0km程度が標準である。</p> <p>(2) ずり積込工 ずり積込み用ホイールローダの歩掛は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.8 ホイールローダ</p> <p>規格：トンネル工用排出ガス対策型 サイドダンプ式・山積2.3m³ 週/(トンネル延長)1m当り</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘削方法</th> <th rowspan="2">岩区分</th> <th colspan="10">設計掘削断面積(m²)</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>50</th><th>55</th><th>60</th><th>65</th><th>70</th><th>75</th><th>80</th><th>85</th><th>90</th><th>95</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">補助ベンチ付全断面工法</td> <td>B</td> <td>0.028</td><td>0.030</td><td>0.033</td><td>0.035</td><td>0.037</td><td>0.039</td><td>0.041</td><td>0.044</td><td>0.046</td><td>0.048</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>C I</td> <td>0.029</td><td>0.029</td><td>0.030</td><td>0.032</td><td>0.033</td><td>0.036</td><td>0.037</td><td>0.039</td><td>0.039</td><td>0.041</td> </tr> <tr> <td>C II</td> <td>0.047</td><td>0.049</td><td>0.051</td><td>0.053</td><td>0.055</td><td>0.057</td><td>0.059</td><td>0.061</td><td>0.063</td><td>0.065</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">上下半交互併進工法</td> <td rowspan="4">D I</td> <td rowspan="2">上半</td> <td></td><td></td><td>40</td><td>45</td><td>50</td><td>55</td><td>60</td><td>65</td><td>70</td><td>75</td> <td rowspan="8">必要な断面積を上下半各々に計上する。</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td>0.056</td><td>0.058</td><td>0.061</td><td>0.063</td><td>0.066</td><td>0.068</td><td>0.071</td><td>0.073</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">下半</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>10</td><td>15</td><td>20</td><td>25</td><td>30</td><td>35</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.022</td><td>0.022</td><td>0.024</td><td>0.024</td><td>0.026</td><td>0.028</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">D II</td> <td rowspan="2">上半</td> <td></td><td></td><td>40</td><td>45</td><td>50</td><td>55</td><td>60</td><td>65</td><td>70</td><td>75</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td>0.057</td><td>0.061</td><td>0.061</td><td>0.063</td><td>0.067</td><td>0.068</td><td>0.071</td><td>0.075</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">下半</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>10</td><td>15</td><td>20</td><td>25</td><td>30</td><td>35</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.022</td><td>0.022</td><td>0.024</td><td>0.026</td><td>0.028</td><td>0.028</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center; color: blue;">現 行 通 り</p>	掘削方法	岩区分	設計掘削断面積(m ²)										摘要	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	補助ベンチ付全断面工法	B	0.028	0.030	0.033	0.035	0.037	0.039	0.041	0.044	0.046	0.048		C I	0.029	0.029	0.030	0.032	0.033	0.036	0.037	0.039	0.039	0.041	C II	0.047	0.049	0.051	0.053	0.055	0.057	0.059	0.061	0.063	0.065	上下半交互併進工法	D I	上半			40	45	50	55	60	65	70	75	必要な断面積を上下半各々に計上する。			0.056	0.058	0.061	0.063	0.066	0.068	0.071	0.073	下半					10	15	20	25	30	35					0.022	0.022	0.024	0.024	0.026	0.028	D II	上半			40	45	50	55	60	65	70	75			0.057	0.061	0.061	0.063	0.067	0.068	0.071	0.075	下半					10	15	20	25	30	35					0.022	0.022	0.024	0.026	0.028	0.028
掘削方法	岩区分			設計掘削断面積(m ²)											摘要																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
		50	55	60	65	70	75	80	85	90	95																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
補助ベンチ付全断面工法	B	0.028	0.030	0.033	0.035	0.037	0.039	0.041	0.044	0.046	0.048																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	C I	0.039	0.041	0.044	0.052	0.054	0.057	0.059	0.061	0.063	0.065																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	C II	0.057	0.061	0.063	0.065	0.067	0.070	0.072	0.074	0.076	0.078																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
上下半交互併進工法	D I	上半			40	45	50	55	60	65	70	75	必要な断面積を上下半各々に計上する。																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
					0.054	0.057	0.063	0.065	0.076	0.081	0.083	0.085																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		下半					10	15	20	25	30	35																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
							0.028	0.028	0.030	0.035	0.041	0.044																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	D II	上半			40	45	50	55	60	65	70	75																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
					0.057	0.059	0.061	0.065	0.070	0.081	0.083	0.087																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		下半					10	15	20	25	30	35																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
							0.026	0.028	0.033	0.035	0.039	0.046																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
坑内用普通ディーゼルダンプトラック10t積級	L ≤ 0.5km	0.5 < L ≤ 1.2km	1.2 < L ≤ 1.4km	1.4 < L ≤ 2.2km	2.2 < L ≤ 3.0km																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
		3台	4台	4台	5台	6台																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
掘削方法	岩区分	設計掘削断面積(m ²)										摘要																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		50	55	60	65	70	75	80	85	90	95																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
補助ベンチ付全断面工法	B	0.028	0.030	0.033	0.035	0.037	0.039	0.041	0.044	0.046	0.048																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	C I	0.029	0.029	0.030	0.032	0.033	0.036	0.037	0.039	0.039	0.041																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	C II	0.047	0.049	0.051	0.053	0.055	0.057	0.059	0.061	0.063	0.065																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
上下半交互併進工法	D I	上半			40	45	50	55	60	65	70	75	必要な断面積を上下半各々に計上する。																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
					0.056	0.058	0.061	0.063	0.066	0.068	0.071	0.073																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		下半					10	15	20	25	30	35																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
							0.022	0.022	0.024	0.024	0.026	0.028																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	D II	上半			40	45	50	55	60	65	70	75																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
					0.057	0.061	0.061	0.063	0.067	0.068	0.071	0.075																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		下半					10	15	20	25	30	35																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
							0.022	0.022	0.024	0.026	0.028	0.028																																																																																																																																																																																																																																																																																																						

土木工事標準歩掛の一部改定
トンネル工 (NATM) [発破工法]

工種名	現 行	改 定																																																																																																																																																																																																																																																														
	<p>② ダンプトラックの歩掛 ずり運搬用ダンプトラックの歩掛は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.10 ダンプトラック</p> <p style="text-align: right;">3台当り L≤0.5km 週/(トンネル延長)1m当り</p> <p>規格：坑内用普通ディーゼル10t積級</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘削方法</th> <th rowspan="2">岩区分</th> <th colspan="10">設計掘削断面積(m²)</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>50</th><th>55</th><th>60</th><th>65</th><th>70</th><th>75</th><th>80</th><th>85</th><th>90</th><th>95</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">補助ベンチ付全断面工法</td> <td>B</td> <td>0.085</td><td>0.091</td><td>0.098</td><td>0.104</td><td>0.111</td><td>0.117</td><td>0.144</td><td>0.150</td><td>0.157</td><td>0.163</td> <td rowspan="10">必要な断面積を上下半各々に計上する。</td> </tr> <tr> <td>C I</td> <td>0.104</td><td>0.111</td><td>0.117</td><td>0.124</td><td>0.131</td><td>0.137</td><td>0.144</td><td>0.150</td><td>0.157</td><td>0.163</td> </tr> <tr> <td>C II</td> <td>0.117</td><td>0.131</td><td>0.137</td><td>0.144</td><td>0.150</td><td>0.157</td><td>0.163</td><td>0.170</td><td>0.176</td><td>0.183</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">上下半交互併進工法</td> <td rowspan="2">D I</td> <td>上半</td> <td></td><td></td><td>40</td><td>45</td><td>50</td><td>55</td><td>60</td><td>65</td><td>70</td><td>75</td> </tr> <tr> <td>下半</td> <td></td><td></td><td>0.131</td><td>0.137</td><td>0.144</td><td>0.150</td><td>0.163</td><td>0.170</td><td>0.176</td><td>0.183</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">D II</td> <td>上半</td> <td></td><td></td><td>40</td><td>45</td><td>50</td><td>55</td><td>60</td><td>65</td><td>70</td><td>75</td> </tr> <tr> <td>下半</td> <td></td><td></td><td>0.131</td><td>0.137</td><td>0.144</td><td>0.150</td><td>0.163</td><td>0.170</td><td>0.176</td><td>0.189</td> </tr> <tr> <td>上半</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>10</td><td>15</td><td>20</td><td>25</td><td>30</td><td>35</td> </tr> <tr> <td>下半</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.072</td><td>0.078</td><td>0.085</td><td>0.098</td><td>0.111</td><td>0.117</td> </tr> </tbody> </table>	掘削方法	岩区分	設計掘削断面積(m ²)										摘要	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	補助ベンチ付全断面工法	B	0.085	0.091	0.098	0.104	0.111	0.117	0.144	0.150	0.157	0.163	必要な断面積を上下半各々に計上する。	C I	0.104	0.111	0.117	0.124	0.131	0.137	0.144	0.150	0.157	0.163	C II	0.117	0.131	0.137	0.144	0.150	0.157	0.163	0.170	0.176	0.183	上下半交互併進工法	D I	上半			40	45	50	55	60	65	70	75	下半			0.131	0.137	0.144	0.150	0.163	0.170	0.176	0.183	D II	上半			40	45	50	55	60	65	70	75	下半			0.131	0.137	0.144	0.150	0.163	0.170	0.176	0.189	上半					10	15	20	25	30	35	下半					0.072	0.078	0.085	0.098	0.111	0.117	<p>② ダンプトラックの歩掛 ずり運搬用ダンプトラックの歩掛は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.10 ダンプトラック</p> <p style="text-align: right;">3台当り L≤0.5km 週/(トンネル延長)1m当り</p> <p>規格：坑内用 普通・ディーゼル 10t積級</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘削方法</th> <th rowspan="2">岩区分</th> <th colspan="10">設計掘削断面積(m²)</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>50</th><th>55</th><th>60</th><th>65</th><th>70</th><th>75</th><th>80</th><th>85</th><th>90</th><th>95</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">補助ベンチ付全断面工法</td> <td>B</td> <td>0.085</td><td>0.091</td><td>0.098</td><td>0.104</td><td>0.111</td><td>0.117</td><td>0.144</td><td>0.150</td><td>0.157</td><td>0.163</td> <td rowspan="10">必要な断面積を上下半各々に計上する。</td> </tr> <tr> <td>C I</td> <td>0.087</td><td>0.087</td><td>0.090</td><td>0.096</td><td>0.099</td><td>0.108</td><td>0.111</td><td>0.117</td><td>0.117</td><td>0.123</td> </tr> <tr> <td>C II</td> <td>0.141</td><td>0.147</td><td>0.153</td><td>0.159</td><td>0.165</td><td>0.171</td><td>0.177</td><td>0.183</td><td>0.189</td><td>0.195</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">上下半交互併進工法</td> <td rowspan="2">D I</td> <td>上半</td> <td></td><td></td><td>40</td><td>45</td><td>50</td><td>55</td><td>60</td><td>65</td><td>70</td><td>75</td> </tr> <tr> <td>下半</td> <td></td><td></td><td>0.168</td><td>0.174</td><td>0.183</td><td>0.189</td><td>0.198</td><td>0.204</td><td>0.213</td><td>0.219</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">D II</td> <td>上半</td> <td></td><td></td><td>40</td><td>45</td><td>50</td><td>55</td><td>60</td><td>65</td><td>70</td><td>75</td> </tr> <tr> <td>下半</td> <td></td><td></td><td>0.171</td><td>0.183</td><td>0.183</td><td>0.189</td><td>0.201</td><td>0.204</td><td>0.213</td><td>0.225</td> </tr> <tr> <td>上半</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>10</td><td>15</td><td>20</td><td>25</td><td>30</td><td>35</td> </tr> <tr> <td>下半</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.066</td><td>0.066</td><td>0.072</td><td>0.078</td><td>0.084</td><td>0.084</td> </tr> </tbody> </table>	掘削方法	岩区分	設計掘削断面積(m ²)										摘要	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	補助ベンチ付全断面工法	B	0.085	0.091	0.098	0.104	0.111	0.117	0.144	0.150	0.157	0.163	必要な断面積を上下半各々に計上する。	C I	0.087	0.087	0.090	0.096	0.099	0.108	0.111	0.117	0.117	0.123	C II	0.141	0.147	0.153	0.159	0.165	0.171	0.177	0.183	0.189	0.195	上下半交互併進工法	D I	上半			40	45	50	55	60	65	70	75	下半			0.168	0.174	0.183	0.189	0.198	0.204	0.213	0.219	D II	上半			40	45	50	55	60	65	70	75	下半			0.171	0.183	0.183	0.189	0.201	0.204	0.213	0.225	上半					10	15	20	25	30	35	下半					0.066	0.066	0.072	0.078	0.084	0.084
掘削方法	岩区分			設計掘削断面積(m ²)											摘要																																																																																																																																																																																																																																																	
		50	55	60	65	70	75	80	85	90	95																																																																																																																																																																																																																																																					
補助ベンチ付全断面工法	B	0.085	0.091	0.098	0.104	0.111	0.117	0.144	0.150	0.157	0.163	必要な断面積を上下半各々に計上する。																																																																																																																																																																																																																																																				
	C I	0.104	0.111	0.117	0.124	0.131	0.137	0.144	0.150	0.157	0.163																																																																																																																																																																																																																																																					
	C II	0.117	0.131	0.137	0.144	0.150	0.157	0.163	0.170	0.176	0.183																																																																																																																																																																																																																																																					
上下半交互併進工法	D I	上半			40	45	50	55	60	65	70		75																																																																																																																																																																																																																																																			
		下半			0.131	0.137	0.144	0.150	0.163	0.170	0.176		0.183																																																																																																																																																																																																																																																			
	D II	上半			40	45	50	55	60	65	70		75																																																																																																																																																																																																																																																			
		下半			0.131	0.137	0.144	0.150	0.163	0.170	0.176		0.189																																																																																																																																																																																																																																																			
		上半					10	15	20	25	30		35																																																																																																																																																																																																																																																			
		下半					0.072	0.078	0.085	0.098	0.111		0.117																																																																																																																																																																																																																																																			
掘削方法	岩区分	設計掘削断面積(m ²)											摘要																																																																																																																																																																																																																																																			
		50	55	60	65	70	75	80	85	90	95																																																																																																																																																																																																																																																					
補助ベンチ付全断面工法	B	0.085	0.091	0.098	0.104	0.111	0.117	0.144	0.150	0.157	0.163	必要な断面積を上下半各々に計上する。																																																																																																																																																																																																																																																				
	C I	0.087	0.087	0.090	0.096	0.099	0.108	0.111	0.117	0.117	0.123																																																																																																																																																																																																																																																					
	C II	0.141	0.147	0.153	0.159	0.165	0.171	0.177	0.183	0.189	0.195																																																																																																																																																																																																																																																					
上下半交互併進工法	D I	上半			40	45	50	55	60	65	70		75																																																																																																																																																																																																																																																			
		下半			0.168	0.174	0.183	0.189	0.198	0.204	0.213		0.219																																																																																																																																																																																																																																																			
	D II	上半			40	45	50	55	60	65	70		75																																																																																																																																																																																																																																																			
		下半			0.171	0.183	0.183	0.189	0.201	0.204	0.213		0.225																																																																																																																																																																																																																																																			
		上半					10	15	20	25	30		35																																																																																																																																																																																																																																																			
		下半					0.066	0.066	0.072	0.078	0.084		0.084																																																																																																																																																																																																																																																			
	<p style="text-align: center;">表4.11 ダンプトラック</p> <p style="text-align: right;">4台当り 0.5<L≤1.2km 1.2<L≤1.4km 週/(トンネル延長)1m当り</p> <p>規格：坑内用普通ディーゼル10t積級</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘削方法</th> <th rowspan="2">岩区分</th> <th colspan="10">設計掘削断面積(m²)</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>50</th><th>55</th><th>60</th><th>65</th><th>70</th><th>75</th><th>80</th><th>85</th><th>90</th><th>95</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">補助ベンチ付全断面工法</td> <td>B</td> <td>0.113</td><td>0.122</td><td>0.131</td><td>0.139</td><td>0.148</td><td>0.157</td><td>0.191</td><td>0.200</td><td>0.209</td><td>0.218</td> <td rowspan="10">必要な断面積を上下半各々に計上する。</td> </tr> <tr> <td>C I</td> <td>0.139</td><td>0.148</td><td>0.157</td><td>0.165</td><td>0.174</td><td>0.183</td><td>0.191</td><td>0.200</td><td>0.209</td><td>0.218</td> </tr> <tr> <td>C II</td> <td>0.157</td><td>0.174</td><td>0.183</td><td>0.191</td><td>0.200</td><td>0.209</td><td>0.218</td><td>0.226</td><td>0.235</td><td>0.244</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">上下半交互併進工法</td> <td rowspan="2">D I</td> <td>上半</td> <td></td><td></td><td>40</td><td>45</td><td>50</td><td>55</td><td>60</td><td>65</td><td>70</td><td>75</td> </tr> <tr> <td>下半</td> <td></td><td></td><td>0.174</td><td>0.183</td><td>0.200</td><td>0.209</td><td>0.218</td><td>0.226</td><td>0.235</td><td>0.244</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">D II</td> <td>上半</td> <td></td><td></td><td>40</td><td>45</td><td>50</td><td>55</td><td>60</td><td>65</td><td>70</td><td>75</td> </tr> <tr> <td>下半</td> <td></td><td></td><td>0.174</td><td>0.183</td><td>0.191</td><td>0.200</td><td>0.218</td><td>0.226</td><td>0.235</td><td>0.252</td> </tr> <tr> <td>上半</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>10</td><td>15</td><td>20</td><td>25</td><td>30</td><td>35</td> </tr> <tr> <td>下半</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.096</td><td>0.104</td><td>0.113</td><td>0.131</td><td>0.148</td><td>0.157</td> </tr> </tbody> </table>	掘削方法	岩区分	設計掘削断面積(m ²)										摘要	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	補助ベンチ付全断面工法	B	0.113	0.122	0.131	0.139	0.148	0.157	0.191	0.200	0.209	0.218	必要な断面積を上下半各々に計上する。	C I	0.139	0.148	0.157	0.165	0.174	0.183	0.191	0.200	0.209	0.218	C II	0.157	0.174	0.183	0.191	0.200	0.209	0.218	0.226	0.235	0.244	上下半交互併進工法	D I	上半			40	45	50	55	60	65	70	75	下半			0.174	0.183	0.200	0.209	0.218	0.226	0.235	0.244	D II	上半			40	45	50	55	60	65	70	75	下半			0.174	0.183	0.191	0.200	0.218	0.226	0.235	0.252	上半					10	15	20	25	30	35	下半					0.096	0.104	0.113	0.131	0.148	0.157	<p style="text-align: center;">表4.11 ダンプトラック</p> <p style="text-align: right;">4台当り 0.5<L≤1.2km 1.2<L≤1.4km 週/(トンネル延長)1m当り</p> <p>規格：坑内用 普通・ディーゼル 10t積級</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘削方法</th> <th rowspan="2">岩区分</th> <th colspan="10">設計掘削断面積(m²)</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>50</th><th>55</th><th>60</th><th>65</th><th>70</th><th>75</th><th>80</th><th>85</th><th>90</th><th>95</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">補助ベンチ付全断面工法</td> <td>B</td> <td>0.113</td><td>0.122</td><td>0.131</td><td>0.139</td><td>0.148</td><td>0.157</td><td>0.191</td><td>0.200</td><td>0.209</td><td>0.218</td> <td rowspan="10">必要な断面積を上下半各々に計上する。</td> </tr> <tr> <td>C I</td> <td>0.116</td><td>0.116</td><td>0.120</td><td>0.128</td><td>0.132</td><td>0.144</td><td>0.148</td><td>0.156</td><td>0.156</td><td>0.164</td> </tr> <tr> <td>C II</td> <td>0.188</td><td>0.196</td><td>0.204</td><td>0.212</td><td>0.220</td><td>0.228</td><td>0.236</td><td>0.244</td><td>0.252</td><td>0.260</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">上下半交互併進工法</td> <td rowspan="2">D I</td> <td>上半</td> <td></td><td></td><td>40</td><td>45</td><td>50</td><td>55</td><td>60</td><td>65</td><td>70</td><td>75</td> </tr> <tr> <td>下半</td> <td></td><td></td><td>0.224</td><td>0.232</td><td>0.244</td><td>0.252</td><td>0.264</td><td>0.272</td><td>0.284</td><td>0.292</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">D II</td> <td>上半</td> <td></td><td></td><td>40</td><td>45</td><td>50</td><td>55</td><td>60</td><td>65</td><td>70</td><td>75</td> </tr> <tr> <td>下半</td> <td></td><td></td><td>0.228</td><td>0.244</td><td>0.244</td><td>0.252</td><td>0.268</td><td>0.272</td><td>0.284</td><td>0.300</td> </tr> <tr> <td>上半</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>10</td><td>15</td><td>20</td><td>25</td><td>30</td><td>35</td> </tr> <tr> <td>下半</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.088</td><td>0.088</td><td>0.096</td><td>0.104</td><td>0.112</td><td>0.112</td> </tr> </tbody> </table>	掘削方法	岩区分	設計掘削断面積(m ²)										摘要	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	補助ベンチ付全断面工法	B	0.113	0.122	0.131	0.139	0.148	0.157	0.191	0.200	0.209	0.218	必要な断面積を上下半各々に計上する。	C I	0.116	0.116	0.120	0.128	0.132	0.144	0.148	0.156	0.156	0.164	C II	0.188	0.196	0.204	0.212	0.220	0.228	0.236	0.244	0.252	0.260	上下半交互併進工法	D I	上半			40	45	50	55	60	65	70	75	下半			0.224	0.232	0.244	0.252	0.264	0.272	0.284	0.292	D II	上半			40	45	50	55	60	65	70	75	下半			0.228	0.244	0.244	0.252	0.268	0.272	0.284	0.300	上半					10	15	20	25	30	35	下半					0.088	0.088	0.096	0.104	0.112	0.112
掘削方法	岩区分			設計掘削断面積(m ²)											摘要																																																																																																																																																																																																																																																	
		50	55	60	65	70	75	80	85	90	95																																																																																																																																																																																																																																																					
補助ベンチ付全断面工法	B	0.113	0.122	0.131	0.139	0.148	0.157	0.191	0.200	0.209	0.218	必要な断面積を上下半各々に計上する。																																																																																																																																																																																																																																																				
	C I	0.139	0.148	0.157	0.165	0.174	0.183	0.191	0.200	0.209	0.218																																																																																																																																																																																																																																																					
	C II	0.157	0.174	0.183	0.191	0.200	0.209	0.218	0.226	0.235	0.244																																																																																																																																																																																																																																																					
上下半交互併進工法	D I	上半			40	45	50	55	60	65	70		75																																																																																																																																																																																																																																																			
		下半			0.174	0.183	0.200	0.209	0.218	0.226	0.235		0.244																																																																																																																																																																																																																																																			
	D II	上半			40	45	50	55	60	65	70		75																																																																																																																																																																																																																																																			
		下半			0.174	0.183	0.191	0.200	0.218	0.226	0.235		0.252																																																																																																																																																																																																																																																			
		上半					10	15	20	25	30		35																																																																																																																																																																																																																																																			
		下半					0.096	0.104	0.113	0.131	0.148		0.157																																																																																																																																																																																																																																																			
掘削方法	岩区分	設計掘削断面積(m ²)											摘要																																																																																																																																																																																																																																																			
		50	55	60	65	70	75	80	85	90	95																																																																																																																																																																																																																																																					
補助ベンチ付全断面工法	B	0.113	0.122	0.131	0.139	0.148	0.157	0.191	0.200	0.209	0.218	必要な断面積を上下半各々に計上する。																																																																																																																																																																																																																																																				
	C I	0.116	0.116	0.120	0.128	0.132	0.144	0.148	0.156	0.156	0.164																																																																																																																																																																																																																																																					
	C II	0.188	0.196	0.204	0.212	0.220	0.228	0.236	0.244	0.252	0.260																																																																																																																																																																																																																																																					
上下半交互併進工法	D I	上半			40	45	50	55	60	65	70		75																																																																																																																																																																																																																																																			
		下半			0.224	0.232	0.244	0.252	0.264	0.272	0.284		0.292																																																																																																																																																																																																																																																			
	D II	上半			40	45	50	55	60	65	70		75																																																																																																																																																																																																																																																			
		下半			0.228	0.244	0.244	0.252	0.268	0.272	0.284		0.300																																																																																																																																																																																																																																																			
		上半					10	15	20	25	30		35																																																																																																																																																																																																																																																			
		下半					0.088	0.088	0.096	0.104	0.112		0.112																																																																																																																																																																																																																																																			

土木工事標準歩掛の一部改定
トンネル工 (NATM) [発破工法]

工種名	現 行	改 定																																																																																																																																																																																																																					
	<p>表4.12 ダンプトラック</p> <p>5台当り 規格：坑内用普通ディーゼル10t 積級 1.4<L≤2.2km 週/(トンネル延長)1m当り</p>	<p>表4.12 ダンプトラック</p> <p>5台当り 規格：坑内用 普通・ディーゼル 10t 積級 1.4<L≤2.2km 週/(トンネル延長)1m当り</p>																																																																																																																																																																																																																					
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘削方法</th> <th rowspan="2">岩区分</th> <th colspan="10">設計掘削断面積(m²)</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>50</th><th>55</th><th>60</th><th>65</th><th>70</th><th>75</th><th>80</th><th>85</th><th>90</th><th>95</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">補助ベンチ付全断面工法</td> <td>B</td> <td>0.141</td><td>0.152</td><td>0.163</td><td>0.174</td><td>0.185</td><td>0.196</td><td>0.239</td><td>0.250</td><td>0.261</td><td>0.272</td> <td rowspan="6">必要な断面積を上下半各々に計上する。</td> </tr> <tr> <td>C I</td> <td>0.174</td><td>0.185</td><td>0.196</td><td>0.207</td><td>0.218</td><td>0.228</td><td>0.239</td><td>0.250</td><td>0.261</td><td>0.272</td> </tr> <tr> <td>C II</td> <td>0.196</td><td>0.218</td><td>0.228</td><td>0.239</td><td>0.250</td><td>0.261</td><td>0.272</td><td>0.283</td><td>0.294</td><td>0.305</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">上下半交互併進工法</td> <td rowspan="2">D I</td> <td>上半</td> <td></td><td></td><td>40</td><td>45</td><td>50</td><td>55</td><td>60</td><td>65</td><td>70</td><td>75</td> </tr> <tr> <td>下半</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.109</td><td>0.120</td><td>0.141</td><td>0.152</td><td>0.174</td><td>0.218</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">D II</td> <td>上半</td> <td></td><td></td><td>40</td><td>45</td><td>50</td><td>55</td><td>60</td><td>65</td><td>70</td><td>75</td> </tr> <tr> <td>下半</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.120</td><td>0.131</td><td>0.141</td><td>0.163</td><td>0.185</td><td>0.196</td> </tr> </tbody> </table>	掘削方法	岩区分	設計掘削断面積(m ²)										摘要	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	補助ベンチ付全断面工法	B	0.141	0.152	0.163	0.174	0.185	0.196	0.239	0.250	0.261	0.272	必要な断面積を上下半各々に計上する。	C I	0.174	0.185	0.196	0.207	0.218	0.228	0.239	0.250	0.261	0.272	C II	0.196	0.218	0.228	0.239	0.250	0.261	0.272	0.283	0.294	0.305	上下半交互併進工法	D I	上半			40	45	50	55	60	65	70	75	下半					0.109	0.120	0.141	0.152	0.174	0.218	D II	上半			40	45	50	55	60	65	70	75	下半					0.120	0.131	0.141	0.163	0.185	0.196	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘削方法</th> <th rowspan="2">岩区分</th> <th colspan="10">設計掘削断面積(m²)</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>50</th><th>55</th><th>60</th><th>65</th><th>70</th><th>75</th><th>80</th><th>85</th><th>90</th><th>95</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">補助ベンチ付全断面工法</td> <td>B</td> <td>0.141</td><td>0.152</td><td>0.163</td><td>0.174</td><td>0.185</td><td>0.196</td><td>0.239</td><td>0.250</td><td>0.261</td><td>0.272</td> <td rowspan="6">必要な断面積を上下半各々に計上する。</td> </tr> <tr> <td>C I</td> <td>0.145</td><td>0.145</td><td>0.150</td><td>0.160</td><td>0.165</td><td>0.180</td><td>0.185</td><td>0.195</td><td>0.195</td><td>0.205</td> </tr> <tr> <td>C II</td> <td>0.235</td><td>0.245</td><td>0.255</td><td>0.265</td><td>0.275</td><td>0.285</td><td>0.295</td><td>0.305</td><td>0.315</td><td>0.325</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">上下半交互併進工法</td> <td rowspan="2">D I</td> <td>上半</td> <td></td><td></td><td>40</td><td>45</td><td>50</td><td>55</td><td>60</td><td>65</td><td>70</td><td>75</td> </tr> <tr> <td>下半</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.280</td><td>0.290</td><td>0.305</td><td>0.315</td><td>0.330</td><td>0.340</td><td>0.355</td><td>0.365</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">D II</td> <td>上半</td> <td></td><td></td><td>40</td><td>45</td><td>50</td><td>55</td><td>60</td><td>65</td><td>70</td><td>75</td> </tr> <tr> <td>下半</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.110</td><td>0.110</td><td>0.120</td><td>0.120</td><td>0.130</td><td>0.140</td><td>0.140</td> </tr> </tbody> </table>	掘削方法	岩区分	設計掘削断面積(m ²)										摘要	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	補助ベンチ付全断面工法	B	0.141	0.152	0.163	0.174	0.185	0.196	0.239	0.250	0.261	0.272	必要な断面積を上下半各々に計上する。	C I	0.145	0.145	0.150	0.160	0.165	0.180	0.185	0.195	0.195	0.205	C II	0.235	0.245	0.255	0.265	0.275	0.285	0.295	0.305	0.315	0.325	上下半交互併進工法	D I	上半			40	45	50	55	60	65	70	75	下半					0.280	0.290	0.305	0.315	0.330	0.340	0.355	0.365	D II	上半			40	45	50	55	60	65	70	75	下半					0.110	0.110	0.120	0.120	0.130	0.140	0.140
掘削方法	岩区分			設計掘削断面積(m ²)											摘要																																																																																																																																																																																																								
		50	55	60	65	70	75	80	85	90	95																																																																																																																																																																																																												
補助ベンチ付全断面工法	B	0.141	0.152	0.163	0.174	0.185	0.196	0.239	0.250	0.261	0.272	必要な断面積を上下半各々に計上する。																																																																																																																																																																																																											
	C I	0.174	0.185	0.196	0.207	0.218	0.228	0.239	0.250	0.261	0.272																																																																																																																																																																																																												
	C II	0.196	0.218	0.228	0.239	0.250	0.261	0.272	0.283	0.294	0.305																																																																																																																																																																																																												
上下半交互併進工法	D I	上半			40	45	50	55	60	65	70		75																																																																																																																																																																																																										
		下半					0.109	0.120	0.141	0.152	0.174		0.218																																																																																																																																																																																																										
	D II	上半			40	45	50	55	60	65	70		75																																																																																																																																																																																																										
		下半					0.120	0.131	0.141	0.163	0.185	0.196																																																																																																																																																																																																											
掘削方法	岩区分	設計掘削断面積(m ²)										摘要																																																																																																																																																																																																											
		50	55	60	65	70	75	80	85	90	95																																																																																																																																																																																																												
補助ベンチ付全断面工法	B	0.141	0.152	0.163	0.174	0.185	0.196	0.239	0.250	0.261	0.272	必要な断面積を上下半各々に計上する。																																																																																																																																																																																																											
	C I	0.145	0.145	0.150	0.160	0.165	0.180	0.185	0.195	0.195	0.205																																																																																																																																																																																																												
	C II	0.235	0.245	0.255	0.265	0.275	0.285	0.295	0.305	0.315	0.325																																																																																																																																																																																																												
上下半交互併進工法	D I	上半			40	45	50	55	60	65	70		75																																																																																																																																																																																																										
		下半					0.280	0.290	0.305	0.315	0.330		0.340	0.355	0.365																																																																																																																																																																																																								
	D II	上半			40	45	50	55	60	65	70		75																																																																																																																																																																																																										
		下半					0.110	0.110	0.120	0.120	0.130	0.140	0.140																																																																																																																																																																																																										
	<p>表4.13 ダンプトラック</p> <p>6台当り 規格：坑内用普通ディーゼル10t 積級 2.2<L≤3.0km 週/(トンネル延長)1m当り</p>	<p>表4.13 ダンプトラック</p> <p>6台当り 規格：坑内用 普通・ディーゼル 10t 積級 2.2<L≤3.0km 週/(トンネル延長)1m当り</p>																																																																																																																																																																																																																					
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘削方法</th> <th rowspan="2">岩区分</th> <th colspan="10">設計掘削断面積(m²)</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>50</th><th>55</th><th>60</th><th>65</th><th>70</th><th>75</th><th>80</th><th>85</th><th>90</th><th>95</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">補助ベンチ付全断面工法</td> <td>B</td> <td>0.170</td><td>0.183</td><td>0.196</td><td>0.209</td><td>0.222</td><td>0.235</td><td>0.287</td><td>0.300</td><td>0.313</td><td>0.326</td> <td rowspan="6">必要な断面積を上下半各々に計上する。</td> </tr> <tr> <td>C I</td> <td>0.209</td><td>0.222</td><td>0.235</td><td>0.248</td><td>0.261</td><td>0.274</td><td>0.287</td><td>0.300</td><td>0.313</td><td>0.326</td> </tr> <tr> <td>C II</td> <td>0.235</td><td>0.261</td><td>0.274</td><td>0.287</td><td>0.300</td><td>0.313</td><td>0.326</td><td>0.339</td><td>0.352</td><td>0.366</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">上下半交互併進工法</td> <td rowspan="2">D I</td> <td>上半</td> <td></td><td></td><td>40</td><td>45</td><td>50</td><td>55</td><td>60</td><td>65</td><td>70</td><td>75</td> </tr> <tr> <td>下半</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.131</td><td>0.144</td><td>0.170</td><td>0.183</td><td>0.209</td><td>0.261</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">D II</td> <td>上半</td> <td></td><td></td><td>40</td><td>45</td><td>50</td><td>55</td><td>60</td><td>65</td><td>70</td><td>75</td> </tr> <tr> <td>下半</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.144</td><td>0.157</td><td>0.170</td><td>0.196</td><td>0.222</td><td>0.235</td> </tr> </tbody> </table>	掘削方法	岩区分	設計掘削断面積(m ²)										摘要	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	補助ベンチ付全断面工法	B	0.170	0.183	0.196	0.209	0.222	0.235	0.287	0.300	0.313	0.326	必要な断面積を上下半各々に計上する。	C I	0.209	0.222	0.235	0.248	0.261	0.274	0.287	0.300	0.313	0.326	C II	0.235	0.261	0.274	0.287	0.300	0.313	0.326	0.339	0.352	0.366	上下半交互併進工法	D I	上半			40	45	50	55	60	65	70	75	下半					0.131	0.144	0.170	0.183	0.209	0.261	D II	上半			40	45	50	55	60	65	70	75	下半					0.144	0.157	0.170	0.196	0.222	0.235	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘削方法</th> <th rowspan="2">岩区分</th> <th colspan="10">設計掘削断面積(m²)</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>50</th><th>55</th><th>60</th><th>65</th><th>70</th><th>75</th><th>80</th><th>85</th><th>90</th><th>95</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">補助ベンチ付全断面工法</td> <td>B</td> <td>0.170</td><td>0.183</td><td>0.196</td><td>0.209</td><td>0.222</td><td>0.235</td><td>0.287</td><td>0.300</td><td>0.313</td><td>0.326</td> <td rowspan="6">必要な断面積を上下半各々に計上する。</td> </tr> <tr> <td>C I</td> <td>0.174</td><td>0.174</td><td>0.180</td><td>0.192</td><td>0.198</td><td>0.216</td><td>0.222</td><td>0.234</td><td>0.234</td><td>0.246</td> </tr> <tr> <td>C II</td> <td>0.282</td><td>0.294</td><td>0.306</td><td>0.318</td><td>0.330</td><td>0.342</td><td>0.354</td><td>0.366</td><td>0.378</td><td>0.390</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">上下半交互併進工法</td> <td rowspan="2">D I</td> <td>上半</td> <td></td><td></td><td>40</td><td>45</td><td>50</td><td>55</td><td>60</td><td>65</td><td>70</td><td>75</td> </tr> <tr> <td>下半</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.336</td><td>0.348</td><td>0.366</td><td>0.378</td><td>0.396</td><td>0.408</td><td>0.426</td><td>0.438</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">D II</td> <td>上半</td> <td></td><td></td><td>40</td><td>45</td><td>50</td><td>55</td><td>60</td><td>65</td><td>70</td><td>75</td> </tr> <tr> <td>下半</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.132</td><td>0.132</td><td>0.144</td><td>0.144</td><td>0.156</td><td>0.168</td><td>0.168</td> </tr> </tbody> </table>	掘削方法	岩区分	設計掘削断面積(m ²)										摘要	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	補助ベンチ付全断面工法	B	0.170	0.183	0.196	0.209	0.222	0.235	0.287	0.300	0.313	0.326	必要な断面積を上下半各々に計上する。	C I	0.174	0.174	0.180	0.192	0.198	0.216	0.222	0.234	0.234	0.246	C II	0.282	0.294	0.306	0.318	0.330	0.342	0.354	0.366	0.378	0.390	上下半交互併進工法	D I	上半			40	45	50	55	60	65	70	75	下半					0.336	0.348	0.366	0.378	0.396	0.408	0.426	0.438	D II	上半			40	45	50	55	60	65	70	75	下半					0.132	0.132	0.144	0.144	0.156	0.168	0.168
掘削方法	岩区分			設計掘削断面積(m ²)											摘要																																																																																																																																																																																																								
		50	55	60	65	70	75	80	85	90	95																																																																																																																																																																																																												
補助ベンチ付全断面工法	B	0.170	0.183	0.196	0.209	0.222	0.235	0.287	0.300	0.313	0.326	必要な断面積を上下半各々に計上する。																																																																																																																																																																																																											
	C I	0.209	0.222	0.235	0.248	0.261	0.274	0.287	0.300	0.313	0.326																																																																																																																																																																																																												
	C II	0.235	0.261	0.274	0.287	0.300	0.313	0.326	0.339	0.352	0.366																																																																																																																																																																																																												
上下半交互併進工法	D I	上半			40	45	50	55	60	65	70		75																																																																																																																																																																																																										
		下半					0.131	0.144	0.170	0.183	0.209		0.261																																																																																																																																																																																																										
	D II	上半			40	45	50	55	60	65	70		75																																																																																																																																																																																																										
		下半					0.144	0.157	0.170	0.196	0.222	0.235																																																																																																																																																																																																											
掘削方法	岩区分	設計掘削断面積(m ²)										摘要																																																																																																																																																																																																											
		50	55	60	65	70	75	80	85	90	95																																																																																																																																																																																																												
補助ベンチ付全断面工法	B	0.170	0.183	0.196	0.209	0.222	0.235	0.287	0.300	0.313	0.326	必要な断面積を上下半各々に計上する。																																																																																																																																																																																																											
	C I	0.174	0.174	0.180	0.192	0.198	0.216	0.222	0.234	0.234	0.246																																																																																																																																																																																																												
	C II	0.282	0.294	0.306	0.318	0.330	0.342	0.354	0.366	0.378	0.390																																																																																																																																																																																																												
上下半交互併進工法	D I	上半			40	45	50	55	60	65	70		75																																																																																																																																																																																																										
		下半					0.336	0.348	0.366	0.378	0.396		0.408	0.426	0.438																																																																																																																																																																																																								
	D II	上半			40	45	50	55	60	65	70		75																																																																																																																																																																																																										
		下半					0.132	0.132	0.144	0.144	0.156	0.168	0.168																																																																																																																																																																																																										

土木工事標準歩掛の一部改定
トンネル工 (NATM) [発破工法]

工種名	現 行	改 定																																																																																																																																																																																																																																										
	<p>4-1-3 その他 (1) 明り作業の掘削 明り作業の掘削は、「第2章土工②機械土工(土砂)及び③機械土工(岩石)」による。</p> <p>4-2 支保工 4-2-1 コンクリート吹付工 (1) 吹付工法 吹付工法は、湿式工法を標準とする。 (2) 吹付コンクリート量 掘削1m当り吹付コンクリート量は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.14 吹付コンクリート</p> <p style="text-align: right;">m³/(トンネル延長)1m当り</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘削方法</th> <th rowspan="2">岩区分</th> <th colspan="10">設計掘削断面積(m²)</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>50</th><th>55</th><th>60</th><th>65</th><th>70</th><th>75</th><th>80</th><th>85</th><th>90</th><th>95</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">補助ベンチ付全断面工法</td> <td>B</td> <td>2.18</td><td>2.26</td><td>2.35</td><td>2.44</td><td>2.53</td><td>2.61</td><td>2.70</td><td>2.79</td><td>2.87</td><td>2.96</td> <td rowspan="10">必要な断面積を上下半各々に計上する。</td> </tr> <tr> <td>C I</td> <td>3.58</td><td>3.73</td><td>3.87</td><td>4.02</td><td>4.16</td><td>4.31</td><td>4.45</td><td>4.60</td><td>4.74</td><td>4.88</td> </tr> <tr> <td>C II</td> <td>4.22</td><td>4.38</td><td>4.53</td><td>4.68</td><td>4.84</td><td>4.99</td><td>5.14</td><td>5.30</td><td>5.45</td><td>5.61</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">上下半交互併進工法</td> <td rowspan="2">D I</td> <td>上半</td> <td></td><td></td><td>40</td><td>45</td><td>50</td><td>55</td><td>60</td><td>65</td><td>70</td><td>75</td> </tr> <tr> <td>下半</td> <td></td><td></td><td>4.91</td><td>5.19</td><td>5.47</td><td>5.74</td><td>6.02</td><td>6.29</td><td>6.57</td><td>6.84</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">D II</td> <td>上半</td> <td></td><td></td><td>40</td><td>45</td><td>50</td><td>55</td><td>60</td><td>65</td><td>70</td><td>75</td> </tr> <tr> <td>下半</td> <td></td><td></td><td>5.93</td><td>6.26</td><td>6.59</td><td>6.92</td><td>7.26</td><td>7.59</td><td>7.92</td><td>8.25</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.70</td><td>0.92</td><td>1.15</td><td>1.37</td><td>1.59</td><td>1.81</td> </tr> </tbody> </table>	掘削方法	岩区分	設計掘削断面積(m ²)										摘要	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	補助ベンチ付全断面工法	B	2.18	2.26	2.35	2.44	2.53	2.61	2.70	2.79	2.87	2.96	必要な断面積を上下半各々に計上する。	C I	3.58	3.73	3.87	4.02	4.16	4.31	4.45	4.60	4.74	4.88	C II	4.22	4.38	4.53	4.68	4.84	4.99	5.14	5.30	5.45	5.61	上下半交互併進工法	D I	上半			40	45	50	55	60	65	70	75	下半			4.91	5.19	5.47	5.74	6.02	6.29	6.57	6.84	D II	上半			40	45	50	55	60	65	70	75	下半			5.93	6.26	6.59	6.92	7.26	7.59	7.92	8.25							0.70	0.92	1.15	1.37	1.59	1.81	<p>4-1-3 その他 (1) 明り作業の掘削 明り作業の掘削は、「第2章土工②機械土工(土砂)及び③機械土工(岩石)」による。</p> <p>4-2 支保工 4-2-1 コンクリート吹付工 (1) 吹付工法 吹付工法は、湿式工法を標準とする。 (2) 吹付コンクリート量 掘削1m当り吹付コンクリート量 (ロス含む) は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.14 吹付コンクリート</p> <p style="text-align: right;">m³/(トンネル延長)1m当り</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘削方法</th> <th rowspan="2">岩区分</th> <th colspan="10">設計掘削断面積(m²)</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>50</th><th>55</th><th>60</th><th>65</th><th>70</th><th>75</th><th>80</th><th>85</th><th>90</th><th>95</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">補助ベンチ付全断面工法</td> <td>B</td> <td>2.18</td><td>2.26</td><td>2.35</td><td>2.44</td><td>2.53</td><td>2.61</td><td>2.70</td><td>2.79</td><td>2.87</td><td>2.96</td> <td rowspan="10">必要な断面積を上下半各々に計上する。</td> </tr> <tr> <td>C I</td> <td>3.58</td><td>3.73</td><td>3.87</td><td>4.02</td><td>4.16</td><td>4.31</td><td>4.45</td><td>4.60</td><td>4.74</td><td>4.88</td> </tr> <tr> <td>C II</td> <td>4.22</td><td>4.38</td><td>4.53</td><td>4.68</td><td>4.84</td><td>4.99</td><td>5.14</td><td>5.30</td><td>5.45</td><td>5.61</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">上下半交互併進工法</td> <td rowspan="2">D I</td> <td>上半</td> <td></td><td></td><td>40</td><td>45</td><td>50</td><td>55</td><td>60</td><td>65</td><td>70</td><td>75</td> </tr> <tr> <td>下半</td> <td></td><td></td><td>4.91</td><td>5.19</td><td>5.47</td><td>5.74</td><td>6.02</td><td>6.29</td><td>6.57</td><td>6.84</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">D II</td> <td>上半</td> <td></td><td></td><td>40</td><td>45</td><td>50</td><td>55</td><td>60</td><td>65</td><td>70</td><td>75</td> </tr> <tr> <td>下半</td> <td></td><td></td><td>5.93</td><td>6.26</td><td>6.59</td><td>6.92</td><td>7.26</td><td>7.59</td><td>7.92</td><td>8.25</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.70</td><td>0.92</td><td>1.15</td><td>1.37</td><td>1.59</td><td>1.81</td> </tr> </tbody> </table>	掘削方法	岩区分	設計掘削断面積(m ²)										摘要	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	補助ベンチ付全断面工法	B	2.18	2.26	2.35	2.44	2.53	2.61	2.70	2.79	2.87	2.96	必要な断面積を上下半各々に計上する。	C I	3.58	3.73	3.87	4.02	4.16	4.31	4.45	4.60	4.74	4.88	C II	4.22	4.38	4.53	4.68	4.84	4.99	5.14	5.30	5.45	5.61	上下半交互併進工法	D I	上半			40	45	50	55	60	65	70	75	下半			4.91	5.19	5.47	5.74	6.02	6.29	6.57	6.84	D II	上半			40	45	50	55	60	65	70	75	下半			5.93	6.26	6.59	6.92	7.26	7.59	7.92	8.25							0.70	0.92	1.15	1.37	1.59	1.81
掘削方法	岩区分			設計掘削断面積(m ²)											摘要																																																																																																																																																																																																																													
		50	55	60	65	70	75	80	85	90	95																																																																																																																																																																																																																																	
補助ベンチ付全断面工法	B	2.18	2.26	2.35	2.44	2.53	2.61	2.70	2.79	2.87	2.96	必要な断面積を上下半各々に計上する。																																																																																																																																																																																																																																
	C I	3.58	3.73	3.87	4.02	4.16	4.31	4.45	4.60	4.74	4.88																																																																																																																																																																																																																																	
	C II	4.22	4.38	4.53	4.68	4.84	4.99	5.14	5.30	5.45	5.61																																																																																																																																																																																																																																	
上下半交互併進工法	D I	上半			40	45	50	55	60	65	70		75																																																																																																																																																																																																																															
		下半			4.91	5.19	5.47	5.74	6.02	6.29	6.57		6.84																																																																																																																																																																																																																															
	D II	上半			40	45	50	55	60	65	70		75																																																																																																																																																																																																																															
		下半			5.93	6.26	6.59	6.92	7.26	7.59	7.92		8.25																																																																																																																																																																																																																															
						0.70	0.92	1.15	1.37	1.59	1.81																																																																																																																																																																																																																																	
掘削方法	岩区分	設計掘削断面積(m ²)											摘要																																																																																																																																																																																																																															
		50	55	60	65	70	75	80	85	90	95																																																																																																																																																																																																																																	
補助ベンチ付全断面工法	B	2.18	2.26	2.35	2.44	2.53	2.61	2.70	2.79	2.87	2.96	必要な断面積を上下半各々に計上する。																																																																																																																																																																																																																																
	C I	3.58	3.73	3.87	4.02	4.16	4.31	4.45	4.60	4.74	4.88																																																																																																																																																																																																																																	
	C II	4.22	4.38	4.53	4.68	4.84	4.99	5.14	5.30	5.45	5.61																																																																																																																																																																																																																																	
上下半交互併進工法	D I	上半			40	45	50	55	60	65	70		75																																																																																																																																																																																																																															
		下半			4.91	5.19	5.47	5.74	6.02	6.29	6.57		6.84																																																																																																																																																																																																																															
	D II	上半			40	45	50	55	60	65	70		75																																																																																																																																																																																																																															
		下半			5.93	6.26	6.59	6.92	7.26	7.59	7.92		8.25																																																																																																																																																																																																																															
						0.70	0.92	1.15	1.37	1.59	1.81																																																																																																																																																																																																																																	
	<p>(3) 設計吹付厚及びロス率 設計吹付厚及びロス率は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.15 設計吹付厚及びロス率</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>加背名</th> <th>掘削区分</th> <th>設計吹付厚(cm)</th> <th>余吹厚(cm)</th> <th>はね返り率</th> <th>ロス率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">上下半</td> <td>B</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>25%</td> <td>2.4</td> </tr> <tr> <td>C I</td> <td>10</td> <td>5</td> <td>25%</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>C II</td> <td>10</td> <td>7</td> <td>25%</td> <td>2.3</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">上半</td> <td>D I</td> <td>15</td> <td>7</td> <td>30%</td> <td>2.1</td> </tr> <tr> <td>D II</td> <td>20</td> <td>7</td> <td>30%</td> <td>1.9</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">下半</td> <td>D I</td> <td>15</td> <td>7</td> <td>20%</td> <td>1.8</td> </tr> <tr> <td>D II</td> <td>20</td> <td>7</td> <td>20%</td> <td>1.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. ロス率には、材料ロス、はねかえり損失、余吹等によるロスを含む。 2. 坑口部、大断面等で標準と異なる場合のロス率については、次式によるものとする。 ロス率(K) = (設計吹付厚 + 余吹厚) / (設計吹付厚 × (1 - はね返り率))</p>	加背名	掘削区分	設計吹付厚(cm)	余吹厚(cm)	はね返り率	ロス率	上下半	B	5	4		25%	2.4	C I	10	5	25%	2.0	C II	10	7	25%	2.3	上半	D I	15	7	30%	2.1	D II	20	7	30%	1.9	下半	D I	15	7	20%	1.8	D II	20	7	20%	1.7	<p>(3) 設計吹付厚及びロス率 設計吹付厚及びロス率は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.15 設計吹付厚及びロス率</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>加背名</th> <th>掘削区分</th> <th>設計吹付厚(cm)</th> <th>余吹厚(cm)</th> <th>はね返り率</th> <th>ロス率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">上下半</td> <td>B</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>25%</td> <td>2.4</td> </tr> <tr> <td>C I</td> <td>10</td> <td>5</td> <td>25%</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>C II</td> <td>10</td> <td>7</td> <td>25%</td> <td>2.3</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">上半</td> <td>D I</td> <td>15</td> <td>7</td> <td>30%</td> <td>2.1</td> </tr> <tr> <td>D II</td> <td>20</td> <td>7</td> <td>30%</td> <td>1.9</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">下半</td> <td>D I</td> <td>15</td> <td>7</td> <td>20%</td> <td>1.8</td> </tr> <tr> <td>D II</td> <td>20</td> <td>7</td> <td>20%</td> <td>1.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. ロス率には、材料ロス、はねかえり損失、余吹等によるロスを含む。 2. 坑口部、大断面等で標準と異なる場合のロス率については、次式によるものとする。 ロス率(K) = (設計吹付厚 + 余吹厚) / (設計吹付厚 × (1 - はね返り率))</p>	加背名	掘削区分	設計吹付厚(cm)	余吹厚(cm)	はね返り率	ロス率	上下半	B	5	4	25%	2.4	C I	10	5	25%	2.0	C II	10	7	25%	2.3	上半	D I	15	7	30%	2.1	D II	20	7	30%	1.9	下半	D I	15	7	20%	1.8	D II	20	7	20%	1.7																																																																																																																																																	
加背名	掘削区分	設計吹付厚(cm)	余吹厚(cm)	はね返り率	ロス率																																																																																																																																																																																																																																							
上下半	B	5	4	25%	2.4																																																																																																																																																																																																																																							
	C I	10	5	25%	2.0																																																																																																																																																																																																																																							
	C II	10	7	25%	2.3																																																																																																																																																																																																																																							
上半	D I	15	7	30%	2.1																																																																																																																																																																																																																																							
	D II	20	7	30%	1.9																																																																																																																																																																																																																																							
下半	D I	15	7	20%	1.8																																																																																																																																																																																																																																							
	D II	20	7	20%	1.7																																																																																																																																																																																																																																							
加背名	掘削区分	設計吹付厚(cm)	余吹厚(cm)	はね返り率	ロス率																																																																																																																																																																																																																																							
上下半	B	5	4	25%	2.4																																																																																																																																																																																																																																							
	C I	10	5	25%	2.0																																																																																																																																																																																																																																							
	C II	10	7	25%	2.3																																																																																																																																																																																																																																							
上半	D I	15	7	30%	2.1																																																																																																																																																																																																																																							
	D II	20	7	30%	1.9																																																																																																																																																																																																																																							
下半	D I	15	7	20%	1.8																																																																																																																																																																																																																																							
	D II	20	7	20%	1.7																																																																																																																																																																																																																																							

土木工事標準歩掛の一部改定 トンネル工（NATM）【発破工法】

工種名	現 行	改 定																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	<p>(4) コンクリート吹付機の運転時間 掘削1m当りのコンクリート吹付機運転時間は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.16 コンクリート吹付機</p> <p>規格：トンネル工用 排出ガス対策型 湿式ホイール型 吹付半径7m級吐出量6~20m³級 週/(トンネル延長)1m当り</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘削方法</th> <th rowspan="2">岩区分</th> <th colspan="10">設計掘削断面積(m²)</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>50</th><th>55</th><th>60</th><th>65</th><th>70</th><th>75</th><th>80</th><th>85</th><th>90</th><th>95</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">補助ベンチ付全断面工法</td> <td>B</td> <td>0.017</td><td>0.020</td><td>0.020</td><td>0.022</td><td>0.022</td><td>0.022</td><td>0.024</td><td>0.024</td><td>0.026</td><td>0.028</td> <td rowspan="10">必要な断面積を上下半各々に計上する。</td> </tr> <tr> <td>C I</td> <td>0.026</td><td>0.028</td><td>0.028</td><td>0.030</td><td>0.030</td><td>0.033</td><td>0.033</td><td>0.035</td><td>0.037</td><td>0.037</td> </tr> <tr> <td>C II</td> <td>0.035</td><td>0.037</td><td>0.039</td><td>0.039</td><td>0.041</td><td>0.044</td><td>0.044</td><td>0.046</td><td>0.046</td><td>0.048</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">D I</td> <td rowspan="2">上半</td> <td></td><td></td><td>40</td><td>45</td><td>50</td><td>55</td><td>60</td><td>65</td><td>70</td><td>75</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td>0.044</td><td>0.046</td><td>0.048</td><td>0.050</td><td>0.052</td><td>0.054</td><td>0.054</td><td>0.057</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">下半</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>10</td><td>15</td><td>20</td><td>25</td><td>30</td><td>35</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.022</td><td>0.022</td><td>0.024</td><td>0.024</td><td>0.026</td><td>0.028</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">D II</td> <td rowspan="2">上半</td> <td></td><td></td><td>40</td><td>45</td><td>50</td><td>55</td><td>60</td><td>65</td><td>70</td><td>75</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td>0.048</td><td>0.050</td><td>0.050</td><td>0.052</td><td>0.054</td><td>0.057</td><td>0.059</td><td>0.061</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">下半</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>10</td><td>15</td><td>20</td><td>25</td><td>30</td><td>35</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.022</td><td>0.024</td><td>0.024</td><td>0.026</td><td>0.028</td><td>0.030</td> </tr> </tbody> </table> <p>(5) 吹付プラント設備の運転時間 掘削1m当りの吹付プラント設備運転時間は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.17 吹付プラント設備</p> <p>規格：(バッチ型) 定置式25m³/h 週/(トンネル延長)1m当り</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘削方法</th> <th rowspan="2">岩区分</th> <th colspan="10">設計掘削断面積(m²)</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>50</th><th>55</th><th>60</th><th>65</th><th>70</th><th>75</th><th>80</th><th>85</th><th>90</th><th>95</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">補助ベンチ付全断面工法</td> <td>B</td> <td>0.026</td><td>0.026</td><td>0.028</td><td>0.028</td><td>0.030</td><td>0.030</td><td>0.033</td><td>0.033</td><td>0.035</td><td>0.035</td> <td rowspan="10">必要な断面積を上下半各々に計上する。</td> </tr> <tr> <td>C I</td> <td>0.039</td><td>0.039</td><td>0.041</td><td>0.041</td><td>0.044</td><td>0.044</td><td>0.046</td><td>0.046</td><td>0.048</td><td>0.048</td> </tr> <tr> <td>C II</td> <td>0.057</td><td>0.061</td><td>0.063</td><td>0.065</td><td>0.059</td><td>0.061</td><td>0.061</td><td>0.061</td><td>0.063</td><td>0.063</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">D I</td> <td rowspan="2">上半</td> <td></td><td></td><td>40</td><td>45</td><td>50</td><td>55</td><td>60</td><td>65</td><td>70</td><td>75</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td>0.065</td><td>0.067</td><td>0.072</td><td>0.074</td><td>0.076</td><td>0.081</td><td>0.083</td><td>0.085</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">下半</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>10</td><td>15</td><td>20</td><td>25</td><td>30</td><td>35</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.052</td><td>0.054</td><td>0.054</td><td>0.057</td><td>0.059</td><td>0.061</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">D II</td> <td rowspan="2">上半</td> <td></td><td></td><td>40</td><td>45</td><td>50</td><td>55</td><td>60</td><td>65</td><td>70</td><td>75</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td>0.067</td><td>0.070</td><td>0.072</td><td>0.074</td><td>0.078</td><td>0.081</td><td>0.083</td><td>0.087</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">下半</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>10</td><td>15</td><td>20</td><td>25</td><td>30</td><td>35</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.054</td><td>0.054</td><td>0.057</td><td>0.057</td><td>0.059</td><td>0.061</td> </tr> </tbody> </table> <p>(6) 粉塵抑制剤 粉塵抑制剤は必要に応じて、別途計上する。</p>	掘削方法	岩区分	設計掘削断面積(m ²)										摘要	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	補助ベンチ付全断面工法	B	0.017	0.020	0.020	0.022	0.022	0.022	0.024	0.024	0.026	0.028	必要な断面積を上下半各々に計上する。	C I	0.026	0.028	0.028	0.030	0.030	0.033	0.033	0.035	0.037	0.037	C II	0.035	0.037	0.039	0.039	0.041	0.044	0.044	0.046	0.046	0.048	D I	上半			40	45	50	55	60	65	70	75			0.044	0.046	0.048	0.050	0.052	0.054	0.054	0.057	下半					10	15	20	25	30	35					0.022	0.022	0.024	0.024	0.026	0.028	D II	上半			40	45	50	55	60	65	70	75			0.048	0.050	0.050	0.052	0.054	0.057	0.059	0.061	下半					10	15	20	25	30	35					0.022	0.024	0.024	0.026	0.028	0.030	掘削方法	岩区分	設計掘削断面積(m ²)										摘要	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	補助ベンチ付全断面工法	B	0.026	0.026	0.028	0.028	0.030	0.030	0.033	0.033	0.035	0.035	必要な断面積を上下半各々に計上する。	C I	0.039	0.039	0.041	0.041	0.044	0.044	0.046	0.046	0.048	0.048	C II	0.057	0.061	0.063	0.065	0.059	0.061	0.061	0.061	0.063	0.063	D I	上半			40	45	50	55	60	65	70	75			0.065	0.067	0.072	0.074	0.076	0.081	0.083	0.085	下半					10	15	20	25	30	35					0.052	0.054	0.054	0.057	0.059	0.061	D II	上半			40	45	50	55	60	65	70	75			0.067	0.070	0.072	0.074	0.078	0.081	0.083	0.087	下半					10	15	20	25	30	35					0.054	0.054	0.057	0.057	0.059	0.061	<p>(4) コンクリート吹付機の運転時間 掘削1m当りのコンクリート吹付機運転時間は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.16 コンクリート吹付機</p> <p>規格：トンネル工用排出ガス対策型 湿式吹付・吹付ホッパ一体・エアブレード搭載・吹付範囲半径7m級 週/(トンネル延長)1m当り</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘削方法</th> <th rowspan="2">岩区分</th> <th colspan="10">設計掘削断面積(m²)</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>50</th><th>55</th><th>60</th><th>65</th><th>70</th><th>75</th><th>80</th><th>85</th><th>90</th><th>95</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">補助ベンチ付全断面工法</td> <td>B</td> <td>0.035</td><td>0.037</td><td>0.039</td><td>0.041</td><td>0.044</td><td>0.044</td><td>0.046</td><td>0.048</td><td>0.050</td><td>0.052</td><td>0.054</td> <td rowspan="10">必要な断面積を上下半各々に計上する。</td> </tr> <tr> <td>C I</td> <td>0.029</td><td>0.029</td><td>0.030</td><td>0.032</td><td>0.033</td><td>0.036</td><td>0.037</td><td>0.039</td><td>0.039</td><td>0.041</td> </tr> <tr> <td>C II</td> <td>0.047</td><td>0.049</td><td>0.051</td><td>0.053</td><td>0.055</td><td>0.057</td><td>0.059</td><td>0.061</td><td>0.063</td><td>0.065</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">D I</td> <td rowspan="2">上半</td> <td></td><td></td><td>40</td><td>45</td><td>50</td><td>55</td><td>60</td><td>65</td><td>70</td><td>75</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td>0.056</td><td>0.058</td><td>0.061</td><td>0.063</td><td>0.066</td><td>0.068</td><td>0.071</td><td>0.073</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">下半</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>10</td><td>15</td><td>20</td><td>25</td><td>30</td><td>35</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.022</td><td>0.022</td><td>0.024</td><td>0.024</td><td>0.026</td><td>0.028</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">D II</td> <td rowspan="2">上半</td> <td></td><td></td><td>40</td><td>45</td><td>50</td><td>55</td><td>60</td><td>65</td><td>70</td><td>75</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td>0.057</td><td>0.061</td><td>0.061</td><td>0.063</td><td>0.067</td><td>0.068</td><td>0.071</td><td>0.075</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">下半</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>10</td><td>15</td><td>20</td><td>25</td><td>30</td><td>35</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.022</td><td>0.022</td><td>0.024</td><td>0.026</td><td>0.028</td><td>0.028</td> </tr> </tbody> </table> <p>(5) 吹付プラント設備の運転時間 掘削1m当りの吹付プラント設備運転時間は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.17 吹付プラント設備</p> <p>規格：(バッチ型) 定置式25m³/h 週/(トンネル延長)1m当り</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘削方法</th> <th rowspan="2">岩区分</th> <th colspan="10">設計掘削断面積(m²)</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>50</th><th>55</th><th>60</th><th>65</th><th>70</th><th>75</th><th>80</th><th>85</th><th>90</th><th>95</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">補助ベンチ付全断面工法</td> <td>B</td> <td>0.035</td><td>0.037</td><td>0.039</td><td>0.041</td><td>0.044</td><td>0.044</td><td>0.046</td><td>0.048</td><td>0.050</td><td>0.052</td><td>0.054</td> <td rowspan="10">必要な断面積を上下半各々に計上する。</td> </tr> <tr> <td>C I</td> <td>0.029</td><td>0.029</td><td>0.030</td><td>0.032</td><td>0.033</td><td>0.036</td><td>0.037</td><td>0.039</td><td>0.039</td><td>0.041</td> </tr> <tr> <td>C II</td> <td>0.047</td><td>0.049</td><td>0.051</td><td>0.053</td><td>0.055</td><td>0.057</td><td>0.059</td><td>0.061</td><td>0.063</td><td>0.065</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">D I</td> <td rowspan="2">上半</td> <td></td><td></td><td>40</td><td>45</td><td>50</td><td>55</td><td>60</td><td>65</td><td>70</td><td>75</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td>0.056</td><td>0.058</td><td>0.061</td><td>0.063</td><td>0.066</td><td>0.068</td><td>0.071</td><td>0.073</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">下半</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>10</td><td>15</td><td>20</td><td>25</td><td>30</td><td>35</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.022</td><td>0.022</td><td>0.024</td><td>0.024</td><td>0.026</td><td>0.028</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">D II</td> <td rowspan="2">上半</td> <td></td><td></td><td>40</td><td>45</td><td>50</td><td>55</td><td>60</td><td>65</td><td>70</td><td>75</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td>0.057</td><td>0.061</td><td>0.061</td><td>0.063</td><td>0.067</td><td>0.068</td><td>0.071</td><td>0.075</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">下半</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>10</td><td>15</td><td>20</td><td>25</td><td>30</td><td>35</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.022</td><td>0.022</td><td>0.024</td><td>0.026</td><td>0.028</td><td>0.028</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">} 現 行 通 り</p>	掘削方法	岩区分	設計掘削断面積(m ²)										摘要	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	補助ベンチ付全断面工法	B	0.035	0.037	0.039	0.041	0.044	0.044	0.046	0.048	0.050	0.052	0.054	必要な断面積を上下半各々に計上する。	C I	0.029	0.029	0.030	0.032	0.033	0.036	0.037	0.039	0.039	0.041	C II	0.047	0.049	0.051	0.053	0.055	0.057	0.059	0.061	0.063	0.065	D I	上半			40	45	50	55	60	65	70	75			0.056	0.058	0.061	0.063	0.066	0.068	0.071	0.073	下半					10	15	20	25	30	35					0.022	0.022	0.024	0.024	0.026	0.028	D II	上半			40	45	50	55	60	65	70	75			0.057	0.061	0.061	0.063	0.067	0.068	0.071	0.075	下半					10	15	20	25	30	35					0.022	0.022	0.024	0.026	0.028	0.028	掘削方法	岩区分	設計掘削断面積(m ²)										摘要	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	補助ベンチ付全断面工法	B	0.035	0.037	0.039	0.041	0.044	0.044	0.046	0.048	0.050	0.052	0.054	必要な断面積を上下半各々に計上する。	C I	0.029	0.029	0.030	0.032	0.033	0.036	0.037	0.039	0.039	0.041	C II	0.047	0.049	0.051	0.053	0.055	0.057	0.059	0.061	0.063	0.065	D I	上半			40	45	50	55	60	65	70	75			0.056	0.058	0.061	0.063	0.066	0.068	0.071	0.073	下半					10	15	20	25	30	35					0.022	0.022	0.024	0.024	0.026	0.028	D II	上半			40	45	50	55	60	65	70	75			0.057	0.061	0.061	0.063	0.067	0.068	0.071	0.075	下半					10	15	20	25	30	35					0.022	0.022	0.024	0.026	0.028	0.028
掘削方法	岩区分			設計掘削断面積(m ²)											摘要																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		50	55	60	65	70	75	80	85	90	95																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
補助ベンチ付全断面工法	B	0.017	0.020	0.020	0.022	0.022	0.022	0.024	0.024	0.026	0.028	必要な断面積を上下半各々に計上する。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	C I	0.026	0.028	0.028	0.030	0.030	0.033	0.033	0.035	0.037	0.037																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	C II	0.035	0.037	0.039	0.039	0.041	0.044	0.044	0.046	0.046	0.048																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
D I	上半			40	45	50	55	60	65	70	75																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
				0.044	0.046	0.048	0.050	0.052	0.054	0.054	0.057																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	下半					10	15	20	25	30	35																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
						0.022	0.022	0.024	0.024	0.026	0.028																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
D II	上半			40	45	50	55	60	65	70	75																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
				0.048	0.050	0.050	0.052	0.054	0.057	0.059	0.061																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	下半					10	15	20	25	30	35																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
						0.022	0.024	0.024	0.026	0.028	0.030																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
掘削方法	岩区分	設計掘削断面積(m ²)										摘要																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
		50	55	60	65	70	75	80	85	90	95																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
補助ベンチ付全断面工法	B	0.026	0.026	0.028	0.028	0.030	0.030	0.033	0.033	0.035	0.035	必要な断面積を上下半各々に計上する。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	C I	0.039	0.039	0.041	0.041	0.044	0.044	0.046	0.046	0.048	0.048																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	C II	0.057	0.061	0.063	0.065	0.059	0.061	0.061	0.061	0.063	0.063																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
D I	上半			40	45	50	55	60	65	70	75																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
				0.065	0.067	0.072	0.074	0.076	0.081	0.083	0.085																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	下半					10	15	20	25	30	35																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
						0.052	0.054	0.054	0.057	0.059	0.061																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
D II	上半			40	45	50	55	60	65	70	75																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
				0.067	0.070	0.072	0.074	0.078	0.081	0.083	0.087																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	下半					10	15	20	25	30	35																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
						0.054	0.054	0.057	0.057	0.059	0.061																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
掘削方法	岩区分	設計掘削断面積(m ²)										摘要																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
		50	55	60	65	70	75	80	85	90	95																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
補助ベンチ付全断面工法	B	0.035	0.037	0.039	0.041	0.044	0.044	0.046	0.048	0.050	0.052	0.054	必要な断面積を上下半各々に計上する。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	C I	0.029	0.029	0.030	0.032	0.033	0.036	0.037	0.039	0.039	0.041																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	C II	0.047	0.049	0.051	0.053	0.055	0.057	0.059	0.061	0.063	0.065																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
D I	上半			40	45	50	55	60	65	70	75																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
				0.056	0.058	0.061	0.063	0.066	0.068	0.071	0.073																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	下半					10	15	20	25	30	35																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
						0.022	0.022	0.024	0.024	0.026	0.028																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
D II	上半			40	45	50	55	60	65	70	75																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
				0.057	0.061	0.061	0.063	0.067	0.068	0.071	0.075																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	下半					10	15	20	25	30	35																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
						0.022	0.022	0.024	0.026	0.028	0.028																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
掘削方法	岩区分	設計掘削断面積(m ²)										摘要																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
		50	55	60	65	70	75	80	85	90	95																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
補助ベンチ付全断面工法	B	0.035	0.037	0.039	0.041	0.044	0.044	0.046	0.048	0.050	0.052	0.054	必要な断面積を上下半各々に計上する。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	C I	0.029	0.029	0.030	0.032	0.033	0.036	0.037	0.039	0.039	0.041																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	C II	0.047	0.049	0.051	0.053	0.055	0.057	0.059	0.061	0.063	0.065																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
D I	上半			40	45	50	55	60	65	70	75																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
				0.056	0.058	0.061	0.063	0.066	0.068	0.071	0.073																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	下半					10	15	20	25	30	35																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
						0.022	0.022	0.024	0.024	0.026	0.028																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
D II	上半			40	45	50	55	60	65	70	75																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
				0.057	0.061	0.061	0.063	0.067	0.068	0.071	0.075																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	下半					10	15	20	25	30	35																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
						0.022	0.022	0.024	0.026	0.028	0.028																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									

土木工事標準歩掛の一部改定
トンネル工 (NATM) [発破工法]

工種名	現 行	改 定																																																																																																																																																																																																																																										
	<p>(7) 集塵機</p> <p>① 吹付時の粉塵対策として、集塵機を使用することを標準とする。</p> <p>② 集塵機の機種を選定 集塵機は、作業環境を考慮し必要となる機種規格を選定する。</p> <p>③ 集塵機の運転時間 掘削1m当りの集塵機運転時間は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.18 集塵機装置</p> <p style="text-align: center;">規格：○○○式、定格風量○○○m³/min級 週/(トンネル延長)1m当り</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘削方法</th> <th rowspan="2">岩区分</th> <th colspan="10">設計掘削断面積(m²)</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>50</th><th>55</th><th>60</th><th>65</th><th>70</th><th>75</th><th>80</th><th>85</th><th>90</th><th>95</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">補助ベンチ付全断面工法</td> <td>B</td> <td>0.037</td><td>0.039</td><td>0.041</td><td>0.044</td><td>0.046</td><td>0.048</td><td>0.048</td><td>0.052</td><td>0.052</td><td>0.054</td> <td rowspan="6">必要な断面積を上下半各々に計上する。</td> </tr> <tr> <td>C I</td> <td>0.046</td><td>0.050</td><td>0.050</td><td>0.054</td><td>0.054</td><td>0.059</td><td>0.061</td><td>0.063</td><td>0.065</td><td>0.067</td> </tr> <tr> <td>C II</td> <td>0.059</td><td>0.061</td><td>0.063</td><td>0.065</td><td>0.067</td><td>0.072</td><td>0.072</td><td>0.076</td><td>0.078</td><td>0.081</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">上下半交互併進工法</td> <td rowspan="2">D I</td> <td>上半</td> <td></td><td></td><td>40</td><td>45</td><td>50</td><td>55</td><td>60</td><td>65</td><td>70</td><td>75</td> </tr> <tr> <td>下半</td> <td></td><td></td><td>0.067</td><td>0.070</td><td>0.072</td><td>0.076</td><td>0.078</td><td>0.081</td><td>0.085</td><td>0.087</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">D II</td> <td>上半</td> <td></td><td></td><td>40</td><td>45</td><td>50</td><td>55</td><td>60</td><td>65</td><td>70</td><td>75</td> </tr> <tr> <td>下半</td> <td></td><td></td><td>0.067</td><td>0.070</td><td>0.074</td><td>0.076</td><td>0.078</td><td>0.083</td><td>0.085</td><td>0.087</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.037</td><td>0.039</td><td>0.041</td><td>0.044</td><td>0.044</td><td>0.046</td> </tr> </tbody> </table>	掘削方法	岩区分	設計掘削断面積(m ²)										摘要	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	補助ベンチ付全断面工法	B	0.037	0.039	0.041	0.044	0.046	0.048	0.048	0.052	0.052	0.054	必要な断面積を上下半各々に計上する。	C I	0.046	0.050	0.050	0.054	0.054	0.059	0.061	0.063	0.065	0.067	C II	0.059	0.061	0.063	0.065	0.067	0.072	0.072	0.076	0.078	0.081	上下半交互併進工法	D I	上半			40	45	50	55	60	65	70	75	下半			0.067	0.070	0.072	0.076	0.078	0.081	0.085	0.087	D II	上半			40	45	50	55	60	65	70	75	下半			0.067	0.070	0.074	0.076	0.078	0.083	0.085	0.087							0.037	0.039	0.041	0.044	0.044	0.046	<p>(7) 集塵機</p> <p>① 吹付時の粉塵対策として、集塵機を使用することを標準とする。</p> <p>② 集塵機の機種を選定 集塵機は、作業環境を考慮し必要となる機種規格を選定する。</p> <p>③ 集塵機の運転時間 掘削1m当りの集塵機運転時間は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.18 集塵機装置</p> <p style="text-align: center;">規格：○○○式、定格風量○○○m³/min級 週/(トンネル延長)1m当り</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘削方法</th> <th rowspan="2">岩区分</th> <th colspan="10">設計掘削断面積(m²)</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>50</th><th>55</th><th>60</th><th>65</th><th>70</th><th>75</th><th>80</th><th>85</th><th>90</th><th>95</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">補助ベンチ付全断面工法</td> <td>B</td> <td>0.037</td><td>0.039</td><td>0.041</td><td>0.044</td><td>0.046</td><td>0.048</td><td>0.048</td><td>0.052</td><td>0.052</td><td>0.054</td> <td rowspan="6">必要な断面積を上下半各々に計上する。</td> </tr> <tr> <td>C I</td> <td>0.029</td><td>0.029</td><td>0.030</td><td>0.032</td><td>0.033</td><td>0.036</td><td>0.037</td><td>0.039</td><td>0.039</td><td>0.041</td> </tr> <tr> <td>C II</td> <td>0.047</td><td>0.049</td><td>0.051</td><td>0.053</td><td>0.055</td><td>0.057</td><td>0.059</td><td>0.061</td><td>0.063</td><td>0.065</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">上下半交互併進工法</td> <td rowspan="2">D I</td> <td>上半</td> <td></td><td></td><td>40</td><td>45</td><td>50</td><td>55</td><td>60</td><td>65</td><td>70</td><td>75</td> </tr> <tr> <td>下半</td> <td></td><td></td><td>0.056</td><td>0.058</td><td>0.061</td><td>0.063</td><td>0.066</td><td>0.068</td><td>0.071</td><td>0.073</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">D II</td> <td>上半</td> <td></td><td></td><td>40</td><td>45</td><td>50</td><td>55</td><td>60</td><td>65</td><td>70</td><td>75</td> </tr> <tr> <td>下半</td> <td></td><td></td><td>0.057</td><td>0.061</td><td>0.061</td><td>0.063</td><td>0.067</td><td>0.068</td><td>0.071</td><td>0.075</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.022</td><td>0.022</td><td>0.024</td><td>0.026</td><td>0.028</td><td>0.028</td> </tr> </tbody> </table>	掘削方法	岩区分	設計掘削断面積(m ²)										摘要	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	補助ベンチ付全断面工法	B	0.037	0.039	0.041	0.044	0.046	0.048	0.048	0.052	0.052	0.054	必要な断面積を上下半各々に計上する。	C I	0.029	0.029	0.030	0.032	0.033	0.036	0.037	0.039	0.039	0.041	C II	0.047	0.049	0.051	0.053	0.055	0.057	0.059	0.061	0.063	0.065	上下半交互併進工法	D I	上半			40	45	50	55	60	65	70	75	下半			0.056	0.058	0.061	0.063	0.066	0.068	0.071	0.073	D II	上半			40	45	50	55	60	65	70	75	下半			0.057	0.061	0.061	0.063	0.067	0.068	0.071	0.075							0.022	0.022	0.024	0.026	0.028	0.028
掘削方法	岩区分			設計掘削断面積(m ²)											摘要																																																																																																																																																																																																																													
		50	55	60	65	70	75	80	85	90	95																																																																																																																																																																																																																																	
補助ベンチ付全断面工法	B	0.037	0.039	0.041	0.044	0.046	0.048	0.048	0.052	0.052	0.054	必要な断面積を上下半各々に計上する。																																																																																																																																																																																																																																
	C I	0.046	0.050	0.050	0.054	0.054	0.059	0.061	0.063	0.065	0.067																																																																																																																																																																																																																																	
	C II	0.059	0.061	0.063	0.065	0.067	0.072	0.072	0.076	0.078	0.081																																																																																																																																																																																																																																	
上下半交互併進工法	D I	上半			40	45	50	55	60	65	70		75																																																																																																																																																																																																																															
		下半			0.067	0.070	0.072	0.076	0.078	0.081	0.085		0.087																																																																																																																																																																																																																															
	D II	上半			40	45	50	55	60	65	70		75																																																																																																																																																																																																																															
		下半			0.067	0.070	0.074	0.076	0.078	0.083	0.085	0.087																																																																																																																																																																																																																																
						0.037	0.039	0.041	0.044	0.044	0.046																																																																																																																																																																																																																																	
掘削方法	岩区分	設計掘削断面積(m ²)										摘要																																																																																																																																																																																																																																
		50	55	60	65	70	75	80	85	90	95																																																																																																																																																																																																																																	
補助ベンチ付全断面工法	B	0.037	0.039	0.041	0.044	0.046	0.048	0.048	0.052	0.052	0.054	必要な断面積を上下半各々に計上する。																																																																																																																																																																																																																																
	C I	0.029	0.029	0.030	0.032	0.033	0.036	0.037	0.039	0.039	0.041																																																																																																																																																																																																																																	
	C II	0.047	0.049	0.051	0.053	0.055	0.057	0.059	0.061	0.063	0.065																																																																																																																																																																																																																																	
上下半交互併進工法	D I	上半			40	45	50	55	60	65	70		75																																																																																																																																																																																																																															
		下半			0.056	0.058	0.061	0.063	0.066	0.068	0.071		0.073																																																																																																																																																																																																																															
	D II	上半			40	45	50	55	60	65	70		75																																																																																																																																																																																																																															
		下半			0.057	0.061	0.061	0.063	0.067	0.068	0.071	0.075																																																																																																																																																																																																																																
						0.022	0.022	0.024	0.026	0.028	0.028																																																																																																																																																																																																																																	
	<p>4-2-2 ロックボルト工</p> <p>(1) ロックボルトの使用区分 ロックボルトの使用区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.19 ロックボルトの使用区分</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>掘削区分</th> <th>ロックボルトの長さ×周方向間隔×延長方向間隔</th> <th>材 質</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>B</td> <td>3.0×1.5×2.0</td> <td>異形棒鋼と同等以上 (耐力117.7kN(12 t)以上)</td> </tr> <tr> <td>C I</td> <td>3.0×1.5×1.5</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>C II</td> <td>3.0×1.5×1.2</td> <td>ねじり棒鋼と同等以上 (耐力176.5kN(18 t)以上)</td> </tr> <tr> <td>D I</td> <td>4.0×1.2×1.0</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>D II</td> <td>4.0×1.2×1.0以下</td> <td>〃</td> </tr> </tbody> </table>	掘削区分	ロックボルトの長さ×周方向間隔×延長方向間隔	材 質	B	3.0×1.5×2.0	異形棒鋼と同等以上 (耐力117.7kN(12 t)以上)	C I	3.0×1.5×1.5	〃	C II	3.0×1.5×1.2	ねじり棒鋼と同等以上 (耐力176.5kN(18 t)以上)	D I	4.0×1.2×1.0	〃	D II	4.0×1.2×1.0以下	〃	<p>4-2-2 ロックボルト工</p> <p>(1) ロックボルトの使用区分 ロックボルトの使用区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.19 ロックボルトの使用区分</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>掘削区分</th> <th>ロックボルトの長さ×周方向間隔×延長方向間隔</th> <th>材 質</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>B</td> <td>3.0×1.5×2.0</td> <td>異形棒鋼と同等以上 (耐力117.7kN(12 t)以上)</td> </tr> <tr> <td>C I</td> <td>3.0×1.5×1.5</td> <td>異形棒鋼と同等以上 (耐力117.7kN(12 t)以上)</td> </tr> <tr> <td>C II</td> <td>3.0×1.5×1.2</td> <td>ねじり棒鋼と同等以上 (耐力176.5kN(18 t)以上)</td> </tr> <tr> <td>D I</td> <td>4.0×1.2×1.0</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>D II</td> <td>4.0×1.2×1.0以下</td> <td>〃</td> </tr> </tbody> </table>	掘削区分	ロックボルトの長さ×周方向間隔×延長方向間隔	材 質	B	3.0×1.5×2.0	異形棒鋼と同等以上 (耐力117.7kN(12 t)以上)	C I	3.0×1.5×1.5	異形棒鋼と同等以上 (耐力117.7kN(12 t)以上)	C II	3.0×1.5×1.2	ねじり棒鋼と同等以上 (耐力176.5kN(18 t)以上)	D I	4.0×1.2×1.0	〃	D II	4.0×1.2×1.0以下	〃																																																																																																																																																																																																						
掘削区分	ロックボルトの長さ×周方向間隔×延長方向間隔	材 質																																																																																																																																																																																																																																										
B	3.0×1.5×2.0	異形棒鋼と同等以上 (耐力117.7kN(12 t)以上)																																																																																																																																																																																																																																										
C I	3.0×1.5×1.5	〃																																																																																																																																																																																																																																										
C II	3.0×1.5×1.2	ねじり棒鋼と同等以上 (耐力176.5kN(18 t)以上)																																																																																																																																																																																																																																										
D I	4.0×1.2×1.0	〃																																																																																																																																																																																																																																										
D II	4.0×1.2×1.0以下	〃																																																																																																																																																																																																																																										
掘削区分	ロックボルトの長さ×周方向間隔×延長方向間隔	材 質																																																																																																																																																																																																																																										
B	3.0×1.5×2.0	異形棒鋼と同等以上 (耐力117.7kN(12 t)以上)																																																																																																																																																																																																																																										
C I	3.0×1.5×1.5	異形棒鋼と同等以上 (耐力117.7kN(12 t)以上)																																																																																																																																																																																																																																										
C II	3.0×1.5×1.2	ねじり棒鋼と同等以上 (耐力176.5kN(18 t)以上)																																																																																																																																																																																																																																										
D I	4.0×1.2×1.0	〃																																																																																																																																																																																																																																										
D II	4.0×1.2×1.0以下	〃																																																																																																																																																																																																																																										

土木工事標準歩掛の一部改定 トンネル工（NATM） [発破工法]

工種名	現 行	改 定																																																																																																																																																																																																							
	<p>(2) ロックボルトの使用数量 ロックボルトは、ドライモルタルを含むものとし、その使用量は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.20 ロックボルト</p> <p>規格：耐力117.7kN(12t)以上付属品含む L = 3 m 本/(トンネル延長)1m当り</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘削方法</th> <th rowspan="2">岩区分</th> <th colspan="10">設計掘削断面積 (㎡)</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>50</th><th>55</th><th>60</th><th>65</th><th>70</th><th>75</th><th>80</th><th>85</th><th>90</th><th>95</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">補助ベンチ付全断面工法</td> <td>B</td> <td>4.50</td><td>5.00</td><td>5.00</td><td>5.50</td><td>5.50</td><td>6.00</td><td>6.00</td><td>6.50</td><td>6.50</td><td>7.00</td> <td></td> </tr> <tr> <td>C I</td> <td>8.00</td><td>8.67</td><td>8.67</td><td>9.33</td><td>9.33</td><td>10.00</td><td>10.00</td><td>10.00</td><td>10.67</td><td>10.67</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">表4.21 ロックボルト</p> <p>規格：耐力176.5kN(18t)以上付属品含む L = 3 m 本/(トンネル延長)1m当り</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘削方法</th> <th rowspan="2">岩区分</th> <th colspan="10">設計掘削断面積 (㎡)</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>50</th><th>55</th><th>60</th><th>65</th><th>70</th><th>75</th><th>80</th><th>85</th><th>90</th><th>95</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補助ベンチ付全断面工法</td> <td>C II</td> <td>10.00</td><td>10.83</td><td>10.83</td><td>11.67</td><td>11.67</td><td>12.50</td><td>12.50</td><td>13.33</td><td>13.33</td><td>14.17</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">表4.22 ロックボルト</p> <p>規格：耐力176.5kN(18t)以上付属品含む L = 4 m 本/(トンネル延長)1m当り</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘削方法</th> <th rowspan="2">岩区分</th> <th colspan="8">設計掘削断面積 (㎡)</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>40</th><th>45</th><th>50</th><th>55</th><th>60</th><th>65</th><th>70</th><th>75</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">上下半交互併進工法</td> <td rowspan="2">D I</td> <td>上半</td> <td>40</td><td>45</td><td>50</td><td>55</td><td>60</td><td>65</td><td>70</td><td>75</td> <td rowspan="4">必要な断面積を上下半各々に計上する。</td> </tr> <tr> <td>下半</td> <td>13.00</td><td>13.00</td><td>14.00</td><td>15.00</td><td>15.00</td><td>16.00</td><td>17.00</td><td>17.00</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">D II</td> <td>上半</td> <td>40</td><td>45</td><td>50</td><td>55</td><td>60</td><td>65</td><td>70</td><td>75</td> </tr> <tr> <td>下半</td> <td>13.00</td><td>13.00</td><td>14.00</td><td>14.00</td><td>15.00</td><td>16.00</td><td>16.00</td><td>17.00</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) ロックボルト工のモルタル材料及び使用量 ロックボルト工のモルタル材料はドライモルタルを標準とし、使用量は次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.23 ロックボルト工のモルタル材料使用量 (100m当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>使 用 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>モルタル</td> <td>ドライモルタル</td> <td>m³</td> <td>0.22</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) ロスを含む。</p> <p>(4) 注入急結剤 注入急結剤（無収縮混和剤）の使用は、湧水がある場合、1本/孔を標準とする。 ただし、現場条件によってこれにより難い場合は、別途考慮する。</p>	掘削方法	岩区分	設計掘削断面積 (㎡)										摘要	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	補助ベンチ付全断面工法	B	4.50	5.00	5.00	5.50	5.50	6.00	6.00	6.50	6.50	7.00		C I	8.00	8.67	8.67	9.33	9.33	10.00	10.00	10.00	10.67	10.67		掘削方法	岩区分	設計掘削断面積 (㎡)										摘要	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	補助ベンチ付全断面工法	C II	10.00	10.83	10.83	11.67	11.67	12.50	12.50	13.33	13.33	14.17		掘削方法	岩区分	設計掘削断面積 (㎡)								摘要	40	45	50	55	60	65	70	75	上下半交互併進工法	D I	上半	40	45	50	55	60	65	70	75	必要な断面積を上下半各々に計上する。	下半	13.00	13.00	14.00	15.00	15.00	16.00	17.00	17.00	D II	上半	40	45	50	55	60	65	70	75	下半	13.00	13.00	14.00	14.00	15.00	16.00	16.00	17.00	名 称	規 格	単 位	使 用 量	モルタル	ドライモルタル	m ³	0.22	<p>(2) ロックボルトの使用数量 ロックボルトは、ドライモルタルを含むものとし、その使用量は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.20 ロックボルト</p> <p>規格：耐力117.7kN(12t)以上付属品含む L = 3 m 本/(トンネル延長)1m当り</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘削方法</th> <th rowspan="2">岩区分</th> <th colspan="10">設計掘削断面積(㎡)</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>50</th><th>55</th><th>60</th><th>65</th><th>70</th><th>75</th><th>80</th><th>85</th><th>90</th><th>95</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">補助ベンチ付全断面工法</td> <td>B</td> <td style="color: red;">4.50</td><td style="color: red;">5.00</td><td style="color: red;">5.00</td><td style="color: red;">5.50</td><td style="color: red;">5.50</td><td style="color: red;">6.00</td><td style="color: red;">6.00</td><td style="color: red;">6.50</td><td style="color: red;">6.50</td><td style="color: red;">7.00</td> <td></td> </tr> <tr> <td>C I</td> <td>8.00</td><td>8.67</td><td>8.67</td><td>9.33</td><td>9.33</td><td>10.00</td><td>10.00</td><td>10.00</td><td>10.67</td><td>10.67</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">表4.21 ロックボルト</p> <p>規格：耐力176.5kN(18t)以上付属品含む</p> <p style="text-align: center;">表4.22 ロックボルト</p> <p>規格：耐力176.5kN(18t)以上付属品含む</p> <p style="text-align: center;">現 行 通 り</p>	掘削方法	岩区分	設計掘削断面積(㎡)										摘要	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	補助ベンチ付全断面工法	B	4.50	5.00	5.00	5.50	5.50	6.00	6.00	6.50	6.50	7.00		C I	8.00	8.67	8.67	9.33	9.33	10.00	10.00	10.00	10.67	10.67	
掘削方法	岩区分			設計掘削断面積 (㎡)											摘要																																																																																																																																																																																										
		50	55	60	65	70	75	80	85	90	95																																																																																																																																																																																														
補助ベンチ付全断面工法	B	4.50	5.00	5.00	5.50	5.50	6.00	6.00	6.50	6.50	7.00																																																																																																																																																																																														
	C I	8.00	8.67	8.67	9.33	9.33	10.00	10.00	10.00	10.67	10.67																																																																																																																																																																																														
掘削方法	岩区分	設計掘削断面積 (㎡)										摘要																																																																																																																																																																																													
		50	55	60	65	70	75	80	85	90	95																																																																																																																																																																																														
補助ベンチ付全断面工法	C II	10.00	10.83	10.83	11.67	11.67	12.50	12.50	13.33	13.33	14.17																																																																																																																																																																																														
掘削方法	岩区分	設計掘削断面積 (㎡)								摘要																																																																																																																																																																																															
		40	45	50	55	60	65	70	75																																																																																																																																																																																																
上下半交互併進工法	D I	上半	40	45	50	55	60	65	70	75	必要な断面積を上下半各々に計上する。																																																																																																																																																																																														
		下半	13.00	13.00	14.00	15.00	15.00	16.00	17.00	17.00																																																																																																																																																																																															
	D II	上半	40	45	50	55	60	65	70	75																																																																																																																																																																																															
		下半	13.00	13.00	14.00	14.00	15.00	16.00	16.00	17.00																																																																																																																																																																																															
名 称	規 格	単 位	使 用 量																																																																																																																																																																																																						
モルタル	ドライモルタル	m ³	0.22																																																																																																																																																																																																						
掘削方法	岩区分	設計掘削断面積(㎡)										摘要																																																																																																																																																																																													
		50	55	60	65	70	75	80	85	90	95																																																																																																																																																																																														
補助ベンチ付全断面工法	B	4.50	5.00	5.00	5.50	5.50	6.00	6.00	6.50	6.50	7.00																																																																																																																																																																																														
	C I	8.00	8.67	8.67	9.33	9.33	10.00	10.00	10.00	10.67	10.67																																																																																																																																																																																														

土木工事標準歩掛の一部改定
トンネル工 (NATM) [発破工法]

工種名	現 行	改 定																																																																																																																																																							
	<p>4-2-3 鋼製支保工</p> <p>(1) 鋼製支保工の使用材料 鋼製支保工の使用材料は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.24 鋼製支保工の使用材料</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">掘削区分 名 称</th> <th style="text-align: center;">C II @ 1.2m</th> <th style="text-align: center;">D I @ 1.0m</th> <th style="text-align: center;">D II @ 1.0m以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H 形 鋼 (上 半)</td> <td style="text-align: center;">H-125×125×6.5×9 n=2</td> <td style="text-align: center;">H-125×125×6.5×9 n=2</td> <td style="text-align: center;">H-150×150×7×10 n=2</td> </tr> <tr> <td>継 手 板 (天 端)</td> <td style="text-align: center;">P L-155×180×9 n=2</td> <td style="text-align: center;">P L-155×180×9 n=2</td> <td style="text-align: center;">P L-180×180×9 n=2</td> </tr> <tr> <td>継 手 板</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">P L-155×180×9 n=4</td> <td style="text-align: center;">P L-180×180×9 n=4</td> </tr> <tr> <td>H 形 鋼 (下 半)</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">H-125×125×6.5×9 n=2</td> <td style="text-align: center;">H-150×150×7×10 n=2</td> </tr> <tr> <td>底 板</td> <td style="text-align: center;">P L-230×180×16 n=2</td> <td style="text-align: center;">P L-230×230×16 n=2</td> <td style="text-align: center;">P L-250×250×16 n=2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 鋼製支保工の使用量 鋼製支保工の使用量は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.25 H形鋼支保工</p> <p style="text-align: center;">規格：SS400 H-125 t/(トンネル延長)1m当り</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘削方法</th> <th rowspan="2">岩区分</th> <th colspan="10">設計掘削断面積 (m²)</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>50</th> <th>55</th> <th>60</th> <th>65</th> <th>70</th> <th>75</th> <th>80</th> <th>85</th> <th>90</th> <th>95</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補助ベンチ付全断面工法</td> <td style="text-align: center;">C II</td> <td>0.292</td> <td>0.305</td> <td>0.315</td> <td>0.327</td> <td>0.339</td> <td>0.351</td> <td>0.363</td> <td>0.375</td> <td>0.385</td> <td>0.398</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">上下半交互併進工法</td> <td style="text-align: center;">D I</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">40</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">45</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">50</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">55</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">60</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">必要な断面積を上下半各々に計上する。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">上半</td> <td></td> <td></td> <td>0.370</td> <td>0.390</td> <td>0.410</td> <td>0.430</td> <td>0.450</td> <td>0.470</td> <td>0.490</td> <td>0.510</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">下半</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.058</td> <td>0.073</td> <td>0.087</td> <td>0.102</td> <td>0.116</td> <td>0.131</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">表4.26 H形鋼支保工</p> <p style="text-align: center;">規格：SS400 H-150 t/(トンネル延長)1m当り</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘削方法</th> <th rowspan="2">岩区分</th> <th colspan="8">設計掘削断面積 (m²)</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>40</th> <th>45</th> <th>50</th> <th>55</th> <th>60</th> <th>65</th> <th>70</th> <th>75</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">上下半交互併進工法</td> <td style="text-align: center;">D II</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">40</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">45</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">50</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">55</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">60</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">必要な断面積を上下半各々に計上する。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">上半</td> <td>0.488</td> <td>0.517</td> <td>0.542</td> <td>0.570</td> <td>0.595</td> <td>0.624</td> <td>0.649</td> <td>0.677</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">下半</td> <td></td> <td></td> <td>0.066</td> <td>0.085</td> <td>0.107</td> <td>0.126</td> <td>0.148</td> <td>0.167</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>4-3 補助工法 補助工法については、別途考慮する。</p>	掘削区分 名 称	C II @ 1.2m	D I @ 1.0m	D II @ 1.0m以下	H 形 鋼 (上 半)	H-125×125×6.5×9 n=2	H-125×125×6.5×9 n=2	H-150×150×7×10 n=2	継 手 板 (天 端)	P L-155×180×9 n=2	P L-155×180×9 n=2	P L-180×180×9 n=2	継 手 板	—	P L-155×180×9 n=4	P L-180×180×9 n=4	H 形 鋼 (下 半)	—	H-125×125×6.5×9 n=2	H-150×150×7×10 n=2	底 板	P L-230×180×16 n=2	P L-230×230×16 n=2	P L-250×250×16 n=2	掘削方法	岩区分	設計掘削断面積 (m ²)										摘要	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	補助ベンチ付全断面工法	C II	0.292	0.305	0.315	0.327	0.339	0.351	0.363	0.375	0.385	0.398		上下半交互併進工法	D I	40		45		50		55		60		必要な断面積を上下半各々に計上する。	上半			0.370	0.390	0.410	0.430	0.450	0.470	0.490	0.510		下半					0.058	0.073	0.087	0.102	0.116	0.131		掘削方法	岩区分	設計掘削断面積 (m ²)								摘要	40	45	50	55	60	65	70	75	上下半交互併進工法	D II	40		45		50		55		60		必要な断面積を上下半各々に計上する。	上半	0.488	0.517	0.542	0.570	0.595	0.624	0.649	0.677			下半			0.066	0.085	0.107	0.126	0.148	0.167			} 現 行 通 り
掘削区分 名 称	C II @ 1.2m	D I @ 1.0m	D II @ 1.0m以下																																																																																																																																																						
H 形 鋼 (上 半)	H-125×125×6.5×9 n=2	H-125×125×6.5×9 n=2	H-150×150×7×10 n=2																																																																																																																																																						
継 手 板 (天 端)	P L-155×180×9 n=2	P L-155×180×9 n=2	P L-180×180×9 n=2																																																																																																																																																						
継 手 板	—	P L-155×180×9 n=4	P L-180×180×9 n=4																																																																																																																																																						
H 形 鋼 (下 半)	—	H-125×125×6.5×9 n=2	H-150×150×7×10 n=2																																																																																																																																																						
底 板	P L-230×180×16 n=2	P L-230×230×16 n=2	P L-250×250×16 n=2																																																																																																																																																						
掘削方法	岩区分	設計掘削断面積 (m ²)										摘要																																																																																																																																													
		50	55	60	65	70	75	80	85	90	95																																																																																																																																														
補助ベンチ付全断面工法	C II	0.292	0.305	0.315	0.327	0.339	0.351	0.363	0.375	0.385	0.398																																																																																																																																														
上下半交互併進工法	D I	40		45		50		55		60		必要な断面積を上下半各々に計上する。																																																																																																																																													
	上半			0.370	0.390	0.410	0.430	0.450	0.470	0.490	0.510																																																																																																																																														
	下半					0.058	0.073	0.087	0.102	0.116	0.131																																																																																																																																														
掘削方法	岩区分	設計掘削断面積 (m ²)								摘要																																																																																																																																															
		40	45	50	55	60	65	70	75																																																																																																																																																
上下半交互併進工法	D II	40		45		50		55		60		必要な断面積を上下半各々に計上する。																																																																																																																																													
	上半	0.488	0.517	0.542	0.570	0.595	0.624	0.649	0.677																																																																																																																																																
	下半			0.066	0.085	0.107	0.126	0.148	0.167																																																																																																																																																

土木工事標準歩掛の一部改定 トンネル工（NATM） [発破工法]

工種名	現 行	改 定																																																								
	<p>4-4 インバート工</p> <p>4-4-1 適用範囲</p> <p>(1) 適用範囲</p> <p>NATM によって施工する本インバート工の掘削工、ざり出し工、鉄筋工（加工・組立）、型枠工（製作・設置・撤去）、コンクリート工（打設・養生）、埋戻工（敷均し・締固め）に適用する。</p> <p>(2) 機械器具損料</p> <p>機械器具損料の算定は、「請負工事機械経費積算要領」に基づき行い、坑内で内燃機関付機械（ダンプトラック、ブルドーザ等）を使用する場合は、黒煙浄化装置付排出ガス対策型及び黒煙浄化装置付を標準とし、そのうちドリルジャンボ、バックホウ、ホイールローダを使用する場合は、トンネル工事用排出ガス対策型を標準とする。ただし、道路運送車両の保安基準に排出ガス基準が定められている自動車の種別で有効な自動車検査証の交付を受けているものは除く。</p> <p>(3) 余掘及び余巻コンクリート</p> <p>インバート施工において設計厚に対する余掘・余巻コンクリート厚は5cmを標準とする。</p> <p>4-4-2 施工概要</p> <p style="text-align: center;">インバート施工標準作業フロー</p> <div style="text-align: center;"> </div> <p>4-4-3 インバート掘削工</p> <p>(1) インバート掘削工の施工歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.27 インバート掘削工施工歩掛 (10m³当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>トンネル世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.16</td> </tr> <tr> <td>トンネル特殊工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.39</td> </tr> <tr> <td>トンネル作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.20</td> </tr> <tr> <td>大型ブレーカ運転</td> <td>トンネル工事用油圧式600～800kg級</td> <td>日</td> <td>0.15</td> </tr> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>トンネル工事用排出ガス対策型・クローラ型 山積0.45m³(平積0.35m³)</td> <td>h</td> <td>1.30</td> </tr> <tr> <td>チゼル損耗費</td> <td>600～800kg級用</td> <td>本</td> <td>0.01</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 機械の運転労務は、上表労務人員で行う。 2. 上表には、破砕片除去、掘削面整形及びざり積込作業を含む。</p> <p>4-4-4 インバートざり出し工</p> <p>(1) インバートざり出し運搬作業歩掛</p> <p>① ざり出し方式</p> <p>直送方式の場合はすべて坑内作業とし、積替方式の場合は一次運搬（坑内～積替場所）は直送方式に準じ、二次運搬（積替場所～捨場等）は一般運搬工で積算する。なお、直送方式と積替方式の範囲は、片道2.5km程度（運搬距離）が標準である。</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	トンネル世話役		人	0.16	トンネル特殊工		〃	0.39	トンネル作業員		〃	0.20	大型ブレーカ運転	トンネル工事用油圧式600～800kg級	日	0.15	バックホウ運転	トンネル工事用排出ガス対策型・クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	h	1.30	チゼル損耗費	600～800kg級用	本	0.01	<p style="text-align: center;">現 行 通 り</p> <p>4-4-3 インバート掘削工</p> <p>(1) インバート掘削工の施工歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.27 インバート掘削工施工歩掛 (10m³当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>トンネル世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.15</td> </tr> <tr> <td>トンネル特殊工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.44</td> </tr> <tr> <td>トンネル作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.15</td> </tr> <tr> <td>大型ブレーカ運転</td> <td>トンネル工事用排出ガス対策型 油圧式1,300kg級</td> <td>日</td> <td>0.15</td> </tr> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>トンネル工事用排出ガス対策型 クローラ型・山積0.45m³(平積0.35m³)</td> <td>h</td> <td>0.94</td> </tr> <tr> <td>チゼル損耗費</td> <td>1,300kg級用</td> <td>本</td> <td>0.01</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 機械の運転労務は、上表労務人員で行う。 2. 上表には、破砕片除去、掘削面整形及びざり積込作業を含む。</p> <p>4-4-4 インバートざり出し工</p> <p>(1) インバートざり出し運搬作業歩掛</p> <p>① ざり出し方式</p> <p>直送方式の場合はすべて坑内作業とし、積替方式の場合は一次運搬（坑内～積替場所）は直送方式に準じ、二次運搬（積替場所～捨場等）は一般運搬工で積算する。なお、直送方式と積替方式の範囲は、片道2.5km程度（運搬距離）が標準である。</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	トンネル世話役		人	0.15	トンネル特殊工		〃	0.44	トンネル作業員		〃	0.15	大型ブレーカ運転	トンネル工事用排出ガス対策型 油圧式1,300kg級	日	0.15	バックホウ運転	トンネル工事用排出ガス対策型 クローラ型・山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	h	0.94	チゼル損耗費	1,300kg級用	本	0.01
名 称	規 格	単 位	数 量																																																							
トンネル世話役		人	0.16																																																							
トンネル特殊工		〃	0.39																																																							
トンネル作業員		〃	0.20																																																							
大型ブレーカ運転	トンネル工事用油圧式600～800kg級	日	0.15																																																							
バックホウ運転	トンネル工事用排出ガス対策型・クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	h	1.30																																																							
チゼル損耗費	600～800kg級用	本	0.01																																																							
名 称	規 格	単 位	数 量																																																							
トンネル世話役		人	0.15																																																							
トンネル特殊工		〃	0.44																																																							
トンネル作業員		〃	0.15																																																							
大型ブレーカ運転	トンネル工事用排出ガス対策型 油圧式1,300kg級	日	0.15																																																							
バックホウ運転	トンネル工事用排出ガス対策型 クローラ型・山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	h	0.94																																																							
チゼル損耗費	1,300kg級用	本	0.01																																																							

土木工事標準歩掛の一部改定
トンネル工 (NATM) [発破工法]

工種名	現 行	改 定																																																																										
	<p>② ずり出し工の施工歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.28 ずり出し工施工歩掛 (10m³当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>トンネル特殊工</td> <td></td> <td>人</td> <td>$\frac{10m^3}{Qt} \times \frac{1}{8}$</td> </tr> <tr> <td>ダンプトラック運転</td> <td>坑内用普通 ディーゼル10t積級</td> <td>h</td> <td>$\frac{10m^3}{Qt}$</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 機械の運転労務は、上表労務人員で行う。 2. ダンプトラック運転1時間当りずり運搬土量Qtは、次式による。</p> $Qt = \frac{60 \times qt \times Et}{Cmt} \quad (m^3/h)$ <p>Qt : ダンプトラック運転1時間当り運搬土量(地山土量) (m³/h) qt : ダンプトラックの積載土量(地山土量) (m³) qtは、次表を標準とする。ただし、地山の大部分が土砂の場合は、別途考慮する。</p> <p style="text-align: center;">表4.29 積載土量(qt) (m³)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>掘削区分</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>積載土量</td> <td>4.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>Et : 作業係数(標準Et=0.9) Cmt : ダンプトラックのサイクルタイム(min) Cmt=Cm1+Cm2</p> $Cm1 = \frac{60 \times qt}{Qs}$ $Cm2 = 60 \times \left(\frac{L}{V} + \frac{L'}{V'} + \frac{t}{60} \right)$ <p>Qs : バックホウ運転1時間当りの作業能力=20m³/h L : 坑内加重平均運搬距離(往復)……………(km) L' : 坑外運搬距離(往復)……………(m) V : 平均坑内運搬速度(表4.30による) V' : 平均坑外運搬速度(標準V' =12km/hなお、片道運搬距離が1,000m以上の場合は、別途考慮する) t : ずり捨時間及び坑内待時間(標準 t =3min)</p> <p>平均坑内運搬速度は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.30 平均坑内運搬速度 (km/h)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>坑内片道運搬距離(m)</th> <th>L < 600</th> <th>L ≥ 600</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平均坑内運搬速度</td> <td>8</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table> <p>4-4-5 インバート鉄筋工(加工・組立) 鉄筋の加工・組立については、別途計上する。</p> <p>4-4-6 インバート型枠工(製作・設置・撤去) (1) 型枠製作歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.31 型枠製作歩掛 (100m²当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1.3</td> </tr> <tr> <td>型 枠 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>4.9</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>2.8</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>16</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 諸雑費は、型枠合板、さん木、洋釘等の材料及び電気ドリル、電気鋸、電力に関する経費等の費用であり、上表の労務費の合計額に諸雑費率を乗じた金額を上限として計上する。</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	トンネル特殊工		人	$\frac{10m^3}{Qt} \times \frac{1}{8}$	ダンプトラック運転	坑内用普通 ディーゼル10t積級	h	$\frac{10m^3}{Qt}$	掘削区分	D	積載土量	4.5	坑内片道運搬距離(m)	L < 600	L ≥ 600	平均坑内運搬速度	8	10	名 称	規 格	単 位	数 量	世 話 役		人	1.3	型 枠 工		〃	4.9	普 通 作 業 員		〃	2.8	諸 雑 費 率		%	16	<p>② ずり出し工の施工歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.28 ずり出し工施工歩掛 (10m³当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>トンネル特殊工</td> <td></td> <td>人</td> <td style="color: red;">0.10</td> </tr> <tr> <td>ダンプトラック運転</td> <td>坑内用 普通 ディーゼル10t積級</td> <td>h</td> <td style="color: red;">1.52</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 機械の運転労務は、上表労務人員で行う。</p> <div style="text-align: center; margin: 20px 0;"> <p style="font-size: 2em; color: red;">}</p> <p style="font-size: 2em; color: red;">削除</p> </div> <p>4-4-5 インバート鉄筋工(加工・組立) 鉄筋の加工・組立については、別途計上する。</p> <p>4-4-6 インバート型枠工(製作・設置・撤去) (1) 型枠製作歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.29 型枠製作歩掛 (100m²当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td style="color: red;">1.5</td> </tr> <tr> <td>型 枠 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td style="color: red;">5.9</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td style="color: red;">1.5</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>16</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 諸雑費は、型枠合板、さん木、洋釘等の材料及び電気ドリル、電気鋸、電力に関する経費等の費用であり、上表の労務費の合計額に諸雑費率を乗じた金額を上限として計上する。</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	トンネル特殊工		人	0.10	ダンプトラック運転	坑内用 普通 ディーゼル10t積級	h	1.52	名 称	規 格	単 位	数 量	世 話 役		人	1.5	型 枠 工		〃	5.9	普 通 作 業 員		〃	1.5	諸 雑 費 率		%	16
名 称	規 格	単 位	数 量																																																																									
トンネル特殊工		人	$\frac{10m^3}{Qt} \times \frac{1}{8}$																																																																									
ダンプトラック運転	坑内用普通 ディーゼル10t積級	h	$\frac{10m^3}{Qt}$																																																																									
掘削区分	D																																																																											
積載土量	4.5																																																																											
坑内片道運搬距離(m)	L < 600	L ≥ 600																																																																										
平均坑内運搬速度	8	10																																																																										
名 称	規 格	単 位	数 量																																																																									
世 話 役		人	1.3																																																																									
型 枠 工		〃	4.9																																																																									
普 通 作 業 員		〃	2.8																																																																									
諸 雑 費 率		%	16																																																																									
名 称	規 格	単 位	数 量																																																																									
トンネル特殊工		人	0.10																																																																									
ダンプトラック運転	坑内用 普通 ディーゼル10t積級	h	1.52																																																																									
名 称	規 格	単 位	数 量																																																																									
世 話 役		人	1.5																																																																									
型 枠 工		〃	5.9																																																																									
普 通 作 業 員		〃	1.5																																																																									
諸 雑 費 率		%	16																																																																									

土木工事標準歩掛の一部改定
トンネル工（NATM）〔発破工法〕

工種名	現 行	改 定																																																																																																																																								
	<p>(2) 型枠設置及び撤去歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.32 型枠設置・撤去歩掛 (100m²当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>トンネル世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>4.5</td> </tr> <tr> <td>トンネル特殊工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>15.3</td> </tr> <tr> <td>トンネル作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>6.8</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>13</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 型枠設置・撤去歩掛には、はく離剤塗布、ケレン作業を含む。 2. 諸雑費は、合板、組立支持材、はく離剤等の費用であり、上表の労務費の合計額に諸雑費率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>4-4-7 インバートコンクリート工（打設・養生）</p> <p>(1) インバートコンクリート工（打設・養生）歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.33 インバートコンクリート工（打設・養生）歩掛 (10m³当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>打設・養生</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>トンネル世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.12</td> </tr> <tr> <td>トンネル特殊工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.53</td> </tr> <tr> <td>トンネル作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.22</td> </tr> <tr> <td>コンクリートポンプ車運転</td> <td>黒煙浄化装置付 ブーム式圧送能力90~110m³/h</td> <td>h</td> <td>0.70</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 打設歩掛には、打設に先立ち掘削面の清掃、排水、ポンプ車の移動、据付打設後の打設用パイプ清掃等の労務も含む。 2. 養生歩掛は、散水養生程度とする。 3. 機械運転労務は、上表労務人員で行う。 4. コンクリートの使用量は「第5章コンクリート工①コンクリート工 3.材料の使用量」による。 5. 諸雑費は、コンクリート締固め機、養生用散水ポンプ損料、養生用シート等の費用であり、上表の労務費の合計額に諸雑費率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>4-4-8 インバート埋戻工（敷均し・締固め）</p> <p>(1) インバート敷均し・締固め工歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.34 インバート敷均し・締固め工歩掛 (10m³当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>トンネル世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.05</td> </tr> <tr> <td>トンネル特殊工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.14</td> </tr> <tr> <td>トンネル作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.08</td> </tr> <tr> <td>ブルドーザ運転</td> <td>排出ガス対策型、黒煙浄化装置付 普通15t級 (13~16t)</td> <td>h</td> <td>0.51</td> </tr> <tr> <td>タイヤローラ運転</td> <td>排出ガス対策型 黒煙浄化装置付 8~20t</td> <td>日</td> <td>0.06</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、ブルドーザによる敷均し、タイヤローラによる転圧作業である。 2. 機械の運転労務は、上表労務人員で行う。 3. タイヤローラは、賃料とする。</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	トンネル世話役		人	4.5	トンネル特殊工		〃	15.3	トンネル作業員		〃	6.8	諸 雑 費 率		%	13	名 称	規 格	単 位	打設・養生	トンネル世話役		人	0.12	トンネル特殊工		〃	0.53	トンネル作業員		〃	0.22	コンクリートポンプ車運転	黒煙浄化装置付 ブーム式圧送能力90~110m ³ /h	h	0.70	諸 雑 費 率		%	1	名 称	規 格	単 位	数 量	トンネル世話役		人	0.05	トンネル特殊工		〃	0.14	トンネル作業員		〃	0.08	ブルドーザ運転	排出ガス対策型、黒煙浄化装置付 普通15t級 (13~16t)	h	0.51	タイヤローラ運転	排出ガス対策型 黒煙浄化装置付 8~20t	日	0.06	<p>(2) 型枠設置及び撤去歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.30 型枠設置・撤去歩掛 (100m²当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>トンネル世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>4.0</td> </tr> <tr> <td>トンネル特殊工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>16.1</td> </tr> <tr> <td>トンネル作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>4.0</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>14</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 型枠設置・撤去歩掛には、はく離剤塗布、ケレン作業を含む。 2. 諸雑費は、合板、組立支持材、はく離剤等の費用であり、上表の労務費の合計額に諸雑費率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>4-4-7 インバートコンクリート工（打設・養生）</p> <p>(1) インバートコンクリート工（打設・養生）歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.31 インバートコンクリート工（打設・養生）歩掛 (10m³当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>打設・養生</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>トンネル世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.12</td> </tr> <tr> <td>トンネル特殊工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.62</td> </tr> <tr> <td>トンネル作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.12</td> </tr> <tr> <td>コンクリートポンプ車運転</td> <td>黒煙浄化装置付 ブーム式圧送能力90~110m³/h</td> <td>h</td> <td>0.80</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 打設歩掛には、打設に先立ち掘削面の清掃、排水、ポンプ車の移動、据付打設後の打設用パイプ清掃等の労務も含む。 2. 養生歩掛は、散水養生程度とする。 3. 機械運転労務は、上表労務人員で行う。 4. コンクリートの使用量は「第5章コンクリート工①コンクリート工 3.材料の使用量」による。 5. 諸雑費は、コンクリート締固め機、養生用散水ポンプ損料、養生用シート等の費用であり、上表の労務費の合計額に諸雑費率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>4-4-8 インバート埋戻工（敷均し・締固め）</p> <p>(1) インバート敷均し・締固め工歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.32 インバート敷均し・締固め工歩掛 (10m³当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>トンネル世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.07</td> </tr> <tr> <td>トンネル特殊工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.13</td> </tr> <tr> <td>トンネル作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.07</td> </tr> <tr> <td>ブルドーザ運転</td> <td>排出ガス対策型、黒煙浄化装置付 普通15t級 (13~16t)</td> <td>h</td> <td>0.48</td> </tr> <tr> <td>タイヤローラ運転</td> <td>排出ガス対策型 黒煙浄化装置付 8~20t</td> <td>日</td> <td>0.05</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、ブルドーザによる敷均し、タイヤローラによる転圧作業である。 2. 機械の運転労務は、上表労務人員で行う。 3. タイヤローラは、賃料とする。</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	トンネル世話役		人	4.0	トンネル特殊工		〃	16.1	トンネル作業員		〃	4.0	諸 雑 費 率		%	14	名 称	規 格	単 位	打設・養生	トンネル世話役		人	0.12	トンネル特殊工		〃	0.62	トンネル作業員		〃	0.12	コンクリートポンプ車運転	黒煙浄化装置付 ブーム式圧送能力90~110m ³ /h	h	0.80	諸 雑 費 率		%	1	名 称	規 格	単 位	数 量	トンネル世話役		人	0.07	トンネル特殊工		〃	0.13	トンネル作業員		〃	0.07	ブルドーザ運転	排出ガス対策型、黒煙浄化装置付 普通15t級 (13~16t)	h	0.48	タイヤローラ運転	排出ガス対策型 黒煙浄化装置付 8~20t	日	0.05
名 称	規 格	単 位	数 量																																																																																																																																							
トンネル世話役		人	4.5																																																																																																																																							
トンネル特殊工		〃	15.3																																																																																																																																							
トンネル作業員		〃	6.8																																																																																																																																							
諸 雑 費 率		%	13																																																																																																																																							
名 称	規 格	単 位	打設・養生																																																																																																																																							
トンネル世話役		人	0.12																																																																																																																																							
トンネル特殊工		〃	0.53																																																																																																																																							
トンネル作業員		〃	0.22																																																																																																																																							
コンクリートポンプ車運転	黒煙浄化装置付 ブーム式圧送能力90~110m ³ /h	h	0.70																																																																																																																																							
諸 雑 費 率		%	1																																																																																																																																							
名 称	規 格	単 位	数 量																																																																																																																																							
トンネル世話役		人	0.05																																																																																																																																							
トンネル特殊工		〃	0.14																																																																																																																																							
トンネル作業員		〃	0.08																																																																																																																																							
ブルドーザ運転	排出ガス対策型、黒煙浄化装置付 普通15t級 (13~16t)	h	0.51																																																																																																																																							
タイヤローラ運転	排出ガス対策型 黒煙浄化装置付 8~20t	日	0.06																																																																																																																																							
名 称	規 格	単 位	数 量																																																																																																																																							
トンネル世話役		人	4.0																																																																																																																																							
トンネル特殊工		〃	16.1																																																																																																																																							
トンネル作業員		〃	4.0																																																																																																																																							
諸 雑 費 率		%	14																																																																																																																																							
名 称	規 格	単 位	打設・養生																																																																																																																																							
トンネル世話役		人	0.12																																																																																																																																							
トンネル特殊工		〃	0.62																																																																																																																																							
トンネル作業員		〃	0.12																																																																																																																																							
コンクリートポンプ車運転	黒煙浄化装置付 ブーム式圧送能力90~110m ³ /h	h	0.80																																																																																																																																							
諸 雑 費 率		%	1																																																																																																																																							
名 称	規 格	単 位	数 量																																																																																																																																							
トンネル世話役		人	0.07																																																																																																																																							
トンネル特殊工		〃	0.13																																																																																																																																							
トンネル作業員		〃	0.07																																																																																																																																							
ブルドーザ運転	排出ガス対策型、黒煙浄化装置付 普通15t級 (13~16t)	h	0.48																																																																																																																																							
タイヤローラ運転	排出ガス対策型 黒煙浄化装置付 8~20t	日	0.05																																																																																																																																							

土木工事標準歩掛の一部改定 トンネル工（NATM）【発破工法】

工種名	現 行	改 定																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	<p>(2) 埋戻し材の積込作業時間は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.35 埋戻し材の積込作業時間 (10m³当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型・クローラ型 山積0.45m³(平積0.35m³)</td> <td>h</td> <td>0.50</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 上表は、埋戻し材に掘削ずりを利用する場合の積込作業の時間である。</p> <p>(3) 埋戻し材運搬ダンプトラックの作業能力 埋戻し材に掘削ずりを使用する場合のダンプトラックの作業能力は、「インバートずり出し工4-4-4-4(1)ずり出し運搬作業歩掛」による。</p> <p>4-5 覆 工 工</p> <p>(1) 防水工施工歩掛 防水工の施工歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.36 防水工施工歩掛 (10m²当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>職 種</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>トンネル世話役</td> <td>人</td> <td>0.06</td> </tr> <tr> <td>トンネル特殊工</td> <td>〃</td> <td>0.17</td> </tr> <tr> <td>トンネル作業員</td> <td>〃</td> <td>0.12</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 上表は、裏面排水設置労務を含む。ただし、裏面排水材料は別途計上する。</p> <p>(2) 覆工、防水機械の機種を選定および機械歩掛 覆工、防水機械の機種・規格は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.37 機種を選定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>機 種</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>防水作業台車</td> <td>長さ4.5m</td> <td>台</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>スライドセントル</td> <td>L=10.5m</td> <td>基</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>コンクリートポンプ車</td> <td>黒煙浄化装置付 配管式圧送能力90~100m³/h</td> <td>台</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. スライドセントルは、線形及び現場条件等により標準外になる場合は、別途考慮するものとする。 2. コンクリートポンプ車の作業能力は、17m³/hとする。</p> <p style="text-align: center;">表4.38 コンクリートポンプ車</p> <p>規格：黒煙浄化装置付 配管式圧送能力90~100m³/h</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘削方法</th> <th rowspan="2">岩区分</th> <th colspan="10">設計掘削断面積(m²)</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>50</th><th>55</th><th>60</th><th>65</th><th>70</th><th>75</th><th>80</th><th>85</th><th>90</th><th>95</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">補助ベンチ付 全断面工法</td> <td>B</td> <td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td></td> </tr> <tr> <td>C I</td> <td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td></td> </tr> <tr> <td>C II</td> <td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">上下半交互 併進工法</td> <td>D I</td> <td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td></td> </tr> <tr> <td>D II</td> <td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">表4.39 スライドセントル</p> <p>規格：L=10.5m</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘削方法</th> <th rowspan="2">岩区分</th> <th colspan="10">設計掘削断面積(m²)</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>50</th><th>55</th><th>60</th><th>65</th><th>70</th><th>75</th><th>80</th><th>85</th><th>90</th><th>95</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">補助ベンチ付 全断面工法</td> <td>B</td> <td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td></td> </tr> <tr> <td>C I</td> <td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td></td> </tr> <tr> <td>C II</td> <td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">上下半交互 併進工法</td> <td>D I</td> <td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td></td> </tr> <tr> <td>D II</td> <td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	バックホウ運転	排出ガス対策型・クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	h	0.50	職 種	単 位	数 量	トンネル世話役	人	0.06	トンネル特殊工	〃	0.17	トンネル作業員	〃	0.12	機 種	規 格	単 位	数 量	防水作業台車	長さ4.5m	台	1	スライドセントル	L=10.5m	基	1	コンクリートポンプ車	黒煙浄化装置付 配管式圧送能力90~100m ³ /h	台	1	掘削方法	岩区分	設計掘削断面積(m ²)										摘要	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	補助ベンチ付 全断面工法	B	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065		C I	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065		C II	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065		上下半交互 併進工法	D I	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065		D II	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065		掘削方法	岩区分	設計掘削断面積(m ²)										摘要	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	補助ベンチ付 全断面工法	B	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		C I	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		C II	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		上下半交互 併進工法	D I	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		D II	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		<p>(2) 埋戻し材の積込作業時間は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.33 埋戻し材の積込作業時間 (10m³当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型 クローラ型 山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>h</td> <td>0.48</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 上表は、埋戻し材に掘削ずりを利用する場合の積込作業の時間である。</p> <p>(3) 埋戻し材運搬ダンプトラックの作業能力 埋戻し材に掘削ずりを使用する場合のダンプトラックの作業能力は、「インバートずり出し工4-4-4-4(1)ずり出し運搬作業歩掛」による。</p> <p>4-5 覆 工 工</p> <p>(1) 防水工施工歩掛 防水工の施工歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.34 防水工施工歩掛 (10m²当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>職 種</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>トンネル世話役</td> <td>人</td> <td>0.08</td> </tr> <tr> <td>トンネル特殊工</td> <td>〃</td> <td>0.15</td> </tr> <tr> <td>トンネル作業員</td> <td>〃</td> <td>0.08</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 上表は、裏面排水設置労務を含む。ただし、裏面排水材料は別途計上する。</p> <p>(2) 覆工、防水機械の機種を選定および機械歩掛 覆工、防水機械の機種・規格は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.35 機種を選定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>機 種</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>防水作業台車</td> <td>長さ6.0m</td> <td>台</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>スライドセントル</td> <td>L=10.5m</td> <td>基</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>コンクリートポンプ車</td> <td>黒煙浄化装置付 配管式圧送能力90~100m³/h</td> <td>台</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. スライドセントルは、線形及び現場条件等により標準外になる場合は、別途考慮するものとする。 2. コンクリートポンプ車の作業能力は、17m³/hとする。</p> <p style="text-align: center;">表4.36 コンクリートポンプ車</p> <p>規格：黒煙浄化装置付 配管式圧送能力90~100m³/h</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘削方法</th> <th rowspan="2">岩区分</th> <th colspan="10">設計掘削断面積(m²)</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>50</th><th>55</th><th>60</th><th>65</th><th>70</th><th>75</th><th>80</th><th>85</th><th>90</th><th>95</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">補助ベンチ付 全断面工法</td> <td>B</td> <td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td></td> </tr> <tr> <td>C I</td> <td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td></td> </tr> <tr> <td>C II</td> <td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">上下半交互 併進工法</td> <td>D I</td> <td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td></td> </tr> <tr> <td>D II</td> <td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">表4.37 スライドセントル</p> <p>規格：L=10.5m</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘削方法</th> <th rowspan="2">岩区分</th> <th colspan="10">設計掘削断面積(m²)</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>50</th><th>55</th><th>60</th><th>65</th><th>70</th><th>75</th><th>80</th><th>85</th><th>90</th><th>95</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">補助ベンチ付 全断面工法</td> <td>B</td> <td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td></td> </tr> <tr> <td>C I</td> <td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td></td> </tr> <tr> <td>C II</td> <td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">上下半交互 併進工法</td> <td>D I</td> <td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td></td> </tr> <tr> <td>D II</td> <td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	バックホウ運転	排出ガス対策型 クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	h	0.48	職 種	単 位	数 量	トンネル世話役	人	0.08	トンネル特殊工	〃	0.15	トンネル作業員	〃	0.08	機 種	規 格	単 位	数 量	防水作業台車	長さ6.0m	台	1	スライドセントル	L=10.5m	基	1	コンクリートポンプ車	黒煙浄化装置付 配管式圧送能力90~100m ³ /h	台	1	掘削方法	岩区分	設計掘削断面積(m ²)										摘要	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	補助ベンチ付 全断面工法	B	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065		C I	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065		C II	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065		上下半交互 併進工法	D I	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065		D II	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065		掘削方法	岩区分	設計掘削断面積(m ²)										摘要	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	補助ベンチ付 全断面工法	B	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		C I	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		C II	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		上下半交互 併進工法	D I	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		D II	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	
名 称	規 格	単 位	数 量																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
バックホウ運転	排出ガス対策型・クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	h	0.50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
職 種	単 位	数 量																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
トンネル世話役	人	0.06																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
トンネル特殊工	〃	0.17																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
トンネル作業員	〃	0.12																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
機 種	規 格	単 位	数 量																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
防水作業台車	長さ4.5m	台	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
スライドセントル	L=10.5m	基	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
コンクリートポンプ車	黒煙浄化装置付 配管式圧送能力90~100m ³ /h	台	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
掘削方法	岩区分	設計掘削断面積(m ²)										摘要																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		50	55	60	65	70	75	80	85	90	95																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
補助ベンチ付 全断面工法	B	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	C I	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	C II	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
上下半交互 併進工法	D I	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	D II	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
掘削方法	岩区分	設計掘削断面積(m ²)										摘要																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		50	55	60	65	70	75	80	85	90	95																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
補助ベンチ付 全断面工法	B	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	C I	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	C II	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
上下半交互 併進工法	D I	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	D II	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
名 称	規 格	単 位	数 量																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
バックホウ運転	排出ガス対策型 クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	h	0.48																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
職 種	単 位	数 量																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
トンネル世話役	人	0.08																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
トンネル特殊工	〃	0.15																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
トンネル作業員	〃	0.08																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
機 種	規 格	単 位	数 量																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
防水作業台車	長さ6.0m	台	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
スライドセントル	L=10.5m	基	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
コンクリートポンプ車	黒煙浄化装置付 配管式圧送能力90~100m ³ /h	台	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
掘削方法	岩区分	設計掘削断面積(m ²)										摘要																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		50	55	60	65	70	75	80	85	90	95																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
補助ベンチ付 全断面工法	B	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	C I	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	C II	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
上下半交互 併進工法	D I	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	D II	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
掘削方法	岩区分	設計掘削断面積(m ²)										摘要																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		50	55	60	65	70	75	80	85	90	95																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
補助ベンチ付 全断面工法	B	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	C I	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	C II	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
上下半交互 併進工法	D I	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	D II	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			

土木工事標準歩掛の一部改定
トンネル工（NATM）〔発破工法〕

工種名	現 行	改 定																																																																																																																																																																										
	<p>表4.40 防水作業台車</p> <p>規格：長さ4.5m m/(トンネル延長)1m当り</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘削方法</th> <th rowspan="2">岩区分</th> <th colspan="10">設計掘削断面積 (㎡)</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>50</th><th>55</th><th>60</th><th>65</th><th>70</th><th>75</th><th>80</th><th>85</th><th>90</th><th>95</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">補助ベンチ付 全断面工法</td> <td>B</td> <td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td></td> </tr> <tr> <td>C I</td> <td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td></td> </tr> <tr> <td>C II</td> <td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">上下半交互 併進工法</td> <td>D I</td> <td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td></td> </tr> <tr> <td>D II</td> <td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td></td> </tr> </tbody> </table>	掘削方法	岩区分	設計掘削断面積 (㎡)										摘要	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	補助ベンチ付 全断面工法	B	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		C I	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		C II	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		上下半交互 併進工法	D I	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		D II	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		<p>表4.38 防水作業台車</p> <p>規格：長さ6.0m m/(トンネル延長)1m当り</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘削方法</th> <th rowspan="2">岩区分</th> <th colspan="10">設計掘削断面積 (㎡)</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>50</th><th>55</th><th>60</th><th>65</th><th>70</th><th>75</th><th>80</th><th>85</th><th>90</th><th>95</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">補助ベンチ付 全断面工法</td> <td>B</td> <td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td></td> </tr> <tr> <td>C I</td> <td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td></td> </tr> <tr> <td>C II</td> <td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">上下半交互 併進工法</td> <td>D I</td> <td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td></td> </tr> <tr> <td>D II</td> <td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td></td> </tr> </tbody> </table>	掘削方法	岩区分	設計掘削断面積 (㎡)										摘要	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	補助ベンチ付 全断面工法	B	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		C I	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		C II	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		上下半交互 併進工法	D I	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		D II	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	
掘削方法	岩区分			設計掘削断面積 (㎡)											摘要																																																																																																																																																													
		50	55	60	65	70	75	80	85	90	95																																																																																																																																																																	
補助ベンチ付 全断面工法	B	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0																																																																																																																																																																	
	C I	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0																																																																																																																																																																	
	C II	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0																																																																																																																																																																	
上下半交互 併進工法	D I	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0																																																																																																																																																																	
	D II	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0																																																																																																																																																																	
掘削方法	岩区分	設計掘削断面積 (㎡)										摘要																																																																																																																																																																
		50	55	60	65	70	75	80	85	90	95																																																																																																																																																																	
補助ベンチ付 全断面工法	B	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0																																																																																																																																																																	
	C I	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0																																																																																																																																																																	
	C II	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0																																																																																																																																																																	
上下半交互 併進工法	D I	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0																																																																																																																																																																	
	D II	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0																																																																																																																																																																	
	<p>(3) 材料等歩掛</p> <p>① 防水シート</p> <p>防水シートの使用量は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.41 防水シート</p> <p style="text-align: right;">㎡/(トンネル延長)1m当り</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘削方法</th> <th rowspan="2">岩区分</th> <th colspan="10">設計掘削断面積 (㎡)</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>50</th><th>55</th><th>60</th><th>65</th><th>70</th><th>75</th><th>80</th><th>85</th><th>90</th><th>95</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">補助ベンチ付 全断面工法</td> <td>B</td> <td>18.15</td><td>18.87</td><td>19.60</td><td>20.32</td><td>21.04</td><td>21.77</td><td>22.49</td><td>23.22</td><td>23.94</td><td>24.67</td><td></td> </tr> <tr> <td>C I</td> <td>17.92</td><td>18.64</td><td>19.37</td><td>20.09</td><td>20.81</td><td>21.53</td><td>22.25</td><td>22.98</td><td>23.70</td><td>24.42</td><td></td> </tr> <tr> <td>C II</td> <td>18.36</td><td>19.02</td><td>19.69</td><td>20.36</td><td>21.03</td><td>21.70</td><td>22.37</td><td>23.04</td><td>23.71</td><td>24.38</td><td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">上下半交互 併進工法</td> <td>D I</td> <td>18.48</td><td>19.13</td><td>19.78</td><td>20.43</td><td>21.08</td><td>21.73</td><td>22.39</td><td>23.04</td><td>23.69</td><td>24.34</td><td></td> </tr> <tr> <td>D II</td> <td>17.56</td><td>18.29</td><td>19.02</td><td>19.75</td><td>20.47</td><td>21.20</td><td>21.93</td><td>22.66</td><td>23.39</td><td>24.12</td><td></td> </tr> </tbody> </table>	掘削方法	岩区分	設計掘削断面積 (㎡)										摘要	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	補助ベンチ付 全断面工法	B	18.15	18.87	19.60	20.32	21.04	21.77	22.49	23.22	23.94	24.67		C I	17.92	18.64	19.37	20.09	20.81	21.53	22.25	22.98	23.70	24.42		C II	18.36	19.02	19.69	20.36	21.03	21.70	22.37	23.04	23.71	24.38		上下半交互 併進工法	D I	18.48	19.13	19.78	20.43	21.08	21.73	22.39	23.04	23.69	24.34		D II	17.56	18.29	19.02	19.75	20.47	21.20	21.93	22.66	23.39	24.12		<p>(3) 材料等歩掛</p> <p>① 防水シート</p> <p>防水シートの使用量は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.39 防水シート</p> <p style="text-align: right;">㎡/(トンネル延長)1m当り</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘削方法</th> <th rowspan="2">岩区分</th> <th colspan="10">設計掘削断面積 (㎡)</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>50</th><th>55</th><th>60</th><th>65</th><th>70</th><th>75</th><th>80</th><th>85</th><th>90</th><th>95</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">補助ベンチ付 全断面工法</td> <td>B</td> <td>18.15</td><td>18.87</td><td>19.60</td><td>20.32</td><td>21.04</td><td>21.77</td><td>22.49</td><td>23.22</td><td>23.94</td><td>24.67</td><td></td> </tr> <tr> <td>C I</td> <td>17.92</td><td>18.64</td><td>19.37</td><td>20.09</td><td>20.81</td><td>21.53</td><td>22.25</td><td>22.98</td><td>23.70</td><td>24.42</td><td></td> </tr> <tr> <td>C II</td> <td>18.36</td><td>19.02</td><td>19.69</td><td>20.36</td><td>21.03</td><td>21.70</td><td>22.37</td><td>23.04</td><td>23.71</td><td>24.38</td><td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">上下半交互 併進工法</td> <td>D I</td> <td>18.48</td><td>19.13</td><td>19.78</td><td>20.43</td><td>21.08</td><td>21.73</td><td>22.39</td><td>23.04</td><td>23.69</td><td>24.34</td><td></td> </tr> <tr> <td>D II</td> <td>17.56</td><td>18.29</td><td>19.02</td><td>19.75</td><td>20.47</td><td>21.20</td><td>21.93</td><td>22.66</td><td>23.39</td><td>24.12</td><td></td> </tr> </tbody> </table>	掘削方法	岩区分	設計掘削断面積 (㎡)										摘要	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	補助ベンチ付 全断面工法	B	18.15	18.87	19.60	20.32	21.04	21.77	22.49	23.22	23.94	24.67		C I	17.92	18.64	19.37	20.09	20.81	21.53	22.25	22.98	23.70	24.42		C II	18.36	19.02	19.69	20.36	21.03	21.70	22.37	23.04	23.71	24.38		上下半交互 併進工法	D I	18.48	19.13	19.78	20.43	21.08	21.73	22.39	23.04	23.69	24.34		D II	17.56	18.29	19.02	19.75	20.47	21.20	21.93	22.66	23.39	24.12	
掘削方法	岩区分			設計掘削断面積 (㎡)											摘要																																																																																																																																																													
		50	55	60	65	70	75	80	85	90	95																																																																																																																																																																	
補助ベンチ付 全断面工法	B	18.15	18.87	19.60	20.32	21.04	21.77	22.49	23.22	23.94	24.67																																																																																																																																																																	
	C I	17.92	18.64	19.37	20.09	20.81	21.53	22.25	22.98	23.70	24.42																																																																																																																																																																	
	C II	18.36	19.02	19.69	20.36	21.03	21.70	22.37	23.04	23.71	24.38																																																																																																																																																																	
上下半交互 併進工法	D I	18.48	19.13	19.78	20.43	21.08	21.73	22.39	23.04	23.69	24.34																																																																																																																																																																	
	D II	17.56	18.29	19.02	19.75	20.47	21.20	21.93	22.66	23.39	24.12																																																																																																																																																																	
掘削方法	岩区分	設計掘削断面積 (㎡)										摘要																																																																																																																																																																
		50	55	60	65	70	75	80	85	90	95																																																																																																																																																																	
補助ベンチ付 全断面工法	B	18.15	18.87	19.60	20.32	21.04	21.77	22.49	23.22	23.94	24.67																																																																																																																																																																	
	C I	17.92	18.64	19.37	20.09	20.81	21.53	22.25	22.98	23.70	24.42																																																																																																																																																																	
	C II	18.36	19.02	19.69	20.36	21.03	21.70	22.37	23.04	23.71	24.38																																																																																																																																																																	
上下半交互 併進工法	D I	18.48	19.13	19.78	20.43	21.08	21.73	22.39	23.04	23.69	24.34																																																																																																																																																																	
	D II	17.56	18.29	19.02	19.75	20.47	21.20	21.93	22.66	23.39	24.12																																																																																																																																																																	
	<p>② 覆工コンクリート</p> <p>覆工コンクリートの使用量は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.42 生コンクリート（余巻を含む）</p> <p style="text-align: right;">m³/(トンネル延長)1m当り</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘削方法</th> <th rowspan="2">岩区分</th> <th colspan="10">設計掘削断面積 (㎡)</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>50</th><th>55</th><th>60</th><th>65</th><th>70</th><th>75</th><th>80</th><th>85</th><th>90</th><th>95</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">補助ベンチ付 全断面工法</td> <td>B</td> <td>9.82</td><td>10.16</td><td>10.49</td><td>10.82</td><td>11.16</td><td>11.49</td><td>11.82</td><td>12.15</td><td>12.49</td><td>12.82</td><td></td> </tr> <tr> <td>C I</td> <td>8.87</td><td>9.13</td><td>9.40</td><td>9.66</td><td>9.93</td><td>10.19</td><td>10.46</td><td>10.72</td><td>10.99</td><td>11.25</td><td></td> </tr> <tr> <td>C II</td> <td>8.02</td><td>8.28</td><td>8.54</td><td>8.79</td><td>9.05</td><td>9.31</td><td>9.57</td><td>9.82</td><td>10.08</td><td>10.34</td><td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">上下半交互 併進工法</td> <td>D I</td> <td>7.39</td><td>7.64</td><td>7.89</td><td>8.14</td><td>8.39</td><td>8.64</td><td>8.90</td><td>9.15</td><td>9.40</td><td>9.65</td><td></td> </tr> <tr> <td>D II</td> <td>6.39</td><td>6.77</td><td>7.15</td><td>7.52</td><td>7.90</td><td>8.28</td><td>8.65</td><td>9.03</td><td>9.41</td><td>9.78</td><td></td> </tr> </tbody> </table>	掘削方法	岩区分	設計掘削断面積 (㎡)										摘要	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	補助ベンチ付 全断面工法	B	9.82	10.16	10.49	10.82	11.16	11.49	11.82	12.15	12.49	12.82		C I	8.87	9.13	9.40	9.66	9.93	10.19	10.46	10.72	10.99	11.25		C II	8.02	8.28	8.54	8.79	9.05	9.31	9.57	9.82	10.08	10.34		上下半交互 併進工法	D I	7.39	7.64	7.89	8.14	8.39	8.64	8.90	9.15	9.40	9.65		D II	6.39	6.77	7.15	7.52	7.90	8.28	8.65	9.03	9.41	9.78		<p>② 覆工コンクリート</p> <p>覆工コンクリートの使用量は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.40 生コンクリート（余巻を含む）</p> <p style="text-align: right;">m³/(トンネル延長)1m当り</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘削方法</th> <th rowspan="2">岩区分</th> <th colspan="10">設計掘削断面積 (㎡)</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>50</th><th>55</th><th>60</th><th>65</th><th>70</th><th>75</th><th>80</th><th>85</th><th>90</th><th>95</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">補助ベンチ付 全断面工法</td> <td>B</td> <td>9.82</td><td>10.16</td><td>10.49</td><td>10.82</td><td>11.16</td><td>11.49</td><td>11.82</td><td>12.15</td><td>12.49</td><td>12.82</td><td></td> </tr> <tr> <td>C I</td> <td>8.87</td><td>9.13</td><td>9.40</td><td>9.66</td><td>9.93</td><td>10.19</td><td>10.46</td><td>10.72</td><td>10.99</td><td>11.25</td><td></td> </tr> <tr> <td>C II</td> <td>8.02</td><td>8.28</td><td>8.54</td><td>8.79</td><td>9.05</td><td>9.31</td><td>9.57</td><td>9.82</td><td>10.08</td><td>10.34</td><td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">上下半交互 併進工法</td> <td>D I</td> <td>7.39</td><td>7.64</td><td>7.89</td><td>8.14</td><td>8.39</td><td>8.64</td><td>8.90</td><td>9.15</td><td>9.40</td><td>9.65</td><td></td> </tr> <tr> <td>D II</td> <td>6.39</td><td>6.77</td><td>7.15</td><td>7.52</td><td>7.90</td><td>8.28</td><td>8.65</td><td>9.03</td><td>9.41</td><td>9.78</td><td></td> </tr> </tbody> </table>	掘削方法	岩区分	設計掘削断面積 (㎡)										摘要	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	補助ベンチ付 全断面工法	B	9.82	10.16	10.49	10.82	11.16	11.49	11.82	12.15	12.49	12.82		C I	8.87	9.13	9.40	9.66	9.93	10.19	10.46	10.72	10.99	11.25		C II	8.02	8.28	8.54	8.79	9.05	9.31	9.57	9.82	10.08	10.34		上下半交互 併進工法	D I	7.39	7.64	7.89	8.14	8.39	8.64	8.90	9.15	9.40	9.65		D II	6.39	6.77	7.15	7.52	7.90	8.28	8.65	9.03	9.41	9.78	
掘削方法	岩区分			設計掘削断面積 (㎡)											摘要																																																																																																																																																													
		50	55	60	65	70	75	80	85	90	95																																																																																																																																																																	
補助ベンチ付 全断面工法	B	9.82	10.16	10.49	10.82	11.16	11.49	11.82	12.15	12.49	12.82																																																																																																																																																																	
	C I	8.87	9.13	9.40	9.66	9.93	10.19	10.46	10.72	10.99	11.25																																																																																																																																																																	
	C II	8.02	8.28	8.54	8.79	9.05	9.31	9.57	9.82	10.08	10.34																																																																																																																																																																	
上下半交互 併進工法	D I	7.39	7.64	7.89	8.14	8.39	8.64	8.90	9.15	9.40	9.65																																																																																																																																																																	
	D II	6.39	6.77	7.15	7.52	7.90	8.28	8.65	9.03	9.41	9.78																																																																																																																																																																	
掘削方法	岩区分	設計掘削断面積 (㎡)										摘要																																																																																																																																																																
		50	55	60	65	70	75	80	85	90	95																																																																																																																																																																	
補助ベンチ付 全断面工法	B	9.82	10.16	10.49	10.82	11.16	11.49	11.82	12.15	12.49	12.82																																																																																																																																																																	
	C I	8.87	9.13	9.40	9.66	9.93	10.19	10.46	10.72	10.99	11.25																																																																																																																																																																	
	C II	8.02	8.28	8.54	8.79	9.05	9.31	9.57	9.82	10.08	10.34																																																																																																																																																																	
上下半交互 併進工法	D I	7.39	7.64	7.89	8.14	8.39	8.64	8.90	9.15	9.40	9.65																																																																																																																																																																	
	D II	6.39	6.77	7.15	7.52	7.90	8.28	8.65	9.03	9.41	9.78																																																																																																																																																																	
	<p>③ 諸雑費</p> <p>1) 機械の諸雑費</p> <p>諸雑費は、パイプレータの損料及び燃料費であり、機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表4.43（覆工+防水）諸雑費（その他機械）</p> <p style="text-align: right;">%/（トンネル延長）1m当り</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘削方法</th> <th rowspan="2">岩区分</th> <th colspan="10">設計掘削断面積 (㎡)</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>50</th><th>55</th><th>60</th><th>65</th><th>70</th><th>75</th><th>80</th><th>85</th><th>90</th><th>95</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">補助ベンチ付 全断面工法</td> <td>B</td> <td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td></td> </tr> <tr> <td>C I</td> <td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td></td> </tr> <tr> <td>C II</td> <td>5</td><td>5</td><td>5</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">上下半交互 併進工法</td> <td>D I</td> <td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>5</td><td>5</td><td>5</td><td>5</td><td>5</td><td>5</td><td>5</td><td></td> </tr> <tr> <td>D II</td> <td>5</td><td>5</td><td>5</td><td>5</td><td>5</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td></td> </tr> </tbody> </table>	掘削方法	岩区分	設計掘削断面積 (㎡)										摘要	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	補助ベンチ付 全断面工法	B	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3		C I	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4		C II	5	5	5	4	4	4	4	4	4	4		上下半交互 併進工法	D I	4	4	4	5	5	5	5	5	5	5		D II	5	5	5	5	5	4	4	4	4	4		<p>③ 諸雑費</p> <p>1) 機械の諸雑費</p> <p>諸雑費は、パイプレータの損料及び燃料費であり、機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表4.41（覆工+防水）諸雑費（その他機械）</p> <p style="text-align: right;">%/（トンネル延長）1m当り</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘削方法</th> <th rowspan="2">岩区分</th> <th colspan="10">設計掘削断面積 (㎡)</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>50</th><th>55</th><th>60</th><th>65</th><th>70</th><th>75</th><th>80</th><th>85</th><th>90</th><th>95</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">補助ベンチ付 全断面工法</td> <td>B</td> <td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td></td> </tr> <tr> <td>C I</td> <td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td></td> </tr> <tr> <td>C II</td> <td>5</td><td>5</td><td>5</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">上下半交互 併進工法</td> <td>D I</td> <td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>5</td><td>5</td><td>5</td><td>5</td><td>5</td><td>5</td><td>5</td><td></td> </tr> <tr> <td>D II</td> <td>5</td><td>5</td><td>5</td><td>5</td><td>5</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td></td> </tr> </tbody> </table>	掘削方法	岩区分	設計掘削断面積 (㎡)										摘要	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	補助ベンチ付 全断面工法	B	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3		C I	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4		C II	5	5	5	4	4	4	4	4	4	4		上下半交互 併進工法	D I	4	4	4	5	5	5	5	5	5	5		D II	5	5	5	5	5	4	4	4	4	4	
掘削方法	岩区分			設計掘削断面積 (㎡)											摘要																																																																																																																																																													
		50	55	60	65	70	75	80	85	90	95																																																																																																																																																																	
補助ベンチ付 全断面工法	B	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3																																																																																																																																																																	
	C I	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4																																																																																																																																																																	
	C II	5	5	5	4	4	4	4	4	4	4																																																																																																																																																																	
上下半交互 併進工法	D I	4	4	4	5	5	5	5	5	5	5																																																																																																																																																																	
	D II	5	5	5	5	5	4	4	4	4	4																																																																																																																																																																	
掘削方法	岩区分	設計掘削断面積 (㎡)										摘要																																																																																																																																																																
		50	55	60	65	70	75	80	85	90	95																																																																																																																																																																	
補助ベンチ付 全断面工法	B	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3																																																																																																																																																																	
	C I	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4																																																																																																																																																																	
	C II	5	5	5	4	4	4	4	4	4	4																																																																																																																																																																	
上下半交互 併進工法	D I	4	4	4	5	5	5	5	5	5	5																																																																																																																																																																	
	D II	5	5	5	5	5	4	4	4	4	4																																																																																																																																																																	

土木工事標準歩掛の一部改定 トンネル工（NATM） [発破工法]

工種名	現 行	改 定																																																																																																																																																																																																																																
	<p>2) 材料の諸雑費 諸雑費は、防水シート設置器具の損料及び妻板、土台、はく離剤等の費用であり、材料費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表4.44 (覆工+防水) 諸雑費 (その他材料) %/ (トンネル延長) 1m当り</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘削方法</th> <th rowspan="2">岩区分</th> <th colspan="10">設計掘削断面積 (㎡)</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>50</th><th>55</th><th>60</th><th>65</th><th>70</th><th>75</th><th>80</th><th>85</th><th>90</th><th>95</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">補助ベンチ付 全断面工法</td> <td>B</td> <td>3</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>C I</td> <td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>C II</td> <td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">上下半交互 併進工法</td> <td>D I</td> <td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>D II</td> <td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 型枠工歩掛 型枠の移動・据付・脱型作業の編成人員は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.45 型枠の移動・据付・脱型作業の編成人員</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>職 種</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ト ン ネ ル 世 話 役</td> <td>人</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>ト ン ネ ル 特 殊 工</td> <td>〃</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>ト ン ネ ル 作 業 員</td> <td>〃</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 移動用レール及び枕木の移動、据付も含む。 2. 移動用レール及び枕木の損料は、スライドセントル損料に含まれている。</p> <p>(5) 覆工コンクリート打設歩掛 覆工コンクリート打設時の編成人員は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.46 覆工コンクリート打設作業の編成人員</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>職 種</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ト ン ネ ル 世 話 役</td> <td>人</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>ト ン ネ ル 特 殊 工</td> <td>〃</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>ト ン ネ ル 作 業 員</td> <td>〃</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(6) コンクリートの打設 型枠工及びコンクリート工における1打設長は、2日で10.5mを標準とする。</p>	掘削方法	岩区分	設計掘削断面積 (㎡)										摘要	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	補助ベンチ付 全断面工法	B	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2		C I	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2		C II	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2		上下半交互 併進工法	D I	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3		D II	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2		職 種	単 位	数 量	ト ン ネ ル 世 話 役	人	1	ト ン ネ ル 特 殊 工	〃	6	ト ン ネ ル 作 業 員	〃	2	職 種	単 位	数 量	ト ン ネ ル 世 話 役	人	1	ト ン ネ ル 特 殊 工	〃	6	ト ン ネ ル 作 業 員	〃	2	<p>2) 材料の諸雑費 諸雑費は、防水シート設置器具の損料及び妻板、土台、はく離剤等の費用であり、材料費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表4.42 (覆工+防水) 諸雑費 (その他材料) %/ (トンネル延長) 1m当り</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘削方法</th> <th rowspan="2">岩区分</th> <th colspan="10">設計掘削断面積 (㎡)</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>50</th><th>55</th><th>60</th><th>65</th><th>70</th><th>75</th><th>80</th><th>85</th><th>90</th><th>95</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">補助ベンチ付 全断面工法</td> <td>B</td> <td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>C I</td> <td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>C II</td> <td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">上下半交互 併進工法</td> <td>D I</td> <td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>D II</td> <td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 型枠工歩掛 型枠の移動・据付・脱型作業の施工歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.43 型枠の移動・据付・脱型作業 施工歩掛 (トンネル延長) 1m当り</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>職 種</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ト ン ネ ル 世 話 役</td> <td>人</td> <td>0.12</td> </tr> <tr> <td>ト ン ネ ル 特 殊 工</td> <td>〃</td> <td>0.70</td> </tr> <tr> <td>ト ン ネ ル 作 業 員</td> <td>〃</td> <td>0.23</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 移動用レール及び枕木の移動、据付も含む。 2. 移動用レール及び枕木の損料は、スライドセントル損料に含まれている。</p> <p>(5) 覆工コンクリート打設歩掛 覆工コンクリート打設時の施工歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.44 覆工コンクリート打設作業 施工歩掛 (トンネル延長) 1m当り</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>職 種</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ト ン ネ ル 世 話 役</td> <td>人</td> <td>0.11</td> </tr> <tr> <td>ト ン ネ ル 特 殊 工</td> <td>〃</td> <td>0.68</td> </tr> <tr> <td>ト ン ネ ル 作 業 員</td> <td>〃</td> <td>0.23</td> </tr> </tbody> </table> <p>(6) コンクリートの打設 型枠工及びコンクリート工における1打設長は、2日で10.5mを標準とする。</p>	掘削方法	岩区分	設計掘削断面積 (㎡)										摘要	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	補助ベンチ付 全断面工法	B	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2		C I	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2		C II	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2		上下半交互 併進工法	D I	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3		D II	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2		職 種	単 位	数 量	ト ン ネ ル 世 話 役	人	0.12	ト ン ネ ル 特 殊 工	〃	0.70	ト ン ネ ル 作 業 員	〃	0.23	職 種	単 位	数 量	ト ン ネ ル 世 話 役	人	0.11	ト ン ネ ル 特 殊 工	〃	0.68	ト ン ネ ル 作 業 員	〃	0.23
掘削方法	岩区分			設計掘削断面積 (㎡)											摘要																																																																																																																																																																																																																			
		50	55	60	65	70	75	80	85	90	95																																																																																																																																																																																																																							
補助ベンチ付 全断面工法	B	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2																																																																																																																																																																																																																						
	C I	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2																																																																																																																																																																																																																						
	C II	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2																																																																																																																																																																																																																						
上下半交互 併進工法	D I	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3																																																																																																																																																																																																																							
	D II	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2																																																																																																																																																																																																																							
職 種	単 位	数 量																																																																																																																																																																																																																																
ト ン ネ ル 世 話 役	人	1																																																																																																																																																																																																																																
ト ン ネ ル 特 殊 工	〃	6																																																																																																																																																																																																																																
ト ン ネ ル 作 業 員	〃	2																																																																																																																																																																																																																																
職 種	単 位	数 量																																																																																																																																																																																																																																
ト ン ネ ル 世 話 役	人	1																																																																																																																																																																																																																																
ト ン ネ ル 特 殊 工	〃	6																																																																																																																																																																																																																																
ト ン ネ ル 作 業 員	〃	2																																																																																																																																																																																																																																
掘削方法	岩区分	設計掘削断面積 (㎡)										摘要																																																																																																																																																																																																																						
		50	55	60	65	70	75	80	85	90	95																																																																																																																																																																																																																							
補助ベンチ付 全断面工法	B	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2																																																																																																																																																																																																																						
	C I	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2																																																																																																																																																																																																																						
	C II	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2																																																																																																																																																																																																																						
上下半交互 併進工法	D I	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3																																																																																																																																																																																																																							
	D II	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2																																																																																																																																																																																																																							
職 種	単 位	数 量																																																																																																																																																																																																																																
ト ン ネ ル 世 話 役	人	0.12																																																																																																																																																																																																																																
ト ン ネ ル 特 殊 工	〃	0.70																																																																																																																																																																																																																																
ト ン ネ ル 作 業 員	〃	0.23																																																																																																																																																																																																																																
職 種	単 位	数 量																																																																																																																																																																																																																																
ト ン ネ ル 世 話 役	人	0.11																																																																																																																																																																																																																																
ト ン ネ ル 特 殊 工	〃	0.68																																																																																																																																																																																																																																
ト ン ネ ル 作 業 員	〃	0.23																																																																																																																																																																																																																																

土木工事標準歩掛の一部改定
トンネル工（NATM） [発破工法]

工種名	現 行	改 定																																																															
	<p>4-6 工事用仮設備</p> <p>4-6-1 空気圧縮機</p> <p>(1) 空気圧縮機容量 空気圧縮機の容量は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.47 空気圧縮機容量</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">機 種</th> <th style="width: 40%;">規 格</th> <th style="width: 10%;">単 位</th> <th style="width: 10%;">台 数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>空 気 圧 縮 機</td> <td>定置式スクリュ型 11.0~12.4m³/min×0.7~0.85MPa×75kW</td> <td>台</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 空気圧縮機の設置期間 空気圧縮機の設置期間は、掘削期間とする。</p> <p>(3) 空気圧縮機運転</p> <p>① 空気圧縮機の1月当り運転歩掛 空気圧縮機の1月当り運転歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.48 空気圧縮機運転歩掛 (1月当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">名 称</th> <th style="width: 10%;">規 格</th> <th style="width: 10%;">単 位</th> <th style="width: 10%;">数 量</th> <th style="width: 10%;">摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>人</td> <td>n×41.8</td> <td>nは編成人員(1人)</td> </tr> <tr> <td>空 気 圧 縮 機 運 転</td> <td></td> <td>h</td> <td>234.2</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>② 空気圧縮機の電力消費量 空気圧縮機の電力消費量は、次のとおり。 空気圧縮機の電力消費量=7,771kWh/月</p> <p>(4) 空気圧縮機設備組立・解体 空気圧縮機設備の組立・解体歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.49 空気圧縮機設備組立・解体歩掛 (2台当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">名 称</th> <th style="width: 10%;">規 格</th> <th style="width: 10%;">単 位</th> <th style="width: 10%;">組 立</th> <th style="width: 10%;">解 体</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>3</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>4</td> <td>2.5</td> </tr> <tr> <td>機 械 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>3.5</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1.5</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>電 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>2.5</td> <td>0.5</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>ラ フ テ レ ー ン ク レ ー ン 運 転</td> <td>排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型 25t吊</td> <td>日</td> <td>1.5</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上記歩掛には基礎、建物は含まない。 2. ラフテレーンクレーンは、賃料とする。</p>	機 種	規 格	単 位	台 数	空 気 圧 縮 機	定置式スクリュ型 11.0~12.4m ³ /min×0.7~0.85MPa×75kW	台	2	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	特 殊 作 業 員		人	n×41.8	nは編成人員(1人)	空 気 圧 縮 機 運 転		h	234.2		名 称	規 格	単 位	組 立	解 体	世 話 役		人	3	1	普 通 作 業 員		〃	4	2.5	機 械 工		〃	3.5	1.5	と び 工		〃	1.5	—	電 工		〃	2.5	0.5	特 殊 作 業 員		〃	1	1	ラ フ テ レ ー ン ク レ ー ン 運 転	排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型 25t吊	日	1.5	1	<p>4-6 工事用仮設備</p> <p style="text-align: center; color: red; font-size: 2em;">} 削 除</p>
機 種	規 格	単 位	台 数																																																														
空 気 圧 縮 機	定置式スクリュ型 11.0~12.4m ³ /min×0.7~0.85MPa×75kW	台	2																																																														
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																													
特 殊 作 業 員		人	n×41.8	nは編成人員(1人)																																																													
空 気 圧 縮 機 運 転		h	234.2																																																														
名 称	規 格	単 位	組 立	解 体																																																													
世 話 役		人	3	1																																																													
普 通 作 業 員		〃	4	2.5																																																													
機 械 工		〃	3.5	1.5																																																													
と び 工		〃	1.5	—																																																													
電 工		〃	2.5	0.5																																																													
特 殊 作 業 員		〃	1	1																																																													
ラ フ テ レ ー ン ク レ ー ン 運 転	排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型 25t吊	日	1.5	1																																																													

土木工事標準歩掛の一部改定
トンネル工（NATM） [発破工法]

工種名	現 行	改 定																																																																																																																																																																																																																																																										
	<p>4-6-2 吹付プラント設備組立・解体 吹付プラント設備組立・解体歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.50 吹付プラント設備組立・解体歩掛 (1基当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>組 立</th> <th>解 体</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>世 話 役</td><td></td><td>人</td><td>9</td><td>5</td></tr> <tr><td>特 殊 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td>9.5</td><td>3</td></tr> <tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td>8</td><td>2</td></tr> <tr><td>機 械 工</td><td></td><td>〃</td><td>6.5</td><td>2.5</td></tr> <tr><td>と び 工</td><td></td><td>〃</td><td>20.5</td><td>14.5</td></tr> <tr><td>溶 接 工</td><td></td><td>〃</td><td>3.5</td><td>1.5</td></tr> <tr><td>電 工</td><td></td><td>〃</td><td>5.5</td><td>2.5</td></tr> <tr><td>ラフテレーンクレーン運転</td><td>排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊</td><td>日</td><td>4.0</td><td>3.5</td></tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 基礎コンクリートは、別途計上する。 2. ラフテレーンクレーンは、賃料とする。</p> <p>4-6-3 スライドセントル組立・解体 スライドセントル組立・解体歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.51 スライドセントル組立・解体歩掛 (1基当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>組 立</th> <th>解 体</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>世 話 役</td><td></td><td>人</td><td>8.5</td><td>6</td></tr> <tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td>7</td><td>2</td></tr> <tr><td>機 械 工</td><td></td><td>〃</td><td>7</td><td>5</td></tr> <tr><td>と び 工</td><td></td><td>〃</td><td>17.5</td><td>13.5</td></tr> <tr><td>特 殊 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td>40.5</td><td>20</td></tr> <tr><td>電 工</td><td></td><td>〃</td><td>5</td><td>1.5</td></tr> <tr><td>ラフテレーンクレーン運転</td><td>排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊</td><td>日</td><td>7</td><td>5.5</td></tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 移動用レール及び枕木の設置・撤去を含む。 2. ラフテレーンクレーンは、賃料とする。</p> <p>4-6-4 防水作業台車組立・解体 防水作業台車組立・解体歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.52 防水作業台車組立・解体歩掛 (1基当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>組 立</th> <th>解 体</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>世 話 役</td><td></td><td>人</td><td>2.5</td><td>1.5</td></tr> <tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td>1.5</td><td>1</td></tr> <tr><td>機 械 工</td><td></td><td>〃</td><td>2</td><td>0.5</td></tr> <tr><td>と び 工</td><td></td><td>〃</td><td>2.5</td><td>2</td></tr> <tr><td>特 殊 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td>10.5</td><td>3.5</td></tr> <tr><td>電 工</td><td></td><td>〃</td><td>1.5</td><td>—</td></tr> <tr><td>トラッククレーン運転</td><td>油圧伸縮ジブ型 4.9 t 吊</td><td>日</td><td>1.5</td><td>1</td></tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 移動用レール及び枕木の設置・撤去は、スライドセントルの組立・解体歩掛に含む。 2. トラッククレーンは、賃料とする。</p>	名 称	規 格	単 位	組 立	解 体	世 話 役		人	9	5	特 殊 作 業 員		〃	9.5	3	普 通 作 業 員		〃	8	2	機 械 工		〃	6.5	2.5	と び 工		〃	20.5	14.5	溶 接 工		〃	3.5	1.5	電 工		〃	5.5	2.5	ラフテレーンクレーン運転	排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊	日	4.0	3.5	名 称	規 格	単 位	組 立	解 体	世 話 役		人	8.5	6	普 通 作 業 員		〃	7	2	機 械 工		〃	7	5	と び 工		〃	17.5	13.5	特 殊 作 業 員		〃	40.5	20	電 工		〃	5	1.5	ラフテレーンクレーン運転	排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊	日	7	5.5	名 称	規 格	単 位	組 立	解 体	世 話 役		人	2.5	1.5	普 通 作 業 員		〃	1.5	1	機 械 工		〃	2	0.5	と び 工		〃	2.5	2	特 殊 作 業 員		〃	10.5	3.5	電 工		〃	1.5	—	トラッククレーン運転	油圧伸縮ジブ型 4.9 t 吊	日	1.5	1	<p>4-6-1 吹付プラント設備組立・解体 吹付プラント設備組立・解体歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.45 吹付プラント設備組立・解体歩掛 (1基当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>組 立</th> <th>解 体</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>世 話 役</td><td></td><td>人</td><td>9</td><td>5</td></tr> <tr><td>特 殊 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td>9.5</td><td>3</td></tr> <tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td>8</td><td>2</td></tr> <tr><td>設 備 機 械 工</td><td></td><td>〃</td><td>6.5</td><td>2.5</td></tr> <tr><td>と び 工</td><td></td><td>〃</td><td>20.5</td><td>14.5</td></tr> <tr><td>溶 接 工</td><td></td><td>〃</td><td>3.5</td><td>1.5</td></tr> <tr><td>電 工</td><td></td><td>〃</td><td>5.5</td><td>2.5</td></tr> <tr><td>ラフテレーンクレーン運転</td><td>排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊</td><td>日</td><td>4.0</td><td>3.5</td></tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 基礎コンクリートは、別途計上する。 2. ラフテレーンクレーンは、賃料とする。</p> <p>4-6-3 スライドセントル組立・解体 スライドセントル組立・解体歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.46 スライドセントル組立・解体歩掛 (1基当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>組 立</th> <th>解 体</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>世 話 役</td><td></td><td>人</td><td>8.5</td><td>6</td></tr> <tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td>7</td><td>2</td></tr> <tr><td>設 備 機 械 工</td><td></td><td>〃</td><td>7</td><td>5</td></tr> <tr><td>と び 工</td><td></td><td>〃</td><td>17.5</td><td>13.5</td></tr> <tr><td>特 殊 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td>40.5</td><td>20</td></tr> <tr><td>電 工</td><td></td><td>〃</td><td>5</td><td>1.5</td></tr> <tr><td>ラフテレーンクレーン運転</td><td>排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊</td><td>日</td><td>7</td><td>5.5</td></tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 移動用レール及び枕木の設置・撤去を含む。 2. ラフテレーンクレーンは、賃料とする。</p> <p>4-6-3 防水作業台車組立・解体 防水作業台車組立・解体歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.47 防水作業台車組立・解体歩掛 (1基当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>組 立</th> <th>解 体</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>世 話 役</td><td></td><td>人</td><td>2.5</td><td>1.5</td></tr> <tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td>1.5</td><td>1</td></tr> <tr><td>設 備 機 械 工</td><td></td><td>〃</td><td>2</td><td>0.5</td></tr> <tr><td>と び 工</td><td></td><td>〃</td><td>2.5</td><td>2</td></tr> <tr><td>特 殊 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td>10.5</td><td>4.5</td></tr> <tr><td>電 工</td><td></td><td>〃</td><td>1.5</td><td>—</td></tr> <tr><td>トラッククレーン運転</td><td>油圧伸縮ジブ型 4.9 t 吊</td><td>日</td><td>1.5</td><td>1</td></tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 移動用レール及び枕木の設置・撤去は、スライドセントルの組立・解体歩掛に含む。 2. トラッククレーンは、賃料とする。</p>	名 称	規 格	単 位	組 立	解 体	世 話 役		人	9	5	特 殊 作 業 員		〃	9.5	3	普 通 作 業 員		〃	8	2	設 備 機 械 工		〃	6.5	2.5	と び 工		〃	20.5	14.5	溶 接 工		〃	3.5	1.5	電 工		〃	5.5	2.5	ラフテレーンクレーン運転	排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊	日	4.0	3.5	名 称	規 格	単 位	組 立	解 体	世 話 役		人	8.5	6	普 通 作 業 員		〃	7	2	設 備 機 械 工		〃	7	5	と び 工		〃	17.5	13.5	特 殊 作 業 員		〃	40.5	20	電 工		〃	5	1.5	ラフテレーンクレーン運転	排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊	日	7	5.5	名 称	規 格	単 位	組 立	解 体	世 話 役		人	2.5	1.5	普 通 作 業 員		〃	1.5	1	設 備 機 械 工		〃	2	0.5	と び 工		〃	2.5	2	特 殊 作 業 員		〃	10.5	4.5	電 工		〃	1.5	—	トラッククレーン運転	油圧伸縮ジブ型 4.9 t 吊	日	1.5	1
名 称	規 格	単 位	組 立	解 体																																																																																																																																																																																																																																																								
世 話 役		人	9	5																																																																																																																																																																																																																																																								
特 殊 作 業 員		〃	9.5	3																																																																																																																																																																																																																																																								
普 通 作 業 員		〃	8	2																																																																																																																																																																																																																																																								
機 械 工		〃	6.5	2.5																																																																																																																																																																																																																																																								
と び 工		〃	20.5	14.5																																																																																																																																																																																																																																																								
溶 接 工		〃	3.5	1.5																																																																																																																																																																																																																																																								
電 工		〃	5.5	2.5																																																																																																																																																																																																																																																								
ラフテレーンクレーン運転	排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊	日	4.0	3.5																																																																																																																																																																																																																																																								
名 称	規 格	単 位	組 立	解 体																																																																																																																																																																																																																																																								
世 話 役		人	8.5	6																																																																																																																																																																																																																																																								
普 通 作 業 員		〃	7	2																																																																																																																																																																																																																																																								
機 械 工		〃	7	5																																																																																																																																																																																																																																																								
と び 工		〃	17.5	13.5																																																																																																																																																																																																																																																								
特 殊 作 業 員		〃	40.5	20																																																																																																																																																																																																																																																								
電 工		〃	5	1.5																																																																																																																																																																																																																																																								
ラフテレーンクレーン運転	排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊	日	7	5.5																																																																																																																																																																																																																																																								
名 称	規 格	単 位	組 立	解 体																																																																																																																																																																																																																																																								
世 話 役		人	2.5	1.5																																																																																																																																																																																																																																																								
普 通 作 業 員		〃	1.5	1																																																																																																																																																																																																																																																								
機 械 工		〃	2	0.5																																																																																																																																																																																																																																																								
と び 工		〃	2.5	2																																																																																																																																																																																																																																																								
特 殊 作 業 員		〃	10.5	3.5																																																																																																																																																																																																																																																								
電 工		〃	1.5	—																																																																																																																																																																																																																																																								
トラッククレーン運転	油圧伸縮ジブ型 4.9 t 吊	日	1.5	1																																																																																																																																																																																																																																																								
名 称	規 格	単 位	組 立	解 体																																																																																																																																																																																																																																																								
世 話 役		人	9	5																																																																																																																																																																																																																																																								
特 殊 作 業 員		〃	9.5	3																																																																																																																																																																																																																																																								
普 通 作 業 員		〃	8	2																																																																																																																																																																																																																																																								
設 備 機 械 工		〃	6.5	2.5																																																																																																																																																																																																																																																								
と び 工		〃	20.5	14.5																																																																																																																																																																																																																																																								
溶 接 工		〃	3.5	1.5																																																																																																																																																																																																																																																								
電 工		〃	5.5	2.5																																																																																																																																																																																																																																																								
ラフテレーンクレーン運転	排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊	日	4.0	3.5																																																																																																																																																																																																																																																								
名 称	規 格	単 位	組 立	解 体																																																																																																																																																																																																																																																								
世 話 役		人	8.5	6																																																																																																																																																																																																																																																								
普 通 作 業 員		〃	7	2																																																																																																																																																																																																																																																								
設 備 機 械 工		〃	7	5																																																																																																																																																																																																																																																								
と び 工		〃	17.5	13.5																																																																																																																																																																																																																																																								
特 殊 作 業 員		〃	40.5	20																																																																																																																																																																																																																																																								
電 工		〃	5	1.5																																																																																																																																																																																																																																																								
ラフテレーンクレーン運転	排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊	日	7	5.5																																																																																																																																																																																																																																																								
名 称	規 格	単 位	組 立	解 体																																																																																																																																																																																																																																																								
世 話 役		人	2.5	1.5																																																																																																																																																																																																																																																								
普 通 作 業 員		〃	1.5	1																																																																																																																																																																																																																																																								
設 備 機 械 工		〃	2	0.5																																																																																																																																																																																																																																																								
と び 工		〃	2.5	2																																																																																																																																																																																																																																																								
特 殊 作 業 員		〃	10.5	4.5																																																																																																																																																																																																																																																								
電 工		〃	1.5	—																																																																																																																																																																																																																																																								
トラッククレーン運転	油圧伸縮ジブ型 4.9 t 吊	日	1.5	1																																																																																																																																																																																																																																																								

土木工事標準歩掛の一部改定
トンネル工（NATM） [発破工法]

工種名	現 行	改 定																																																				
	<p>4-6-5 工事用換気設備 (1) 換気装置の坑内配置で、切羽の掘進に伴い、送風機を増設する場合の送風機間隔は100m以上を標準とする。 (2) 切羽からの控え長さは、40mを標準とする。</p> <p>4-6-6 送気管 (1) 送気管（トンネル用）材料は、つる巻鋼管φ150mmを標準とする。 (2) 坑外送気管敷設・撤去 坑外送気管敷設・撤去歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.53 坑外送気管敷設・撤去歩掛 (m)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>職 種</th> <th>単 位</th> <th>敷 設</th> <th>撤 去</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配 管 工 人</td> <td></td> <td style="text-align: center;">0.05</td> <td style="text-align: center;">0.03</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 坑内の敷設・撤去労務は、掘削労務に含む。</p> <p>4-6-7 仮設備保守 (1) 仮設備保守編成人員 仮設備保守の要員として、次表の編成人員を計上する。</p> <p style="text-align: center;">表4.54 仮設備保守編成人員</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>職 種</th> <th>単 位</th> <th>編 成 人 員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>人</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td>機 械 工</td> <td>〃</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td>電 工</td> <td>〃</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 仮設備保守編成人員は、次の坑外設備の保守管理を行うものとする。 ①電力設備 ②吹付プラント設備 ③換気設備 ④空気圧縮機設備 ⑤給排水設備等(濁水処理設備は除く)</p> <p>(2) 仮設備保守歩掛 仮設備保守歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.55 仮設備保守歩掛 (1月当り)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>職 種</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>人</td> <td style="text-align: center;">$n \times 41.8$</td> <td style="text-align: center;">$n = \text{編成人員}$</td> </tr> <tr> <td>機 械 工</td> <td>〃</td> <td style="text-align: center;">〃</td> <td></td> </tr> <tr> <td>電 工</td> <td>〃</td> <td style="text-align: center;">〃</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 坑内作業において、支保工作業後は、上表の数量を「$n \times 41.8 \times 1/2$」とする。</p>	職 種	単 位	敷 設	撤 去	配 管 工 人		0.05	0.03	職 種	単 位	編 成 人 員	普 通 作 業 員	人	1	機 械 工	〃	1	電 工	〃	1	職 種	単 位	数 量	摘 要	普 通 作 業 員	人	$n \times 41.8$	$n = \text{編成人員}$	機 械 工	〃	〃		電 工	〃	〃		<p>4-6-3 工事用換気設備 (1) 換気装置の坑内配置で、切羽の掘進に伴い、送風機を増設する場合の送風機間隔は100m以上を標準とする。 (2) 切羽からの控え長さは、40mを標準とする。</p> <p style="text-align: center; color: red;">削除</p> <p>4-6-4 仮設備保守 仮設備保守歩掛 仮設備保守歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.48 仮設備保守歩掛 (1月当り)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>職 種</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>人</td> <td style="text-align: center;">40.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>設 備 機 械 工</td> <td>〃</td> <td style="text-align: center;">〃</td> <td></td> </tr> <tr> <td>電 工</td> <td>〃</td> <td style="text-align: center;">〃</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 仮設備保守とは、次の坑外設備の保守管理を行うものとする。 ①電力設備 ②吹付プラント設備 ③換気設備 ④給排水設備等(濁水処理設備は除く) 2. 坑内作業において、支保工作業後は、上表の数量を「$40.8 \times 1/2$」とする。</p> <p style="text-align: center; color: red;">削除</p>	職 種	単 位	数 量	摘 要	普 通 作 業 員	人	40.8		設 備 機 械 工	〃	〃		電 工	〃	〃	
職 種	単 位	敷 設	撤 去																																																			
配 管 工 人		0.05	0.03																																																			
職 種	単 位	編 成 人 員																																																				
普 通 作 業 員	人	1																																																				
機 械 工	〃	1																																																				
電 工	〃	1																																																				
職 種	単 位	数 量	摘 要																																																			
普 通 作 業 員	人	$n \times 41.8$	$n = \text{編成人員}$																																																			
機 械 工	〃	〃																																																				
電 工	〃	〃																																																				
職 種	単 位	数 量	摘 要																																																			
普 通 作 業 員	人	40.8																																																				
設 備 機 械 工	〃	〃																																																				
電 工	〃	〃																																																				

土木工事標準歩掛の一部改定
トンネル工（NATM） [発破工法]

工種名	現 行	改 定																																																																																																																																																																																				
	<p>5. 単 価 表</p> <p>① 補助ベンチ付全断面1m（トンネル延長）当り単価表</p> <p>(1) 掘削等<掘削, 吹付, ロックボルト, 金網, 鋼製支保工></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>トンネル世話役</td><td></td><td>人</td><td></td><td>表4.1</td></tr> <tr><td>トンネル特殊工</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>表4.1</td></tr> <tr><td>トンネル作業員</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>表4.1</td></tr> <tr><td>ドリルジャンボ運転</td><td></td><td>週</td><td></td><td>表4.3 機械運転単価表×5</td></tr> <tr><td>コンクリート吹付機運</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>表4.16 機械運転単価表×5</td></tr> <tr><td>ホイールローダ運転</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>表4.8 機械運転単価表×5</td></tr> <tr><td>吹付プラント設備運転</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>表4.17 機械運転単価表×5</td></tr> <tr><td>大型ブレーカ運転</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>表4.4 機械運転単価表×5</td></tr> <tr><td>諸雑費(その他機械)</td><td></td><td>式</td><td></td><td>表4.6</td></tr> <tr><td>火 薬</td><td>含水爆薬（スラリー）</td><td>kg</td><td></td><td>表4.5 雷管は別途計上する</td></tr> <tr><td>H形鋼支保工</td><td></td><td>t</td><td></td><td>表4.25～26</td></tr> <tr><td>ロックボルト</td><td></td><td>本</td><td></td><td>※ 表4.20～22</td></tr> <tr><td>吹付コンクリート</td><td></td><td>m³</td><td></td><td>表4.14</td></tr> <tr><td>諸雑費(その他材料)</td><td></td><td>式</td><td></td><td>表4.7</td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>※ロックボルトの本数については表4.20～22による。 但し、別表値と一致しないものについては、1m当りの増減本数を計上する。</p> <p>(2) ざり出し工（ダンプトラック運転）1m（トンネル延長）当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ダンプトラック運転</td> <td>坑内用普通ディーゼル10t積級</td> <td>週</td> <td></td> <td>表4.10～13 機械運転単価表×5</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	トンネル世話役		人		表4.1	トンネル特殊工		〃		表4.1	トンネル作業員		〃		表4.1	ドリルジャンボ運転		週		表4.3 機械運転単価表×5	コンクリート吹付機運		〃		表4.16 機械運転単価表×5	ホイールローダ運転		〃		表4.8 機械運転単価表×5	吹付プラント設備運転		〃		表4.17 機械運転単価表×5	大型ブレーカ運転		〃		表4.4 機械運転単価表×5	諸雑費(その他機械)		式		表4.6	火 薬	含水爆薬（スラリー）	kg		表4.5 雷管は別途計上する	H形鋼支保工		t		表4.25～26	ロックボルト		本		※ 表4.20～22	吹付コンクリート		m ³		表4.14	諸雑費(その他材料)		式		表4.7	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	ダンプトラック運転	坑内用普通ディーゼル10t積級	週		表4.10～13 機械運転単価表×5	<p>5. 単 価 表</p> <p>① 補助ベンチ付全断面1m（トンネル延長）当り単価表</p> <p>(1) 掘削等<掘削, 吹付, ロックボルト, 金網, 鋼製支保工></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>トンネル世話役</td><td></td><td>人</td><td></td><td>表4.1</td></tr> <tr><td>トンネル特殊工</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>表4.1</td></tr> <tr><td>トンネル作業員</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>表4.1</td></tr> <tr><td>ドリルジャンボ運転</td><td></td><td>週</td><td></td><td>表4.3 機械運転単価表×5</td></tr> <tr><td>コンクリート吹付機運</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>表4.16 機械運転単価表×5</td></tr> <tr><td>ホイールローダ運転</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>表4.8 機械運転単価表×5</td></tr> <tr><td>吹付プラント設備運転</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>表4.17 機械運転単価表×5</td></tr> <tr><td>大型ブレーカ運転</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>表4.4 機械運転単価表×5</td></tr> <tr><td>諸雑費(その他機械)</td><td></td><td>式</td><td></td><td>表4.6</td></tr> <tr><td>火 薬</td><td>含水爆薬（スラリー）</td><td>kg</td><td></td><td>表4.5 雷管は別途計上する</td></tr> <tr><td>H形鋼支保工</td><td></td><td>t</td><td></td><td>表4.25～26</td></tr> <tr><td>ロックボルト</td><td></td><td>本</td><td></td><td>※ 表4.20～22</td></tr> <tr><td>吹付コンクリート</td><td></td><td>m³</td><td></td><td>表4.14</td></tr> <tr><td>諸雑費(その他材料)</td><td></td><td>式</td><td></td><td>表4.7</td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>※ロックボルトの本数については表4.20～22による。 但し、別表値と一致しないものについては、1m当りの増減本数を計上する。</p> <p>(2) ざり出し工（ダンプトラック運転）1m（トンネル延長）当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ダンプトラック運転</td> <td>坑内用普通ディーゼル10t積級</td> <td>週</td> <td></td> <td>表4.10～13 機械運転単価表×5</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	トンネル世話役		人		表4.1	トンネル特殊工		〃		表4.1	トンネル作業員		〃		表4.1	ドリルジャンボ運転		週		表4.3 機械運転単価表×5	コンクリート吹付機運		〃		表4.16 機械運転単価表×5	ホイールローダ運転		〃		表4.8 機械運転単価表×5	吹付プラント設備運転		〃		表4.17 機械運転単価表×5	大型ブレーカ運転		〃		表4.4 機械運転単価表×5	諸雑費(その他機械)		式		表4.6	火 薬	含水爆薬（スラリー）	kg		表4.5 雷管は別途計上する	H形鋼支保工		t		表4.25～26	ロックボルト		本		※ 表4.20～22	吹付コンクリート		m ³		表4.14	諸雑費(その他材料)		式		表4.7	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	ダンプトラック運転	坑内用普通ディーゼル10t積級	週		表4.10～13 機械運転単価表×5
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																		
トンネル世話役		人		表4.1																																																																																																																																																																																		
トンネル特殊工		〃		表4.1																																																																																																																																																																																		
トンネル作業員		〃		表4.1																																																																																																																																																																																		
ドリルジャンボ運転		週		表4.3 機械運転単価表×5																																																																																																																																																																																		
コンクリート吹付機運		〃		表4.16 機械運転単価表×5																																																																																																																																																																																		
ホイールローダ運転		〃		表4.8 機械運転単価表×5																																																																																																																																																																																		
吹付プラント設備運転		〃		表4.17 機械運転単価表×5																																																																																																																																																																																		
大型ブレーカ運転		〃		表4.4 機械運転単価表×5																																																																																																																																																																																		
諸雑費(その他機械)		式		表4.6																																																																																																																																																																																		
火 薬	含水爆薬（スラリー）	kg		表4.5 雷管は別途計上する																																																																																																																																																																																		
H形鋼支保工		t		表4.25～26																																																																																																																																																																																		
ロックボルト		本		※ 表4.20～22																																																																																																																																																																																		
吹付コンクリート		m ³		表4.14																																																																																																																																																																																		
諸雑費(その他材料)		式		表4.7																																																																																																																																																																																		
計																																																																																																																																																																																						
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																		
ダンプトラック運転	坑内用普通ディーゼル10t積級	週		表4.10～13 機械運転単価表×5																																																																																																																																																																																		
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																		
トンネル世話役		人		表4.1																																																																																																																																																																																		
トンネル特殊工		〃		表4.1																																																																																																																																																																																		
トンネル作業員		〃		表4.1																																																																																																																																																																																		
ドリルジャンボ運転		週		表4.3 機械運転単価表×5																																																																																																																																																																																		
コンクリート吹付機運		〃		表4.16 機械運転単価表×5																																																																																																																																																																																		
ホイールローダ運転		〃		表4.8 機械運転単価表×5																																																																																																																																																																																		
吹付プラント設備運転		〃		表4.17 機械運転単価表×5																																																																																																																																																																																		
大型ブレーカ運転		〃		表4.4 機械運転単価表×5																																																																																																																																																																																		
諸雑費(その他機械)		式		表4.6																																																																																																																																																																																		
火 薬	含水爆薬（スラリー）	kg		表4.5 雷管は別途計上する																																																																																																																																																																																		
H形鋼支保工		t		表4.25～26																																																																																																																																																																																		
ロックボルト		本		※ 表4.20～22																																																																																																																																																																																		
吹付コンクリート		m ³		表4.14																																																																																																																																																																																		
諸雑費(その他材料)		式		表4.7																																																																																																																																																																																		
計																																																																																																																																																																																						
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																		
ダンプトラック運転	坑内用普通ディーゼル10t積級	週		表4.10～13 機械運転単価表×5																																																																																																																																																																																		

土木工事標準歩掛の一部改定
トンネル工（NATM） [発破工法]

工種名	現 行	改 定																																																																																																																																																																																				
	<p>② ショートベンチ方式上半掘削1m（トンネル延長）当り単価表 (3) 掘削等<掘削, 吹付, ロックボルト, 金網, 鋼製支保工></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>トンネル世話役</td><td></td><td>人</td><td></td><td>表4.1</td></tr> <tr><td>トンネル特殊工</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>表4.1</td></tr> <tr><td>トンネル作業員</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>表4.1</td></tr> <tr><td>ドリルジャンボ運転</td><td></td><td>週</td><td></td><td>表4.3 機械運転単価表×5</td></tr> <tr><td>コンクリート吹付機運</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>表4.16 機械運転単価表×5</td></tr> <tr><td>ホイールローダ運転</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>表4.8 機械運転単価表×5</td></tr> <tr><td>吹付プラント設備運転</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>表4.17 機械運転単価表×5</td></tr> <tr><td>大型ブレイカ運転</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>表4.4 機械運転単価表×5</td></tr> <tr><td>諸雑費(その他機械)</td><td></td><td>式</td><td></td><td>表4.6</td></tr> <tr><td>火 薬</td><td>含水爆薬（スラリー）</td><td>kg</td><td></td><td>表4.5 雷管は別途計上する</td></tr> <tr><td>H形鋼支保工</td><td></td><td>t</td><td></td><td>表4.25～26</td></tr> <tr><td>ロックボルト</td><td></td><td>本</td><td></td><td>※ 表4.20～22</td></tr> <tr><td>吹付コンクリート</td><td></td><td>m³</td><td></td><td>表4.14</td></tr> <tr><td>諸雑費(その他材料)</td><td></td><td>式</td><td></td><td>表4.7</td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>※ロックボルトの本数については表4.20～22による。 但し、別表値と一致しないものについては、1m当りの増減本数を計上する。</p> <p>(4) ザリ出し工（ダンプトラック運転）1m（トンネル延長）当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ダンプトラック運転</td> <td>坑内用普通ディーゼル10t積級</td> <td>週</td> <td></td> <td>表4.10～13 機械運転単価表×5</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	トンネル世話役		人		表4.1	トンネル特殊工		〃		表4.1	トンネル作業員		〃		表4.1	ドリルジャンボ運転		週		表4.3 機械運転単価表×5	コンクリート吹付機運		〃		表4.16 機械運転単価表×5	ホイールローダ運転		〃		表4.8 機械運転単価表×5	吹付プラント設備運転		〃		表4.17 機械運転単価表×5	大型ブレイカ運転		〃		表4.4 機械運転単価表×5	諸雑費(その他機械)		式		表4.6	火 薬	含水爆薬（スラリー）	kg		表4.5 雷管は別途計上する	H形鋼支保工		t		表4.25～26	ロックボルト		本		※ 表4.20～22	吹付コンクリート		m ³		表4.14	諸雑費(その他材料)		式		表4.7	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	ダンプトラック運転	坑内用普通ディーゼル10t積級	週		表4.10～13 機械運転単価表×5	<p>② ショートベンチ方式上半掘削1m（トンネル延長）当り単価表 (3) 掘削等<掘削, 吹付, ロックボルト, 金網, 鋼製支保工></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>トンネル世話役</td><td></td><td>人</td><td></td><td>表4.1</td></tr> <tr><td>トンネル特殊工</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>表4.1</td></tr> <tr><td>トンネル作業員</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>表4.1</td></tr> <tr><td>ドリルジャンボ運転</td><td></td><td>週</td><td></td><td>表4.3 機械運転単価表×5</td></tr> <tr><td>コンクリート吹付機運</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>表4.16 機械運転単価表×5</td></tr> <tr><td>ホイールローダ運転</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>表4.8 機械運転単価表×5</td></tr> <tr><td>吹付プラント設備運転</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>表4.17 機械運転単価表×5</td></tr> <tr><td>大型ブレイカ運転</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>表4.4 機械運転単価表×5</td></tr> <tr><td>諸雑費(その他機械)</td><td></td><td>式</td><td></td><td>表4.6</td></tr> <tr><td>火 薬</td><td>含水爆薬（スラリー）</td><td>kg</td><td></td><td>表4.5 雷管は別途計上する</td></tr> <tr><td>H形鋼支保工</td><td></td><td>t</td><td></td><td>表4.25～26</td></tr> <tr><td>ロックボルト</td><td></td><td>本</td><td></td><td>※ 表4.20～22</td></tr> <tr><td>吹付コンクリート</td><td></td><td>m³</td><td></td><td>表4.14</td></tr> <tr><td>諸雑費(その他材料)</td><td></td><td>式</td><td></td><td>表4.7</td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>※ロックボルトの本数については表4.20～22による。 但し、別表値と一致しないものについては、1m当りの増減本数を計上する。</p> <p>(4) ザリ出し工（ダンプトラック運転）1m（トンネル延長）当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ダンプトラック運転</td> <td>坑内用普通ディーゼル10t積級</td> <td>週</td> <td></td> <td>表4.10～13 機械運転単価表×5</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	トンネル世話役		人		表4.1	トンネル特殊工		〃		表4.1	トンネル作業員		〃		表4.1	ドリルジャンボ運転		週		表4.3 機械運転単価表×5	コンクリート吹付機運		〃		表4.16 機械運転単価表×5	ホイールローダ運転		〃		表4.8 機械運転単価表×5	吹付プラント設備運転		〃		表4.17 機械運転単価表×5	大型ブレイカ運転		〃		表4.4 機械運転単価表×5	諸雑費(その他機械)		式		表4.6	火 薬	含水爆薬（スラリー）	kg		表4.5 雷管は別途計上する	H形鋼支保工		t		表4.25～26	ロックボルト		本		※ 表4.20～22	吹付コンクリート		m ³		表4.14	諸雑費(その他材料)		式		表4.7	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	ダンプトラック運転	坑内用普通ディーゼル10t積級	週		表4.10～13 機械運転単価表×5
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																		
トンネル世話役		人		表4.1																																																																																																																																																																																		
トンネル特殊工		〃		表4.1																																																																																																																																																																																		
トンネル作業員		〃		表4.1																																																																																																																																																																																		
ドリルジャンボ運転		週		表4.3 機械運転単価表×5																																																																																																																																																																																		
コンクリート吹付機運		〃		表4.16 機械運転単価表×5																																																																																																																																																																																		
ホイールローダ運転		〃		表4.8 機械運転単価表×5																																																																																																																																																																																		
吹付プラント設備運転		〃		表4.17 機械運転単価表×5																																																																																																																																																																																		
大型ブレイカ運転		〃		表4.4 機械運転単価表×5																																																																																																																																																																																		
諸雑費(その他機械)		式		表4.6																																																																																																																																																																																		
火 薬	含水爆薬（スラリー）	kg		表4.5 雷管は別途計上する																																																																																																																																																																																		
H形鋼支保工		t		表4.25～26																																																																																																																																																																																		
ロックボルト		本		※ 表4.20～22																																																																																																																																																																																		
吹付コンクリート		m ³		表4.14																																																																																																																																																																																		
諸雑費(その他材料)		式		表4.7																																																																																																																																																																																		
計																																																																																																																																																																																						
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																		
ダンプトラック運転	坑内用普通ディーゼル10t積級	週		表4.10～13 機械運転単価表×5																																																																																																																																																																																		
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																		
トンネル世話役		人		表4.1																																																																																																																																																																																		
トンネル特殊工		〃		表4.1																																																																																																																																																																																		
トンネル作業員		〃		表4.1																																																																																																																																																																																		
ドリルジャンボ運転		週		表4.3 機械運転単価表×5																																																																																																																																																																																		
コンクリート吹付機運		〃		表4.16 機械運転単価表×5																																																																																																																																																																																		
ホイールローダ運転		〃		表4.8 機械運転単価表×5																																																																																																																																																																																		
吹付プラント設備運転		〃		表4.17 機械運転単価表×5																																																																																																																																																																																		
大型ブレイカ運転		〃		表4.4 機械運転単価表×5																																																																																																																																																																																		
諸雑費(その他機械)		式		表4.6																																																																																																																																																																																		
火 薬	含水爆薬（スラリー）	kg		表4.5 雷管は別途計上する																																																																																																																																																																																		
H形鋼支保工		t		表4.25～26																																																																																																																																																																																		
ロックボルト		本		※ 表4.20～22																																																																																																																																																																																		
吹付コンクリート		m ³		表4.14																																																																																																																																																																																		
諸雑費(その他材料)		式		表4.7																																																																																																																																																																																		
計																																																																																																																																																																																						
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																		
ダンプトラック運転	坑内用普通ディーゼル10t積級	週		表4.10～13 機械運転単価表×5																																																																																																																																																																																		

土木工事標準歩掛の一部改定
トンネル工（NATM） [発破工法]

工種名	現 行	改 定																																																																																																																																																																																				
	<p>③ ショートベンチ方式下半掘削1m（トンネル延長）当り単価表 (5) 掘削等<掘削, 吹付, ロックボルト, 金網, 鋼製支保工></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>トンネル世話役</td><td></td><td>人</td><td></td><td>表4.1</td></tr> <tr><td>トンネル特殊工</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>表4.1</td></tr> <tr><td>トンネル作業員</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>表4.1</td></tr> <tr><td>ドリルジャンボ運転</td><td></td><td>週</td><td></td><td>表4.3 機械運転単価表×5</td></tr> <tr><td>コンクリート吹付機運</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>表4.16 機械運転単価表×5</td></tr> <tr><td>ホイールローダ運転</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>表4.8 機械運転単価表×5</td></tr> <tr><td>吹付プラント設備運転</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>表4.17 機械運転単価表×5</td></tr> <tr><td>大型ブレイカ運転</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>表4.4 機械運転単価表×5</td></tr> <tr><td>諸雑費(その他機械)</td><td></td><td>式</td><td></td><td>表4.6</td></tr> <tr><td>火 薬</td><td>含水爆薬（スラリー）</td><td>kg</td><td></td><td>表4.5 雷管は別途計上する</td></tr> <tr><td>H形鋼支保工</td><td></td><td>t</td><td></td><td>表4.25～26</td></tr> <tr><td>ロックボルト</td><td></td><td>本</td><td></td><td>※ 表4.20～22</td></tr> <tr><td>吹付コンクリート</td><td></td><td>m³</td><td></td><td>表4.14</td></tr> <tr><td>諸雑費(その他材料)</td><td></td><td>式</td><td></td><td>表4.7</td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>※ロックボルトの本数については表4.20～22による。 但し、別表値と一致しないものについては、1m当りの増減本数を計上する。</p> <p>(6) ザリ出し工（ダンプトラック運転）1m（トンネル延長）当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ダンプトラック運転</td> <td>坑内用普通ディーゼル10t積級</td> <td>週</td> <td></td> <td>表4.10～13 機械運転単価表×5</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	トンネル世話役		人		表4.1	トンネル特殊工		〃		表4.1	トンネル作業員		〃		表4.1	ドリルジャンボ運転		週		表4.3 機械運転単価表×5	コンクリート吹付機運		〃		表4.16 機械運転単価表×5	ホイールローダ運転		〃		表4.8 機械運転単価表×5	吹付プラント設備運転		〃		表4.17 機械運転単価表×5	大型ブレイカ運転		〃		表4.4 機械運転単価表×5	諸雑費(その他機械)		式		表4.6	火 薬	含水爆薬（スラリー）	kg		表4.5 雷管は別途計上する	H形鋼支保工		t		表4.25～26	ロックボルト		本		※ 表4.20～22	吹付コンクリート		m ³		表4.14	諸雑費(その他材料)		式		表4.7	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	ダンプトラック運転	坑内用普通ディーゼル10t積級	週		表4.10～13 機械運転単価表×5	<p>③ ショートベンチ方式下半掘削1m（トンネル延長）当り単価表 (5) 掘削等<掘削, 吹付, ロックボルト, 金網, 鋼製支保工></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>トンネル世話役</td><td></td><td>人</td><td></td><td>表4.1</td></tr> <tr><td>トンネル特殊工</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>表4.1</td></tr> <tr><td>トンネル作業員</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>表4.1</td></tr> <tr><td>ドリルジャンボ運転</td><td></td><td>週</td><td></td><td>表4.3 機械運転単価表×5</td></tr> <tr><td>コンクリート吹付機運</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>表4.16 機械運転単価表×5</td></tr> <tr><td>ホイールローダ運転</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>表4.8 機械運転単価表×5</td></tr> <tr><td>吹付プラント設備運転</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>表4.17 機械運転単価表×5</td></tr> <tr><td>大型ブレイカ運転</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>表4.4 機械運転単価表×5</td></tr> <tr><td>諸雑費(その他機械)</td><td></td><td>式</td><td></td><td>表4.6</td></tr> <tr><td>火 薬</td><td>含水爆薬（スラリー）</td><td>kg</td><td></td><td>表4.5 雷管は別途計上する</td></tr> <tr><td>H形鋼支保工</td><td></td><td>t</td><td></td><td>表4.25～26</td></tr> <tr><td>ロックボルト</td><td></td><td>本</td><td></td><td>※ 表4.20～22</td></tr> <tr><td>吹付コンクリート</td><td></td><td>m³</td><td></td><td>表4.14</td></tr> <tr><td>諸雑費(その他材料)</td><td></td><td>式</td><td></td><td>表4.7</td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>※ロックボルトの本数については表4.20～22による。 但し、別表値と一致しないものについては、1m当りの増減本数を計上する。</p> <p>(6) ザリ出し工（ダンプトラック運転）1m（トンネル延長）当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ダンプトラック運転</td> <td>坑内用普通ディーゼル10t積級</td> <td>週</td> <td></td> <td>表4.10～13 機械運転単価表×5</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	トンネル世話役		人		表4.1	トンネル特殊工		〃		表4.1	トンネル作業員		〃		表4.1	ドリルジャンボ運転		週		表4.3 機械運転単価表×5	コンクリート吹付機運		〃		表4.16 機械運転単価表×5	ホイールローダ運転		〃		表4.8 機械運転単価表×5	吹付プラント設備運転		〃		表4.17 機械運転単価表×5	大型ブレイカ運転		〃		表4.4 機械運転単価表×5	諸雑費(その他機械)		式		表4.6	火 薬	含水爆薬（スラリー）	kg		表4.5 雷管は別途計上する	H形鋼支保工		t		表4.25～26	ロックボルト		本		※ 表4.20～22	吹付コンクリート		m ³		表4.14	諸雑費(その他材料)		式		表4.7	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	ダンプトラック運転	坑内用普通ディーゼル10t積級	週		表4.10～13 機械運転単価表×5
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																		
トンネル世話役		人		表4.1																																																																																																																																																																																		
トンネル特殊工		〃		表4.1																																																																																																																																																																																		
トンネル作業員		〃		表4.1																																																																																																																																																																																		
ドリルジャンボ運転		週		表4.3 機械運転単価表×5																																																																																																																																																																																		
コンクリート吹付機運		〃		表4.16 機械運転単価表×5																																																																																																																																																																																		
ホイールローダ運転		〃		表4.8 機械運転単価表×5																																																																																																																																																																																		
吹付プラント設備運転		〃		表4.17 機械運転単価表×5																																																																																																																																																																																		
大型ブレイカ運転		〃		表4.4 機械運転単価表×5																																																																																																																																																																																		
諸雑費(その他機械)		式		表4.6																																																																																																																																																																																		
火 薬	含水爆薬（スラリー）	kg		表4.5 雷管は別途計上する																																																																																																																																																																																		
H形鋼支保工		t		表4.25～26																																																																																																																																																																																		
ロックボルト		本		※ 表4.20～22																																																																																																																																																																																		
吹付コンクリート		m ³		表4.14																																																																																																																																																																																		
諸雑費(その他材料)		式		表4.7																																																																																																																																																																																		
計																																																																																																																																																																																						
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																		
ダンプトラック運転	坑内用普通ディーゼル10t積級	週		表4.10～13 機械運転単価表×5																																																																																																																																																																																		
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																		
トンネル世話役		人		表4.1																																																																																																																																																																																		
トンネル特殊工		〃		表4.1																																																																																																																																																																																		
トンネル作業員		〃		表4.1																																																																																																																																																																																		
ドリルジャンボ運転		週		表4.3 機械運転単価表×5																																																																																																																																																																																		
コンクリート吹付機運		〃		表4.16 機械運転単価表×5																																																																																																																																																																																		
ホイールローダ運転		〃		表4.8 機械運転単価表×5																																																																																																																																																																																		
吹付プラント設備運転		〃		表4.17 機械運転単価表×5																																																																																																																																																																																		
大型ブレイカ運転		〃		表4.4 機械運転単価表×5																																																																																																																																																																																		
諸雑費(その他機械)		式		表4.6																																																																																																																																																																																		
火 薬	含水爆薬（スラリー）	kg		表4.5 雷管は別途計上する																																																																																																																																																																																		
H形鋼支保工		t		表4.25～26																																																																																																																																																																																		
ロックボルト		本		※ 表4.20～22																																																																																																																																																																																		
吹付コンクリート		m ³		表4.14																																																																																																																																																																																		
諸雑費(その他材料)		式		表4.7																																																																																																																																																																																		
計																																																																																																																																																																																						
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																		
ダンプトラック運転	坑内用普通ディーゼル10t積級	週		表4.10～13 機械運転単価表×5																																																																																																																																																																																		

土木工事標準歩掛の一部改定
トンネル工（NATM） [発破工法]

工種名	現 行	改 定																																																																																																																																												
	<p>(7) 大型ブレーカ運転1日当り単価表（こそく用）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>燃 料 費</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>大型ブレーカ損料</td> <td>トンネル工事用油圧式 1,300kg級</td> <td>日</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸雑費（まるめ）</td> <td></td> <td>式</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(8) H形鋼支保工1m（トンネル延長）単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H形鋼支保工 曲げ本体</td> <td>SS400 H-〇〇〇</td> <td>t</td> <td></td> <td>※ 表4.25～26</td> </tr> </tbody> </table> <p>※H形鋼支保工の数量、単価は本体のみとする。</p> <p>(9) 吹付コンクリート1m（トンネル延長）単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>吹付コンクリート</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td>※ 表4.14</td> </tr> </tbody> </table> <p>(10) ロックボルト1m（トンネル延長）単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ロックボルト （ドライモルタル含む）</td> <td>耐力〇〇kN以上 付属品含む L=〇m</td> <td>組</td> <td></td> <td>※ 表4.20～22</td> </tr> <tr> <td>注 入 急 結 剤</td> <td>無収縮混和剤</td> <td>〃</td> <td></td> <td>必要に応じて計上</td> </tr> </tbody> </table> <p>(11) 火薬1m（トンネル延長）単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>火 薬</td> <td></td> <td>kg</td> <td></td> <td>※ 表4.5 雷管は別途計上する</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	燃 料 費		1			大型ブレーカ損料	トンネル工事用油圧式 1,300kg級	日	1		諸雑費（まるめ）		式			計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	H形鋼支保工 曲げ本体	SS400 H-〇〇〇	t		※ 表4.25～26	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	吹付コンクリート		m ³		※ 表4.14	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	ロックボルト （ドライモルタル含む）	耐力〇〇kN以上 付属品含む L=〇m	組		※ 表4.20～22	注 入 急 結 剤	無収縮混和剤	〃		必要に応じて計上	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	火 薬		kg		※ 表4.5 雷管は別途計上する	<p>(7) 大型ブレーカ運転1日当り単価表（こそく用）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>燃 料 費</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>大型ブレーカ損料</td> <td>トンネル工事用排出ガス対策型 油圧式 1,300kg級</td> <td>日</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸雑費（まるめ）</td> <td></td> <td>式</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(8) H形鋼支保工1m（トンネル延長）単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H形鋼支保工 曲げ本体</td> <td>SS400 H-〇〇〇</td> <td>t</td> <td></td> <td>※ 表4.25～26</td> </tr> </tbody> </table> <p>※H形鋼支保工の数量、単価は本体のみとする。</p> <p>(9) 吹付コンクリート1m（トンネル延長）単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>吹付コンクリート</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td>※ 表4.14</td> </tr> </tbody> </table> <p>(10) ロックボルト1m（トンネル延長）単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ロックボルト （ドライモルタル含む）</td> <td>耐力〇〇kN以上 付属品含む L=〇m</td> <td>組</td> <td></td> <td>※ 表4.20～22</td> </tr> <tr> <td>注 入 急 結 剤</td> <td>無収縮混和剤</td> <td>〃</td> <td></td> <td>必要に応じて計上</td> </tr> </tbody> </table> <p>(11) 火薬1m（トンネル延長）単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>火 薬</td> <td></td> <td>kg</td> <td></td> <td>※ 表4.5 雷管は別途計上する</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	燃 料 費		1			大型ブレーカ損料	トンネル工事用排出ガス対策型 油圧式 1,300kg級	日	1		諸雑費（まるめ）		式			計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	H形鋼支保工 曲げ本体	SS400 H-〇〇〇	t		※ 表4.25～26	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	吹付コンクリート		m ³		※ 表4.14	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	ロックボルト （ドライモルタル含む）	耐力〇〇kN以上 付属品含む L=〇m	組		※ 表4.20～22	注 入 急 結 剤	無収縮混和剤	〃		必要に応じて計上	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	火 薬		kg		※ 表4.5 雷管は別途計上する
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																										
燃 料 費		1																																																																																																																																												
大型ブレーカ損料	トンネル工事用油圧式 1,300kg級	日	1																																																																																																																																											
諸雑費（まるめ）		式																																																																																																																																												
計																																																																																																																																														
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																										
H形鋼支保工 曲げ本体	SS400 H-〇〇〇	t		※ 表4.25～26																																																																																																																																										
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																										
吹付コンクリート		m ³		※ 表4.14																																																																																																																																										
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																										
ロックボルト （ドライモルタル含む）	耐力〇〇kN以上 付属品含む L=〇m	組		※ 表4.20～22																																																																																																																																										
注 入 急 結 剤	無収縮混和剤	〃		必要に応じて計上																																																																																																																																										
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																										
火 薬		kg		※ 表4.5 雷管は別途計上する																																																																																																																																										
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																										
燃 料 費		1																																																																																																																																												
大型ブレーカ損料	トンネル工事用排出ガス対策型 油圧式 1,300kg級	日	1																																																																																																																																											
諸雑費（まるめ）		式																																																																																																																																												
計																																																																																																																																														
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																										
H形鋼支保工 曲げ本体	SS400 H-〇〇〇	t		※ 表4.25～26																																																																																																																																										
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																										
吹付コンクリート		m ³		※ 表4.14																																																																																																																																										
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																										
ロックボルト （ドライモルタル含む）	耐力〇〇kN以上 付属品含む L=〇m	組		※ 表4.20～22																																																																																																																																										
注 入 急 結 剤	無収縮混和剤	〃		必要に応じて計上																																																																																																																																										
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																										
火 薬		kg		※ 表4.5 雷管は別途計上する																																																																																																																																										

土木工事標準歩掛の一部改定
トンネル工（NATM） [発破工法]

工種名	現 行	改 定																																																																																																																																																																																																																																																
	<p>4 覆工等1m（トンネル延長）当り単価表 (12) 覆工コンクリート等1m当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>トンネル世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.119</td> <td>表4.46</td> </tr> <tr> <td>トンネル特殊工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.714</td> <td>表4.46</td> </tr> <tr> <td>トンネル作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.238</td> <td>表4.46</td> </tr> <tr> <td>コンクリートポンプ車運</td> <td>黒煙浄化装置付 配管式圧送能力90-100m³/h</td> <td>週</td> <td></td> <td>表4.38 B/10 機械運転単価表×5</td> </tr> <tr> <td>諸雑費(その他機械)</td> <td></td> <td>式</td> <td></td> <td>表4.43</td> </tr> <tr> <td>生コンクリート</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td>表4.42</td> </tr> <tr> <td>防水シート</td> <td></td> <td>m²</td> <td></td> <td>表4.41 1.16×A</td> </tr> <tr> <td>諸雑費(その他材料)</td> <td></td> <td>式</td> <td></td> <td>表4.44</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>A：1m当り防水シート面積 B：コンクリートポンプ車10m当り運転週数</p> <p>(13) 型枠工（労務と機械）（覆工コンクリート）スライドセントル据付・移動・脱型1m（トンネル延長）当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>トンネル世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.119</td> <td>表4.45</td> </tr> <tr> <td>トンネル特殊工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.714</td> <td>表4.45</td> </tr> <tr> <td>トンネル作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.238</td> <td>表4.45</td> </tr> <tr> <td>スライドセントル損料</td> <td></td> <td>m</td> <td>1</td> <td>表4.39</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(14) 防水工（労務と機械）1m（トンネル延長）当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>トンネル世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.36 0.06×A/10</td> </tr> <tr> <td>トンネル特殊工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>表4.36 0.17×A/10</td> </tr> <tr> <td>トンネル作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>表4.36 0.12×A/10</td> </tr> <tr> <td>防水工作業台車</td> <td>長さ4.5m</td> <td>m</td> <td>1</td> <td>表4.40</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>A：1m当り防水シート面積</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	トンネル世話役		人	0.119	表4.46	トンネル特殊工		〃	0.714	表4.46	トンネル作業員		〃	0.238	表4.46	コンクリートポンプ車運	黒煙浄化装置付 配管式圧送能力90-100m ³ /h	週		表4.38 B/10 機械運転単価表×5	諸雑費(その他機械)		式		表4.43	生コンクリート		m ³		表4.42	防水シート		m ²		表4.41 1.16×A	諸雑費(その他材料)		式		表4.44	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	トンネル世話役		人	0.119	表4.45	トンネル特殊工		〃	0.714	表4.45	トンネル作業員		〃	0.238	表4.45	スライドセントル損料		m	1	表4.39	諸 雑 費		式			計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	トンネル世話役		人		表4.36 0.06×A/10	トンネル特殊工		〃		表4.36 0.17×A/10	トンネル作業員		〃		表4.36 0.12×A/10	防水工作業台車	長さ4.5m	m	1	表4.40	諸 雑 費		式			計					<p>4 覆工等1m（トンネル延長）当り単価表 (12) 覆工コンクリート等1m当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>トンネル世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.119</td> <td>表4.44</td> </tr> <tr> <td>トンネル特殊工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.714</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>トンネル作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.238</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>コンクリートポンプ車運</td> <td>黒煙浄化装置付 配管式圧送能力90-100m³/h</td> <td>週</td> <td></td> <td>表4.36 B/10 機械運転単価表×5</td> </tr> <tr> <td>諸雑費(その他機械)</td> <td></td> <td>式</td> <td></td> <td>表4.41</td> </tr> <tr> <td>生コンクリート</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td>表4.40</td> </tr> <tr> <td>防水シート</td> <td></td> <td>m²</td> <td></td> <td>表4.39 1.16×A</td> </tr> <tr> <td>諸雑費(その他材料)</td> <td></td> <td>式</td> <td></td> <td>表4.42</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>A：1m当り防水シート面積（防水シート数量はラップ及び施工面の凹凸を含めたロス16%を加算する。） B：コンクリートポンプ車10m当り運転週数</p> <p>(13) 型枠工（労務と機械）（覆工コンクリート）スライドセントル据付・移動・脱型1m（トンネル延長）当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>トンネル世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.119</td> <td>表4.43</td> </tr> <tr> <td>トンネル特殊工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.714</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>トンネル作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.238</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>スライドセントル損料</td> <td></td> <td>m</td> <td>1</td> <td>表4.37</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(14) 防水工（労務と機械）1m（トンネル延長）当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>トンネル世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.34 0.08×A/10</td> </tr> <tr> <td>トンネル特殊工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>表4.34 0.15×A/10</td> </tr> <tr> <td>トンネル作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>表4.34 0.08×A/10</td> </tr> <tr> <td>防水工作業台車</td> <td>長さ6.0m</td> <td>m</td> <td>1</td> <td>表4.38</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>A：1m当り防水シート面積</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	トンネル世話役		人	0.119	表4.44	トンネル特殊工		〃	0.714	〃	トンネル作業員		〃	0.238	〃	コンクリートポンプ車運	黒煙浄化装置付 配管式圧送能力90-100m ³ /h	週		表4.36 B/10 機械運転単価表×5	諸雑費(その他機械)		式		表4.41	生コンクリート		m ³		表4.40	防水シート		m ²		表4.39 1.16×A	諸雑費(その他材料)		式		表4.42	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	トンネル世話役		人	0.119	表4.43	トンネル特殊工		〃	0.714	〃	トンネル作業員		〃	0.238	〃	スライドセントル損料		m	1	表4.37	諸 雑 費		式			計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	トンネル世話役		人		表4.34 0.08×A/10	トンネル特殊工		〃		表4.34 0.15×A/10	トンネル作業員		〃		表4.34 0.08×A/10	防水工作業台車	長さ6.0m	m	1	表4.38	諸 雑 費		式			計				
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																														
トンネル世話役		人	0.119	表4.46																																																																																																																																																																																																																																														
トンネル特殊工		〃	0.714	表4.46																																																																																																																																																																																																																																														
トンネル作業員		〃	0.238	表4.46																																																																																																																																																																																																																																														
コンクリートポンプ車運	黒煙浄化装置付 配管式圧送能力90-100m ³ /h	週		表4.38 B/10 機械運転単価表×5																																																																																																																																																																																																																																														
諸雑費(その他機械)		式		表4.43																																																																																																																																																																																																																																														
生コンクリート		m ³		表4.42																																																																																																																																																																																																																																														
防水シート		m ²		表4.41 1.16×A																																																																																																																																																																																																																																														
諸雑費(その他材料)		式		表4.44																																																																																																																																																																																																																																														
計																																																																																																																																																																																																																																																		
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																														
トンネル世話役		人	0.119	表4.45																																																																																																																																																																																																																																														
トンネル特殊工		〃	0.714	表4.45																																																																																																																																																																																																																																														
トンネル作業員		〃	0.238	表4.45																																																																																																																																																																																																																																														
スライドセントル損料		m	1	表4.39																																																																																																																																																																																																																																														
諸 雑 費		式																																																																																																																																																																																																																																																
計																																																																																																																																																																																																																																																		
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																														
トンネル世話役		人		表4.36 0.06×A/10																																																																																																																																																																																																																																														
トンネル特殊工		〃		表4.36 0.17×A/10																																																																																																																																																																																																																																														
トンネル作業員		〃		表4.36 0.12×A/10																																																																																																																																																																																																																																														
防水工作業台車	長さ4.5m	m	1	表4.40																																																																																																																																																																																																																																														
諸 雑 費		式																																																																																																																																																																																																																																																
計																																																																																																																																																																																																																																																		
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																														
トンネル世話役		人	0.119	表4.44																																																																																																																																																																																																																																														
トンネル特殊工		〃	0.714	〃																																																																																																																																																																																																																																														
トンネル作業員		〃	0.238	〃																																																																																																																																																																																																																																														
コンクリートポンプ車運	黒煙浄化装置付 配管式圧送能力90-100m ³ /h	週		表4.36 B/10 機械運転単価表×5																																																																																																																																																																																																																																														
諸雑費(その他機械)		式		表4.41																																																																																																																																																																																																																																														
生コンクリート		m ³		表4.40																																																																																																																																																																																																																																														
防水シート		m ²		表4.39 1.16×A																																																																																																																																																																																																																																														
諸雑費(その他材料)		式		表4.42																																																																																																																																																																																																																																														
計																																																																																																																																																																																																																																																		
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																														
トンネル世話役		人	0.119	表4.43																																																																																																																																																																																																																																														
トンネル特殊工		〃	0.714	〃																																																																																																																																																																																																																																														
トンネル作業員		〃	0.238	〃																																																																																																																																																																																																																																														
スライドセントル損料		m	1	表4.37																																																																																																																																																																																																																																														
諸 雑 費		式																																																																																																																																																																																																																																																
計																																																																																																																																																																																																																																																		
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																														
トンネル世話役		人		表4.34 0.08×A/10																																																																																																																																																																																																																																														
トンネル特殊工		〃		表4.34 0.15×A/10																																																																																																																																																																																																																																														
トンネル作業員		〃		表4.34 0.08×A/10																																																																																																																																																																																																																																														
防水工作業台車	長さ6.0m	m	1	表4.38																																																																																																																																																																																																																																														
諸 雑 費		式																																																																																																																																																																																																																																																
計																																																																																																																																																																																																																																																		

土木工事標準歩掛の一部改定
トンネル工 (NATM) [発破工法]

工種名	現 行	改 定																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	<p>⑤ 直接工事費, 仮設工, トンネル仮設備工</p> <p>(15) ○○○式集塵機運転1m (トンネル延長) 当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○○○式集塵機運転</td> <td>定格風量○○m³/min級</td> <td>週</td> <td></td> <td>表4.18 機械運転単価表×5</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(16) インバート掘削工10m³当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>トンネル世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.27</td> </tr> <tr> <td>トンネル特殊工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>トンネル作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>大型ブレーカ運転</td> <td>トンネル工専用油圧式 600~800kg級</td> <td>日</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>トンネル工専用排出ガス 対策型・クローラ型 山積0.45m³(平積0.35m³)</td> <td>h</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>チゼル損耗費</td> <td>600~800kg級用</td> <td>本</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(17) インバートずり出し工10m³当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>トンネル特殊工</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.28</td> </tr> <tr> <td>ダンプトラック運転</td> <td>坑内用普通 ディーゼル10 t 積級</td> <td>h</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(18) インバート型枠製作100m²当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.31</td> </tr> <tr> <td>型 枠 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(19) インバート型枠・設置・撤去100m²当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>トンネル世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.32</td> </tr> <tr> <td>トンネル特殊工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>トンネル作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単位	数 量	摘 要	○○○式集塵機運転	定格風量○○m ³ /min級	週		表4.18 機械運転単価表×5	計					名 称	規 格	単位	数 量	摘 要	トンネル世話役		人		表4.27	トンネル特殊工		〃		〃	トンネル作業員		〃		〃	大型ブレーカ運転	トンネル工専用油圧式 600~800kg級	日		〃	バックホウ運転	トンネル工専用排出ガス 対策型・クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	h		〃	チゼル損耗費	600~800kg級用	本		〃	諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単位	数 量	摘 要	トンネル特殊工		人		表4.28	ダンプトラック運転	坑内用普通 ディーゼル10 t 積級	h		〃	計					名 称	規 格	単位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表4.31	型 枠 工		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	諸 雑 費		式	1	〃	計					名 称	規 格	単位	数 量	摘 要	トンネル世話役		人		表4.32	トンネル特殊工		〃		〃	トンネル作業員		〃		〃	諸 雑 費		式	1	〃	計					<p>⑤ 直接工事費, 仮設工, トンネル仮設備工</p> <p>(15) ○○○式集塵機運転1m (トンネル延長) 当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○○○式集塵機運転</td> <td>定格風量○○m³/min級</td> <td>週</td> <td></td> <td>表4.18 機械運転単価表×5</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(16) インバート掘削工10m³当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>トンネル世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.27</td> </tr> <tr> <td>トンネル特殊工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>トンネル作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>大型ブレーカ運転</td> <td>トンネル工専用排出ガス 対策型 油圧式1,300kg級</td> <td>日</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>トンネル工専用排出ガス 対策型・クローラ型 山積0.45m³(平積0.35m³)</td> <td>h</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>チゼル損耗費</td> <td>1,300kg級用</td> <td>本</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(17) インバートずり出し工10m³当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>トンネル特殊工</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.28</td> </tr> <tr> <td>ダンプトラック運転</td> <td>坑内用普通 ディーゼル10 t 積級</td> <td>h</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(18) インバート型枠製作100m²当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.29</td> </tr> <tr> <td>型 枠 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(19) インバート型枠・設置・撤去100m²当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>トンネル世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.30</td> </tr> <tr> <td>トンネル特殊工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>トンネル作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単位	数 量	摘 要	○○○式集塵機運転	定格風量○○m ³ /min級	週		表4.18 機械運転単価表×5	計					名 称	規 格	単位	数 量	摘 要	トンネル世話役		人		表4.27	トンネル特殊工		〃		〃	トンネル作業員		〃		〃	大型ブレーカ運転	トンネル工専用排出ガス 対策型 油圧式1,300kg級	日		〃	バックホウ運転	トンネル工専用排出ガス 対策型・クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	h		〃	チゼル損耗費	1,300kg級用	本		〃	諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単位	数 量	摘 要	トンネル特殊工		人		表4.28	ダンプトラック運転	坑内用普通 ディーゼル10 t 積級	h		〃	計					名 称	規 格	単位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表4.29	型 枠 工		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	諸 雑 費		式	1	〃	計					名 称	規 格	単位	数 量	摘 要	トンネル世話役		人		表4.30	トンネル特殊工		〃		〃	トンネル作業員		〃		〃	諸 雑 費		式	1	〃	計				
名 称	規 格	単位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																																																																						
○○○式集塵機運転	定格風量○○m ³ /min級	週		表4.18 機械運転単価表×5																																																																																																																																																																																																																																																																																						
計																																																																																																																																																																																																																																																																																										
名 称	規 格	単位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																																																																						
トンネル世話役		人		表4.27																																																																																																																																																																																																																																																																																						
トンネル特殊工		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																																																																						
トンネル作業員		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																																																																						
大型ブレーカ運転	トンネル工専用油圧式 600~800kg級	日		〃																																																																																																																																																																																																																																																																																						
バックホウ運転	トンネル工専用排出ガス 対策型・クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	h		〃																																																																																																																																																																																																																																																																																						
チゼル損耗費	600~800kg級用	本		〃																																																																																																																																																																																																																																																																																						
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																																																																																																																																																																							
計																																																																																																																																																																																																																																																																																										
名 称	規 格	単位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																																																																						
トンネル特殊工		人		表4.28																																																																																																																																																																																																																																																																																						
ダンプトラック運転	坑内用普通 ディーゼル10 t 積級	h		〃																																																																																																																																																																																																																																																																																						
計																																																																																																																																																																																																																																																																																										
名 称	規 格	単位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																																																																						
世 話 役		人		表4.31																																																																																																																																																																																																																																																																																						
型 枠 工		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																																																																						
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																																																																						
諸 雑 費		式	1	〃																																																																																																																																																																																																																																																																																						
計																																																																																																																																																																																																																																																																																										
名 称	規 格	単位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																																																																						
トンネル世話役		人		表4.32																																																																																																																																																																																																																																																																																						
トンネル特殊工		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																																																																						
トンネル作業員		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																																																																						
諸 雑 費		式	1	〃																																																																																																																																																																																																																																																																																						
計																																																																																																																																																																																																																																																																																										
名 称	規 格	単位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																																																																						
○○○式集塵機運転	定格風量○○m ³ /min級	週		表4.18 機械運転単価表×5																																																																																																																																																																																																																																																																																						
計																																																																																																																																																																																																																																																																																										
名 称	規 格	単位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																																																																						
トンネル世話役		人		表4.27																																																																																																																																																																																																																																																																																						
トンネル特殊工		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																																																																						
トンネル作業員		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																																																																						
大型ブレーカ運転	トンネル工専用排出ガス 対策型 油圧式1,300kg級	日		〃																																																																																																																																																																																																																																																																																						
バックホウ運転	トンネル工専用排出ガス 対策型・クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	h		〃																																																																																																																																																																																																																																																																																						
チゼル損耗費	1,300kg級用	本		〃																																																																																																																																																																																																																																																																																						
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																																																																																																																																																																							
計																																																																																																																																																																																																																																																																																										
名 称	規 格	単位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																																																																						
トンネル特殊工		人		表4.28																																																																																																																																																																																																																																																																																						
ダンプトラック運転	坑内用普通 ディーゼル10 t 積級	h		〃																																																																																																																																																																																																																																																																																						
計																																																																																																																																																																																																																																																																																										
名 称	規 格	単位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																																																																						
世 話 役		人		表4.29																																																																																																																																																																																																																																																																																						
型 枠 工		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																																																																						
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																																																																						
諸 雑 費		式	1	〃																																																																																																																																																																																																																																																																																						
計																																																																																																																																																																																																																																																																																										
名 称	規 格	単位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																																																																						
トンネル世話役		人		表4.30																																																																																																																																																																																																																																																																																						
トンネル特殊工		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																																																																						
トンネル作業員		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																																																																						
諸 雑 費		式	1	〃																																																																																																																																																																																																																																																																																						
計																																																																																																																																																																																																																																																																																										

土木工事標準歩掛の一部改定
トンネル工（NATM） [発破工法]

工種名	現 行	改 定																																																																																																																																																																																																																																																
	<p>(20) インバートコンクリート（打設・養生）10m³当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>トンネル世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.33</td> </tr> <tr> <td>トンネル特殊工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>トンネル作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>コンクリート</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td>10m³×(1+ロス率)</td> </tr> <tr> <td>コンクリートポンプ運転</td> <td>黒煙浄化装置付 ブーム式圧送能力90～ 110m³/h</td> <td>h</td> <td></td> <td>表4.33</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(21) インバート敷ならし・締めめ工10m³当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>トンネル世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.34</td> </tr> <tr> <td>トンネル特殊工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>トンネル作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ブルドーザ運転</td> <td>排出ガス対策型 黒煙浄化装置付 普通15t級</td> <td>h</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>タイヤローラ運転</td> <td>排出ガス対策型 黒煙浄化装置付 8～20t</td> <td>日</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(22) 大型ブレーカ運転1日当り単価表（インバート掘削用）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>燃 料 費</td> <td></td> <td>l</td> <td>運転1h当り燃 料消費量×T</td> <td>第1章②原動機燃料消費量 による</td> </tr> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>トンネル工事用排出 ガス対策型・クロー ラ型 山積0.45m³ (平積0.35m³)</td> <td>h</td> <td>T</td> <td></td> </tr> <tr> <td>大型ブレーカ損料</td> <td>トンネル工事用 油圧式600～800kg級</td> <td>日</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">T：バックホウの運転日当り運転時間</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	トンネル世話役		人		表4.33	トンネル特殊工		〃		〃	トンネル作業員		〃		〃	コンクリート		m ³		10m ³ ×(1+ロス率)	コンクリートポンプ運転	黒煙浄化装置付 ブーム式圧送能力90～ 110m ³ /h	h		表4.33	諸 雑 費		式	1	〃	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	トンネル世話役		人		表4.34	トンネル特殊工		〃		〃	トンネル作業員		〃		〃	ブルドーザ運転	排出ガス対策型 黒煙浄化装置付 普通15t級	h		〃	タイヤローラ運転	排出ガス対策型 黒煙浄化装置付 8～20t	日		〃	諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	燃 料 費		l	運転1h当り燃 料消費量×T	第1章②原動機燃料消費量 による	バックホウ運転	トンネル工事用排出 ガス対策型・クロー ラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	h	T		大型ブレーカ損料	トンネル工事用 油圧式600～800kg級	日	1		諸 雑 費		式	1		計					<p>(20) インバートコンクリート（打設・養生）10m³当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>トンネル世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.31</td> </tr> <tr> <td>トンネル特殊工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>トンネル作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>コンクリート</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td>10m³×(1+ロス率)</td> </tr> <tr> <td>コンクリートポンプ運転</td> <td>黒煙浄化装置付 ブーム式圧送能力90～ 110m³/h</td> <td>h</td> <td></td> <td>表4.31</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(21) インバート敷均し・締めめ工10m³当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>トンネル世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.32</td> </tr> <tr> <td>トンネル特殊工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>トンネル作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ブルドーザ運転</td> <td>排出ガス対策型 黒煙浄化装置付 普通15t級</td> <td>h</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>タイヤローラ運転</td> <td>排出ガス対策型 黒煙浄化装置付 8～20t</td> <td>日</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(22) 埋戻し材の積込作業単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排出ガス対策型 クローラ型 山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>h</td> <td></td> <td>表4.33</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(23) 大型ブレーカ運転1日当り単価表（インバート掘削用）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>燃 料 費</td> <td></td> <td>l</td> <td>運転1h当り燃 料消費量×T</td> <td>第1章②原動機燃料消費量 による</td> </tr> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>トンネル工事用排出 ガス対策型 クローラ型 山積0.45m³ (平積0.35m³)</td> <td>h</td> <td>T</td> <td></td> </tr> <tr> <td>大型ブレーカ損料</td> <td>トンネル工事用排出 ガス対策型油圧式 1,300kg級</td> <td>日</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small; color: red;">T：バックホウの運転日当り運転時間</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	トンネル世話役		人		表4.31	トンネル特殊工		〃		〃	トンネル作業員		〃		〃	コンクリート		m ³		10m ³ ×(1+ロス率)	コンクリートポンプ運転	黒煙浄化装置付 ブーム式圧送能力90～ 110m ³ /h	h		表4.31	諸 雑 費		式	1	〃	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	トンネル世話役		人		表4.32	トンネル特殊工		〃		〃	トンネル作業員		〃		〃	ブルドーザ運転	排出ガス対策型 黒煙浄化装置付 普通15t級	h		〃	タイヤローラ運転	排出ガス対策型 黒煙浄化装置付 8～20t	日		〃	諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	バックホウ運転	排出ガス対策型 クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	h		表4.33	諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	燃 料 費		l	運転1h当り燃 料消費量×T	第1章②原動機燃料消費量 による	バックホウ運転	トンネル工事用排出 ガス対策型 クローラ型 山積0.45m³ (平積0.35m³)	h	T		大型ブレーカ損料	トンネル工事用排出 ガス対策型油圧式 1,300kg級	日	1		諸 雑 費		式	1		計				
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																														
トンネル世話役		人		表4.33																																																																																																																																																																																																																																														
トンネル特殊工		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																														
トンネル作業員		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																														
コンクリート		m ³		10m ³ ×(1+ロス率)																																																																																																																																																																																																																																														
コンクリートポンプ運転	黒煙浄化装置付 ブーム式圧送能力90～ 110m ³ /h	h		表4.33																																																																																																																																																																																																																																														
諸 雑 費		式	1	〃																																																																																																																																																																																																																																														
計																																																																																																																																																																																																																																																		
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																														
トンネル世話役		人		表4.34																																																																																																																																																																																																																																														
トンネル特殊工		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																														
トンネル作業員		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																														
ブルドーザ運転	排出ガス対策型 黒煙浄化装置付 普通15t級	h		〃																																																																																																																																																																																																																																														
タイヤローラ運転	排出ガス対策型 黒煙浄化装置付 8～20t	日		〃																																																																																																																																																																																																																																														
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																																																																																																																															
計																																																																																																																																																																																																																																																		
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																														
燃 料 費		l	運転1h当り燃 料消費量×T	第1章②原動機燃料消費量 による																																																																																																																																																																																																																																														
バックホウ運転	トンネル工事用排出 ガス対策型・クロー ラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	h	T																																																																																																																																																																																																																																															
大型ブレーカ損料	トンネル工事用 油圧式600～800kg級	日	1																																																																																																																																																																																																																																															
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																																																																																																																															
計																																																																																																																																																																																																																																																		
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																														
トンネル世話役		人		表4.31																																																																																																																																																																																																																																														
トンネル特殊工		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																														
トンネル作業員		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																														
コンクリート		m ³		10m ³ ×(1+ロス率)																																																																																																																																																																																																																																														
コンクリートポンプ運転	黒煙浄化装置付 ブーム式圧送能力90～ 110m ³ /h	h		表4.31																																																																																																																																																																																																																																														
諸 雑 費		式	1	〃																																																																																																																																																																																																																																														
計																																																																																																																																																																																																																																																		
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																														
トンネル世話役		人		表4.32																																																																																																																																																																																																																																														
トンネル特殊工		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																														
トンネル作業員		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																														
ブルドーザ運転	排出ガス対策型 黒煙浄化装置付 普通15t級	h		〃																																																																																																																																																																																																																																														
タイヤローラ運転	排出ガス対策型 黒煙浄化装置付 8～20t	日		〃																																																																																																																																																																																																																																														
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																																																																																																																															
計																																																																																																																																																																																																																																																		
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																														
バックホウ運転	排出ガス対策型 クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	h		表4.33																																																																																																																																																																																																																																														
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																																																																																																																															
計																																																																																																																																																																																																																																																		
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																														
燃 料 費		l	運転1h当り燃 料消費量×T	第1章②原動機燃料消費量 による																																																																																																																																																																																																																																														
バックホウ運転	トンネル工事用排出 ガス対策型 クローラ型 山積0.45m³ (平積0.35m³)	h	T																																																																																																																																																																																																																																															
大型ブレーカ損料	トンネル工事用排出 ガス対策型油圧式 1,300kg級	日	1																																																																																																																																																																																																																																															
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																																																																																																																															
計																																																																																																																																																																																																																																																		

土木工事標準歩掛の一部改定
トンネル工（NATM） [発破工法]

工種名	現 行	改 定																																																																																																																																																																																														
	<p>(23) 空気圧縮機設備運転1月当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電 力 料</td> <td></td> <td>kWh</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.48</td> </tr> <tr> <td>空気圧縮機設備損料</td> <td>定置式スクリュ型 11.0~12.4m³/min</td> <td>h</td> <td></td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(24) 空気圧縮機設備組立・解体1基当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.49</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>"</td> <td></td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>"</td> <td></td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>機 械 工</td> <td></td> <td>"</td> <td></td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>"</td> <td></td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>電 工</td> <td></td> <td>"</td> <td></td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーン クレーン賃料</td> <td>排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型25 t吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(25) 吹付プラント組立・解体1基当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.50</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>"</td> <td></td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>"</td> <td></td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>機 械 工</td> <td></td> <td>"</td> <td></td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>"</td> <td></td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>溶 接 工</td> <td></td> <td>"</td> <td></td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>電 工</td> <td></td> <td>"</td> <td></td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーン クレーン賃料</td> <td>排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型25 t吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	電 力 料		kWh			特 殊 作 業 員		人		表4.48	空気圧縮機設備損料	定置式スクリュ型 11.0~12.4m ³ /min	h		"	諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表4.49	特 殊 作 業 員		"		"	普 通 作 業 員		"		"	機 械 工		"		"	と び 工		"		"	電 工		"		"	ラフテレーン クレーン賃料	排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型25 t吊	日		"	諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表4.50	特 殊 作 業 員		"		"	普 通 作 業 員		"		"	機 械 工		"		"	と び 工		"		"	溶 接 工		"		"	電 工		"		"	ラフテレーン クレーン賃料	排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型25 t吊	日		"	諸 雑 費		式	1		計					<div style="text-align: center; font-size: 2em; margin-bottom: 10px;">}</div> <p style="text-align: center; color: red; font-weight: bold;">削 除</p> <div style="text-align: center; font-size: 2em; margin-top: 10px;">}</div> <p>(24) 吹付プラント組立・解体1基当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td style="color: red;">表4.45</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>"</td> <td></td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>"</td> <td></td> <td>"</td> </tr> <tr> <td style="color: red;">設 備 機 械 工</td> <td></td> <td>"</td> <td></td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>"</td> <td></td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>溶 接 工</td> <td></td> <td>"</td> <td></td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>電 工</td> <td></td> <td>"</td> <td></td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーン クレーン賃料</td> <td>排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型25 t吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表4.45	特 殊 作 業 員		"		"	普 通 作 業 員		"		"	設 備 機 械 工		"		"	と び 工		"		"	溶 接 工		"		"	電 工		"		"	ラフテレーン クレーン賃料	排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型25 t吊	日		"	諸 雑 費		式	1		計				
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																												
電 力 料		kWh																																																																																																																																																																																														
特 殊 作 業 員		人		表4.48																																																																																																																																																																																												
空気圧縮機設備損料	定置式スクリュ型 11.0~12.4m ³ /min	h		"																																																																																																																																																																																												
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																																																																													
計																																																																																																																																																																																																
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																												
世 話 役		人		表4.49																																																																																																																																																																																												
特 殊 作 業 員		"		"																																																																																																																																																																																												
普 通 作 業 員		"		"																																																																																																																																																																																												
機 械 工		"		"																																																																																																																																																																																												
と び 工		"		"																																																																																																																																																																																												
電 工		"		"																																																																																																																																																																																												
ラフテレーン クレーン賃料	排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型25 t吊	日		"																																																																																																																																																																																												
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																																																																													
計																																																																																																																																																																																																
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																												
世 話 役		人		表4.50																																																																																																																																																																																												
特 殊 作 業 員		"		"																																																																																																																																																																																												
普 通 作 業 員		"		"																																																																																																																																																																																												
機 械 工		"		"																																																																																																																																																																																												
と び 工		"		"																																																																																																																																																																																												
溶 接 工		"		"																																																																																																																																																																																												
電 工		"		"																																																																																																																																																																																												
ラフテレーン クレーン賃料	排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型25 t吊	日		"																																																																																																																																																																																												
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																																																																													
計																																																																																																																																																																																																
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																												
世 話 役		人		表4.45																																																																																																																																																																																												
特 殊 作 業 員		"		"																																																																																																																																																																																												
普 通 作 業 員		"		"																																																																																																																																																																																												
設 備 機 械 工		"		"																																																																																																																																																																																												
と び 工		"		"																																																																																																																																																																																												
溶 接 工		"		"																																																																																																																																																																																												
電 工		"		"																																																																																																																																																																																												
ラフテレーン クレーン賃料	排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型25 t吊	日		"																																																																																																																																																																																												
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																																																																													
計																																																																																																																																																																																																

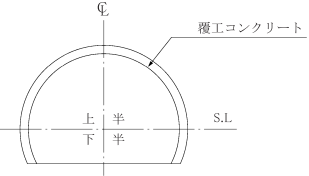
土木工事標準歩掛の一部改定
トンネル工（NATM） [発破工法]

工種名	現 行	改 定																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	<p>(26) スライドセントル組立・解体1基当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.51</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>機 械 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>電 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン賃料</td> <td>排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型25 t吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(27) 防水作業台車組立・解体1基当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.52</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>機 械 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>電 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>トラッククレーン賃料</td> <td>油圧伸縮ジブ型4.9 t吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(28) 坑外送気管敷設・撤去1m当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配 管 工</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.53</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(29) 仮設備保守費1月当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.54, 表4.55</td> </tr> <tr> <td>機 械 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃 〃</td> </tr> <tr> <td>電 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃 〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表4.51	特 殊 作 業 員		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	機 械 工		〃		〃	と び 工		〃		〃	電 工		〃		〃	ラフテレーンクレーン賃料	排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型25 t吊	日		〃	諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表4.52	特 殊 作 業 員		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	機 械 工		〃		〃	と び 工		〃		〃	電 工		〃		〃	トラッククレーン賃料	油圧伸縮ジブ型4.9 t吊	日		〃	諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	配 管 工		人		表4.53	諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	普 通 作 業 員		人		表4.54, 表4.55	機 械 工		〃		〃 〃	電 工		〃		〃 〃	諸 雑 費		式	1		計					<p>(25) スライドセントル組立・解体1基当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.46</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>設 備 機 械 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>電 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン賃料</td> <td>排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型25 t吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(26) 防水作業台車組立・解体1基当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.47</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>設 備 機 械 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>電 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>トラッククレーン賃料</td> <td>油圧伸縮ジブ型4.9 t吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center; color: red;">} 削 除</p> <p>(27) 仮設備保守費1月当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.48</td> </tr> <tr> <td>設 備 機 械 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>電 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表4.46	特 殊 作 業 員		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	設 備 機 械 工		〃		〃	と び 工		〃		〃	電 工		〃		〃	ラフテレーンクレーン賃料	排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型25 t吊	日		〃	諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表4.47	特 殊 作 業 員		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	設 備 機 械 工		〃		〃	と び 工		〃		〃	電 工		〃		〃	トラッククレーン賃料	油圧伸縮ジブ型4.9 t吊	日		〃	諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	普 通 作 業 員		人		表4.48	設 備 機 械 工		〃		〃	電 工		〃		〃	諸 雑 費		式	1		計				
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																																																																						
世 話 役		人		表4.51																																																																																																																																																																																																																																																																																						
特 殊 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																																																																						
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																																																																						
機 械 工		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																																																																						
と び 工		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																																																																						
電 工		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																																																																						
ラフテレーンクレーン賃料	排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型25 t吊	日		〃																																																																																																																																																																																																																																																																																						
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																																																																																																																																																																							
計																																																																																																																																																																																																																																																																																										
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																																																																						
世 話 役		人		表4.52																																																																																																																																																																																																																																																																																						
特 殊 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																																																																						
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																																																																						
機 械 工		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																																																																						
と び 工		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																																																																						
電 工		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																																																																						
トラッククレーン賃料	油圧伸縮ジブ型4.9 t吊	日		〃																																																																																																																																																																																																																																																																																						
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																																																																																																																																																																							
計																																																																																																																																																																																																																																																																																										
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																																																																						
配 管 工		人		表4.53																																																																																																																																																																																																																																																																																						
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																																																																																																																																																																							
計																																																																																																																																																																																																																																																																																										
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																																																																						
普 通 作 業 員		人		表4.54, 表4.55																																																																																																																																																																																																																																																																																						
機 械 工		〃		〃 〃																																																																																																																																																																																																																																																																																						
電 工		〃		〃 〃																																																																																																																																																																																																																																																																																						
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																																																																																																																																																																							
計																																																																																																																																																																																																																																																																																										
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																																																																						
世 話 役		人		表4.46																																																																																																																																																																																																																																																																																						
特 殊 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																																																																						
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																																																																						
設 備 機 械 工		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																																																																						
と び 工		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																																																																						
電 工		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																																																																						
ラフテレーンクレーン賃料	排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型25 t吊	日		〃																																																																																																																																																																																																																																																																																						
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																																																																																																																																																																							
計																																																																																																																																																																																																																																																																																										
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																																																																						
世 話 役		人		表4.47																																																																																																																																																																																																																																																																																						
特 殊 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																																																																						
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																																																																						
設 備 機 械 工		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																																																																						
と び 工		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																																																																						
電 工		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																																																																						
トラッククレーン賃料	油圧伸縮ジブ型4.9 t吊	日		〃																																																																																																																																																																																																																																																																																						
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																																																																																																																																																																							
計																																																																																																																																																																																																																																																																																										
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																																																																						
普 通 作 業 員		人		表4.48																																																																																																																																																																																																																																																																																						
設 備 機 械 工		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																																																																						
電 工		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																																																																						
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																																																																																																																																																																							
計																																																																																																																																																																																																																																																																																										

土木工事標準歩掛の一部改定
トンネル工 (NATM) [発破工法]

工種名	現 行	改 定																																																																																																																								
	(30) 機械運転単価表	(28) 機械運転単価表																																																																																																																								
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ドリルジャンボ</td> <td>トンネル工事用排出ガス対策型 ホイール式3ブーム ドリフト質量150kg級</td> <td>機-25</td> <td>燃料消費量 408 機械損料数量 1.40</td> </tr> <tr> <td>コンクリート吹付機</td> <td>トンネル工事用排出ガス対策型 湿式一体型 吐出量6~20m³/h 半径7m</td> <td>機-25</td> <td>燃料消費量 63 機械損料数量 1.40</td> </tr> <tr> <td>ホイールローダ</td> <td>トンネル工事用排出ガス対策型 サイドダンプ式 山積2.3m³</td> <td>機-24</td> <td>燃料消費量 68 機械損料数量 1.40</td> </tr> <tr> <td>吹付プラント設備</td> <td>定置式25m³/h</td> <td>機-25</td> <td>燃料消費量 19 機械損料数量 1.40</td> </tr> <tr> <td>大型ブレーカ</td> <td>トンネル工事用油圧式1300kg級</td> <td>機-12</td> <td>燃料消費量 40</td> </tr> <tr> <td>ダンプトラック</td> <td>坑内用普通ディーゼル10t積級</td> <td>機-32</td> <td>燃料消費量 121 機械損料数量 1.40 タイヤの損耗費も計上</td> </tr> <tr> <td>コンクリートポンプ車</td> <td>黒煙浄化装置付 配管式圧送能力90~100m³/h</td> <td>機-24</td> <td>燃料消費量 57 機械損料数量 1.40</td> </tr> <tr> <td>集塵機</td> <td>定格風量○○○m³/min級</td> <td>機-14</td> <td>燃料消費量 必要分計上する 機械損料数量 1.00</td> </tr> <tr> <td>バックホウ</td> <td>トンネル工事用排出ガス対策型・クローラ型 山積0.45m³(平積0.35m³)</td> <td>機-13</td> <td>インバート掘削工</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>排出ガス対策型・クローラ型 山積0.45m³(平積0.35m³)</td> <td>機-1</td> <td>インバート埋戻し材積込作業</td> </tr> <tr> <td>ブルドーザ</td> <td>排出ガス対策型、黒煙浄化装置付 普通15t級(13~16t)</td> <td>機-13</td> <td></td> </tr> <tr> <td>タイヤローラ</td> <td>排出ガス対策型黒煙浄化装置付 8~20t</td> <td>機-16</td> <td>燃料消費量 30 賃料数量 1.60</td> </tr> <tr> <td>ダンプトラック</td> <td>坑内用普通ディーゼル10t積級</td> <td>機-13</td> <td>インバート用 タイヤの損耗費も計上</td> </tr> <tr> <td>コンクリートポンプ車</td> <td>黒煙浄化装置付 ブーム式圧送能力90~110m³/h</td> <td>機-13</td> <td>インバート用</td> </tr> </tbody> </table>	機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	ドリルジャンボ	トンネル工事用排出ガス対策型 ホイール式3ブーム ドリフト質量150kg級	機-25	燃料消費量 408 機械損料数量 1.40	コンクリート吹付機	トンネル工事用排出ガス対策型 湿式一体型 吐出量6~20m ³ /h 半径7m	機-25	燃料消費量 63 機械損料数量 1.40	ホイールローダ	トンネル工事用排出ガス対策型 サイドダンプ式 山積2.3m ³	機-24	燃料消費量 68 機械損料数量 1.40	吹付プラント設備	定置式25m ³ /h	機-25	燃料消費量 19 機械損料数量 1.40	大型ブレーカ	トンネル工事用油圧式1300kg級	機-12	燃料消費量 40	ダンプトラック	坑内用普通ディーゼル10t積級	機-32	燃料消費量 121 機械損料数量 1.40 タイヤの損耗費も計上	コンクリートポンプ車	黒煙浄化装置付 配管式圧送能力90~100m ³ /h	機-24	燃料消費量 57 機械損料数量 1.40	集塵機	定格風量○○○m ³ /min級	機-14	燃料消費量 必要分計上する 機械損料数量 1.00	バックホウ	トンネル工事用排出ガス対策型・クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	機-13	インバート掘削工	〃	排出ガス対策型・クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	機-1	インバート埋戻し材積込作業	ブルドーザ	排出ガス対策型、黒煙浄化装置付 普通15t級(13~16t)	機-13		タイヤローラ	排出ガス対策型黒煙浄化装置付 8~20t	機-16	燃料消費量 30 賃料数量 1.60	ダンプトラック	坑内用普通ディーゼル10t積級	機-13	インバート用 タイヤの損耗費も計上	コンクリートポンプ車	黒煙浄化装置付 ブーム式圧送能力90~110m ³ /h	機-13	インバート用	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ドリルジャンボ</td> <td>トンネル工事用排出ガス対策型 ホイール式・3ブーム・2バケット ドリフト質量170kg超級</td> <td>機-25</td> <td>燃料消費量 394 機械損料数量 1.40</td> </tr> <tr> <td>コンクリート吹付機</td> <td>トンネル工事用排出ガス対策型 湿式吹付・吹付ロボット一体・エアコンプレッ サ搭載・吹付範囲半径7m級</td> <td>機-25</td> <td>燃料消費量 370 機械損料数量 1.40</td> </tr> <tr> <td>ホイールローダ</td> <td>トンネル工事用排出ガス対策型 サイドダンプ式 山積2.3m³</td> <td>機-24</td> <td>燃料消費量 92 機械損料数量 1.40</td> </tr> <tr> <td>吹付プラント設備</td> <td>(バッチ型) 定置式25m³/h</td> <td>機-25</td> <td>燃料消費量 24 機械損料数量 1.40</td> </tr> <tr> <td>大型ブレーカ</td> <td>トンネル工事用排出ガス対策型 油圧式1300kg級</td> <td>機-12</td> <td>燃料消費量 53</td> </tr> <tr> <td>ダンプトラック</td> <td>坑内用 普通 ディーゼル10t積級</td> <td>機-32</td> <td>燃料消費量 85 機械損料数量 1.40 タイヤの損耗費も計上</td> </tr> <tr> <td>コンクリートポンプ車</td> <td>黒煙浄化装置付 配管式圧送能力90~100m³/h</td> <td>機-24</td> <td>燃料消費量 79 機械損料数量 1.40</td> </tr> <tr> <td>集塵機</td> <td>定格風量○○○m³/min級</td> <td>機-14</td> <td>燃料消費量 必要分計上する 機械損料数量 1.00</td> </tr> <tr> <td>バックホウ</td> <td>トンネル工事用排出ガス対策型・クローラ型 山積0.45m³(平積0.35m³)</td> <td>機-13</td> <td>インバート掘削工</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>排出ガス対策型・クローラ型 山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>機-1</td> <td>インバート埋戻し材積込作業</td> </tr> <tr> <td>ブルドーザ</td> <td>排出ガス対策型、黒煙浄化装置付 普通15t級(13~16t)</td> <td>機-13</td> <td></td> </tr> <tr> <td>タイヤローラ</td> <td>排出ガス対策型 黒煙浄化装置付 8~20t</td> <td>機-16</td> <td>燃料消費量 39 賃料数量 1.60</td> </tr> <tr> <td>ダンプトラック</td> <td>坑内用 普通 ディーゼル10t積級</td> <td>機-13</td> <td>インバート用 タイヤの損耗費も計上</td> </tr> <tr> <td>コンクリートポンプ車</td> <td>黒煙浄化装置付 ブーム式圧送能力90~110m³/h</td> <td>機-13</td> <td>インバート用</td> </tr> </tbody> </table>	機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	ドリルジャンボ	トンネル工事用排出ガス対策型 ホイール式・3ブーム・2バケット ドリフト質量170kg超級	機-25	燃料消費量 394 機械損料数量 1.40	コンクリート吹付機	トンネル工事用排出ガス対策型 湿式吹付・吹付ロボット一体・エアコンプレッ サ搭載・吹付範囲半径7m級	機-25	燃料消費量 370 機械損料数量 1.40	ホイールローダ	トンネル工事用排出ガス対策型 サイドダンプ式 山積2.3m ³	機-24	燃料消費量 92 機械損料数量 1.40	吹付プラント設備	(バッチ型) 定置式25m ³ /h	機-25	燃料消費量 24 機械損料数量 1.40	大型ブレーカ	トンネル工事用排出ガス対策型 油圧式1300kg級	機-12	燃料消費量 53	ダンプトラック	坑内用 普通 ディーゼル10t積級	機-32	燃料消費量 85 機械損料数量 1.40 タイヤの損耗費も計上	コンクリートポンプ車	黒煙浄化装置付 配管式圧送能力90~100m ³ /h	機-24	燃料消費量 79 機械損料数量 1.40	集塵機	定格風量○○○m ³ /min級	機-14	燃料消費量 必要分計上する 機械損料数量 1.00	バックホウ	トンネル工事用排出ガス対策型・クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	機-13	インバート掘削工	〃	排出ガス対策型・クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	機-1	インバート埋戻し材積込作業	ブルドーザ	排出ガス対策型、黒煙浄化装置付 普通15t級(13~16t)	機-13		タイヤローラ	排出ガス対策型 黒煙浄化装置付 8~20t	機-16	燃料消費量 39 賃料数量 1.60	ダンプトラック	坑内用 普通 ディーゼル10t積級	機-13	インバート用 タイヤの損耗費も計上	コンクリートポンプ車	黒煙浄化装置付 ブーム式圧送能力90~110m ³ /h	機-13	インバート用
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																																																																																																							
ドリルジャンボ	トンネル工事用排出ガス対策型 ホイール式3ブーム ドリフト質量150kg級	機-25	燃料消費量 408 機械損料数量 1.40																																																																																																																							
コンクリート吹付機	トンネル工事用排出ガス対策型 湿式一体型 吐出量6~20m ³ /h 半径7m	機-25	燃料消費量 63 機械損料数量 1.40																																																																																																																							
ホイールローダ	トンネル工事用排出ガス対策型 サイドダンプ式 山積2.3m ³	機-24	燃料消費量 68 機械損料数量 1.40																																																																																																																							
吹付プラント設備	定置式25m ³ /h	機-25	燃料消費量 19 機械損料数量 1.40																																																																																																																							
大型ブレーカ	トンネル工事用油圧式1300kg級	機-12	燃料消費量 40																																																																																																																							
ダンプトラック	坑内用普通ディーゼル10t積級	機-32	燃料消費量 121 機械損料数量 1.40 タイヤの損耗費も計上																																																																																																																							
コンクリートポンプ車	黒煙浄化装置付 配管式圧送能力90~100m ³ /h	機-24	燃料消費量 57 機械損料数量 1.40																																																																																																																							
集塵機	定格風量○○○m ³ /min級	機-14	燃料消費量 必要分計上する 機械損料数量 1.00																																																																																																																							
バックホウ	トンネル工事用排出ガス対策型・クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	機-13	インバート掘削工																																																																																																																							
〃	排出ガス対策型・クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	機-1	インバート埋戻し材積込作業																																																																																																																							
ブルドーザ	排出ガス対策型、黒煙浄化装置付 普通15t級(13~16t)	機-13																																																																																																																								
タイヤローラ	排出ガス対策型黒煙浄化装置付 8~20t	機-16	燃料消費量 30 賃料数量 1.60																																																																																																																							
ダンプトラック	坑内用普通ディーゼル10t積級	機-13	インバート用 タイヤの損耗費も計上																																																																																																																							
コンクリートポンプ車	黒煙浄化装置付 ブーム式圧送能力90~110m ³ /h	機-13	インバート用																																																																																																																							
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																																																																																																							
ドリルジャンボ	トンネル工事用排出ガス対策型 ホイール式・3ブーム・2バケット ドリフト質量170kg超級	機-25	燃料消費量 394 機械損料数量 1.40																																																																																																																							
コンクリート吹付機	トンネル工事用排出ガス対策型 湿式吹付・吹付ロボット一体・エアコンプレッ サ搭載・吹付範囲半径7m級	機-25	燃料消費量 370 機械損料数量 1.40																																																																																																																							
ホイールローダ	トンネル工事用排出ガス対策型 サイドダンプ式 山積2.3m ³	機-24	燃料消費量 92 機械損料数量 1.40																																																																																																																							
吹付プラント設備	(バッチ型) 定置式25m ³ /h	機-25	燃料消費量 24 機械損料数量 1.40																																																																																																																							
大型ブレーカ	トンネル工事用排出ガス対策型 油圧式1300kg級	機-12	燃料消費量 53																																																																																																																							
ダンプトラック	坑内用 普通 ディーゼル10t積級	機-32	燃料消費量 85 機械損料数量 1.40 タイヤの損耗費も計上																																																																																																																							
コンクリートポンプ車	黒煙浄化装置付 配管式圧送能力90~100m ³ /h	機-24	燃料消費量 79 機械損料数量 1.40																																																																																																																							
集塵機	定格風量○○○m ³ /min級	機-14	燃料消費量 必要分計上する 機械損料数量 1.00																																																																																																																							
バックホウ	トンネル工事用排出ガス対策型・クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	機-13	インバート掘削工																																																																																																																							
〃	排出ガス対策型・クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	機-1	インバート埋戻し材積込作業																																																																																																																							
ブルドーザ	排出ガス対策型、黒煙浄化装置付 普通15t級(13~16t)	機-13																																																																																																																								
タイヤローラ	排出ガス対策型 黒煙浄化装置付 8~20t	機-16	燃料消費量 39 賃料数量 1.60																																																																																																																							
ダンプトラック	坑内用 普通 ディーゼル10t積級	機-13	インバート用 タイヤの損耗費も計上																																																																																																																							
コンクリートポンプ車	黒煙浄化装置付 ブーム式圧送能力90~110m ³ /h	機-13	インバート用																																																																																																																							

土木工事標準歩掛の一部改定
トンネル工（NATM）〔機械掘削工法〕

工種名	現 行	改 定
トンネル工 （NATM） 〔機械掘削工 法〕	<p style="text-align: center;">①-2 トンネル工（NATM）〔機械掘削工法〕</p> <p>1. 適用範囲</p> <p>本資料は、施工計画編と施工歩掛編に分かれている。</p> <p>なお、本資料は、トンネル工（NATM）における片押し延長2,500m以下、設計掘削断面積50m²以上95m²以下のトンネルに適用するものとし、適用にあたっては下記事項に留意し実施するものとする。</p> <p>① 掘削工法は、機械掘削方式（自由断面掘削機）に適用する。</p> <p>② 機械掘削工法は、岩石の一軸圧縮強度が、49N/mm²（500kgf/cm²）程度以下とする。</p> <p>③ 隣接トンネルや住居近接トンネルで標準の工法が採用できない場合は、別途考慮する。</p> <p>④ 片押し延長が2,500mを超えるもの、掘削断面積50m²未満のものは、別途考慮する。また、掘削断面積95m²を超える大断面トンネルについても、支保工及び覆工等について検討し、本基準により難しい場合は、別途考慮する。</p> <p>⑤ ずり搬出方式は、タイヤ方式とする。</p> <p>⑥ 掘削区分A、CⅡ-a、DⅠ-a、Eについては、別途考慮する。</p> <p>⑦ 標準的な加背割りは、下図のとおりとする。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>図1-1 加背割図</p>	<p style="text-align: center;">現 行 通 り</p>

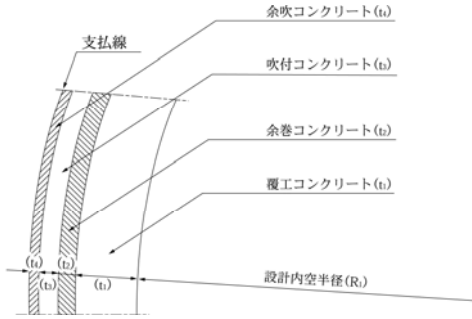
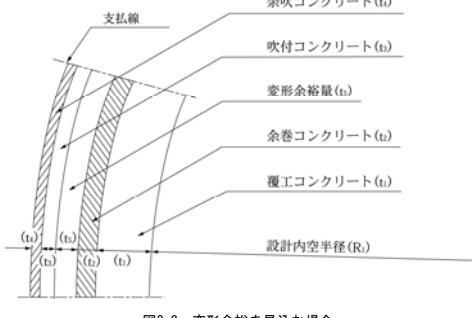
土木工事標準歩掛の一部改定
トンネル工（NATM） [機械掘削工法]

工種名	現 行	改 定						
	<p>2. 施 工 概 要</p> <p>(1) 機械掘削工法施工フロー</p> <div style="text-align: center;"> <pre> graph TD A[機械搬入] --> B[上半先進ベンチカット工法 (上下半同時併進)] B --> C[掘削工(上半)] B --> D[掘削工(下半)] C --> E[掘削 ずり出し] D --> F[掘削 ずり出し] E --> G[支保工(上半)] F --> H[支保工(下半)] G --> I[一次吹付コンクリート 鋼製支保建込 金網取付 二次吹付コンクリート ロックボルト打設] H --> J[一次吹付コンクリート 鋼製支保建込 金網取付 二次吹付コンクリート ロックボルト打設] I --> K[防水シート張] J --> K K --> L[覆工] L --> M[機械搬出] </pre> <p>(注) 本歩掛で対応しているのは実線部分のみである。</p> </div> <p>3. 施 工 計 画</p> <p>3-1 掘削区分、掘削方式及び掘削工法は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 掘削区分、掘削方式及び掘削工法</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px auto;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">掘削区分</th> <th style="width: 30%;">掘 削 方 式</th> <th style="width: 50%;">掘 削 工 法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">C, D</td> <td style="text-align: center;">上半先進ベンチカット工法(ショートベンチカット工法)</td> <td style="text-align: center;">上下半同時併進工法</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 地山条件等により切羽の安定性の確立や地上の崩落防止等のために必要に応じて適切な補助工法を計上するものとする。</p> <p>3-2 掘削分類</p> <p>掘削分類は、第15章①-1 トンネル工(NATM) [発破工法] の表3.1.1 地山分類表による。</p>	掘削区分	掘 削 方 式	掘 削 工 法	C, D	上半先進ベンチカット工法(ショートベンチカット工法)	上下半同時併進工法	<p>現 行 通 り</p>
掘削区分	掘 削 方 式	掘 削 工 法						
C, D	上半先進ベンチカット工法(ショートベンチカット工法)	上下半同時併進工法						

土木工事標準歩掛の一部改定
トンネル工（NATM） [機械掘削工法]

工種名	現 行	改 定																																					
	<p>3-3 工事工程 3-3-1 工事工程表 工程表の決定にあたっては、トンネル延長、地質、地形、掘削方式及び掘削工法等を考慮して決定する。</p> <p>3-4 作業内容 作業内容は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 作業内容</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">作業の区分</th> <th style="width: 60%;">作業内容</th> <th style="width: 30%;">摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">坑 内</td> <td>掘削作業 支保作業 すり運搬（直送方式）</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">覆作業</td> <td style="text-align: center;">型 枠 工</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">コンクリート工</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>インバート工 防 水 工</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">坑 外</td> <td>空気圧縮機運転 仮 設 備 保 守</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 支保作業とは、吹付、金網、ロックボルト、鋼製支保工の総称である。 2. 「明り」の作業は、下記のものとする。 ・地下排水工、路盤工、舗装工、側溝工 ・坑門工、吹付プラント設備組立・解体、ずり出し（積替方式の場合の坑外運搬） ・スライドセントル組立・解体、防水作業台車組立・解体 ・空気圧縮機設備組立・解体、ストックヤード設置・撤去、給排水設備設置・撤去 ・濁水処理設備設置・撤去、坑外電力設備、坑外送気管敷設・撤去</p> <p>3-5 余掘、余巻及び余吹 トンネル工事では、設計断面どおり掘削することは困難であり、設計巻厚を確保するには、設計断面積より大きく掘削しなければならない。これを余掘といい、覆工及び吹付コンクリートで充填する。これをそれぞれ余巻及び余吹という。 この余掘を考慮した断面積の外周を支払線（ペイライン）といい、当初から掘削と覆工及び吹付コンクリートの設計数量に見込むものとする。 又、変形余裕を設計図面に明示した場合の設計掘削断面積は、変形余裕厚さを加算した面積とする。 なお、余掘、余巻、余吹及び設計吹付厚は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.3 余掘、余巻及び余吹厚 (cm)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">掘削区分</th> <th style="width: 20%;">余掘厚</th> <th style="width: 20%;">余 巻 厚</th> <th style="width: 40%;">余吹厚 (N₁)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">C I</td> <td style="text-align: center;">13</td> <td style="text-align: center;">8</td> <td style="text-align: center;">5</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">C II</td> <td style="text-align: center;">13</td> <td style="text-align: center;">8</td> <td style="text-align: center;">5</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">D I</td> <td style="text-align: center;">13</td> <td style="text-align: center;">8</td> <td style="text-align: center;">5</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">D II</td> <td style="text-align: center;">13</td> <td style="text-align: center;">8</td> <td style="text-align: center;">5</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 設計巻厚、設計吹付コンクリート厚及び設計掘削断面に対する割増し厚さである。 2. 非常駐車帯、避難連絡坑等についても上表を適用する。 3. 変形余裕量を見込む場合は余掘、余巻は上表より5cm減じ、掘削断面に変形余裕量を加えるものとする。 4. 設計値と支払線の関係は、次図を標準とする。</p>	作業の区分	作業内容	摘 要	坑 内	掘削作業 支保作業 すり運搬（直送方式）		覆作業	型 枠 工		コンクリート工			インバート工 防 水 工		坑 外	空気圧縮機運転 仮 設 備 保 守		掘削区分	余掘厚	余 巻 厚	余吹厚 (N ₁)	C I	13	8	5	C II	13	8	5	D I	13	8	5	D II	13	8	5	現 行 通 り
作業の区分	作業内容	摘 要																																					
坑 内	掘削作業 支保作業 すり運搬（直送方式）																																						
	覆作業	型 枠 工																																					
		コンクリート工																																					
	インバート工 防 水 工																																						
坑 外	空気圧縮機運転 仮 設 備 保 守																																						
掘削区分	余掘厚	余 巻 厚	余吹厚 (N ₁)																																				
C I	13	8	5																																				
C II	13	8	5																																				
D I	13	8	5																																				
D II	13	8	5																																				

土木工事標準歩掛の一部改定
トンネル工 (NATM) [機械掘削工法]

工種名	現 行	改 定
	<div style="text-align: center;">  <p>図3-1 変形余裕を見込まない場合</p> <p>設計掘削半径=設計内空半径 (R_i) + 覆工コンクリート厚 (t₁) + 吹付コンクリート厚 (t₃) 支払掘削半径=〔設計内空半径 (R_i) + 覆工コンクリート厚 (t₁) + 吹付コンクリート厚 (t₃)〕 + 余掘 =設計掘削半径+余掘 余 掘=余巻コンクリート (t₂) + 余吹コンクリート (t₄)</p> </div>	<p>現 行 通 り</p>
	<div style="text-align: center;">  <p>図3-2 変形余裕を見込む場合</p> <p>設計掘削半径=設計内空半径 (R_i) + 覆工コンクリート厚 (t₁) + 吹付コンクリート厚 (t₃) + 変形余裕量 (t₅) 支払掘削半径=〔設計内空半径 (R_i) + 覆工コンクリート厚 (t₁) + 吹付コンクリート厚 (t₃) + 変形余裕量 (t₅)〕 + 余掘 =設計掘削半径+余掘 余 掘=余巻コンクリート (t₂) + 余吹コンクリート (t₄)</p> </div>	

土木工事標準歩掛の一部改定
トンネル工（NATM） [機械掘削工法]

工種名	現 行	改 定																
	<p>3-6 トンネル工事の機械器具経費積算 トンネル工事の機械器具損料の算定は、「請負工事機械経費積算要領」に基づき行い、内燃機関付機械（ダンプトラック、コンクリートポンプ車、トラックミキサ等）を使用する場合は、黒煙浄化装置付を標準とし、そのうちドリルジャンボ、バックホウ、ホイールローダを使用する場合は、トンネル工専用排出ガス対策型を標準とする。ただし、道路運送車両の保安基準に排ガス基準が定められている自動車の種別で、有効な自動車検査証の交付を受けているものは除く。</p> <p>3-7 工事用仮設備 3-7-1 吹付プラント設備 吹付プラント設備の機種・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.4 機種の選定</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">機 種</th> <th style="width: 25%;">規 格</th> <th style="width: 25%;">単 位</th> <th style="width: 25%;">数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>セメントサイロ</td> <td>30 t</td> <td>基</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>骨材ホッパ</td> <td>15m³×3</td> <td>＃</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>コンクリートプラント</td> <td>(バッチ型) 定置式25m³/h</td> <td>＃</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 吹付プラント設備は、坑外に設置する。 2. 現場条件等により適合しない場合は、現場条件に見合った機種・規格を使用する。</p> <p>3-7-2 電力設備 (1) 施工に必要な負荷設備に対応できる必要電力を決定する。 (2) 電力会社の供給設備を調査し、負荷設備容量に応じて受電設備を設ける。 (3) 受電設備、変電設備を経て負荷設備までの線路を決める。</p> <p>3-7-3 照明設備 坑内照明は、40W蛍光灯を5m間隔に片側のみ設置するのを標準とする。 又、切羽照明は500W投光器とし、切羽部6個（上半4個、下半2個）、覆工4個を標準とする。</p> <p>3-7-4 換気設備 (1) 換気設備の設置 坑内の換気は、掘削断面、長さ、自然条件等を考慮して、自然換気に期待し得る場合でもこれに依存することなく換気設備を設置することを標準とする。 (2) 送風機 換気に使用する送風機は、反転軸流式ファンを標準とする。 (3) 換気方式 掘削断面、掘削延長、現場条件等を考慮し、必要な換気方式及び換気装置を計上するものとする。 (4) 所要換気量 所要換気量は、ディーゼル機関から排出される排出ガス、作業者の呼気による炭酸ガス等を考慮し、適切に定めるものとする。 (5) 風 管 風管は、不燃性ビニル風管を標準とする。</p>	機 種	規 格	単 位	数 量	セメントサイロ	30 t	基	1	骨材ホッパ	15m ³ ×3	＃	1	コンクリートプラント	(バッチ型) 定置式25m ³ /h	＃	1	現 行 通 り
機 種	規 格	単 位	数 量															
セメントサイロ	30 t	基	1															
骨材ホッパ	15m ³ ×3	＃	1															
コンクリートプラント	(バッチ型) 定置式25m ³ /h	＃	1															

土木工事標準歩掛の一部改定
トンネル工（NATM） [機械掘削工法]

工種名	現 行	改 定																				
	<p>3-7-5 給排水設備</p> <p>(1) 給排水設備は、水槽、釜場等の設置・解体及びポンプの運転経費を計上する。ただし、ポンプの運転労務は計上しない。</p> <p>(2) 給水設備の機種・規格は次表を標準とし、設置期間は掘削期間とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.5 機種の選定</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>機 種</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小型多段遠心ポンプ</td> <td>65mm×45m</td> <td>台</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>水 槽</td> <td>鋼板製20m³</td> <td>〃</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 排水設備の機種・規格は次表を標準とし、縦断勾配が0.3%以下、又は逆勾配の場合等で、ポンプ排水を必要とする場合に設置する。</p> <p style="text-align: center;">表3.6 機種の選定</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>機 種</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工事中水ポンプ</td> <td>50mm×20m×2.2kW</td> <td>台</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <p>3-7-6 濁水処理設備 坑内及び坑外設備により発生する濁水は、必要に応じ濁水処理を行う。</p> <p>3-7-7 ざりストックヤード ざり出しがタイヤ方式で坑口からざり捨場まで遠距離の場合等、必要に応じてストックヤードを設ける。</p> <p>3-7-8 粉塵発生源に係る措置 下記項目について、必要に応じ設ける。</p> <p>(1) 土砂及び岩石を湿潤な状態に保つための設備</p> <p>(2) 建設機械等の走行による二次粉塵発散防止のための簡易舗装や散水等設備</p> <p>(3) 粉塵の拡散防止のためのエアカーテン等設備</p> <p>3-8 工事中仮設備の計上</p> <p>3-8-1 設計書において仮設備として計上するもので主なもの。</p> <p>(1) 電力設備 受電・変電・配電設備等に要する設置・解体、保守並びに損料等</p> <p>(2) 吹付プラント設備 組立・解体、運転費及び損料</p> <p>(3) スライドセントル 組立（現地仮組立を含む）・解体</p> <p>(4) スtockヤード 設置・撤去、損料</p> <p>(5) 空気圧縮機設備 組立・解体、運転費及び損料、基礎の設置・撤去、送気管敷設・撤去及び損料</p> <p>(6) 運搬路 工事中道路、仮橋設置・撤去、既設橋の補強</p> <p>(7) 照明設備 設置・撤去、機器費（全損）、電気料</p> <p>(8) 換気設備 解体、運転費及び損料</p> <p>(9) 防水工 防水作業台車組立・解体及び損料</p> <p>(10) 給排水設備 設置・撤去、運転費及び損料</p> <p>(11) 工事中連絡設備 無線又は有線電話</p>	機 種	規 格	単 位	数 量	小型多段遠心ポンプ	65mm×45m	台	1	水 槽	鋼板製20m ³	〃	1	機 種	規 格	単 位	数 量	工事中水ポンプ	50mm×20m×2.2kW	台	4	<p>現 行 通 り</p>
機 種	規 格	単 位	数 量																			
小型多段遠心ポンプ	65mm×45m	台	1																			
水 槽	鋼板製20m ³	〃	1																			
機 種	規 格	単 位	数 量																			
工事中水ポンプ	50mm×20m×2.2kW	台	4																			

土木工事標準歩掛の一部改定
トンネル工（NATM） [機械掘削工法]

工種名	現 行	改 定
	<p>(12) 坑口処理 捨導坑、捨枠、捨巻等</p> <p>(13) 仮設備保守費</p> <p>(14) 濁水処理設備 設置・撤去、運転費、損料及び維持費</p> <p>(15) 粉塵発散防止設備等</p> <p>(16) その他</p> <p>3-8-2 設計書において共通仮設費の営繕費として計上するもので主なもの。</p> <p>(1) 共通仮設費率には、次のものが含まれている。 事務所、倉庫、労務宿舎、試験室、鍛冶場及び修理工場、製材所、空気圧縮機室、労務者休憩室、その他</p> <p>(2) 共通仮設費率に含まれていないもの。 火薬庫類の設備及び監督員詰所等</p> <p>3-9 計 測 工 計測は、計測Aを標準とする。ただし、現地条件によって計測Bが必要な場合は、別途考慮する。なお、計測Bは、共通仮設費の技術管理費に計上する。</p> <p>3-10 呼吸用保護具 有効な呼吸用保護具（電動ファン付粉塵用呼吸用保護具等）費用を共通仮設費に別途計上する。</p>	<p style="text-align: center;">現 行 通 り</p>

土木工事標準歩掛の一部改定
トンネル工（NATM） [機械掘削工法]

工種名	現 行	改 定																																																																																																																																																																																																																																													
	<p>4. 施 工 歩 掛</p> <p>4-1 掘削工等</p> <p>4-1-1 機械掘削工法</p> <p>(1) 掘削工等の労務歩掛</p> <p>掘削等作業における労務歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.1 (掘削等) 施工歩掛</p> <p style="text-align: right;">人/(トンネル延長)1m当り</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘削方法</th> <th rowspan="2">岩区分</th> <th colspan="8">掘削断面積(m²)</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>40</th> <th>45</th> <th>50</th> <th>55</th> <th>60</th> <th>65</th> <th>70</th> <th>75</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="24">上下半同時併進工法</td> <td rowspan="6">C I</td> <td rowspan="3">上半</td> <td>0.43</td><td>0.46</td><td>0.50</td><td>0.54</td><td>0.57</td><td>0.61</td><td>0.64</td><td>0.67</td> <td rowspan="24" style="vertical-align: middle;">下半は上半の掘削断面積で読み替える。</td> </tr> <tr> <td>2.14</td><td>2.30</td><td>2.48</td><td>2.68</td><td>2.84</td><td>3.02</td><td>3.18</td><td>3.36</td> </tr> <tr> <td>0.43</td><td>0.46</td><td>0.50</td><td>0.54</td><td>0.57</td><td>0.61</td><td>0.64</td><td>0.67</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">下半</td> <td>40</td><td>45</td><td>50</td><td>55</td><td>60</td><td>65</td><td>70</td><td>75</td> </tr> <tr> <td>0.43</td><td>0.46</td><td>0.50</td><td>0.54</td><td>0.57</td><td>0.61</td><td>0.64</td><td>0.67</td> </tr> <tr> <td>1.71</td><td>1.85</td><td>1.99</td><td>2.14</td><td>2.27</td><td>2.42</td><td>2.54</td><td>2.68</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">C II</td> <td rowspan="3">上半</td> <td>0.43</td><td>0.46</td><td>0.50</td><td>0.54</td><td>0.57</td><td>0.61</td><td>0.64</td><td>0.67</td> </tr> <tr> <td>40</td><td>45</td><td>50</td><td>55</td><td>60</td><td>65</td><td>70</td><td>75</td> </tr> <tr> <td>0.46</td><td>0.49</td><td>0.52</td><td>0.55</td><td>0.58</td><td>0.61</td><td>0.63</td><td>0.66</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">下半</td> <td>2.32</td><td>2.45</td><td>2.60</td><td>2.74</td><td>2.88</td><td>3.02</td><td>3.17</td><td>3.31</td> </tr> <tr> <td>0.46</td><td>0.49</td><td>0.52</td><td>0.55</td><td>0.58</td><td>0.61</td><td>0.63</td><td>0.66</td> </tr> <tr> <td>40</td><td>45</td><td>50</td><td>55</td><td>60</td><td>65</td><td>70</td><td>75</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">D I</td> <td rowspan="3">上半</td> <td>0.46</td><td>0.49</td><td>0.52</td><td>0.55</td><td>0.58</td><td>0.61</td><td>0.63</td><td>0.66</td> </tr> <tr> <td>2.93</td><td>3.07</td><td>3.21</td><td>3.35</td><td>3.49</td><td>3.63</td><td>3.77</td><td>3.91</td> </tr> <tr> <td>0.58</td><td>0.62</td><td>0.64</td><td>0.67</td><td>0.70</td><td>0.72</td><td>0.75</td><td>0.78</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">下半</td> <td>40</td><td>45</td><td>50</td><td>55</td><td>60</td><td>65</td><td>70</td><td>75</td> </tr> <tr> <td>0.58</td><td>0.62</td><td>0.64</td><td>0.67</td><td>0.70</td><td>0.72</td><td>0.75</td><td>0.78</td> </tr> <tr> <td>2.35</td><td>2.45</td><td>2.56</td><td>2.68</td><td>2.79</td><td>2.91</td><td>3.02</td><td>3.12</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">D II</td> <td rowspan="3">上半</td> <td>0.58</td><td>0.62</td><td>0.64</td><td>0.67</td><td>0.70</td><td>0.72</td><td>0.75</td><td>0.78</td> </tr> <tr> <td>3.05</td><td>3.18</td><td>3.29</td><td>3.41</td><td>3.53</td><td>3.65</td><td>3.78</td><td>3.89</td> </tr> <tr> <td>0.61</td><td>0.64</td><td>0.66</td><td>0.68</td><td>0.71</td><td>0.73</td><td>0.75</td><td>0.78</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">下半</td> <td>40</td><td>45</td><td>50</td><td>55</td><td>60</td><td>65</td><td>70</td><td>75</td> </tr> <tr> <td>0.61</td><td>0.64</td><td>0.66</td><td>0.68</td><td>0.71</td><td>0.73</td><td>0.75</td><td>0.78</td> </tr> <tr> <td>2.45</td><td>2.55</td><td>2.64</td><td>2.73</td><td>2.83</td><td>2.92</td><td>3.02</td><td>3.12</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>0.61</td><td>0.64</td><td>0.66</td><td>0.68</td><td>0.71</td><td>0.73</td><td>0.75</td><td>0.78</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="width: 20%;"> <p>上段 トンネル世話役</p> <p>中段 トンネル特殊工</p> <p>下段 トンネル作業員</p> </div> <div style="width: 30%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>歩掛の設定範囲 (例)</p> <p>50㎡ ≤ A1 = 上半 + 下半 ≤ 95㎡</p> <p>中間断面(70㎡)の場合 → 67.5㎡以上72.5㎡未満</p> <p>上半の上端(75㎡)の場合 → 72.5㎡以上75㎡以下</p> <p>下半の下端(40㎡)の場合 → 40㎡以上42.5㎡未満</p> </div> </div>	掘削方法	岩区分	掘削断面積(m ²)								摘要	40	45	50	55	60	65	70	75	上下半同時併進工法	C I	上半	0.43	0.46	0.50	0.54	0.57	0.61	0.64	0.67	下半は上半の掘削断面積で読み替える。	2.14	2.30	2.48	2.68	2.84	3.02	3.18	3.36	0.43	0.46	0.50	0.54	0.57	0.61	0.64	0.67	下半	40	45	50	55	60	65	70	75	0.43	0.46	0.50	0.54	0.57	0.61	0.64	0.67	1.71	1.85	1.99	2.14	2.27	2.42	2.54	2.68	C II	上半	0.43	0.46	0.50	0.54	0.57	0.61	0.64	0.67	40	45	50	55	60	65	70	75	0.46	0.49	0.52	0.55	0.58	0.61	0.63	0.66	下半	2.32	2.45	2.60	2.74	2.88	3.02	3.17	3.31	0.46	0.49	0.52	0.55	0.58	0.61	0.63	0.66	40	45	50	55	60	65	70	75	D I	上半	0.46	0.49	0.52	0.55	0.58	0.61	0.63	0.66	2.93	3.07	3.21	3.35	3.49	3.63	3.77	3.91	0.58	0.62	0.64	0.67	0.70	0.72	0.75	0.78	下半	40	45	50	55	60	65	70	75	0.58	0.62	0.64	0.67	0.70	0.72	0.75	0.78	2.35	2.45	2.56	2.68	2.79	2.91	3.02	3.12	D II	上半	0.58	0.62	0.64	0.67	0.70	0.72	0.75	0.78	3.05	3.18	3.29	3.41	3.53	3.65	3.78	3.89	0.61	0.64	0.66	0.68	0.71	0.73	0.75	0.78	下半	40	45	50	55	60	65	70	75	0.61	0.64	0.66	0.68	0.71	0.73	0.75	0.78	2.45	2.55	2.64	2.73	2.83	2.92	3.02	3.12			0.61	0.64	0.66	0.68	0.71	0.73	0.75	0.78		}	現 行 通 り
掘削方法	岩区分			掘削断面積(m ²)									摘要																																																																																																																																																																																																																																		
		40	45	50	55	60	65	70	75																																																																																																																																																																																																																																						
上下半同時併進工法	C I	上半	0.43	0.46	0.50	0.54	0.57	0.61	0.64	0.67	下半は上半の掘削断面積で読み替える。																																																																																																																																																																																																																																				
			2.14	2.30	2.48	2.68	2.84	3.02	3.18	3.36																																																																																																																																																																																																																																					
			0.43	0.46	0.50	0.54	0.57	0.61	0.64	0.67																																																																																																																																																																																																																																					
		下半	40	45	50	55	60	65	70	75																																																																																																																																																																																																																																					
			0.43	0.46	0.50	0.54	0.57	0.61	0.64	0.67																																																																																																																																																																																																																																					
			1.71	1.85	1.99	2.14	2.27	2.42	2.54	2.68																																																																																																																																																																																																																																					
	C II	上半	0.43	0.46	0.50	0.54	0.57	0.61	0.64	0.67																																																																																																																																																																																																																																					
			40	45	50	55	60	65	70	75																																																																																																																																																																																																																																					
			0.46	0.49	0.52	0.55	0.58	0.61	0.63	0.66																																																																																																																																																																																																																																					
		下半	2.32	2.45	2.60	2.74	2.88	3.02	3.17	3.31																																																																																																																																																																																																																																					
			0.46	0.49	0.52	0.55	0.58	0.61	0.63	0.66																																																																																																																																																																																																																																					
			40	45	50	55	60	65	70	75																																																																																																																																																																																																																																					
	D I	上半	0.46	0.49	0.52	0.55	0.58	0.61	0.63	0.66																																																																																																																																																																																																																																					
			2.93	3.07	3.21	3.35	3.49	3.63	3.77	3.91																																																																																																																																																																																																																																					
			0.58	0.62	0.64	0.67	0.70	0.72	0.75	0.78																																																																																																																																																																																																																																					
		下半	40	45	50	55	60	65	70	75																																																																																																																																																																																																																																					
			0.58	0.62	0.64	0.67	0.70	0.72	0.75	0.78																																																																																																																																																																																																																																					
			2.35	2.45	2.56	2.68	2.79	2.91	3.02	3.12																																																																																																																																																																																																																																					
	D II	上半	0.58	0.62	0.64	0.67	0.70	0.72	0.75	0.78																																																																																																																																																																																																																																					
			3.05	3.18	3.29	3.41	3.53	3.65	3.78	3.89																																																																																																																																																																																																																																					
			0.61	0.64	0.66	0.68	0.71	0.73	0.75	0.78																																																																																																																																																																																																																																					
		下半	40	45	50	55	60	65	70	75																																																																																																																																																																																																																																					
			0.61	0.64	0.66	0.68	0.71	0.73	0.75	0.78																																																																																																																																																																																																																																					
			2.45	2.55	2.64	2.73	2.83	2.92	3.02	3.12																																																																																																																																																																																																																																					
		0.61	0.64	0.66	0.68	0.71	0.73	0.75	0.78																																																																																																																																																																																																																																						
	<p>(注) 1. 掘削機械の運転手は、上記歩掛に含まれる。</p> <p>2. すり出しにおいて運搬距離(片押し延長+坑外片道運搬距離)が1.7kmを超える場合は、1.7kmを超える部分に対し上表のトンネル特殊工(中段)の施工歩掛を1m当りとして、1/5の値を追加する。(下半は除く)</p> <p>3. 掘削作業の編成人員は、次の作業を行うものとする。</p> <p>①削岩 ②すり出し ③吹付 ④金網 ⑤ロックボルト ⑥鋼製支保工 ⑦坑内送気管設置・撤去 ⑧坑内換気設備・設置・運転・撤去 ⑨集塵機運転 ⑩坑内送水管設置・撤去 ⑪給排水設備保守 ⑫坑内排水設備設置・運転・撤去 ⑬坑内運搬路等の保守 ⑭掘削の進行にともなう切羽照明・坑内照明・坑内排水設備・坑内換気設備・集塵機等の設置・撤去及び電気配管、配線</p>																																																																																																																																																																																																																																														

土木工事標準歩掛の一部改定
トンネル工 (NATM) [機械掘削工法]

工種名	現 行	改 定																																																																																																																																																			
	<p>(2) 掘削機械の機種・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.2 機種の選定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>施工区分</th> <th>加背</th> <th>機 種</th> <th>規 格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">掘 削 ずり出し</td> <td rowspan="2">上半</td> <td>自由断面 トンネル掘削機</td> <td>最大掘削高 6.0m 掘削幅 6.4m カッターヘッド出力200~240kW</td> <td>台</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ホイールローダ</td> <td>トンネル工事中用排出ガス対策型 サイドダンプ式 山積2.3m³</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>ずり積込</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">下半</td> <td>大型ブレーカ</td> <td>トンネル工事中用油圧式1,300kg級</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>バックホウ</td> <td>トンネル工事中用排出ガス対策型 ・クローラ型 山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>ずり積込</td> </tr> <tr> <td>上半 下半</td> <td>ダンブトラック</td> <td>坑内用普通ディーゼル 10 t 積級</td> <td>〃</td> <td>n</td> <td>ずり運搬</td> </tr> <tr> <td>吹付</td> <td>上半 下半</td> <td>コンクリート吹付機</td> <td>トンネル工事中用排出ガス対策型 湿式 一体型 吹付範囲7m級</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 大型ブレーカのベースマシンは、トンネル工事中用排出ガス対策型のバックホウ・クローラ型山積0.8m³(平積0.6m³)とする。 2. 上半・下半各々でダンブトラックの使用台数を算出する。</p> <p style="text-align: center;">表4.3 自由断面トンネル掘削機</p> <p>規格：最大掘削高6.0m 掘削幅6.4m カッターヘッド出力200~240kw 週/(トンネル延長)1m当り</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘 削 方 法</th> <th colspan="2" rowspan="2">岩区分</th> <th colspan="7">設計断面積 (m²)</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>40</th> <th>45</th> <th>50</th> <th>55</th> <th>60</th> <th>65</th> <th>70</th> <th>75</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">上下半同時併進工法</td> <td>C I</td> <td rowspan="4">上半</td> <td>0.048</td> <td>0.050</td> <td>0.054</td> <td>0.059</td> <td>0.063</td> <td>0.067</td> <td>0.072</td> <td>0.074</td> <td rowspan="4"></td> </tr> <tr> <td>C II</td> <td>0.044</td> <td>0.054</td> <td>0.059</td> <td>0.061</td> <td>0.063</td> <td>0.067</td> <td>0.070</td> <td>0.074</td> </tr> <tr> <td>D I</td> <td>0.050</td> <td>0.052</td> <td>0.059</td> <td>0.061</td> <td>0.065</td> <td>0.070</td> <td>0.085</td> <td>0.087</td> </tr> <tr> <td>D II</td> <td>0.048</td> <td>0.052</td> <td>0.057</td> <td>0.059</td> <td>0.061</td> <td>0.063</td> <td>0.070</td> <td>0.072</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">表4.4 大型ブレーカ</p> <p>規格：トンネル工事中用 油圧式1,300kg級 週/(トンネル延長)1m当り</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘 削 方 法</th> <th colspan="2" rowspan="2">岩区分</th> <th colspan="5">設計断面積 (m²)</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>10</th> <th>15</th> <th>20</th> <th>25</th> <th>30</th> <th>35</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">上下半同時併進工法</td> <td>C I</td> <td rowspan="4">下半</td> <td>0.057</td> <td>0.059</td> <td>0.061</td> <td>0.063</td> <td>0.065</td> <td>0.070</td> <td rowspan="4"></td> </tr> <tr> <td>C II</td> <td>0.057</td> <td>0.059</td> <td>0.061</td> <td>0.063</td> <td>0.065</td> <td>0.070</td> </tr> <tr> <td>D I</td> <td>0.063</td> <td>0.067</td> <td>0.072</td> <td>0.076</td> <td>0.081</td> <td>0.085</td> </tr> <tr> <td>D II</td> <td>0.065</td> <td>0.072</td> <td>0.076</td> <td>0.083</td> <td>0.087</td> <td>0.091</td> </tr> </tbody> </table>	施工区分	加背	機 種	規 格	単位	数量	摘 要	掘 削 ずり出し	上半	自由断面 トンネル掘削機	最大掘削高 6.0m 掘削幅 6.4m カッターヘッド出力200~240kW	台	1		ホイールローダ	トンネル工事中用排出ガス対策型 サイドダンプ式 山積2.3m ³	〃	1	ずり積込	下半	大型ブレーカ	トンネル工事中用油圧式1,300kg級	〃	1		バックホウ	トンネル工事中用排出ガス対策型 ・クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	〃	1	ずり積込	上半 下半	ダンブトラック	坑内用普通ディーゼル 10 t 積級	〃	n	ずり運搬	吹付	上半 下半	コンクリート吹付機	トンネル工事中用排出ガス対策型 湿式 一体型 吹付範囲7m級	〃	1		掘 削 方 法	岩区分		設計断面積 (m ²)							摘要	40	45	50	55	60	65	70	75	上下半同時併進工法	C I	上半	0.048	0.050	0.054	0.059	0.063	0.067	0.072	0.074		C II	0.044	0.054	0.059	0.061	0.063	0.067	0.070	0.074	D I	0.050	0.052	0.059	0.061	0.065	0.070	0.085	0.087	D II	0.048	0.052	0.057	0.059	0.061	0.063	0.070	0.072	掘 削 方 法	岩区分		設計断面積 (m ²)					摘要	10	15	20	25	30	35	上下半同時併進工法	C I	下半	0.057	0.059	0.061	0.063	0.065	0.070		C II	0.057	0.059	0.061	0.063	0.065	0.070	D I	0.063	0.067	0.072	0.076	0.081	0.085	D II	0.065	0.072	0.076	0.083	0.087	0.091	現 行 通 り
施工区分	加背	機 種	規 格	単位	数量	摘 要																																																																																																																																															
掘 削 ずり出し	上半	自由断面 トンネル掘削機	最大掘削高 6.0m 掘削幅 6.4m カッターヘッド出力200~240kW	台	1																																																																																																																																																
		ホイールローダ	トンネル工事中用排出ガス対策型 サイドダンプ式 山積2.3m ³	〃	1	ずり積込																																																																																																																																															
	下半	大型ブレーカ	トンネル工事中用油圧式1,300kg級	〃	1																																																																																																																																																
		バックホウ	トンネル工事中用排出ガス対策型 ・クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	〃	1	ずり積込																																																																																																																																															
上半 下半	ダンブトラック	坑内用普通ディーゼル 10 t 積級	〃	n	ずり運搬																																																																																																																																																
吹付	上半 下半	コンクリート吹付機	トンネル工事中用排出ガス対策型 湿式 一体型 吹付範囲7m級	〃	1																																																																																																																																																
掘 削 方 法	岩区分		設計断面積 (m ²)							摘要																																																																																																																																											
			40	45	50	55	60	65	70		75																																																																																																																																										
上下半同時併進工法	C I	上半	0.048	0.050	0.054	0.059	0.063	0.067	0.072	0.074																																																																																																																																											
	C II		0.044	0.054	0.059	0.061	0.063	0.067	0.070	0.074																																																																																																																																											
	D I		0.050	0.052	0.059	0.061	0.065	0.070	0.085	0.087																																																																																																																																											
	D II		0.048	0.052	0.057	0.059	0.061	0.063	0.070	0.072																																																																																																																																											
掘 削 方 法	岩区分		設計断面積 (m ²)					摘要																																																																																																																																													
			10	15	20	25	30		35																																																																																																																																												
上下半同時併進工法	C I	下半	0.057	0.059	0.061	0.063	0.065	0.070																																																																																																																																													
	C II		0.057	0.059	0.061	0.063	0.065	0.070																																																																																																																																													
	D I		0.063	0.067	0.072	0.076	0.081	0.085																																																																																																																																													
	D II		0.065	0.072	0.076	0.083	0.087	0.091																																																																																																																																													

土木工事標準歩掛の一部改定
トンネル工（NATM） [機械掘削工法]

工種名	現 行	改 定																																																																																																																																																																																																	
	<p>(3) 材料等歩掛</p> <p>① カッタービット</p> <p style="text-align: center;">表4.5 カッタービット</p> <p style="text-align: right;">個/(トンネル延長)1m当り</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘削方法</th> <th colspan="2" rowspan="2">岩区分</th> <th colspan="7">掘削断面積(m²)</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>40</th> <th>45</th> <th>50</th> <th>55</th> <th>60</th> <th>65</th> <th>70</th> <th>75</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">上下半同時併進工法</td> <td rowspan="4" style="text-align: center;">上半</td> <td>C I</td> <td>6.75</td> <td>7.57</td> <td>8.38</td> <td>9.20</td> <td>10.00</td> <td>10.81</td> <td>11.59</td> <td>12.38</td> <td rowspan="4"></td> </tr> <tr> <td>C II</td> <td>5.03</td> <td>5.65</td> <td>6.26</td> <td>6.88</td> <td>7.49</td> <td>8.10</td> <td>8.70</td> <td>9.31</td> </tr> <tr> <td>D I</td> <td>3.37</td> <td>3.78</td> <td>4.19</td> <td>4.60</td> <td>5.01</td> <td>5.42</td> <td>5.82</td> <td>6.23</td> </tr> <tr> <td>D II</td> <td>1.67</td> <td>1.87</td> <td>2.08</td> <td>2.28</td> <td>2.48</td> <td>2.68</td> <td>2.87</td> <td>3.07</td> </tr> </tbody> </table> <p>② 諸雑費</p> <p>1) 機械の諸雑費</p> <p>諸雑費は、ロックボルト打設用のドリルジャンボのビット、ロッド、シャンクスクリューロッド、ジョイントスリーブ、および掘削用の大型ブレーカのチゼル損耗料等の費用および、トラック、トラックミキサおよびアジテータトラック、モルタル注入機の損料および燃料費であり、掘削等労務費の合計額に下表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表4.6 (掘削等) 諸雑費 (その他機械)</p> <p style="text-align: right;">%/(トンネル延長)1m当り</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘削方法</th> <th colspan="2" rowspan="2">岩区分</th> <th colspan="7">掘削断面積(m²)</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>40</th> <th>45</th> <th>50</th> <th>55</th> <th>60</th> <th>65</th> <th>70</th> <th>75</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12" style="text-align: center;">上下半同時併進工法</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">C I</td> <td>上半</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td rowspan="12" style="text-align: center; vertical-align: middle;">必要な断面積を上下半各々に計上する。</td> </tr> <tr> <td>下半</td> <td></td> <td></td> <td>10</td> <td>15</td> <td>20</td> <td>25</td> <td>30</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">C II</td> <td>上半</td> <td>40</td> <td>45</td> <td>50</td> <td>55</td> <td>60</td> <td>65</td> <td>70</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td>下半</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">D I</td> <td>上半</td> <td>40</td> <td>45</td> <td>50</td> <td>55</td> <td>60</td> <td>65</td> <td>70</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td>下半</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">D II</td> <td>上半</td> <td>40</td> <td>45</td> <td>50</td> <td>55</td> <td>60</td> <td>65</td> <td>70</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td>下半</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>10</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">D II</td> <td>上半</td> <td>40</td> <td>45</td> <td>50</td> <td>55</td> <td>60</td> <td>65</td> <td>70</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td>下半</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>10</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">D II</td> <td>上半</td> <td>40</td> <td>45</td> <td>50</td> <td>55</td> <td>60</td> <td>65</td> <td>70</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td>下半</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>10</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>	掘削方法	岩区分		掘削断面積(m ²)							摘要	40	45	50	55	60	65	70	75	上下半同時併進工法	上半	C I	6.75	7.57	8.38	9.20	10.00	10.81	11.59	12.38		C II	5.03	5.65	6.26	6.88	7.49	8.10	8.70	9.31	D I	3.37	3.78	4.19	4.60	5.01	5.42	5.82	6.23	D II	1.67	1.87	2.08	2.28	2.48	2.68	2.87	3.07	掘削方法	岩区分		掘削断面積(m ²)							摘要	40	45	50	55	60	65	70	75	上下半同時併進工法	C I	上半	4	4	4	4	4	4	4	4	必要な断面積を上下半各々に計上する。	下半			10	15	20	25	30	35	C II	上半	40	45	50	55	60	65	70	75	下半	4	4	4	4	4	4	4	4	D I	上半	40	45	50	55	60	65	70	75	下半	5	5	6	6	6	7	7	8	D II	上半	40	45	50	55	60	65	70	75	下半	6	7	7	8	8	9	10	10	D II	上半	40	45	50	55	60	65	70	75	下半	6	7	7	8	8	9	10	10	D II	上半	40	45	50	55	60	65	70	75	下半	6	7	7	8	8	9	10	10	}
掘削方法	岩区分				掘削断面積(m ²)								摘要																																																																																																																																																																																						
			40	45	50	55	60	65	70	75																																																																																																																																																																																									
上下半同時併進工法	上半	C I	6.75	7.57	8.38	9.20	10.00	10.81	11.59	12.38																																																																																																																																																																																									
		C II	5.03	5.65	6.26	6.88	7.49	8.10	8.70	9.31																																																																																																																																																																																									
		D I	3.37	3.78	4.19	4.60	5.01	5.42	5.82	6.23																																																																																																																																																																																									
		D II	1.67	1.87	2.08	2.28	2.48	2.68	2.87	3.07																																																																																																																																																																																									
掘削方法	岩区分		掘削断面積(m ²)							摘要																																																																																																																																																																																									
			40	45	50	55	60	65	70		75																																																																																																																																																																																								
上下半同時併進工法	C I	上半	4	4	4	4	4	4	4	4	必要な断面積を上下半各々に計上する。																																																																																																																																																																																								
		下半			10	15	20	25	30	35																																																																																																																																																																																									
	C II	上半	40	45	50	55	60	65	70	75																																																																																																																																																																																									
		下半	4	4	4	4	4	4	4	4																																																																																																																																																																																									
	D I	上半	40	45	50	55	60	65	70	75																																																																																																																																																																																									
		下半	5	5	6	6	6	7	7	8																																																																																																																																																																																									
	D II	上半	40	45	50	55	60	65	70	75																																																																																																																																																																																									
		下半	6	7	7	8	8	9	10	10																																																																																																																																																																																									
	D II	上半	40	45	50	55	60	65	70	75																																																																																																																																																																																									
		下半	6	7	7	8	8	9	10	10																																																																																																																																																																																									
	D II	上半	40	45	50	55	60	65	70	75																																																																																																																																																																																									
		下半	6	7	7	8	8	9	10	10																																																																																																																																																																																									
		現 行 通 り																																																																																																																																																																																																	

土木工事標準歩掛の一部改定
トンネル工 (NATM) [機械掘削工法]

工種名	現 行	改 定																																																																																																																																																																																		
	<p>2) 材料の諸雑費 諸雑費は、金網工における金網 (JIS G 3551 (溶接金網) 150×150×φ5, 2.13kg/m²), ラップロス, 止め金具等の費用, 鋼製支保工におけるH形鋼 (R止まり・基数エキストラ), 継手板・底版, およびボルト・ナット, 継材, さや管, 加工費 (溶接・穴開け) 等の費用であり, 材料費の合計額に下表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表4.7 (掘削等) 諸雑費 (その他材料) %/ (トンネル延長) 1m 当り</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘削方法</th> <th rowspan="2">岩区分</th> <th colspan="9">掘削断面積 (m²)</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>40</th> <th>45</th> <th>50</th> <th>55</th> <th>60</th> <th>65</th> <th>70</th> <th>75</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12">上下半同時併進工法</td> <td rowspan="2">C I</td> <td>上半</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td rowspan="12">必要な断面積を上下半各々に計上する。</td> </tr> <tr> <td>下半</td> <td></td> <td></td> <td>10</td> <td>15</td> <td>20</td> <td>25</td> <td>30</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">C II</td> <td>上半</td> <td>40</td> <td>45</td> <td>50</td> <td>55</td> <td>60</td> <td>65</td> <td>70</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td>下半</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">D I</td> <td>上半</td> <td>40</td> <td>45</td> <td>50</td> <td>55</td> <td>60</td> <td>65</td> <td>70</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td>下半</td> <td>14</td> <td>14</td> <td>14</td> <td>14</td> <td>14</td> <td>14</td> <td>14</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">D II</td> <td>上半</td> <td>40</td> <td>45</td> <td>50</td> <td>55</td> <td>60</td> <td>65</td> <td>70</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td>下半</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> <td></td> <td>10</td> <td>15</td> <td>20</td> <td>25</td> <td>30</td> <td>35</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> <td></td> <td>9</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>9</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>4-1-2 ずり出し工 (1) ずり出し方式 ずり出しは、直送方式を標準とし、積替方式の場合の積替場所から捨て場までは、一般の運搬工で積算する。なお、直送方式と積替方式の範囲は、運搬距離 (片押し延長+坑外片道運搬距離) が3.0km程度が標準である。 (2) ずり積込工 ずり積込み用ホイールローダの歩掛は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.8 ホイールローダ 規格：トンネル工専用 排出ガス対策型 サイドダンプ式, 山積2.3m³級 週/(トンネル延長) 1m 当り</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘削方法</th> <th rowspan="2">岩区分</th> <th colspan="9">掘削断面積 (m²)</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>40</th> <th>45</th> <th>50</th> <th>55</th> <th>60</th> <th>65</th> <th>70</th> <th>75</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">上下半同時併進工法</td> <td>C I</td> <td>0.048</td> <td>0.054</td> <td>0.059</td> <td>0.063</td> <td>0.070</td> <td>0.076</td> <td>0.081</td> <td>0.085</td> <td rowspan="4"></td> </tr> <tr> <td>C II</td> <td>0.052</td> <td>0.054</td> <td>0.059</td> <td>0.061</td> <td>0.067</td> <td>0.074</td> <td>0.078</td> <td>0.085</td> </tr> <tr> <td>D I</td> <td>0.065</td> <td>0.067</td> <td>0.072</td> <td>0.074</td> <td>0.078</td> <td>0.081</td> <td>0.085</td> <td>0.087</td> </tr> <tr> <td>D II</td> <td>0.057</td> <td>0.063</td> <td>0.065</td> <td>0.076</td> <td>0.078</td> <td>0.081</td> <td>0.085</td> <td>0.087</td> </tr> </tbody> </table>	掘削方法	岩区分	掘削断面積 (m ²)									摘要	40	45	50	55	60	65	70	75	上下半同時併進工法	C I	上半	2	2	2	2	2	2	2	2	必要な断面積を上下半各々に計上する。	下半			10	15	20	25	30	35	C II	上半	40	45	50	55	60	65	70	75	下半	8	8	8	8	8	8	8	8	D I	上半	40	45	50	55	60	65	70	75	下半	14	14	14	14	14	14	14	14	D II	上半	40	45	50	55	60	65	70	75	下半	16	16	16	16	16	16	16	16					10	15	20	25	30	35						9	9	9	9	9	9		掘削方法	岩区分	掘削断面積 (m ²)									摘要	40	45	50	55	60	65	70	75	上下半同時併進工法	C I	0.048	0.054	0.059	0.063	0.070	0.076	0.081	0.085		C II	0.052	0.054	0.059	0.061	0.067	0.074	0.078	0.085	D I	0.065	0.067	0.072	0.074	0.078	0.081	0.085	0.087	D II	0.057	0.063	0.065	0.076	0.078	0.081	0.085	0.087	現 行 通 り
掘削方法	岩区分			掘削断面積 (m ²)										摘要																																																																																																																																																																						
		40	45	50	55	60	65	70	75																																																																																																																																																																											
上下半同時併進工法	C I	上半	2	2	2	2	2	2	2	2	必要な断面積を上下半各々に計上する。																																																																																																																																																																									
		下半			10	15	20	25	30	35																																																																																																																																																																										
	C II	上半	40	45	50	55	60	65	70	75																																																																																																																																																																										
		下半	8	8	8	8	8	8	8	8																																																																																																																																																																										
	D I	上半	40	45	50	55	60	65	70	75																																																																																																																																																																										
		下半	14	14	14	14	14	14	14	14																																																																																																																																																																										
	D II	上半	40	45	50	55	60	65	70	75																																																																																																																																																																										
		下半	16	16	16	16	16	16	16	16																																																																																																																																																																										
					10	15	20	25	30	35																																																																																																																																																																										
					9	9	9	9	9	9																																																																																																																																																																										
	掘削方法	岩区分	掘削断面積 (m ²)									摘要																																																																																																																																																																								
			40	45	50	55	60	65	70	75																																																																																																																																																																										
上下半同時併進工法	C I	0.048	0.054	0.059	0.063	0.070	0.076	0.081	0.085																																																																																																																																																																											
	C II	0.052	0.054	0.059	0.061	0.067	0.074	0.078	0.085																																																																																																																																																																											
	D I	0.065	0.067	0.072	0.074	0.078	0.081	0.085	0.087																																																																																																																																																																											
	D II	0.057	0.063	0.065	0.076	0.078	0.081	0.085	0.087																																																																																																																																																																											

土木工事標準歩掛の一部改定
トンネル工 (NATM) [機械掘削工法]

工種名	現 行	改 定																																																																																																																																																																																							
	<p style="text-align: center;">表4.9 バックホウ</p> <p>規格：トンネル工専用 排出ガス対策型 クローラ型山積0.8m³ (平積0.6m³)</p> <p style="text-align: right;">週/(トンネル延長)1m当り</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘削方法</th> <th colspan="2" rowspan="2">岩区分</th> <th colspan="6">掘削断面積 (m²)</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>10</th> <th>15</th> <th>20</th> <th>25</th> <th>30</th> <th>35</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">上下半同時併進工法</td> <td>C I</td> <td rowspan="4">下半</td> <td>0.046</td> <td>0.059</td> <td>0.061</td> <td>0.072</td> <td>0.081</td> <td>0.091</td> <td rowspan="4"></td> </tr> <tr> <td>C II</td> <td>0.041</td> <td>0.050</td> <td>0.061</td> <td>0.063</td> <td>0.074</td> <td>0.085</td> </tr> <tr> <td>D I</td> <td>0.046</td> <td>0.057</td> <td>0.072</td> <td>0.076</td> <td>0.081</td> <td>0.094</td> </tr> <tr> <td>D II</td> <td>0.048</td> <td>0.059</td> <td>0.076</td> <td>0.083</td> <td>0.087</td> <td>0.091</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) ずり運搬工</p> <p>① ダンプトラックの規格及び使用台数</p> <p>ダンプトラックの規格及び使用台数は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.10 ダンプトラックの規格及び使用台数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">機械掘削 上半</th> <th rowspan="2">坑内用普通ディーゼル ダンプトラック 10t積級</th> <th>L ≤ 0.8km</th> <th>0.8 < L ≤ 1.7km</th> <th>1.7 < L ≤ 2.7km</th> <th>2.7 < L ≤ 3.0km</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2台</td> <td>3台</td> <td>3台</td> <td>4台</td> </tr> <tr> <th rowspan="2">機械掘削 下半</th> <th rowspan="2">坑内用普通ディーゼル ダンプトラック 10t積級</th> <td colspan="3">L ≤ 2.3km</td> <td>2.3 < L ≤ 3.0km</td> </tr> <tr> <td colspan="3">2台</td> <td>3台</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. Lは運搬距離(片押し延長+坑外片道運搬距離)とする。 2. 機種を選定に当たっては、十分検討を行うこと。</p> <p>③ ダンプトラックの歩掛</p> <p>ずり積込み用ダンプトラックの歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.11 ダンプトラック</p> <p>規格：坑内用普通ディーゼル10t積級</p> <p style="text-align: right;">2台当り L ≤ 0.8km 週/(トンネル延長)1m当り</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘削方法</th> <th colspan="2" rowspan="2">岩区分</th> <th colspan="7">掘削断面積 (m²)</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>40</th> <th>45</th> <th>50</th> <th>55</th> <th>60</th> <th>65</th> <th>70</th> <th>75</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">上下半同時併進工法</td> <td>C I</td> <td rowspan="4">上半</td> <td>0.078</td> <td>0.083</td> <td>0.091</td> <td>0.096</td> <td>0.104</td> <td>0.113</td> <td>0.122</td> <td>0.126</td> <td rowspan="4"></td> </tr> <tr> <td>C II</td> <td>0.087</td> <td>0.096</td> <td>0.104</td> <td>0.122</td> <td>0.126</td> <td>0.135</td> <td>0.139</td> <td>0.148</td> </tr> <tr> <td>D I</td> <td>0.109</td> <td>0.113</td> <td>0.126</td> <td>0.148</td> <td>0.157</td> <td>0.161</td> <td>0.170</td> <td>0.174</td> </tr> <tr> <td>D II</td> <td>0.104</td> <td>0.113</td> <td>0.122</td> <td>0.126</td> <td>0.131</td> <td>0.139</td> <td>0.148</td> <td>0.174</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">表4.12 ダンプトラック</p> <p>規格：坑内用普通ディーゼル10t積級</p> <p style="text-align: right;">3台当り 0.8 < L ≤ 1.7km 1.7 < L ≤ 2.7km 週/(トンネル延長)1m当り</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘削方法</th> <th colspan="2" rowspan="2">岩区分</th> <th colspan="7">掘削断面積 (m²)</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>40</th> <th>45</th> <th>50</th> <th>55</th> <th>60</th> <th>65</th> <th>70</th> <th>75</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">上下半同時併進工法</td> <td>C I</td> <td rowspan="4">上半</td> <td>0.117</td> <td>0.124</td> <td>0.137</td> <td>0.144</td> <td>0.157</td> <td>0.170</td> <td>0.183</td> <td>0.189</td> <td rowspan="4"></td> </tr> <tr> <td>C II</td> <td>0.131</td> <td>0.144</td> <td>0.157</td> <td>0.183</td> <td>0.189</td> <td>0.202</td> <td>0.209</td> <td>0.222</td> </tr> <tr> <td>D I</td> <td>0.163</td> <td>0.170</td> <td>0.189</td> <td>0.222</td> <td>0.235</td> <td>0.242</td> <td>0.255</td> <td>0.261</td> </tr> <tr> <td>D II</td> <td>0.157</td> <td>0.170</td> <td>0.183</td> <td>0.189</td> <td>0.196</td> <td>0.209</td> <td>0.222</td> <td>0.261</td> </tr> </tbody> </table>	掘削方法	岩区分		掘削断面積 (m ²)						摘要	10	15	20	25	30	35	上下半同時併進工法	C I	下半	0.046	0.059	0.061	0.072	0.081	0.091		C II	0.041	0.050	0.061	0.063	0.074	0.085	D I	0.046	0.057	0.072	0.076	0.081	0.094	D II	0.048	0.059	0.076	0.083	0.087	0.091	機械掘削 上半	坑内用普通ディーゼル ダンプトラック 10t積級	L ≤ 0.8km	0.8 < L ≤ 1.7km	1.7 < L ≤ 2.7km	2.7 < L ≤ 3.0km	2台	3台	3台	4台	機械掘削 下半	坑内用普通ディーゼル ダンプトラック 10t積級	L ≤ 2.3km			2.3 < L ≤ 3.0km	2台			3台	掘削方法	岩区分		掘削断面積 (m ²)							摘要	40	45	50	55	60	65	70	75	上下半同時併進工法	C I	上半	0.078	0.083	0.091	0.096	0.104	0.113	0.122	0.126		C II	0.087	0.096	0.104	0.122	0.126	0.135	0.139	0.148	D I	0.109	0.113	0.126	0.148	0.157	0.161	0.170	0.174	D II	0.104	0.113	0.122	0.126	0.131	0.139	0.148	0.174	掘削方法	岩区分		掘削断面積 (m ²)							摘要	40	45	50	55	60	65	70	75	上下半同時併進工法	C I	上半	0.117	0.124	0.137	0.144	0.157	0.170	0.183	0.189		C II	0.131	0.144	0.157	0.183	0.189	0.202	0.209	0.222	D I	0.163	0.170	0.189	0.222	0.235	0.242	0.255	0.261	D II	0.157	0.170	0.183	0.189	0.196	0.209	0.222	0.261	現 行 通 り
掘削方法	岩区分				掘削断面積 (m ²)							摘要																																																																																																																																																																													
			10	15	20	25	30	35																																																																																																																																																																																	
上下半同時併進工法	C I	下半	0.046	0.059	0.061	0.072	0.081	0.091																																																																																																																																																																																	
	C II		0.041	0.050	0.061	0.063	0.074	0.085																																																																																																																																																																																	
	D I		0.046	0.057	0.072	0.076	0.081	0.094																																																																																																																																																																																	
	D II		0.048	0.059	0.076	0.083	0.087	0.091																																																																																																																																																																																	
機械掘削 上半	坑内用普通ディーゼル ダンプトラック 10t積級	L ≤ 0.8km	0.8 < L ≤ 1.7km	1.7 < L ≤ 2.7km	2.7 < L ≤ 3.0km																																																																																																																																																																																				
		2台	3台	3台	4台																																																																																																																																																																																				
機械掘削 下半	坑内用普通ディーゼル ダンプトラック 10t積級	L ≤ 2.3km			2.3 < L ≤ 3.0km																																																																																																																																																																																				
		2台			3台																																																																																																																																																																																				
掘削方法	岩区分		掘削断面積 (m ²)							摘要																																																																																																																																																																															
			40	45	50	55	60	65	70		75																																																																																																																																																																														
上下半同時併進工法	C I	上半	0.078	0.083	0.091	0.096	0.104	0.113	0.122	0.126																																																																																																																																																																															
	C II		0.087	0.096	0.104	0.122	0.126	0.135	0.139	0.148																																																																																																																																																																															
	D I		0.109	0.113	0.126	0.148	0.157	0.161	0.170	0.174																																																																																																																																																																															
	D II		0.104	0.113	0.122	0.126	0.131	0.139	0.148	0.174																																																																																																																																																																															
掘削方法	岩区分		掘削断面積 (m ²)							摘要																																																																																																																																																																															
			40	45	50	55	60	65	70		75																																																																																																																																																																														
上下半同時併進工法	C I	上半	0.117	0.124	0.137	0.144	0.157	0.170	0.183	0.189																																																																																																																																																																															
	C II		0.131	0.144	0.157	0.183	0.189	0.202	0.209	0.222																																																																																																																																																																															
	D I		0.163	0.170	0.189	0.222	0.235	0.242	0.255	0.261																																																																																																																																																																															
	D II		0.157	0.170	0.183	0.189	0.196	0.209	0.222	0.261																																																																																																																																																																															

土木工事標準歩掛の一部改定
トンネル工 (NATM) [機械掘削工法]

工種名	現 行	改 定																																																																																																																																																									
	<p style="text-align: center;">表4.13 ダンプトラック</p> <p>規格：坑内用普通ディーゼル10t積級</p> <p style="text-align: right;">4台当り 2.7<L≤3.0km 週/(トンネル延長)1m当り</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘削方法</th> <th colspan="2" rowspan="2">岩区分</th> <th colspan="8">掘削断面積 (m²)</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>40</th><th>45</th><th>50</th><th>55</th><th>60</th><th>65</th><th>70</th><th>75</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">上下半同時併進工法</td> <td>C I</td> <td rowspan="4">上半</td> <td>0.157</td><td>0.165</td><td>0.183</td><td>0.191</td><td>0.209</td><td>0.226</td><td>0.244</td><td>0.252</td> <td rowspan="4"></td> </tr> <tr> <td>C II</td> <td>0.174</td><td>0.191</td><td>0.209</td><td>0.244</td><td>0.252</td><td>0.270</td><td>0.279</td><td>0.296</td> </tr> <tr> <td>D I</td> <td>0.218</td><td>0.226</td><td>0.252</td><td>0.296</td><td>0.313</td><td>0.322</td><td>0.339</td><td>0.348</td> </tr> <tr> <td>D II</td> <td>0.209</td><td>0.226</td><td>0.244</td><td>0.252</td><td>0.261</td><td>0.279</td><td>0.296</td><td>0.348</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">表4.14 ダンプトラック</p> <p>規格：坑内用普通ディーゼル10t積級</p> <p style="text-align: right;">2台当り L≤2.3km 週/(トンネル延長)1m当り</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘削方法</th> <th colspan="2" rowspan="2">岩区分</th> <th colspan="6">掘削断面積 (m²)</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>10</th><th>15</th><th>20</th><th>25</th><th>30</th><th>35</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">上下半同時併進工法</td> <td>C I</td> <td rowspan="4">下半</td> <td>0.065</td><td>0.074</td><td>0.083</td><td>0.087</td><td>0.096</td><td>0.104</td> <td rowspan="4"></td> </tr> <tr> <td>C II</td> <td>0.070</td><td>0.078</td><td>0.087</td><td>0.096</td><td>0.104</td><td>0.117</td> </tr> <tr> <td>D I</td> <td>0.078</td><td>0.096</td><td>0.104</td><td>0.122</td><td>0.131</td><td>0.144</td> </tr> <tr> <td>D II</td> <td>0.083</td><td>0.100</td><td>0.109</td><td>0.126</td><td>0.139</td><td>0.152</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">表4.15 ダンプトラック</p> <p>規格：坑内用普通ディーゼル10t積級</p> <p style="text-align: right;">3台当り 2.3<L≤3.0km 週/(トンネル延長)1m当り</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘削方法</th> <th colspan="2" rowspan="2">岩区分</th> <th colspan="6">掘削断面積 (m²)</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>10</th><th>15</th><th>20</th><th>25</th><th>30</th><th>35</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">上下半同時併進工法</td> <td>C I</td> <td rowspan="4">下半</td> <td>0.098</td><td>0.111</td><td>0.124</td><td>0.131</td><td>0.144</td><td>0.157</td> <td rowspan="4"></td> </tr> <tr> <td>C II</td> <td>0.104</td><td>0.117</td><td>0.131</td><td>0.144</td><td>0.157</td><td>0.176</td> </tr> <tr> <td>D I</td> <td>0.117</td><td>0.144</td><td>0.157</td><td>0.183</td><td>0.196</td><td>0.215</td> </tr> <tr> <td>D II</td> <td>0.124</td><td>0.150</td><td>0.163</td><td>0.189</td><td>0.209</td><td>0.228</td> </tr> </tbody> </table> <p>4-1-3 その他 (1) 明り作業の掘削 明り作業の掘削は、「第2章②機械土工(土砂)及び③機械土工(岩石)」による。</p>	掘削方法	岩区分		掘削断面積 (m ²)								摘要	40	45	50	55	60	65	70	75	上下半同時併進工法	C I	上半	0.157	0.165	0.183	0.191	0.209	0.226	0.244	0.252		C II	0.174	0.191	0.209	0.244	0.252	0.270	0.279	0.296	D I	0.218	0.226	0.252	0.296	0.313	0.322	0.339	0.348	D II	0.209	0.226	0.244	0.252	0.261	0.279	0.296	0.348	掘削方法	岩区分		掘削断面積 (m ²)						摘要	10	15	20	25	30	35	上下半同時併進工法	C I	下半	0.065	0.074	0.083	0.087	0.096	0.104		C II	0.070	0.078	0.087	0.096	0.104	0.117	D I	0.078	0.096	0.104	0.122	0.131	0.144	D II	0.083	0.100	0.109	0.126	0.139	0.152	掘削方法	岩区分		掘削断面積 (m ²)						摘要	10	15	20	25	30	35	上下半同時併進工法	C I	下半	0.098	0.111	0.124	0.131	0.144	0.157		C II	0.104	0.117	0.131	0.144	0.157	0.176	D I	0.117	0.144	0.157	0.183	0.196	0.215	D II	0.124	0.150	0.163	0.189	0.209	0.228	現 行 通 り
掘削方法	岩区分				掘削断面積 (m ²)									摘要																																																																																																																																													
			40	45	50	55	60	65	70	75																																																																																																																																																	
上下半同時併進工法	C I	上半	0.157	0.165	0.183	0.191	0.209	0.226	0.244	0.252																																																																																																																																																	
	C II		0.174	0.191	0.209	0.244	0.252	0.270	0.279	0.296																																																																																																																																																	
	D I		0.218	0.226	0.252	0.296	0.313	0.322	0.339	0.348																																																																																																																																																	
	D II		0.209	0.226	0.244	0.252	0.261	0.279	0.296	0.348																																																																																																																																																	
掘削方法	岩区分		掘削断面積 (m ²)						摘要																																																																																																																																																		
			10	15	20	25	30	35																																																																																																																																																			
上下半同時併進工法	C I	下半	0.065	0.074	0.083	0.087	0.096	0.104																																																																																																																																																			
	C II		0.070	0.078	0.087	0.096	0.104	0.117																																																																																																																																																			
	D I		0.078	0.096	0.104	0.122	0.131	0.144																																																																																																																																																			
	D II		0.083	0.100	0.109	0.126	0.139	0.152																																																																																																																																																			
掘削方法	岩区分		掘削断面積 (m ²)						摘要																																																																																																																																																		
			10	15	20	25	30	35																																																																																																																																																			
上下半同時併進工法	C I	下半	0.098	0.111	0.124	0.131	0.144	0.157																																																																																																																																																			
	C II		0.104	0.117	0.131	0.144	0.157	0.176																																																																																																																																																			
	D I		0.117	0.144	0.157	0.183	0.196	0.215																																																																																																																																																			
	D II		0.124	0.150	0.163	0.189	0.209	0.228																																																																																																																																																			

土木工事標準歩掛の一部改定
トンネル工 (NATM) [機械掘削工法]

工種名	現 行	改 定																																																																																																																																																																							
	<p>4-2 支保工</p> <p>4-2-1 コンクリート吹付工</p> <p>(1) 吹付工法 吹付工法は、湿式工法を標準とする。</p> <p>(2) 吹付コンクリート量 掘削 1m 当り吹付コンクリート量は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.16 吹付コンクリート</p> <p style="text-align: right; margin-right: 20px;">m³/(トンネル延長)1m当り</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘削方法</th> <th rowspan="2">岩区分</th> <th colspan="8">掘削断面積 (m²)</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>40</th> <th>45</th> <th>50</th> <th>55</th> <th>60</th> <th>65</th> <th>70</th> <th>75</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12">上下半同時併進工法</td> <td rowspan="2">C I</td> <td>上半</td> <td>3.25</td> <td>3.44</td> <td>3.62</td> <td>3.81</td> <td>3.99</td> <td>4.18</td> <td>4.36</td> <td>4.55</td> <td rowspan="12">必要な断面積を上下半各々に計上する。</td> </tr> <tr> <td>下半</td> <td></td> <td></td> <td>10</td> <td>15</td> <td>20</td> <td>25</td> <td>30</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">C II</td> <td>上半</td> <td>40</td> <td>45</td> <td>50</td> <td>55</td> <td>60</td> <td>65</td> <td>70</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td>下半</td> <td>3.25</td> <td>3.44</td> <td>3.62</td> <td>3.81</td> <td>3.99</td> <td>4.18</td> <td>4.36</td> <td>4.55</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">D I</td> <td>上半</td> <td>40</td> <td>45</td> <td>50</td> <td>55</td> <td>60</td> <td>65</td> <td>70</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td>下半</td> <td>4.45</td> <td>4.69</td> <td>4.94</td> <td>5.19</td> <td>5.44</td> <td>5.69</td> <td>5.94</td> <td>6.19</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">D II</td> <td>上半</td> <td>40</td> <td>45</td> <td>50</td> <td>55</td> <td>60</td> <td>65</td> <td>70</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td>下半</td> <td>5.62</td> <td>5.93</td> <td>6.25</td> <td>6.56</td> <td>6.88</td> <td>7.19</td> <td>7.51</td> <td>7.82</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>10</td> <td>15</td> <td>20</td> <td>25</td> <td>30</td> <td>35</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.66</td> <td>0.87</td> <td>1.08</td> <td>1.29</td> <td>1.50</td> <td>1.71</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 設計吹付厚及びロス率 設計吹付厚及びロス率は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.17 設計吹付厚及びロス率</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>加背名</th> <th>掘削区分</th> <th>設計吹付厚 (cm)</th> <th>余吹厚 (cm)</th> <th>はね返り率</th> <th>ロス率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">上半</td> <td>C I</td> <td>10</td> <td>5</td> <td>30%</td> <td>2.1</td> </tr> <tr> <td>C II</td> <td>10</td> <td>5</td> <td>30%</td> <td>2.1</td> </tr> <tr> <td>D I</td> <td>15</td> <td>5</td> <td>30%</td> <td>1.9</td> </tr> <tr> <td>D II</td> <td>20</td> <td>5</td> <td>30%</td> <td>1.8</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">下半</td> <td>C I</td> <td>10</td> <td>5</td> <td>20%</td> <td>1.9</td> </tr> <tr> <td>C II</td> <td>10</td> <td>5</td> <td>20%</td> <td>1.9</td> </tr> <tr> <td>D I</td> <td>15</td> <td>5</td> <td>20%</td> <td>1.7</td> </tr> <tr> <td>D II</td> <td>20</td> <td>5</td> <td>20%</td> <td>1.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. ロス率には、材料ロス、はねかえり損失、余吹等によるロスを含む。 2. 坑口部、大断面等で標準と異なる場合のロス率については、次式によるものとする。 ロス率(K) = (設計吹付厚 + 余吹厚) / (設計吹付厚 × (1 - はね返り率))</p>	掘削方法	岩区分	掘削断面積 (m ²)								摘要	40	45	50	55	60	65	70	75	上下半同時併進工法	C I	上半	3.25	3.44	3.62	3.81	3.99	4.18	4.36	4.55	必要な断面積を上下半各々に計上する。	下半			10	15	20	25	30	35	C II	上半	40	45	50	55	60	65	70	75	下半	3.25	3.44	3.62	3.81	3.99	4.18	4.36	4.55	D I	上半	40	45	50	55	60	65	70	75	下半	4.45	4.69	4.94	5.19	5.44	5.69	5.94	6.19	D II	上半	40	45	50	55	60	65	70	75	下半	5.62	5.93	6.25	6.56	6.88	7.19	7.51	7.82					10	15	20	25	30	35						0.66	0.87	1.08	1.29	1.50	1.71		加背名	掘削区分	設計吹付厚 (cm)	余吹厚 (cm)	はね返り率	ロス率	上半	C I	10	5	30%	2.1	C II	10	5	30%	2.1	D I	15	5	30%	1.9	D II	20	5	30%	1.8	下半	C I	10	5	20%	1.9	C II	10	5	20%	1.9	D I	15	5	20%	1.7	D II	20	5	20%	1.6	現 行 通 り
掘削方法	岩区分			掘削断面積 (m ²)									摘要																																																																																																																																																												
		40	45	50	55	60	65	70	75																																																																																																																																																																
上下半同時併進工法	C I	上半	3.25	3.44	3.62	3.81	3.99	4.18	4.36	4.55	必要な断面積を上下半各々に計上する。																																																																																																																																																														
		下半			10	15	20	25	30	35																																																																																																																																																															
	C II	上半	40	45	50	55	60	65	70	75																																																																																																																																																															
		下半	3.25	3.44	3.62	3.81	3.99	4.18	4.36	4.55																																																																																																																																																															
	D I	上半	40	45	50	55	60	65	70	75																																																																																																																																																															
		下半	4.45	4.69	4.94	5.19	5.44	5.69	5.94	6.19																																																																																																																																																															
	D II	上半	40	45	50	55	60	65	70	75																																																																																																																																																															
		下半	5.62	5.93	6.25	6.56	6.88	7.19	7.51	7.82																																																																																																																																																															
					10	15	20	25	30	35																																																																																																																																																															
					0.66	0.87	1.08	1.29	1.50	1.71																																																																																																																																																															
	加背名	掘削区分	設計吹付厚 (cm)	余吹厚 (cm)	はね返り率	ロス率																																																																																																																																																																			
	上半	C I	10	5	30%	2.1																																																																																																																																																																			
C II		10	5	30%	2.1																																																																																																																																																																				
D I		15	5	30%	1.9																																																																																																																																																																				
D II		20	5	30%	1.8																																																																																																																																																																				
下半	C I	10	5	20%	1.9																																																																																																																																																																				
	C II	10	5	20%	1.9																																																																																																																																																																				
	D I	15	5	20%	1.7																																																																																																																																																																				
	D II	20	5	20%	1.6																																																																																																																																																																				

土木工事標準歩掛の一部改定
トンネル工 (NATM) [機械掘削工法]

工種名	現 行	改 定																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	<p>(4) コンクリート吹付機の運転時間 掘削1m当りのコンクリート吹付機運転時間は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.18 コンクリート吹付機</p> <p>規格：トンネル工専用 排出ガス対策型 湿式ホイール型 吹付半径7m級 吐出力6~20m³/級</p> <p style="text-align: right;">週/(トンネル延長)1m当り</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘削方法</th> <th rowspan="2">岩区分</th> <th colspan="8">掘削断面積 (m²)</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>40</th> <th>45</th> <th>50</th> <th>55</th> <th>60</th> <th>65</th> <th>70</th> <th>75</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12">上下半同時併進工法</td> <td rowspan="2">C I</td> <td>上半</td> <td>0.026</td> <td>0.026</td> <td>0.028</td> <td>0.030</td> <td>0.033</td> <td>0.035</td> <td>0.037</td> <td>0.037</td> <td rowspan="12">必要な断面積を上下半各々に計上する。</td> </tr> <tr> <td>下半</td> <td></td> <td></td> <td>10</td> <td>15</td> <td>20</td> <td>25</td> <td>30</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.026</td> <td>0.026</td> <td>0.028</td> <td>0.028</td> <td>0.030</td> <td>0.033</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">C II</td> <td>上半</td> <td>40</td> <td>45</td> <td>50</td> <td>55</td> <td>60</td> <td>65</td> <td>70</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.030</td> <td>0.033</td> <td>0.035</td> <td>0.035</td> <td>0.037</td> <td>0.039</td> <td>0.039</td> <td>0.041</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>10</td> <td>15</td> <td>20</td> <td>25</td> <td>30</td> <td>35</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.028</td> <td>0.030</td> <td>0.030</td> <td>0.033</td> <td>0.033</td> <td>0.035</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">D I</td> <td>上半</td> <td>40</td> <td>45</td> <td>50</td> <td>55</td> <td>60</td> <td>65</td> <td>70</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.044</td> <td>0.044</td> <td>0.048</td> <td>0.048</td> <td>0.052</td> <td>0.052</td> <td>0.054</td> <td>0.057</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>10</td> <td>15</td> <td>20</td> <td>25</td> <td>30</td> <td>35</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.033</td> <td>0.035</td> <td>0.039</td> <td>0.039</td> <td>0.041</td> <td>0.046</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">D II</td> <td>上半</td> <td>40</td> <td>45</td> <td>50</td> <td>55</td> <td>60</td> <td>65</td> <td>70</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.048</td> <td>0.050</td> <td>0.052</td> <td>0.052</td> <td>0.054</td> <td>0.057</td> <td>0.059</td> <td>0.061</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>10</td> <td>15</td> <td>20</td> <td>25</td> <td>30</td> <td>35</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.035</td> <td>0.039</td> <td>0.041</td> <td>0.044</td> <td>0.046</td> <td>0.048</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(5) 吹付プラント設備の運転時間 掘削1m当りの吹付プラント設備運転時間は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.19 吹付プラント設備</p> <p>規格：定置式25m³/h</p> <p style="text-align: right;">週/(トンネル延長)1m当り</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘削方法</th> <th rowspan="2">岩区分</th> <th colspan="8">掘削断面積 (m²)</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>40</th> <th>45</th> <th>50</th> <th>55</th> <th>60</th> <th>65</th> <th>70</th> <th>75</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12">上下半同時併進工法</td> <td rowspan="2">C I</td> <td>上半</td> <td>0.039</td> <td>0.039</td> <td>0.044</td> <td>0.044</td> <td>0.048</td> <td>0.048</td> <td>0.052</td> <td>0.052</td> <td rowspan="12">必要な断面積を上下半各々に計上する。</td> </tr> <tr> <td>下半</td> <td></td> <td></td> <td>10</td> <td>15</td> <td>20</td> <td>25</td> <td>30</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.044</td> <td>0.046</td> <td>0.046</td> <td>0.048</td> <td>0.048</td> <td>0.050</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">C II</td> <td>上半</td> <td>40</td> <td>45</td> <td>50</td> <td>55</td> <td>60</td> <td>65</td> <td>70</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.052</td> <td>0.054</td> <td>0.059</td> <td>0.061</td> <td>0.063</td> <td>0.065</td> <td>0.067</td> <td>0.070</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>10</td> <td>15</td> <td>20</td> <td>25</td> <td>30</td> <td>35</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.057</td> <td>0.059</td> <td>0.061</td> <td>0.063</td> <td>0.065</td> <td>0.067</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">D I</td> <td>上半</td> <td>40</td> <td>45</td> <td>50</td> <td>55</td> <td>60</td> <td>65</td> <td>70</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.065</td> <td>0.067</td> <td>0.072</td> <td>0.074</td> <td>0.078</td> <td>0.081</td> <td>0.085</td> <td>0.087</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>10</td> <td>15</td> <td>20</td> <td>25</td> <td>30</td> <td>35</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.063</td> <td>0.067</td> <td>0.072</td> <td>0.076</td> <td>0.081</td> <td>0.085</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">D II</td> <td>上半</td> <td>40</td> <td>45</td> <td>50</td> <td>55</td> <td>60</td> <td>65</td> <td>70</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.067</td> <td>0.072</td> <td>0.074</td> <td>0.076</td> <td>0.078</td> <td>0.081</td> <td>0.085</td> <td>0.087</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>10</td> <td>15</td> <td>20</td> <td>25</td> <td>30</td> <td>35</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.065</td> <td>0.072</td> <td>0.076</td> <td>0.083</td> <td>0.087</td> <td>0.091</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(6) 粉塵抑制剤 粉塵抑制剤は必要に応じて、別途計上する。</p>	掘削方法	岩区分	掘削断面積 (m ²)								摘要	40	45	50	55	60	65	70	75	上下半同時併進工法	C I	上半	0.026	0.026	0.028	0.030	0.033	0.035	0.037	0.037	必要な断面積を上下半各々に計上する。	下半			10	15	20	25	30	35				0.026	0.026	0.028	0.028	0.030	0.033		C II	上半	40	45	50	55	60	65	70	75		0.030	0.033	0.035	0.035	0.037	0.039	0.039	0.041				10	15	20	25	30	35					0.028	0.030	0.030	0.033	0.033	0.035		D I	上半	40	45	50	55	60	65	70	75		0.044	0.044	0.048	0.048	0.052	0.052	0.054	0.057				10	15	20	25	30	35					0.033	0.035	0.039	0.039	0.041	0.046		D II	上半	40	45	50	55	60	65	70	75		0.048	0.050	0.052	0.052	0.054	0.057	0.059	0.061				10	15	20	25	30	35					0.035	0.039	0.041	0.044	0.046	0.048		掘削方法	岩区分	掘削断面積 (m ²)								摘要	40	45	50	55	60	65	70	75	上下半同時併進工法	C I	上半	0.039	0.039	0.044	0.044	0.048	0.048	0.052	0.052	必要な断面積を上下半各々に計上する。	下半			10	15	20	25	30	35				0.044	0.046	0.046	0.048	0.048	0.050		C II	上半	40	45	50	55	60	65	70	75		0.052	0.054	0.059	0.061	0.063	0.065	0.067	0.070				10	15	20	25	30	35					0.057	0.059	0.061	0.063	0.065	0.067		D I	上半	40	45	50	55	60	65	70	75		0.065	0.067	0.072	0.074	0.078	0.081	0.085	0.087				10	15	20	25	30	35					0.063	0.067	0.072	0.076	0.081	0.085		D II	上半	40	45	50	55	60	65	70	75		0.067	0.072	0.074	0.076	0.078	0.081	0.085	0.087				10	15	20	25	30	35					0.065	0.072	0.076	0.083	0.087	0.091		現 行 通 り
掘削方法	岩区分			掘削断面積 (m ²)									摘要																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
		40	45	50	55	60	65	70	75																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
上下半同時併進工法	C I	上半	0.026	0.026	0.028	0.030	0.033	0.035	0.037	0.037	必要な断面積を上下半各々に計上する。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		下半			10	15	20	25	30	35																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
				0.026	0.026	0.028	0.028	0.030	0.033																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	C II	上半	40	45	50	55	60	65	70	75																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
			0.030	0.033	0.035	0.035	0.037	0.039	0.039	0.041																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
				10	15	20	25	30	35																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
				0.028	0.030	0.030	0.033	0.033	0.035																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	D I	上半	40	45	50	55	60	65	70	75																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
			0.044	0.044	0.048	0.048	0.052	0.052	0.054	0.057																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
				10	15	20	25	30	35																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
				0.033	0.035	0.039	0.039	0.041	0.046																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	D II	上半	40	45	50	55	60	65	70	75																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		0.048	0.050	0.052	0.052	0.054	0.057	0.059	0.061																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
			10	15	20	25	30	35																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
			0.035	0.039	0.041	0.044	0.046	0.048																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
掘削方法	岩区分	掘削断面積 (m ²)								摘要																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		40	45	50	55	60	65	70	75																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
上下半同時併進工法	C I	上半	0.039	0.039	0.044	0.044	0.048	0.048	0.052	0.052	必要な断面積を上下半各々に計上する。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		下半			10	15	20	25	30	35																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
				0.044	0.046	0.046	0.048	0.048	0.050																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	C II	上半	40	45	50	55	60	65	70	75																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
			0.052	0.054	0.059	0.061	0.063	0.065	0.067	0.070																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
				10	15	20	25	30	35																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
				0.057	0.059	0.061	0.063	0.065	0.067																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	D I	上半	40	45	50	55	60	65	70	75																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
			0.065	0.067	0.072	0.074	0.078	0.081	0.085	0.087																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
				10	15	20	25	30	35																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
				0.063	0.067	0.072	0.076	0.081	0.085																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	D II	上半	40	45	50	55	60	65	70	75																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		0.067	0.072	0.074	0.076	0.078	0.081	0.085	0.087																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
			10	15	20	25	30	35																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
			0.065	0.072	0.076	0.083	0.087	0.091																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								

土木工事標準歩掛の一部改定
トンネル工 (NATM) [機械掘削工法]

工種名	現 行	改 定																																																																																																																																																																																						
	<p>(7) 集塵機</p> <p>① 吹付時の粉塵対策として、集塵機を使用することを標準とする。</p> <p>② 集塵機の機種を選定 集塵機は、作業環境を考慮し必要となる機種規格を選定する。</p> <p>③ 集塵機の運転時間 掘削1m当りの集塵機運転時間は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.20 集塵機装置</p> <p>規格：○○○式、定格風量○○○m³/min級</p> <p style="text-align: right;">週/(トンネル延長)1m当り</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘削方法</th> <th rowspan="2">岩区分</th> <th colspan="8">掘削断面積 (m²)</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>40</th> <th>45</th> <th>50</th> <th>55</th> <th>60</th> <th>65</th> <th>70</th> <th>75</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12">上下半同時併進工法</td> <td rowspan="2">C I</td> <td>上半</td> <td>0.048</td> <td>0.052</td> <td>0.057</td> <td>0.061</td> <td>0.065</td> <td>0.067</td> <td>0.072</td> <td>0.076</td> <td rowspan="12">必要な断面積を計上する。</td> </tr> <tr> <td>下半</td> <td></td> <td></td> <td>10</td> <td>15</td> <td>20</td> <td>25</td> <td>30</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">C II</td> <td>上半</td> <td>40</td> <td>45</td> <td>50</td> <td>55</td> <td>60</td> <td>65</td> <td>70</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.052</td> <td>0.057</td> <td>0.059</td> <td>0.061</td> <td>0.065</td> <td>0.067</td> <td>0.072</td> <td>0.074</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>10</td> <td>15</td> <td>20</td> <td>25</td> <td>30</td> <td>35</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">D I</td> <td>上半</td> <td>40</td> <td>45</td> <td>50</td> <td>55</td> <td>60</td> <td>65</td> <td>70</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.065</td> <td>0.070</td> <td>0.072</td> <td>0.076</td> <td>0.078</td> <td>0.083</td> <td>0.085</td> <td>0.089</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>10</td> <td>15</td> <td>20</td> <td>25</td> <td>30</td> <td>35</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">D II</td> <td>上半</td> <td>40</td> <td>45</td> <td>50</td> <td>55</td> <td>60</td> <td>65</td> <td>70</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.070</td> <td>0.072</td> <td>0.074</td> <td>0.076</td> <td>0.081</td> <td>0.083</td> <td>0.085</td> <td>0.087</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>10</td> <td>15</td> <td>20</td> <td>25</td> <td>30</td> <td>35</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>4-2-2 ロックボルト工</p> <p>(1) ロックボルトの使用区分 ロックボルトの使用区分は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.21 ロックボルトの使用区分</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>掘削区分</th> <th>ロックボルトの長さ×周方向間隔×延長方向間隔</th> <th>材 質</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>C I</td> <td>3.0×1.5×1.5</td> <td>異形棒鋼と同等以上 (耐力117.7kN(12 t)以上)</td> </tr> <tr> <td>C II</td> <td>3.0×1.5×1.2</td> <td>ねじり棒鋼と同等以上 (耐力176.5kN(18 t)以上)</td> </tr> <tr> <td>D I</td> <td>4.0×1.2×1.0</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>D II</td> <td>4.0×1.2×1.0以下</td> <td>〃</td> </tr> </tbody> </table>	掘削方法	岩区分	掘削断面積 (m ²)								摘要	40	45	50	55	60	65	70	75	上下半同時併進工法	C I	上半	0.048	0.052	0.057	0.061	0.065	0.067	0.072	0.076	必要な断面積を計上する。	下半			10	15	20	25	30	35				-	-	-	-	-	-		C II	上半	40	45	50	55	60	65	70	75		0.052	0.057	0.059	0.061	0.065	0.067	0.072	0.074				10	15	20	25	30	35					-	-	-	-	-	-		D I	上半	40	45	50	55	60	65	70	75		0.065	0.070	0.072	0.076	0.078	0.083	0.085	0.089				10	15	20	25	30	35					-	-	-	-	-	-		D II	上半	40	45	50	55	60	65	70	75		0.070	0.072	0.074	0.076	0.081	0.083	0.085	0.087				10	15	20	25	30	35					-	-	-	-	-	-		掘削区分	ロックボルトの長さ×周方向間隔×延長方向間隔	材 質	C I	3.0×1.5×1.5	異形棒鋼と同等以上 (耐力117.7kN(12 t)以上)	C II	3.0×1.5×1.2	ねじり棒鋼と同等以上 (耐力176.5kN(18 t)以上)	D I	4.0×1.2×1.0	〃	D II	4.0×1.2×1.0以下	〃	現 行 通 り
掘削方法	岩区分			掘削断面積 (m ²)									摘要																																																																																																																																																																											
		40	45	50	55	60	65	70	75																																																																																																																																																																															
上下半同時併進工法	C I	上半	0.048	0.052	0.057	0.061	0.065	0.067	0.072	0.076	必要な断面積を計上する。																																																																																																																																																																													
		下半			10	15	20	25	30	35																																																																																																																																																																														
				-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																															
	C II	上半	40	45	50	55	60	65	70	75																																																																																																																																																																														
			0.052	0.057	0.059	0.061	0.065	0.067	0.072	0.074																																																																																																																																																																														
				10	15	20	25	30	35																																																																																																																																																																															
				-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																															
	D I	上半	40	45	50	55	60	65	70	75																																																																																																																																																																														
			0.065	0.070	0.072	0.076	0.078	0.083	0.085	0.089																																																																																																																																																																														
				10	15	20	25	30	35																																																																																																																																																																															
				-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																															
	D II	上半	40	45	50	55	60	65	70	75																																																																																																																																																																														
		0.070	0.072	0.074	0.076	0.081	0.083	0.085	0.087																																																																																																																																																																															
			10	15	20	25	30	35																																																																																																																																																																																
			-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																
掘削区分	ロックボルトの長さ×周方向間隔×延長方向間隔	材 質																																																																																																																																																																																						
C I	3.0×1.5×1.5	異形棒鋼と同等以上 (耐力117.7kN(12 t)以上)																																																																																																																																																																																						
C II	3.0×1.5×1.2	ねじり棒鋼と同等以上 (耐力176.5kN(18 t)以上)																																																																																																																																																																																						
D I	4.0×1.2×1.0	〃																																																																																																																																																																																						
D II	4.0×1.2×1.0以下	〃																																																																																																																																																																																						

土木工事標準歩掛の一部改定
トンネル工 (NATM) [機械掘削工法]

工種名	現 行	改 定																																																																																																																																																																																																																																																																													
	<p>(2) ドリルジャンボの運転時間 ドリルジャンボ運転時間は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.22 ドリルジャンボ</p> <p>規格：トンネル工専用 排出ガス対策型 ホイール式 2ブーム、ドリフタ質量150kg級</p> <p style="text-align: right;">週/(トンネル延長)1m当り</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘削方法</th> <th rowspan="2">岩区分</th> <th colspan="8">掘削断面積 (㎡)</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>40</th> <th>45</th> <th>50</th> <th>55</th> <th>60</th> <th>65</th> <th>70</th> <th>75</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12">上下半同時併進工法</td> <td rowspan="2">C I</td> <td>上半</td> <td>0.028</td> <td>0.030</td> <td>0.033</td> <td>0.035</td> <td>0.037</td> <td>0.039</td> <td>0.041</td> <td>0.044</td> <td rowspan="12">必要な断面積を上下半各々に計上する</td> </tr> <tr> <td>下半</td> <td></td> <td></td> <td>10</td> <td>15</td> <td>20</td> <td>25</td> <td>30</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.026</td> <td>0.026</td> <td>0.030</td> <td>0.030</td> <td>0.033</td> <td>0.035</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">C II</td> <td>上半</td> <td>40</td> <td>45</td> <td>50</td> <td>55</td> <td>60</td> <td>65</td> <td>70</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.041</td> <td>0.044</td> <td>0.046</td> <td>0.048</td> <td>0.048</td> <td>0.054</td> <td>0.054</td> <td>0.057</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>10</td> <td>15</td> <td>20</td> <td>25</td> <td>30</td> <td>35</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.028</td> <td>0.028</td> <td>0.030</td> <td>0.033</td> <td>0.033</td> <td>0.035</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">D I</td> <td>上半</td> <td>40</td> <td>45</td> <td>50</td> <td>55</td> <td>60</td> <td>65</td> <td>70</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.078</td> <td>0.078</td> <td>0.081</td> <td>0.083</td> <td>0.087</td> <td>0.089</td> <td>0.094</td> <td>0.098</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>10</td> <td>15</td> <td>20</td> <td>25</td> <td>30</td> <td>35</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.037</td> <td>0.037</td> <td>0.039</td> <td>0.041</td> <td>0.044</td> <td>0.046</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">D II</td> <td>上半</td> <td>40</td> <td>45</td> <td>50</td> <td>55</td> <td>60</td> <td>65</td> <td>70</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.074</td> <td>0.081</td> <td>0.083</td> <td>0.085</td> <td>0.087</td> <td>0.089</td> <td>0.094</td> <td>0.098</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>10</td> <td>15</td> <td>20</td> <td>25</td> <td>30</td> <td>35</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.037</td> <td>0.039</td> <td>0.041</td> <td>0.046</td> <td>0.048</td> <td>0.050</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) ロックボルトの使用数量 ロックボルトは、ドライモルタルを含むものとし、その使用量は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.23 ロックボルト</p> <p>規格：耐力117.7KN以上(12t)付属品含む L = 3 m</p> <p style="text-align: right;">本/(トンネル延長) 1 m当り</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘削方法</th> <th rowspan="2">岩区分</th> <th colspan="8">設計掘削断面積 (㎡)</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>40</th> <th>45</th> <th>50</th> <th>55</th> <th>60</th> <th>65</th> <th>70</th> <th>75</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">上下半同時併進工法</td> <td rowspan="2">C I</td> <td>上半</td> <td>7.30</td> <td>7.30</td> <td>8.00</td> <td>8.70</td> <td>8.70</td> <td>9.33</td> <td>9.33</td> <td>10.00</td> <td rowspan="2">必要な断面積を上下半各々に計上する。</td> </tr> <tr> <td>下半</td> <td></td> <td></td> <td>10</td> <td>15</td> <td>20</td> <td>25</td> <td>30</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1.30</td> <td>1.30</td> <td>2.67</td> <td>2.67</td> <td>2.67</td> <td>4.00</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">表4.24 ロックボルト</p> <p>規格：耐力176.5KN以上(18t)付属品含む L = 3 m</p> <p style="text-align: right;">本/(トンネル延長) 1 m当り</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘削方法</th> <th rowspan="2">岩区分</th> <th colspan="8">設計掘削断面積 (㎡)</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>40</th> <th>45</th> <th>50</th> <th>55</th> <th>60</th> <th>65</th> <th>70</th> <th>75</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">上下半同時併進工法</td> <td rowspan="2">C II</td> <td>上半</td> <td>8.33</td> <td>8.33</td> <td>9.17</td> <td>10.00</td> <td>10.00</td> <td>11.67</td> <td>11.67</td> <td>11.67</td> <td rowspan="2">必要な断面積を上下半各々に計上する。</td> </tr> <tr> <td>下半</td> <td></td> <td></td> <td>10</td> <td>15</td> <td>20</td> <td>25</td> <td>30</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1.67</td> <td>1.67</td> <td>1.67</td> <td>3.33</td> <td>3.33</td> <td>3.33</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	掘削方法	岩区分	掘削断面積 (㎡)								摘要	40	45	50	55	60	65	70	75	上下半同時併進工法	C I	上半	0.028	0.030	0.033	0.035	0.037	0.039	0.041	0.044	必要な断面積を上下半各々に計上する	下半			10	15	20	25	30	35				0.026	0.026	0.030	0.030	0.033	0.035		C II	上半	40	45	50	55	60	65	70	75		0.041	0.044	0.046	0.048	0.048	0.054	0.054	0.057				10	15	20	25	30	35					0.028	0.028	0.030	0.033	0.033	0.035		D I	上半	40	45	50	55	60	65	70	75		0.078	0.078	0.081	0.083	0.087	0.089	0.094	0.098				10	15	20	25	30	35					0.037	0.037	0.039	0.041	0.044	0.046		D II	上半	40	45	50	55	60	65	70	75		0.074	0.081	0.083	0.085	0.087	0.089	0.094	0.098				10	15	20	25	30	35					0.037	0.039	0.041	0.046	0.048	0.050		掘削方法	岩区分	設計掘削断面積 (㎡)								摘要	40	45	50	55	60	65	70	75	上下半同時併進工法	C I	上半	7.30	7.30	8.00	8.70	8.70	9.33	9.33	10.00	必要な断面積を上下半各々に計上する。	下半			10	15	20	25	30	35					1.30	1.30	2.67	2.67	2.67	4.00		掘削方法	岩区分	設計掘削断面積 (㎡)								摘要	40	45	50	55	60	65	70	75	上下半同時併進工法	C II	上半	8.33	8.33	9.17	10.00	10.00	11.67	11.67	11.67	必要な断面積を上下半各々に計上する。	下半			10	15	20	25	30	35					1.67	1.67	1.67	3.33	3.33	3.33		現 行 通 り
掘削方法	岩区分			掘削断面積 (㎡)									摘要																																																																																																																																																																																																																																																																		
		40	45	50	55	60	65	70	75																																																																																																																																																																																																																																																																						
上下半同時併進工法	C I	上半	0.028	0.030	0.033	0.035	0.037	0.039	0.041	0.044	必要な断面積を上下半各々に計上する																																																																																																																																																																																																																																																																				
		下半			10	15	20	25	30	35																																																																																																																																																																																																																																																																					
				0.026	0.026	0.030	0.030	0.033	0.035																																																																																																																																																																																																																																																																						
	C II	上半	40	45	50	55	60	65	70	75																																																																																																																																																																																																																																																																					
			0.041	0.044	0.046	0.048	0.048	0.054	0.054	0.057																																																																																																																																																																																																																																																																					
				10	15	20	25	30	35																																																																																																																																																																																																																																																																						
				0.028	0.028	0.030	0.033	0.033	0.035																																																																																																																																																																																																																																																																						
	D I	上半	40	45	50	55	60	65	70	75																																																																																																																																																																																																																																																																					
			0.078	0.078	0.081	0.083	0.087	0.089	0.094	0.098																																																																																																																																																																																																																																																																					
				10	15	20	25	30	35																																																																																																																																																																																																																																																																						
				0.037	0.037	0.039	0.041	0.044	0.046																																																																																																																																																																																																																																																																						
	D II	上半	40	45	50	55	60	65	70	75																																																																																																																																																																																																																																																																					
		0.074	0.081	0.083	0.085	0.087	0.089	0.094	0.098																																																																																																																																																																																																																																																																						
			10	15	20	25	30	35																																																																																																																																																																																																																																																																							
			0.037	0.039	0.041	0.046	0.048	0.050																																																																																																																																																																																																																																																																							
掘削方法	岩区分	設計掘削断面積 (㎡)								摘要																																																																																																																																																																																																																																																																					
		40	45	50	55	60	65	70	75																																																																																																																																																																																																																																																																						
上下半同時併進工法	C I	上半	7.30	7.30	8.00	8.70	8.70	9.33	9.33	10.00	必要な断面積を上下半各々に計上する。																																																																																																																																																																																																																																																																				
		下半			10	15	20	25	30	35																																																																																																																																																																																																																																																																					
				1.30	1.30	2.67	2.67	2.67	4.00																																																																																																																																																																																																																																																																						
掘削方法	岩区分	設計掘削断面積 (㎡)								摘要																																																																																																																																																																																																																																																																					
		40	45	50	55	60	65	70	75																																																																																																																																																																																																																																																																						
上下半同時併進工法	C II	上半	8.33	8.33	9.17	10.00	10.00	11.67	11.67	11.67	必要な断面積を上下半各々に計上する。																																																																																																																																																																																																																																																																				
		下半			10	15	20	25	30	35																																																																																																																																																																																																																																																																					
				1.67	1.67	1.67	3.33	3.33	3.33																																																																																																																																																																																																																																																																						

土木工事標準歩掛の一部改定
トンネル工 (NATM) [機械掘削工法]

工種名	現 行	改 定																																																																																												
	<p style="text-align: center;">表4.25 ロックボルト</p> <p>規格：耐力176.5KN以上(18t)付属品含むL=4m 本/(トンネル延長)1m当り</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘削方法</th> <th rowspan="2">岩区分</th> <th colspan="8">設計掘削断面積 (㎡)</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>40</th> <th>45</th> <th>50</th> <th>55</th> <th>60</th> <th>65</th> <th>70</th> <th>75</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">上下半同時併進工法</td> <td rowspan="2">D I</td> <td>上半</td> <td>14.00</td> <td>14.00</td> <td>14.00</td> <td>15.00</td> <td>15.00</td> <td>16.00</td> <td>17.00</td> <td>19.00</td> <td rowspan="4">必要な断面積を上下半各々に計上する。</td> </tr> <tr> <td>下半</td> <td></td> <td></td> <td>10</td> <td>15</td> <td>20</td> <td>25</td> <td>30</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">D II</td> <td>上半</td> <td>40</td> <td>45</td> <td>50</td> <td>55</td> <td>60</td> <td>65</td> <td>70</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td>下半</td> <td>12.00</td> <td>14.00</td> <td>14.00</td> <td>15.00</td> <td>16.00</td> <td>16.00</td> <td>16.00</td> <td>16.00</td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) ロックボルト工のモルタル材料及び使用量 ロックボルト工のモルタル材料はドライモルタルを標準とし、使用量は次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.26 ロックボルト工のモルタル材料使用量 (100m当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>使 用 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>モルタル</td> <td>ドライモルタル</td> <td>m³</td> <td>0.22</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) ロスを含む。</p> <p>(5) 注入急結剤 注入急結剤（無収縮混和剤）の使用は、湧水がある場合、1本/孔を標準とする。 ただし、現場条件によっては、別途考慮することができる。</p> <p>4-2-3 鋼製支保工</p> <p>(1) 鋼製支保工の使用材料 鋼製支保工の使用材料は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.27 鋼製支保工の使用材料</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">掘削区分</th> <th>C II @1.2m</th> <th>D I @1.0m</th> <th>D II @1.0m</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H 形 鋼 (上 半)</td> <td>H-125×125×6.5×9 n=2</td> <td>H-125×125×6.5×9 n=2</td> <td>H-150×150×7×10 n=2</td> </tr> <tr> <td>継 手 板 (天 端)</td> <td>PL-155×180×9 n=2</td> <td>PL-155×180×9 n=2</td> <td>PL-180×180×9 n=2</td> </tr> <tr> <td>継 手 板</td> <td>-</td> <td>PL-155×180×9 n=4</td> <td>PL-180×180×9 n=4</td> </tr> <tr> <td>H 形 鋼 (下 半)</td> <td>-</td> <td>H-125×125×6.5×9 n=2</td> <td>H-150×150×7×10 n=2</td> </tr> <tr> <td>底 板</td> <td>PL-230×180×16 n=2</td> <td>PL-230×230×16 n=2</td> <td>PL-250×250×16 n=2</td> </tr> </tbody> </table>	掘削方法	岩区分	設計掘削断面積 (㎡)								摘要	40	45	50	55	60	65	70	75	上下半同時併進工法	D I	上半	14.00	14.00	14.00	15.00	15.00	16.00	17.00	19.00	必要な断面積を上下半各々に計上する。	下半			10	15	20	25	30	35	D II	上半	40	45	50	55	60	65	70	75	下半	12.00	14.00	14.00	15.00	16.00	16.00	16.00	16.00	名 称	規 格	単 位	使 用 量	モルタル	ドライモルタル	m ³	0.22	名 称	掘削区分	C II @1.2m	D I @1.0m	D II @1.0m	H 形 鋼 (上 半)	H-125×125×6.5×9 n=2	H-125×125×6.5×9 n=2	H-150×150×7×10 n=2	継 手 板 (天 端)	PL-155×180×9 n=2	PL-155×180×9 n=2	PL-180×180×9 n=2	継 手 板	-	PL-155×180×9 n=4	PL-180×180×9 n=4	H 形 鋼 (下 半)	-	H-125×125×6.5×9 n=2	H-150×150×7×10 n=2	底 板	PL-230×180×16 n=2	PL-230×230×16 n=2	PL-250×250×16 n=2	現 行 通 り
掘削方法	岩区分			設計掘削断面積 (㎡)									摘要																																																																																	
		40	45	50	55	60	65	70	75																																																																																					
上下半同時併進工法	D I	上半	14.00	14.00	14.00	15.00	15.00	16.00	17.00	19.00	必要な断面積を上下半各々に計上する。																																																																																			
		下半			10	15	20	25	30	35																																																																																				
	D II	上半	40	45	50	55	60	65	70	75																																																																																				
		下半	12.00	14.00	14.00	15.00	16.00	16.00	16.00	16.00																																																																																				
名 称	規 格	単 位	使 用 量																																																																																											
モルタル	ドライモルタル	m ³	0.22																																																																																											
名 称	掘削区分	C II @1.2m	D I @1.0m	D II @1.0m																																																																																										
		H 形 鋼 (上 半)	H-125×125×6.5×9 n=2	H-125×125×6.5×9 n=2	H-150×150×7×10 n=2																																																																																									
継 手 板 (天 端)	PL-155×180×9 n=2	PL-155×180×9 n=2	PL-180×180×9 n=2																																																																																											
継 手 板	-	PL-155×180×9 n=4	PL-180×180×9 n=4																																																																																											
H 形 鋼 (下 半)	-	H-125×125×6.5×9 n=2	H-150×150×7×10 n=2																																																																																											
底 板	PL-230×180×16 n=2	PL-230×230×16 n=2	PL-250×250×16 n=2																																																																																											

土木工事標準歩掛の一部改定
トンネル工 (NATM) [機械掘削工法]

工種名	現 行	改 定																																																																																																											
	<p>(2) 鋼製支保工の使用量は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.28 H形鋼支保工</p> <p>規格：SS400 H-125</p> <p style="text-align: right;">t/(トンネル延長)1m当り</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘削方法</th> <th colspan="2" rowspan="2">岩区分</th> <th colspan="8">設計掘削断面積 (㎡)</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>40</th><th>45</th><th>50</th><th>55</th><th>60</th><th>65</th><th>70</th><th>75</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">上下半同時併進工法</td> <td colspan="2">C II</td> <td>0.307</td><td>0.324</td><td>0.341</td><td>0.358</td><td>0.375</td><td>0.392</td><td>0.409</td><td>0.426</td> <td rowspan="4">必要な断面積を上下半各々に計上する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">D I</td> <td>上半</td> <td>0.365</td><td>0.386</td><td>0.406</td><td>0.427</td><td>0.447</td><td>0.468</td><td>0.488</td><td>0.509</td> </tr> <tr> <td>下半</td> <td></td><td></td><td>10</td><td>15</td><td>20</td><td>25</td><td>30</td><td>35</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td><td>0.046</td><td>0.061</td><td>0.077</td><td>0.092</td><td>0.108</td><td>0.123</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">表4.29 H形鋼支保工</p> <p>規格：SS400 H-150</p> <p style="text-align: right;">t/(トンネル延長)1m当り</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘削方法</th> <th colspan="2" rowspan="2">岩区分</th> <th colspan="8">設計掘削断面積 (㎡)</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>40</th><th>45</th><th>50</th><th>55</th><th>60</th><th>65</th><th>70</th><th>75</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">上下半同時併進工法</td> <td rowspan="2">D II</td> <td>上半</td> <td>0.481</td><td>0.509</td><td>0.537</td><td>0.565</td><td>0.593</td><td>0.621</td><td>0.649</td><td>0.677</td> <td rowspan="4">必要な断面積を上下半各々に計上する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">下半</td> <td></td><td></td><td>10</td><td>15</td><td>20</td><td>25</td><td>30</td><td>35</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.081</td><td>0.103</td><td>0.126</td><td>0.148</td><td>0.171</td><td>0.193</td> </tr> </tbody> </table> <p>4-3 補助工法 補助工法については、別途考慮。</p> <p>4-4 インバート工 4-4-1 適用範囲 (1) 適用範囲 NATM によって施工する本インバート工の掘削工、ずり出し工、鉄筋工 (加工・組立)、型枠工 (製作・設置・撤去)、コンクリート工 (打設・養生)、埋戻工 (敷均し・締固め) に適用する。 (2) 機械器具損料 機械器具損料の算定は、「請負工事機械経費積算要領」に基づき行い、坑内で内燃機関付機械 (ダンプトラック、ブルドーザ等) を使用する場合は、黒煙浄化装置付排出ガス対策型及び黒煙浄化装置付を標準とし、そのうちドリルジャンボ、バックホウ、ホイールローダを使用する場合は、トンネル工事用排出ガス対策型を標準とする。ただし、道路運送車両の保安基準に排出ガス基準が定められている自動車の種別で有効な自動車検査証の交付を受けているものは除く。 (3) 余掘及び余巻コンクリート インバート施工において設計厚に対する余掘・余巻コンクリート厚は5cmを標準とする。</p>	掘削方法	岩区分		設計掘削断面積 (㎡)								摘要	40	45	50	55	60	65	70	75	上下半同時併進工法	C II		0.307	0.324	0.341	0.358	0.375	0.392	0.409	0.426	必要な断面積を上下半各々に計上する。	D I	上半	0.365	0.386	0.406	0.427	0.447	0.468	0.488	0.509	下半			10	15	20	25	30	35			0.046	0.061	0.077	0.092	0.108	0.123	掘削方法	岩区分		設計掘削断面積 (㎡)								摘要	40	45	50	55	60	65	70	75	上下半同時併進工法	D II	上半	0.481	0.509	0.537	0.565	0.593	0.621	0.649	0.677	必要な断面積を上下半各々に計上する。	下半			10	15	20	25	30	35		0.081	0.103	0.126	0.148	0.171	0.193	<p>現 行 通 り</p> <p>4-4 インバート工 インバート工については「④-1 トンネル工 (NATM) [発破工法] 4.施工歩掛 4-4 インバート工」による。</p>
掘削方法	岩区分				設計掘削断面積 (㎡)									摘要																																																																																															
			40	45	50	55	60	65	70	75																																																																																																			
上下半同時併進工法	C II		0.307	0.324	0.341	0.358	0.375	0.392	0.409	0.426	必要な断面積を上下半各々に計上する。																																																																																																		
	D I	上半	0.365	0.386	0.406	0.427	0.447	0.468	0.488	0.509																																																																																																			
		下半			10	15	20	25	30	35																																																																																																			
			0.046	0.061	0.077	0.092	0.108	0.123																																																																																																					
掘削方法	岩区分		設計掘削断面積 (㎡)								摘要																																																																																																		
			40	45	50	55	60	65	70	75																																																																																																			
上下半同時併進工法	D II	上半	0.481	0.509	0.537	0.565	0.593	0.621	0.649	0.677	必要な断面積を上下半各々に計上する。																																																																																																		
		下半			10	15	20	25	30	35																																																																																																			
			0.081	0.103	0.126	0.148	0.171	0.193																																																																																																					

土木工事標準歩掛の一部改定
トンネル工 (NATM) [機械掘削工法]

工種名	現 行	改 定																																								
	<p>4-4-2 施工概要 インバート施工標準作業フロー</p> <p>4-4-3 インバート掘削工 (1) インバート掘削工の施工歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.30 インバート掘削工施工歩掛 (10m³当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>トンネル世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.16</td> </tr> <tr> <td>トンネル特殊工</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.39</td> </tr> <tr> <td>トンネル作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.20</td> </tr> <tr> <td>大型ブレーカ運転</td> <td>トンネル工専用油圧式600~800kg級</td> <td>日</td> <td>0.15</td> </tr> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>トンネル工専用排出ガス対策型・クローラ型 山積0.45m³(平積0.35m³)</td> <td>h</td> <td>1.30</td> </tr> <tr> <td>チゼル損耗費</td> <td>600~800kg級用</td> <td>本</td> <td>0.01</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 機械の運転労務は、上表労務人員で行う。 2. 上表には、破砕片除去、掘削面整形及びずり積込作業が含まれる。</p> <p>4-4-4 インバートずり出し工 (1) インバートずり出し運搬作業歩掛</p> <p>① ずり出し方式 直送方式の場合はすべて坑内作業とし、積替方式の場合は一次運搬(坑内~積替場所)は直送方式に準じ、二次運搬(積替場所~捨場等)は一般運搬工で積算する。なお、直送方式と積替方式の範囲は、片道2.5km程度(運搬距離)が標準である。</p> <p>② ずり出し工の施工歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.31 ずり出し工施工歩掛 (10m³当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>トンネル特殊工</td> <td></td> <td>人</td> <td>$\frac{10m^3}{Qt} \times \frac{1}{8}$</td> </tr> <tr> <td>ダンプトラック運転</td> <td>坑内用普通 ディーゼル10t積級</td> <td>h</td> <td>$\frac{10m^3}{Qt}$</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 機械の運転労務は、上表労務人員で行う。 2. ダンプトラック運転1時間当りずり運搬土量Qtは、次式による。 $Qt = \frac{60 \times qt \times Et}{Cmt} \text{ (m}^3/\text{h)}$ Qt : ダンプトラック運転1時間当り運搬土量(地山土量) (m³/h) qt : ダンプトラックの積載土量(地山土量) (m³) qtは、次表を標準とする。ただし、地山の大部分が土砂の場合は、別途考慮する。</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	トンネル世話役		人	0.16	トンネル特殊工		人	0.39	トンネル作業員		人	0.20	大型ブレーカ運転	トンネル工専用油圧式600~800kg級	日	0.15	バックホウ運転	トンネル工専用排出ガス対策型・クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	h	1.30	チゼル損耗費	600~800kg級用	本	0.01	名 称	規 格	単 位	数 量	トンネル特殊工		人	$\frac{10m^3}{Qt} \times \frac{1}{8}$	ダンプトラック運転	坑内用普通 ディーゼル10t積級	h	$\frac{10m^3}{Qt}$	<p style="color: red; font-size: 2em;">削除</p>
名 称	規 格	単 位	数 量																																							
トンネル世話役		人	0.16																																							
トンネル特殊工		人	0.39																																							
トンネル作業員		人	0.20																																							
大型ブレーカ運転	トンネル工専用油圧式600~800kg級	日	0.15																																							
バックホウ運転	トンネル工専用排出ガス対策型・クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	h	1.30																																							
チゼル損耗費	600~800kg級用	本	0.01																																							
名 称	規 格	単 位	数 量																																							
トンネル特殊工		人	$\frac{10m^3}{Qt} \times \frac{1}{8}$																																							
ダンプトラック運転	坑内用普通 ディーゼル10t積級	h	$\frac{10m^3}{Qt}$																																							

土木工事標準歩掛の一部改定
トンネル工 (NATM) [機械掘削工法]

工種名	現 行	改 定																																																		
	<p style="text-align: center;">表4.32 積載土量 (qt) (m³)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">掘削区分</td> <td style="text-align: center;">D</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">積載土量</td> <td style="text-align: center;">4.5</td> </tr> </table> <p>Et : 作業係数(標準Et=0.9) Cmt : ダンプトラックのサイクルタイム(min) Cmt=Cm1+Cm2 $Cm1 = \frac{60 \times qt}{Qs}$ $Cm2 = 60 \times \left(\frac{L}{V} + \frac{L'}{V'} + \frac{t}{60} \right)$ <p>Qs : バックホウ運転1時間当りの作業能力=20m³/h L : 坑内加重平均運搬距離(往復)……(km) L' : 坑外運搬距離(往復)……(m) V : 平均坑内運搬速度(表4.33による) V' : 平均坑外運搬速度(標準V' =12km/hなお、片道運搬距離が1,000m以上の場合は、別途考慮する) t : ずり捨時間及び坑内待時間(標準 t =3min)</p> <p>平均坑内運搬速度は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.33 平均坑内運搬速度 (km/h)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">坑内片道運搬距離(m)</td> <td style="text-align: center;">L < 600</td> <td style="text-align: center;">L ≥ 600</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">平均坑内運搬速度</td> <td style="text-align: center;">8</td> <td style="text-align: center;">10</td> </tr> </table> <p>4-4-5 インバート鉄筋工(加工・組立) 鉄筋の加工・組立については、別途計上する。</p> <p>4-4-6 インバート型枠工(製作・設置・撤去) (1) 型枠製作歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.34 型枠製作歩掛 (100m²当り)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">名 称</th> <th style="text-align: center;">規 格</th> <th style="text-align: center;">単 位</th> <th style="text-align: center;">数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">世 話 役</td> <td></td> <td style="text-align: center;">人</td> <td style="text-align: center;">1.3</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">型 枠 工</td> <td></td> <td style="text-align: center;">"</td> <td style="text-align: center;">4.9</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">普 通 作 業 員</td> <td></td> <td style="text-align: center;">"</td> <td style="text-align: center;">2.8</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">諸 雑 費 率</td> <td></td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">16</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 諸雑費は、型枠合板、さん木、洋釘等の材料及び電気ドリル、電気鋸、発動発電機損料等の費用であり、上表の労務費の合計額に諸雑費率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>(2) 型枠設置及び撤去歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.35 型枠設置・撤去歩掛 (100m²当り)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">名 称</th> <th style="text-align: center;">規 格</th> <th style="text-align: center;">単 位</th> <th style="text-align: center;">数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">ト ン ネル 世 話 役</td> <td></td> <td style="text-align: center;">人</td> <td style="text-align: center;">4.5</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">ト ン ネル 特 殊 工</td> <td></td> <td style="text-align: center;">"</td> <td style="text-align: center;">15.3</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">ト ン ネル 作 業 員</td> <td></td> <td style="text-align: center;">"</td> <td style="text-align: center;">6.8</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">諸 雑 費 率</td> <td></td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">13</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 型枠設置・撤去歩掛には、はく彫剤塗布、ケレン作業を含む。 2. 諸雑費は、合板、組立支持材、はく彫剤等の費用であり、上表の労務費の合計額に諸雑費率を乗じた金額を上限として計上する。</p> </p>	掘削区分	D	積載土量	4.5	坑内片道運搬距離(m)	L < 600	L ≥ 600	平均坑内運搬速度	8	10	名 称	規 格	単 位	数 量	世 話 役		人	1.3	型 枠 工		"	4.9	普 通 作 業 員		"	2.8	諸 雑 費 率		%	16	名 称	規 格	単 位	数 量	ト ン ネル 世 話 役		人	4.5	ト ン ネル 特 殊 工		"	15.3	ト ン ネル 作 業 員		"	6.8	諸 雑 費 率		%	13	}
掘削区分	D																																																			
積載土量	4.5																																																			
坑内片道運搬距離(m)	L < 600	L ≥ 600																																																		
平均坑内運搬速度	8	10																																																		
名 称	規 格	単 位	数 量																																																	
世 話 役		人	1.3																																																	
型 枠 工		"	4.9																																																	
普 通 作 業 員		"	2.8																																																	
諸 雑 費 率		%	16																																																	
名 称	規 格	単 位	数 量																																																	
ト ン ネル 世 話 役		人	4.5																																																	
ト ン ネル 特 殊 工		"	15.3																																																	
ト ン ネル 作 業 員		"	6.8																																																	
諸 雑 費 率		%	13																																																	
		削 除																																																		

土木工事標準歩掛の一部改定
トンネル工 (NATM) [機械掘削工法]

工種名	現 行	改 定																																																								
	<p>4-4-7 インバートコンクリート工 (打設・養生) (1) インバートコンクリート工 (打設・養生) 歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.36 インバートコンクリート工 (打設・養生) 歩掛 (10m³当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>打設・養生</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>トンネル世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.12</td> </tr> <tr> <td>トンネル特殊工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.53</td> </tr> <tr> <td>トンネル作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.22</td> </tr> <tr> <td>コンクリートポンプ車運転</td> <td>黒煙浄化装置付 ブーム式圧送能力90~110m³/h</td> <td>h</td> <td>0.70</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 打設歩掛には、打設に先立ち掘削面の清掃、排水、ポンプ車の移動、据付打設後の打設用パイプ清掃等の労務も含む。 2. 養生歩掛は、散水養生程度とする。 3. 機械運転労務は、上表労務人員で行う。 4. コンクリートの使用量は「第5章①コンクリート工 3.材料の使用量」による。 5. 諸雑費は、コンクリート締固め機、養生用散水ポンプ損料、養生用シート等の費用であり、上表の労務費の合計額に諸雑費率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>4-4-8 インバート埋戻工 (敷均し・締固め) (1) インバート敷均し・締固め工歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.37 インバート敷均し・締固め工歩掛 (10m³当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>トンネル世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.05</td> </tr> <tr> <td>トンネル特殊工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.14</td> </tr> <tr> <td>トンネル作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.08</td> </tr> <tr> <td>ブルドーザ運転</td> <td>排出ガス対策型、黒煙浄化装置付 普通15t級 (13~16t)</td> <td>h</td> <td>0.51</td> </tr> <tr> <td>タイヤローラ運転</td> <td>排出ガス対策型 黒煙浄化装置付 8~20t</td> <td>日</td> <td>0.06</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、ブルドーザによる敷均し、タイヤローラによる転圧作業である。 2. 機械の運転労務は、上表労務人員で行う。 3. タイヤローラは、賃料とする。</p> <p>(2) 埋戻し材の積込作業時間は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.38 埋戻し材の積込作業時間 (10m³当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>排 出 ガ ス 対 策 型 ・ クローラ型 山積0.45m³(平積0.35m³)</td> <td>h</td> <td>0.50</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 上表は、埋戻し材に掘削ざりを利用する場合の積込作業の時間である。</p> <p>(3) 埋戻し材運搬ダンプトラックの作業能力 埋戻し材に掘削ざりを使用する場合のダンプトラックの作業能力は、「インバートざり出し工4-4-4-(1)ざり出し運搬作業歩掛」による。</p>	名 称	規 格	単 位	打設・養生	トンネル世話役		人	0.12	トンネル特殊工		〃	0.53	トンネル作業員		〃	0.22	コンクリートポンプ車運転	黒煙浄化装置付 ブーム式圧送能力90~110m ³ /h	h	0.70	諸 雑 費 率		%	1	名 称	規 格	単 位	数 量	トンネル世話役		人	0.05	トンネル特殊工		〃	0.14	トンネル作業員		〃	0.08	ブルドーザ運転	排出ガス対策型、黒煙浄化装置付 普通15t級 (13~16t)	h	0.51	タイヤローラ運転	排出ガス対策型 黒煙浄化装置付 8~20t	日	0.06	名 称	規 格	単 位	数 量	バックホウ運転	排 出 ガ ス 対 策 型 ・ クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	h	0.50	<p style="font-size: 2em;">}</p> <p style="color: red; font-weight: bold;">削 除</p>
名 称	規 格	単 位	打設・養生																																																							
トンネル世話役		人	0.12																																																							
トンネル特殊工		〃	0.53																																																							
トンネル作業員		〃	0.22																																																							
コンクリートポンプ車運転	黒煙浄化装置付 ブーム式圧送能力90~110m ³ /h	h	0.70																																																							
諸 雑 費 率		%	1																																																							
名 称	規 格	単 位	数 量																																																							
トンネル世話役		人	0.05																																																							
トンネル特殊工		〃	0.14																																																							
トンネル作業員		〃	0.08																																																							
ブルドーザ運転	排出ガス対策型、黒煙浄化装置付 普通15t級 (13~16t)	h	0.51																																																							
タイヤローラ運転	排出ガス対策型 黒煙浄化装置付 8~20t	日	0.06																																																							
名 称	規 格	単 位	数 量																																																							
バックホウ運転	排 出 ガ ス 対 策 型 ・ クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	h	0.50																																																							

土木工事標準歩掛の一部改定
トンネル工 (NATM) [機械掘削工法]

工種名	現 行	改 定																																																																																																																																																																																				
	<p>4-5 覆 工 工</p> <p>(1) 防水工施工歩掛 防水工の施工歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.39 防水工施工歩掛 (10m²当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>職 種</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ト ン ネル 世 話 役</td> <td>人</td> <td>0.06</td> </tr> <tr> <td>ト ン ネル 特 殊 工</td> <td>〃</td> <td>0.17</td> </tr> <tr> <td>ト ン ネル 作 業 員</td> <td>〃</td> <td>0.12</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 上表は、裏面排水設置労務を含む。ただし、裏面排水材料は別途計上する。</p> <p>(2) 覆工、防水工機械の機種を選定および機械歩掛 覆工、防水機械の機種・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.40 機種を選定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>機 種</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>防 水 工 作 業 台 車</td> <td>長4.5m</td> <td>台</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>ス ラ イ ド セ ン ト ル</td> <td>L=10.5m</td> <td>基</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>コ ン ク リ ー ト ポ ン プ 車</td> <td>黒煙浄化装置付 配管式圧送能力90~100m³/h</td> <td>台</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. スライドセメントルは、線形及び現場条件等により標準外になる場合は、別途考慮するものとする。 2. コンクリートポンプ車の作業能力は、17m³/hとする。</p> <p style="text-align: center;">表4.41 コンクリートポンプ車</p> <p>規格：黒煙浄化装置付 配管式圧送能力90~100m³/h</p> <p style="text-align: right;">週/(トンネル延長)10m当り</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘削方法</th> <th rowspan="2">岩区分</th> <th colspan="10">掘削断面積 (m²)</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>50</th><th>55</th><th>60</th><th>65</th><th>70</th><th>75</th><th>80</th><th>85</th><th>90</th><th>95</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">上下半同時併進工法</td> <td>C I</td> <td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td> </tr> <tr> <td>C II</td> <td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td> </tr> <tr> <td>D I</td> <td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td> </tr> <tr> <td>D II</td> <td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td><td>0.065</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">表4.42 スライドセメントル</p> <p>規格：L=10.5m</p> <p style="text-align: right;">m/(トンネル延長)1m当り</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">掘削方法</th> <th rowspan="2">岩区分</th> <th colspan="10">掘削断面積 (m²)</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>50</th><th>55</th><th>60</th><th>65</th><th>70</th><th>75</th><th>80</th><th>85</th><th>90</th><th>95</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">上下半同時併進工法</td> <td>C I</td> <td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td> </tr> <tr> <td>C II</td> <td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td> </tr> <tr> <td>D I</td> <td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td> </tr> <tr> <td>D II</td> <td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td> </tr> </tbody> </table>	職 種	単 位	数 量	ト ン ネル 世 話 役	人	0.06	ト ン ネル 特 殊 工	〃	0.17	ト ン ネル 作 業 員	〃	0.12	機 種	規 格	単 位	数 量	防 水 工 作 業 台 車	長4.5m	台	1	ス ラ イ ド セ ン ト ル	L=10.5m	基	1	コ ン ク リ ー ト ポ ン プ 車	黒煙浄化装置付 配管式圧送能力90~100m ³ /h	台	1	掘削方法	岩区分	掘削断面積 (m ²)										摘要	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	上下半同時併進工法	C I	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	C II	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	D I	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	D II	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	掘削方法	岩区分	掘削断面積 (m ²)										摘要	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	上下半同時併進工法	C I	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	C II	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	D I	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	D II	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	<p style="text-align: center;">現 行 通 り</p> <p style="text-align: right;">表4.30 防水工施工歩掛</p> <p style="text-align: right;">表4.31 機種を選定</p> <p style="text-align: right;">表4.32 コンクリートポンプ車</p> <p style="text-align: right;">表4.33 スライドセメントル</p>
職 種	単 位	数 量																																																																																																																																																																																				
ト ン ネル 世 話 役	人	0.06																																																																																																																																																																																				
ト ン ネル 特 殊 工	〃	0.17																																																																																																																																																																																				
ト ン ネル 作 業 員	〃	0.12																																																																																																																																																																																				
機 種	規 格	単 位	数 量																																																																																																																																																																																			
防 水 工 作 業 台 車	長4.5m	台	1																																																																																																																																																																																			
ス ラ イ ド セ ン ト ル	L=10.5m	基	1																																																																																																																																																																																			
コ ン ク リ ー ト ポ ン プ 車	黒煙浄化装置付 配管式圧送能力90~100m ³ /h	台	1																																																																																																																																																																																			
掘削方法	岩区分	掘削断面積 (m ²)										摘要																																																																																																																																																																										
		50	55	60	65	70	75	80	85	90	95																																																																																																																																																																											
上下半同時併進工法	C I	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065																																																																																																																																																																									
	C II	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065																																																																																																																																																																									
	D I	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065																																																																																																																																																																									
	D II	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065	0.065																																																																																																																																																																									
掘削方法	岩区分	掘削断面積 (m ²)										摘要																																																																																																																																																																										
		50	55	60	65	70	75	80	85	90	95																																																																																																																																																																											
上下半同時併進工法	C I	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0																																																																																																																																																																									
	C II	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0																																																																																																																																																																									
	D I	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0																																																																																																																																																																									
	D II	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0																																																																																																																																																																									

土木工事標準歩掛の一部改定
トンネル工（NATM） [機械掘削工法]

工種名	現 行	改 定																																				
	<p>4-6-5 工事用換気設備 (1) 換気装置の坑内配置で、切羽の掘進に伴い、送風機を増設する場合の送風機間隔は100m以上を標準とする。 (2) 切羽からの控え長さは、40mを標準とする。</p> <p>4-6-6 送気管 (1) 送気管（トンネル用）材料は、つる巻鋼管φ150mmを標準とする。 (2) 坑外送気管敷設・撤去 坑外送気管敷設・撤去歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.56 坑外送気管敷設・撤去歩掛 (m)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>職 種</th> <th>単 位</th> <th>敷 設</th> <th>撤 去</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配 管 工 人</td> <td></td> <td style="text-align: center;">0.05</td> <td style="text-align: center;">0.03</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 坑内の敷設・撤去労務は、掘削労務に含む。</p> <p>4-6-7 仮設備保守 (1) 仮設備保守編成人員 仮設備保守の要員として、次表の編成人員を計上する。</p> <p style="text-align: center;">表4.57 仮設備保守編成人員</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>職 種</th> <th>単 位</th> <th>編 成 人 員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>人</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td>機 械 工</td> <td>〃</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td>電 工</td> <td>〃</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 仮設備保守編成人員は、次の坑外設備の保守管理を行うものとする。 ①電力設備 ②吹付プラント設備 ③換気設備 ④空気圧縮機設備 ⑤給排水設備等(濁水処理設備は除く)</p> <p>(2) 仮設備保守歩掛 仮設備保守歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.58 仮設備保守歩掛 (1月当り)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>職 種</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>人</td> <td style="text-align: center;">$n \times 41.8$</td> <td style="text-align: center;">$n = \text{編成人員}$</td> </tr> <tr> <td>機 械 工</td> <td>〃</td> <td style="text-align: center;">〃</td> <td></td> </tr> <tr> <td>電 工</td> <td>〃</td> <td style="text-align: center;">〃</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 坑内作業において、支保工作後は、上表の数量を「$n \times 41.8 \times 1/2$」とする。</p>	職 種	単 位	敷 設	撤 去	配 管 工 人		0.05	0.03	職 種	単 位	編 成 人 員	普 通 作 業 員	人	1	機 械 工	〃	1	電 工	〃	1	職 種	単 位	数 量	摘 要	普 通 作 業 員	人	$n \times 41.8$	$n = \text{編成人員}$	機 械 工	〃	〃		電 工	〃	〃		<p style="text-align: center;">現 行 通 り</p> <p style="text-align: right;">表4.47 坑外送気管敷設・撤去歩掛</p> <p style="text-align: right;">表4.48 仮設備保守編成人員</p> <p style="text-align: right;">表4.49 仮設備保守歩掛</p>
職 種	単 位	敷 設	撤 去																																			
配 管 工 人		0.05	0.03																																			
職 種	単 位	編 成 人 員																																				
普 通 作 業 員	人	1																																				
機 械 工	〃	1																																				
電 工	〃	1																																				
職 種	単 位	数 量	摘 要																																			
普 通 作 業 員	人	$n \times 41.8$	$n = \text{編成人員}$																																			
機 械 工	〃	〃																																				
電 工	〃	〃																																				

土木工事標準歩掛の一部改定
トンネル工（NATM） [機械掘削工法]

工種名	現 行	改 定																																																																																										
	<p>5. 単 価 表</p> <p>① ショートベンチ方式上半掘削1m（トンネル延長）当り単価表 （1）掘削等<掘削，吹付，ロックボルト，金網，鋼製支保工></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>トンネル世話役</td><td></td><td>人</td><td></td><td>表4.1</td></tr> <tr><td>トンネル特殊工</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>表4.1</td></tr> <tr><td>トンネル作業員</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>表4.1</td></tr> <tr><td>自由断面トンネル掘削機運</td><td></td><td>週</td><td></td><td>表4.3 機械運転単価表×5</td></tr> <tr><td>ドリルジャンボ運転</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>表4.22 機械運転単価表×5</td></tr> <tr><td>コンクリート吹付機運</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>表4.18 機械運転単価表×5</td></tr> <tr><td>ホイールローダ運転</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>表4.8 機械運転単価表×5</td></tr> <tr><td>吹付プラント設備運転</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>表4.19 機械運転単価表×5</td></tr> <tr><td>諸雑費（その他機械）</td><td></td><td>式</td><td></td><td>表4.6</td></tr> <tr><td>カッタービット</td><td></td><td>個</td><td></td><td>表4.5</td></tr> <tr><td>H形鋼支保工</td><td></td><td>t</td><td></td><td>表4.28～29</td></tr> <tr><td>ロックボルト</td><td></td><td>本</td><td></td><td>※ 表4.23～25</td></tr> <tr><td>吹付コンクリート</td><td></td><td>m³</td><td></td><td>表4.16</td></tr> <tr><td>諸雑費（その他材料）</td><td></td><td>式</td><td></td><td>表4.7</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>※ロックボルトの本数については表4.23～25による。 但し、別表値と一致しないものについては、1m当りの増減本数を計上する。</p> <p>（2） ざり出し工（ダンプトラック運転）1m（トンネル延長）当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ダンプトラック運転</td> <td>坑内用普通ディーゼル10t積級</td> <td>週</td> <td></td> <td>表4.11～13 機械運転単価表×5</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	トンネル世話役		人		表4.1	トンネル特殊工		〃		表4.1	トンネル作業員		〃		表4.1	自由断面トンネル掘削機運		週		表4.3 機械運転単価表×5	ドリルジャンボ運転		〃		表4.22 機械運転単価表×5	コンクリート吹付機運		〃		表4.18 機械運転単価表×5	ホイールローダ運転		〃		表4.8 機械運転単価表×5	吹付プラント設備運転		〃		表4.19 機械運転単価表×5	諸雑費（その他機械）		式		表4.6	カッタービット		個		表4.5	H形鋼支保工		t		表4.28～29	ロックボルト		本		※ 表4.23～25	吹付コンクリート		m ³		表4.16	諸雑費（その他材料）		式		表4.7	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	ダンプトラック運転	坑内用普通ディーゼル10t積級	週		表4.11～13 機械運転単価表×5	<p>現 行 通 り</p>
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																								
トンネル世話役		人		表4.1																																																																																								
トンネル特殊工		〃		表4.1																																																																																								
トンネル作業員		〃		表4.1																																																																																								
自由断面トンネル掘削機運		週		表4.3 機械運転単価表×5																																																																																								
ドリルジャンボ運転		〃		表4.22 機械運転単価表×5																																																																																								
コンクリート吹付機運		〃		表4.18 機械運転単価表×5																																																																																								
ホイールローダ運転		〃		表4.8 機械運転単価表×5																																																																																								
吹付プラント設備運転		〃		表4.19 機械運転単価表×5																																																																																								
諸雑費（その他機械）		式		表4.6																																																																																								
カッタービット		個		表4.5																																																																																								
H形鋼支保工		t		表4.28～29																																																																																								
ロックボルト		本		※ 表4.23～25																																																																																								
吹付コンクリート		m ³		表4.16																																																																																								
諸雑費（その他材料）		式		表4.7																																																																																								
計																																																																																												
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																								
ダンプトラック運転	坑内用普通ディーゼル10t積級	週		表4.11～13 機械運転単価表×5																																																																																								

土木工事標準歩掛の一部改定
トンネル工 (NATM) [機械掘削工法]

工種名	現 行	改 定																																																																																					
	<p>② ショートベンチ方式下半掘削1m (トンネル延長) 当り単価表 (3) 掘削等<掘削, 吹付, ロックボルト, 金網, 鋼製支保工></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>トンネル世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>トンネル特殊工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>トンネル作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td></td> <td>週</td> <td></td> <td>表4.9 機械運転単価表×5</td> </tr> <tr> <td>ドリルジャンボ運転</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>表4.22 機械運転単価表×5</td> </tr> <tr> <td>コンクリート吹付機 運 転</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>表4.18 機械運転単価表×5</td> </tr> <tr> <td>吹付プラント設備運転</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>表4.19 機械運転単価表×5</td> </tr> <tr> <td>大型ブレイカ運転</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>表4.4 機械運転単価表×5</td> </tr> <tr> <td>諸雑費(その他機械)</td> <td></td> <td>式</td> <td></td> <td>表4.6</td> </tr> <tr> <td>H形鋼支保工</td> <td></td> <td>t</td> <td></td> <td>表4.28~29</td> </tr> <tr> <td>ロックボルト</td> <td></td> <td>本</td> <td></td> <td>※ 表4.23~25</td> </tr> <tr> <td>吹付コンクリート</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td>表4.16</td> </tr> <tr> <td>諸雑費(その他材料)</td> <td></td> <td>式</td> <td></td> <td>表4.7</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ロックボルトの本数については表4.23~25による。 但し、別表値と一致しないものについては、1m当りの増減本数を計上する。</p> <p style="text-align: center;">71</p> <p>(4) ずり出し工 (ダンプトラック運転) 1m (トンネル延長) 当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ダンプトラック運転</td> <td>坑内用普通ディーゼル10t積級</td> <td>週</td> <td></td> <td>表4.14~15 機械運転単価表×5</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	トンネル世話役		人		表4.1	トンネル特殊工		〃		表4.1	トンネル作業員		〃		表4.1	バックホウ運転		週		表4.9 機械運転単価表×5	ドリルジャンボ運転		〃		表4.22 機械運転単価表×5	コンクリート吹付機 運 転		〃		表4.18 機械運転単価表×5	吹付プラント設備運転		〃		表4.19 機械運転単価表×5	大型ブレイカ運転		〃		表4.4 機械運転単価表×5	諸雑費(その他機械)		式		表4.6	H形鋼支保工		t		表4.28~29	ロックボルト		本		※ 表4.23~25	吹付コンクリート		m ³		表4.16	諸雑費(その他材料)		式		表4.7	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	ダンプトラック運転	坑内用普通ディーゼル10t積級	週		表4.14~15 機械運転単価表×5	現 行 通 り
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																			
トンネル世話役		人		表4.1																																																																																			
トンネル特殊工		〃		表4.1																																																																																			
トンネル作業員		〃		表4.1																																																																																			
バックホウ運転		週		表4.9 機械運転単価表×5																																																																																			
ドリルジャンボ運転		〃		表4.22 機械運転単価表×5																																																																																			
コンクリート吹付機 運 転		〃		表4.18 機械運転単価表×5																																																																																			
吹付プラント設備運転		〃		表4.19 機械運転単価表×5																																																																																			
大型ブレイカ運転		〃		表4.4 機械運転単価表×5																																																																																			
諸雑費(その他機械)		式		表4.6																																																																																			
H形鋼支保工		t		表4.28~29																																																																																			
ロックボルト		本		※ 表4.23~25																																																																																			
吹付コンクリート		m ³		表4.16																																																																																			
諸雑費(その他材料)		式		表4.7																																																																																			
計																																																																																							
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																			
ダンプトラック運転	坑内用普通ディーゼル10t積級	週		表4.14~15 機械運転単価表×5																																																																																			

土木工事標準歩掛の一部改定
トンネル工（NATM） [機械掘削工法]

工種名	現 行	改 定																																																																						
	<p>(5) 大型ブレーカ運転1日当り単価表（下半掘削用）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>燃 料 費</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>大型ブレーカ損料</td> <td>トンネル工事用油圧式 1,300kg級</td> <td>日</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸雑費（まるめ）</td> <td></td> <td>式</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(6) H形鋼支保工1m（トンネル延長）単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H形鋼支保工 曲げ本体</td> <td>SS400 H-〇〇〇</td> <td>t</td> <td></td> <td>※ 表4.28～29</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">※H形鋼支保工の数量、単価は本体のみとする。</p> <p>(7) 吹付コンクリート1m（トンネル延長）単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>吹付コンクリート</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td>※ 表4.16</td> </tr> </tbody> </table> <p>(8) ロックボルト1m（トンネル延長）単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ロックボルト （ドライモルタル含む）</td> <td>耐力〇〇KN以上 付属品含む L=〇m</td> <td>組</td> <td></td> <td>※ 表4.23～25</td> </tr> <tr> <td>注 入 急 結 剤</td> <td>無収縮混和剤</td> <td>〃</td> <td></td> <td>必要に応じて計上</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center; font-size: small;">72</p> <p>(9) カッタービット1m（トンネル延長）単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>カッタービット</td> <td></td> <td>個</td> <td></td> <td>※ 表4.5</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	燃 料 費		1			大型ブレーカ損料	トンネル工事用油圧式 1,300kg級	日	1		諸雑費（まるめ）		式			計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	H形鋼支保工 曲げ本体	SS400 H-〇〇〇	t		※ 表4.28～29	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	吹付コンクリート		m ³		※ 表4.16	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	ロックボルト （ドライモルタル含む）	耐力〇〇KN以上 付属品含む L=〇m	組		※ 表4.23～25	注 入 急 結 剤	無収縮混和剤	〃		必要に応じて計上	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	カッタービット		個		※ 表4.5	} 現 行 通 り
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																				
燃 料 費		1																																																																						
大型ブレーカ損料	トンネル工事用油圧式 1,300kg級	日	1																																																																					
諸雑費（まるめ）		式																																																																						
計																																																																								
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																				
H形鋼支保工 曲げ本体	SS400 H-〇〇〇	t		※ 表4.28～29																																																																				
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																				
吹付コンクリート		m ³		※ 表4.16																																																																				
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																				
ロックボルト （ドライモルタル含む）	耐力〇〇KN以上 付属品含む L=〇m	組		※ 表4.23～25																																																																				
注 入 急 結 剤	無収縮混和剤	〃		必要に応じて計上																																																																				
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																				
カッタービット		個		※ 表4.5																																																																				

土木工事標準歩掛の一部改定
トンネル工 (NATM) [機械掘削工法]

工種名	現 行	改 定																																																																																																																									
	<p>③ 覆工等 1m (トンネル延長) 当り単価表 (10) 覆工コンクリート等 1m 当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>トンネル世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.119</td> <td>表4.49</td> </tr> <tr> <td>トンネル特殊工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.714</td> <td>表4.49</td> </tr> <tr> <td>トンネル作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.238</td> <td>表4.49</td> </tr> <tr> <td>コンクリートポンプ車運</td> <td>黒煙浄化装置付配管式圧送能力90-100m³/h</td> <td>週</td> <td></td> <td>表4.41 B/10 機械運転単価表×5</td> </tr> <tr> <td>諸雑費(その他機械)</td> <td></td> <td>式</td> <td></td> <td>表4.46</td> </tr> <tr> <td>生コンクリート</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td>表4.45</td> </tr> <tr> <td>防水シート</td> <td></td> <td>m²</td> <td></td> <td>表4.44 1.16×A</td> </tr> <tr> <td>諸雑費(その他材料)</td> <td></td> <td>式</td> <td></td> <td>表4.47</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>A : 1m 当り防水シート面積 B : コンクリートポンプ車10m 当り運転週数</p> <p>(11) 型枠工 (労務と機械) (覆工コンクリート) スライドセントル据付・移動・脱型 1m (トンネル延長) 当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>トンネル世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.119</td> <td>表4.48</td> </tr> <tr> <td>トンネル特殊工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.714</td> <td>表4.48</td> </tr> <tr> <td>トンネル作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.238</td> <td>表4.48</td> </tr> <tr> <td>スライドセントル損料</td> <td></td> <td>m</td> <td>1</td> <td>表4.42</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(12) 防水工 (労務と機械) 1m (トンネル延長) 当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>トンネル世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.39 0.06×A/10</td> </tr> <tr> <td>トンネル特殊工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>表4.39 0.17×A/10</td> </tr> <tr> <td>トンネル作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>表4.39 0.12×A/10</td> </tr> <tr> <td>防水工作業台車</td> <td>長さ4.5m</td> <td>m</td> <td>1</td> <td>表4.43</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>A : 1m 当り防水シート面積</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	トンネル世話役		人	0.119	表4.49	トンネル特殊工		〃	0.714	表4.49	トンネル作業員		〃	0.238	表4.49	コンクリートポンプ車運	黒煙浄化装置付配管式圧送能力90-100m ³ /h	週		表4.41 B/10 機械運転単価表×5	諸雑費(その他機械)		式		表4.46	生コンクリート		m ³		表4.45	防水シート		m ²		表4.44 1.16×A	諸雑費(その他材料)		式		表4.47	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	トンネル世話役		人	0.119	表4.48	トンネル特殊工		〃	0.714	表4.48	トンネル作業員		〃	0.238	表4.48	スライドセントル損料		m	1	表4.42	諸 雑 費		式			計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	トンネル世話役		人		表4.39 0.06×A/10	トンネル特殊工		〃		表4.39 0.17×A/10	トンネル作業員		〃		表4.39 0.12×A/10	防水工作業台車	長さ4.5m	m	1	表4.43	諸 雑 費		式			計					}	現 行 通 り
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																							
トンネル世話役		人	0.119	表4.49																																																																																																																							
トンネル特殊工		〃	0.714	表4.49																																																																																																																							
トンネル作業員		〃	0.238	表4.49																																																																																																																							
コンクリートポンプ車運	黒煙浄化装置付配管式圧送能力90-100m ³ /h	週		表4.41 B/10 機械運転単価表×5																																																																																																																							
諸雑費(その他機械)		式		表4.46																																																																																																																							
生コンクリート		m ³		表4.45																																																																																																																							
防水シート		m ²		表4.44 1.16×A																																																																																																																							
諸雑費(その他材料)		式		表4.47																																																																																																																							
計																																																																																																																											
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																							
トンネル世話役		人	0.119	表4.48																																																																																																																							
トンネル特殊工		〃	0.714	表4.48																																																																																																																							
トンネル作業員		〃	0.238	表4.48																																																																																																																							
スライドセントル損料		m	1	表4.42																																																																																																																							
諸 雑 費		式																																																																																																																									
計																																																																																																																											
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																							
トンネル世話役		人		表4.39 0.06×A/10																																																																																																																							
トンネル特殊工		〃		表4.39 0.17×A/10																																																																																																																							
トンネル作業員		〃		表4.39 0.12×A/10																																																																																																																							
防水工作業台車	長さ4.5m	m	1	表4.43																																																																																																																							
諸 雑 費		式																																																																																																																									
計																																																																																																																											

土木工事標準歩掛の一部改定
トンネル工 (NATM) [機械掘削工法]

工種名	現 行	改 定																																																																																																																																												
	<p>4 直接工事費, 仮設工, トンネル仮設備工</p> <p>(13) ○○○式集塵機運転1m (トンネル延長) 当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○○○式集塵機運転</td> <td>定格風量○○m³/min級</td> <td>週</td> <td></td> <td>表4.20 機械運転単価表×5</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(14) インバート掘削工10m²当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>トンネル世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.30</td> </tr> <tr> <td>トンネル特殊工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>トンネル作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>大型ブレーカ運転</td> <td>トンネル工専用油圧式 600~800kg級</td> <td>日</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>バックホウ運転</td> <td>トンネル工専用排出ガス 対策型・クローラ型 山積0.45m³(平積0.35m³)</td> <td>h</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>チゼル損耗費</td> <td>600~800kg級用</td> <td>本</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(15) インバートずり出し工10m²当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>トンネル特殊工</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.31</td> </tr> <tr> <td>ダンプトラック運転</td> <td>坑内用普通 ディーゼル10t積級</td> <td>h</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(16) インバート型枠製作100m²当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.34</td> </tr> <tr> <td>型 枠 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(17) インバート型枠・設置・撤去100m²当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>トンネル世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.35</td> </tr> <tr> <td>トンネル特殊工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>トンネル作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	○○○式集塵機運転	定格風量○○m ³ /min級	週		表4.20 機械運転単価表×5	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	トンネル世話役		人		表4.30	トンネル特殊工		〃		〃	トンネル作業員		〃		〃	大型ブレーカ運転	トンネル工専用油圧式 600~800kg級	日		〃	バックホウ運転	トンネル工専用排出ガス 対策型・クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	h		〃	チゼル損耗費	600~800kg級用	本		〃	諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	トンネル特殊工		人		表4.31	ダンプトラック運転	坑内用普通 ディーゼル10t積級	h		〃	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表4.34	型 枠 工		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	諸 雑 費		式	1	〃	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	トンネル世話役		人		表4.35	トンネル特殊工		〃		〃	トンネル作業員		〃		〃	諸 雑 費		式	1	〃	計					<p>現 行 通 り</p> <p style="color: red;">削 除</p>
	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																									
	○○○式集塵機運転	定格風量○○m ³ /min級	週		表4.20 機械運転単価表×5																																																																																																																																									
	計																																																																																																																																													
	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																									
	トンネル世話役		人		表4.30																																																																																																																																									
	トンネル特殊工		〃		〃																																																																																																																																									
	トンネル作業員		〃		〃																																																																																																																																									
	大型ブレーカ運転	トンネル工専用油圧式 600~800kg級	日		〃																																																																																																																																									
	バックホウ運転	トンネル工専用排出ガス 対策型・クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	h		〃																																																																																																																																									
	チゼル損耗費	600~800kg級用	本		〃																																																																																																																																									
	諸 雑 費		式	1																																																																																																																																										
	計																																																																																																																																													
	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																									
	トンネル特殊工		人		表4.31																																																																																																																																									
	ダンプトラック運転	坑内用普通 ディーゼル10t積級	h		〃																																																																																																																																									
	計																																																																																																																																													
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																										
世 話 役		人		表4.34																																																																																																																																										
型 枠 工		〃		〃																																																																																																																																										
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																										
諸 雑 費		式	1	〃																																																																																																																																										
計																																																																																																																																														
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																										
トンネル世話役		人		表4.35																																																																																																																																										
トンネル特殊工		〃		〃																																																																																																																																										
トンネル作業員		〃		〃																																																																																																																																										
諸 雑 費		式	1	〃																																																																																																																																										
計																																																																																																																																														

土木工事標準歩掛の一部改定
トンネル工 (NATM) [機械掘削工法]

工種名	現 行	改 定																																																																																																																																																											
	<p>(22) 空気圧縮機設備組立・解体1基当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.52</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>機 械 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>電 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ラ フ テ レ ー ン ク レ ー ン 賃 料</td> <td>排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型25 t 吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(23) 吹付プラント組立・解体1基当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.53</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>機 械 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>溶 接 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>電 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ラ フ テ レ ー ン ク レ ー ン 賃 料</td> <td>排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型25 t 吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(24) スライドセントル組立・解体1基当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.54</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>機 械 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>電 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ラ フ テ レ ー ン ク レ ー ン 賃 料</td> <td>排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型25 t 吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単位	数量	摘 要	世 話 役		人		表4.52	特 殊 作 業 員		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	機 械 工		〃		〃	と び 工		〃		〃	電 工		〃		〃	ラ フ テ レ ー ン ク レ ー ン 賃 料	排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型25 t 吊	日		〃	諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単位	数量	摘 要	世 話 役		人		表4.53	特 殊 作 業 員		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	機 械 工		〃		〃	と び 工		〃		〃	溶 接 工		〃		〃	電 工		〃		〃	ラ フ テ レ ー ン ク レ ー ン 賃 料	排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型25 t 吊	日		〃	諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単位	数量	摘 要	世 話 役		人		表4.54	特 殊 作 業 員		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	機 械 工		〃		〃	と び 工		〃		〃	電 工		〃		〃	ラ フ テ レ ー ン ク レ ー ン 賃 料	排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型25 t 吊	日		〃	諸 雑 費		式	1		計					<p>(15) 空気圧縮機設備組立・解体1基当り単価表</p> <p style="text-align: center;">} 現 行 通 り</p> <p>(16) 吹付プラント組立・解体1基当り単価表</p> <p style="text-align: center;">} 現 行 通 り</p> <p>(17) スライドセントル組立・解体1基当り単価表</p> <p style="text-align: center;">} 現 行 通 り</p>
名 称	規 格	単位	数量	摘 要																																																																																																																																																									
世 話 役		人		表4.52																																																																																																																																																									
特 殊 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																									
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																									
機 械 工		〃		〃																																																																																																																																																									
と び 工		〃		〃																																																																																																																																																									
電 工		〃		〃																																																																																																																																																									
ラ フ テ レ ー ン ク レ ー ン 賃 料	排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型25 t 吊	日		〃																																																																																																																																																									
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																																										
計																																																																																																																																																													
名 称	規 格	単位	数量	摘 要																																																																																																																																																									
世 話 役		人		表4.53																																																																																																																																																									
特 殊 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																									
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																									
機 械 工		〃		〃																																																																																																																																																									
と び 工		〃		〃																																																																																																																																																									
溶 接 工		〃		〃																																																																																																																																																									
電 工		〃		〃																																																																																																																																																									
ラ フ テ レ ー ン ク レ ー ン 賃 料	排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型25 t 吊	日		〃																																																																																																																																																									
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																																										
計																																																																																																																																																													
名 称	規 格	単位	数量	摘 要																																																																																																																																																									
世 話 役		人		表4.54																																																																																																																																																									
特 殊 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																									
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																									
機 械 工		〃		〃																																																																																																																																																									
と び 工		〃		〃																																																																																																																																																									
電 工		〃		〃																																																																																																																																																									
ラ フ テ レ ー ン ク レ ー ン 賃 料	排出ガス対策型 油圧伸縮ジブ型25 t 吊	日		〃																																																																																																																																																									
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																																										
計																																																																																																																																																													

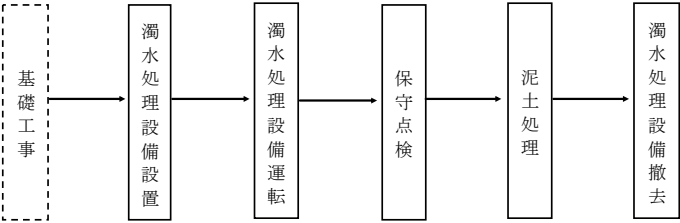
土木工事標準歩掛の一部改定
トンネル工（NATM） [機械掘削工法]

工種名	現 行	改 定																																																																																																				
	<p>(25) 防水作業台車組立・解体1基当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.55</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>機 械 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>電 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>トラッククレーン賃料</td> <td>油圧伸縮ジブ型4.9t吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center; margin-left: 100px;">77</p> <p>(26) 坑外送気管敷設・撤去1m当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配 管 工</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.56</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(27) 仮設備保守費1月当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.57, 表4.58</td> </tr> <tr> <td>機 械 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃 〃</td> </tr> <tr> <td>電 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃 〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単位	数量	摘 要	世 話 役		人		表4.55	特 殊 作 業 員		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	機 械 工		〃		〃	と び 工		〃		〃	電 工		〃		〃	トラッククレーン賃料	油圧伸縮ジブ型4.9t吊	日		〃	諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単位	数量	摘 要	配 管 工		人		表4.56	諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単位	数量	摘 要	普 通 作 業 員		人		表4.57, 表4.58	機 械 工		〃		〃 〃	電 工		〃		〃 〃	諸 雑 費		式	1		計					<p>(18) 防水作業台車組立・解体1基当り単価表</p> <p style="text-align: center; margin-left: 100px;">現 行 通 り</p> <p>(19) 坑外送気管敷設・撤去1m当り単価表</p> <p style="text-align: center; margin-left: 100px;">現 行 通 り</p> <p>(20) 仮設備保守費1月当り単価表</p> <p style="text-align: center; margin-left: 100px;">現 行 通 り</p>
名 称	規 格	単位	数量	摘 要																																																																																																		
世 話 役		人		表4.55																																																																																																		
特 殊 作 業 員		〃		〃																																																																																																		
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																		
機 械 工		〃		〃																																																																																																		
と び 工		〃		〃																																																																																																		
電 工		〃		〃																																																																																																		
トラッククレーン賃料	油圧伸縮ジブ型4.9t吊	日		〃																																																																																																		
諸 雑 費		式	1																																																																																																			
計																																																																																																						
名 称	規 格	単位	数量	摘 要																																																																																																		
配 管 工		人		表4.56																																																																																																		
諸 雑 費		式	1																																																																																																			
計																																																																																																						
名 称	規 格	単位	数量	摘 要																																																																																																		
普 通 作 業 員		人		表4.57, 表4.58																																																																																																		
機 械 工		〃		〃 〃																																																																																																		
電 工		〃		〃 〃																																																																																																		
諸 雑 費		式	1																																																																																																			
計																																																																																																						

土木工事標準歩掛の一部改定
トンネル工 (NATM) [機械掘削工法]

工種名	現 行	改 定																																																																																																																
	<p>(28) 機械運転単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自由断面トンネル掘削機</td> <td>カッターヘッド出力200～240kW</td> <td>機-25</td> <td>燃料消費量 → 617 機械損料数量 → 1.40</td> </tr> <tr> <td>ドリルジャンボ</td> <td>トンネル工事用排出ガス対策型 ホイール式2ブーム ドリフト質量150kg級</td> <td>機-25</td> <td>燃料消費量 → 201 機械損料数量 → 1.40</td> </tr> <tr> <td>コンクリート吹付機</td> <td>トンネル工事用排出ガス対策型 湿式 一体型 吐出量6～20m³/級 半径7m</td> <td>機-25</td> <td>燃料消費量 → 63 機械損料数量 → 1.40</td> </tr> <tr> <td>ホイールローダ</td> <td>トンネル工事用排出ガス対策型 サイドダンプ式 山積2.3m³</td> <td>機-24</td> <td>燃料消費量 → 68 機械損料数量 → 1.40</td> </tr> <tr> <td>バックホウ</td> <td>トンネル工事用排出ガス対策型・クローラ型 山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>機-24</td> <td>燃料消費量 → 40 機械損料数量 → 1.40</td> </tr> <tr> <td>吹付プラント設備</td> <td>(バッチ型) 定置式25m³/h</td> <td>機-25</td> <td>燃料消費量 → 19 機械損料数量 → 1.40</td> </tr> <tr> <td>大型ブレーカ</td> <td>トンネル工事用油圧式1,300kg級</td> <td>機-12</td> <td>燃料消費量 → 40</td> </tr> <tr> <td>ダンプトラック</td> <td>坑内用普通ディーゼル10 t 積級</td> <td>機-32</td> <td>燃料消費量 → 121 機械損料数量 → 1.40 タイヤの損耗費も計上</td> </tr> <tr> <td>コンクリートポンプ車</td> <td>黒煙浄化装置付 配管式圧送能力90～100m³/h</td> <td>機-24</td> <td>燃料消費量 → 57 機械損料数量 → 1.40</td> </tr> <tr> <td>集塵機</td> <td>定格風量○○○m³/min級</td> <td>機-14</td> <td>燃料消費量 → 必要分計上する 機械損料数量 → 1.00</td> </tr> <tr> <td>バックホウ</td> <td>トンネル工事用排出ガス対策型・クローラ型 山積0.45m³(平積0.35m³)</td> <td>機-13</td> <td>インバート掘削工</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">"</td> <td>排出ガス対策型・クローラ型 山積0.45m³(平積0.35m³)</td> <td>機-1</td> <td>インバート埋戻し材積込作業</td> </tr> <tr> <td>ブルドーザ</td> <td>排出ガス対策型, 黒煙浄化装置付 普通15 t 級 (13～16 t)</td> <td>機-13</td> <td>インバート埋戻工</td> </tr> <tr> <td>タイヤローラ</td> <td>排出ガス対策型黒煙浄化装置付 8～20 t</td> <td>機-16</td> <td>燃料消費量 → 30 賃料数量 → 1.60</td> </tr> <tr> <td>ダンプトラック</td> <td>坑内用普通ディーゼル10 t 積級</td> <td>機-13</td> <td>インバート用タイヤの損耗費も計上</td> </tr> <tr> <td>コンクリートポンプ車</td> <td>黒煙浄化装置付 ブーム式圧送能力90～110m³/h</td> <td>機-13</td> <td>インバート用</td> </tr> </tbody> </table>	機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	自由断面トンネル掘削機	カッターヘッド出力200～240kW	機-25	燃料消費量 → 617 機械損料数量 → 1.40	ドリルジャンボ	トンネル工事用排出ガス対策型 ホイール式2ブーム ドリフト質量150kg級	機-25	燃料消費量 → 201 機械損料数量 → 1.40	コンクリート吹付機	トンネル工事用排出ガス対策型 湿式 一体型 吐出量6～20m ³ /級 半径7m	機-25	燃料消費量 → 63 機械損料数量 → 1.40	ホイールローダ	トンネル工事用排出ガス対策型 サイドダンプ式 山積2.3m ³	機-24	燃料消費量 → 68 機械損料数量 → 1.40	バックホウ	トンネル工事用排出ガス対策型・クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	機-24	燃料消費量 → 40 機械損料数量 → 1.40	吹付プラント設備	(バッチ型) 定置式25m ³ /h	機-25	燃料消費量 → 19 機械損料数量 → 1.40	大型ブレーカ	トンネル工事用油圧式1,300kg級	機-12	燃料消費量 → 40	ダンプトラック	坑内用普通ディーゼル10 t 積級	機-32	燃料消費量 → 121 機械損料数量 → 1.40 タイヤの損耗費も計上	コンクリートポンプ車	黒煙浄化装置付 配管式圧送能力90～100m ³ /h	機-24	燃料消費量 → 57 機械損料数量 → 1.40	集塵機	定格風量○○○m ³ /min級	機-14	燃料消費量 → 必要分計上する 機械損料数量 → 1.00	バックホウ	トンネル工事用排出ガス対策型・クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	機-13	インバート掘削工	"	排出ガス対策型・クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	機-1	インバート埋戻し材積込作業	ブルドーザ	排出ガス対策型, 黒煙浄化装置付 普通15 t 級 (13～16 t)	機-13	インバート埋戻工	タイヤローラ	排出ガス対策型黒煙浄化装置付 8～20 t	機-16	燃料消費量 → 30 賃料数量 → 1.60	ダンプトラック	坑内用普通ディーゼル10 t 積級	機-13	インバート用タイヤの損耗費も計上	コンクリートポンプ車	黒煙浄化装置付 ブーム式圧送能力90～110m ³ /h	機-13	インバート用	<p>(21) 機械運転単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自由断面トンネル掘削機</td> <td>カッターヘッド出力200～240kW</td> <td>機-25</td> <td>燃料消費量 → 617 機械損料数量 → 1.40</td> </tr> <tr> <td>ドリルジャンボ</td> <td>トンネル工事用排出ガス対策型 ホイール式2ブーム ドリフト質量150kg級</td> <td>機-25</td> <td>燃料消費量 → 201 機械損料数量 → 1.40</td> </tr> <tr> <td>コンクリート吹付機</td> <td>トンネル工事用排出ガス対策型 湿式 一体型 吐出量6～20m³/級 半径7m</td> <td>機-25</td> <td>燃料消費量 → 63 機械損料数量 → 1.40</td> </tr> <tr> <td>ホイールローダ</td> <td>トンネル工事用排出ガス対策型 サイドダンプ式 山積2.3m³</td> <td>機-24</td> <td>燃料消費量 → 68 機械損料数量 → 1.40</td> </tr> <tr> <td>バックホウ</td> <td>トンネル工事用排出ガス対策型・クローラ型 山積0.8m³(平積0.6m³)</td> <td>機-24</td> <td>燃料消費量 → 40 機械損料数量 → 1.40</td> </tr> <tr> <td>吹付プラント設備</td> <td>(バッチ型) 定置式25m³/h</td> <td>機-25</td> <td>燃料消費量 → 19 機械損料数量 → 1.40</td> </tr> <tr> <td>大型ブレーカ</td> <td>トンネル工事用油圧式1,300kg級</td> <td>機-12</td> <td>燃料消費量 → 40</td> </tr> <tr> <td>ダンプトラック</td> <td>坑内用普通ディーゼル10 t 積級</td> <td>機-32</td> <td>燃料消費量 → 121 機械損料数量 → 1.40 タイヤの損耗費も計上</td> </tr> <tr> <td>コンクリートポンプ車</td> <td>黒煙浄化装置付 配管式圧送能力90～100m³/h</td> <td>機-24</td> <td>燃料消費量 → 57 機械損料数量 → 1.40</td> </tr> <tr> <td>集塵機</td> <td>定格風量○○○m³/min級</td> <td>機-14</td> <td>燃料消費量 → 必要分計上する 機械損料数量 → 1.00</td> </tr> </tbody> </table>	機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	自由断面トンネル掘削機	カッターヘッド出力200～240kW	機-25	燃料消費量 → 617 機械損料数量 → 1.40	ドリルジャンボ	トンネル工事用排出ガス対策型 ホイール式2ブーム ドリフト質量150kg級	機-25	燃料消費量 → 201 機械損料数量 → 1.40	コンクリート吹付機	トンネル工事用排出ガス対策型 湿式 一体型 吐出量6～20m ³ /級 半径7m	機-25	燃料消費量 → 63 機械損料数量 → 1.40	ホイールローダ	トンネル工事用排出ガス対策型 サイドダンプ式 山積2.3m ³	機-24	燃料消費量 → 68 機械損料数量 → 1.40	バックホウ	トンネル工事用排出ガス対策型・クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	機-24	燃料消費量 → 40 機械損料数量 → 1.40	吹付プラント設備	(バッチ型) 定置式25m ³ /h	機-25	燃料消費量 → 19 機械損料数量 → 1.40	大型ブレーカ	トンネル工事用油圧式1,300kg級	機-12	燃料消費量 → 40	ダンプトラック	坑内用普通ディーゼル10 t 積級	機-32	燃料消費量 → 121 機械損料数量 → 1.40 タイヤの損耗費も計上	コンクリートポンプ車	黒煙浄化装置付 配管式圧送能力90～100m ³ /h	機-24	燃料消費量 → 57 機械損料数量 → 1.40	集塵機	定格風量○○○m ³ /min級	機-14	燃料消費量 → 必要分計上する 機械損料数量 → 1.00
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																																																																																															
自由断面トンネル掘削機	カッターヘッド出力200～240kW	機-25	燃料消費量 → 617 機械損料数量 → 1.40																																																																																																															
ドリルジャンボ	トンネル工事用排出ガス対策型 ホイール式2ブーム ドリフト質量150kg級	機-25	燃料消費量 → 201 機械損料数量 → 1.40																																																																																																															
コンクリート吹付機	トンネル工事用排出ガス対策型 湿式 一体型 吐出量6～20m ³ /級 半径7m	機-25	燃料消費量 → 63 機械損料数量 → 1.40																																																																																																															
ホイールローダ	トンネル工事用排出ガス対策型 サイドダンプ式 山積2.3m ³	機-24	燃料消費量 → 68 機械損料数量 → 1.40																																																																																																															
バックホウ	トンネル工事用排出ガス対策型・クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	機-24	燃料消費量 → 40 機械損料数量 → 1.40																																																																																																															
吹付プラント設備	(バッチ型) 定置式25m ³ /h	機-25	燃料消費量 → 19 機械損料数量 → 1.40																																																																																																															
大型ブレーカ	トンネル工事用油圧式1,300kg級	機-12	燃料消費量 → 40																																																																																																															
ダンプトラック	坑内用普通ディーゼル10 t 積級	機-32	燃料消費量 → 121 機械損料数量 → 1.40 タイヤの損耗費も計上																																																																																																															
コンクリートポンプ車	黒煙浄化装置付 配管式圧送能力90～100m ³ /h	機-24	燃料消費量 → 57 機械損料数量 → 1.40																																																																																																															
集塵機	定格風量○○○m ³ /min級	機-14	燃料消費量 → 必要分計上する 機械損料数量 → 1.00																																																																																																															
バックホウ	トンネル工事用排出ガス対策型・クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	機-13	インバート掘削工																																																																																																															
"	排出ガス対策型・クローラ型 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	機-1	インバート埋戻し材積込作業																																																																																																															
ブルドーザ	排出ガス対策型, 黒煙浄化装置付 普通15 t 級 (13～16 t)	機-13	インバート埋戻工																																																																																																															
タイヤローラ	排出ガス対策型黒煙浄化装置付 8～20 t	機-16	燃料消費量 → 30 賃料数量 → 1.60																																																																																																															
ダンプトラック	坑内用普通ディーゼル10 t 積級	機-13	インバート用タイヤの損耗費も計上																																																																																																															
コンクリートポンプ車	黒煙浄化装置付 ブーム式圧送能力90～110m ³ /h	機-13	インバート用																																																																																																															
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																																																																																															
自由断面トンネル掘削機	カッターヘッド出力200～240kW	機-25	燃料消費量 → 617 機械損料数量 → 1.40																																																																																																															
ドリルジャンボ	トンネル工事用排出ガス対策型 ホイール式2ブーム ドリフト質量150kg級	機-25	燃料消費量 → 201 機械損料数量 → 1.40																																																																																																															
コンクリート吹付機	トンネル工事用排出ガス対策型 湿式 一体型 吐出量6～20m ³ /級 半径7m	機-25	燃料消費量 → 63 機械損料数量 → 1.40																																																																																																															
ホイールローダ	トンネル工事用排出ガス対策型 サイドダンプ式 山積2.3m ³	機-24	燃料消費量 → 68 機械損料数量 → 1.40																																																																																																															
バックホウ	トンネル工事用排出ガス対策型・クローラ型 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	機-24	燃料消費量 → 40 機械損料数量 → 1.40																																																																																																															
吹付プラント設備	(バッチ型) 定置式25m ³ /h	機-25	燃料消費量 → 19 機械損料数量 → 1.40																																																																																																															
大型ブレーカ	トンネル工事用油圧式1,300kg級	機-12	燃料消費量 → 40																																																																																																															
ダンプトラック	坑内用普通ディーゼル10 t 積級	機-32	燃料消費量 → 121 機械損料数量 → 1.40 タイヤの損耗費も計上																																																																																																															
コンクリートポンプ車	黒煙浄化装置付 配管式圧送能力90～100m ³ /h	機-24	燃料消費量 → 57 機械損料数量 → 1.40																																																																																																															
集塵機	定格風量○○○m ³ /min級	機-14	燃料消費量 → 必要分計上する 機械損料数量 → 1.00																																																																																																															
		<p>削除</p>																																																																																																																

土木工事標準歩掛の一部改定
トンネル濁水処理工

工種名	現 行	改 定																																																												
トンネル工 トンネル濁水処理工	<p>トンネル濁水処理工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、トンネル（NATM工法）及びシールドの濁水処理工に適用する。</p> <p>1-1 濁水処理設備 濁水処理設備は、機械処理脱水方式を標準とする。 また、濁水処理設備能力は、30～60m³/h級を標準とする。 なお、30～60m³/h級以外を使用する場合は、別途考慮する。</p> <p>1-2 使用薬剤 使用薬剤は、無機凝集剤、高分子凝集剤、炭酸ガスの3種類使用を標準とする。 なお、使用量については、別途計上する。</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p>  <p>(注) 1. 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。 2. 泥土処理は、脱水施設から発生する脱水ケーキの処理である。 3. 濁水処理設備の運転時間は、運転日当日24時間を標準とする。 また、加圧脱水機（フィルタープレス式）の運転時間は、濁水処理設備の運転時間に含まれる。なお、坑内排水にポンプが必要な場合は、「第15章 トンネル工①トンネル工（NATM）3-7-5給排水設備」により別途計上する。</p> <p>3. 施工歩掛</p> <p>3-1 濁水処理設備設置・撤去 濁水処理設備設置・撤去歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 濁水処理設備設置・撤去歩掛 (1箇所当り)</p> <table border="1" data-bbox="309 1114 1048 1327"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単位</th> <th>設置</th> <th>撤去</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>4</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>電 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>4</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>設 備 機 械 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>9</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>5</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>ラ フ テ レ ー ン ク レ ー ン 運 転</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型25 t吊</td> <td>日</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上屋の設置・撤去及び設備の基礎については、上記歩掛に含まない。 2. 上記歩掛には、設備の調整に要する費用を含む。 3. ラフテレーンクレーンは、賃料とする。</p> <p>3-2 濁水処理設備運転 濁水処理設備は、損料とする。</p>	名 称	規 格	単位	設置	撤去	世 話 役		人	4	3	電 工		〃	4	1	設 備 機 械 工		〃	9	4	普 通 作 業 員		〃	5	3	ラ フ テ レ ー ン ク レ ー ン 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型25 t吊	日	2	1	<p style="text-align: center;">表3.1 濁水処理設備設置・撤去歩掛 (1箇所当り)</p> <table border="1" data-bbox="1276 1107 1993 1324"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単位</th> <th>設置</th> <th>撤去</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>4</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>電 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>4</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>設 備 機 械 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>9</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>5</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>ラ フ テ レ ー ン ク レ ー ン 運 転</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型25 t吊</td> <td>日</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>	名 称	規 格	単位	設置	撤去	世 話 役		人	4	3	電 工		〃	4	1	設 備 機 械 工		〃	9	4	普 通 作 業 員		〃	5	3	ラ フ テ レ ー ン ク レ ー ン 運 転	排出ガス対策型(第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型25 t吊	日	2	1
名 称	規 格	単位	設置	撤去																																																										
世 話 役		人	4	3																																																										
電 工		〃	4	1																																																										
設 備 機 械 工		〃	9	4																																																										
普 通 作 業 員		〃	5	3																																																										
ラ フ テ レ ー ン ク レ ー ン 運 転	排出ガス対策型(第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型25 t吊	日	2	1																																																										
名 称	規 格	単位	設置	撤去																																																										
世 話 役		人	4	3																																																										
電 工		〃	4	1																																																										
設 備 機 械 工		〃	9	4																																																										
普 通 作 業 員		〃	5	3																																																										
ラ フ テ レ ー ン ク レ ー ン 運 転	排出ガス対策型(第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型25 t吊	日	2	1																																																										

土木工事標準歩掛の一部改定
トンネル濁水処理工

工種名	現 行	改 定																																																																																																																																												
	<p>3-3 濁水処理設備の保守点検 保守点検の歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 濁水処理設備保守点検歩掛 (1回当たり)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設 備 機 械 工</td> <td>人</td> <td>0.2</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>〃</td> <td>0.5</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td>%</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 濁水処理設備の保守点検は、濁水処理設備運転日に1回実施を標準とする。 2. 保守点検は、濁水処理設備の日常の運転に関わる全ての保守・点検を含む。 3. 諸雑費は、泥土(脱水ケーキ)の積込に要する費用であり、労務費の合計に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>3-4 泥土運搬 泥土(脱水ケーキ)運搬の歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.3 泥土運搬歩掛 (1回当たり)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>運搬機種・規格</th> <th colspan="5">ダンプトラック 4t積級</th> </tr> <tr> <th colspan="6">D I D 区間：無し</th> </tr> <tr> <th>運搬距離 (km)</th> <th>6.0以下</th> <th>13以下</th> <th>19以下</th> <th>35以下</th> <th>60以下</th> </tr> <tr> <th>運搬日数 (日)</th> <td>0.01</td> <td>0.02</td> <td>0.03</td> <td>0.04</td> <td>0.06</td> </tr> <tr> <th colspan="6">D I D 区間：有り</th> </tr> <tr> <th>運搬距離 (km)</th> <th>5.5以下</th> <th>12以下</th> <th>17以下</th> <th>27以下</th> <th>60以下</th> </tr> <tr> <th>運搬日数 (日)</th> <td>0.01</td> <td>0.02</td> <td>0.03</td> <td>0.04</td> <td>0.06</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="6">(注) 1. 泥土運搬は、濁水処理設備運転日に1回とする。 2. 運搬距離が60kmを超える場合は、別途考慮する。 (運搬距離は片道であり、往路と復路が異なる場合には平均値とする。) 3. 本歩掛は、泥土の残土受け地等までの運搬のみであり、残土受け地等での処理及び廃棄料等が必要な場合は、別途計上する。</td> </tr> </tbody> </table> <p>4. 単価表 (1) 濁水処理設備設置1箇所当り単価表 (処理能力30~60m³級)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表3.1</td> </tr> <tr> <td>電 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>設備機械工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーン クレーン賃料</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型25t吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	単 位	数 量	設 備 機 械 工	人	0.2	普 通 作 業 員	〃	0.5	諸 雑 費	%	2	運搬機種・規格	ダンプトラック 4t積級					D I D 区間：無し						運搬距離 (km)	6.0以下	13以下	19以下	35以下	60以下	運搬日数 (日)	0.01	0.02	0.03	0.04	0.06	D I D 区間：有り						運搬距離 (km)	5.5以下	12以下	17以下	27以下	60以下	運搬日数 (日)	0.01	0.02	0.03	0.04	0.06	(注) 1. 泥土運搬は、濁水処理設備運転日に1回とする。 2. 運搬距離が60kmを超える場合は、別途考慮する。 (運搬距離は片道であり、往路と復路が異なる場合には平均値とする。) 3. 本歩掛は、泥土の残土受け地等までの運搬のみであり、残土受け地等での処理及び廃棄料等が必要な場合は、別途計上する。						名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表3.1	電 工		〃		〃	設備機械工		〃		〃	普通作業員		〃		〃	ラフテレーン クレーン賃料	排出ガス対策型(第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型25t吊	日		〃	諸 雑 費		式	1		計					<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>4. 単価表 (1) 濁水処理設備設置1箇所当り単価表 (処理能力30~60m³級)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表3.1</td> </tr> <tr> <td>電 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>設備機械工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーン クレーン賃料</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型25t吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表3.1	電 工		〃		〃	設備機械工		〃		〃	普通作業員		〃		〃	ラフテレーン クレーン賃料	排出ガス対策型(第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型25t吊	日		〃	諸 雑 費		式	1		計				
名 称	単 位	数 量																																																																																																																																												
設 備 機 械 工	人	0.2																																																																																																																																												
普 通 作 業 員	〃	0.5																																																																																																																																												
諸 雑 費	%	2																																																																																																																																												
運搬機種・規格	ダンプトラック 4t積級																																																																																																																																													
D I D 区間：無し																																																																																																																																														
運搬距離 (km)	6.0以下	13以下	19以下	35以下	60以下																																																																																																																																									
運搬日数 (日)	0.01	0.02	0.03	0.04	0.06																																																																																																																																									
D I D 区間：有り																																																																																																																																														
運搬距離 (km)	5.5以下	12以下	17以下	27以下	60以下																																																																																																																																									
運搬日数 (日)	0.01	0.02	0.03	0.04	0.06																																																																																																																																									
(注) 1. 泥土運搬は、濁水処理設備運転日に1回とする。 2. 運搬距離が60kmを超える場合は、別途考慮する。 (運搬距離は片道であり、往路と復路が異なる場合には平均値とする。) 3. 本歩掛は、泥土の残土受け地等までの運搬のみであり、残土受け地等での処理及び廃棄料等が必要な場合は、別途計上する。																																																																																																																																														
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																										
世 話 役		人		表3.1																																																																																																																																										
電 工		〃		〃																																																																																																																																										
設備機械工		〃		〃																																																																																																																																										
普通作業員		〃		〃																																																																																																																																										
ラフテレーン クレーン賃料	排出ガス対策型(第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型25t吊	日		〃																																																																																																																																										
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																											
計																																																																																																																																														
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																										
世 話 役		人		表3.1																																																																																																																																										
電 工		〃		〃																																																																																																																																										
設備機械工		〃		〃																																																																																																																																										
普通作業員		〃		〃																																																																																																																																										
ラフテレーン クレーン賃料	排出ガス対策型(第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型25t吊	日		〃																																																																																																																																										
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																											
計																																																																																																																																														

土木工事標準歩掛の一部改定
トンネル濁水処理工

工種名	現 行	改 定																																																																																																																																												
	<p>(2) 濁水処理設備撤去 1 箇所当り単価表 (処理能力30~60m³級)</p> <table border="1" data-bbox="311 256 1122 533"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表3.1</td> </tr> <tr> <td>電 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>設 備 機 械 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーン クレーン賃料</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型25 t 吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 濁水処理設備保守・点検 1 回当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="311 595 1122 748"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設 備 機 械 工</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表3.2</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 泥土運搬 1 回当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="311 810 1122 933"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ダンプトラック運転</td> <td>4 t 積級</td> <td>日</td> <td></td> <td>表3.3</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(5) 機械運転単価表</p> <table border="1" data-bbox="311 995 1122 1220"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適 用 単 価 表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ダンプトラック</td> <td>4 t 積級</td> <td>機-22</td> <td>運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 42 機械損料数量→ 1.16</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">濁水処理装置 (ポータブル型・ 機械処理沈殿方式・脱 水機付)</td> <td>処理能力30m³/h</td> <td>機-14</td> <td>電力消費量→173</td> </tr> <tr> <td>処理能力60m³/h</td> <td>機-14</td> <td>電力消費量→351</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表3.1	電 工		〃		〃	設 備 機 械 工		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	ラフテレーン クレーン賃料	排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型25 t 吊	日		〃	諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	設 備 機 械 工		人		表3.2	普 通 作 業 員		〃		〃	諸 雑 費		式	1	〃	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	ダンプトラック運転	4 t 積級	日		表3.3	諸 雑 費		式	1		計					機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項	ダンプトラック	4 t 積級	機-22	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 42 機械損料数量→ 1.16	濁水処理装置 (ポータブル型・ 機械処理沈殿方式・脱 水機付)	処理能力30m ³ /h	機-14	電力消費量→173	処理能力60m ³ /h	機-14	電力消費量→351	<p>(2) 濁水処理設備撤去 1 箇所当り単価表 (処理能力30~60m³級)</p> <table border="1" data-bbox="1245 256 2056 533"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表3.1</td> </tr> <tr> <td>電 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>設 備 機 械 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーン クレーン賃料</td> <td>排出ガス対策型 (第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型25 t 吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>現行どおり</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表3.1	電 工		〃		〃	設 備 機 械 工		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	ラフテレーン クレーン賃料	排出ガス対策型 (第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型25 t 吊	日		〃	諸 雑 費		式	1		計				
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																										
世 話 役		人		表3.1																																																																																																																																										
電 工		〃		〃																																																																																																																																										
設 備 機 械 工		〃		〃																																																																																																																																										
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																										
ラフテレーン クレーン賃料	排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型25 t 吊	日		〃																																																																																																																																										
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																											
計																																																																																																																																														
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																										
設 備 機 械 工		人		表3.2																																																																																																																																										
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																										
諸 雑 費		式	1	〃																																																																																																																																										
計																																																																																																																																														
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																										
ダンプトラック運転	4 t 積級	日		表3.3																																																																																																																																										
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																											
計																																																																																																																																														
機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項																																																																																																																																											
ダンプトラック	4 t 積級	機-22	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 42 機械損料数量→ 1.16																																																																																																																																											
濁水処理装置 (ポータブル型・ 機械処理沈殿方式・脱 水機付)	処理能力30m ³ /h	機-14	電力消費量→173																																																																																																																																											
	処理能力60m ³ /h	機-14	電力消費量→351																																																																																																																																											
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																										
世 話 役		人		表3.1																																																																																																																																										
電 工		〃		〃																																																																																																																																										
設 備 機 械 工		〃		〃																																																																																																																																										
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																										
ラフテレーン クレーン賃料	排出ガス対策型 (第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型25 t 吊	日		〃																																																																																																																																										
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																											
計																																																																																																																																														

土木工事標準歩掛の一部改定
鋼橋架設工

工種名	現 行	改 定
橋梁 鋼橋架設工	<p style="text-align: center;">② 鋼 橋 架 設 工</p> <p>1. 鋼 橋 架 設 工</p> <p>1-1 適 用 範 囲</p> <p>本資料は、鋼橋の架設工事に適用する。なお、本資料による積上げ積算は、標準的な架設条件を前提としているので、特殊な架設条件の場合又は本資料による架設工法によらない場合は、別途架設設計のうえ計上する。</p> <p>橋梁型式による架設工費の補正は考慮しないことを標準とするが、ケーブルクレーン又はケーブルエレクションを使用した架設において斜橋で斜度の強い場合及び曲線は補正することができる。</p> <p>なお、少数主桁は、適用外とする。</p> <p>1-2 施 工 概 要</p> <p>施工フローは、下記を標準とする。</p> <pre> graph TD A[機材搬入] --> B{橋台橋脚の高さ5m以上} B -- Yes --> C[登り棧橋工] B -- No --> D[支承仮置き] C --> E[地組立] D --> E E --> F[主桁架設] F --> G[足場設置] G --> H{第三者に危害を及ぼす恐れがある} H -- Yes --> I[防護設置] H -- No --> J[ボルト本締め] I --> K[ボルト本締め] J --> L[支承据付] L --> M[落橋防止装置取付] M --> N[足場又は防護工撤去] N --> O[機材搬出] </pre> <p>(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。</p>	<p style="text-align: center;">現 行 通 り</p>

土木工事標準歩掛の一部改定 鋼橋架設工

工種名	現 行	改 定																																							
橋 梁 鋼橋架設工	<p>1-3 機械の選定</p> <p>1-3-1 移動式クレーン</p> <p>移動式クレーンの規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表1.1 機種を選定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>工 法</th> <th>用 途</th> <th>機 種・規 格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">・トラッククレーン ・トラッククレーンによるステージング</td> <td>主 ク レ ー ン</td> <td>トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型各種</td> </tr> <tr> <td>補 助 ク レ ー ン</td> <td>ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型 (第1次基準値) 各種</td> </tr> <tr> <td>・ケーブルクレーン ・ケーブルクレーンによるステージング ・ケーブルエレクション</td> <td>補 助 ク レ ー ン</td> <td>ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型 (第1次基準値) 各種</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 主クレーン、補助クレーンは、最大部材質量、作業半径、吊上げ高さ等を勘案し、現場条件に適した規格、台数を選定し計上する。 2. 地組を行う場合の主クレーンは架設と兼用するものとし、最大部材質量、作業半径は地組を考慮したものとする。 3. トラッククレーン、トラッククレーンによるステージング工法の場合、支承擔付、落橋防止装置取付、ペント設置・撤去等は補助クレーンを使用する。 4. ケーブルクレーン、ケーブルクレーンによるステージング、ケーブルエレクション工法の場合、ケーブル設備据付・解体等は補助クレーンを使用する。 5. 現場条件により上表より難しい場合は、クレーンの機種・規格を別途選定する。その際にも本歩掛を適用出来る。 6. トラッククレーン及びラフテレーンクレーンは、賃料とする。</p> <p>1-3-2 ケーブルクレーン設備 架設計画による。</p> <p>1-3-3 ケーブルエレクション設備 架設計画による。</p> <p>1-3-4 ペント設備 架設計画による。</p> <p>1-3-5 発動発電機 ケーブルクレーン運転、本締め工等に使用する発動発電機の規格は、次表を標準とする。ただし、商用電源を使用する場合は、計上しない。</p> <p style="text-align: center;">表1.2 機種を選定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>工 法</th> <th>規 格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・トラッククレーン ・トラッククレーンによるステージング</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) 45kVA</td> </tr> <tr> <td>・ケーブルクレーン ・ケーブルクレーンによるステージング ・ケーブルエレクション</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) 125kVA</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 発動発電機は、賃料とする。 2. 上表より難しい場合は、上記以外の規格を使用することができる。</p> <p>1-3-6 仮締めボルト及びドリフトピンの規格及び数量</p> <p>仮締めボルト及びドリフトピンの規格及び数量は、次表を標準とする。これにより難しい場合は、別途考慮する。</p> <p style="text-align: center;">表1.3 仮締めボルト及びドリフトピンの数量</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">仮 締 め ボ ル ト</td> <td>φ22mm用</td> <td rowspan="2">本締めボルト総本数×1/3×2/3</td> </tr> <tr> <td>φ19mm用</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ド リ フ ト ピ ン</td> <td>φ24.5×150mm</td> <td rowspan="2">本締めボルト総本数×1/3×1/3</td> </tr> <tr> <td>φ21.5×150mm</td> </tr> </tbody> </table>	工 法	用 途	機 種・規 格	・トラッククレーン ・トラッククレーンによるステージング	主 ク レ ー ン	トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型各種	補 助 ク レ ー ン	ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型 (第1次基準値) 各種	・ケーブルクレーン ・ケーブルクレーンによるステージング ・ケーブルエレクション	補 助 ク レ ー ン	ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型 (第1次基準値) 各種	工 法	規 格	・トラッククレーン ・トラッククレーンによるステージング	排出ガス対策型 (第1次基準値) 45kVA	・ケーブルクレーン ・ケーブルクレーンによるステージング ・ケーブルエレクション	排出ガス対策型 (第1次基準値) 125kVA	名 称	規 格	数 量	仮 締 め ボ ル ト	φ22mm用	本締めボルト総本数×1/3×2/3	φ19mm用	ド リ フ ト ピ ン	φ24.5×150mm	本締めボルト総本数×1/3×1/3	φ21.5×150mm	<p>1-3 機械の選定</p> <p>1-3-1 移動式クレーン</p> <p>移動式クレーンの規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表1.1 機種を選定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>工 法</th> <th>用 途</th> <th>機 種・規 格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">・トラッククレーン ・トラッククレーンによるステージング</td> <td>主 ク レ ー ン</td> <td>トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型各種</td> </tr> <tr> <td>補 助 ク レ ー ン</td> <td>ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型 (第2次基準値) 各種</td> </tr> <tr> <td>・ケーブルクレーン ・ケーブルクレーンによるステージング ・ケーブルエレクション</td> <td>補 助 ク レ ー ン</td> <td>ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型 (第2次基準値) 各種</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 主クレーン、補助クレーンは、最大部材質量、作業半径、吊上げ高さ等を勘案し、現場条件に適した規格、台数を選定し計上する。 2. 地組を行う場合の主クレーンは架設と兼用するものとし、最大部材質量、作業半径は地組を考慮したものとする。 3. トラッククレーン、トラッククレーンによるステージング工法の場合、支承擔付、落橋防止装置取付、ペント設置・撤去等は補助クレーンを使用する。 4. ケーブルクレーン、ケーブルクレーンによるステージング、ケーブルエレクション工法の場合、ケーブル設備据付・解体等は補助クレーンを使用する。 5. 現場条件により上表より難しい場合は、クレーンの機種・規格を別途選定する。その際にも本歩掛を適用出来る。 6. トラッククレーン及びラフテレーンクレーンは、賃料とする。 7. 補助クレーンに使用するラフテレーンクレーンで7t、10t、45tを選定した場合は排出ガス対策型 (第1次基準値) とする。</p> <p style="text-align: center;">現 行 通 り</p>	工 法	用 途	機 種・規 格	・トラッククレーン ・トラッククレーンによるステージング	主 ク レ ー ン	トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型各種	補 助 ク レ ー ン	ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型 (第2次基準値) 各種	・ケーブルクレーン ・ケーブルクレーンによるステージング ・ケーブルエレクション	補 助 ク レ ー ン	ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型 (第2次基準値) 各種
工 法	用 途	機 種・規 格																																							
・トラッククレーン ・トラッククレーンによるステージング	主 ク レ ー ン	トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型各種																																							
	補 助 ク レ ー ン	ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型 (第1次基準値) 各種																																							
・ケーブルクレーン ・ケーブルクレーンによるステージング ・ケーブルエレクション	補 助 ク レ ー ン	ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型 (第1次基準値) 各種																																							
工 法	規 格																																								
・トラッククレーン ・トラッククレーンによるステージング	排出ガス対策型 (第1次基準値) 45kVA																																								
・ケーブルクレーン ・ケーブルクレーンによるステージング ・ケーブルエレクション	排出ガス対策型 (第1次基準値) 125kVA																																								
名 称	規 格	数 量																																							
仮 締 め ボ ル ト	φ22mm用	本締めボルト総本数×1/3×2/3																																							
	φ19mm用																																								
ド リ フ ト ピ ン	φ24.5×150mm	本締めボルト総本数×1/3×1/3																																							
	φ21.5×150mm																																								
工 法	用 途	機 種・規 格																																							
・トラッククレーン ・トラッククレーンによるステージング	主 ク レ ー ン	トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型各種																																							
	補 助 ク レ ー ン	ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型 (第2次基準値) 各種																																							
・ケーブルクレーン ・ケーブルクレーンによるステージング ・ケーブルエレクション	補 助 ク レ ー ン	ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型 (第2次基準値) 各種																																							

土木工事標準歩掛の一部改定
鋼橋架設工

工種名	現 行	改 定																								
	<p>1-4 支 承 工</p> <p>ゴム支承据付工歩掛は、次表を標準とする。なお、金属支承の歩掛については別途考慮する。</p> <p style="text-align: center;">表1.4 ゴム支承据付工歩掛</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">種 別</th> <th style="width: 15%;">日当り施工量 D_n (基/日)</th> <th style="width: 15%;">編成人員 (人)</th> <th style="width: 15%;">諸雑費率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一 般 支 承</td> <td>$D_n = \frac{1}{0.095W + 0.093}$</td> <td>橋梁世話役 橋梁特殊工 普通作業員</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">2</td> </tr> <tr> <td>機 能 分 離 型 支 承</td> <td>$D_n = \frac{1}{0.124W + 0.296}$</td> <td>普通作業員</td> </tr> </tbody> </table> <p>W：支承1基当り支承質量 (t) $\text{一基当り支承質量} = \frac{\text{支承総質量}}{\text{支承設置数}}$</p> <p>(注) 1. 本歩掛は支承据付に伴う架設から調整までの作業を含む。 2. 架設工法はトラッククレーンを標準とする。 3. クレーン賃料、架設工具損料等は表1.15により、別途計上する。 4. 諸雑費は発動発電機を使用した場合の発動発電機の燃料・油脂類の費用であり労務費の合計額に表1.4の率を乗じた金額を上限として計上する。 5. 支承質量にはアンカーボルトを含む。 6. 支承据付材料(無収縮モルタル等)を、別途計上する。 7. 日当り施工量D_nは小数第1位までとし、2位を四捨五入する。</p> <p>1-5 地 組 工</p> <p>地組工歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表1.5 地組工歩掛</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">桁 形 式</th> <th style="width: 15%;">日当り施工量 D_g (t/日)</th> <th style="width: 15%;">編成人員 (人)</th> <th style="width: 10%;">諸雑費率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">飯 桁 ラーメン (飯桁形式)</td> <td rowspan="2">$D_g = \frac{G}{0.032(G+20)}$</td> <td>橋梁世話役</td> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">(注) 4 4 (0.6)</td> </tr> <tr> <td>橋梁特殊工 (普通作業員)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">箱 桁 ラーメン (箱桁形式)</td> <td rowspan="2">$D_g = \frac{G}{0.020(G+20)}$</td> <td>橋梁世話役</td> </tr> <tr> <td>橋梁特殊工 (普通作業員)</td> </tr> </tbody> </table> <p>G：地組質量 (t)</p> <p>(注) 1. 本歩掛は、地組に伴う仮締めを含む。 2. 地組質量は、地上組立をすべき主桁(鋼床版・添接板を含む)の質量であり、副部材及び高欄等の質量は除いたものである。 3. 地組工には、本締め工は含まない。 4. 諸雑費は、発動発電機を使用した場合の発動発電機の燃料・油脂類の費用等であり、労務費の合計額に表1.5の率を乗じた金額を上限として計上する。 なお、商用電源を使用した場合は商用電力料として()内の率を乗じた金額を上限として計上する。 5. クレーン賃料、架設工具損料等は表1.15により別途計上する。 6. 日当り施工量D_gは小数第1位までとし、2位を四捨五入する。</p>	種 別	日当り施工量 D_n (基/日)	編成人員 (人)	諸雑費率 (%)	一 般 支 承	$D_n = \frac{1}{0.095W + 0.093}$	橋梁世話役 橋梁特殊工 普通作業員	2	機 能 分 離 型 支 承	$D_n = \frac{1}{0.124W + 0.296}$	普通作業員	桁 形 式	日当り施工量 D_g (t/日)	編成人員 (人)	諸雑費率 (%)	飯 桁 ラーメン (飯桁形式)	$D_g = \frac{G}{0.032(G+20)}$	橋梁世話役	(注) 4 4 (0.6)	橋梁特殊工 (普通作業員)	箱 桁 ラーメン (箱桁形式)	$D_g = \frac{G}{0.020(G+20)}$	橋梁世話役	橋梁特殊工 (普通作業員)	} 現 行 通 り
種 別	日当り施工量 D_n (基/日)	編成人員 (人)	諸雑費率 (%)																							
一 般 支 承	$D_n = \frac{1}{0.095W + 0.093}$	橋梁世話役 橋梁特殊工 普通作業員	2																							
機 能 分 離 型 支 承	$D_n = \frac{1}{0.124W + 0.296}$	普通作業員																								
桁 形 式	日当り施工量 D_g (t/日)	編成人員 (人)	諸雑費率 (%)																							
飯 桁 ラーメン (飯桁形式)	$D_g = \frac{G}{0.032(G+20)}$	橋梁世話役	(注) 4 4 (0.6)																							
		橋梁特殊工 (普通作業員)																								
箱 桁 ラーメン (箱桁形式)	$D_g = \frac{G}{0.020(G+20)}$	橋梁世話役																								
		橋梁特殊工 (普通作業員)																								

土木工事標準歩掛の一部改定
鋼橋架設工

工種名	現 行	改 定																																																						
	<p>1-6 架 設 工</p> <p>1-6-1 鋼桁・箱桁・ラーメン</p> <p>1-6-1-1 トラッククレーン・トラッククレーンによるステーキング トラッククレーン・トラッククレーンによるステーキングの鋼桁・箱桁及びラーメンの架設工歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表1.6 架設工歩掛</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">橋 梁 形 式</th> <th style="width: 20%;">1日当り架設質量 D_* (t/日)</th> <th colspan="2" style="width: 20%;">編成人員 (人)</th> <th style="width: 10%;">諸雑費率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">鋼 桁 ラ ー メ ン (鋼桁形式)</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">$D_* = \frac{W}{0.27a(n+1)}$</td> <td style="text-align: center;">橋梁世話役</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">(注) 7 7 (5)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">橋梁特殊工</td> <td style="text-align: center;">5</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">普通作業員</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">箱 桁 ラ ー メ ン (箱桁形式)</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">ただし 鋼桁 $9 \leq D_* \leq 45$ t/日 箱桁 $20 \leq D_* \leq 65$ t/日</td> <td style="text-align: center;">橋梁世話役</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">橋梁特殊工</td> <td style="text-align: center;">6</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">普通作業員</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> </tbody> </table> <p>W: 橋体総質量 (t) n: 主桁架設回数 (回) a: 一部份質量による係数 (付表-1)</p> <p>1-6-1-2 ケーブルクレーン・ケーブルクレーンによるステーキング・ケーブルエレクション ケーブルクレーン・ケーブルクレーンによるステーキング・ケーブルエレクションの鋼桁・箱桁及びラーメンの架設工歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表1.7 架設工歩掛</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">橋 梁 形 式</th> <th style="width: 20%;">1日当り架設質量 D_* (t/日)</th> <th colspan="2" style="width: 20%;">編成人員 (人)</th> <th style="width: 10%;">諸雑費率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">鋼 桁 ラ ー メ ン</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">$D_* = \frac{W}{0.53a(n+6)}$ ただし $D_* \geq 9$ t/日</td> <td style="text-align: center;">橋梁世話役</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">(注) 7 8 (4)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">橋梁特殊工</td> <td style="text-align: center;">7</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">普通作業員</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> </tbody> </table> <p>W: 橋体総質量 (t) n: 主桁架設回数 (回) a: 一部份質量による係数 (付表-2)</p> <p>1-6-2 トラス トラス架設工歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表1.8 架設工歩掛</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">工 法</th> <th style="width: 20%;">1日当り架設質量 D_* (t/日)</th> <th colspan="2" style="width: 20%;">編成人員 (人)</th> <th style="width: 10%;">諸雑費率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>トラッククレーンによる ス テ ー ジ ン グ</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">$D_* = 0.025W + 4.35$ ただし $6 \leq D_* \leq 11.5$ t/日 $50 \leq W \leq 300$ t</td> <td style="text-align: center;">橋梁世話役</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">(注) 7 8 (4)</td> </tr> <tr> <td>ケ ー ブ ル ク レ ー ン</td> <td style="text-align: center;">7</td> </tr> <tr> <td>ケーブルクレーンによる ス テ ー ジ ン グ</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td>ケーブルエレクション (直吊) (斜吊)</td> <td></td> <td style="text-align: center;">普通作業員</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> </tbody> </table> <p>W: 1径間当り橋体総質量 (t)</p>	橋 梁 形 式	1日当り架設質量 D_* (t/日)	編成人員 (人)		諸雑費率 (%)	鋼 桁 ラ ー メ ン (鋼桁形式)	$D_* = \frac{W}{0.27a(n+1)}$	橋梁世話役	1	(注) 7 7 (5)	橋梁特殊工	5	普通作業員	1	箱 桁 ラ ー メ ン (箱桁形式)	ただし 鋼桁 $9 \leq D_* \leq 45$ t/日 箱桁 $20 \leq D_* \leq 65$ t/日	橋梁世話役	1	橋梁特殊工	6	普通作業員	1	橋 梁 形 式	1日当り架設質量 D_* (t/日)	編成人員 (人)		諸雑費率 (%)	鋼 桁 ラ ー メ ン	$D_* = \frac{W}{0.53a(n+6)}$ ただし $D_* \geq 9$ t/日	橋梁世話役	1	(注) 7 8 (4)	橋梁特殊工	7	普通作業員	1	工 法	1日当り架設質量 D_* (t/日)	編成人員 (人)		諸雑費率 (%)	トラッククレーンによる ス テ ー ジ ン グ	$D_* = 0.025W + 4.35$ ただし $6 \leq D_* \leq 11.5$ t/日 $50 \leq W \leq 300$ t	橋梁世話役	1	(注) 7 8 (4)	ケ ー ブ ル ク レ ー ン	7	ケーブルクレーンによる ス テ ー ジ ン グ	1	ケーブルエレクション (直吊) (斜吊)		普通作業員	1	現 行 通 り
橋 梁 形 式	1日当り架設質量 D_* (t/日)	編成人員 (人)		諸雑費率 (%)																																																				
鋼 桁 ラ ー メ ン (鋼桁形式)	$D_* = \frac{W}{0.27a(n+1)}$	橋梁世話役	1	(注) 7 7 (5)																																																				
		橋梁特殊工	5																																																					
		普通作業員	1																																																					
箱 桁 ラ ー メ ン (箱桁形式)	ただし 鋼桁 $9 \leq D_* \leq 45$ t/日 箱桁 $20 \leq D_* \leq 65$ t/日	橋梁世話役	1																																																					
		橋梁特殊工	6																																																					
		普通作業員	1																																																					
橋 梁 形 式	1日当り架設質量 D_* (t/日)	編成人員 (人)		諸雑費率 (%)																																																				
鋼 桁 ラ ー メ ン	$D_* = \frac{W}{0.53a(n+6)}$ ただし $D_* \geq 9$ t/日	橋梁世話役	1	(注) 7 8 (4)																																																				
		橋梁特殊工	7																																																					
		普通作業員	1																																																					
工 法	1日当り架設質量 D_* (t/日)	編成人員 (人)		諸雑費率 (%)																																																				
トラッククレーンによる ス テ ー ジ ン グ	$D_* = 0.025W + 4.35$ ただし $6 \leq D_* \leq 11.5$ t/日 $50 \leq W \leq 300$ t	橋梁世話役	1	(注) 7 8 (4)																																																				
ケ ー ブ ル ク レ ー ン		7																																																						
ケーブルクレーンによる ス テ ー ジ ン グ		1																																																						
ケーブルエレクション (直吊) (斜吊)		普通作業員	1																																																					

土木工事標準歩掛の一部改定
鋼橋架設工

工種名	現 行	改 定																																												
	<p>1-6-3 付 表</p> <p style="text-align: center;">付表-1 一部材質量による係数</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">部 材 質 量 (t)</td> <td style="text-align: center;">鋸 ラーメン (鋸桁形式)</td> <td style="text-align: center;">5以下</td> <td style="text-align: center;">5超10以下</td> <td style="text-align: center;">10超</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">箱 ラーメン (箱桁形式)</td> <td style="text-align: center;">10以下</td> <td style="text-align: center;">10超20以下</td> <td style="text-align: center;">20超</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">a</td> <td style="text-align: center;">0.8</td> <td style="text-align: center;">1.0</td> <td style="text-align: center;">1.4</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">備 考</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">一部材質量 = $\frac{\text{主桁質量}}{\text{主桁架設回数}}$</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">付表-2 一部材質量による係数</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">一部材質量 (t)</td> <td style="text-align: center;">4以下</td> <td style="text-align: center;">8以下</td> <td style="text-align: center;">14以下</td> <td style="text-align: center;">20以下</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">a</td> <td style="text-align: center;">0.7</td> <td style="text-align: center;">1.0</td> <td style="text-align: center;">1.5</td> <td style="text-align: center;">1.9</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">備 考</td> <td colspan="4" style="text-align: center;">一部材質量 = $\frac{\text{主桁質量}}{\text{主桁架設回数}}$</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 本歩掛には、架設に伴う仮締めを含むが、地組及び支承擔付は別途計上する。また、落橋防止装置のうち鋼板が主体となっているものの取付歩掛を含む。 2. 歩掛は、標準編成人員による架設作業である。 3. 橋体総質量は、「鋼道路橋数量集計マニュアル(案)」における「工数算定要素集計表」の加工鋼材質量の合計(本体及び本体と同様に集計する付属物の加工鋼材質量の合計)から排水装置の質量を除き、伸縮装置及び検査路(桁付・下部付)の加工鋼材質量を加算したものとす。なお、鋼床版桁の場合は排水桁の鋼材質量を加算する。 4. 主桁質量は同マニュアル(案)にて主桁の大型材片及び小型材片に分類されている部材の総質量である。なお、鋼床版桁の場合は鋼床版の大型材片及び小型材片の質量の合計も含む。 5. 主桁架設回数には鋼床版の架設回数を含む。なお、地組を行った場合の主桁架設回数は地組後の部材数を架設回数とする。 6. クレーン賃料、架設工具損料等は表1.15により、別途計上する。 7. 諸雑費は、発動発電機を使用した場合の発動発電機の燃料・油脂類及び消耗材料の費用等であり、労務費の合計額に表1.6～1.8の率を乗じた金額を上限として計上する。 なお、商用電源を使用した場合は商用電力料及び消耗材料費として()内の率を乗じた金額を上限として計上する。 8. 日当り施工量D_qは小数第1位までとし、2位を四捨五入する。</p> <p>1-7 本 締 め 工 本締め工歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表1.9 本締め工歩掛</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="text-align: center;">日当り施工量D_q (本/日)</th> <th style="text-align: center;">編成人員 (人)</th> <th style="text-align: center;">諸雑費率(%)</th> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;"> $D_q = \frac{Q}{0.52Q/1,000 + 0.19}$ ただし 上限を1,950本とする。 </td> <td style="text-align: center;">橋梁世話役</td> <td style="text-align: center;">1 (注) 3</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">橋梁特殊工</td> <td style="text-align: center;">5 8</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">普通作業員</td> <td style="text-align: center;">1 (4)</td> </tr> </table> <p>Q: 本締めボルト総本数(本)(高力ボルト+トルシア型ボルト) (注) 1. 本歩掛は、地組及び架設の際の本締め工に適用する。 2. 架設工具損料等は表1.15により、別途計上する。 3. 諸雑費は、発動発電機を使用した場合の燃料・油脂類及び消耗材料の費用等であり、労務費の合計額に表1.9の率を乗じた金額を上限として計上する。 なお、商用電源を使用した場合は商用電力料及び消耗材料費として()内の率を乗じた金額を上限として計上する。 4. 日当り施工量D_qは整数第2位までとし、1位を四捨五入する。</p>	部 材 質 量 (t)	鋸 ラーメン (鋸桁形式)	5以下	5超10以下	10超	箱 ラーメン (箱桁形式)	10以下	10超20以下	20超	a		0.8	1.0	1.4	備 考		一部材質量 = $\frac{\text{主桁質量}}{\text{主桁架設回数}}$			一部材質量 (t)	4以下	8以下	14以下	20以下	a	0.7	1.0	1.5	1.9	備 考	一部材質量 = $\frac{\text{主桁質量}}{\text{主桁架設回数}}$				日当り施工量D _q (本/日)	編成人員 (人)	諸雑費率(%)	$D_q = \frac{Q}{0.52Q/1,000 + 0.19}$ ただし 上限を1,950本とする。	橋梁世話役	1 (注) 3	橋梁特殊工	5 8	普通作業員	1 (4)	<p>現 行 通 り</p>
部 材 質 量 (t)	鋸 ラーメン (鋸桁形式)		5以下	5超10以下	10超																																									
	箱 ラーメン (箱桁形式)	10以下	10超20以下	20超																																										
a		0.8	1.0	1.4																																										
備 考		一部材質量 = $\frac{\text{主桁質量}}{\text{主桁架設回数}}$																																												
一部材質量 (t)	4以下	8以下	14以下	20以下																																										
a	0.7	1.0	1.5	1.9																																										
備 考	一部材質量 = $\frac{\text{主桁質量}}{\text{主桁架設回数}}$																																													
日当り施工量D _q (本/日)	編成人員 (人)	諸雑費率(%)																																												
$D_q = \frac{Q}{0.52Q/1,000 + 0.19}$ ただし 上限を1,950本とする。	橋梁世話役	1 (注) 3																																												
	橋梁特殊工	5 8																																												
	普通作業員	1 (4)																																												

土木工事標準歩掛の一部改定
鋼橋架設工

工種名	現 行	改 定																										
	<p>1-8 落橋防止装置取付工 P C鋼棒又はケーブルによって連結される落橋防止装置の取付歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表1.10 落橋防止装置取付工歩掛</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">日当り施工量D_k (組/日)</th> <th colspan="2">編成人員 (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">6</td> <td style="text-align: center;">橋梁世話役</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">橋梁特殊工</td> <td style="text-align: center;">3</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">普通作業員</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 1組とはP C鋼棒又はケーブルを1本とし、それに付随するその他の部品をすべて含む。なお、鋼製ブラケット部の取付は架設工に含む。 2. クレーン賃料、架設工具損料等は表1.15により、別途計上する。 3. 鋼板を主体とした落橋防止装置（タイバー連結による、主桁突起をストッパーとする等）の取付けは架設工に含む。</p> <p>1-9 アンカー工 アンカー工は、現場条件等により、別途計上する。なお、架設設計（アンカー工）による場合には、一般土木と同様とする。</p> <p>1-10 小運搬工 小運搬工は、現場条件、架設条件、輸送条件などで、一時仮置きを必要とする場合、別途計上する。 小運搬工の計上にあたっては、大規模工事で扱い部材数量が多い場合、取付道路が屈曲していて作業用地の狭い場合、交通規制を受ける場合などで一時仮置きをしなければならない現場の状況を判断したうえで、工法に応じて別途計上する。</p> <p>1-11 架設用機械設備据付・解体 1-11-1 ケーブルクレーン設備据付・解体歩掛 ケーブルクレーン設備据付・解体歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表1.11 ケーブルクレーン設備据付・解体歩掛</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">建 方</th> <th style="width: 10%;">型 式</th> <th style="width: 15%;">所要日数dc (日)</th> <th colspan="2">編成人員 (人)</th> <th style="width: 10%;">諸雑費率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">ラフテレン クレーン</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">型 2 系 統</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">0.095W+0.12L+1.47</td> <td style="text-align: center;">橋梁世話役</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">(注) 3 5 (0.5)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">橋梁特殊工</td> <td style="text-align: center;">7</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">普通作業員</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> </tbody> </table> <p>W：鉄塔質量 (t) L：鉄塔間長 (m)</p> <p>(注) 1. クレーン賃料、架設工具損料等は表1.15により、別途計上する。 2. アンカ及び鉄塔基礎は、現場状況により別途計上する。 3. 諸雑費は、発動発電機を使用した場合の発動発電機の燃料・油脂類の費用等であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。なお、商用電源を使用した場合は架設工具使用の商用電力料及び消耗材料費として()内の率を乗じた金額を上限として計上する。 4. 門型3系統の場合は、別途考慮する。 5. 所要日数dcは小数第1位とし、第2位を四捨五入する。</p>	日当り施工量D _k (組/日)	編成人員 (人)		6	橋梁世話役	1	橋梁特殊工	3	普通作業員	1	建 方	型 式	所要日数dc (日)	編成人員 (人)		諸雑費率 (%)	ラフテレン クレーン	型 2 系 統	0.095W+0.12L+1.47	橋梁世話役	1	(注) 3 5 (0.5)	橋梁特殊工	7	普通作業員	1	現 行 通 り
日当り施工量D _k (組/日)	編成人員 (人)																											
6	橋梁世話役	1																										
	橋梁特殊工	3																										
	普通作業員	1																										
建 方	型 式	所要日数dc (日)	編成人員 (人)		諸雑費率 (%)																							
ラフテレン クレーン	型 2 系 統	0.095W+0.12L+1.47	橋梁世話役	1	(注) 3 5 (0.5)																							
			橋梁特殊工	7																								
			普通作業員	1																								

土木工事標準歩掛の一部改定 鋼橋架設工

工種名	現 行	改 定																																																									
	<p>1-11-2 ケーブルエレクション設備据付・解体 ケーブルエレクション設備据付・解体歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表1.12 ケーブルエレクション設備据付・解体歩掛</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">建 方</th> <th rowspan="2">型式</th> <th rowspan="2">フォワードケーブル</th> <th rowspan="2">所要日数de (日)</th> <th colspan="2">編成人員 (人)</th> <th rowspan="2">諸雑費率 (%)</th> </tr> <tr> <th>橋梁世話役</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">ラフテレーンクレーン</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">吊</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">3本</td> <td>A+0.078W</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">1</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">7</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">(注) 3 5</td> </tr> <tr> <td>A+0.067W</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">吊</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">4本</td> <td>A+0.053W</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">1</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">1</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">(0.5)</td> </tr> <tr> <td>A+0.080W</td> </tr> </tbody> </table> <p>W：吊下橋体質量 (t) A：ケーブルクレーン設備据付・解体所要日数 (日)</p> <p>(注) 1. クレーン賃料、架設工具損料等は表1.15により、別途計上する。 2. アンカ及び鉄塔基礎は、現場状況により別途計上する。 3. 諸雑費は、発動発電機を使用した場合の発動発電機の燃料・油脂類の費用等であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。なお、商用電源を使用した場合は架設工具使用の商用電力料として () 内の率を乗じた金額を上限として計上する。 4. 所要日数deは小数第1位とし、第2位を四捨五入する。</p> <p>1-11-3 ベント設備設置・撤去 ベント設備設置・撤去歩掛は、次表を標準とする。なお、ベント用足場の設置・撤去労務を含む。</p> <p style="text-align: center;">表1.13 ベント設備設置・撤去歩掛</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>使用機械</th> <th>日当り施工量 D_t (t/日)</th> <th colspan="2">編成人員 (人)</th> <th>諸雑費率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">ラフテレーンクレーン</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">$D_t = \frac{T}{0.14T + 1.0}$</td> <td style="text-align: center;">橋梁世話役</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">(注) 3 3</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">橋梁特殊工</td> <td style="text-align: center;">5</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">普通作業員</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">(0.6)</td> </tr> </tbody> </table> <p>T：ベント総質量 (t)</p> <p>(注) 1. クレーン賃料、架設工具損料等は表1.15により、別途計上する。 2. ベント基礎は、現場状況により計上する。 3. 諸雑費は、発動発電機を使用した場合の燃料・油脂類の費用等であり、労務費の合計額に表1.13の率を乗じた金額を上限として計上する。なお、商用電源を使用した場合は商用電力料として () 内の率を乗じた金額を上限として計上する。 4. 日当り施工量D_tは小数第1位までとし、2位を四捨五入する。 5. ベント用足場の供用1日当り損料はベント設備供用1日当り損料に付表-1の率を乗じたものを上限とし、供用日数はベント設備供用日数と同等として計上する。ただし、平均ベント高さ2m未満の場合は計上しない。</p> <p style="text-align: center;">付表-1 ベント用足場のベント設備損料に乗ずる率</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>平均ベント高さh (m)</th> <th>ベント設備損料に乗ずる率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">2以上10未満</td> <td style="text-align: center;">4</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">10以上30以下</td> <td style="text-align: center;">3</td> </tr> </tbody> </table> <p>1-11-4 ベント基礎設置・撤去 鋼板によるベント基礎設置・撤去歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表1.14 ベント基礎設置・撤去歩掛</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>使用機械</th> <th>日当り施工量 D_a (m²/日)</th> <th colspan="2">編成人員 (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">ラフテレーンクレーン</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">$D_a = \frac{A}{0.029A + 0.14}$</td> <td style="text-align: center;">橋梁世話役</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">橋梁特殊工</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">普通作業員</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> </tbody> </table> <p>A：ベント基礎の延面積 (m²)</p> <p>(注) 1. 鋼板規格は、鋼板厚さ22mmを標準とする。 2. 整地が必要な場合は、別途計上する。 3. 鋼板損耗費について、別途計上する。 4. 日当り施工量D_aは整数止めとし、小数第1位を四捨五入する。 5. ベント基礎の延面積 (A) は次式による。</p>	建 方	型式	フォワードケーブル	所要日数de (日)	編成人員 (人)		諸雑費率 (%)	橋梁世話役		ラフテレーンクレーン	吊	3本	A+0.078W	1	7	(注) 3 5	A+0.067W	吊	4本	A+0.053W	1	1	(0.5)	A+0.080W	使用機械	日当り施工量 D _t (t/日)	編成人員 (人)		諸雑費率 (%)	ラフテレーンクレーン	$D_t = \frac{T}{0.14T + 1.0}$	橋梁世話役	1	(注) 3 3	橋梁特殊工	5	普通作業員	1	(0.6)	平均ベント高さh (m)	ベント設備損料に乗ずる率 (%)	2以上10未満	4	10以上30以下	3	使用機械	日当り施工量 D _a (m ² /日)	編成人員 (人)		ラフテレーンクレーン	$D_a = \frac{A}{0.029A + 0.14}$	橋梁世話役	1	橋梁特殊工	2	普通作業員	1	現 行 通 り
建 方	型式					フォワードケーブル	所要日数de (日)		編成人員 (人)					諸雑費率 (%)																																													
		橋梁世話役																																																									
ラフテレーンクレーン	吊	3本	A+0.078W	1	7	(注) 3 5																																																					
			A+0.067W																																																								
	吊	4本	A+0.053W	1	1	(0.5)																																																					
			A+0.080W																																																								
使用機械	日当り施工量 D _t (t/日)	編成人員 (人)		諸雑費率 (%)																																																							
ラフテレーンクレーン	$D_t = \frac{T}{0.14T + 1.0}$	橋梁世話役	1	(注) 3 3																																																							
		橋梁特殊工	5																																																								
		普通作業員	1	(0.6)																																																							
平均ベント高さh (m)	ベント設備損料に乗ずる率 (%)																																																										
2以上10未満	4																																																										
10以上30以下	3																																																										
使用機械	日当り施工量 D _a (m ² /日)	編成人員 (人)																																																									
ラフテレーンクレーン	$D_a = \frac{A}{0.029A + 0.14}$	橋梁世話役	1																																																								
		橋梁特殊工	2																																																								
		普通作業員	1																																																								

土木工事標準歩掛の一部改定
鋼橋架設工

工種名	現 行	改 定																																				
	<p>$A = \sum A_i$</p> <p>$h < 10 \quad A_i = (B + 2) \times (0.15 \times h + 1.5)$</p> <p>$10 \leq h \leq 30 \quad A_i = (B + 2) \times 3$</p> <p>ただし、$A_i$：ペント1基当りの基礎の面積 (m²)</p> <p>B：外桁～外桁間隔（箱桁は外Web～外Web間隔）(m)</p> <p>h：ペント高さ（基礎天端から主桁下端まで）(m)</p> <p>W：ペント基礎の幅 (m)</p> <p>なお、A_i、B、h、Wとも小数第1位止（2位四捨五入）とする。</p> <p>1-12 架設用機械設備及び工具の供用日数</p> <p>架設用機械設備及び工具の供用日数は、次表を標準とする。これにより難い場合は、別途考慮する。</p> <p style="text-align: center;">表1.15 設備及び工具の供用日数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>設備機械工具名</th> <th>工 法 別</th> <th>供用日数(移動式クレーンは運転日数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">移動式クレーン</td> <td rowspan="2">トラッククレーン</td> <td>主 (A又はA+B)</td> </tr> <tr> <td>補助 (C+D+I)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">トラッククレーンによるステーキング</td> <td>主 (A又はA+B)</td> </tr> <tr> <td>補助 (C+D+E+I)</td> </tr> <tr> <td>ケーブルクレーン</td> <td># (F+I)</td> </tr> <tr> <td>ケーブルクレーンによるステーキング</td> <td># (F+I)</td> </tr> <tr> <td>ケーブルエレクション</td> <td># (G+I)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ケーブルクレーン</td> <td>ケーブルクレーン</td> <td>(A+B+C+D+F+H)×1.5</td> </tr> <tr> <td>ケーブルクレーンによるステーキング</td> <td>(A+B+C+D+E+F+H)×1.5</td> </tr> <tr> <td>ケーブルエレクション</td> <td></td> <td>(A+B+C+D+G+H)×1.5</td> </tr> <tr> <td>ペ ン ト</td> <td></td> <td>(A+B+C+E+H)×1.5</td> </tr> <tr> <td>架設工具(組立用工具及びボルト締付け用)</td> <td></td> <td>(A+B+C+D+E+(F又はG)+H)×1.5</td> </tr> <tr> <td>ドリフトピン及び仮 縮 め ボ ル ト</td> <td></td> <td>(A+B+C+(F又はG)+H)×1.5</td> </tr> <tr> <td>発 動 発 電 機</td> <td></td> <td>(A+B+C+E+(F又はG)+H)×1.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>A：架設日数 (W/D₀)</p> <p>B：地組日数 (G/D₀)</p> <p>C：支承据付日数 (N/D₀)</p> <p>D：落橋防止装置取付日数 (K/D₀ K：落橋防止装置組数)</p> <p>E：ペント設置・撤去日数 (T/D₀)</p> <p>F：ケーブルクレーン設備据付・解体日数 (dc)</p> <p>G：ケーブルエレクション設備据付・解体日数 (de)</p> <p>H：ボルト締付け日数 (Q/D₀) 及び現場溶接日数</p> <p>I：小運搬日数</p> <p>(注) 1. 供用日数は1パーティで各工種ごとに供用日数を累加している。大規模工事・工期などから上表により難い場合、2パーティ、3パーティと編成人員を増す場合などは、工程表から工種による供用日数のラップ等を考慮する。</p> <p>2. トラッククレーン工法で地組のある場合は、主クレーンの供用日数をA+Bとする。</p> <p>3. 鋼床版溶接に伴う機械設備及び工具は、別途計上する。</p> <p>4. トラッククレーン、ラフテレーンクレーン、発動発電機は、賃料とする。</p> <p>5. 発動発電機の燃料、油脂類については架設等諸雑費に含まれる。</p> <p>6. 移動式クレーンの運転日数及びその他各種機械類の供用日数は整数止めとし、小数第1位を四捨五入する。</p> <p>7. ペント基礎に鋼板を用いる場合は、補助クレーンの運転日数に基礎にかかる運転日数も計上するものとする。</p>	設備機械工具名	工 法 別	供用日数(移動式クレーンは運転日数)	移動式クレーン	トラッククレーン	主 (A又はA+B)	補助 (C+D+I)	トラッククレーンによるステーキング	主 (A又はA+B)	補助 (C+D+E+I)	ケーブルクレーン	# (F+I)	ケーブルクレーンによるステーキング	# (F+I)	ケーブルエレクション	# (G+I)	ケーブルクレーン	ケーブルクレーン	(A+B+C+D+F+H)×1.5	ケーブルクレーンによるステーキング	(A+B+C+D+E+F+H)×1.5	ケーブルエレクション		(A+B+C+D+G+H)×1.5	ペ ン ト		(A+B+C+E+H)×1.5	架設工具(組立用工具及びボルト締付け用)		(A+B+C+D+E+(F又はG)+H)×1.5	ドリフトピン及び仮 縮 め ボ ル ト		(A+B+C+(F又はG)+H)×1.5	発 動 発 電 機		(A+B+C+E+(F又はG)+H)×1.5	<p>現 行 通 り</p>
設備機械工具名	工 法 別	供用日数(移動式クレーンは運転日数)																																				
移動式クレーン	トラッククレーン	主 (A又はA+B)																																				
		補助 (C+D+I)																																				
	トラッククレーンによるステーキング	主 (A又はA+B)																																				
		補助 (C+D+E+I)																																				
	ケーブルクレーン	# (F+I)																																				
	ケーブルクレーンによるステーキング	# (F+I)																																				
ケーブルエレクション	# (G+I)																																					
ケーブルクレーン	ケーブルクレーン	(A+B+C+D+F+H)×1.5																																				
	ケーブルクレーンによるステーキング	(A+B+C+D+E+F+H)×1.5																																				
ケーブルエレクション		(A+B+C+D+G+H)×1.5																																				
ペ ン ト		(A+B+C+E+H)×1.5																																				
架設工具(組立用工具及びボルト締付け用)		(A+B+C+D+E+(F又はG)+H)×1.5																																				
ドリフトピン及び仮 縮 め ボ ル ト		(A+B+C+(F又はG)+H)×1.5																																				
発 動 発 電 機		(A+B+C+E+(F又はG)+H)×1.5																																				

土木工事標準歩掛の一部改定
鋼橋架設工

工種名	現 行	改 定
	<p>1-13 足場工, 防護工及び登り棧橋工</p> <p>1-13-1 足場工</p> <p>1-13-1-1 足場の種類と使用状況及び構成</p> <p>(1) 足場の種類は, パイプ吊り足場又はワイヤーブリッジとし, 標準はパイプ足場とするが, 次の場合はワイヤーブリッジ転用足場を考慮する。</p> <p>① 地上又は水面上高さが10m以上となる場合</p> <p>② 対岸又は相隣接する橋台, 橋脚間の作業場の通路がない場合</p> <p>③ その他安全管理上等ワイヤーブリッジ転用足場が必要な場合</p> <p>(2)使用状況</p> <p>使用は, 架設, 床版又は塗装作業の各工程ごとに単独使用を標準とするが, 現場状況, 施工状況に応じて各作業に兼用して使用することができる。</p> <p>(3) 足場構成</p> <p>各工種ごとの足場の構成は, 次のとおりとする。なお, 中段足場は桁高(腹板高)が1.5m以上の場合のみ計上する。</p> <p>架設足場: 主体足場(+中段足場)+部分作業床+安全通路</p> <p>床版足場: 主体足場(+中段足場)+床版追加足場+朝顔</p> <p>塗装足場: 主体足場(+中段足場)</p> <p>1-13-1-2 足場工費</p> <p>足場等賃料及び設置又は撤去もしくは設置撤去の労務費は次式による。なお, 供用月数は小数第1位とし, 第2位を四捨五入する。</p> <p>主体足場工費 = $(L_1 + L_2 T_1 + (N_1 + N_2) y) \times A$ (円)</p> <p>中段足場工費 = $(L_1 + L_2 T_2 + (N_1 + N_2) y) \times A$ (円)</p> <p>安全通路工費 = $(L_1 + L_2 T_3 + (N_1 + N_2) y) \times A$ (円)</p> <p>部分作業床工費 = $(L_1 + L_2 T_4 + (N_1 + N_2) y) \times A$ (円)</p> <p>朝顔工費 = $(L_1 + L_2 T_5 + (N_1 + N_2) y) \times A$ (円)</p> <p>ただし, 片側朝顔の場合は 朝顔工費 / 2 とする。</p> <p>床版追加足場工費 = $(L_1 + L_2 T_6) \times A$ (円)</p> <p>$L_1 L_2$: 賃料係数 (表1.16~21)</p> <p>T_1 : 主体足場を供用している月数 (月)</p> <p>T_2 : 中段足場を供用している月数 (月)</p> <p>T_3 : 安全通路を供用している月数 (月)</p> <p>T_4 : 部分作業床を供用している月数 (月)</p> <p>T_5 : 朝顔を供用している月数 (月)</p> <p>T_6 : 床版追加工事を供用している月数 (月)</p> <p>N_1 : 設置歩掛係数 (表1.16~21)</p> <p>N_2 : 撤去歩掛係数 (表1.16~21)</p> <p>y : 橋梁特殊単価 (円/人)</p> <p>A : 総面積 (m²) $A = W \times L$ (W: 地覆外縁間距離 (m) L: 橋長 (m))</p> <p>(注) 架設及び塗装足場において桁下に防護工を併設する場合は, 朝顔を防護工必要橋面積 (全幅員×必要長) 分計上する。さらに各工程で兼用使用する場合は各々必要な賃料及び労務を考慮する。</p>	<p>現 行 通 り</p>

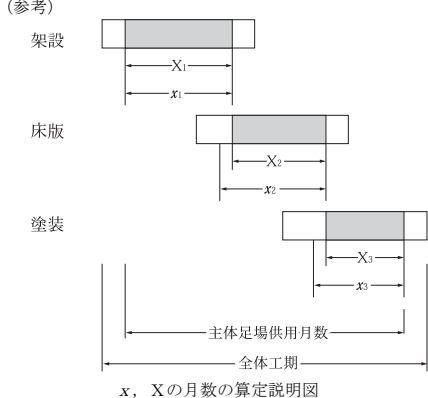
土木工事標準歩掛の一部改定
鋼橋架設工

工種名	現 行	改 定																																																																																																
	<p style="text-align: center;">表1.16 主体足場各係数</p> <table border="1" data-bbox="383 247 1030 422"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種 類</th> <th colspan="4">パイプ吊足場</th> <th colspan="4">ワイヤーブリッジ転用足場</th> </tr> <tr> <th>L₁</th> <th>L₂</th> <th>N₁</th> <th>N₂</th> <th>L₁</th> <th>L₂</th> <th>N₁</th> <th>N₂</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プレートガードボックスガード</td> <td>120</td> <td>98</td> <td>0.027</td> <td>0.019</td> <td>269</td> <td>87</td> <td>0.045</td> <td>0.028</td> </tr> <tr> <td>ラ ー メ ン</td> <td>177</td> <td>142</td> <td>0.036</td> <td>0.023</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>トラス, アーチ</td> <td>281</td> <td>227</td> <td>0.053</td> <td>0.032</td> <td>452</td> <td>222</td> <td>0.068</td> <td>0.040</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. ワイヤーブリッジ転用足場を使用する場合、πラーメン、上路式アーチには適用しない。又、単独発注する場合は架設のみしか適用しない。 2. ワイヤーブリッジ転用足場でトラス、アーチについて、上側足場はパイプ足場としての複合単価である。</p> <p style="text-align: center;">表1.17 中段足場各係数</p> <table border="1" data-bbox="443 574 969 703"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>L₁</th> <th>L₂</th> <th>N₁</th> <th>N₂</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プレートガードボックスガード</td> <td rowspan="3">88</td> <td rowspan="3">75</td> <td rowspan="3">0.012</td> <td rowspan="3">0.007</td> </tr> <tr> <td>ラ ー メ ン</td> </tr> <tr> <td>トラス, アーチ</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 中段足場は桁高(腹板高)が1.5m以上の場合に計上する。なお、トラス、アーチは上弦材又は下弦材が1.5m以上の場合において、その各々について中段足場を計上する。</p> <p style="text-align: center;">表1.18 安全通路各係数</p> <table border="1" data-bbox="443 834 969 963"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>L₁</th> <th>L₂</th> <th>N₁</th> <th>N₂</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プレートガードボックスガード</td> <td>25</td> <td>20</td> <td>0.008</td> <td>0.005</td> </tr> <tr> <td>ラ ー メ ン</td> <td>40</td> <td>35</td> <td>0.015</td> <td>0.009</td> </tr> <tr> <td>トラス, アーチ</td> <td>241</td> <td>117</td> <td>0.016</td> <td>0.009</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">表1.19 部分作業床各係数</p> <table border="1" data-bbox="443 1021 969 1150"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>L₁</th> <th>L₂</th> <th>N₁</th> <th>N₂</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プレートガードボックスガード</td> <td>27</td> <td>25</td> <td>0.004</td> <td>0.003</td> </tr> <tr> <td>ラ ー メ ン</td> <td>59</td> <td>51</td> <td>0.015</td> <td>0.009</td> </tr> <tr> <td>トラス, アーチ</td> <td>121</td> <td>36</td> <td>0.017</td> <td>0.010</td> </tr> </tbody> </table>	種 類	パイプ吊足場				ワイヤーブリッジ転用足場				L ₁	L ₂	N ₁	N ₂	L ₁	L ₂	N ₁	N ₂	プレートガードボックスガード	120	98	0.027	0.019	269	87	0.045	0.028	ラ ー メ ン	177	142	0.036	0.023	—	—	—	—	トラス, アーチ	281	227	0.053	0.032	452	222	0.068	0.040	種 類	L ₁	L ₂	N ₁	N ₂	プレートガードボックスガード	88	75	0.012	0.007	ラ ー メ ン	トラス, アーチ	種 類	L ₁	L ₂	N ₁	N ₂	プレートガードボックスガード	25	20	0.008	0.005	ラ ー メ ン	40	35	0.015	0.009	トラス, アーチ	241	117	0.016	0.009	種 類	L ₁	L ₂	N ₁	N ₂	プレートガードボックスガード	27	25	0.004	0.003	ラ ー メ ン	59	51	0.015	0.009	トラス, アーチ	121	36	0.017	0.010	<p style="text-align: center;">現 行 通 り</p>
種 類	パイプ吊足場				ワイヤーブリッジ転用足場																																																																																													
	L ₁	L ₂	N ₁	N ₂	L ₁	L ₂	N ₁	N ₂																																																																																										
プレートガードボックスガード	120	98	0.027	0.019	269	87	0.045	0.028																																																																																										
ラ ー メ ン	177	142	0.036	0.023	—	—	—	—																																																																																										
トラス, アーチ	281	227	0.053	0.032	452	222	0.068	0.040																																																																																										
種 類	L ₁	L ₂	N ₁	N ₂																																																																																														
プレートガードボックスガード	88	75	0.012	0.007																																																																																														
ラ ー メ ン																																																																																																		
トラス, アーチ																																																																																																		
種 類	L ₁	L ₂	N ₁	N ₂																																																																																														
プレートガードボックスガード	25	20	0.008	0.005																																																																																														
ラ ー メ ン	40	35	0.015	0.009																																																																																														
トラス, アーチ	241	117	0.016	0.009																																																																																														
種 類	L ₁	L ₂	N ₁	N ₂																																																																																														
プレートガードボックスガード	27	25	0.004	0.003																																																																																														
ラ ー メ ン	59	51	0.015	0.009																																																																																														
トラス, アーチ	121	36	0.017	0.010																																																																																														

土木工事標準歩掛の一部改定 鋼橋架設工

工種名	現 行	改 定																																																																																																																																																																																																		
	<p style="text-align: center;">表1.20 朝顔各係数</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>L₁</th> <th>L₂</th> <th>N₁</th> <th>N₂</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プレートガーダボックスガーダ</td> <td>50</td> <td>41</td> <td>0.013</td> <td>0.009</td> </tr> <tr> <td>ラ ー メ ン</td> <td>41</td> <td>38</td> <td>0.016</td> <td>0.012</td> </tr> <tr> <td>トラス, アーチ</td> <td>40</td> <td>37</td> <td>0.013</td> <td>0.009</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 上表は、両側朝顔時の係数である。</p> <p style="text-align: center;">表1.21 床版追加足場各係数</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>L₁</th> <th>L₂</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プレートガーダボックスガーダ</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">15</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">11</td> </tr> <tr> <td>ラ ー メ ン</td> </tr> <tr> <td>トラス, アーチ</td> </tr> </tbody> </table> <p>(参考) 足場を架設・床版・塗装の各作業で単独使用あるいは兼用使用する場合、次表を参考に各項目を計上する。なお、兼用使用する場合については、工事毎に発注方法を考慮する。</p> <p style="text-align: center;">表1.22 架設・床版・塗装に単独使用する場合</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">足場部品 項 目</th> <th colspan="3">主体足場</th> <th colspan="3">中段足場</th> <th colspan="3">安全通路</th> <th colspan="3">部分作業床</th> <th colspan="3">朝 顔</th> <th rowspan="2">板追加足場 賃料</th> </tr> <tr> <th>賃料</th> <th>設置</th> <th>撤去</th> <th>賃料</th> <th>設置</th> <th>撤去</th> <th>賃料</th> <th>設置</th> <th>撤去</th> <th>賃料</th> <th>設置</th> <th>撤去</th> <th>賃料</th> <th>設置</th> <th>撤去</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>架設工事</td> <td>x₁</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>x₁</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>x₁</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>x₁</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>床版工事</td> <td>x₂</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>x₂</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>x₂</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>x₂</td> </tr> <tr> <td>塗装工事</td> <td>x₃</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>x₃</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">表1.23 架設・床版・塗装に兼用使用する場合</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">足場部品 項 目</th> <th colspan="3">主体足場</th> <th colspan="3">中段足場</th> <th colspan="3">安全通路</th> <th colspan="3">部分作業床</th> <th colspan="3">朝 顔</th> <th rowspan="2">板追加足場 賃料</th> </tr> <tr> <th>賃料</th> <th>設置</th> <th>撤去</th> <th>賃料</th> <th>設置</th> <th>撤去</th> <th>賃料</th> <th>設置</th> <th>撤去</th> <th>賃料</th> <th>設置</th> <th>撤去</th> <th>賃料</th> <th>設置</th> <th>撤去</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>架設工事</td> <td>X₁+</td> <td></td> <td></td> <td>X₁+</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>床版工事</td> <td>X₂+</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>X₂+</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>x₁</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>x₁</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>x₂</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>x₂</td> </tr> <tr> <td>塗装工事</td> <td>X₃</td> <td></td> <td></td> <td>X₃</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>x₁: 架設用足場を供用している月数 x₂: 床版用足場を供用している月数 x₃: 現場塗装用足場を供用している月数 X₁: 主体足場を供用している月数 X₂: 主体足場を供用している月数の架設、床版期間から架設期間を引いた月数 X₃: 主体足場を供用している月数の架設、床版、塗装期間又は床版、塗装期間から架設、床版の期間を引いた月数</p> <p>(注) 1. 積上げ項目の賃料は各足場部品の賃料係数L₁、L₂を、設置・撤去はそれぞれ設置労務N₁・撤去労務N₂を表す。 2. 賃料欄に記載されている月数が該当足場部品の架設月数を表す。 3. 設置・撤去欄に「○」が記載されている該当足場部品について各々設置・撤去労務を計上する。 4. 上表は足場工のみを設置する場合を想定しており、防護工を併設する場合は朝顔を別途考慮する。</p>	種 類	L ₁	L ₂	N ₁	N ₂	プレートガーダボックスガーダ	50	41	0.013	0.009	ラ ー メ ン	41	38	0.016	0.012	トラス, アーチ	40	37	0.013	0.009	種 類	L ₁	L ₂	プレートガーダボックスガーダ	15	11	ラ ー メ ン	トラス, アーチ	足場部品 項 目	主体足場			中段足場			安全通路			部分作業床			朝 顔			板追加足場 賃料	賃料	設置	撤去	賃料	設置	撤去	賃料	設置	撤去	賃料	設置	撤去	賃料	設置	撤去	架設工事	x ₁	○	○	x ₁	○	○	x ₁	○	○	x ₁	○	○					床版工事	x ₂	○	○	x ₂	○	○							x ₂	○	○	x ₂	塗装工事	x ₃	○	○	x ₃	○	○											足場部品 項 目	主体足場			中段足場			安全通路			部分作業床			朝 顔			板追加足場 賃料	賃料	設置	撤去	賃料	設置	撤去	賃料	設置	撤去	賃料	設置	撤去	賃料	設置	撤去	架設工事	X ₁ +			X ₁ +													床版工事	X ₂ +	○	○	X ₂ +	○	○	x ₁	○	○	x ₁	○	○	x ₂	○	○	x ₂	塗装工事	X ₃			X ₃													現 行 通 り
種 類	L ₁	L ₂	N ₁	N ₂																																																																																																																																																																																																
プレートガーダボックスガーダ	50	41	0.013	0.009																																																																																																																																																																																																
ラ ー メ ン	41	38	0.016	0.012																																																																																																																																																																																																
トラス, アーチ	40	37	0.013	0.009																																																																																																																																																																																																
種 類	L ₁	L ₂																																																																																																																																																																																																		
プレートガーダボックスガーダ	15	11																																																																																																																																																																																																		
ラ ー メ ン																																																																																																																																																																																																				
トラス, アーチ																																																																																																																																																																																																				
足場部品 項 目	主体足場			中段足場			安全通路			部分作業床			朝 顔			板追加足場 賃料																																																																																																																																																																																				
	賃料	設置	撤去	賃料	設置	撤去	賃料	設置	撤去	賃料	設置	撤去	賃料	設置	撤去																																																																																																																																																																																					
架設工事	x ₁	○	○	x ₁	○	○	x ₁	○	○	x ₁	○	○																																																																																																																																																																																								
床版工事	x ₂	○	○	x ₂	○	○							x ₂	○	○	x ₂																																																																																																																																																																																				
塗装工事	x ₃	○	○	x ₃	○	○																																																																																																																																																																																														
足場部品 項 目	主体足場			中段足場			安全通路			部分作業床			朝 顔			板追加足場 賃料																																																																																																																																																																																				
	賃料	設置	撤去	賃料	設置	撤去	賃料	設置	撤去	賃料	設置	撤去	賃料	設置	撤去																																																																																																																																																																																					
架設工事	X ₁ +			X ₁ +																																																																																																																																																																																																
床版工事	X ₂ +	○	○	X ₂ +	○	○	x ₁	○	○	x ₁	○	○	x ₂	○	○	x ₂																																																																																																																																																																																				
塗装工事	X ₃			X ₃																																																																																																																																																																																																

土木工事標準歩掛の一部改定
鋼橋架設工

工種名	現 行	改 定																
	<p>(参考)</p>  <p>x, Xの月数の算定説明図</p> <p>1-13-1-3 側面塗装足場 トラス、アーチ等の斜材、吊材を有する構造では、次式による現場塗装用側面足場工費を前記塗装用足場工費に別途計上する。 $\text{塗装用側面足場工費} = (38 + 33 T_7 + 0.018 y) \times A \quad (\text{円})$ $T_7 : \text{塗装用足場を供用している総月数 (月)}$ $y : \text{橋梁特殊工単価 (円/人)}$ $A : \text{トラス等の側面面積 (左右両弦の計) (m}^2\text{)}$ $A = \text{側面投影面積 (m}^2\text{)} \times 2$</p> <p>1-13-2 防護工 防護工は、使用目的、種類等により、次により計上する。 なお、板張防護・シート張防護を桁下に設置する場合は、足場工にて主体足場及び朝顔を別途計上する。 (1) 板張防護工 桁下に鉄道又は道路等があり、第三者に危害を及ぼす恐れのある場合とし、1-13-1足場工費に別途計上する。 $\text{板張防護工費} = (L_1 + L_2 T_8 + (N_1 + N_2) y) \times A \quad (\text{円})$ $L_1 L_2 : \text{賃料係数 (表1.24)}$ $T_8 : \text{防護部を供用している月数}$ $N_1 : \text{設置歩掛係数 (表1.24)}$ $N_2 : \text{撤去歩掛係数 (表1.24)}$ $y : \text{橋梁特殊工単価 (円/人)}$ $A : \text{防護工必要橋面積 (m}^2\text{)}$ $A = \text{全幅員} \times \text{必要長}$ <p style="text-align: center;">表1.24 板張防護部各係数</p> <table border="1" data-bbox="443 1204 974 1332"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>L₁</th> <th>L₂</th> <th>N₁</th> <th>N₂</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プレートガードボックス ス ガ ー ド</td> <td rowspan="2">140 (116)</td> <td rowspan="2">161 (149)</td> <td rowspan="2">0.027 (0.025)</td> <td rowspan="2">0.012 (0.011)</td> </tr> <tr> <td>ラ ー メ ン</td> </tr> <tr> <td>ト ラ ス , ア ー チ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. ()内は片側朝顔の場合使用する。 2. 各係数には、側面(朝顔)部分に要する防護費を含む</p> </p>	種 類	L ₁	L ₂	N ₁	N ₂	プレートガードボックス ス ガ ー ド	140 (116)	161 (149)	0.027 (0.025)	0.012 (0.011)	ラ ー メ ン	ト ラ ス , ア ー チ					<p style="text-align: center;">現 行 通 り</p>
種 類	L ₁	L ₂	N ₁	N ₂														
プレートガードボックス ス ガ ー ド	140 (116)	161 (149)	0.027 (0.025)	0.012 (0.011)														
ラ ー メ ン																		
ト ラ ス , ア ー チ																		

土木工事標準歩掛の一部改定
鋼橋架設工

工種名	現 行	改 定																				
	<p>(2) シート張防護工 鋼橋塗装において塗装飛散を防止する必要がある場合とし、1-13-1足場工費に別途計上する。 シート張防護工費 = {L₁ + L₂T₈ + N₁y (設置) + N₂y (撤去)} × A (円) L₁L₂ : 損料係数 (表1.25) T₈ : 防護部を供用している月数 N₁ : 設置歩掛係数 (表1.25) N₂ : 撤去歩掛係数 (表1.25) y : 橋梁特殊工単価 (円/人) A : 防護工必要橋面積 (m²) A = 全幅員 × 必要長</p> <p style="text-align: center;">表1.25 シート張防護工</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">種 類</th> <th style="text-align: center;">L₁</th> <th style="text-align: center;">L₂</th> <th style="text-align: center;">N₁</th> <th style="text-align: center;">N₂</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">プレートガードボックス ス ガ ー ド</td> <td style="text-align: center;">90</td> <td style="text-align: center;">78</td> <td style="text-align: center;">0.006</td> <td style="text-align: center;">0.003</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">ラ ー メ ン</td> <td style="text-align: center;">(55)</td> <td style="text-align: center;">(55)</td> <td style="text-align: center;">(0.005)</td> <td style="text-align: center;">(0.003)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">トラス, アーチ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. ()内は片側朝顔の場合使用する。 2. 各係数には、側面(朝顔)部分に要する防護費を含む。 3. 「シート+板」張防護を行う場合は、別途考慮する。</p> <p>また、トラス、アーチ等側面を塗装する場合、飛散防止のためのシート張防護工を設置する場合は、次式による。 シート張防護工費 = {39 + 26T₉ + 0.003y (設置) + 0.001y (撤去)} × A (円) T₉ : 防護工供用月数 (月) y : 橋梁特殊工単価 (円/人) A : トラスの側面面積 (左右両弦の合計) (m²) A = 側面投影面積 × 2</p> <p>(3) ワイヤブリッジ防護工 転落防護及び落下防止の目的でワイヤブリッジを設置する場合とし、次式による。 (ワイヤブリッジ転用足場としない場合) ワイヤブリッジ防護工費 = {229 + 59T₁₀ + 0.045y (設置) + 0.019y (撤去)} × A (円) T₁₀ : 防護工(ワイヤブリッジ)供用月数 (月) y : 橋梁特殊工単価 (円/人) A : 橋面積 (m²) A = 全幅員 × 橋長</p> <p>1-13-3 登り栈橋工 1-13-3-1 設置条件及び設置箇所数 橋脚の登り栈橋については、次により計上する。 ① 橋脚、橋台の高さが5.0m以上となる場合。 ② 設置箇所数は、現場状況を勘案するが、これにより難い場合は下記による。 2スパンに1箇所又は100mに1箇所とし、河川をまたぐ場合は兩岸に各1箇所。</p> <p>1-13-3-2 登り栈橋工費 登り栈橋工費は、次式による。 登り栈橋工費 = {2,942T₁₁ + 0.407y (設置) + 0.292y (撤去)} × H (円) T₁₁ : 登り栈橋を供用している月数 (月) y : 橋梁特殊工単価 (円/人) H : 登り栈橋の高さ (m)</p>	種 類	L ₁	L ₂	N ₁	N ₂	プレートガードボックス ス ガ ー ド	90	78	0.006	0.003	ラ ー メ ン	(55)	(55)	(0.005)	(0.003)	トラス, アーチ					現 行 通 り
種 類	L ₁	L ₂	N ₁	N ₂																		
プレートガードボックス ス ガ ー ド	90	78	0.006	0.003																		
ラ ー メ ン	(55)	(55)	(0.005)	(0.003)																		
トラス, アーチ																						

土木工事標準歩掛の一部改定
鋼橋架設工

工種名	現 行	改 定																																												
	<p>1-14 鋼橋床版工</p> <p>本資料は、鋼橋床版工のうち足場工及び防護工、型枠工、鉄筋工、コンクリート工、養生工に適用する。</p> <p>1-14-1 足場工及び防護工 「1-13 足場工、防護工及び登り桟橋工」による。</p> <p>1-14-2 型 枠 工 型枠材料は合板製とし、鋼製ビームによる吊金具支保を標準とする。</p> <p>1-14-2-1 型枠製作・設置・撤去歩掛 型枠製作・設置・撤去及びケレン、はく離剤塗布歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表1.26 型枠製作・設置・撤去歩掛 (型枠面積100m²当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">名 称</th> <th style="width: 20%;">規 格</th> <th style="width: 10%;">単 位</th> <th style="width: 10%;">数 量</th> <th style="width: 10%;">償 却 率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>5.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>枠 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>19.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>13.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>枠 用 合 板</td> <td>JS規格 板面品質B-C ×900×1,800mm</td> <td>枚</td> <td>70.5</td> <td>33%</td> </tr> <tr> <td>割 材</td> <td>6×6cm</td> <td>m³</td> <td>2.6</td> <td>33%</td> </tr> <tr> <td>雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>7 (12)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 諸雑費は、はく離剤、セパレータ、フォームタイ、パイプサポート、吊チェーン、ターンバックル、パイプ、鋼製ビームの経費及び現場で吊金具(ボルトを含む)取付を行う場合の費用であり、労務費、材料費の合計額(補正値を含む)に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>2. 吊金具等取付けを現場で行う場合の諸雑費率は()内の値とする。</p> <p>1-14-2-2 橋梁型式による補正係数 補正係数は、労務、材料及び鋼製ビームの数量に乘ずる。 補正係数を加味した数量=数量×(1+K) K=K₁+K₂ K₁, K₂: 補正係数</p> <p style="text-align: center;">表1.27 補 正 係 数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 40%;">橋 梁 形 式</th> <th style="width: 50%;">補 正 係 数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>k₁</td> <td>斜 橋 (斜角α=75°未満)</td> <td>0.05</td> </tr> <tr> <td>k₂</td> <td>曲 線 橋 (曲線半径R=500m未満)</td> <td>0.05</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 補正係数がスパンによって異なる場合は、スパンごとの補正係数を平均する。なお、補正係数は小数点以下3位を四捨五入とする。</p> $\text{平均補正係数} = \frac{L_1 \times k_1 \times n_1 + L_2 \times k_2 \times n_2 + \dots + L_m \times k_m \times n_m}{L_1 \times n_1 + L_2 \times n_2 + \dots + L_m \times n_m}$ <p>L: 桁 長 k: 補正係数 n: 径間数</p> <p>1-14-3 鉄 筋 工 鉄筋加工・組立は、別途計上する。</p> <p>1-14-4 コンクリート工 コンクリート工は、「第5章コンクリート工①コンクリート工」による。</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	償 却 率	話 役		人	5.0		枠 工		〃	19.0		通 作 業 員		〃	13.0		枠 用 合 板	JS規格 板面品質B-C ×900×1,800mm	枚	70.5	33%	割 材	6×6cm	m ³	2.6	33%	雑 費 率		%	7 (12)			橋 梁 形 式	補 正 係 数	k ₁	斜 橋 (斜角α=75°未満)	0.05	k ₂	曲 線 橋 (曲線半径R=500m未満)	0.05	現 行 通 り
名 称	規 格	単 位	数 量	償 却 率																																										
話 役		人	5.0																																											
枠 工		〃	19.0																																											
通 作 業 員		〃	13.0																																											
枠 用 合 板	JS規格 板面品質B-C ×900×1,800mm	枚	70.5	33%																																										
割 材	6×6cm	m ³	2.6	33%																																										
雑 費 率		%	7 (12)																																											
	橋 梁 形 式	補 正 係 数																																												
k ₁	斜 橋 (斜角α=75°未満)	0.05																																												
k ₂	曲 線 橋 (曲線半径R=500m未満)	0.05																																												

**土木工事標準歩掛の一部改定
鋼橋架設工**

工種名	現 行	改 定																																						
	<p>1-14-5 養生工 養生工歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表1.28 養生工歩掛 (100m²当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">名 称</th> <th style="width: 20%;">規 格</th> <th style="width: 10%;">単 位</th> <th style="width: 10%;">数 量</th> <th style="width: 10%;">償 却 率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通 作 業 員</td> <td></td> <td>人</td> <td>1.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>生 マ ッ ト</td> <td></td> <td>m²</td> <td>110</td> <td>25%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 養生面積は、床版面積とする。 2. 養生工は、養生覆材の被覆、水散布養生程度のものとし、給熱養生等の特別な養生を必要とする場合は、別途計上する。</p> <p>1-15 グレーチング床版架設工及び足場工 1-15-1 適用範囲 本資料は、鋼橋床版工のうち、グレーチング床版(ソリッドタイプ)による橋梁床版架設工で、床版標準ブロック質量2,000kg以下の架設に適用する。 1-15-2 施工歩掛 (1) 床版架設歩掛の適用範囲 歩掛には、床版架設、継手筋挿入、引出し、結束、床版継手設置、地覆型枠外側プレート及び支持板取付けを含み、地覆鉄筋、各部補強鉄筋等現場筋の配筋、排水桝(管)、伸縮継手、高欄等の設置は、別途計上する。 (2) 機種を選定 機種・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表1.29 機種を選定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">機 械 名</th> <th style="width: 30%;">規 格</th> <th style="width: 50%;">摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">トラッククレーン</td> <td>圧伸縮ジブ型4.9t吊</td> <td>架設面積1,000m²未満</td> </tr> <tr> <td>圧伸縮ジブ型16t吊</td> <td>架設面積1,000m²以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. トラッククレーンの規格は、床版上より架設する場合であり、現場条件により上表により難い場合は、別途考慮する。 2. トラッククレーンは、賃料とする。</p> <p>(3) 日当り編成人員 床版架設作業の日当り編成人員は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表1.30 日当り編成人員 (人)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">橋 梁 世 話 役</th> <th style="width: 25%;">橋 梁 特 殊 工 事</th> <th style="width: 25%;">接 工</th> <th style="width: 25%;">普 通 作 業 員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">3</td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 床版架設歩掛 1) 床版100m²当り架設日数 床版100m²当り架設日数は、次表による。</p> <p style="text-align: center;">表1.31 床版100m²当り架設日数 (日/100m²)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">床版架設面積 (m²)</th> <th style="width: 70%;">100m²当り架設日数 (日/100m²)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1,000m²未満</td> <td style="text-align: center;">$= (2.87 - \frac{1.47}{1000} \cdot A) \cdot K$</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">1,000m²以上</td> <td style="text-align: center;">$= 1.4 \cdot K$</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) y : 床版100m²当り架設日数 (日/100m²) yは小数第2位を四捨五入し、小数第1位止とする。 A : 床版架設面積 (m²) A = 地覆外縁間距離×橋長とする。 K : 床版標準ブロック質量による係数 (表1.32)</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	償 却 率	通 作 業 員		人	1.6		生 マ ッ ト		m ²	110	25%	機 械 名	規 格	摘 要	トラッククレーン	圧伸縮ジブ型4.9t吊	架設面積1,000m ² 未満	圧伸縮ジブ型16t吊	架設面積1,000m ² 以上	橋 梁 世 話 役	橋 梁 特 殊 工 事	接 工	普 通 作 業 員	1	2	1	3	床版架設面積 (m ²)	100m ² 当り架設日数 (日/100m ²)	1,000m ² 未満	$= (2.87 - \frac{1.47}{1000} \cdot A) \cdot K$	1,000m ² 以上	$= 1.4 \cdot K$	}	現 行 通 り
名 称	規 格	単 位	数 量	償 却 率																																				
通 作 業 員		人	1.6																																					
生 マ ッ ト		m ²	110	25%																																				
機 械 名	規 格	摘 要																																						
トラッククレーン	圧伸縮ジブ型4.9t吊	架設面積1,000m ² 未満																																						
	圧伸縮ジブ型16t吊	架設面積1,000m ² 以上																																						
橋 梁 世 話 役	橋 梁 特 殊 工 事	接 工	普 通 作 業 員																																					
1	2	1	3																																					
床版架設面積 (m ²)	100m ² 当り架設日数 (日/100m ²)																																							
1,000m ² 未満	$= (2.87 - \frac{1.47}{1000} \cdot A) \cdot K$																																							
1,000m ² 以上	$= 1.4 \cdot K$																																							

土木工事標準歩掛の一部改定
鋼橋架設工

工種名	現 行	改 定																																																	
	<p>2) 床版標準ブロック質量による係数 (K) 床版標準ブロック質量による係数は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表1.32 床版標準ブロック質量による係数</p> <table border="1" data-bbox="459 287 952 406"> <thead> <tr> <th>床 版 標 準 ブ ロ ッ ク 質 量</th> <th>K</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>500kg未満</td> <td>1.1</td> </tr> <tr> <td>500kg以上1,000kg未満</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>1,000kg以上2,000kg以下</td> <td>0.9</td> </tr> </tbody> </table> <p>(5) 諸 雑 費 諸雑費は、組立結束線、溶接棒、電気溶接機運転経費等の費用であり、労務費の合計に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表1.33 諸 雑 費 率 (%)</p> <table border="1" data-bbox="392 534 1019 590"> <thead> <tr> <th>床 版 架 設 面 積</th> <th>1,000m²未満</th> <th>1,000m²以上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>雑 費 率</td> <td>7</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table> <p>(6) コンクリート工 床版コンクリート打設は、「第5章コンクリート工①コンクリート工」による。なお、打設はコンクリートポンプ車打設（ブーム式）を標準とし、構造物種別は鉄筋構造物とする。また、地覆コンクリート打設は、「第5章コンクリート工①コンクリート工」により別途計上する。</p> <p>(7) 養生工 「1-14 鋼橋床版工」により別途計上する。</p> <p>(8) 鉄筋工 地覆鉄筋及び各部補強鉄筋等は、別途計上する。ただし、床版継手筋は、架設歩掛に含まれるため計上しない。</p> <p>(9) 型枠工 片側施工等で端部型枠が必要な場合は、「第5章コンクリート工②型枠工」の小型構造物を適用する。なお、地覆内側型枠は、「第5章コンクリート工②型枠工」により別途計上する。ただし、地覆型枠外側プレートは、架設歩掛に含まれるため計上しない。</p> <p>(10) 足場及び防護工 「1-13 足場工、防護工及び登り栈橋工」の床版足場を適用する。</p> <p>1-16 単価表及び内訳表 (1) 支承据付工1基当り単価表（ゴム支承）</p> <table border="1" data-bbox="369 1045 1041 1252"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>梁 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1/D_n×1</td> <td>表1.4</td> </tr> <tr> <td>梁 特 殊 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1/D_n×5</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1/D_n×1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>承 据 付 材 料</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>必要数量計上</td> </tr> <tr> <td>雑 費</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>表1.4</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D_n: 1日当り据付基数 (表1.4)</p>	床 版 標 準 ブ ロ ッ ク 質 量	K	500kg未満	1.1	500kg以上1,000kg未満	1.0	1,000kg以上2,000kg以下	0.9	床 版 架 設 面 積	1,000m ² 未満	1,000m ² 以上	雑 費 率	7	5	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	梁 世 話 役		人	1/D _n ×1	表1.4	梁 特 殊 工		〃	1/D _n ×5	〃	通 作 業 員		〃	1/D _n ×1	〃	承 据 付 材 料		式	1	必要数量計上	雑 費		〃	1	表1.4	計					<p style="text-align: center;">現 行 通 り</p>
床 版 標 準 ブ ロ ッ ク 質 量	K																																																		
500kg未満	1.1																																																		
500kg以上1,000kg未満	1.0																																																		
1,000kg以上2,000kg以下	0.9																																																		
床 版 架 設 面 積	1,000m ² 未満	1,000m ² 以上																																																	
雑 費 率	7	5																																																	
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																															
梁 世 話 役		人	1/D _n ×1	表1.4																																															
梁 特 殊 工		〃	1/D _n ×5	〃																																															
通 作 業 員		〃	1/D _n ×1	〃																																															
承 据 付 材 料		式	1	必要数量計上																																															
雑 費		〃	1	表1.4																																															
計																																																			

土木工事標準歩掛の一部改定
鋼橋架設工

工種名	現 行	改 定																																																																																																																								
	<p>(2) 地組工 1 t 当り単価表 (飯桁・ラーメン (飯桁形式))</p> <table border="1" data-bbox="369 231 1041 411"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>梁 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1/D_g×1</td> <td>表1.5</td> </tr> <tr> <td>梁 特 殊 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1/D_g×5</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1/D_g×1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D_g: 1日当り地組質量 (表1.5)</p> <p>(3) 地組工 1 t 当り単価表 (箱桁・ラーメン (箱桁形式))</p> <table border="1" data-bbox="369 491 1041 671"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>梁 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1/D_g×1</td> <td>表1.5</td> </tr> <tr> <td>梁 特 殊 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1/D_g×6</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1/D_g×1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D_g: 1日当り地組質量 (表1.5)</p> <p>(4) 架設工, 橋体質量10 t 当り単価表 (飯桁・ラーメン (飯桁形式))</p> <p style="text-align: center;">(トラッククレーン, トラッククレーンステーピング工法)</p> <table border="1" data-bbox="369 783 1041 963"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>梁 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>10/D_g×1</td> <td>表1.6</td> </tr> <tr> <td>梁 特 殊 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>10/D_g×5</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>10/D_g×1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D_g: 1日当り架設質量 (表1.6)</p> <p>(5) 架設工, 橋体質量10 t 当り単価表 (箱桁・ラーメン (箱桁形式))</p> <p style="text-align: center;">(トラッククレーン, トラッククレーンステーピング工法)</p> <table border="1" data-bbox="369 1075 1041 1256"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>梁 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>10/D_g×1</td> <td>表1.6</td> </tr> <tr> <td>梁 特 殊 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>10/D_g×6</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>10/D_g×1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D_g: 1日当り架設質量 (表1.6)</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	梁 世 話 役		人	1/D _g ×1	表1.5	梁 特 殊 工		〃	1/D _g ×5	〃	通 作 業 員		〃	1/D _g ×1	〃	雑 費		式	1	〃	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	梁 世 話 役		人	1/D _g ×1	表1.5	梁 特 殊 工		〃	1/D _g ×6	〃	通 作 業 員		〃	1/D _g ×1	〃	雑 費		式	1	〃	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	梁 世 話 役		人	10/D _g ×1	表1.6	梁 特 殊 工		〃	10/D _g ×5	〃	通 作 業 員		〃	10/D _g ×1	〃	雑 費		式	1	〃	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	梁 世 話 役		人	10/D _g ×1	表1.6	梁 特 殊 工		〃	10/D _g ×6	〃	通 作 業 員		〃	10/D _g ×1	〃	雑 費		式	1	〃	計					<p style="text-align: center;">現 行 通 り</p>
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																						
梁 世 話 役		人	1/D _g ×1	表1.5																																																																																																																						
梁 特 殊 工		〃	1/D _g ×5	〃																																																																																																																						
通 作 業 員		〃	1/D _g ×1	〃																																																																																																																						
雑 費		式	1	〃																																																																																																																						
計																																																																																																																										
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																						
梁 世 話 役		人	1/D _g ×1	表1.5																																																																																																																						
梁 特 殊 工		〃	1/D _g ×6	〃																																																																																																																						
通 作 業 員		〃	1/D _g ×1	〃																																																																																																																						
雑 費		式	1	〃																																																																																																																						
計																																																																																																																										
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																						
梁 世 話 役		人	10/D _g ×1	表1.6																																																																																																																						
梁 特 殊 工		〃	10/D _g ×5	〃																																																																																																																						
通 作 業 員		〃	10/D _g ×1	〃																																																																																																																						
雑 費		式	1	〃																																																																																																																						
計																																																																																																																										
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																						
梁 世 話 役		人	10/D _g ×1	表1.6																																																																																																																						
梁 特 殊 工		〃	10/D _g ×6	〃																																																																																																																						
通 作 業 員		〃	10/D _g ×1	〃																																																																																																																						
雑 費		式	1	〃																																																																																																																						
計																																																																																																																										

土木工事標準歩掛の一部改定
鋼橋架設工

工種名	現 行	改 定																																																																																																																																		
	<p>(6) 架設工, 橋体質量10t 当り単価表 (飯桁・箱桁・ラーメン)</p> <p style="text-align: center;">(ケーブルクレーン, ケーブルクレーンステーミング, ケーブルエレクション工法)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>梁 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>10/D_q×1</td> <td>表1.7</td> </tr> <tr> <td>梁 特 殊 工</td> <td></td> <td>"</td> <td>10/D_q×7</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>通 作 業 員</td> <td></td> <td>"</td> <td>10/D_q×1</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D_q: 1日当り架設質量 (表1.7)</p> <p>(7) 架設工, 橋体質量10t 当り単価表 (トラス)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>梁 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>10/D_q×1</td> <td>表1.8</td> </tr> <tr> <td>梁 特 殊 工</td> <td></td> <td>"</td> <td>10/D_q×7</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>通 作 業 員</td> <td></td> <td>"</td> <td>10/D_q×1</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D_q: 1日当り架設質量 (表1.8)</p> <p>(8) 本締め工100本当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>梁 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>100/D_q×1</td> <td>表1.9</td> </tr> <tr> <td>梁 特 殊 工</td> <td></td> <td>"</td> <td>100/D_q×5</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>通 作 業 員</td> <td></td> <td>"</td> <td>100/D_q×1</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>締 ボ ル ト</td> <td></td> <td>本</td> <td>100</td> <td></td> </tr> <tr> <td>雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表1.9</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D_q: 1日当りのボルト締付本数 (表1.9)</p> <p>(9) 落橋防止装置取付工1組当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>梁 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1/D_k×1</td> <td>表1.10</td> </tr> <tr> <td>梁 特 殊 工</td> <td></td> <td>"</td> <td>1/D_k×3</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>通 作 業 員</td> <td></td> <td>"</td> <td>1/D_k×1</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>橋 防 止 装 置</td> <td></td> <td>組</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D_k: 1日当りの落橋防止装置取付組数 (表1.10)</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	梁 世 話 役		人	10/D _q ×1	表1.7	梁 特 殊 工		"	10/D _q ×7	"	通 作 業 員		"	10/D _q ×1	"	雑 費		式	1	"	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	梁 世 話 役		人	10/D _q ×1	表1.8	梁 特 殊 工		"	10/D _q ×7	"	通 作 業 員		"	10/D _q ×1	"	雑 費		式	1	"	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	梁 世 話 役		人	100/D _q ×1	表1.9	梁 特 殊 工		"	100/D _q ×5	"	通 作 業 員		"	100/D _q ×1	"	締 ボ ル ト		本	100		雑 費		式	1	表1.9	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	梁 世 話 役		人	1/D _k ×1	表1.10	梁 特 殊 工		"	1/D _k ×3	"	通 作 業 員		"	1/D _k ×1	"	橋 防 止 装 置		組	1		雑 費		式	1		計					<p>現 行 通 り</p>
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																
梁 世 話 役		人	10/D _q ×1	表1.7																																																																																																																																
梁 特 殊 工		"	10/D _q ×7	"																																																																																																																																
通 作 業 員		"	10/D _q ×1	"																																																																																																																																
雑 費		式	1	"																																																																																																																																
計																																																																																																																																				
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																
梁 世 話 役		人	10/D _q ×1	表1.8																																																																																																																																
梁 特 殊 工		"	10/D _q ×7	"																																																																																																																																
通 作 業 員		"	10/D _q ×1	"																																																																																																																																
雑 費		式	1	"																																																																																																																																
計																																																																																																																																				
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																
梁 世 話 役		人	100/D _q ×1	表1.9																																																																																																																																
梁 特 殊 工		"	100/D _q ×5	"																																																																																																																																
通 作 業 員		"	100/D _q ×1	"																																																																																																																																
締 ボ ル ト		本	100																																																																																																																																	
雑 費		式	1	表1.9																																																																																																																																
計																																																																																																																																				
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																
梁 世 話 役		人	1/D _k ×1	表1.10																																																																																																																																
梁 特 殊 工		"	1/D _k ×3	"																																																																																																																																
通 作 業 員		"	1/D _k ×1	"																																																																																																																																
橋 防 止 装 置		組	1																																																																																																																																	
雑 費		式	1																																																																																																																																	
計																																																																																																																																				

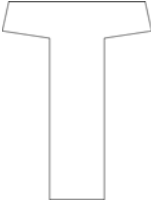
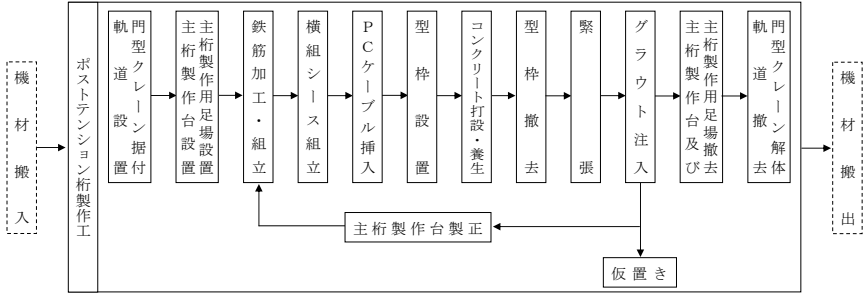
土木工事標準歩掛の一部改定
鋼橋架設工

工種名	現 行	改 定																																																																																																																																																																					
	<p>(10) トラッククレーン賃料, 機械器具損料内訳表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クレーン賃料</td> <td></td> <td>日</td> <td></td> <td>表1.15</td> </tr> <tr> <td>助クレーン賃料</td> <td></td> <td>"</td> <td></td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>設工具損料</td> <td></td> <td>"</td> <td></td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>動発電機賃料</td> <td></td> <td>"</td> <td></td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>リフトピン損料</td> <td></td> <td>"</td> <td></td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>締ボルト損料</td> <td></td> <td>"</td> <td></td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(11) ケーブルクレーン設備費内訳表 (据付・解体+損料)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>梁世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>dc×1</td> <td>表1.11</td> </tr> <tr> <td>梁特殊工</td> <td></td> <td>"</td> <td>dc×7</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>通作業員</td> <td></td> <td>"</td> <td>dc×1</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>力</td> <td></td> <td>kWh</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>脂類</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ケーブルクレーン設備損料</td> <td></td> <td>日</td> <td></td> <td>表1.15</td> </tr> <tr> <td>雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表1.11</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. dc : ケーブルクレーン設備据付解体日数 (表1.11) 2. 電力はケーブルクレーン運転に必要な電力を計上する。</p> <p>(12) ケーブルエレクション設備費内訳表 (据付・解体+損料)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>梁世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>de×1</td> <td>表1.12</td> </tr> <tr> <td>梁特殊工</td> <td></td> <td>"</td> <td>de×7</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>通作業員</td> <td></td> <td>"</td> <td>de×1</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>力</td> <td></td> <td>kWh</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ケーブルエレクション設備損料</td> <td></td> <td>日</td> <td></td> <td>表1.15</td> </tr> <tr> <td>雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表1.12</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. de : ケーブルエレクション設備据付解体日数 (表1.12) 2. 電力はケーブルエレクション運転に必要な電力を計上する。</p> <p>(13) ベント設備1工事当り単価表 (設置・撤去+損料)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>梁世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>T/D₁×1</td> <td>表1.13</td> </tr> <tr> <td>梁特殊工</td> <td></td> <td>"</td> <td>T/D₁×5</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>通作業員</td> <td></td> <td>"</td> <td>T/D₁×1</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>ベント設備損料</td> <td></td> <td>日</td> <td></td> <td>表1.15</td> </tr> <tr> <td>ベント用足場損料</td> <td></td> <td>"</td> <td></td> <td>表1.13 付表-1</td> </tr> <tr> <td>雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表1.13</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D₁ : 1日当りベント設備設置撤去質量 (表1.13) T : ベント総質量</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	クレーン賃料		日		表1.15	助クレーン賃料		"		"	設工具損料		"		"	動発電機賃料		"		"	リフトピン損料		"		"	締ボルト損料		"		"	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	梁世話役		人	dc×1	表1.11	梁特殊工		"	dc×7	"	通作業員		"	dc×1	"	力		kWh			脂類		式	1		ケーブルクレーン設備損料		日		表1.15	雑費		式	1	表1.11	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	梁世話役		人	de×1	表1.12	梁特殊工		"	de×7	"	通作業員		"	de×1	"	力		kWh			ケーブルエレクション設備損料		日		表1.15	雑費		式	1	表1.12	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	梁世話役		人	T/D ₁ ×1	表1.13	梁特殊工		"	T/D ₁ ×5	"	通作業員		"	T/D ₁ ×1	"	ベント設備損料		日		表1.15	ベント用足場損料		"		表1.13 付表-1	雑費		式	1	表1.13	計					<p>現 行 通 り</p>
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																			
クレーン賃料		日		表1.15																																																																																																																																																																			
助クレーン賃料		"		"																																																																																																																																																																			
設工具損料		"		"																																																																																																																																																																			
動発電機賃料		"		"																																																																																																																																																																			
リフトピン損料		"		"																																																																																																																																																																			
締ボルト損料		"		"																																																																																																																																																																			
計																																																																																																																																																																							
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																			
梁世話役		人	dc×1	表1.11																																																																																																																																																																			
梁特殊工		"	dc×7	"																																																																																																																																																																			
通作業員		"	dc×1	"																																																																																																																																																																			
力		kWh																																																																																																																																																																					
脂類		式	1																																																																																																																																																																				
ケーブルクレーン設備損料		日		表1.15																																																																																																																																																																			
雑費		式	1	表1.11																																																																																																																																																																			
計																																																																																																																																																																							
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																			
梁世話役		人	de×1	表1.12																																																																																																																																																																			
梁特殊工		"	de×7	"																																																																																																																																																																			
通作業員		"	de×1	"																																																																																																																																																																			
力		kWh																																																																																																																																																																					
ケーブルエレクション設備損料		日		表1.15																																																																																																																																																																			
雑費		式	1	表1.12																																																																																																																																																																			
計																																																																																																																																																																							
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																			
梁世話役		人	T/D ₁ ×1	表1.13																																																																																																																																																																			
梁特殊工		"	T/D ₁ ×5	"																																																																																																																																																																			
通作業員		"	T/D ₁ ×1	"																																																																																																																																																																			
ベント設備損料		日		表1.15																																																																																																																																																																			
ベント用足場損料		"		表1.13 付表-1																																																																																																																																																																			
雑費		式	1	表1.13																																																																																																																																																																			
計																																																																																																																																																																							

土木工事標準歩掛の一部改定
鋼橋架設工

工種名	現 行	改 定																																																																																																																																																		
	<p>(14) ベント基礎1工事当り単価表（設置・撤去+損耗費）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>梁 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>$A/D_a \times 1$</td> <td>表1.14</td> </tr> <tr> <td>梁 特 殊 工</td> <td></td> <td>"</td> <td>$A/D_a \times 2$</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>通 作 業 員</td> <td></td> <td>"</td> <td>$A/D_a \times 1$</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>ベント基礎損耗費</td> <td></td> <td>日</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">(注) D_a : 1日当りベント基礎設置撤去面積 (表1.14) A : ベント基礎延面積</p> <p>(15) 型枠工100m²当り単価表（支保工を含む）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表1.26×(1+K)</td> </tr> <tr> <td>枠 工</td> <td></td> <td>"</td> <td></td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>通 作 業 員</td> <td></td> <td>"</td> <td></td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>枠 用 合 板</td> <td>JAS規格 板面品質B-C 12×900×1,800 (mm)</td> <td>枚</td> <td></td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>割 材</td> <td>杉 6×6cm</td> <td>m³</td> <td></td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表1.26</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">(注) 1. 現場条件により、上表により難しい場合は、別途考慮する。 2. 地覆型枠が必要な場合は、別途計上する。 3. 足場工が必要な場合は、別途計上する。 4. K : 橋梁型式による補正係数</p> <p>(16) 養生工100m²当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通 作 業 員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表1.28</td> </tr> <tr> <td>生 マ ッ ト</td> <td></td> <td>m²</td> <td></td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>m² 当り</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">(注) 諸雑費には、ポンプ運転経費等を含む。</p> <p>(17) 床版架設100m²当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>梁 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>$y \times 1$</td> <td>表1.30</td> </tr> <tr> <td>梁 特 殊 工</td> <td></td> <td>"</td> <td>$y \times 2$</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>接 工</td> <td></td> <td>"</td> <td>$y \times 1$</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>通 作 業 員</td> <td></td> <td>"</td> <td>$y \times 3$</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>ラッククレーン賃料</td> <td></td> <td>日</td> <td>y</td> <td>表1.29, 表1.31</td> </tr> <tr> <td>雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表1.33</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">(注) y : 床版100m²当り架設日数 (表1.31)</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	梁 世 話 役		人	$A/D_a \times 1$	表1.14	梁 特 殊 工		"	$A/D_a \times 2$	"	通 作 業 員		"	$A/D_a \times 1$	"	ベント基礎損耗費		日			雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	話 役		人		表1.26×(1+K)	枠 工		"		"	通 作 業 員		"		"	枠 用 合 板	JAS規格 板面品質B-C 12×900×1,800 (mm)	枚		"	割 材	杉 6×6cm	m ³		"	雑 費		式	1	表1.26	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	通 作 業 員		人		表1.28	生 マ ッ ト		m ²		"	雑 費		式	1		計					m ² 当り					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	梁 世 話 役		人	$y \times 1$	表1.30	梁 特 殊 工		"	$y \times 2$	"	接 工		"	$y \times 1$	"	通 作 業 員		"	$y \times 3$	"	ラッククレーン賃料		日	y	表1.29, 表1.31	雑 費		式	1	表1.33	計					}	現 行 通 り
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																
梁 世 話 役		人	$A/D_a \times 1$	表1.14																																																																																																																																																
梁 特 殊 工		"	$A/D_a \times 2$	"																																																																																																																																																
通 作 業 員		"	$A/D_a \times 1$	"																																																																																																																																																
ベント基礎損耗費		日																																																																																																																																																		
雑 費		式	1																																																																																																																																																	
計																																																																																																																																																				
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																
話 役		人		表1.26×(1+K)																																																																																																																																																
枠 工		"		"																																																																																																																																																
通 作 業 員		"		"																																																																																																																																																
枠 用 合 板	JAS規格 板面品質B-C 12×900×1,800 (mm)	枚		"																																																																																																																																																
割 材	杉 6×6cm	m ³		"																																																																																																																																																
雑 費		式	1	表1.26																																																																																																																																																
計																																																																																																																																																				
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																
通 作 業 員		人		表1.28																																																																																																																																																
生 マ ッ ト		m ²		"																																																																																																																																																
雑 費		式	1																																																																																																																																																	
計																																																																																																																																																				
m ² 当り																																																																																																																																																				
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																
梁 世 話 役		人	$y \times 1$	表1.30																																																																																																																																																
梁 特 殊 工		"	$y \times 2$	"																																																																																																																																																
接 工		"	$y \times 1$	"																																																																																																																																																
通 作 業 員		"	$y \times 3$	"																																																																																																																																																
ラッククレーン賃料		日	y	表1.29, 表1.31																																																																																																																																																
雑 費		式	1	表1.33																																																																																																																																																
計																																																																																																																																																				

土木工事標準歩掛の一部改定 ポストテンション桁製作工

工種名	現 行	改 定																
橋梁 ポストテンション桁製作工	<div style="text-align: center;"> <h3>④ ポストテンション桁製作工</h3> </div> <p>1. 適用範囲</p> <p>本資料は、ポストテンション単純T桁（支間長45m以下のPC定着工法）の現場製作工に適用する。セメントは早強セメントを標準とする。</p> <p>なお、本資料はA又はB活荷重桁に適用する。</p> <p style="text-align: center;">(参考)</p> <div style="text-align: center;">  <p>標準断面図</p> </div> <p>2. 施工概要</p> <p>施工フローは、下記を標準とする。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。</p> <p>3. 施工歩掛</p> <p>3-1 ポストテンション桁製作工</p> <p>ポストテンション桁製作工とはフロー図に示すとおりであり、門型クレーンの設置からポストテンションT桁の製作にかかる一連の作業であり、歩掛は次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 ポストテンション桁製作工歩掛 (コンクリート10m³当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>橋梁世話役(人)</th> <th>橋梁特殊工(人)</th> <th>世話役(人)</th> <th>特殊作業員(人)</th> <th>鉄筋工(人)</th> <th>型枠工(人)</th> <th>とび工(人)</th> <th>普通作業員(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.3</td> <td>4.5</td> <td>1.7</td> <td>1.5</td> <td>5.1</td> <td>3.9</td> <td>0.6</td> <td>9.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. コンクリート打設方法は、門型クレーン打設を標準とする。 2. コンクリート養生は、散水、給熱問わず適用出来る。 3. 重量台車による縦移動仮置きは、別途計上する。</p>	橋梁世話役(人)	橋梁特殊工(人)	世話役(人)	特殊作業員(人)	鉄筋工(人)	型枠工(人)	とび工(人)	普通作業員(人)	1.3	4.5	1.7	1.5	5.1	3.9	0.6	9.3	<div style="font-size: 4em; font-weight: bold;">}</div> <p>現 行 通 り</p>
橋梁世話役(人)	橋梁特殊工(人)	世話役(人)	特殊作業員(人)	鉄筋工(人)	型枠工(人)	とび工(人)	普通作業員(人)											
1.3	4.5	1.7	1.5	5.1	3.9	0.6	9.3											

土木工事標準歩掛の一部改定 ポストテンション桁製作工

工種名	現 行	改 定																																																			
	<p>3-2 諸雑費 諸雑費は、鉄筋、シース等の材料費、ポストテンション桁製作工に関わる消耗品費、電力に関する経費等であり、表3.1の労務費の合計額に次表の率を乗じた額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 諸雑費率 (%)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">諸 雑 費 率</td> <td style="text-align: center;">33</td> </tr> </table> <p>4. 使用材料 使用材料として計上するものはコンクリート、PCケーブル、定着具のみとし、コンクリート、PCケーブルの使用量は次式による。また、定着具は必要数量計上する。なお、PCケーブルの切断ロス等のスクラップ控除はしない。 使用量=設計量×(1+K) ……式4.1 K:ロス率</p> <p style="text-align: center;">表4.1 ロス率 (K)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">材 料</th> <th style="text-align: center;">ロ ス 率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">コンクリート</td> <td style="text-align: center;">+0.02</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">PCケーブル</td> <td style="text-align: center;">+0.05</td> </tr> </tbody> </table> <p>5. 機種の選定等 5-1 機種の選定 ポストテンション桁製作工に使用する機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.1 機械・規格 (1工事当り)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">工 種</th> <th style="text-align: center;">名 称</th> <th style="text-align: center;">規 格</th> <th style="text-align: center;">単 位</th> <th style="text-align: center;">台数</th> <th style="text-align: center;">供用日数</th> <th style="text-align: center;">摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">緊 張 工</td> <td style="text-align: center;">緊張ジャッキ・ポンプ</td> <td style="text-align: center;">各種</td> <td style="text-align: center;">組</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">A</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">門型クレーン工</td> <td style="text-align: center;">門 型 ク レ ー ン 電 動 ホ イ ス ト</td> <td style="text-align: center;">3.0t吊 3.0t吊用</td> <td style="text-align: center;">基 台</td> <td style="text-align: center;">1 1</td> <td style="text-align: center;">A A</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">主桁製作用型枠</td> <td style="text-align: center;">鋼 製 型 枠</td> <td style="text-align: center;">ポストテンション桁用</td> <td style="text-align: center;">m²・日</td> <td style="text-align: center;">必要量</td> <td style="text-align: center;">A</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. A=供用日数 =0.16×V×α+20 V=コンクリート量 (m³) α=供用日補正係数 供用日補正係数は、下記による。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3" style="text-align: center;">支 間 長 L (m)</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">L ≤ 35</th> <th style="text-align: center;">35 < L ≤ 40</th> <th style="text-align: center;">40 < L ≤ 45</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">α</td> <td style="text-align: center;">1.0</td> <td style="text-align: center;">0.73</td> <td style="text-align: center;">0.60</td> </tr> </tbody> </table> <p>2. 鋼製型枠面積の算出にあたっては、側部及び端部面積のみとし、定着部面積は考慮しないものとする。なお、底型枠は主桁製作台を利用する。 3. 鋼製型枠は1組を標準とし、必要数量を計上する。</p> <p>5-2 雑機械費 雑機械費は、ポストテンション桁製作工に必要な表5.1の機械器具を除く雑機械の損料等の経費であり、表5.1機械器具損料の合計額に次表の率を乗じた額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表5.2 雑機械費率 (%)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">雑 機 械 費 率</td> <td style="text-align: center;">59</td> </tr> </table>	諸 雑 費 率	33	材 料	ロ ス 率	コンクリート	+0.02	PCケーブル	+0.05	工 種	名 称	規 格	単 位	台数	供用日数	摘 要	緊 張 工	緊張ジャッキ・ポンプ	各種	組	2	A		門型クレーン工	門 型 ク レ ー ン 電 動 ホ イ ス ト	3.0t吊 3.0t吊用	基 台	1 1	A A		主桁製作用型枠	鋼 製 型 枠	ポストテンション桁用	m ² ・日	必要量	A			支 間 長 L (m)			L ≤ 35	35 < L ≤ 40	40 < L ≤ 45	α	1.0	0.73	0.60	雑 機 械 費 率	59	<p>3-2 諸雑費 諸雑費は、鉄筋、鋼製シース等の材料費、ポストテンション桁製作工に関わる消耗品費、電力に関する経費等であり、表3.1の労務費の合計額に次表の率を乗じた額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 諸雑費率 (%)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">諸 雑 費 率</td> <td style="text-align: center;">33</td> </tr> </table> <p style="text-align: center; margin-top: 100px;">現 行 通 り</p>	諸 雑 費 率	33
諸 雑 費 率	33																																																				
材 料	ロ ス 率																																																				
コンクリート	+0.02																																																				
PCケーブル	+0.05																																																				
工 種	名 称	規 格	単 位	台数	供用日数	摘 要																																															
緊 張 工	緊張ジャッキ・ポンプ	各種	組	2	A																																																
門型クレーン工	門 型 ク レ ー ン 電 動 ホ イ ス ト	3.0t吊 3.0t吊用	基 台	1 1	A A																																																
主桁製作用型枠	鋼 製 型 枠	ポストテンション桁用	m ² ・日	必要量	A																																																
	支 間 長 L (m)																																																				
	L ≤ 35	35 < L ≤ 40	40 < L ≤ 45																																																		
α	1.0	0.73	0.60																																																		
雑 機 械 費 率	59																																																				
諸 雑 費 率	33																																																				

土木工事標準歩掛の一部改定
ポストテンション桁製作工

工種名	現 行	改 定																																																																																																				
	<p>6. 単 価 表</p> <p>(1) 主桁1本当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="367 252 1070 678"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋 梁 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表3.1×主桁1本当りコンクリート量/10</td> </tr> <tr> <td>橋 梁 特 殊 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>鉄 筋 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>型 枠 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>コンクリート</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>P C ケーブル</td> <td></td> <td>kg</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>定 着 具</td> <td></td> <td>組</td> <td></td> <td>必要数量計上</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表3.2</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 機械器具損料1工事当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="367 722 1070 906"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>緊 張 ジャッキ</td> <td></td> <td>組・日</td> <td></td> <td>表5.1</td> </tr> <tr> <td>門 型 クレーン</td> <td>3 t吊(電動ホイスト含む)</td> <td>日</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>主桁製作用鋼製型枠</td> <td></td> <td>m²・日</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>雑 機 械 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表5.2</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	橋 梁 世 話 役		人		表3.1×主桁1本当りコンクリート量/10	橋 梁 特 殊 工		〃		〃	世 話 役		〃		〃	特 殊 作 業 員		〃		〃	鉄 筋 工		〃		〃	型 枠 工		〃		〃	と び 工		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	コンクリート		m ³		表4.1	P C ケーブル		kg		〃	定 着 具		組		必要数量計上	諸 雑 費		式	1	表3.2	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	緊 張 ジャッキ		組・日		表5.1	門 型 クレーン	3 t吊(電動ホイスト含む)	日		〃	主桁製作用鋼製型枠		m ² ・日		〃	雑 機 械 費		式	1	表5.2	計					<p>現 行 通 り</p>
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																		
橋 梁 世 話 役		人		表3.1×主桁1本当りコンクリート量/10																																																																																																		
橋 梁 特 殊 工		〃		〃																																																																																																		
世 話 役		〃		〃																																																																																																		
特 殊 作 業 員		〃		〃																																																																																																		
鉄 筋 工		〃		〃																																																																																																		
型 枠 工		〃		〃																																																																																																		
と び 工		〃		〃																																																																																																		
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																		
コンクリート		m ³		表4.1																																																																																																		
P C ケーブル		kg		〃																																																																																																		
定 着 具		組		必要数量計上																																																																																																		
諸 雑 費		式	1	表3.2																																																																																																		
計																																																																																																						
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																		
緊 張 ジャッキ		組・日		表5.1																																																																																																		
門 型 クレーン	3 t吊(電動ホイスト含む)	日		〃																																																																																																		
主桁製作用鋼製型枠		m ² ・日		〃																																																																																																		
雑 機 械 費		式	1	表5.2																																																																																																		
計																																																																																																						

土木工事標準歩掛の一部改定
P C 橋架設工

工種名	現 行	改 定
橋梁 PC橋架設工	<p>⑥ P C 橋 架 設 工</p> <p>1. 適 用 範 囲 本資料は、プレストレストコンクリート桁〔A又はB活荷重桁〕（プレテンション桁及びポストテンション桁）の架設及び横組に適用する。なお、本資料は標準的な架設条件を前提としているので、特殊な架設条件の場合又は本資料による架設工法によらない場合は架設設計のうえ別途考慮する。</p> <p>2. 施 工 概 要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <pre> graph TD Start([機材搬入]) --> D1{橋台・橋脚の高さ5m以上} D1 -- Yes --> A[登り棧橋工] D1 -- No --> B[支承工] A --> C[桁架設] C --> D[足場工] B --> E[型枠工] D --> E F{第三者に危害を及ぼす恐れがある} -- Yes --> G[防護工] F -- No --> E E --> H[鉄筋工] H --> I[コンクリート工] I --> J[P C 工] J --> K[緊張工] K --> L[グラウト工] L --> M[落橋防止工] M --> N[足場工又は防護工撤去] N --> End([機材搬出]) </pre> <p>(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。</p>	<p>現 行 通 り</p>

土木工事標準歩掛の一部改定
P C 橋架設工

工種名	現 行	改 定																																																																																																	
	<p>3. トラッククレーンによる架設</p> <p>3-1 適用範囲 トラッククレーンによるプレテンション桁及び桁質量160 t未満のポストテンション桁の架設工事に適用する。なお、本資料はA又はB活荷重桁に適用する。</p> <p>3-2 トラッククレーンによる架設歩掛</p> <p style="text-align: center;">表3.1 トラッククレーンによる橋梁下からのP C桁架設歩掛（プレテンション桁）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">桁の種類</th> <th rowspan="2">桁 1 本 当 り の 桁 質 量</th> <th colspan="3">編成人員（人／日）</th> <th rowspan="2">トラッククレーン 規格×台数 油圧伸縮ジブ型</th> <th rowspan="2">1日当り 桁架設本数 (本／日)</th> </tr> <tr> <th>橋梁世話役</th> <th>橋梁特殊工</th> <th>普通作業員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">プレテン ション P C 単 純 T 桁 橋</td> <td>B G - 18 (17.9 t)</td> <td rowspan="6">1</td> <td rowspan="6">6</td> <td rowspan="6">4</td> <td rowspan="3">100 t 吊 × 1 台</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>B G - 19 (18.9 t)</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>B G - 20 (21.5 t)</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>B G - 21 (22.5 t)</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>B G - 22 (25.3 t)</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>B G - 23 (26.4 t)</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td rowspan="18">プレテン ション P C 単 純 床 版 橋</td> <td>B G - 24 (29.4 t)</td> <td rowspan="18">1</td> <td rowspan="18">6</td> <td rowspan="18">4</td> <td rowspan="11">100 t 吊 × 1 台</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>B S - 5 (2.9 t)</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>B S - 6 (3.5 t)</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>B S - 7 (4.6 t)</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>B S - 8 (5.3 t)</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>B S - 9 (6.7 t)</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>B S - 10 (7.5 t)</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>B S - 11 (9.1 t)</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>B S - 12 (7.9 t)</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>B S - 13 (8.5 t)</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>B S - 14 (9.7 t)</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>B S - 15 (11.0 t)</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>B S - 16 (11.7 t)</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>B S - 17 (13.0 t)</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>B S - 18 (14.3 t)</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>B S - 19 (16.2 t)</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>B S - 20 (17.8 t)</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>B S - 21 (19.4 t)</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>B S - 22 (21.9 t)</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>B S - 23 (23.9 t)</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>B S - 24 (25.7 t)</td> <td>11</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">表3.2 トラッククレーンによる橋梁下からのP C桁架設歩掛（ポストテンション桁）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">桁の種類</th> <th rowspan="2">桁 1 本 当 り の 桁 質 量</th> <th colspan="3">編成人員（人／日）</th> <th rowspan="2">トラッククレーン 規格×台数 油圧伸縮ジブ型</th> <th rowspan="2">1日当り 桁架設質量 (t／日)</th> </tr> <tr> <th>橋梁世話役</th> <th>橋梁特殊工</th> <th>普通作業員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">ポストテン ション 桁</td> <td>35 t / 本 ~ 60 t / 本 未 満</td> <td rowspan="3">1</td> <td rowspan="3">8</td> <td rowspan="3">5</td> <td>120 t 吊 × 2 台</td> <td>225</td> </tr> <tr> <td>60 t / 本 ~ 100 t / 本 未 満</td> <td>160 t 吊 × 2 台</td> <td>260</td> </tr> <tr> <td>100 t / 本 ~ 160 t / 本 未 満</td> <td>200 t 吊 × 2 台</td> <td>290</td> </tr> </tbody> </table>	桁の種類	桁 1 本 当 り の 桁 質 量	編成人員（人／日）			トラッククレーン 規格×台数 油圧伸縮ジブ型	1日当り 桁架設本数 (本／日)	橋梁世話役	橋梁特殊工	普通作業員	プレテン ション P C 単 純 T 桁 橋	B G - 18 (17.9 t)	1	6	4	100 t 吊 × 1 台	9	B G - 19 (18.9 t)	8	B G - 20 (21.5 t)	8	B G - 21 (22.5 t)	8	B G - 22 (25.3 t)	6	B G - 23 (26.4 t)	6	プレテン ション P C 単 純 床 版 橋	B G - 24 (29.4 t)	1	6	4	100 t 吊 × 1 台	19	B S - 5 (2.9 t)	17	B S - 6 (3.5 t)	15	B S - 7 (4.6 t)	14	B S - 8 (5.3 t)	13	B S - 9 (6.7 t)	12	B S - 10 (7.5 t)	13	B S - 11 (9.1 t)	12	B S - 12 (7.9 t)	11	B S - 13 (8.5 t)	11	B S - 14 (9.7 t)	11	B S - 15 (11.0 t)	11	B S - 16 (11.7 t)	11	B S - 17 (13.0 t)	11	B S - 18 (14.3 t)	11	B S - 19 (16.2 t)	11	B S - 20 (17.8 t)	11	B S - 21 (19.4 t)	11	B S - 22 (21.9 t)	11	B S - 23 (23.9 t)	11	B S - 24 (25.7 t)	11	桁の種類	桁 1 本 当 り の 桁 質 量	編成人員（人／日）			トラッククレーン 規格×台数 油圧伸縮ジブ型	1日当り 桁架設質量 (t／日)	橋梁世話役	橋梁特殊工	普通作業員	ポストテン ション 桁	35 t / 本 ~ 60 t / 本 未 満	1	8	5	120 t 吊 × 2 台	225	60 t / 本 ~ 100 t / 本 未 満	160 t 吊 × 2 台	260	100 t / 本 ~ 160 t / 本 未 満	200 t 吊 × 2 台	290	<p>現 行 通 り</p>
桁の種類	桁 1 本 当 り の 桁 質 量			編成人員（人／日）					トラッククレーン 規格×台数 油圧伸縮ジブ型	1日当り 桁架設本数 (本／日)																																																																																									
		橋梁世話役	橋梁特殊工	普通作業員																																																																																															
プレテン ション P C 単 純 T 桁 橋	B G - 18 (17.9 t)	1	6	4	100 t 吊 × 1 台	9																																																																																													
	B G - 19 (18.9 t)					8																																																																																													
	B G - 20 (21.5 t)					8																																																																																													
	B G - 21 (22.5 t)				8																																																																																														
	B G - 22 (25.3 t)				6																																																																																														
	B G - 23 (26.4 t)				6																																																																																														
プレテン ション P C 単 純 床 版 橋	B G - 24 (29.4 t)	1	6	4	100 t 吊 × 1 台	19																																																																																													
	B S - 5 (2.9 t)					17																																																																																													
	B S - 6 (3.5 t)					15																																																																																													
	B S - 7 (4.6 t)					14																																																																																													
	B S - 8 (5.3 t)					13																																																																																													
	B S - 9 (6.7 t)					12																																																																																													
	B S - 10 (7.5 t)					13																																																																																													
	B S - 11 (9.1 t)					12																																																																																													
	B S - 12 (7.9 t)					11																																																																																													
	B S - 13 (8.5 t)					11																																																																																													
	B S - 14 (9.7 t)					11																																																																																													
	B S - 15 (11.0 t)				11																																																																																														
	B S - 16 (11.7 t)				11																																																																																														
	B S - 17 (13.0 t)				11																																																																																														
	B S - 18 (14.3 t)				11																																																																																														
	B S - 19 (16.2 t)				11																																																																																														
	B S - 20 (17.8 t)				11																																																																																														
	B S - 21 (19.4 t)				11																																																																																														
B S - 22 (21.9 t)	11																																																																																																		
B S - 23 (23.9 t)	11																																																																																																		
B S - 24 (25.7 t)	11																																																																																																		
桁の種類	桁 1 本 当 り の 桁 質 量	編成人員（人／日）			トラッククレーン 規格×台数 油圧伸縮ジブ型	1日当り 桁架設質量 (t／日)																																																																																													
		橋梁世話役	橋梁特殊工	普通作業員																																																																																															
ポストテン ション 桁	35 t / 本 ~ 60 t / 本 未 満	1	8	5	120 t 吊 × 2 台	225																																																																																													
	60 t / 本 ~ 100 t / 本 未 満				160 t 吊 × 2 台	260																																																																																													
	100 t / 本 ~ 160 t / 本 未 満				200 t 吊 × 2 台	290																																																																																													

土木工事標準歩掛の一部改定
P C 橋架設工

工種名	現 行						改 定																																																																	
	表3.3 トラッククレーンによる橋台背面からのP C桁架設歩掛（プレテンション桁）						<div style="font-size: 4em; margin: 0 auto;">}</div> <p>現 行 通 り</p>																																																																	
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th data-bbox="418 289 557 367" rowspan="2">桁の種類</th> <th data-bbox="557 289 744 367" rowspan="2">桁1本当りの 桁質量</th> <th colspan="3" data-bbox="744 289 1151 325">編成人員（人/日）</th> <th data-bbox="1151 289 1359 367" rowspan="2">トラッククレーン 規格×台数 油圧伸縮ジブ型</th> <th data-bbox="1359 289 1486 367" rowspan="2">1日当り 桁架設本数 (本/日)</th> </tr> <tr> <th data-bbox="744 325 875 367">橋梁世話役</th> <th data-bbox="875 325 1012 367">橋梁特殊工</th> <th data-bbox="1012 325 1151 367">普通作業員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="418 367 557 646" rowspan="6" style="text-align: center;">プレ テン ション P C 単 純 桁 橋</td> <td data-bbox="557 367 744 403">B G - 18 (17.9 t)</td> <td data-bbox="744 367 875 646" rowspan="6" style="text-align: center;">1</td> <td data-bbox="875 367 1012 646" rowspan="6" style="text-align: center;">6</td> <td data-bbox="1012 367 1151 646" rowspan="6" style="text-align: center;">4</td> <td data-bbox="1151 367 1359 569" rowspan="5" style="text-align: center;">160 t 吊×1台</td> <td data-bbox="1359 367 1486 527" rowspan="5" style="text-align: center;">9</td> </tr> <tr> <td data-bbox="557 403 744 438">B G - 19 (18.9 t)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="557 438 744 474">B G - 20 (21.5 t)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="557 474 744 510">B G - 21 (22.5 t)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="557 510 744 546">B G - 22 (25.3 t)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="557 546 744 581">B G - 23 (26.4 t)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="557 581 744 617">B G - 24 (29.4 t)</td> <td data-bbox="1151 569 1359 646" style="text-align: center;">200 t 吊×1台</td> <td data-bbox="1359 569 1486 646" style="text-align: center;">8</td> </tr> <tr> <td data-bbox="418 646 557 1438" rowspan="18" style="text-align: center;">プレ テン ション P C 単 純 床 版 橋</td> <td data-bbox="557 646 744 682">B S - 5 (2.9 t)</td> <td data-bbox="744 646 875 1438" rowspan="18" style="text-align: center;">1</td> <td data-bbox="875 646 1012 1438" rowspan="18" style="text-align: center;">6</td> <td data-bbox="1012 646 1151 1438" rowspan="18" style="text-align: center;">4</td> <td data-bbox="1151 646 1359 1123" rowspan="10" style="text-align: center;">100 t 吊×1台</td> <td data-bbox="1359 646 1486 682">21</td> </tr> <tr> <td data-bbox="557 682 744 718">B S - 6 (3.5 t)</td> <td data-bbox="1359 682 1486 718">18</td> </tr> <tr> <td data-bbox="557 718 744 753">B S - 7 (4.6 t)</td> <td data-bbox="1359 718 1486 753">16</td> </tr> <tr> <td data-bbox="557 753 744 789">B S - 8 (5.3 t)</td> <td data-bbox="1359 753 1486 789">15</td> </tr> <tr> <td data-bbox="557 789 744 825">B S - 9 (6.7 t)</td> <td data-bbox="1359 789 1486 825">14</td> </tr> <tr> <td data-bbox="557 825 744 861">B S - 10 (7.5 t)</td> <td data-bbox="1359 825 1486 861">13</td> </tr> <tr> <td data-bbox="557 861 744 896">B S - 11 (9.1 t)</td> <td data-bbox="1359 861 1486 896">14</td> </tr> <tr> <td data-bbox="557 896 744 932">B S - 12 (7.9 t)</td> <td data-bbox="1359 896 1486 932">13</td> </tr> <tr> <td data-bbox="557 932 744 968">B S - 13 (8.5 t)</td> <td data-bbox="1359 932 1486 968">12</td> </tr> <tr> <td data-bbox="557 968 744 1003">B S - 14 (9.7 t)</td> <td data-bbox="1359 968 1486 1003">12</td> </tr> <tr> <td data-bbox="557 1003 744 1039">B S - 15 (11.0 t)</td> <td data-bbox="1359 1003 1486 1039">11</td> </tr> <tr> <td data-bbox="557 1039 744 1075">B S - 16 (11.7 t)</td> <td data-bbox="1359 1039 1486 1075">11</td> </tr> <tr> <td data-bbox="557 1075 744 1110">B S - 17 (13.0 t)</td> <td data-bbox="1359 1075 1486 1110">11</td> </tr> <tr> <td data-bbox="557 1110 744 1146">B S - 18 (14.3 t)</td> <td data-bbox="1359 1110 1486 1146">11</td> </tr> <tr> <td data-bbox="557 1146 744 1182">B S - 19 (16.2 t)</td> <td data-bbox="1359 1146 1486 1182">11</td> </tr> <tr> <td data-bbox="557 1182 744 1218">B S - 20 (17.8 t)</td> <td data-bbox="1359 1182 1486 1218">11</td> </tr> <tr> <td data-bbox="557 1218 744 1253">B S - 21 (19.4 t)</td> <td data-bbox="1359 1218 1486 1253">11</td> </tr> <tr> <td data-bbox="557 1253 744 1289">B S - 22 (21.9 t)</td> <td data-bbox="1359 1253 1486 1289">11</td> </tr> <tr> <td data-bbox="557 1289 744 1325">B S - 23 (23.9 t)</td> <td data-bbox="1359 1289 1486 1325">11</td> </tr> <tr> <td data-bbox="557 1325 744 1360">B S - 24 (25.7 t)</td> <td data-bbox="1359 1325 1486 1360">11</td> </tr> </tbody> </table>	桁の種類	桁1本当りの 桁質量	編成人員（人/日）				トラッククレーン 規格×台数 油圧伸縮ジブ型	1日当り 桁架設本数 (本/日)	橋梁世話役	橋梁特殊工	普通作業員	プレ テン ション P C 単 純 桁 橋	B G - 18 (17.9 t)	1	6	4	160 t 吊×1台	9	B G - 19 (18.9 t)	B G - 20 (21.5 t)	B G - 21 (22.5 t)	B G - 22 (25.3 t)	B G - 23 (26.4 t)	B G - 24 (29.4 t)	200 t 吊×1台	8	プレ テン ション P C 単 純 床 版 橋	B S - 5 (2.9 t)	1	6	4	100 t 吊×1台	21	B S - 6 (3.5 t)	18	B S - 7 (4.6 t)	16	B S - 8 (5.3 t)	15	B S - 9 (6.7 t)	14	B S - 10 (7.5 t)	13	B S - 11 (9.1 t)	14	B S - 12 (7.9 t)	13	B S - 13 (8.5 t)	12	B S - 14 (9.7 t)	12	B S - 15 (11.0 t)	11	B S - 16 (11.7 t)	11	B S - 17 (13.0 t)	11	B S - 18 (14.3 t)	11	B S - 19 (16.2 t)	11	B S - 20 (17.8 t)	11	B S - 21 (19.4 t)	11	B S - 22 (21.9 t)	11	B S - 23 (23.9 t)	11	B S - 24 (25.7 t)	11
	桁の種類			桁1本当りの 桁質量	編成人員（人/日）					トラッククレーン 規格×台数 油圧伸縮ジブ型	1日当り 桁架設本数 (本/日)																																																													
		橋梁世話役	橋梁特殊工		普通作業員																																																																			
	プレ テン ション P C 単 純 桁 橋	B G - 18 (17.9 t)	1	6	4	160 t 吊×1台		9																																																																
		B G - 19 (18.9 t)																																																																						
		B G - 20 (21.5 t)																																																																						
		B G - 21 (22.5 t)																																																																						
		B G - 22 (25.3 t)																																																																						
		B G - 23 (26.4 t)																																																																						
	B G - 24 (29.4 t)	200 t 吊×1台	8																																																																					
	プレ テン ション P C 単 純 床 版 橋	B S - 5 (2.9 t)	1	6	4	100 t 吊×1台		21																																																																
		B S - 6 (3.5 t)						18																																																																
		B S - 7 (4.6 t)						16																																																																
		B S - 8 (5.3 t)						15																																																																
		B S - 9 (6.7 t)						14																																																																
		B S - 10 (7.5 t)						13																																																																
		B S - 11 (9.1 t)						14																																																																
		B S - 12 (7.9 t)						13																																																																
		B S - 13 (8.5 t)						12																																																																
		B S - 14 (9.7 t)						12																																																																
		B S - 15 (11.0 t)				11																																																																		
		B S - 16 (11.7 t)				11																																																																		
		B S - 17 (13.0 t)				11																																																																		
		B S - 18 (14.3 t)				11																																																																		
		B S - 19 (16.2 t)				11																																																																		
		B S - 20 (17.8 t)				11																																																																		
		B S - 21 (19.4 t)				11																																																																		
B S - 22 (21.9 t)		11																																																																						
B S - 23 (23.9 t)	11																																																																							
B S - 24 (25.7 t)	11																																																																							
<p>(注) 1. 歩掛は、現場まで搬入されたトラッククレーンにより桁運搬車又は仮置き場から直接吊上げ、所定の位置に架設出来る場合のものであり、架設現場までの小運搬（2次運搬）を伴う場合は、小運搬作業を別途計上する。</p> <p>2. トラッククレーン、トレーラ等の運搬路及び足場の整備に要する費用が必要な場合は、別途計上する。</p> <p>3. 歩掛は、架設高さ10m程度、作業半径は橋梁下からの架設の場合は10m程度、橋台上背面からの架設の場合は8～18m程度の標準値であり、現場条件により架設用トラッククレーンの規格が上表により難しい場合は、現場条件に適した規格のトラッククレーンを選定する。</p> <p>4. トラッククレーンは、賃料とする。</p> <p>5. A又はB活荷重桁の架設においては、型枠及び桁下足場の支持方法は、インサート及びボルトによるものとする。</p> <p>6. 桁1本当りの質量において該当質量がない場合は、1ランク上の質量区分を適用する。（なお、上表の桁の規格は参考としてB活荷重桁を記載したものである。）</p> <p>7. 架設工具損料は計上しない。</p>																																																																								

土木工事標準歩掛の一部改定
P C 橋架設工

工種名	現 行	改 定																																																																																																																											
	<p>3-3 単 価 表 トラッククレーンによるP C 桁架設10本当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="501 331 1397 621"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋 梁 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表3.1, 表3.2, 表3.3</td> </tr> <tr> <td>橋 梁 特 殊 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>トラッククレーン賃料</td> <td>油圧伸縮ジブ型 〇〇 t 吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>4. 架設桁による架設</p> <p>4-1 適用範囲 架設桁（下路式1組桁，上路式1組桁）によるポストテンション桁（支間長20～45m）の架設工事に適用する。</p> <p>4-2 架設桁によるポストテンション桁架設歩掛 架設桁によるポストテンション桁架設歩掛は，次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.1 架設桁によるポストテンション桁架設歩掛</p> <table border="1" data-bbox="537 869 1365 1010"> <thead> <tr> <th rowspan="2">支間 (m)</th> <th rowspan="2">20m以上 ～35m未満</th> <th rowspan="2">35m以上 ～45m以下</th> <th colspan="3">編成人員 (人/日)</th> </tr> <tr> <th>橋梁世話役</th> <th>橋梁特殊工</th> <th>普通作業員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 日 当 り 架設質量 (t)</td> <td>57</td> <td>75</td> <td>1</td> <td>6</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は，桁製作場又は桁仮置き場から横取り，台車積込み架設場まで桁を引出し（約200mまで），架設，横取り及び据付けまでの一連作業の場合である。 2. 重量台車に積込む方法として横取装置を標準とするが，地形等の関係で別に門型クレーン，ケーブル等を必要とする場合は，別途考慮する。 3. 桁の運搬に際し，直線距離200mまでとしているが，桁の方向変え等を行う場合は，別途考慮する。 4. プレキャストセグメント桁の場合は1日当り架設質量を33%増すものとする。</p> <p>4-3 架設機械据付・解体歩掛 架設機械据付・解体歩掛は，次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.2 架設機械据付・解体歩掛</p> <table border="1" data-bbox="427 1358 1475 1539"> <thead> <tr> <th rowspan="2">支 間 (m)</th> <th rowspan="2">20m以上 ～25m未満</th> <th rowspan="2">25m以上 ～30m未満</th> <th rowspan="2">30m以上 ～35m未満</th> <th rowspan="2">35m以上 ～40m未満</th> <th rowspan="2">40m以上 ～45m以下</th> <th colspan="3">編成人員 (人/日)</th> </tr> <tr> <th>橋 梁 世 話 役</th> <th>橋 梁 特 殊 工</th> <th>普 通 作 業 員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>据付・解体日数 (日)</td> <td>9.5</td> <td>11</td> <td>13.5</td> <td>15.5</td> <td>17.5</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン 実作業日数 (日)</td> <td>5.5</td> <td>6.5</td> <td>8</td> <td>9.5</td> <td>10</td> <td>1</td> <td>6</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. ラフテレーンクレーンは，排出ガス対策型（第1次基準値）油圧伸縮ジブ型50 t 吊を標準とする。 2. 上表は，架設桁の据付・解体，トラワイヤの取付け，取外し及びウインチの据付・解体作業の場合である。</p> <p>4-4 架設機械移動歩掛 架設機械移動1回当り歩掛は，次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.3 架設機械移動1回当り歩掛</p> <table border="1" data-bbox="537 1745 1365 1864"> <thead> <tr> <th rowspan="2">支 間 (m)</th> <th rowspan="2">20m以上～45m以下</th> <th colspan="3">編成人員 (人/回)</th> </tr> <tr> <th>橋梁世話役</th> <th>橋梁特殊工</th> <th>普通作業員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>移動日数 (日)</td> <td>3.5</td> <td>2</td> <td>16</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 上表は，架設桁を次の支間に移動する作業の場合である。</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	橋 梁 世 話 役		人		表3.1, 表3.2, 表3.3	橋 梁 特 殊 工		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	トラッククレーン賃料	油圧伸縮ジブ型 〇〇 t 吊	日		〃	諸 雑 費		式			計					支間 (m)	20m以上 ～35m未満	35m以上 ～45m以下	編成人員 (人/日)			橋梁世話役	橋梁特殊工	普通作業員	1 日 当 り 架設質量 (t)	57	75	1	6	4	支 間 (m)	20m以上 ～25m未満	25m以上 ～30m未満	30m以上 ～35m未満	35m以上 ～40m未満	40m以上 ～45m以下	編成人員 (人/日)			橋 梁 世 話 役	橋 梁 特 殊 工	普 通 作 業 員	据付・解体日数 (日)	9.5	11	13.5	15.5	17.5				ラフテレーンクレーン 実作業日数 (日)	5.5	6.5	8	9.5	10	1	6	3	支 間 (m)	20m以上～45m以下	編成人員 (人/回)			橋梁世話役	橋梁特殊工	普通作業員	移動日数 (日)	3.5	2	16	10	<p style="text-align: center;">現 行 通 り</p> <p>4-3 架設機械据付・解体歩掛 架設機械据付・解体歩掛は，次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.2 架設機械据付・解体歩掛</p> <table border="1" data-bbox="1709 1371 2757 1551"> <thead> <tr> <th rowspan="2">支 間 (m)</th> <th rowspan="2">20m以上 ～25m未満</th> <th rowspan="2">25m以上 ～30m未満</th> <th rowspan="2">30m以上 ～35m未満</th> <th rowspan="2">35m以上 ～40m未満</th> <th rowspan="2">40m以上 ～45m以下</th> <th colspan="3">編成人員 (人/日)</th> </tr> <tr> <th>橋 梁 世 話 役</th> <th>橋 梁 特 殊 工</th> <th>普 通 作 業 員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>据付・解体日数 (日)</td> <td>9.5</td> <td>11</td> <td>13.5</td> <td>15.5</td> <td>17.5</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン 実作業日数 (日)</td> <td>5.5</td> <td>6.5</td> <td>8</td> <td>9.5</td> <td>10</td> <td>1</td> <td>6</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. ラフテレーンクレーンは，排出ガス対策型（第2次基準値）油圧伸縮ジブ型50 t 吊を標準とする。 2. 上表は，架設桁の据付・解体，トラワイヤの取付け，取外し及びウインチの据付・解体作業の場合である。</p> <p style="text-align: center;">現 行 通 り</p>	支 間 (m)	20m以上 ～25m未満	25m以上 ～30m未満	30m以上 ～35m未満	35m以上 ～40m未満	40m以上 ～45m以下	編成人員 (人/日)			橋 梁 世 話 役	橋 梁 特 殊 工	普 通 作 業 員	据付・解体日数 (日)	9.5	11	13.5	15.5	17.5				ラフテレーンクレーン 実作業日数 (日)	5.5	6.5	8	9.5	10	1	6	3
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																									
橋 梁 世 話 役		人		表3.1, 表3.2, 表3.3																																																																																																																									
橋 梁 特 殊 工		〃		〃																																																																																																																									
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																									
トラッククレーン賃料	油圧伸縮ジブ型 〇〇 t 吊	日		〃																																																																																																																									
諸 雑 費		式																																																																																																																											
計																																																																																																																													
支間 (m)	20m以上 ～35m未満	35m以上 ～45m以下	編成人員 (人/日)																																																																																																																										
			橋梁世話役	橋梁特殊工	普通作業員																																																																																																																								
1 日 当 り 架設質量 (t)	57	75	1	6	4																																																																																																																								
支 間 (m)	20m以上 ～25m未満	25m以上 ～30m未満	30m以上 ～35m未満	35m以上 ～40m未満	40m以上 ～45m以下	編成人員 (人/日)																																																																																																																							
						橋 梁 世 話 役	橋 梁 特 殊 工	普 通 作 業 員																																																																																																																					
据付・解体日数 (日)	9.5	11	13.5	15.5	17.5																																																																																																																								
ラフテレーンクレーン 実作業日数 (日)	5.5	6.5	8	9.5	10	1	6	3																																																																																																																					
支 間 (m)	20m以上～45m以下	編成人員 (人/回)																																																																																																																											
		橋梁世話役	橋梁特殊工	普通作業員																																																																																																																									
移動日数 (日)	3.5	2	16	10																																																																																																																									
支 間 (m)	20m以上 ～25m未満	25m以上 ～30m未満	30m以上 ～35m未満	35m以上 ～40m未満	40m以上 ～45m以下	編成人員 (人/日)																																																																																																																							
						橋 梁 世 話 役	橋 梁 特 殊 工	普 通 作 業 員																																																																																																																					
据付・解体日数 (日)	9.5	11	13.5	15.5	17.5																																																																																																																								
ラフテレーンクレーン 実作業日数 (日)	5.5	6.5	8	9.5	10	1	6	3																																																																																																																					

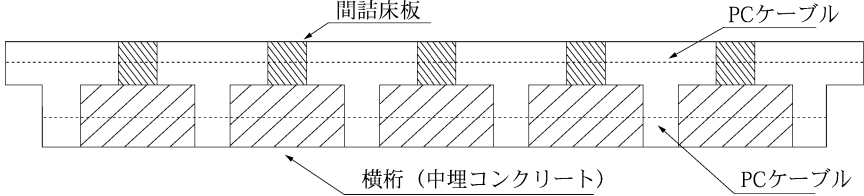
土木工事標準歩掛の一部改定
P C 橋架設工

工種名	現 行	改 定																																																																													
	<p>4-5 軌道設置・撤去歩掛 軌道の設置・撤去歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.4 軌道の設置・撤去歩掛 (1軌道10m当り)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th></th> <th>橋梁世話役 (人)</th> <th>橋梁特殊工 (人)</th> <th>普通作業員 (人)</th> </tr> <tr> <td>30kg/mレール</td> <td style="text-align: center;">0.2</td> <td style="text-align: center;">0.9</td> <td style="text-align: center;">0.9</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 上表は、主桁引出し用軌道の設置・撤去作業である。 2. 軌道(30kg/m)の100m設置・撤去所要日数は、3.5日である。</p> <p>4-6 その他</p> <p>4-6-1 アンカー工 アンカー工は、架設設計により計上する。なお、アンカーに既設構造物が使用出来る場合は、既設構造物に埋設するアンカーフレーム費用(材料費、製作費、復旧費)を別途計上する。 アンカーを土中に設置する場合は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.5 アンカー1箇所当り作業人員及び使用材料 (1箇所当り)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="3">編 成 人 員 (人)</th> <th colspan="2">使 用 材 料</th> </tr> <tr> <th>橋 梁 世 話 役</th> <th>橋 梁 特 殊 工</th> <th>普 通 作 業 員</th> <th>枕 木 (本)</th> <th>ワ イ ヤ (m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">2.1×0.14×0.2m</td> <td style="text-align: center;">4号品φ16 A種</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">0.2</td> <td style="text-align: center;">0.4</td> <td style="text-align: center;">0.9</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">15</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 使用材料は、全損とする。</p> <p>4-6-2 架設機械器具経費</p> <p>(1) 機械器具費 架設機械(架設桁、桁吊装置、横取り・引出し、軌道)器具費は、「請負工事機械経費積算要領」による。 供用日数は、次式による。 供用日数=(架設工日数+架設桁据付・解体日数+架設桁移動日数)×供用日数率……式4.1 供用日数率=1.5 供用日数が、架設時期、地域条件等により上記により難しい場合は、別途考慮する。</p> <p>(2) 諸雑費 諸雑費は、架設工具等の費用及び電力に関する経費等であり、架設機械器具費の合計に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表4.6 諸雑费率 (%)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>ポストテンション桁</td> <td style="text-align: center;">11</td> </tr> <tr> <td>プレキャストセグメント桁</td> <td style="text-align: center;">8</td> </tr> </table> <p>4-7 単価表、内訳表</p> <p>(1) 主桁架設内訳書 (〇〇t当り)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>細 別</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主 桁 架 設</td> <td></td> <td>t</td> <td></td> <td>(2)単価表</td> </tr> <tr> <td>架設機械据付・解体</td> <td></td> <td>式</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td>(3) "</td> </tr> <tr> <td>架 設 機 械 移 動</td> <td></td> <td>回</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td>(4) "</td> </tr> <tr> <td>軌 道 設 置 ・ 撤 去</td> <td></td> <td>m</td> <td></td> <td>(5) "</td> </tr> <tr> <td>ア ン カ ー 工</td> <td></td> <td>箇所</td> <td></td> <td>(6) "</td> </tr> <tr> <td>架設機械器具経費</td> <td></td> <td>式</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td>(7) "</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>"</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		橋梁世話役 (人)	橋梁特殊工 (人)	普通作業員 (人)	30kg/mレール	0.2	0.9	0.9	編 成 人 員 (人)			使 用 材 料		橋 梁 世 話 役	橋 梁 特 殊 工	普 通 作 業 員	枕 木 (本)	ワ イ ヤ (m)				2.1×0.14×0.2m	4号品φ16 A種	0.2	0.4	0.9	3	15	ポストテンション桁	11	プレキャストセグメント桁	8	細 別	規 格	単 位	数 量	摘 要	主 桁 架 設		t		(2)単価表	架設機械据付・解体		式	1	(3) "	架 設 機 械 移 動		回	1	(4) "	軌 道 設 置 ・ 撤 去		m		(5) "	ア ン カ ー 工		箇所		(6) "	架設機械器具経費		式	1	(7) "	諸 雑 費		"	1		計					現 行 通 り
	橋梁世話役 (人)	橋梁特殊工 (人)	普通作業員 (人)																																																																												
30kg/mレール	0.2	0.9	0.9																																																																												
編 成 人 員 (人)			使 用 材 料																																																																												
橋 梁 世 話 役	橋 梁 特 殊 工	普 通 作 業 員	枕 木 (本)	ワ イ ヤ (m)																																																																											
			2.1×0.14×0.2m	4号品φ16 A種																																																																											
0.2	0.4	0.9	3	15																																																																											
ポストテンション桁	11																																																																														
プレキャストセグメント桁	8																																																																														
細 別	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																											
主 桁 架 設		t		(2)単価表																																																																											
架設機械据付・解体		式	1	(3) "																																																																											
架 設 機 械 移 動		回	1	(4) "																																																																											
軌 道 設 置 ・ 撤 去		m		(5) "																																																																											
ア ン カ ー 工		箇所		(6) "																																																																											
架設機械器具経費		式	1	(7) "																																																																											
諸 雑 費		"	1																																																																												
計																																																																															

土木工事標準歩掛の一部改定
P C 橋架設工

工種名	現 行	改 定																																																																																																																																																																																																								
	<p>(2) 主桁架設 t 当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="519 296 1383 537"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋 梁 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.1</td> </tr> <tr> <td>橋 梁 特 殊 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 架設機械据付・解体一式当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="519 596 1383 945"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋 梁 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.2</td> </tr> <tr> <td>橋 梁 特 殊 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン賃料</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型 50 t 吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 架設機械移動 1 回当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="519 1003 1383 1245"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋 梁 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.3</td> </tr> <tr> <td>橋 梁 特 殊 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(5) 軌道設置・撤去 (10m当り) 単価表</p> <table border="1" data-bbox="519 1304 1383 1545"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋 梁 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.4</td> </tr> <tr> <td>橋 梁 特 殊 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(6) アンカー工 1 箇所当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="519 1604 1383 1925"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋 梁 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.5</td> </tr> <tr> <td>橋 梁 特 殊 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>枕 木</td> <td>2.1×0.14×0.2m</td> <td>本</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ワイヤ</td> <td>4号品φ16 A種</td> <td>m</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	橋 梁 世 話 役		人		表4.1	橋 梁 特 殊 工		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	橋 梁 世 話 役		人		表4.2	橋 梁 特 殊 工		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	ラフテレーンクレーン賃料	排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型 50 t 吊	日		〃	諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	橋 梁 世 話 役		人		表4.3	橋 梁 特 殊 工		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	橋 梁 世 話 役		人		表4.4	橋 梁 特 殊 工		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	橋 梁 世 話 役		人		表4.5	橋 梁 特 殊 工		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	枕 木	2.1×0.14×0.2m	本		〃	ワイヤ	4号品φ16 A種	m		〃	諸 雑 費		式	1		計					<p>現 行 通 り</p> <p>(3) 架設機械据付・解体一式当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="1801 588 2665 936"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋 梁 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.2</td> </tr> <tr> <td>橋 梁 特 殊 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン賃料</td> <td>排出ガス対策型 (第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型 50 t 吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>現 行 通 り</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	橋 梁 世 話 役		人		表4.2	橋 梁 特 殊 工		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	ラフテレーンクレーン賃料	排出ガス対策型 (第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型 50 t 吊	日		〃	諸 雑 費		式	1		計				
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																						
橋 梁 世 話 役		人		表4.1																																																																																																																																																																																																						
橋 梁 特 殊 工		〃		〃																																																																																																																																																																																																						
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																																																						
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																																																																																							
計																																																																																																																																																																																																										
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																						
橋 梁 世 話 役		人		表4.2																																																																																																																																																																																																						
橋 梁 特 殊 工		〃		〃																																																																																																																																																																																																						
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																																																						
ラフテレーンクレーン賃料	排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型 50 t 吊	日		〃																																																																																																																																																																																																						
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																																																																																							
計																																																																																																																																																																																																										
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																						
橋 梁 世 話 役		人		表4.3																																																																																																																																																																																																						
橋 梁 特 殊 工		〃		〃																																																																																																																																																																																																						
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																																																						
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																																																																																							
計																																																																																																																																																																																																										
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																						
橋 梁 世 話 役		人		表4.4																																																																																																																																																																																																						
橋 梁 特 殊 工		〃		〃																																																																																																																																																																																																						
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																																																						
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																																																																																							
計																																																																																																																																																																																																										
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																						
橋 梁 世 話 役		人		表4.5																																																																																																																																																																																																						
橋 梁 特 殊 工		〃		〃																																																																																																																																																																																																						
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																																																						
枕 木	2.1×0.14×0.2m	本		〃																																																																																																																																																																																																						
ワイヤ	4号品φ16 A種	m		〃																																																																																																																																																																																																						
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																																																																																							
計																																																																																																																																																																																																										
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																						
橋 梁 世 話 役		人		表4.2																																																																																																																																																																																																						
橋 梁 特 殊 工		〃		〃																																																																																																																																																																																																						
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																																																						
ラフテレーンクレーン賃料	排出ガス対策型 (第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型 50 t 吊	日		〃																																																																																																																																																																																																						
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																																																																																							
計																																																																																																																																																																																																										

土木工事標準歩掛の一部改定
P C 橋架設工

工種名	現 行	改 定																																																						
	<p>(7) 架設機械器具経費一式当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="519 310 1383 590"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>架 設 桁 設 備</td> <td></td> <td>供用日</td> <td></td> <td>式4.1による</td> </tr> <tr> <td>桁 吊 装 置 設 備</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>横 取 ・ 引 出 し 設 備</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>軌 道 設 備</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表4.6</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>5. 横 組 工 横組工とは、横桁中埋コンクリート、間詰床版及び横筋の一連作業で、その内訳は次のとおりである。</p>  <p>5-1 鉄 筋 工 5-1-1 鉄筋加工・組立 (1) 間詰床版及び横筋の鉄筋加工・組立歩掛は、次表を標準とする。</p> <p>表5.1 間詰床版及び横筋の鉄筋加工・組立歩掛 (1t当り)</p> <table border="1" data-bbox="566 1102 1332 1222"> <thead> <tr> <th colspan="3">編 成 人 員 (人)</th> <th rowspan="2">諸 雑 費 率 (%)</th> </tr> <tr> <th>世 話 役</th> <th>鉄 筋 工</th> <th>普 通 作 業 員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0.7</td> <td>3.6</td> <td>1.5</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 歩掛は、場内運搬を含む。 2. 諸雑費は、結束線、溶接棒及び電力に関する経費等であり、労務費の合計に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>5-1-2 鉄筋使用量 鉄筋の使用量は次式とし、スクラップ控除はしない。 使用量 (t) = 設計量 (t) × (1 + K) ……式5.1</p> <p>表5.2 ロ ス 率 (K)</p> <table border="1" data-bbox="715 1497 1184 1539"> <thead> <tr> <th>ロ ス 率</th> <th>+</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>0.06</td> </tr> </tbody> </table> <p>5-2 コンクリート工 横組の型枠及びコンクリート作業に適用し、P C 合成桁橋の床版は含まない。</p> <p>5-2-1 打設工法 打設工法は、コンクリートポンプ車による打設を標準とする。</p> <p>5-2-2 コンクリートポンプ車の規格 コンクリートポンプ車の規格は、次表を標準とする。</p> <p>表5.3 コンクリートポンプ車の規格</p> <table border="1" data-bbox="715 1812 1184 1896"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンクリートポンプ車</td> <td>ブーム式55~60m³/h</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	架 設 桁 設 備		供用日		式4.1による	桁 吊 装 置 設 備		〃		〃	横 取 ・ 引 出 し 設 備		〃		〃	軌 道 設 備		〃		〃	諸 雑 費		式	1	表4.6	計					編 成 人 員 (人)			諸 雑 費 率 (%)	世 話 役	鉄 筋 工	普 通 作 業 員	0.7	3.6	1.5	6	ロ ス 率	+		0.06	機 械 名	規 格	コンクリートポンプ車	ブーム式55~60m ³ /h	<p>現 行 通 り</p>
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																				
架 設 桁 設 備		供用日		式4.1による																																																				
桁 吊 装 置 設 備		〃		〃																																																				
横 取 ・ 引 出 し 設 備		〃		〃																																																				
軌 道 設 備		〃		〃																																																				
諸 雑 費		式	1	表4.6																																																				
計																																																								
編 成 人 員 (人)			諸 雑 費 率 (%)																																																					
世 話 役	鉄 筋 工	普 通 作 業 員																																																						
0.7	3.6	1.5	6																																																					
ロ ス 率	+																																																							
	0.06																																																							
機 械 名	規 格																																																							
コンクリートポンプ車	ブーム式55~60m ³ /h																																																							

土木工事標準歩掛の一部改定
P C 橋架設工

工種名	現 行	改 定																																																																																														
	<p>5-2-3 コンクリート工歩掛 型枠の製作、設置・撤去、コンクリートポンプ車による打設及び養生歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.4 コンクリート工歩掛 (10m³当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">桁 区 分</th> <th colspan="4">編 成 人 員 (人)</th> <th rowspan="2">諸雑費率 (%)</th> </tr> <tr> <th>橋梁世話役</th> <th>特殊作業員</th> <th>型枠工</th> <th>普通作業員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プレテンションT桁、ポストテンション桁</td> <td style="text-align: center;">3.4</td> <td style="text-align: center;">1.6</td> <td style="text-align: center;">13.5</td> <td style="text-align: center;">12.0 (9.9)</td> <td style="text-align: center;">8 (7)</td> </tr> <tr> <td>プレテンション床版桁</td> <td style="text-align: center;">0.8</td> <td style="text-align: center;">1.6</td> <td style="text-align: center;">2.5</td> <td style="text-align: center;">5.4 (3.3)</td> <td style="text-align: center;">12 (6)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. コンクリートポンプ車の運転時間はコンクリート10m³当り1.5時間とする。 2. 歩掛はブーム打設を標準としているが困難な場合、または現場条件により配管打設が適する場合は、上記歩掛にて配管打設も適用出来る。なお、配管式コンクリートポンプ車の規格は55m³/hとする。 3. 配管打設の場合の圧送管設置・撤去労務(30m程度)を含むものとし、30mを超える場合は「第5章コンクリート工①コンクリート工」による。 4. ブーム打設は、打設高さ、15m以下、投入水平距離15m以下の場合に適用する。 5. 1日当り打設量は、40m³を標準とする。 6. 諸雑費は、型枠用材料、剥離材、養生マット及び電力に関する経費等であり、労務費の合計に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 7. 養生については、養生覆材の被覆・水散布養生を標準とする。養生面積は、間詰床版の面積とする。給熱養生等の特別な養生を必要とする場合の普通作業員の歩掛及び諸雑費率は、()内の値とし、養生費用は別途計上する。</p> <p>5-2-4 コンクリート使用量 コンクリートの使用量は、次式による。 使用量 (m³) = 設計量 (m³) × (1 + K) ……式5.2</p> <p style="text-align: center;">表5.5 ロ ス 率 (K)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <tr> <td style="width: 80%;">ロ ス 率</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">+0.04</td> </tr> </table> <p>5-3 P C 工 5-3-1 P C 工歩掛 ケーブルの切断、シースの組立、ケーブルの挿入、修正、グラウト注入歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.6 P C 工歩掛 (ケーブル100m当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">桁 種 類</th> <th rowspan="2">種 類</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th colspan="3">編 成 人 員 (人)</th> <th rowspan="2">諸雑費率 (%)</th> </tr> <tr> <th>橋梁世話役</th> <th>橋梁特殊工</th> <th>普通作業員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">プレテンション桁</td> <td rowspan="3">シングルストランドシステム</td> <td>390kN(40 t)型(1 S17.8)</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">0.7</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">2.2</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">1.3</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">16</td> </tr> <tr> <td>450kN(50 t)型(1 S19.3)</td> </tr> <tr> <td>570kN(60 t)型(1 S21.8)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">ポストテンション桁</td> <td>マルチワイヤシステム</td> <td>700kN(70 t)型(12W7A)</td> <td style="text-align: center;">0.7</td> <td style="text-align: center;">2.6</td> <td style="text-align: center;">1.6</td> <td style="text-align: center;">15</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">シングルストランドシステム</td> <td>390kN(40 t)型(1 S17.8)</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">0.7</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">3.3</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">1.9</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">11</td> </tr> <tr> <td>450kN(50 t)型(1 S19.3)</td> </tr> <tr> <td>570kN(60 t)型(1 S21.8)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. ケーブル延長は、定着装置内面間の実延長とする。 2. 諸雑費は、シース、グラウト材料、シール材料及び電力に関する経費等であり、労務費の合計に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>5-3-2 P C ケーブル使用量 P C ケーブルの使用量は、次式による。 使用量 (m) = 設計量 (m) × (1 + K) ……式5.3</p> <p style="text-align: center;">表5.7 ロ ス 率 (K)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <tr> <td style="width: 80%;">ロ ス 率</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">+0.06</td> </tr> </table> <p>(注) 上表のロス率はP C ケーブルの切断ロス、つかみ代等の補正でありスクラップ控除はしない。</p>	桁 区 分	編 成 人 員 (人)				諸雑費率 (%)	橋梁世話役	特殊作業員	型枠工	普通作業員	プレテンションT桁、ポストテンション桁	3.4	1.6	13.5	12.0 (9.9)	8 (7)	プレテンション床版桁	0.8	1.6	2.5	5.4 (3.3)	12 (6)	ロ ス 率	+0.04	桁 種 類	種 類	規 格	編 成 人 員 (人)			諸雑費率 (%)	橋梁世話役	橋梁特殊工	普通作業員	プレテンション桁	シングルストランドシステム	390kN(40 t)型(1 S17.8)	0.7	2.2	1.3	16	450kN(50 t)型(1 S19.3)	570kN(60 t)型(1 S21.8)	ポストテンション桁	マルチワイヤシステム	700kN(70 t)型(12W7A)	0.7	2.6	1.6	15	シングルストランドシステム	390kN(40 t)型(1 S17.8)	0.7	3.3	1.9	11	450kN(50 t)型(1 S19.3)	570kN(60 t)型(1 S21.8)	ロ ス 率	+0.06	<p style="text-align: center; font-size: 2em;">}</p> <p style="text-align: center;">現 行 通 り</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em;">}</p> <p>5-3 P C 工 5-3-1 P C 工歩掛 ケーブルの切断、シースの組立、ケーブルの挿入、修正、グラウト注入歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.6 P C 工歩掛 (ケーブル100m当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">桁 種 類</th> <th rowspan="2">種 類</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th colspan="3">編 成 人 員 (人)</th> <th rowspan="2">諸雑費率 (%)</th> </tr> <tr> <th>橋梁世話役</th> <th>橋梁特殊工</th> <th>普通作業員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">プレテンション桁</td> <td rowspan="3">シングルストランドシステム</td> <td>390kN(40 t)型(1 S17.8)</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">0.7</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">2.2</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">1.3</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">16</td> </tr> <tr> <td>450kN(50 t)型(1 S19.3)</td> </tr> <tr> <td>570kN(60 t)型(1 S21.8)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">ポストテンション桁</td> <td>マルチワイヤシステム</td> <td>700kN(70 t)型(12W7A)</td> <td style="text-align: center;">0.7</td> <td style="text-align: center;">2.6</td> <td style="text-align: center;">1.6</td> <td style="text-align: center;">15</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">シングルストランドシステム</td> <td>390kN(40 t)型(1 S17.8)</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">0.7</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">3.3</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">1.9</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">11</td> </tr> <tr> <td>450kN(50 t)型(1 S19.3)</td> </tr> <tr> <td>570kN(60 t)型(1 S21.8)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. ケーブル延長は、定着装置内面間の実延長とする。 2. 諸雑費は、鋼製シース、グラウト材料、シール材料及び電力に関する経費等であり、労務費の合計に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em;">}</p> <p style="text-align: center;">現 行 通 り</p>	桁 種 類	種 類	規 格	編 成 人 員 (人)			諸雑費率 (%)	橋梁世話役	橋梁特殊工	普通作業員	プレテンション桁	シングルストランドシステム	390kN(40 t)型(1 S17.8)	0.7	2.2	1.3	16	450kN(50 t)型(1 S19.3)	570kN(60 t)型(1 S21.8)	ポストテンション桁	マルチワイヤシステム	700kN(70 t)型(12W7A)	0.7	2.6	1.6	15	シングルストランドシステム	390kN(40 t)型(1 S17.8)	0.7	3.3	1.9	11	450kN(50 t)型(1 S19.3)	570kN(60 t)型(1 S21.8)
桁 区 分	編 成 人 員 (人)				諸雑費率 (%)																																																																																											
	橋梁世話役	特殊作業員	型枠工	普通作業員																																																																																												
プレテンションT桁、ポストテンション桁	3.4	1.6	13.5	12.0 (9.9)	8 (7)																																																																																											
プレテンション床版桁	0.8	1.6	2.5	5.4 (3.3)	12 (6)																																																																																											
ロ ス 率	+0.04																																																																																															
桁 種 類	種 類	規 格	編 成 人 員 (人)			諸雑費率 (%)																																																																																										
			橋梁世話役	橋梁特殊工	普通作業員																																																																																											
プレテンション桁	シングルストランドシステム	390kN(40 t)型(1 S17.8)	0.7	2.2	1.3	16																																																																																										
		450kN(50 t)型(1 S19.3)																																																																																														
		570kN(60 t)型(1 S21.8)																																																																																														
ポストテンション桁	マルチワイヤシステム	700kN(70 t)型(12W7A)	0.7	2.6	1.6	15																																																																																										
	シングルストランドシステム	390kN(40 t)型(1 S17.8)	0.7	3.3	1.9	11																																																																																										
		450kN(50 t)型(1 S19.3)																																																																																														
		570kN(60 t)型(1 S21.8)																																																																																														
ロ ス 率	+0.06																																																																																															
桁 種 類	種 類	規 格	編 成 人 員 (人)			諸雑費率 (%)																																																																																										
			橋梁世話役	橋梁特殊工	普通作業員																																																																																											
プレテンション桁	シングルストランドシステム	390kN(40 t)型(1 S17.8)	0.7	2.2	1.3	16																																																																																										
		450kN(50 t)型(1 S19.3)																																																																																														
		570kN(60 t)型(1 S21.8)																																																																																														
ポストテンション桁	マルチワイヤシステム	700kN(70 t)型(12W7A)	0.7	2.6	1.6	15																																																																																										
	シングルストランドシステム	390kN(40 t)型(1 S17.8)	0.7	3.3	1.9	11																																																																																										
		450kN(50 t)型(1 S19.3)																																																																																														
		570kN(60 t)型(1 S21.8)																																																																																														

土木工事標準歩掛の一部改定
P C 橋架設工

工種名	現 行	改 定																																																											
	<p>5-4 緊張工 5-4-1 緊張工歩掛 定着装置の設置、緊張、モルタルあと埋め作業の歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.8 緊張工歩掛 (10ケーブル当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種 類</th> <th>規 格</th> <th colspan="3">編 成 人 員 (人)</th> <th rowspan="2">諸 雑 費 率 (%)</th> </tr> <tr> <th>P C ケーブル</th> <th>橋梁世話役</th> <th>橋梁特殊工</th> <th>普通作業員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">マルチワイヤシステム</td> <td>700kN(70 t)型(12W 7 A)</td> <td>0.3</td> <td>1.6</td> <td>0.7</td> <td rowspan="4">4</td> </tr> <tr> <td>390kN(40 t)型(1 S17.8)</td> <td rowspan="3">0.4</td> <td rowspan="3">1.2</td> <td rowspan="3">0.6</td> </tr> <tr> <td>シングルストランドシステム</td> <td>450kN(50 t)型(1 S19.3)</td> </tr> <tr> <td>570kN(60 t)型(1 S21.8)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 緊張は片締めを標準とする。 2. 諸雑費は電力に関する経費等であり、労務費の合計に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>5-4-2 使用材料 使用材料として、定着装置を別途計上する。</p> <p>5-5 足場工及び防護工 5-5-1 足 場 工 (1) 桁下足場 桁下足場工は、パイプ吊足場を標準とし、足場工費は、次式による。 なお、工費には側部(朝顔)などの費用も含まれている。 足場工費 = (S X + N y) × A (円) S : 損料係数 (表5.9) (表5.10) X : 足場を設置している月数 (月) 桁下足場の設置月数は、2箇月を標準とする。 N : 歩掛係数 (表5.9) (表5.10) y : 橋梁特殊工単価 (円/人) A : 橋面積 (m²) A = W × L (m²) W : 全幅員で地覆外縁間距離、壁高欄の場合は壁高欄外縁間距離 (m) L : 橋長 (m) 損料係数 (S), 歩掛係数 (N) 各係数は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.9 ポストテンション桁用足場損料係数 (S), 歩掛係数 (N)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">桁高 (m)</th> <th colspan="2">係 数</th> <th colspan="2">S</th> <th colspan="2">N</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>両側朝顔</th> <th>片側朝顔</th> <th>両側朝顔</th> <th>片側朝顔</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.1 ≤ H < 1.5</td> <td colspan="2"></td> <td>350</td> <td>330</td> <td>0.10</td> <td>0.09</td> </tr> <tr> <td>1.5 ≤ H</td> <td colspan="2"></td> <td>370</td> <td>345</td> <td>0.12</td> <td>0.11</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">表5.10 プレテンション桁用足場損料係数 (S), 歩掛係数 (N)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>係 数</th> <th>S</th> <th>N</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>両 側 朝 顔</td> <td>320</td> <td>0.098</td> </tr> <tr> <td>片 側 朝 顔</td> <td>310</td> <td>0.094</td> </tr> </tbody> </table>	種 類	規 格	編 成 人 員 (人)			諸 雑 費 率 (%)	P C ケーブル	橋梁世話役	橋梁特殊工	普通作業員	マルチワイヤシステム	700kN(70 t)型(12W 7 A)	0.3	1.6	0.7	4	390kN(40 t)型(1 S17.8)	0.4	1.2	0.6	シングルストランドシステム	450kN(50 t)型(1 S19.3)	570kN(60 t)型(1 S21.8)	桁高 (m)	係 数		S		N				両側朝顔	片側朝顔	両側朝顔	片側朝顔	1.1 ≤ H < 1.5			350	330	0.10	0.09	1.5 ≤ H			370	345	0.12	0.11	係 数	S	N	両 側 朝 顔	320	0.098	片 側 朝 顔	310	0.094	現 行 通 り
種 類	規 格		編 成 人 員 (人)			諸 雑 費 率 (%)																																																							
	P C ケーブル	橋梁世話役	橋梁特殊工	普通作業員																																																									
マルチワイヤシステム	700kN(70 t)型(12W 7 A)	0.3	1.6	0.7	4																																																								
	390kN(40 t)型(1 S17.8)	0.4	1.2	0.6																																																									
シングルストランドシステム	450kN(50 t)型(1 S19.3)																																																												
570kN(60 t)型(1 S21.8)																																																													
桁高 (m)	係 数		S		N																																																								
			両側朝顔	片側朝顔	両側朝顔	片側朝顔																																																							
1.1 ≤ H < 1.5			350	330	0.10	0.09																																																							
1.5 ≤ H			370	345	0.12	0.11																																																							
係 数	S	N																																																											
両 側 朝 顔	320	0.098																																																											
片 側 朝 顔	310	0.094																																																											

土木工事標準歩掛の一部改定
P C 橋架設工

工種名	現 行	改 定																																																																						
	<p>(2) 側部足場 側部足場（スラブ桁橋）の足場工費は、次式による。 足場工費 = $(585X + 0.186y) \times L$ (円) X : 足場を設置している月数 (月) 側部足場（スラブ橋桁）の設置月数は1箇月を標準とする。 y : 橋梁特殊工単価 (円/人) L : 足場総延長 (m)</p> <p>5-5-2 防護工 防護工は、桁下に鉄道、道路等があり、第三者に危害を及ぼす恐れのある場合に設置し、5-5-1(1)で求めた桁下足場工費に別途計上する。 なお、工費には、側面防護（朝顔）の費用も含む。 防護工費（両側朝顔） = $(115X + 0.05y) \times A$ 防護工費（片側朝顔） = $(105X + 0.04y) \times A$ X : 防護工設置月数であり、足場設置月数と同じとする (月) y : 橋梁特殊工単価 (円/人) A : 防護工必要橋面積 (m²) A = W × L (m²) W : 全幅員で地覆外縁間距離、壁高欄の場合は壁高欄外縁間距離 (m) L : 防護工必要長 (m)</p> <p>5-5-3 登り栈橋工 登り栈橋工は、「第16章橋梁②鋼橋架設工」による。</p> <p>5-6 単価表、内訳表 (1) 横組工内訳書</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鉄 筋 工</td> <td></td> <td>t</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>コンクリート工</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td>型枠工、養生工含む</td> </tr> <tr> <td>P C 工</td> <td></td> <td>m</td> <td></td> <td>グラウト工含む</td> </tr> <tr> <td>緊 張 工</td> <td></td> <td>ケーブル</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>足 場 工</td> <td></td> <td>式</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 鉄筋加工・組立1 t 当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表5.1</td> </tr> <tr> <td>鉄 筋 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>鉄 筋</td> <td></td> <td>t</td> <td></td> <td>設計量 × (1 + ロス率)</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表5.1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	鉄 筋 工		t			コンクリート工		m ³		型枠工、養生工含む	P C 工		m		グラウト工含む	緊 張 工		ケーブル			足 場 工		式			計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表5.1	鉄 筋 工		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	鉄 筋		t		設計量 × (1 + ロス率)	諸 雑 費		式	1	表5.1	計					<p>現 行 通 り</p>
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																				
鉄 筋 工		t																																																																						
コンクリート工		m ³		型枠工、養生工含む																																																																				
P C 工		m		グラウト工含む																																																																				
緊 張 工		ケーブル																																																																						
足 場 工		式																																																																						
計																																																																								
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																				
世 話 役		人		表5.1																																																																				
鉄 筋 工		〃		〃																																																																				
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																				
鉄 筋		t		設計量 × (1 + ロス率)																																																																				
諸 雑 費		式	1	表5.1																																																																				
計																																																																								

土木工事標準歩掛の一部改定
P C 橋架設工

工種名	現 行	改 定																																																																																																																																					
	<p>(3) コンクリート10m³当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋 梁 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表5.4</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>型 枠 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>生 コ ン ク リ ー ト</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td>設計量×(1+ロス率)</td> </tr> <tr> <td>コンクリートポンプ車運転</td> <td></td> <td>h</td> <td></td> <td>表5.4(注)</td> </tr> <tr> <td>圧送管組立・撤去費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>必要に応じ計上</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>表5.4</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) P C ケーブル100m当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋 梁 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表5.6</td> </tr> <tr> <td>橋 梁 特 殊 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>P C ケ ー ブ ル</td> <td></td> <td>kg</td> <td></td> <td>設計量×(1+ロス率)×単位質量</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表5.6</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(5) 緊張工10ケーブル当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋 梁 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表5.8</td> </tr> <tr> <td>橋 梁 特 殊 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>定 着 装 置</td> <td>緊張側(緊張用)</td> <td>組</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>定 着 装 置</td> <td>固定側 (緊張用又は固定用)</td> <td>〃</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表5.8</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(6) 機械運転単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンクリートポンプ車</td> <td>ブーム式 55~60m³/h 配管式 55m³/h</td> <td>機-3</td> <td>機械損料1→コンクリートポンプ車 (ブーム式55~60m³/h, 配管式55m³/h) 機械損料2→コンクリート圧送管 (径125mm) 単 位→m・h 数 量→L×1h</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) Lはコンクリートポンプ車から作業範囲30mを超えた部分の圧送管延長とする。</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	橋 梁 世 話 役		人		表5.4	特 殊 作 業 員		〃		〃	型 枠 工		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	生 コ ン ク リ ー ト		m ³		設計量×(1+ロス率)	コンクリートポンプ車運転		h		表5.4(注)	圧送管組立・撤去費		式	1	必要に応じ計上	諸 雑 費		〃	1	表5.4	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	橋 梁 世 話 役		人		表5.6	橋 梁 特 殊 工		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	P C ケ ー ブ ル		kg		設計量×(1+ロス率)×単位質量	諸 雑 費		式	1	表5.6	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	橋 梁 世 話 役		人		表5.8	橋 梁 特 殊 工		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	定 着 装 置	緊張側(緊張用)	組	10		定 着 装 置	固定側 (緊張用又は固定用)	〃	10		諸 雑 費		式	1	表5.8	計					機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	コンクリートポンプ車	ブーム式 55~60m ³ /h 配管式 55m ³ /h	機-3	機械損料1→コンクリートポンプ車 (ブーム式55~60m ³ /h, 配管式55m ³ /h) 機械損料2→コンクリート圧送管 (径125mm) 単 位→m・h 数 量→L×1h	<p>現 行 通 り</p>
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																			
橋 梁 世 話 役		人		表5.4																																																																																																																																			
特 殊 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																			
型 枠 工		〃		〃																																																																																																																																			
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																			
生 コ ン ク リ ー ト		m ³		設計量×(1+ロス率)																																																																																																																																			
コンクリートポンプ車運転		h		表5.4(注)																																																																																																																																			
圧送管組立・撤去費		式	1	必要に応じ計上																																																																																																																																			
諸 雑 費		〃	1	表5.4																																																																																																																																			
計																																																																																																																																							
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																			
橋 梁 世 話 役		人		表5.6																																																																																																																																			
橋 梁 特 殊 工		〃		〃																																																																																																																																			
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																			
P C ケ ー ブ ル		kg		設計量×(1+ロス率)×単位質量																																																																																																																																			
諸 雑 費		式	1	表5.6																																																																																																																																			
計																																																																																																																																							
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																			
橋 梁 世 話 役		人		表5.8																																																																																																																																			
橋 梁 特 殊 工		〃		〃																																																																																																																																			
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																			
定 着 装 置	緊張側(緊張用)	組	10																																																																																																																																				
定 着 装 置	固定側 (緊張用又は固定用)	〃	10																																																																																																																																				
諸 雑 費		式	1	表5.8																																																																																																																																			
計																																																																																																																																							
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																																																																																																																				
コンクリートポンプ車	ブーム式 55~60m ³ /h 配管式 55m ³ /h	機-3	機械損料1→コンクリートポンプ車 (ブーム式55~60m ³ /h, 配管式55m ³ /h) 機械損料2→コンクリート圧送管 (径125mm) 単 位→m・h 数 量→L×1h																																																																																																																																				

土木工事標準歩掛の一部改定
P C 橋架設工

工種名	現 行	改 定																																																																							
	<p>6. 支 承 工</p> <p>6-1 機種の選定 支承据付けに使用する機械の機種・規格は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表6.1 機種選定の選定</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型25 t 吊</td> </tr> </table> <p>(注) 1. ラフテレーンクレーンは、賃料とする。 2. ゴム支承 (Bタイプ) のみ上記機械を計上する。また現場条件により、これにより難しい場合は別途選定する。</p> <p>6-2 施工歩掛 ゴム支承据付け歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表6.2 ゴム支承据付け歩掛</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th rowspan="2">支 承 種 類</th> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">1日当り施工量</th> <th colspan="3">編成人員 (人/日)</th> </tr> <tr> <th>橋梁世話役</th> <th>橋梁特殊工</th> <th>普通作業員</th> </tr> <tr> <td>ゴ ム 支 承 A タ イ プ (プレテンション床版橋用簡易タイプ)</td> <td></td> <td>10m</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">1</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">2</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">2</td> </tr> <tr> <td>ゴ ム 支 承 A タ イ プ (パッドタイプ)</td> <td>60kg/個以下</td> <td>9個</td> </tr> <tr> <td>ゴ ム 支 承 B タ イ プ</td> <td></td> <td>3個</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 上記歩掛には、アンカーバー、アンカーキャップ、スパイラル筋等の据付け、はつり工、無収縮モルタル充填を含む。 2. 無収縮モルタル材料は、別途計上する。</p> <p>6-3 諸雑費 諸雑費は、支承の据付けに使用する工具等損料及び電力に関する経費等であり、労務費の合計に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表6.3 諸雑费率 (%)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td style="text-align: center;">4</td> </tr> </table> <p>6-4 単価表 (1) ゴム支承Aタイプ (プレテンション床版橋用簡易タイプ) 据付け10m当り単価表</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> <tr> <td>橋 梁 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>$\frac{10}{N} \times 1$</td> <td>表6.2</td> </tr> <tr> <td>橋 梁 特 殊 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>$\frac{10}{N} \times 2$</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>$\frac{10}{N} \times 2$</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ゴ ム 支 承</td> <td></td> <td>m</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>無 収 縮 モ ル タ ル</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td>必要数量計上</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表6.3</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(注) N : 日当り施工数量 (m/日)</p>	機 械 名	規 格	ラフテレーンクレーン	排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型25 t 吊	支 承 種 類	規 格	1日当り施工量	編成人員 (人/日)			橋梁世話役	橋梁特殊工	普通作業員	ゴ ム 支 承 A タ イ プ (プレテンション床版橋用簡易タイプ)		10m	1	2	2	ゴ ム 支 承 A タ イ プ (パッドタイプ)	60kg/個以下	9個	ゴ ム 支 承 B タ イ プ		3個	諸 雑 費 率	4	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	橋 梁 世 話 役		人	$\frac{10}{N} \times 1$	表6.2	橋 梁 特 殊 工		〃	$\frac{10}{N} \times 2$	〃	普 通 作 業 員		〃	$\frac{10}{N} \times 2$	〃	ゴ ム 支 承		m	10		無 収 縮 モ ル タ ル		m ³		必要数量計上	諸 雑 費		式	1	表6.3	計					<p>6. 支 承 工</p> <p>6-1 機種の選定 支承据付けに使用する機械の機種・規格は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表6.1 機種選定の選定</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン</td> <td>排出ガス対策型 (第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型25 t 吊</td> </tr> </table> <p>(注) 1. ラフテレーンクレーンは、賃料とする。 2. ゴム支承 (Bタイプ) のみ上記機械を計上する。また現場条件により、これにより難しい場合は別途選定する。</p> <p style="text-align: center;">現 行 通 り</p>	機 械 名	規 格	ラフテレーンクレーン	排出ガス対策型 (第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型25 t 吊
機 械 名	規 格																																																																								
ラフテレーンクレーン	排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型25 t 吊																																																																								
支 承 種 類	規 格	1日当り施工量	編成人員 (人/日)																																																																						
			橋梁世話役	橋梁特殊工	普通作業員																																																																				
ゴ ム 支 承 A タ イ プ (プレテンション床版橋用簡易タイプ)		10m	1	2	2																																																																				
ゴ ム 支 承 A タ イ プ (パッドタイプ)	60kg/個以下	9個																																																																							
ゴ ム 支 承 B タ イ プ		3個																																																																							
諸 雑 費 率	4																																																																								
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																					
橋 梁 世 話 役		人	$\frac{10}{N} \times 1$	表6.2																																																																					
橋 梁 特 殊 工		〃	$\frac{10}{N} \times 2$	〃																																																																					
普 通 作 業 員		〃	$\frac{10}{N} \times 2$	〃																																																																					
ゴ ム 支 承		m	10																																																																						
無 収 縮 モ ル タ ル		m ³		必要数量計上																																																																					
諸 雑 費		式	1	表6.3																																																																					
計																																																																									
機 械 名	規 格																																																																								
ラフテレーンクレーン	排出ガス対策型 (第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型25 t 吊																																																																								

土木工事標準歩掛の一部改定
P C 橋架設工

工種名	現 行	改 定																																																																																																																																																							
	<p>(2) ゴム支承Aタイプ (パッドタイプ) 据付け10個当り単価表</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋 梁 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>$\frac{10}{N} \times 1$</td> <td>表6.2</td> </tr> <tr> <td>橋 梁 特 殊 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>$\frac{10}{N} \times 2$</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>$\frac{10}{N} \times 2$</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ゴ ム 支 承</td> <td></td> <td>個</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>無 収 縮 モ ル タ ル</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td>必要数量計上</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表6.3</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) N : 日当り施工数量 (個/日)</p> <p>(3) ゴム支承Bタイプ据付け10個当り単価表</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋 梁 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>$\frac{10}{N} \times 1$</td> <td>表6.2</td> </tr> <tr> <td>橋 梁 特 殊 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>$\frac{10}{N} \times 2$</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>$\frac{10}{N} \times 2$</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ゴ ム 支 承</td> <td></td> <td>個</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>無 収 縮 モ ル タ ル</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td>必要数量計上</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン賃</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊</td> <td>日</td> <td>$\frac{10}{N}$</td> <td>表6.1</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表6.3</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) N : 日当り施工数量 (個/日)</p> <p>7. 落 橋 防 止 工</p> <p>7-1 機種を選定</p> <p>落橋防止装置据付けに使用する機械・規格は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表7.1 機種を選定</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ラフテレーンクレーン</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型25 t 吊</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. ラフテレーンクレーンは、賃料とする。 2. 現場条件により、これにより難い場合は別途選定する。</p> <p>7-2 施工歩掛</p> <p>P C 鋼棒又はケーブルによって連結される落橋防止装置据付歩掛は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表7.2 落橋防止装置据付歩掛</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種 類</th> <th rowspan="2">1日当り施工量</th> <th colspan="3">編成人員 (人/日)</th> </tr> <tr> <th>橋梁世話役</th> <th>橋梁特殊工</th> <th>普通作業員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>P C (鋼棒・ケーブル) タイプ</td> <td>6組</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	橋 梁 世 話 役		人	$\frac{10}{N} \times 1$	表6.2	橋 梁 特 殊 工		〃	$\frac{10}{N} \times 2$	〃	普 通 作 業 員		〃	$\frac{10}{N} \times 2$	〃	ゴ ム 支 承		個	10		無 収 縮 モ ル タ ル		m ³		必要数量計上	諸 雑 費		式	1	表6.3	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	橋 梁 世 話 役		人	$\frac{10}{N} \times 1$	表6.2	橋 梁 特 殊 工		〃	$\frac{10}{N} \times 2$	〃	普 通 作 業 員		〃	$\frac{10}{N} \times 2$	〃	ゴ ム 支 承		個	10		無 収 縮 モ ル タ ル		m ³		必要数量計上	ラフテレーンクレーン賃	排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊	日	$\frac{10}{N}$	表6.1	諸 雑 費		式	1	表6.3	計					機 械 名	規 格	ラフテレーンクレーン	排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型25 t 吊	種 類	1日当り施工量	編成人員 (人/日)			橋梁世話役	橋梁特殊工	普通作業員	P C (鋼棒・ケーブル) タイプ	6組	1	3	1	<p style="text-align: center;">現 行 通 り</p> <p>(3) ゴム支承Bタイプ据付け10個当り単価表</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋 梁 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>$\frac{10}{N} \times 1$</td> <td>表6.2</td> </tr> <tr> <td>橋 梁 特 殊 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>$\frac{10}{N} \times 2$</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>$\frac{10}{N} \times 2$</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ゴ ム 支 承</td> <td></td> <td>個</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>無 収 縮 モ ル タ ル</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td>必要数量計上</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン賃</td> <td>排出ガス対策型 (第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊</td> <td>日</td> <td>$\frac{10}{N}$</td> <td>表6.1</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表6.3</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) N : 日当り施工数量 (個/日)</p> <p>7. 落 橋 防 止 工</p> <p>7-1 機種を選定</p> <p>落橋防止装置据付けに使用する機械・規格は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表7.1 機種を選定</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ラフテレーンクレーン</td> <td>排出ガス対策型 (第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型25 t 吊</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. ラフテレーンクレーンは、賃料とする。 2. 現場条件により、これにより難い場合は別途選定する。</p> <p style="text-align: center;">現 行 通 り</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	橋 梁 世 話 役		人	$\frac{10}{N} \times 1$	表6.2	橋 梁 特 殊 工		〃	$\frac{10}{N} \times 2$	〃	普 通 作 業 員		〃	$\frac{10}{N} \times 2$	〃	ゴ ム 支 承		個	10		無 収 縮 モ ル タ ル		m ³		必要数量計上	ラフテレーンクレーン賃	排出ガス対策型 (第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊	日	$\frac{10}{N}$	表6.1	諸 雑 費		式	1	表6.3	計					機 械 名	規 格	ラフテレーンクレーン	排出ガス対策型 (第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型25 t 吊
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																					
橋 梁 世 話 役		人	$\frac{10}{N} \times 1$	表6.2																																																																																																																																																					
橋 梁 特 殊 工		〃	$\frac{10}{N} \times 2$	〃																																																																																																																																																					
普 通 作 業 員		〃	$\frac{10}{N} \times 2$	〃																																																																																																																																																					
ゴ ム 支 承		個	10																																																																																																																																																						
無 収 縮 モ ル タ ル		m ³		必要数量計上																																																																																																																																																					
諸 雑 費		式	1	表6.3																																																																																																																																																					
計																																																																																																																																																									
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																					
橋 梁 世 話 役		人	$\frac{10}{N} \times 1$	表6.2																																																																																																																																																					
橋 梁 特 殊 工		〃	$\frac{10}{N} \times 2$	〃																																																																																																																																																					
普 通 作 業 員		〃	$\frac{10}{N} \times 2$	〃																																																																																																																																																					
ゴ ム 支 承		個	10																																																																																																																																																						
無 収 縮 モ ル タ ル		m ³		必要数量計上																																																																																																																																																					
ラフテレーンクレーン賃	排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊	日	$\frac{10}{N}$	表6.1																																																																																																																																																					
諸 雑 費		式	1	表6.3																																																																																																																																																					
計																																																																																																																																																									
機 械 名	規 格																																																																																																																																																								
ラフテレーンクレーン	排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型25 t 吊																																																																																																																																																								
種 類	1日当り施工量	編成人員 (人/日)																																																																																																																																																							
		橋梁世話役	橋梁特殊工	普通作業員																																																																																																																																																					
P C (鋼棒・ケーブル) タイプ	6組	1	3	1																																																																																																																																																					
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																					
橋 梁 世 話 役		人	$\frac{10}{N} \times 1$	表6.2																																																																																																																																																					
橋 梁 特 殊 工		〃	$\frac{10}{N} \times 2$	〃																																																																																																																																																					
普 通 作 業 員		〃	$\frac{10}{N} \times 2$	〃																																																																																																																																																					
ゴ ム 支 承		個	10																																																																																																																																																						
無 収 縮 モ ル タ ル		m ³		必要数量計上																																																																																																																																																					
ラフテレーンクレーン賃	排出ガス対策型 (第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊	日	$\frac{10}{N}$	表6.1																																																																																																																																																					
諸 雑 費		式	1	表6.3																																																																																																																																																					
計																																																																																																																																																									
機 械 名	規 格																																																																																																																																																								
ラフテレーンクレーン	排出ガス対策型 (第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型25 t 吊																																																																																																																																																								

土木工事標準歩掛の一部改定
P C 橋架設工

工種名	現 行	改 定																																																																																																																				
	<p>7-3 諸雑費 諸雑費は、落橋防止装置据付けに使用する工具等損料及び電力に関する経費等であり、労務費の合計に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">表7.3 諸雑費率 (%)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">諸雑費率</td> <td style="text-align: center;">3</td> </tr> </table> <p>7-4 単価表 (1) 落橋防止装置 据付け10組当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋 梁 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>$\frac{10}{N} \times 1$</td> <td>表7.2</td> </tr> <tr> <td>橋 梁 特 殊 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>$\frac{10}{N} \times 3$</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>$\frac{10}{N} \times 1$</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン賃</td> <td>排出ガス対策型(第1次基準値)油圧伸縮ジブ型25 t 吊</td> <td>日</td> <td>$\frac{10}{N}$</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>落 橋 防 止 装 置</td> <td></td> <td>組</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表7.3</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) N：日当り施工数量(組/日)</p> <p>8. 機械器具損料 8-1 機械器具損料 機械器具損料は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表8.1 機械器具損料 (1工事当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>工 種</th> <th>器 具 名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>供 用 日 数</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>横 組 工</td> <td>緊張ジャッキ・ポンプ</td> <td></td> <td>組</td> <td>1</td> <td>H</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) $H = \frac{n}{N} \times K \times 1.5$ K：1工事の径間数 n：1径間片締め本数 N：1日当りの片締め本数 N：1日当りの片締め本数は、シングルストランドシステムの場合39本、マルチワイヤンシステムの場合31本を標準とする。</p> <p>8-2 単価表 (1) 機械器具損料 1工事当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>緊張ジャッキ・ポンプ</td> <td></td> <td>供用日</td> <td></td> <td>表8.1</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	諸雑費率	3	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	橋 梁 世 話 役		人	$\frac{10}{N} \times 1$	表7.2	橋 梁 特 殊 工		〃	$\frac{10}{N} \times 3$	〃	普 通 作 業 員		〃	$\frac{10}{N} \times 1$	〃	ラフテレーンクレーン賃	排出ガス対策型(第1次基準値)油圧伸縮ジブ型25 t 吊	日	$\frac{10}{N}$	〃	落 橋 防 止 装 置		組	10		諸 雑 費		式	1	表7.3	計					工 種	器 具 名	規 格	単 位	数 量	供 用 日 数	摘 要	横 組 工	緊張ジャッキ・ポンプ		組	1	H		名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	緊張ジャッキ・ポンプ		供用日		表8.1	諸 雑 費		式	1		計					<p style="text-align: center;">現 行 通 り</p> <p>7-4 単価表 (1) 落橋防止装置 据付け10組当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋 梁 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>$\frac{10}{N} \times 1$</td> <td>表7.2</td> </tr> <tr> <td>橋 梁 特 殊 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>$\frac{10}{N} \times 3$</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>$\frac{10}{N} \times 1$</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン賃</td> <td>排出ガス対策型(第2次基準値)油圧伸縮ジブ型25 t 吊</td> <td>日</td> <td>$\frac{10}{N}$</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>落 橋 防 止 装 置</td> <td></td> <td>組</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表7.3</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) N：日当り施工数量(組/日)</p> <p style="text-align: center;">現 行 通 り</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	橋 梁 世 話 役		人	$\frac{10}{N} \times 1$	表7.2	橋 梁 特 殊 工		〃	$\frac{10}{N} \times 3$	〃	普 通 作 業 員		〃	$\frac{10}{N} \times 1$	〃	ラフテレーンクレーン賃	排出ガス対策型(第2次基準値)油圧伸縮ジブ型25 t 吊	日	$\frac{10}{N}$	〃	落 橋 防 止 装 置		組	10		諸 雑 費		式	1	表7.3	計				
諸雑費率	3																																																																																																																					
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																		
橋 梁 世 話 役		人	$\frac{10}{N} \times 1$	表7.2																																																																																																																		
橋 梁 特 殊 工		〃	$\frac{10}{N} \times 3$	〃																																																																																																																		
普 通 作 業 員		〃	$\frac{10}{N} \times 1$	〃																																																																																																																		
ラフテレーンクレーン賃	排出ガス対策型(第1次基準値)油圧伸縮ジブ型25 t 吊	日	$\frac{10}{N}$	〃																																																																																																																		
落 橋 防 止 装 置		組	10																																																																																																																			
諸 雑 費		式	1	表7.3																																																																																																																		
計																																																																																																																						
工 種	器 具 名	規 格	単 位	数 量	供 用 日 数	摘 要																																																																																																																
横 組 工	緊張ジャッキ・ポンプ		組	1	H																																																																																																																	
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																		
緊張ジャッキ・ポンプ		供用日		表8.1																																																																																																																		
諸 雑 費		式	1																																																																																																																			
計																																																																																																																						
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																		
橋 梁 世 話 役		人	$\frac{10}{N} \times 1$	表7.2																																																																																																																		
橋 梁 特 殊 工		〃	$\frac{10}{N} \times 3$	〃																																																																																																																		
普 通 作 業 員		〃	$\frac{10}{N} \times 1$	〃																																																																																																																		
ラフテレーンクレーン賃	排出ガス対策型(第2次基準値)油圧伸縮ジブ型25 t 吊	日	$\frac{10}{N}$	〃																																																																																																																		
落 橋 防 止 装 置		組	10																																																																																																																			
諸 雑 費		式	1	表7.3																																																																																																																		
計																																																																																																																						

土木工事標準歩掛の一部改定
 ポストテンション場所打ホロースラブ橋工

工種名	現 行	改 定
橋梁 ポストテンション場所打ホロースラブ橋工	<p style="text-align: center;">⑦ ポストテンション場所打ホロースラブ橋工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、ポストテンション場所打ホロースラブ橋の主桁製作工（場所打固定式支保工法によるPC定着工法）に適用する。</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <div style="text-align: center;"> <pre> graph TD A[架設支保設置] -.-> B[支承取付] B --> C[型枠製作・設置 (底部・側部・端部)] C --> D[定着部型枠製作・設置] D --> E[落橋防止装置取付] E --> F[鉄筋加工・組立] F --> G[PCケーブル挿入 (シース設置)] G --> H[円筒型枠設置] H --> I[コンクリート打設] I --> J[コンクリート養生] J --> K[PCケーブル緊張] K --> L[グラウト注入] L --> M[型枠撤去] M -.-> N[架設支保撤去] </pre> </div> <p>(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。</p>	<p style="text-align: center;">現行どおり</p>

土木工事標準歩掛の一部改定
ポストテンション場所打ホロースラブ橋工

工種名	現 行	改 定																																																							
	<p>3. 施 工 歩 掛</p> <p>3-1 コンクリート工</p> <p>3-1-1 機種の選定</p> <p>機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 機種を選定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">機 械 名</th> <th style="width: 30%;">規 格</th> <th style="width: 10%;">単 位</th> <th style="width: 10%;">数 量</th> <th style="width: 30%;">摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンクリートポンプ車</td> <td>ブーム式 90~110m³/h</td> <td>台</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3-1-2 施工歩掛</p> <p>コンクリート10m³当りの型枠（R付含む）の製作・設置・撤去、コンクリート打設、表面仕上、養生、円筒型枠設置の歩掛は、次表を標準とする。</p> <p>ただし、次表は早強セメントを使用した場合の施工歩掛である。</p> <p>なお、次表には型枠等の資材吊込を含む。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 コンクリート工歩掛 （コンクリート10m³当り）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">名 称</th> <th style="width: 30%;">規 格</th> <th style="width: 10%;">単 位</th> <th style="width: 10%;">数 量</th> <th style="width: 30%;">摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td style="text-align: center;">0.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>型 枠 工</td> <td></td> <td style="text-align: center;">"</td> <td style="text-align: center;">4.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td style="text-align: center;">"</td> <td style="text-align: center;">0.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td style="text-align: center;">"</td> <td style="text-align: center;">0.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td style="text-align: center;">"</td> <td style="text-align: center;">3.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>生 コ ン ク リ ー ト</td> <td></td> <td>m³</td> <td style="text-align: center;">10.2</td> <td>(注) 1</td> </tr> <tr> <td>コンクリートポンプ車 運 転</td> <td>ブーム式 90~110m³/h</td> <td>日</td> <td style="text-align: center;">0.06</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td style="text-align: center;">(7) 8</td> <td>(注) 4, 5</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 生コンクリートのロス分の数量は上表に含めてある。 2. 円筒型枠の材料費は、別途計上する。 3. コンクリートの1日当り打設量は170m³を標準とする。 4. 諸雑費は、型枠用資材、コンクリート養生材、フォームタイ、Pコン、鋸損料、ドリル損料、パイプレータ損料、散水機損料、資材吊込み用クレーン運転費及び電力に関する経費等の費用であり、労務費、材料費、機械損料及び運転経費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 5. 養生は、養生材の被覆、散水養生、被膜養生程度のものであり、給熱養生等（ジェットヒータ、練炭、電気養生等）の特別な養生を必要とする場合の諸雑費率は（ ）内の値とし、養生費を別途計上する。 6. 架設支保は、「第16章橋梁①架設支保工」により別途計上する。</p>	機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要	コンクリートポンプ車	ブーム式 90~110m ³ /h	台	1		名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	0.9		型 枠 工		"	4.4		と び 工		"	0.2		特 殊 作 業 員		"	0.6		普 通 作 業 員		"	3.8		生 コ ン ク リ ー ト		m ³	10.2	(注) 1	コンクリートポンプ車 運 転	ブーム式 90~110m ³ /h	日	0.06		諸 雑 費 率		%	(7) 8	(注) 4, 5	<p style="font-size: 2em;">}</p> <p>現行どおり</p>
機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																					
コンクリートポンプ車	ブーム式 90~110m ³ /h	台	1																																																						
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																					
世 話 役		人	0.9																																																						
型 枠 工		"	4.4																																																						
と び 工		"	0.2																																																						
特 殊 作 業 員		"	0.6																																																						
普 通 作 業 員		"	3.8																																																						
生 コ ン ク リ ー ト		m ³	10.2	(注) 1																																																					
コンクリートポンプ車 運 転	ブーム式 90~110m ³ /h	日	0.06																																																						
諸 雑 費 率		%	(7) 8	(注) 4, 5																																																					

土木工事標準歩掛の一部改定
ポストテンション場所打ホロースラブ橋工

工種名	現 行	改 定																																			
	<p>3-2 鉄筋工 鉄筋の加工・組立の歩掛は、次表を標準とする。 なお、次表には鉄筋の資材吊込みを含む。</p> <p style="text-align: center;">表3.3 鉄筋工歩掛 (1 t 当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">名 称</th> <th style="width: 15%;">規 格</th> <th style="width: 10%;">単 位</th> <th style="width: 10%;">数 量</th> <th style="width: 50%;">摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鉄 筋 工</td> <td></td> <td>"</td> <td>3.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>"</td> <td>0.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>"</td> <td>2.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>棒 鋼</td> <td>D13~D32</td> <td>t</td> <td>1.05</td> <td>(注) 1</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>6</td> <td>(注) 3</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 鉄筋の切断ロス等の数量は上表に含めてあり、スクラップ控除は行わない。 2. ガス圧接が必要な場合は、別途計上する。 3. 諸雑費は、結束線、スペーサ、溶接棒、切断機損料、加工機損料、溶接機損料、鉄筋吊込用クレーン運転費及び電力に関する経費等の費用であり、労務費、材料費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 4. 鉄筋の加工・組立の日当り施工量は2.1 t/日を標準とする。</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	0.6		鉄 筋 工		"	3.9		と び 工		"	0.1		普 通 作 業 員		"	2.2		棒 鋼	D13~D32	t	1.05	(注) 1	諸 雑 費 率		%	6	(注) 3	<p>現行どおり</p>
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																	
世 話 役		人	0.6																																		
鉄 筋 工		"	3.9																																		
と び 工		"	0.1																																		
普 通 作 業 員		"	2.2																																		
棒 鋼	D13~D32	t	1.05	(注) 1																																	
諸 雑 費 率		%	6	(注) 3																																	

土木工事標準歩掛の一部改定
ポストテンション場所打ホロースラブ橋工

工種名	現 行	改 定																																																																																										
	<p>3-3 ケーブル工 PCケーブル及びシースの切断・組立・挿入、シース内へのグラウト材注入作業の歩掛は、次表を標準とする。 なお、次表にはPCケーブル等の資材吊込を含む。</p> <p style="text-align: center;">表3.4 ケーブル工歩掛 (ケーブル100m当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="width: 15%;">ケーブル規格 名称</th> <th rowspan="2" style="width: 5%;">単位</th> <th colspan="3" style="width: 55%;">マルチストランドシステム</th> <th rowspan="2" style="width: 15%;">摘 要</th> </tr> <tr> <th style="width: 15%;">1,900kN (195 t) 型 (12S12.4A)</th> <th style="width: 15%;">2,200kN (225 t) 型 (12S12.7B)</th> <th style="width: 15%;">2,900kN (290 t) 型 (12S15.2A)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋梁世話役</td> <td>人</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">1.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>橋梁特殊工</td> <td>〃</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">7.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>とび工</td> <td>〃</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">0.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>〃</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">5.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>PC鋼材</td> <td>kg</td> <td style="text-align: center;">910</td> <td style="text-align: center;">966</td> <td style="text-align: center;">1,374</td> <td>(注) 1</td> </tr> <tr> <td>諸雑费率</td> <td>%</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">27</td> <td>(注) 2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. PCケーブルの切断ロス、つかみ代等の数量は上表に含めてあり、スクラップ控除は行わない。 2. 諸雑費は、シース、シース組立筋、ビニルテープ、ビニルホース、グラウト材、電気溶接機損料、切断機器損料、挿入機器損料、グラウトミキサ損料、グラウトポンプ損料、資材吊込用クレーン運転費及び電力に関する経費等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p>	ケーブル規格 名称	単位	マルチストランドシステム			摘 要	1,900kN (195 t) 型 (12S12.4A)	2,200kN (225 t) 型 (12S12.7B)	2,900kN (290 t) 型 (12S15.2A)	橋梁世話役	人	1.4				橋梁特殊工	〃	7.1				とび工	〃	0.1				普通作業員	〃	5.9				PC鋼材	kg	910	966	1,374	(注) 1	諸雑费率	%	27			(注) 2	<p>3-3 ケーブル工 PCケーブル及びシースの切断・組立・挿入、シース内へのグラウト材注入作業の歩掛は、次表を標準とする。 なお、次表にはPCケーブル等の資材吊込を含む。</p> <p style="text-align: center;">表3.4 ケーブル工歩掛 (ケーブル100m当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="width: 15%;">ケーブル規格 名称</th> <th rowspan="2" style="width: 5%;">単位</th> <th colspan="3" style="width: 55%;">マルチストランドシステム</th> <th rowspan="2" style="width: 15%;">摘 要</th> </tr> <tr> <th style="width: 15%;">1,900kN (195 t) 型 (12S12.4A)</th> <th style="width: 15%;">2,200kN (225 t) 型 (12S12.7B)</th> <th style="width: 15%;">2,900kN (290 t) 型 (12S15.2A)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋梁世話役</td> <td>人</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">1.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>橋梁特殊工</td> <td>〃</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">7.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>とび工</td> <td>〃</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">0.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>〃</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">5.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>PC鋼材</td> <td>kg</td> <td style="text-align: center;">910</td> <td style="text-align: center;">966</td> <td style="text-align: center;">1,374</td> <td>(注) 1</td> </tr> <tr> <td>諸雑费率</td> <td>%</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">27</td> <td>(注) 2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. PCケーブルの切断ロス、つかみ代等の数量は上表に含めてあり、スクラップ控除は行わない。 2. 諸雑費は、鋼製シース、シース組立筋、ビニルテープ、ビニルホース、グラウト材、電気溶接機損料、切断機器損料、挿入機器損料、グラウトミキサ損料、グラウトポンプ損料、資材吊込用クレーン運転費及び電力に関する経費等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p>	ケーブル規格 名称	単位	マルチストランドシステム			摘 要	1,900kN (195 t) 型 (12S12.4A)	2,200kN (225 t) 型 (12S12.7B)	2,900kN (290 t) 型 (12S15.2A)	橋梁世話役	人	1.4				橋梁特殊工	〃	7.1				とび工	〃	0.1				普通作業員	〃	5.9				PC鋼材	kg	910	966	1,374	(注) 1	諸雑费率	%	27			(注) 2
ケーブル規格 名称	単位			マルチストランドシステム				摘 要																																																																																				
		1,900kN (195 t) 型 (12S12.4A)	2,200kN (225 t) 型 (12S12.7B)	2,900kN (290 t) 型 (12S15.2A)																																																																																								
橋梁世話役	人	1.4																																																																																										
橋梁特殊工	〃	7.1																																																																																										
とび工	〃	0.1																																																																																										
普通作業員	〃	5.9																																																																																										
PC鋼材	kg	910	966	1,374	(注) 1																																																																																							
諸雑费率	%	27			(注) 2																																																																																							
ケーブル規格 名称	単位	マルチストランドシステム			摘 要																																																																																							
		1,900kN (195 t) 型 (12S12.4A)	2,200kN (225 t) 型 (12S12.7B)	2,900kN (290 t) 型 (12S15.2A)																																																																																								
橋梁世話役	人	1.4																																																																																										
橋梁特殊工	〃	7.1																																																																																										
とび工	〃	0.1																																																																																										
普通作業員	〃	5.9																																																																																										
PC鋼材	kg	910	966	1,374	(注) 1																																																																																							
諸雑费率	%	27			(注) 2																																																																																							

土木工事標準歩掛の一部改定
ポストテンション場所打ホロースラブ橋工

工種名	現 行	改 定																																																																		
	<p>3-4 緊張工</p> <p>PC定着工法の定着部型枠の製作・設置・撤去，定着装置取付，緊張の歩掛は，次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.5 緊張工歩掛 (両締め 10ケーブル当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">ケーブル規格</th> <th style="text-align: center;">マルチストランドシステム</th> <th rowspan="2" style="text-align: center;">摘 要</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">名 称</th> <th style="text-align: center;">単 位</th> <th style="text-align: center;">1,900kN (195 t) 型 (12S12.4A) 2,200kN (225 t) 型 (12S12.7B) 2,900kN (290 t) 型 (12S15.2A)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋 梁 世 話 役</td> <td>人</td> <td style="text-align: center;">2.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>橋 梁 特 殊 工</td> <td style="text-align: center;">//</td> <td style="text-align: center;">10.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>型 枠 工</td> <td style="text-align: center;">//</td> <td style="text-align: center;">3.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td style="text-align: center;">//</td> <td style="text-align: center;">6.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>定 着 装 置</td> <td>個</td> <td style="text-align: center;">緊張側 (緊張用) 20</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>%</td> <td style="text-align: center;">15</td> <td style="text-align: center;">(注) 1</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">(片締め 10ケーブル当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">ケーブル規格</th> <th style="text-align: center;">マルチストランドシステム</th> <th rowspan="2" style="text-align: center;">摘 要</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">名 称</th> <th style="text-align: center;">単 位</th> <th style="text-align: center;">1,900kN (195 t) 型 (12S12.4A) 2,200kN (225 t) 型 (12S12.7B) 2,900kN (290 t) 型 (12S15.2A)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋 梁 世 話 役</td> <td>人</td> <td style="text-align: center;">1.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>橋 梁 特 殊 工</td> <td style="text-align: center;">//</td> <td style="text-align: center;">8.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>型 枠 工</td> <td style="text-align: center;">//</td> <td style="text-align: center;">3.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td style="text-align: center;">//</td> <td style="text-align: center;">5.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>定 着 装 置</td> <td>個</td> <td style="text-align: center;">緊張側 (緊張用) 10</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">//</td> <td style="text-align: center;">//</td> <td style="text-align: center;">固定側 (緊張用又は固定用) 10</td> <td style="text-align: center;">(注) 2</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>%</td> <td style="text-align: center;">15</td> <td style="text-align: center;">(注) 1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 諸雑費は，定着部型枠用資材，グリッド筋，緊張ジャッキ・ポンプ損料及び電力に関する経費等の費用であり，労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 2. 接続したケーブルを緊張する場合，固定側定着装置は計上しない。</p>	ケーブル規格		マルチストランドシステム	摘 要	名 称	単 位	1,900kN (195 t) 型 (12S12.4A) 2,200kN (225 t) 型 (12S12.7B) 2,900kN (290 t) 型 (12S15.2A)	橋 梁 世 話 役	人	2.3		橋 梁 特 殊 工	//	10.0		型 枠 工	//	3.3		普 通 作 業 員	//	6.4		定 着 装 置	個	緊張側 (緊張用) 20		諸 雑 費 率	%	15	(注) 1	ケーブル規格		マルチストランドシステム	摘 要	名 称	単 位	1,900kN (195 t) 型 (12S12.4A) 2,200kN (225 t) 型 (12S12.7B) 2,900kN (290 t) 型 (12S15.2A)	橋 梁 世 話 役	人	1.9		橋 梁 特 殊 工	//	8.3		型 枠 工	//	3.4		普 通 作 業 員	//	5.2		定 着 装 置	個	緊張側 (緊張用) 10		//	//	固定側 (緊張用又は固定用) 10	(注) 2	諸 雑 費 率	%	15	(注) 1	<p>現行どおり</p>
ケーブル規格		マルチストランドシステム	摘 要																																																																	
名 称	単 位	1,900kN (195 t) 型 (12S12.4A) 2,200kN (225 t) 型 (12S12.7B) 2,900kN (290 t) 型 (12S15.2A)																																																																		
橋 梁 世 話 役	人	2.3																																																																		
橋 梁 特 殊 工	//	10.0																																																																		
型 枠 工	//	3.3																																																																		
普 通 作 業 員	//	6.4																																																																		
定 着 装 置	個	緊張側 (緊張用) 20																																																																		
諸 雑 費 率	%	15	(注) 1																																																																	
ケーブル規格		マルチストランドシステム	摘 要																																																																	
名 称	単 位	1,900kN (195 t) 型 (12S12.4A) 2,200kN (225 t) 型 (12S12.7B) 2,900kN (290 t) 型 (12S15.2A)																																																																		
橋 梁 世 話 役	人	1.9																																																																		
橋 梁 特 殊 工	//	8.3																																																																		
型 枠 工	//	3.4																																																																		
普 通 作 業 員	//	5.2																																																																		
定 着 装 置	個	緊張側 (緊張用) 10																																																																		
//	//	固定側 (緊張用又は固定用) 10	(注) 2																																																																	
諸 雑 費 率	%	15	(注) 1																																																																	

土木工事標準歩掛の一部改定
ポストテンション場所打ホロースラブ橋工

工種名	現 行	改 定																				
	<p>3-5 接続工 PC定着工法のケーブル接続の歩掛は、次表を標準とする。 ただし、次表はモノグリップ型を使用した場合の施工歩掛である。</p> <p>3-5-1 編成人員 接続工の日当り編成人員は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.6 日当り編成人員</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋 梁 世 話 役</td> <td>人</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>橋 梁 特 殊 工</td> <td>〃</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>〃</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>3-5-2 日当り施工量 接続工の日当り施工量は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.7 日当り施工量</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>日当り施工量</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>接 続 具</td> <td>組</td> <td>13</td> </tr> </tbody> </table> <p>3-5-3 諸雑費</p> <p style="text-align: center;">表3.8 諸 雑 費 率 (%)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tbody> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) センタースパイラル、なまし鉄線、ビニルテープ、シール材、ボルト・ナット、グラウトホース、セットハンマー、レンチ、番線カッター及び電力に関する経費等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p>	名 称	単 位	数 量	橋 梁 世 話 役	人	1	橋 梁 特 殊 工	〃	2	普 通 作 業 員	〃	2	日当り施工量	単 位	数 量	接 続 具	組	13	諸 雑 費 率	9	<p>現行どおり</p>
名 称	単 位	数 量																				
橋 梁 世 話 役	人	1																				
橋 梁 特 殊 工	〃	2																				
普 通 作 業 員	〃	2																				
日当り施工量	単 位	数 量																				
接 続 具	組	13																				
諸 雑 費 率	9																					

土木工事標準歩掛の一部改定
ポストテンション場所打ホロースラブ橋工

工種名	現 行	改 定																										
	<p>3-6 日当り標準施工量 (参考) ケーブル組立, グラウト材注入, ケーブル緊張の1日当り施工量は, 次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.9 1日当り標準施工量 (参考)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="3" style="width: 20%;">ケーブル規格 名 称</th> <th colspan="3">標 準 施 工 量</th> </tr> <tr> <th colspan="3">マルチストランドシステム</th> </tr> <tr> <th style="width: 33%;">1,900kN (195 t) 型 (12 S12.4A)</th> <th style="width: 33%;">2,200kN (225 t) 型 (12 S12.7B)</th> <th style="width: 33%;">2,900kN (290 t) 型 (12 S15.2A)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ケーブル組立 (m / 日)</td> <td style="text-align: center;">150</td> <td style="text-align: center;">145</td> <td style="text-align: center;">107</td> </tr> <tr> <td>グラウト材注入 (m / 日)</td> <td style="text-align: center;">410</td> <td style="text-align: center;">410</td> <td style="text-align: center;">340</td> </tr> <tr> <td>緊張(両締め)(ケーブル/日)</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">9</td> </tr> <tr> <td>緊張(片締め)(ケーブル/日)</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">8</td> </tr> </tbody> </table>	ケーブル規格 名 称	標 準 施 工 量			マルチストランドシステム			1,900kN (195 t) 型 (12 S12.4A)	2,200kN (225 t) 型 (12 S12.7B)	2,900kN (290 t) 型 (12 S15.2A)	ケーブル組立 (m / 日)	150	145	107	グラウト材注入 (m / 日)	410	410	340	緊張(両締め)(ケーブル/日)	9			緊張(片締め)(ケーブル/日)	8			<p>現行どおり</p>
ケーブル規格 名 称	標 準 施 工 量																											
	マルチストランドシステム																											
	1,900kN (195 t) 型 (12 S12.4A)	2,200kN (225 t) 型 (12 S12.7B)	2,900kN (290 t) 型 (12 S15.2A)																									
ケーブル組立 (m / 日)	150	145	107																									
グラウト材注入 (m / 日)	410	410	340																									
緊張(両締め)(ケーブル/日)	9																											
緊張(片締め)(ケーブル/日)	8																											

土木工事標準歩掛の一部改定
ポストテンション場所打ホロースラブ橋工

工種名	現 行	改 定																														
	<p>4. 落橋防止装置取付工</p> <p>4-1 適用範囲 本歩掛は、PC鋼棒又はケーブルによって連結される落橋防止装置の取付に適用する。</p> <p>4-2 機種の選定 機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.1 機種の選定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>台 数</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ラフテレーンクレーン</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型25 t吊</td> <td>台</td> <td>1</td> <td>資材吊込, 取付</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) ラフテレーンクレーンは、賃料とする。</p> <p>4-3 編成人員 落橋防止装置取付工の日当り編成人員は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.2 日当り編成人員 (人)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋 梁 世 話 役</td> <td>人</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>橋 梁 特 殊 工</td> <td>〃</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>〃</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>4-4 日当り施工量 落橋防止装置取付工の日当り施工量は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.3 日当り施工量</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>日当り施工量</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>落 橋 防 止 装 置</td> <td>組</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <p>4-5 諸雑費</p> <p style="text-align: center;">表4.4 諸雑費率 (%)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <tbody> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 補助鉄筋, なまし鉄線, ハンマードリル, レンチ, セットハンマー, 番線カッター及び電力に関する経費等の費用であり, 労務費, 賃料の合計額に, 上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p>	機 械 名	規 格	単 位	台 数	摘 要	ラフテレーンクレーン	排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型25 t吊	台	1	資材吊込, 取付	名 称	単 位	数 量	橋 梁 世 話 役	人	1	橋 梁 特 殊 工	〃	2	普 通 作 業 員	〃	2	日当り施工量	単 位	数 量	落 橋 防 止 装 置	組	4	諸 雑 費 率	6	<p>現行どおり</p>
機 械 名	規 格	単 位	台 数	摘 要																												
ラフテレーンクレーン	排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型25 t吊	台	1	資材吊込, 取付																												
名 称	単 位	数 量																														
橋 梁 世 話 役	人	1																														
橋 梁 特 殊 工	〃	2																														
普 通 作 業 員	〃	2																														
日当り施工量	単 位	数 量																														
落 橋 防 止 装 置	組	4																														
諸 雑 費 率	6																															

土木工事標準歩掛の一部改定
ポストテンション場所打ホロースラブ橋工

工種名	現 行	改 定																												
	<p>5. 支 承 工</p> <p>5-1 適用範囲 本歩掛は、道路橋示方書でいうタイプBのゴム支承に適用する。 タイプAのゴム支承は、「第16章橋梁⑥PC橋架設工」により別途計上する。 金属支承については、「第16章橋梁②鋼橋架設工」により別途計上する。</p> <p>5-2 機種を選定 機械・規格は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.1 機種を選定</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>台 数</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ラフテレーンクレーン</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型25 t吊</td> <td>台</td> <td>1</td> <td>資材吊込、取付</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. ラフテレーンクレーンは、賃料とする。 2. 現場条件により、これにより難い場合は別途選定する。</p> <p>5-3 編成人員 支承取付工の日当り編成人員は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.2 日当り編成人員 (人)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋 梁 世 話 役</td> <td>人</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>橋 梁 特 殊 工</td> <td>〃</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>〃</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 支承取付から無収縮モルタル打設までの作業を含む。 なお、無収縮モルタルについては、別途計上する。</p> <p>5-4 日当り施工量 支承取付工の日当り施工量は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.3 日当り施工量</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>日当り施工量</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支承</td> <td>個</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>	機 械 名	規 格	単 位	台 数	摘 要	ラフテレーンクレーン	排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型25 t吊	台	1	資材吊込、取付	名 称	単 位	数 量	橋 梁 世 話 役	人	1	橋 梁 特 殊 工	〃	2	普 通 作 業 員	〃	2	日当り施工量	単 位	数 量	支承	個	3	<p>現行どおり</p>
機 械 名	規 格	単 位	台 数	摘 要																										
ラフテレーンクレーン	排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型25 t吊	台	1	資材吊込、取付																										
名 称	単 位	数 量																												
橋 梁 世 話 役	人	1																												
橋 梁 特 殊 工	〃	2																												
普 通 作 業 員	〃	2																												
日当り施工量	単 位	数 量																												
支承	個	3																												

土木工事標準歩掛の一部改定
ポストテンション場所打ホロースラブ橋工

工種名	現 行	改 定																																																																																												
	<p>5-5 諸雑費</p> <p style="text-align: center;">表5.4 諸雑費率 (%)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="padding: 2px;">諸 雑 費 率</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;">6</td> </tr> </table> <p>(注) 型枠用資材, モルタルミキサー, ハンマードリル及び電力に関する経費等の費用であり, 労務費, 機械賃料の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>6. 単 価 表</p> <p>(1) コンクリート工10m³当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">名 称</th> <th style="width: 20%;">規 格</th> <th style="width: 10%;">単 位</th> <th style="width: 10%;">数 量</th> <th style="width: 40%;">摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表3.2</td> </tr> <tr> <td>型 枠 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>生コンクリート</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>コンクリートポンプ車運転</td> <td>ブーム式 90~110m³/h</td> <td>日</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 円筒型枠の材料費は, 別途計上する。</p> <p>(2) 鉄筋工1 t当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">名 称</th> <th style="width: 20%;">規 格</th> <th style="width: 10%;">単 位</th> <th style="width: 10%;">数 量</th> <th style="width: 40%;">摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表3.3</td> </tr> <tr> <td>鉄 筋 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>棒 鋼</td> <td>D13~D32</td> <td>t</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	諸 雑 費 率	6	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表3.2	型 枠 工		〃		〃	と び 工		〃		〃	特 殊 作 業 員		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	生コンクリート		m ³		〃	コンクリートポンプ車運転	ブーム式 90~110m ³ /h	日		〃	諸 雑 費		式	1	〃	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表3.3	鉄 筋 工		〃		〃	と び 工		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	棒 鋼	D13~D32	t		〃	諸 雑 費		式	1	〃	計					<p style="font-size: 2em;">}</p> <p>現行どおり</p>
諸 雑 費 率	6																																																																																													
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																										
世 話 役		人		表3.2																																																																																										
型 枠 工		〃		〃																																																																																										
と び 工		〃		〃																																																																																										
特 殊 作 業 員		〃		〃																																																																																										
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																										
生コンクリート		m ³		〃																																																																																										
コンクリートポンプ車運転	ブーム式 90~110m ³ /h	日		〃																																																																																										
諸 雑 費		式	1	〃																																																																																										
計																																																																																														
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																										
世 話 役		人		表3.3																																																																																										
鉄 筋 工		〃		〃																																																																																										
と び 工		〃		〃																																																																																										
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																										
棒 鋼	D13~D32	t		〃																																																																																										
諸 雑 費		式	1	〃																																																																																										
計																																																																																														

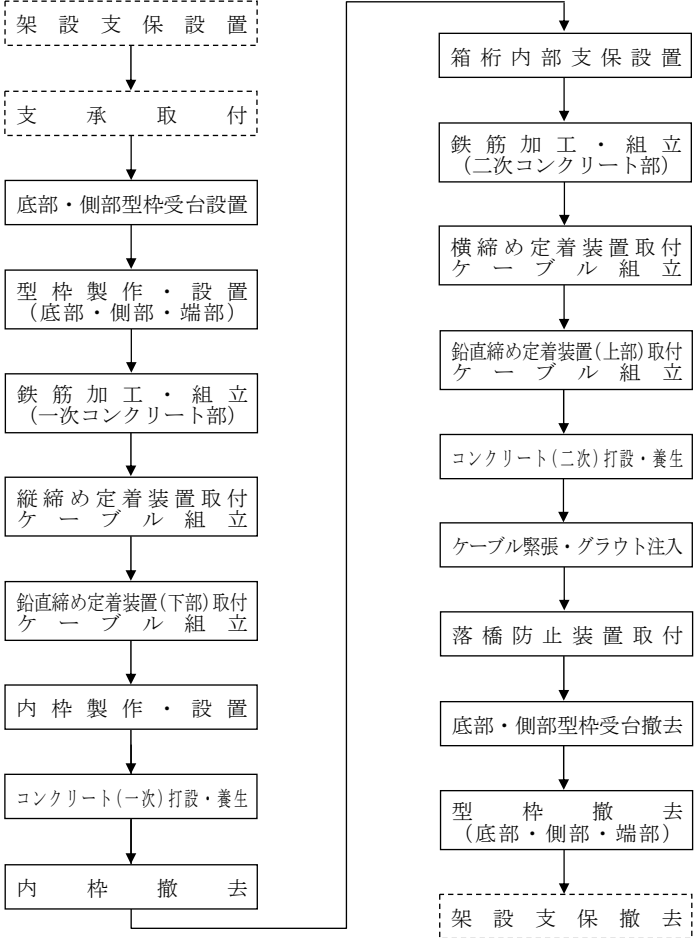
土木工事標準歩掛の一部改定
ポストテンション場所打ホロースラブ橋工

工種名	現 行	改 定																																																																																																																			
	<p>(3) ケーブル工 ○○kN (○○t) 型ケーブル100m当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋 梁 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表3.4</td> </tr> <tr> <td>橋 梁 特 殊 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>P C 鋼 材</td> <td></td> <td>kg</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 緊張工 ○○kN (○○t) 型10ケーブル当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋 梁 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表3.5</td> </tr> <tr> <td>橋 梁 特 殊 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>型 枠 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>定 着 装 置</td> <td></td> <td>個</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(5) 接続工 ○○kN (○○t) 型 1組当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋 梁 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1/D×1</td> <td>表3.6, 表3.7</td> </tr> <tr> <td>橋 梁 特 殊 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1/D×2</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1/D×2</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>接 続 具</td> <td></td> <td>組</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表3.8</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D : 日当り施工量</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	橋 梁 世 話 役		人		表3.4	橋 梁 特 殊 工		〃		〃	と び 工		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	P C 鋼 材		kg		〃	諸 雑 費		式	1	〃	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	橋 梁 世 話 役		人		表3.5	橋 梁 特 殊 工		〃		〃	型 枠 工		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	定 着 装 置		個		〃	諸 雑 費		式	1	〃	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	橋 梁 世 話 役		人	1/D×1	表3.6, 表3.7	橋 梁 特 殊 工		〃	1/D×2	〃	普 通 作 業 員		〃	1/D×2	〃	接 続 具		組	1		諸 雑 費		式	1	表3.8	計					<p>現行どおり</p>
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																	
橋 梁 世 話 役		人		表3.4																																																																																																																	
橋 梁 特 殊 工		〃		〃																																																																																																																	
と び 工		〃		〃																																																																																																																	
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																	
P C 鋼 材		kg		〃																																																																																																																	
諸 雑 費		式	1	〃																																																																																																																	
計																																																																																																																					
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																	
橋 梁 世 話 役		人		表3.5																																																																																																																	
橋 梁 特 殊 工		〃		〃																																																																																																																	
型 枠 工		〃		〃																																																																																																																	
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																	
定 着 装 置		個		〃																																																																																																																	
諸 雑 費		式	1	〃																																																																																																																	
計																																																																																																																					
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																	
橋 梁 世 話 役		人	1/D×1	表3.6, 表3.7																																																																																																																	
橋 梁 特 殊 工		〃	1/D×2	〃																																																																																																																	
普 通 作 業 員		〃	1/D×2	〃																																																																																																																	
接 続 具		組	1																																																																																																																		
諸 雑 費		式	1	表3.8																																																																																																																	
計																																																																																																																					

土木工事標準歩掛の一部改定
ポストテンション場所打ホロースラブ橋工

工種名	現 行	改 定																																																																																													
	<p>(6) 落橋防止装置取付工 1組当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋 梁 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1/D×1</td> <td>表4.2, 表4.3</td> </tr> <tr> <td>橋 梁 特 殊 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1/D×2</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1/D×2</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>落 橋 防 止 装 置</td> <td></td> <td>組</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン賃</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25t吊</td> <td>日</td> <td>1/D×1</td> <td>表4.1, 表4.3</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表4.4</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D:日当り施工量</p> <p>(7) 支承工 1個当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋 梁 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1/D×1</td> <td>表5.2, 表5.3</td> </tr> <tr> <td>橋 梁 特 殊 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1/D×2</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1/D×2</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ゴ ム 支 承</td> <td></td> <td>個</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>無 収 縮 モ ル タ ル</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td>必要数量計上</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン賃</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25t吊</td> <td>日</td> <td>1/D×1</td> <td>表5.1, 表5.3</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表5.4</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D:日当り施工量</p> <p>(8) 機械運転単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適 用 単 価 表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンクリートポンプ車</td> <td>ブーム式 90~110m³/h</td> <td>機-18</td> <td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→99 機械損料数量→1.00</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	橋 梁 世 話 役		人	1/D×1	表4.2, 表4.3	橋 梁 特 殊 工		〃	1/D×2	〃	普 通 作 業 員		〃	1/D×2	〃	落 橋 防 止 装 置		組	1		ラフテレーンクレーン賃	排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25t吊	日	1/D×1	表4.1, 表4.3	諸 雑 費		式	1	表4.4	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	橋 梁 世 話 役		人	1/D×1	表5.2, 表5.3	橋 梁 特 殊 工		〃	1/D×2	〃	普 通 作 業 員		〃	1/D×2	〃	ゴ ム 支 承		個	1		無 収 縮 モ ル タ ル		m ³		必要数量計上	ラフテレーンクレーン賃	排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25t吊	日	1/D×1	表5.1, 表5.3	諸 雑 費		式	1	表5.4	計					機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項	コンクリートポンプ車	ブーム式 90~110m ³ /h	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→99 機械損料数量→1.00	<p>現行どおり</p>
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																											
橋 梁 世 話 役		人	1/D×1	表4.2, 表4.3																																																																																											
橋 梁 特 殊 工		〃	1/D×2	〃																																																																																											
普 通 作 業 員		〃	1/D×2	〃																																																																																											
落 橋 防 止 装 置		組	1																																																																																												
ラフテレーンクレーン賃	排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25t吊	日	1/D×1	表4.1, 表4.3																																																																																											
諸 雑 費		式	1	表4.4																																																																																											
計																																																																																															
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																											
橋 梁 世 話 役		人	1/D×1	表5.2, 表5.3																																																																																											
橋 梁 特 殊 工		〃	1/D×2	〃																																																																																											
普 通 作 業 員		〃	1/D×2	〃																																																																																											
ゴ ム 支 承		個	1																																																																																												
無 収 縮 モ ル タ ル		m ³		必要数量計上																																																																																											
ラフテレーンクレーン賃	排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25t吊	日	1/D×1	表5.1, 表5.3																																																																																											
諸 雑 費		式	1	表5.4																																																																																											
計																																																																																															
機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項																																																																																												
コンクリートポンプ車	ブーム式 90~110m ³ /h	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→99 機械損料数量→1.00																																																																																												

土木工事標準歩掛の一部改定
 ポストテンション場所打箱桁橋工

工種名	現 行	改 定
橋梁 ポストテンシ ョン場所打箱 桁橋工	<p style="text-align: center;">⑧ ポストテンション場所打箱桁橋工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、ポストテンション場所打箱桁橋の主桁製作工（場所打固定式支保工法によるPC定着工法）に適用する。</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p>  <p>(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。</p>	<p style="text-align: center;">現行どおり</p>

土木工事標準歩掛の一部改定
 ポストテンション場所打箱桁橋工

工種名	現 行	改 定										
	<p>3. 施 工 歩 掛</p> <p>3-1 コンクリート工</p> <p>3-1-1 機種の選定</p> <p>機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 機種を選定</p> <table border="1" data-bbox="315 408 1115 496"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンクリートポンプ車</td> <td>ブーム式 90~110m³/h</td> <td>台</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要	コンクリートポンプ車	ブーム式 90~110m ³ /h	台	1		<p style="text-align: center;">} 現行どおり</p>
機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要								
コンクリートポンプ車	ブーム式 90~110m ³ /h	台	1									

土木工事標準歩掛の一部改定
ポストテンション場所打箱桁橋工

工種名	現 行	改 定																																													
	<p>3-1-2 施工歩掛 コンクリート10m³当りの型枠（R付含む）の製作・設置・撤去，コンクリート打設，表面仕上げ，養生，中空部支保設置・撤去の歩掛は，次表を標準とする。 ただし，次表は，早強セメントを使用した場合の施工歩掛である。 なお，次表には，型枠等の資材吊込を含む。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 コンクリート工歩掛 (コンクリート10m³当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">名 称</th> <th style="width: 15%;">規 格</th> <th style="width: 5%;">単 位</th> <th style="width: 5%;">数 量</th> <th style="width: 55%;">摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>型 枠 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>10.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>と び 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>8.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>生 コ ン ク リ ー ト</td> <td></td> <td>m³</td> <td>10.2</td> <td>(注) 1</td> </tr> <tr> <td>コンクリートポンプ車運転</td> <td>ブーム式90~110m³/h</td> <td>日</td> <td>0.06</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>$\frac{10}{12}$</td> <td>(注) 3, 4</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 生コンクリートのロス率は，+0.02として上表に含めてある。 2. コンクリートの1日当り打設量は170m³を標準とする。 3. 諸雑費は，型枠用資材，中空部支保用仮設材損料，コンクリート養生材，鋸損料，ドリル損料，パイプレータ損料，散水機損料，資材吊込用クレーン運転費及び電力に関する経費等の費用であり，労務費，材料費，機械損料及び運転経費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 4. 養生は，養生材の被覆，散水養生，被膜養生程度のものであり，給熱養生等の特別な養生を必要とする場合の諸雑費率は（ ）内の値として，養生費を別途計上する。 5. 架設支保は，「第16章橋梁①架設支保工」により別途計上する。 6. 支承工は，金属支承の場合「第16章橋梁②鋼橋架設工」，道路橋示方書でいうゴム支承（タイプA）の場合「第16章橋梁⑥PC橋架設工」により別途計上する。 ゴム支承（タイプB）の場合「第16章橋梁⑦ポストテンション場所打ホロスラブ橋工」により別途計上する。</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	1.6		型 枠 工		〃	10.0		と び 工		〃	0.4		特 殊 作 業 員		〃	1.4		普 通 作 業 員		〃	8.6		生 コ ン ク リ ー ト		m ³	10.2	(注) 1	コンクリートポンプ車運転	ブーム式90~110m ³ /h	日	0.06		諸 雑 費 率		%	$\frac{10}{12}$	(注) 3, 4	<p>現行どおり</p>
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																											
世 話 役		人	1.6																																												
型 枠 工		〃	10.0																																												
と び 工		〃	0.4																																												
特 殊 作 業 員		〃	1.4																																												
普 通 作 業 員		〃	8.6																																												
生 コ ン ク リ ー ト		m ³	10.2	(注) 1																																											
コンクリートポンプ車運転	ブーム式90~110m ³ /h	日	0.06																																												
諸 雑 費 率		%	$\frac{10}{12}$	(注) 3, 4																																											

土木工事標準歩掛の一部改定
ポストテンション場所打箱桁橋工

工種名	現 行	改 定																																			
	<p>3-2 鉄筋工 鉄筋の加工・組立の歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.3 鉄筋工歩掛 (1 t 当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">名 称</th> <th style="width: 15%;">規 格</th> <th style="width: 10%;">単 位</th> <th style="width: 10%;">数 量</th> <th style="width: 45%;">摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鉄筋工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>4.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>とび工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>0.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>2.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>棒 網</td> <td>D13~D32</td> <td>t</td> <td>1.05</td> <td>(注) 1</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td></td> <td>%</td> <td>7</td> <td>(注) 3</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 鉄筋の切断ロス率は、+0.05として上表に含めてありスクラップ控除はしない。 2. ガス圧接が必要な場合は、別途計上する。 3. 諸雑費は、結束線、スペーサ、溶接棒、切断機損料、加工機損料、溶接機損料、鉄筋吊込用クレーン運転費及び電力に関する経費等の費用であり、労務費、材料費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 4. 鉄筋の加工・組立の日当り施工量は2.2 t/日を標準とする。</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世話役		人	0.5		鉄筋工		〃	4.5		とび工		〃	0.1		普通作業員		〃	2.6		棒 網	D13~D32	t	1.05	(注) 1	諸 雑 費 率		%	7	(注) 3	<p>現行どおり</p>
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																	
世話役		人	0.5																																		
鉄筋工		〃	4.5																																		
とび工		〃	0.1																																		
普通作業員		〃	2.6																																		
棒 網	D13~D32	t	1.05	(注) 1																																	
諸 雑 費 率		%	7	(注) 3																																	

土木工事標準歩掛の一部改定
ポストテンション場所打箱桁橋工

工種名	現 行	改 定																																																																																								
	<p>3-3 ケーブル工 P Cケーブル及びシースの切断・組立・挿入、シース内へのグラウト材注入作業の歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.4 ケーブル工歩掛（縦締） （ケーブル100m当り）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="width: 15%;">ケーブル規格 名称 単位</th> <th colspan="3">マルチストランドシステム</th> <th rowspan="2">摘 要</th> </tr> <tr> <th style="width: 15%;">1,900kN(195 t)型(12S12.4A)</th> <th style="width: 15%;">2,200kN(225 t)型(12S12.7B)</th> <th style="width: 15%;">2,900kN(290 t)型(12S15.2A)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋梁世話役</td> <td>人</td> <td>1.6</td> <td>1.7</td> <td>2.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>橋梁特殊工</td> <td>〃</td> <td>7.6</td> <td>8.1</td> <td>10.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>とび工</td> <td>〃</td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> <td>0.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>〃</td> <td>5.3</td> <td>5.7</td> <td>7.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>P C 鋼材</td> <td>kg</td> <td>910</td> <td>966</td> <td>1,374</td> <td>(注) 1</td> </tr> <tr> <td>諸雑费率</td> <td>%</td> <td>13</td> <td>12</td> <td>11</td> <td>(注) 2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. P Cケーブルの切断ロス、つかみ代等のロス率は、+0.04として上表に含めてありスクラップ控除はしない。 2. 諸雑費は、シース、シース組立筋、ビニルテープ、ビニルホース、グラウト材、電気溶接機損料、切断機器損料、挿入機器損料、グラウトミキサ損料、グラウトポンプ損料、資材吊込用クレーン運転費及び電力に関する経費等の費用であり、労務費、材料費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p>	ケーブル規格 名称 単位	マルチストランドシステム			摘 要	1,900kN(195 t)型(12S12.4A)	2,200kN(225 t)型(12S12.7B)	2,900kN(290 t)型(12S15.2A)	橋梁世話役	人	1.6	1.7	2.3		橋梁特殊工	〃	7.6	8.1	10.8		とび工	〃	0.1	0.1	0.2		普通作業員	〃	5.3	5.7	7.6		P C 鋼材	kg	910	966	1,374	(注) 1	諸雑费率	%	13	12	11	(注) 2	<p>3-3 ケーブル工 P Cケーブル及びシースの切断・組立・挿入、シース内へのグラウト材注入作業の歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.4 ケーブル工歩掛（縦締） （ケーブル100m当り）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="width: 15%;">ケーブル規格 名称 単位</th> <th colspan="3">マルチストランドシステム</th> <th rowspan="2">摘 要</th> </tr> <tr> <th style="width: 15%;">1,900kN(195 t)型(12S12.4A)</th> <th style="width: 15%;">2,200kN(225 t)型(12S12.7B)</th> <th style="width: 15%;">2,900kN(290 t)型(12S15.2A)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋梁世話役</td> <td>人</td> <td>1.6</td> <td>1.7</td> <td>2.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>橋梁特殊工</td> <td>〃</td> <td>7.6</td> <td>8.1</td> <td>10.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>とび工</td> <td>〃</td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> <td>0.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>〃</td> <td>5.3</td> <td>5.7</td> <td>7.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>P C 鋼材</td> <td>kg</td> <td>910</td> <td>966</td> <td>1,374</td> <td>(注) 1</td> </tr> <tr> <td>諸雑费率</td> <td>%</td> <td>13</td> <td>12</td> <td>11</td> <td>(注) 2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. P Cケーブルの切断ロス、つかみ代等のロス率は、+0.04として上表に含めてありスクラップ控除はしない。 2. 諸雑費は、鋼製シース、シース組立筋、ビニルテープ、ビニルホース、グラウト材、電気溶接機損料、切断機器損料、挿入機器損料、グラウトミキサ損料、グラウトポンプ損料、資材吊込用クレーン運転費及び電力に関する経費等の費用であり、労務費、材料費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p>	ケーブル規格 名称 単位	マルチストランドシステム			摘 要	1,900kN(195 t)型(12S12.4A)	2,200kN(225 t)型(12S12.7B)	2,900kN(290 t)型(12S15.2A)	橋梁世話役	人	1.6	1.7	2.3		橋梁特殊工	〃	7.6	8.1	10.8		とび工	〃	0.1	0.1	0.2		普通作業員	〃	5.3	5.7	7.6		P C 鋼材	kg	910	966	1,374	(注) 1	諸雑费率	%	13	12	11	(注) 2
ケーブル規格 名称 単位	マルチストランドシステム			摘 要																																																																																						
	1,900kN(195 t)型(12S12.4A)	2,200kN(225 t)型(12S12.7B)	2,900kN(290 t)型(12S15.2A)																																																																																							
橋梁世話役	人	1.6	1.7	2.3																																																																																						
橋梁特殊工	〃	7.6	8.1	10.8																																																																																						
とび工	〃	0.1	0.1	0.2																																																																																						
普通作業員	〃	5.3	5.7	7.6																																																																																						
P C 鋼材	kg	910	966	1,374	(注) 1																																																																																					
諸雑费率	%	13	12	11	(注) 2																																																																																					
ケーブル規格 名称 単位	マルチストランドシステム			摘 要																																																																																						
	1,900kN(195 t)型(12S12.4A)	2,200kN(225 t)型(12S12.7B)	2,900kN(290 t)型(12S15.2A)																																																																																							
橋梁世話役	人	1.6	1.7	2.3																																																																																						
橋梁特殊工	〃	7.6	8.1	10.8																																																																																						
とび工	〃	0.1	0.1	0.2																																																																																						
普通作業員	〃	5.3	5.7	7.6																																																																																						
P C 鋼材	kg	910	966	1,374	(注) 1																																																																																					
諸雑费率	%	13	12	11	(注) 2																																																																																					

土木工事標準歩掛の一部改定
 ポストテンション場所打箱桁橋工

工種名	現 行										改 定											
	表3.5 ケーブル工歩掛 (横締) (ケーブル100m当り)										表3.5 ケーブル工歩掛 (横締) (ケーブル100m当り)											
	ケーブル規格			シングルストランドシステム			パ ー シ ス テ ム			摘要		ケーブル規格			シングルストランドシステム			パ ー シ ス テ ム			摘要	
	名称	単位	390kN(40 t)型 (1 S17.8)	450kN(50 t)型 (1 S19.3)	570kN(60 t)型 (1 S21.8)	φ23 (1B23A, 1B23B)	φ26 (1B26A, 1B26B)	φ32 (1B32A, 1B32B)			名称	単位	390kN(40 t)型 (1 S17.8)	450kN(50 t)型 (1 S19.3)	570kN(60 t)型 (1 S21.8)	φ23 (1B23A, 1B23B)	φ26 (1B26A, 1B26B)	φ32 (1B32A, 1B32B)				
	橋梁世話役	人	0.7			0.8			0.9		橋梁世話役	人	0.7			0.8			0.9			
	橋梁特殊工	〃	3.4			3.9			4.6		橋梁特殊工	〃	3.4			3.9			4.6			
	とび工	〃	0.1			0.1			0.1		とび工	〃	0.1			0.1			0.1			
	普通作業員	〃	2.4			2.8			3.2		普通作業員	〃	2.4			2.8			3.2			
	P C 鋼材	kg	172	201	258	339	434	656	(注) 1	P C 鋼材	kg	172	201	258	339	434	656	(注) 1				
	諸雑费率	%	16			13			12	11	(注) 2	諸雑费率	%	16			13			12	11	(注) 2
	(注) 1. P Cケーブルの切断ロス, つかみ代等のロス率は, +0.04として上表に含めてありスクラップ 控除はしない。 2. 諸雑費は, シース, シース組立筋, ビニルテープ, ビニルホース, グラウト材, 電気溶接機 損料, 切断機器損料, 挿入機器損料, グラウトミキサ損料, グラウトポンプ損料, 資材吊込用 クレーン運転費及び電力に関する経費等の費用であり, 労務費, 材料費の合計額に上表の率を 乗じた金額を上限として計上する。										(注) 1. P Cケーブルの切断ロス, つかみ代等のロス率は, +0.04として上表に含めてありスクラップ 控除はしない。 2. 諸雑費は, 鋼製 シース, シース組立筋, ビニルテープ, ビニルホース, グラウト材, 電気溶 接機損料, 切断機器損料, 挿入機器損料, グラウトミキサ損料, グラウトポンプ損料, 資材吊 込用クレーン運転費及び電力に関する経費等の費用であり, 労務費, 材料費の合計額に上表の 率を乗じた金額を上限として計上する。											

土木工事標準歩掛の一部改定
ポストテンション場所打箱桁橋工

工種名	現 行					改 定																																																																																																		
	<p style="text-align: center;">表3.6 ケーブル工歩掛 (鉛直締) (ケーブル100m当り)</p> <table border="1" data-bbox="264 280 1162 671"> <thead> <tr> <th colspan="2" data-bbox="264 280 479 416">ケーブル規格 名称 \ 単位</th> <th colspan="3" data-bbox="479 280 981 320">パ ー シ ス テ ム</th> <th data-bbox="981 280 1162 416" rowspan="2">摘 要</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th data-bbox="479 320 638 416">φ23(1B23A, 1B23B)</th> <th data-bbox="638 320 810 416">φ26(1B26A, 1B26B)</th> <th data-bbox="810 320 981 416">φ32(1B32A, 1B32B)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="264 416 427 456">橋梁世話役</td> <td data-bbox="427 416 479 456">人</td> <td data-bbox="479 416 638 456">0.4</td> <td data-bbox="638 416 810 456">0.6</td> <td data-bbox="810 416 981 456">0.8</td> <td data-bbox="981 416 1162 456"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="264 456 427 496">橋梁特殊工</td> <td data-bbox="427 456 479 496">〃</td> <td data-bbox="479 456 638 496">1.8</td> <td data-bbox="638 456 810 496">2.6</td> <td data-bbox="810 456 981 496">3.7</td> <td data-bbox="981 456 1162 496"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="264 496 427 536">とび工</td> <td data-bbox="427 496 479 536">〃</td> <td data-bbox="479 496 638 536">0.1</td> <td data-bbox="638 496 810 536">0.1</td> <td data-bbox="810 496 981 536">0.1</td> <td data-bbox="981 496 1162 536"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="264 536 427 576">普通作業員</td> <td data-bbox="427 536 479 576">〃</td> <td data-bbox="479 536 638 576">1.3</td> <td data-bbox="638 536 810 576">1.8</td> <td data-bbox="810 536 981 576">2.6</td> <td data-bbox="981 536 1162 576"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="264 576 427 616">P C 鋼材</td> <td data-bbox="427 576 479 616">kg</td> <td data-bbox="479 576 638 616">339</td> <td data-bbox="638 576 810 616">434</td> <td data-bbox="810 576 981 616">656</td> <td data-bbox="981 576 1162 616">(注) 1</td> </tr> <tr> <td data-bbox="264 616 427 671">諸雑费率</td> <td data-bbox="427 616 479 671">%</td> <td data-bbox="479 616 638 671">30</td> <td data-bbox="638 616 810 671">23</td> <td data-bbox="810 616 981 671">17</td> <td data-bbox="981 616 1162 671">(注) 2</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="300 679 1162 839">(注) 1. PCケーブルの切断ロス, つかみ代等のロス率は, +0.04として上表に含めてありスクラップ控除はしない。 2. 諸雑費は, シース, シース組立筋, ビニルテープ, ビニルホース, グラウト材, 電気溶接機損料, 切断機器損料, 挿入機器損料, グラウトミキサ損料, グラウトポンプ損料, 資材吊込用クレーン運転費及び電力に関する経費等の費用であり, 労務費, 材料費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p>					ケーブル規格 名称 \ 単位		パ ー シ ス テ ム			摘 要			φ23(1B23A, 1B23B)	φ26(1B26A, 1B26B)	φ32(1B32A, 1B32B)	橋梁世話役	人	0.4	0.6	0.8		橋梁特殊工	〃	1.8	2.6	3.7		とび工	〃	0.1	0.1	0.1		普通作業員	〃	1.3	1.8	2.6		P C 鋼材	kg	339	434	656	(注) 1	諸雑费率	%	30	23	17	(注) 2	<p style="text-align: center;">表3.6 ケーブル工歩掛 (鉛直締) (ケーブル100m当り)</p> <table border="1" data-bbox="1216 280 2092 671"> <thead> <tr> <th colspan="2" data-bbox="1216 280 1431 416">ケーブル規格 名称 \ 単位</th> <th colspan="3" data-bbox="1431 280 1910 320">パ ー シ ス テ ム</th> <th data-bbox="1910 280 2092 416" rowspan="2">摘 要</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th data-bbox="1431 320 1568 416">φ23(1B23A, 1B23B)</th> <th data-bbox="1568 320 1740 416">φ26(1B26A, 1B26B)</th> <th data-bbox="1740 320 1910 416">φ32(1B32A, 1B32B)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1216 416 1379 456">橋梁世話役</td> <td data-bbox="1379 416 1431 456">人</td> <td data-bbox="1431 416 1568 456">0.4</td> <td data-bbox="1568 416 1740 456">0.6</td> <td data-bbox="1740 416 1910 456">0.8</td> <td data-bbox="1910 416 2092 456"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1216 456 1379 496">橋梁特殊工</td> <td data-bbox="1379 456 1431 496">〃</td> <td data-bbox="1431 456 1568 496">1.8</td> <td data-bbox="1568 456 1740 496">2.6</td> <td data-bbox="1740 456 1910 496">3.7</td> <td data-bbox="1910 456 2092 496"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1216 496 1379 536">とび工</td> <td data-bbox="1379 496 1431 536">〃</td> <td data-bbox="1431 496 1568 536">0.1</td> <td data-bbox="1568 496 1740 536">0.1</td> <td data-bbox="1740 496 1910 536">0.1</td> <td data-bbox="1910 496 2092 536"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1216 536 1379 576">普通作業員</td> <td data-bbox="1379 536 1431 576">〃</td> <td data-bbox="1431 536 1568 576">1.3</td> <td data-bbox="1568 536 1740 576">1.8</td> <td data-bbox="1740 536 1910 576">2.6</td> <td data-bbox="1910 536 2092 576"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1216 576 1379 616">P C 鋼材</td> <td data-bbox="1379 576 1431 616">kg</td> <td data-bbox="1431 576 1568 616">339</td> <td data-bbox="1568 576 1740 616">434</td> <td data-bbox="1740 576 1910 616">656</td> <td data-bbox="1910 576 2092 616">(注) 1</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1216 616 1379 671">諸雑费率</td> <td data-bbox="1379 616 1431 671">%</td> <td data-bbox="1431 616 1568 671">30</td> <td data-bbox="1568 616 1740 671">23</td> <td data-bbox="1740 616 1910 671">17</td> <td data-bbox="1910 616 2092 671">(注) 2</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="1252 679 2114 855">(注) 1. PCケーブルの切断ロス, つかみ代等のロス率は, +0.04として上表に含めてありスクラップ控除はしない。 2. 諸雑費は, 鋼製シース, シース組立筋, ビニルテープ, ビニルホース, グラウト材, 電気溶接機損料, 切断機器損料, 挿入機器損料, グラウトミキサ損料, グラウトポンプ損料, 資材吊込用クレーン運転費及び電力に関する経費等の費用であり, 労務費, 材料費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p>					ケーブル規格 名称 \ 単位		パ ー シ ス テ ム			摘 要			φ23(1B23A, 1B23B)	φ26(1B26A, 1B26B)	φ32(1B32A, 1B32B)	橋梁世話役	人	0.4	0.6	0.8		橋梁特殊工	〃	1.8	2.6	3.7		とび工	〃	0.1	0.1	0.1		普通作業員	〃	1.3	1.8	2.6		P C 鋼材	kg	339	434	656	(注) 1	諸雑费率	%	30	23	17	(注) 2
ケーブル規格 名称 \ 単位		パ ー シ ス テ ム			摘 要																																																																																																			
		φ23(1B23A, 1B23B)	φ26(1B26A, 1B26B)	φ32(1B32A, 1B32B)																																																																																																				
橋梁世話役	人	0.4	0.6	0.8																																																																																																				
橋梁特殊工	〃	1.8	2.6	3.7																																																																																																				
とび工	〃	0.1	0.1	0.1																																																																																																				
普通作業員	〃	1.3	1.8	2.6																																																																																																				
P C 鋼材	kg	339	434	656	(注) 1																																																																																																			
諸雑费率	%	30	23	17	(注) 2																																																																																																			
ケーブル規格 名称 \ 単位		パ ー シ ス テ ム			摘 要																																																																																																			
		φ23(1B23A, 1B23B)	φ26(1B26A, 1B26B)	φ32(1B32A, 1B32B)																																																																																																				
橋梁世話役	人	0.4	0.6	0.8																																																																																																				
橋梁特殊工	〃	1.8	2.6	3.7																																																																																																				
とび工	〃	0.1	0.1	0.1																																																																																																				
普通作業員	〃	1.3	1.8	2.6																																																																																																				
P C 鋼材	kg	339	434	656	(注) 1																																																																																																			
諸雑费率	%	30	23	17	(注) 2																																																																																																			

土木工事標準歩掛の一部改定
ポストテンション場所打箱桁橋工

工種名	現 行	改 定																																																																																																																	
	<p>3-4 緊張工</p> <p>PC定着工法の、定着部型枠の製作、設置・撤去、定着装置取付、緊張の歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.7 緊張工歩掛（縦締） （両締 10ケーブル当り）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">ケーブル規格</th> <th colspan="2" style="text-align: center;">マルチストランドシステム</th> <th rowspan="2" style="text-align: center;">摘 要</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">名 称</th> <th style="text-align: center;">単 位</th> <th colspan="2"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="2">1,900kN (195 t) 型 (12S12.4A)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="2">2,200kN (225 t) 型 (12S12.7B)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="2">2,900kN (290 t) 型 (12S15.2A)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>橋 梁 世 話 役</td> <td>人</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">1.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>橋 梁 特 殊 工</td> <td>〃</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">11.7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>型 枠 工</td> <td>〃</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">3.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>〃</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">7.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>定 着 装 置</td> <td>個</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">緊張側（緊張用）20</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>%</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">16</td> <td style="text-align: center;">(注) 1</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">（片締 10ケーブル当り）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">ケーブル規格</th> <th colspan="2" style="text-align: center;">マルチストランドシステム</th> <th rowspan="2" style="text-align: center;">摘 要</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">名 称</th> <th style="text-align: center;">単 位</th> <th colspan="2"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="2">1,900kN (195 t) 型 (12S12.4A)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="2">2,200kN (225 t) 型 (12S12.7B)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="2">2,900kN (290 t) 型 (12S15.2A)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>橋 梁 世 話 役</td> <td>人</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">1.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>橋 梁 特 殊 工</td> <td>〃</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">8.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>型 枠 工</td> <td>〃</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">3.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>〃</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">4.7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>定 着 装 置</td> <td>個</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">緊張側（緊張用）10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>〃</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">固定側（緊張用又は固定用）10</td> <td style="text-align: center;">(注) 2</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>%</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">16</td> <td style="text-align: center;">(注) 1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 諸雑費は、定着部型枠用資材、グリッド筋、緊張ジャッキ・ポンプ損料、及び電力に関する経費等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>2. 接続したケーブルを緊張する場合は、固定側定着装置は計上しない。</p>	ケーブル規格		マルチストランドシステム		摘 要	名 称	単 位					1,900kN (195 t) 型 (12S12.4A)					2,200kN (225 t) 型 (12S12.7B)					2,900kN (290 t) 型 (12S15.2A)			橋 梁 世 話 役	人	1.9			橋 梁 特 殊 工	〃	11.7			型 枠 工	〃	3.5			普 通 作 業 員	〃	7.0			定 着 装 置	個	緊張側（緊張用）20			諸 雑 費 率	%	16		(注) 1	ケーブル規格		マルチストランドシステム		摘 要	名 称	単 位					1,900kN (195 t) 型 (12S12.4A)					2,200kN (225 t) 型 (12S12.7B)					2,900kN (290 t) 型 (12S15.2A)			橋 梁 世 話 役	人	1.3			橋 梁 特 殊 工	〃	8.6			型 枠 工	〃	3.4			普 通 作 業 員	〃	4.7			定 着 装 置	個	緊張側（緊張用）10			〃	〃	固定側（緊張用又は固定用）10		(注) 2	諸 雑 費 率	%	16		(注) 1	<p style="text-align: center;">現行どおり</p>
ケーブル規格		マルチストランドシステム		摘 要																																																																																																															
名 称	単 位																																																																																																																		
		1,900kN (195 t) 型 (12S12.4A)																																																																																																																	
		2,200kN (225 t) 型 (12S12.7B)																																																																																																																	
		2,900kN (290 t) 型 (12S15.2A)																																																																																																																	
橋 梁 世 話 役	人	1.9																																																																																																																	
橋 梁 特 殊 工	〃	11.7																																																																																																																	
型 枠 工	〃	3.5																																																																																																																	
普 通 作 業 員	〃	7.0																																																																																																																	
定 着 装 置	個	緊張側（緊張用）20																																																																																																																	
諸 雑 費 率	%	16		(注) 1																																																																																																															
ケーブル規格		マルチストランドシステム		摘 要																																																																																																															
名 称	単 位																																																																																																																		
		1,900kN (195 t) 型 (12S12.4A)																																																																																																																	
		2,200kN (225 t) 型 (12S12.7B)																																																																																																																	
		2,900kN (290 t) 型 (12S15.2A)																																																																																																																	
橋 梁 世 話 役	人	1.3																																																																																																																	
橋 梁 特 殊 工	〃	8.6																																																																																																																	
型 枠 工	〃	3.4																																																																																																																	
普 通 作 業 員	〃	4.7																																																																																																																	
定 着 装 置	個	緊張側（緊張用）10																																																																																																																	
〃	〃	固定側（緊張用又は固定用）10		(注) 2																																																																																																															
諸 雑 費 率	%	16		(注) 1																																																																																																															

土木工事標準歩掛の一部改定
 ポストテンション場所打箱桁橋工

工種名	現 行	改 定																																																																
	<p>表3.8 緊張工歩掛（標準） (両端 10ケーブル当り)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"> <div style="display: flex; align-items: center;"> ケーブル規格 名称 単位 </div> </th> <th>シングルストランドシステム</th> <th>パーシシステム</th> <th rowspan="2">備 考</th> </tr> <tr> <td> 390kN (40t) 型 (1 S17.8) 450kN (50t) 型 (1 S19.3) 570kN (60t) 型 (1 S21.8) </td> <td> φ23 (1 B23A, 1 B23B) φ26 (1 B26A, 1 B26B) φ32 (1 B32A, 1 B32B) </td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋梁状況役 人</td> <td style="text-align: center;">0.5</td> <td style="text-align: center;">0.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>橋梁特殊工 * ㎡</td> <td style="text-align: center;">3.0</td> <td style="text-align: center;">3.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>型枠工 * ㎡</td> <td style="text-align: center;">0.9</td> <td style="text-align: center;">1.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員 * ㎡</td> <td style="text-align: center;">1.9</td> <td style="text-align: center;">2.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>定着装置個</td> <td style="text-align: center;">緊張側(緊張用) 20</td> <td style="text-align: center;">緊張側(緊張用) 20</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸雑费率 %</td> <td style="text-align: center;">13</td> <td style="text-align: center;">12</td> <td style="text-align: center;">(注)</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right; margin-top: 10px;">(片端 10ケーブル当り)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"> <div style="display: flex; align-items: center;"> ケーブル規格 名称 単位 </div> </th> <th>シングルストランドシステム</th> <th>パーシシステム</th> <th rowspan="2">備 考</th> </tr> <tr> <td> 390kN (40t) 型 (1 S17.8) 450kN (50t) 型 (1 S19.3) 570kN (60t) 型 (1 S21.8) </td> <td> φ23 (1 B23A, 1 B23B) φ26 (1 B26A, 1 B26B) φ32 (1 B32A, 1 B32B) </td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋梁状況役 人</td> <td style="text-align: center;">0.3</td> <td style="text-align: center;">0.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>橋梁特殊工 * ㎡</td> <td style="text-align: center;">1.7</td> <td style="text-align: center;">2.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>型枠工 * ㎡</td> <td style="text-align: center;">0.7</td> <td style="text-align: center;">1.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員 * ㎡</td> <td style="text-align: center;">0.9</td> <td style="text-align: center;">1.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>定着装置個</td> <td style="text-align: center;">緊張側(緊張用) 10</td> <td style="text-align: center;">緊張側(緊張用) 10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>* ㎡</td> <td style="text-align: center;">固定側(緊張用又は固定用) 10</td> <td style="text-align: center;">固定側(緊張用又は固定用) 10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸雑费率 %</td> <td style="text-align: center;">17</td> <td style="text-align: center;">14</td> <td style="text-align: center;">(注)</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small; margin-top: 5px;">(注) 諸雑費は、定着部型枠用資材、グリッド鉄、緊張ジャッキ・ポンプ損料、及び電力に関する経費等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p>	<div style="display: flex; align-items: center;"> ケーブル規格 名称 単位 </div>	シングルストランドシステム	パーシシステム	備 考	390kN (40t) 型 (1 S17.8) 450kN (50t) 型 (1 S19.3) 570kN (60t) 型 (1 S21.8)	φ23 (1 B23A, 1 B23B) φ26 (1 B26A, 1 B26B) φ32 (1 B32A, 1 B32B)	橋梁状況役 人	0.5	0.6		橋梁特殊工 * ㎡	3.0	3.6		型枠工 * ㎡	0.9	1.0		普通作業員 * ㎡	1.9	2.2		定着装置個	緊張側(緊張用) 20	緊張側(緊張用) 20		諸雑费率 %	13	12	(注)	<div style="display: flex; align-items: center;"> ケーブル規格 名称 単位 </div>	シングルストランドシステム	パーシシステム	備 考	390kN (40t) 型 (1 S17.8) 450kN (50t) 型 (1 S19.3) 570kN (60t) 型 (1 S21.8)	φ23 (1 B23A, 1 B23B) φ26 (1 B26A, 1 B26B) φ32 (1 B32A, 1 B32B)	橋梁状況役 人	0.3	0.4		橋梁特殊工 * ㎡	1.7	2.4		型枠工 * ㎡	0.7	1.0		普通作業員 * ㎡	0.9	1.3		定着装置個	緊張側(緊張用) 10	緊張側(緊張用) 10		* ㎡	固定側(緊張用又は固定用) 10	固定側(緊張用又は固定用) 10		諸雑费率 %	17	14	(注)	<p>現行どおり</p>
<div style="display: flex; align-items: center;"> ケーブル規格 名称 単位 </div>	シングルストランドシステム		パーシシステム	備 考																																																														
	390kN (40t) 型 (1 S17.8) 450kN (50t) 型 (1 S19.3) 570kN (60t) 型 (1 S21.8)	φ23 (1 B23A, 1 B23B) φ26 (1 B26A, 1 B26B) φ32 (1 B32A, 1 B32B)																																																																
橋梁状況役 人	0.5	0.6																																																																
橋梁特殊工 * ㎡	3.0	3.6																																																																
型枠工 * ㎡	0.9	1.0																																																																
普通作業員 * ㎡	1.9	2.2																																																																
定着装置個	緊張側(緊張用) 20	緊張側(緊張用) 20																																																																
諸雑费率 %	13	12	(注)																																																															
<div style="display: flex; align-items: center;"> ケーブル規格 名称 単位 </div>	シングルストランドシステム	パーシシステム	備 考																																																															
	390kN (40t) 型 (1 S17.8) 450kN (50t) 型 (1 S19.3) 570kN (60t) 型 (1 S21.8)	φ23 (1 B23A, 1 B23B) φ26 (1 B26A, 1 B26B) φ32 (1 B32A, 1 B32B)																																																																
橋梁状況役 人	0.3	0.4																																																																
橋梁特殊工 * ㎡	1.7	2.4																																																																
型枠工 * ㎡	0.7	1.0																																																																
普通作業員 * ㎡	0.9	1.3																																																																
定着装置個	緊張側(緊張用) 10	緊張側(緊張用) 10																																																																
* ㎡	固定側(緊張用又は固定用) 10	固定側(緊張用又は固定用) 10																																																																
諸雑费率 %	17	14	(注)																																																															

土木工事標準歩掛の一部改定
ポストテンション場所打箱桁橋工

工種名	現 行	改 定																																																																					
	<p style="text-align: center;">表3.9 緊張工歩掛 (鉛直締) (片締 10ケーブル当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">ケーブル規格 名称</th> <th style="width: 10%;">単位</th> <th style="width: 50%;">バ ー シ ス テ ム</th> <th style="width: 20%;">摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>φ23 (1 B23A, 1 B23B) φ26 (1 B26A, 1 B26B) φ32 (1 B32A, 1 B32B)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>橋 梁 世 話 役</td> <td>人</td> <td>0.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>橋 梁 特 殊 工</td> <td>〃</td> <td>2.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>型 枠 工</td> <td>〃</td> <td>0.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>〃</td> <td>1.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>定 着 装 置</td> <td>個</td> <td>緊張側 (緊張用) 10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>〃</td> <td>固定側 (緊張用又は固定用) 10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>%</td> <td>12</td> <td>(注) 1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 諸雑費は、定着部型枠用資材、グリッド筋、緊張ジャッキ・ポンプ損料、及び電力に関する経費等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>3-5 接続工 PC定着工法のケーブル接続歩掛 (縦締ケーブルに限る) は、「第16章橋梁⑦ポストテンション場所打ホロースラブ橋工」に準じ別途計上する。</p> <p>3-6 日当り標準施工量 (参考) ケーブル組立、グラウト材注入、ケーブル緊張の日当り施工量は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.10 日当り施工量</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">ケーブル区分</th> <th>作業区分</th> <th>ケーブル組立 (m/日)</th> <th>グラウト材注入 (m/日)</th> <th>緊 張 (本/日)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">縦 締</td> <td rowspan="2">マルチストランドシステム</td> <td></td> <td>150</td> <td>410</td> <td>両片 10 片 9</td> </tr> <tr> <td></td> <td>330</td> <td>720</td> <td>両片 20 片 21</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">横 締</td> <td>シングルストランドシステム</td> <td></td> <td>270</td> <td>590</td> <td>両片 17 片 18</td> </tr> <tr> <td>バーシステム</td> <td></td> <td>130</td> <td>560</td> <td>両片 18</td> </tr> <tr> <td>鉛直締</td> <td>バーシステム</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	ケーブル規格 名称	単位	バ ー シ ス テ ム	摘 要			φ23 (1 B23A, 1 B23B) φ26 (1 B26A, 1 B26B) φ32 (1 B32A, 1 B32B)		橋 梁 世 話 役	人	0.3		橋 梁 特 殊 工	〃	2.0		型 枠 工	〃	0.8		普 通 作 業 員	〃	1.1		定 着 装 置	個	緊張側 (緊張用) 10		〃	〃	固定側 (緊張用又は固定用) 10		諸 雑 費 率	%	12	(注) 1	ケーブル区分		作業区分	ケーブル組立 (m/日)	グラウト材注入 (m/日)	緊 張 (本/日)	縦 締	マルチストランドシステム		150	410	両片 10 片 9		330	720	両片 20 片 21	横 締	シングルストランドシステム		270	590	両片 17 片 18	バーシステム		130	560	両片 18	鉛直締	バーシステム					<p style="text-align: center;">現行どおり</p>
ケーブル規格 名称	単位	バ ー シ ス テ ム	摘 要																																																																				
		φ23 (1 B23A, 1 B23B) φ26 (1 B26A, 1 B26B) φ32 (1 B32A, 1 B32B)																																																																					
橋 梁 世 話 役	人	0.3																																																																					
橋 梁 特 殊 工	〃	2.0																																																																					
型 枠 工	〃	0.8																																																																					
普 通 作 業 員	〃	1.1																																																																					
定 着 装 置	個	緊張側 (緊張用) 10																																																																					
〃	〃	固定側 (緊張用又は固定用) 10																																																																					
諸 雑 費 率	%	12	(注) 1																																																																				
ケーブル区分		作業区分	ケーブル組立 (m/日)	グラウト材注入 (m/日)	緊 張 (本/日)																																																																		
縦 締	マルチストランドシステム		150	410	両片 10 片 9																																																																		
			330	720	両片 20 片 21																																																																		
横 締	シングルストランドシステム		270	590	両片 17 片 18																																																																		
	バーシステム		130	560	両片 18																																																																		
鉛直締	バーシステム																																																																						


土木工事標準歩掛の一部改定
ポストテンション場所打箱桁橋工

工種名	現 行	改 定																														
	<p>4. 落橋防止装置取付工</p> <p>4-1 適用範囲 PC鋼棒又はケーブルによって連結される落橋防止装置の取付に適用する。</p> <p>4-2 機種を選定 機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.1 機種を選定</p> <table border="1" data-bbox="324 446 1108 534"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>台 数</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>トラッククレーン</td> <td>油圧伸縮ジブ型25 t 吊</td> <td>台</td> <td>1</td> <td>資材吊込, 取付</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) トラッククレーンは、賃料とする。</p> <p>4-3 編成人員 落橋防止装置取付工の日当り編成人員は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.2 日当り編成人員</p> <table border="1" data-bbox="392 726 1041 901"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋 梁 世 話 役</td> <td>人</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>橋 梁 特 殊 工</td> <td>〃</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>〃</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>4-4 日当り施工量 落橋防止装置取付工の日当り施工量は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表4.3 日当り施工量</p> <table border="1" data-bbox="392 1077 1041 1165"> <thead> <tr> <th>日当り施工量</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>落 橋 防 止 装 置</td> <td>組</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <p>4-5 諸 雑 費</p> <p style="text-align: center;">表4.4 諸 雑 費 率 (%)</p> <table border="1" data-bbox="392 1244 1041 1292"> <tbody> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) ハンマドリル, レンチ, セットハンマ及び電力に関する経費等の費用であり, 労務費, 機械賃料の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p>	機 械 名	規 格	単 位	台 数	摘 要	トラッククレーン	油圧伸縮ジブ型25 t 吊	台	1	資材吊込, 取付	名 称	単 位	数 量	橋 梁 世 話 役	人	1	橋 梁 特 殊 工	〃	3	普 通 作 業 員	〃	1	日当り施工量	単 位	数 量	落 橋 防 止 装 置	組	4	諸 雑 費 率	3	<p style="text-align: center;">現行どおり</p>
機 械 名	規 格	単 位	台 数	摘 要																												
トラッククレーン	油圧伸縮ジブ型25 t 吊	台	1	資材吊込, 取付																												
名 称	単 位	数 量																														
橋 梁 世 話 役	人	1																														
橋 梁 特 殊 工	〃	3																														
普 通 作 業 員	〃	1																														
日当り施工量	単 位	数 量																														
落 橋 防 止 装 置	組	4																														
諸 雑 費 率	3																															

土木工事標準歩掛の一部改定
 ポストテンション場所打箱桁橋工

工種名	現 行					改 定					
	5. 単 価 表					{ 現行どおり					
	(1) コンクリート工10m ³ 当り単価表										
	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要						
	世 話 役		人		表3.2						
	型 枠 工		〃		〃						
	と び 工		〃		〃						
	特 殊 作 業 員		〃		〃						
	普 通 作 業 員		〃		〃						
	生 コ ン ク リ ー ト		m ³		〃						
	コ ン ク リ ー ト ポ ンプ 車 運 転	ブーム式90~110m ³ /h	日		〃						
	諸 雑 費		式	1	〃						
	計										
	(2) 鉄筋工1 t 当り単価表										
	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要						
	世 話 役		人		表3.3						
	鉄 筋 工		〃		〃						
	と び 工		〃		〃						
	普 通 作 業 員		〃		〃						
	棒 鋼	D13~D32	t		〃						
	諸 雑 費		式	1	〃						
	計										

土木工事標準歩掛の一部改定
 ポストテンション場所打箱桁橋工

工種名	現 行					改 定
	(3) ケーブル工 ○○締 ○○kN (○○ t) 型ケーブル100m当り単価表					 <p data-bbox="1332 638 1422 662">現行どおり</p>
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要		
橋 梁 世 話 役		人		表3.4, 表3.5, 表3.6		
橋 梁 特 殊 工		〃		〃		
と び 工		〃		〃		
普 通 作 業 員		〃		〃		
P C 鋼 材		kg		〃		
諸 雑 費		式	1	〃		
計						
(4) 緊張工 ○○締 ○○kN (○○ t) 型10ケーブル当り単価表						
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要		
橋 梁 世 話 役		人		表3.7, 表3.8, 表3.9		
橋 梁 特 殊 工		〃		〃		
型 枠 工		〃		〃		
普 通 作 業 員		〃		〃		
定 着 装 置		個		〃		
諸 雑 費		式	1	〃		
計						

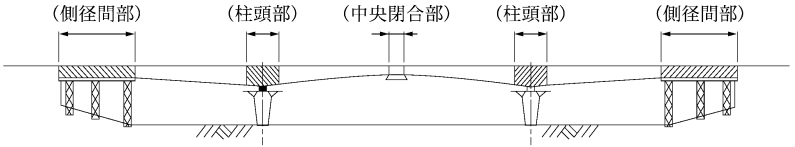
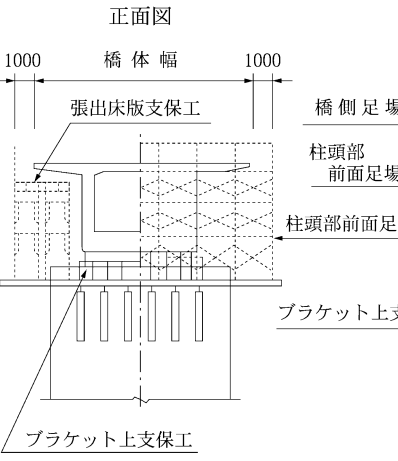
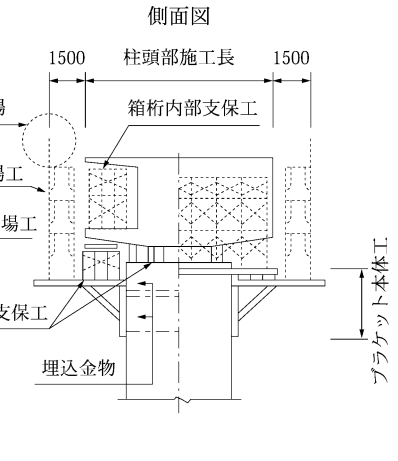
土木工事標準歩掛の一部改定
ポストテンション場所打箱桁橋工

工種名	現 行	改 定																																																
	<p>(5) 落橋防止装置取付工1組当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">名 称</th> <th style="width: 20%;">規 格</th> <th style="width: 10%;">単 位</th> <th style="width: 10%;">数 量</th> <th style="width: 30%;">摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋 梁 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>$\frac{1}{D} \times 1$</td> <td>表4.2, 表4.3</td> </tr> <tr> <td>橋 梁 特 殊 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td>$\frac{1}{D} \times 3$</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>$\frac{1}{D} \times 1$</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>落 橋 防 止 装 置</td> <td></td> <td>組</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ト ラ ッ ク ク レ ー ン 賃 料</td> <td>油圧伸縮ジブ型25 t吊</td> <td>日</td> <td>$\frac{1}{D} \times 1$</td> <td>表4.1, 表4.3</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表4.4</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) D：日当り施工量</p> <p>(6) 機械運転単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">機 械 名</th> <th style="width: 20%;">規 格</th> <th style="width: 15%;">適 用 単 価 表</th> <th style="width: 45%;">指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンクリートポンプ車</td> <td>ブーム式90～110m³/h</td> <td>機-18</td> <td> 運転労務数量→1.00 燃料消費量→98 機械損料数量→1.01 </td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	橋 梁 世 話 役		人	$\frac{1}{D} \times 1$	表4.2, 表4.3	橋 梁 特 殊 工		〃	$\frac{1}{D} \times 3$	〃	普 通 作 業 員		〃	$\frac{1}{D} \times 1$	〃	落 橋 防 止 装 置		組	1		ト ラ ッ ク ク レ ー ン 賃 料	油圧伸縮ジブ型25 t吊	日	$\frac{1}{D} \times 1$	表4.1, 表4.3	諸 雑 費		式	1	表4.4	計					機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項	コンクリートポンプ車	ブーム式90～110m ³ /h	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→98 機械損料数量→1.01	<p>現行どおり</p>
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																														
橋 梁 世 話 役		人	$\frac{1}{D} \times 1$	表4.2, 表4.3																																														
橋 梁 特 殊 工		〃	$\frac{1}{D} \times 3$	〃																																														
普 通 作 業 員		〃	$\frac{1}{D} \times 1$	〃																																														
落 橋 防 止 装 置		組	1																																															
ト ラ ッ ク ク レ ー ン 賃 料	油圧伸縮ジブ型25 t吊	日	$\frac{1}{D} \times 1$	表4.1, 表4.3																																														
諸 雑 費		式	1	表4.4																																														
計																																																		
機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項																																															
コンクリートポンプ車	ブーム式90～110m ³ /h	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→98 機械損料数量→1.01																																															

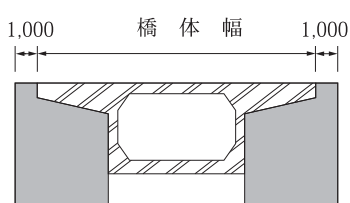
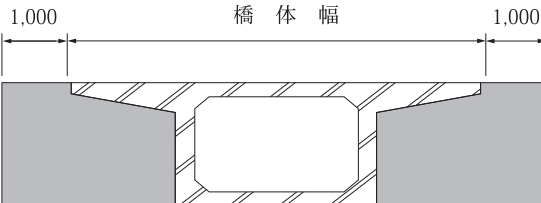
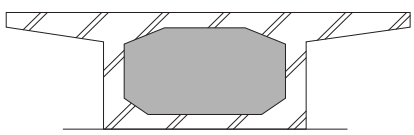
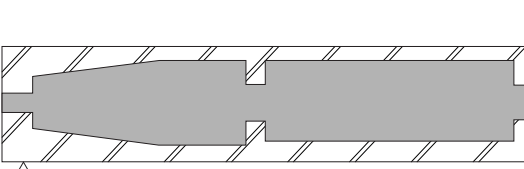
土木工事標準歩掛の一部改定
PC橋片持架設工

工種名	現 行	改 定																				
橋梁 PC橋片持架設工	<p style="text-align: center;">PC橋片持架設工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、PC橋のうち最大支間長170m以下で、2主桁の場所打ち片持架設工（斜張橋は除く）を対象とする。</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <p>(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。</p> <p>3. 機種の選定 機械・規格の選定は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 機種の選定</p> <table border="1" data-bbox="451 1470 1439 1717"> <thead> <tr> <th>作業種別</th> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>資 材 吊 込</td> <td>ラフテレーンクレーン</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値） 油圧伸縮ジブ型25 t 吊</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金 属 支 承 据 付</td> <td>ラフテレーンクレーン</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値） 油圧伸縮ジブ型45 t 吊</td> <td></td> </tr> <tr> <td>作業車組立・解体</td> <td>ラフテレーンクレーン</td> <td>排出ガス対策型（第1次基準値） 油圧伸縮ジブ型45 t 吊</td> <td></td> </tr> <tr> <td>コンクリート打設</td> <td>コンクリートポンプ車</td> <td>ブーム式 90~110m³/h 又は 配管式 90~100m³/h</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 資材吊込とは、支保工、型枠工、鉄筋工及びPC工等の吊込作業とする。 2. 資材吊込、金属支承据付、作業車据付・解体機械については、現場条件によりこれにより難い場合は、別途考慮する。 3. 各機械の歩掛は、各施工歩掛に含まれている。 4. ラフテレーンクレーンは、賃料とする。</p>	作業種別	機 械 名	規 格	摘 要	資 材 吊 込	ラフテレーンクレーン	排出ガス対策型（第1次基準値） 油圧伸縮ジブ型25 t 吊		金 属 支 承 据 付	ラフテレーンクレーン	排出ガス対策型（第1次基準値） 油圧伸縮ジブ型45 t 吊		作業車組立・解体	ラフテレーンクレーン	排出ガス対策型（第1次基準値） 油圧伸縮ジブ型45 t 吊		コンクリート打設	コンクリートポンプ車	ブーム式 90~110m ³ /h 又は 配管式 90~100m ³ /h		<p style="text-align: center;">現 行 通 り</p>
作業種別	機 械 名	規 格	摘 要																			
資 材 吊 込	ラフテレーンクレーン	排出ガス対策型（第1次基準値） 油圧伸縮ジブ型25 t 吊																				
金 属 支 承 据 付	ラフテレーンクレーン	排出ガス対策型（第1次基準値） 油圧伸縮ジブ型45 t 吊																				
作業車組立・解体	ラフテレーンクレーン	排出ガス対策型（第1次基準値） 油圧伸縮ジブ型45 t 吊																				
コンクリート打設	コンクリートポンプ車	ブーム式 90~110m ³ /h 又は 配管式 90~100m ³ /h																				

土木工事標準歩掛の一部改定
PC橋片持架設工

工種名	現 行	改 定																
	<p>4. 脚 頭 部 工 脚頭部工については、柱頭部工による。</p> <p>5. 支 保 工 5-1 工 法 工法は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.1 工 法</p> <table border="1" data-bbox="647 552 1237 793"> <thead> <tr> <th>施 工 場 所</th> <th colspan="2">種 類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">柱 頭 部</td> <td rowspan="2">ブ ラ ケ ッ ト 式</td> <td>上支保工</td> </tr> <tr> <td>本 体 工</td> </tr> <tr> <td>中 央 閉 合 部</td> <td colspan="2">吊 支 保 工</td> </tr> <tr> <td>張 出 床 版 部</td> <td colspan="2">枠 組 支 保 工</td> </tr> <tr> <td>箱 桁 内 部</td> <td colspan="2">枠 組 支 保 工</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 支保工工法の選定にあたっては、立地条件、構造条件、工事規模、工期等を考慮し、それらの諸条件に適合し、かつ安全で経済的なものを選定する。 2. 側径間部支保工については、「第16章橋梁①架設支保工」により別途計上する。 3. 柱頭部、側径間部、及び中央閉合部は、下図のとおりとする。</p>  <p>○ 柱頭部支保工 (参考図)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="578 1302 949 1732"> <p>正面図</p>  </div> <div data-bbox="949 1302 1320 1732"> <p>側面図</p>  </div> </div> <p style="text-align: center;"><ブラケット式支保工></p>	施 工 場 所	種 類		柱 頭 部	ブ ラ ケ ッ ト 式	上支保工	本 体 工	中 央 閉 合 部	吊 支 保 工		張 出 床 版 部	枠 組 支 保 工		箱 桁 内 部	枠 組 支 保 工		<p style="text-align: center;">現 行 通 り</p>
施 工 場 所	種 類																	
柱 頭 部	ブ ラ ケ ッ ト 式	上支保工																
		本 体 工																
中 央 閉 合 部	吊 支 保 工																	
張 出 床 版 部	枠 組 支 保 工																	
箱 桁 内 部	枠 組 支 保 工																	

土木工事標準歩掛の一部改定
PC橋片持架設工

工種名	現 行	改 定																																																															
	<p>5-2 支保工設置・撤去歩掛 支保工の設置・撤去歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.2 支保工設置・撤去歩掛</p> <table border="1" data-bbox="489 367 1409 777"> <thead> <tr> <th rowspan="3">名 称</th> <th rowspan="3">単 位</th> <th colspan="2">柱 頭 部</th> <th>中央閉合部</th> <th>張出床版部</th> <th>箱桁内部</th> </tr> <tr> <th colspan="2">ブ ラ ケ ッ ト 式</th> <th rowspan="2">吊 支 保 工</th> <th rowspan="2">枠 組 支 保 工</th> <th rowspan="2"></th> </tr> <tr> <th>上 支 保 工</th> <th>本 体 工</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>10空m³当り</td> <td>1 t 当り</td> <td>1 t 当り</td> <td colspan="2">10空m³当り</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋 梁 世 話 役</td> <td>人</td> <td>0.4</td> <td>0.4</td> <td>0.4</td> <td colspan="2">0.1</td> </tr> <tr> <td>型 枠 工</td> <td>〃</td> <td>0.4</td> <td>0.2</td> <td>—</td> <td colspan="2">0.1</td> </tr> <tr> <td>橋 梁 特 殊 工</td> <td>〃</td> <td>1.3</td> <td>2.4</td> <td>2.6</td> <td colspan="2">0.5</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>〃</td> <td>1.3</td> <td>1.6</td> <td>1.8</td> <td colspan="2">0.5</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン運</td> <td>日</td> <td>0.3</td> <td>0.3</td> <td>0.5</td> <td colspan="2">0.1</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>%</td> <td>4</td> <td>25</td> <td>22</td> <td colspan="2">8</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上記歩掛に、現場内小運搬作業は含まれる。 2. ブラケット式本体工の質量は、ブラケット、H形鋼の質量とする。 3. 吊支保工の質量は、鋼材（H形鋼、I形鋼、形鋼）とする。 4. 側径間部支保工については、「第16章橋梁①架設支保工」による。 5. ラフテレーンクレーンは賃料とし、ラフテレーンクレーン規格は、排出ガス対策型（第1次基準値）油圧伸縮ジブ型25 t吊を標準とする。ただし、これにより難しい場合は、現場条件に適した規格のラフテレーンクレーンを選定する。 6. 諸雑費は、木材、ブラケット、埋込金具、高力ボルト、PC鋼材、アンカープレート等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 7. 支保工空m³の算出方法は、下記のとおりとする。 ○張出床版部 ○箱桁内部 下記着色部の数量とする。 ○張出床版部 支保工空m³=着色部断面積×長さ（桁長）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>1,000 橋 体 幅 1,000</p> <p>ブラケット式 本体支保</p> <p>柱 頭 部</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>1,000 橋 体 幅 1,000</p> <p>架設支保 吊支保</p> <p>中央閉合部</p> </div> </div> <p style="text-align: center;"> 張出床版部 ブラケット式 上支保 </p> <p>○箱桁内部 支保工費を算出する場合の支保工空m³数は、下図の着色部の数量とする。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>横断面図</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>側面図</p> </div> </div>	名 称	単 位	柱 頭 部		中央閉合部	張出床版部	箱桁内部	ブ ラ ケ ッ ト 式		吊 支 保 工	枠 組 支 保 工		上 支 保 工	本 体 工			10空m ³ 当り	1 t 当り	1 t 当り	10空m ³ 当り		橋 梁 世 話 役	人	0.4	0.4	0.4	0.1		型 枠 工	〃	0.4	0.2	—	0.1		橋 梁 特 殊 工	〃	1.3	2.4	2.6	0.5		普 通 作 業 員	〃	1.3	1.6	1.8	0.5		ラフテレーンクレーン運	日	0.3	0.3	0.5	0.1		諸 雑 費 率	%	4	25	22	8		<p>現 行 通 り</p>
名 称	単 位			柱 頭 部		中央閉合部	張出床版部	箱桁内部																																																									
				ブ ラ ケ ッ ト 式		吊 支 保 工	枠 組 支 保 工																																																										
		上 支 保 工	本 体 工																																																														
		10空m ³ 当り	1 t 当り	1 t 当り	10空m ³ 当り																																																												
橋 梁 世 話 役	人	0.4	0.4	0.4	0.1																																																												
型 枠 工	〃	0.4	0.2	—	0.1																																																												
橋 梁 特 殊 工	〃	1.3	2.4	2.6	0.5																																																												
普 通 作 業 員	〃	1.3	1.6	1.8	0.5																																																												
ラフテレーンクレーン運	日	0.3	0.3	0.5	0.1																																																												
諸 雑 費 率	%	4	25	22	8																																																												

土木工事標準歩掛の一部改定
PC橋片持架設工

工種名	現 行	改 定																																																								
	<p>5-3 仮設材供用日数 支保工仮設材の設計供用日数は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.3 支保工設計供用日数 (日/1箇所)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">施 工 場 所</th> <th style="width: 40%;">種 類</th> <th style="width: 40%;">供 用 日 数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">柱 頭 部</td> <td>ブラケット式 上 支 保 工 本 体 工</td> <td>84</td> </tr> <tr> <td>張出床版部・箱桁内部枠組支保工</td> <td>67</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">側 径 間 部</td> <td rowspan="3">くさび結合支保工 ・ 支柱支保工</td> <td>L ≤ 10</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>10 < L ≤ 20</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>20 < L ≤ 30</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td>箱桁内部枠組支保工</td> <td>53</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">中 央 閉 合 部</td> <td>吊 支 保 工</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>張出床版部・箱桁内部枠組支保工</td> <td>31</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 支保工仮設材損料は、上表供用日数に施工単位当りの損料を乗じたものとする。 2. 柱頭部の施工延長は12mを標準とする。</p> <p>6. 支 承 工 6-1 金属支据付工 金属支据付工歩掛は、支承質量により、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表6.1 金属支据付工歩掛 (1個当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="3">支 承 質 量</th> </tr> <tr> <th>4 t未満</th> <th>4 t以上10 t未満</th> <th>10 t以上17 t未満</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋 梁 世 話 役</td> <td>人</td> <td>1.2</td> <td>1.4</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td>橋 梁 特 殊 工</td> <td>〃</td> <td>4.0</td> <td>5.3</td> <td>6.6</td> </tr> <tr> <td>型 枠 工</td> <td>〃</td> <td>1.8</td> <td>2.8</td> <td>3.7</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>〃</td> <td>3.5</td> <td>5.0</td> <td>6.5</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン 運 転</td> <td>日</td> <td>0.7</td> <td>1.1</td> <td>1.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上記歩掛に無収縮モルタル充填等の作業は含まれる。 2. 支据付材料(無収縮モルタル等)は別途計上する。 3. ラフテレーンクレーンは賃料とし、ラフテレーンクレーン規格は、排出ガス対策型(第1次基準値)油圧伸縮ジブ型45t吊を標準とする。ただし、これにより難い場合は、現場条件に適した規格のラフテレーンクレーンを選定する。</p>	施 工 場 所	種 類	供 用 日 数	柱 頭 部	ブラケット式 上 支 保 工 本 体 工	84	張出床版部・箱桁内部枠組支保工	67	側 径 間 部	くさび結合支保工 ・ 支柱支保工	L ≤ 10	45	10 < L ≤ 20	60	20 < L ≤ 30	75	箱桁内部枠組支保工	53	中 央 閉 合 部	吊 支 保 工	31	張出床版部・箱桁内部枠組支保工	31	名 称	単 位	支 承 質 量			4 t未満	4 t以上10 t未満	10 t以上17 t未満	橋 梁 世 話 役	人	1.2	1.4	1.5	橋 梁 特 殊 工	〃	4.0	5.3	6.6	型 枠 工	〃	1.8	2.8	3.7	普 通 作 業 員	〃	3.5	5.0	6.5	ラフテレーンクレーン 運 転	日	0.7	1.1	1.5	<p>現 行 通 り</p>
施 工 場 所	種 類	供 用 日 数																																																								
柱 頭 部	ブラケット式 上 支 保 工 本 体 工	84																																																								
	張出床版部・箱桁内部枠組支保工	67																																																								
側 径 間 部	くさび結合支保工 ・ 支柱支保工	L ≤ 10	45																																																							
		10 < L ≤ 20	60																																																							
		20 < L ≤ 30	75																																																							
	箱桁内部枠組支保工	53																																																								
中 央 閉 合 部	吊 支 保 工	31																																																								
	張出床版部・箱桁内部枠組支保工	31																																																								
名 称	単 位	支 承 質 量																																																								
		4 t未満	4 t以上10 t未満	10 t以上17 t未満																																																						
橋 梁 世 話 役	人	1.2	1.4	1.5																																																						
橋 梁 特 殊 工	〃	4.0	5.3	6.6																																																						
型 枠 工	〃	1.8	2.8	3.7																																																						
普 通 作 業 員	〃	3.5	5.0	6.5																																																						
ラフテレーンクレーン 運 転	日	0.7	1.1	1.5																																																						

土木工事標準歩掛の一部改定
PC橋片持架設工

工種名	現 行	改 定																																														
	<p>6-2 柱頭部仮固定工</p> <p>6-2-1 柱頭部仮支承工</p> <p>柱頭部仮支承工は、鉄筋加工組立、型枠製作、設置・撤去、ラフテレーンクレーンによるコンクリート打設、仮支承とりこわし及び撤去作業で、歩掛は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表6.2 柱頭部仮支承工歩掛 (コンクリート10m³当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>柱 頭 部 仮 支 承 工</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td>人</td> <td>16.0</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td>〃</td> <td>22.8</td> </tr> <tr> <td>鉄 筋 工</td> <td>〃</td> <td>4.8</td> </tr> <tr> <td>型 枠 工</td> <td>〃</td> <td>7.2</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>〃</td> <td>23.9</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン運転</td> <td>日</td> <td>1.2</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>%</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上記歩掛に現場内小運搬作業は含まれる。 2. 上記歩掛には、はく離剤塗布及びケレン作業を含む。 3. コンクリート打設については、ラフテレーンクレーンによる打設を標準とする。 4. コンクリート殻処理費は、別途計上する。 5. ラフテレーンクレーンは賃料とし、ラフテレーンクレーン規格は排出ガス対策型(第1次基準値)油圧伸縮ジブ型25t吊を標準とする。ただし、これにより難しい場合は、現場条件に適した規格のラフテレーンクレーンを選定する。 6. 諸雑費は、組立結束線、スペーサ、型枠用合板、さん木、角材、釘、型枠油、はく離剤、チゼルの損耗費、異形棒鋼等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>6-2-2 コンクリート使用量</p> <p>コンクリート使用量は、次式による。</p> <p style="text-align: center;">使用量=設計量×(1+K) ……式6.1</p> <p style="text-align: center;">表6.3 ロ ス 率 (K)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>ロ ス 率</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">+0.02</td> </tr> </tbody> </table> <p>6-2-3 剛結工</p> <p>橋脚と柱頭部をPC鋼棒で緊結する作業である。</p> <p>6-2-3-1 PC鋼棒工</p> <p>「11-1 PC鋼棒工(縦締)」による。</p> <p>6-2-3-2 PC鋼棒継手工</p> <p>「11-2 PC鋼棒継手工」による。</p> <p>6-2-3-3 PC鋼棒定着工</p> <p>「11-3 PC鋼棒定着工」による。</p> <p>6-2-3-4 PC鋼棒緊張工</p> <p>「11-4 PC鋼棒緊張工」による。</p> <p>6-2-3-5 PC鋼棒解放工</p> <p>PC鋼棒解放工歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表6.4 PC鋼棒解放工 (10箇所当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="2">縦 締</th> </tr> <tr> <th colspan="2">φ32</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋 梁 世 話 役</td> <td>人</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">0.5</td> </tr> <tr> <td>橋 梁 特 殊 工</td> <td>〃</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">3.3</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>〃</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">1.4</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	単 位	柱 頭 部 仮 支 承 工	世 話 役	人	16.0	特 殊 作 業 員	〃	22.8	鉄 筋 工	〃	4.8	型 枠 工	〃	7.2	普 通 作 業 員	〃	23.9	ラフテレーンクレーン運転	日	1.2	諸 雑 費 率	%	6	ロ ス 率			+0.02	名 称	単 位	縦 締		φ32		橋 梁 世 話 役	人	0.5		橋 梁 特 殊 工	〃	3.3		普 通 作 業 員	〃	1.4		現 行 通 り
名 称	単 位	柱 頭 部 仮 支 承 工																																														
世 話 役	人	16.0																																														
特 殊 作 業 員	〃	22.8																																														
鉄 筋 工	〃	4.8																																														
型 枠 工	〃	7.2																																														
普 通 作 業 員	〃	23.9																																														
ラフテレーンクレーン運転	日	1.2																																														
諸 雑 費 率	%	6																																														
ロ ス 率																																																
	+0.02																																															
名 称	単 位	縦 締																																														
		φ32																																														
橋 梁 世 話 役	人	0.5																																														
橋 梁 特 殊 工	〃	3.3																																														
普 通 作 業 員	〃	1.4																																														

土木工事標準歩掛の一部改定
PC橋片持架設工

工種名	現 行	改 定																																																				
	<p>6-3 ゴム支承工 ゴム支承工歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表6.5 ゴム支承工歩掛 (1個当たり)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th>規 格</th> </tr> <tr> <th>各 種</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋 梁 世 話 役</td> <td>人</td> <td style="text-align: center;">0.4</td> </tr> <tr> <td>橋 梁 特 殊 工</td> <td>〃</td> <td style="text-align: center;">1.8</td> </tr> <tr> <td>型 枠 工</td> <td>〃</td> <td style="text-align: center;">0.4</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>〃</td> <td style="text-align: center;">1.1</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン運転</td> <td>日</td> <td style="text-align: center;">0.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. ゴム支承は、ラーメン橋側径間部に設置するゴム支承を標準とする。 2. 上記歩掛にアンカーボルト、アンカーキャップ、スパイラル筋の設置及び無収縮モルタル充填等の作業は含まれる。 3. 支承据付材料(無収縮モルタル等)は、別途計上する。 4. ラフテレーンクレーンは賃料とし、ラフテレーンクレーン規格は、排出ガス対策型(第1次基準値)油圧伸縮ジブ型25t吊を標準とする。ただし、これにより難しい場合は、現場条件に適した規格のラフテレーンクレーンを選定する。</p> <p>7. 片 持 架 設 工 7-1 作業車据付・解体工 作業車据付・解体歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表7.1 作業車据付・解体歩掛 (1台1回当たり)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>組 立 ・ 解 体</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋 梁 世 話 役</td> <td>人</td> <td style="text-align: center;">9.1</td> </tr> <tr> <td>橋 梁 特 殊 工</td> <td>〃</td> <td style="text-align: center;">61.7</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>〃</td> <td style="text-align: center;">51.3</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン運転</td> <td>日</td> <td style="text-align: center;">13.2</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>%</td> <td style="text-align: center;">35</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上記労務及びラフテレーンクレーン歩掛は、据付及び解体の合計であり構成は据付60%、解体40%である。 2. 上記歩掛に付属設備等の据付・解体作業は含まれる。 3. 作業車据付・解体所要日数は、17日を標準とする。 4. 2台同時据付を標準とする。 5. ラフテレーンクレーンは賃料とし、ラフテレーンクレーン規格は、排出ガス対策型(第1次基準値)油圧伸縮ジブ型45t吊を標準とする。ただし、これにより難しい場合は、現場条件に適した規格のラフテレーンクレーンを選定する。 6. 諸雑費は、作業車付属設備(屋根材料費、床材料費、防護設備費、足場材料費)等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>7-2 作業車移動・据付工 作業車の移動・据付歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表7.2 作業車移動・据付歩掛 (1台1回当たり)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>移 動 ・ 据 付</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋 梁 世 話 役</td> <td>人</td> <td style="text-align: center;">0.5</td> </tr> <tr> <td>橋 梁 特 殊 工</td> <td>〃</td> <td style="text-align: center;">1.2</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>〃</td> <td style="text-align: center;">1.5</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>%</td> <td style="text-align: center;">33</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 諸雑費は、木材、PC鋼棒、定着具等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p>	名 称	単 位	規 格	各 種	橋 梁 世 話 役	人	0.4	橋 梁 特 殊 工	〃	1.8	型 枠 工	〃	0.4	普 通 作 業 員	〃	1.1	ラフテレーンクレーン運転	日	0.1	名 称	単 位	組 立 ・ 解 体	橋 梁 世 話 役	人	9.1	橋 梁 特 殊 工	〃	61.7	普 通 作 業 員	〃	51.3	ラフテレーンクレーン運転	日	13.2	諸 雑 費 率	%	35	名 称	単 位	移 動 ・ 据 付	橋 梁 世 話 役	人	0.5	橋 梁 特 殊 工	〃	1.2	普 通 作 業 員	〃	1.5	諸 雑 費 率	%	33	現 行 通 り
名 称	単 位			規 格																																																		
		各 種																																																				
橋 梁 世 話 役	人	0.4																																																				
橋 梁 特 殊 工	〃	1.8																																																				
型 枠 工	〃	0.4																																																				
普 通 作 業 員	〃	1.1																																																				
ラフテレーンクレーン運転	日	0.1																																																				
名 称	単 位	組 立 ・ 解 体																																																				
橋 梁 世 話 役	人	9.1																																																				
橋 梁 特 殊 工	〃	61.7																																																				
普 通 作 業 員	〃	51.3																																																				
ラフテレーンクレーン運転	日	13.2																																																				
諸 雑 費 率	%	35																																																				
名 称	単 位	移 動 ・ 据 付																																																				
橋 梁 世 話 役	人	0.5																																																				
橋 梁 特 殊 工	〃	1.2																																																				
普 通 作 業 員	〃	1.5																																																				
諸 雑 費 率	%	33																																																				

土木工事標準歩掛の一部改定
PC橋片持架設工

工種名	現 行	改 定																																																																												
	<p>7-3 作業車クライミング工 作業車クライミング工とは、作業車の下部構造を上げる作業で、歩掛は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表7.3 作業車クライミング工歩掛 (1台1回当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>ク ラ イ ミ ン グ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋 梁 世 話 役</td> <td>人</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>橋 梁 特 殊 工</td> <td>〃</td> <td>5.5</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>〃</td> <td>7.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>7-4 作業車引戻工 作業車引戻工は、作業車を解体位置まで引き戻す作業で、歩掛は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表7.4 作業車引戻工歩掛 (10m当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>引 戻 工</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋 梁 世 話 役</td> <td>人</td> <td>0.5</td> </tr> <tr> <td>橋 梁 特 殊 工</td> <td>〃</td> <td>1.1</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>〃</td> <td>1.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>8. 型 枠 工 型枠製作、設置・撤去歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表8.1 型枠製作、設置・撤去歩掛 (10m²当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="2">柱 頭 部 側 径 間 部 中 央 閉 合 部</th> <th colspan="2">片 持 部</th> <th>柱 頭 部 片 持 部</th> </tr> <tr> <th>外型枠 底型枠</th> <th>内型枠</th> <th>(鋼製) 外型枠 底型枠</th> <th>内型枠</th> <th>小口型枠</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td>人</td> <td colspan="5" style="text-align: center;">0.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>型 枠 工</td> <td>〃</td> <td colspan="5" style="text-align: center;">3.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>〃</td> <td colspan="5" style="text-align: center;">1.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン 運 転</td> <td>日</td> <td colspan="5" style="text-align: center;">0.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>%</td> <td colspan="5" style="text-align: center;">13</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上記歩掛には、はく離剤塗布及びケレン作業を含む。 2. 片持部の外型枠、底型枠は鋼製を、それ以外については木製とする。また、鋼製については設置・撤去のみの歩掛である。 3. 鋼製型枠製作費は、別途計上する。 4. ラフテレーンクレーンは賃料とし、ラフテレーンクレーン規格は、排出ガス対策型(第1次基準値)油圧伸縮ジブ型25t吊を標準とする。ただし、これにより難しい場合は、現場条件に適した規格のラフテレーンクレーンを選定する。 5. 諸雑費は、型枠用合板、さん木、角材、釘、はく離剤等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p>	名 称	単 位	ク ラ イ ミ ン グ	橋 梁 世 話 役	人	1.0	橋 梁 特 殊 工	〃	5.5	普 通 作 業 員	〃	7.0	名 称	単 位	引 戻 工	橋 梁 世 話 役	人	0.5	橋 梁 特 殊 工	〃	1.1	普 通 作 業 員	〃	1.1	名 称	単 位	柱 頭 部 側 径 間 部 中 央 閉 合 部		片 持 部		柱 頭 部 片 持 部	外型枠 底型枠	内型枠	(鋼製) 外型枠 底型枠	内型枠	小口型枠	世 話 役	人	0.4						型 枠 工	〃	3.2						普 通 作 業 員	〃	1.6						ラフテレーンクレーン 運 転	日	0.1						諸 雑 費 率	%	13						<p>現 行 通 り</p>
名 称	単 位	ク ラ イ ミ ン グ																																																																												
橋 梁 世 話 役	人	1.0																																																																												
橋 梁 特 殊 工	〃	5.5																																																																												
普 通 作 業 員	〃	7.0																																																																												
名 称	単 位	引 戻 工																																																																												
橋 梁 世 話 役	人	0.5																																																																												
橋 梁 特 殊 工	〃	1.1																																																																												
普 通 作 業 員	〃	1.1																																																																												
名 称	単 位	柱 頭 部 側 径 間 部 中 央 閉 合 部		片 持 部		柱 頭 部 片 持 部																																																																								
		外型枠 底型枠	内型枠	(鋼製) 外型枠 底型枠	内型枠	小口型枠																																																																								
世 話 役	人	0.4																																																																												
型 枠 工	〃	3.2																																																																												
普 通 作 業 員	〃	1.6																																																																												
ラフテレーンクレーン 運 転	日	0.1																																																																												
諸 雑 費 率	%	13																																																																												

土木工事標準歩掛の一部改定
PC橋片持架設工

工種名	現 行	改 定																																									
	<p>9. 鉄 筋 工</p> <p>9-1 加工・組立歩掛 鉄筋加工・組立1 t 当り歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表9.1 鉄筋加工・組立歩掛 (1 t 当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th>鉄 筋 径 (mm)</th> </tr> <tr> <th>各 種</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td>人</td> <td>0.5</td> </tr> <tr> <td>鉄 筋 工</td> <td>〃</td> <td>3.4</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>〃</td> <td>1.9</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン運転</td> <td>日</td> <td>0.2</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>%</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上記歩掛に現場内小運搬作業は含まれる。 2. ラフテレーンクレーンは賃料とし、ラフテレーンクレーン規格は、排出ガス対策型(第1次基準値)油圧伸縮ジブ型25 t 吊を標準とする。ただし、これにより難い場合は、現場条件に適した規格のラフテレーンクレーンを選定する。 3. 諸雑費は、組立結束線、スペーサ等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>9-2 鉄筋使用量 鉄筋使用量は、次式による。 使用量=設計量×(1+K) ……式9.1</p> <p style="text-align: center;">表9.2 ロ ス 率 (K)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <tr> <td style="width: 60%;">ロ ス 率</td> <td style="width: 40%;">+0.05</td> </tr> </table> <p>10. コンクリート工</p> <p>10-1 コンクリートポンプ車打設歩掛 コンクリートポンプ車による打設は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表10.1 コンクリートポンプ車打設歩掛 (10m³当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> <th>コンクリートポンプ車打設</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td>人</td> <td>0.3</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td>〃</td> <td>1.6</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td>〃</td> <td>1.4</td> </tr> <tr> <td>コンクリートポンプ車運転</td> <td>h</td> <td>1.8</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>%</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. コンクリートポンプ車による打設以外は、別途考慮する。 2. 上記歩掛に表面仕上げ、散水養生、端面処理、準備及び後片付け作業等を含む。 3. コンクリートの1日当り打設量は40m³を標準とする。 4. 配管打設は、100m程度の圧送管設置・撤去労務及び損料を含むものとし、100m以上の圧送管設置・撤去を必要とする場合は「第5章コンクリート工①コンクリート工」の設置・撤去労務による。 5. ブーム打設は、桁下空間が確保でき、打設高さ20m以下、投入水平距離20m以下の場合に適用する。 6. 諸雑費は、マット、養生剤、凝結遅延剤、モルタル等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>10-2 コンクリート使用量 コンクリート使用量は、次式による。 使用量=設計量×(1+K) ……式10.1</p> <p style="text-align: center;">表10.2 ロ ス 率 (K)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">ス 率</td> <td style="width: 40%;">+0.03</td> </tr> </table>	名 称	単 位	鉄 筋 径 (mm)	各 種	世 話 役	人	0.5	鉄 筋 工	〃	3.4	普 通 作 業 員	〃	1.9	ラフテレーンクレーン運転	日	0.2	諸 雑 費 率	%	2	ロ ス 率	+0.05	名 称	単 位	コンクリートポンプ車打設	世 話 役	人	0.3	特 殊 作 業 員	〃	1.6	普 通 作 業 員	〃	1.4	コンクリートポンプ車運転	h	1.8	諸 雑 費 率	%	8	ス 率	+0.03	} 現 行 通 り
名 称	単 位			鉄 筋 径 (mm)																																							
		各 種																																									
世 話 役	人	0.5																																									
鉄 筋 工	〃	3.4																																									
普 通 作 業 員	〃	1.9																																									
ラフテレーンクレーン運転	日	0.2																																									
諸 雑 費 率	%	2																																									
ロ ス 率	+0.05																																										
名 称	単 位	コンクリートポンプ車打設																																									
世 話 役	人	0.3																																									
特 殊 作 業 員	〃	1.6																																									
普 通 作 業 員	〃	1.4																																									
コンクリートポンプ車運転	h	1.8																																									
諸 雑 費 率	%	8																																									
ス 率	+0.03																																										

土木工事標準歩掛の一部改定
PC橋片持架設工

工種名	現 行	改 定																																																																																										
	<p>11. P C 工 11-1 PC鋼棒工 PC鋼棒工は、PC鋼棒、シースの加工組立、PC鋼棒挿入及びグラウト材の練混ぜ、注入等の作業で、歩掛は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表11.1 PC鋼棒工歩掛 (PC鋼棒1t当り)</p> <table border="1" data-bbox="528 478 1359 766"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th>φ26(1B26A, 1B26B)</th> <th>φ32(1B32A, 1B32B)</th> </tr> <tr> <th>横・鉛直斜締</th> <th>縦・横・鉛直斜締</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋梁世話役</td> <td>人</td> <td>1.7</td> <td>1.6</td> </tr> <tr> <td>橋梁特殊工</td> <td>〃</td> <td>14.9</td> <td>13.6</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>〃</td> <td>10.0</td> <td>7.5</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン運</td> <td>日</td> <td colspan="2">0.5</td> </tr> <tr> <td>諸雑費率</td> <td>%</td> <td colspan="2">7</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上記歩掛に現場内小運搬作業は含まれる。 2. ラフテレーンクレーンは賃料を標準とし、ラフテレーンクレーン規格は、排出ガス対策型(第1次基準値)油圧伸縮ジブ型25t吊を標準とする。ただし、これにより難しい場合は、現場条件に適した規格のラフテレーンクレーンを選定する。 3. 諸雑費は、シーソ、グラウト材、ビニルテープ、結束線及びシーソ棚筋等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>11-2 PC鋼棒継手工 PC鋼棒継手工は、緊張されていないPC鋼棒にPC鋼棒を継ぎたす作業(普通継手)または、緊張されたPC鋼棒を一次定着(緊張側、固定側共)した後、さらにその鋼棒を継ぎたしていく作業(G継手)で、歩掛は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表11.2 PC鋼棒継手工歩掛 (10箇所当り)</p> <table border="1" data-bbox="528 1129 1359 1407"> <thead> <tr> <th rowspan="3">名 称</th> <th rowspan="3">単 位</th> <th colspan="2">縦 締</th> </tr> <tr> <th>普通継手</th> <th>G継手</th> </tr> <tr> <th colspan="2">φ32(1B32A, 1B32B)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋梁世話役</td> <td>人</td> <td colspan="2">0.4</td> </tr> <tr> <td>橋梁特殊工</td> <td>〃</td> <td colspan="2">1.4</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>〃</td> <td colspan="2">0.8</td> </tr> <tr> <td>諸雑費率</td> <td>%</td> <td colspan="2">6</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 諸雑費は、グラウトホース、ビニルテープ等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>11-3 PC鋼棒定着工 PC鋼棒定着工は、固定側の定着装置を組立て、型枠に取付ける作業であり、歩掛は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表11.3 PC鋼棒定着工歩掛 (10箇所当り)</p> <table border="1" data-bbox="528 1621 1359 1780"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th>φ26(1B26A, 1B26B)</th> <th>φ32(1B32A, 1B32B)</th> </tr> <tr> <th>横・鉛直斜締</th> <th>縦・横・鉛直斜締</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋梁特殊工</td> <td>人</td> <td>1.2</td> <td>1.1</td> </tr> <tr> <td>諸雑費率</td> <td>%</td> <td colspan="2">19</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 諸雑費は、グラウトホース、ビニルテープ及び結束線等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p>	名 称	単 位	φ26(1B26A, 1B26B)	φ32(1B32A, 1B32B)	横・鉛直斜締	縦・横・鉛直斜締	橋梁世話役	人	1.7	1.6	橋梁特殊工	〃	14.9	13.6	普通作業員	〃	10.0	7.5	ラフテレーンクレーン運	日	0.5		諸雑費率	%	7		名 称	単 位	縦 締		普通継手	G継手	φ32(1B32A, 1B32B)		橋梁世話役	人	0.4		橋梁特殊工	〃	1.4		普通作業員	〃	0.8		諸雑費率	%	6		名 称	単 位	φ26(1B26A, 1B26B)	φ32(1B32A, 1B32B)	横・鉛直斜締	縦・横・鉛直斜締	橋梁特殊工	人	1.2	1.1	諸雑費率	%	19		<p>11. P C 工 11-1 PC鋼棒工 PC鋼棒工は、PC鋼棒、シースの加工組立、PC鋼棒挿入及びグラウト材の練混ぜ、注入等の作業で、歩掛は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表11.1 PC鋼棒工歩掛 (PC鋼棒1t当り)</p> <table border="1" data-bbox="1804 478 2635 766"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th>φ26(1B26A, 1B26B)</th> <th>φ32(1B32A, 1B32B)</th> </tr> <tr> <th>横・鉛直斜締</th> <th>縦・横・鉛直斜締</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋梁世話役</td> <td>人</td> <td>1.7</td> <td>1.6</td> </tr> <tr> <td>橋梁特殊工</td> <td>〃</td> <td>14.9</td> <td>13.6</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>〃</td> <td>10.0</td> <td>7.5</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン運</td> <td>日</td> <td colspan="2">0.5</td> </tr> <tr> <td>諸雑費率</td> <td>%</td> <td colspan="2">7</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上記歩掛に現場内小運搬作業は含まれる。 2. ラフテレーンクレーンは賃料を標準とし、ラフテレーンクレーン規格は、排出ガス対策型(第1次基準値)油圧伸縮ジブ型25t吊を標準とする。ただし、これにより難しい場合は、現場条件に適した規格のラフテレーンクレーンを選定する。 3. 諸雑費は、鋼製シーソ、グラウト材、ビニルテープ、結束線及びシーソ棚筋等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p style="text-align: center;">現 行 通 り</p>	名 称	単 位	φ26(1B26A, 1B26B)	φ32(1B32A, 1B32B)	横・鉛直斜締	縦・横・鉛直斜締	橋梁世話役	人	1.7	1.6	橋梁特殊工	〃	14.9	13.6	普通作業員	〃	10.0	7.5	ラフテレーンクレーン運	日	0.5		諸雑費率	%	7	
名 称	単 位			φ26(1B26A, 1B26B)	φ32(1B32A, 1B32B)																																																																																							
		横・鉛直斜締	縦・横・鉛直斜締																																																																																									
橋梁世話役	人	1.7	1.6																																																																																									
橋梁特殊工	〃	14.9	13.6																																																																																									
普通作業員	〃	10.0	7.5																																																																																									
ラフテレーンクレーン運	日	0.5																																																																																										
諸雑費率	%	7																																																																																										
名 称	単 位	縦 締																																																																																										
		普通継手	G継手																																																																																									
		φ32(1B32A, 1B32B)																																																																																										
橋梁世話役	人	0.4																																																																																										
橋梁特殊工	〃	1.4																																																																																										
普通作業員	〃	0.8																																																																																										
諸雑費率	%	6																																																																																										
名 称	単 位	φ26(1B26A, 1B26B)	φ32(1B32A, 1B32B)																																																																																									
		横・鉛直斜締	縦・横・鉛直斜締																																																																																									
橋梁特殊工	人	1.2	1.1																																																																																									
諸雑費率	%	19																																																																																										
名 称	単 位	φ26(1B26A, 1B26B)	φ32(1B32A, 1B32B)																																																																																									
		横・鉛直斜締	縦・横・鉛直斜締																																																																																									
橋梁世話役	人	1.7	1.6																																																																																									
橋梁特殊工	〃	14.9	13.6																																																																																									
普通作業員	〃	10.0	7.5																																																																																									
ラフテレーンクレーン運	日	0.5																																																																																										
諸雑費率	%	7																																																																																										

土木工事標準歩掛の一部改定 PC橋片持架設工

工種名	現 行	改 定																																																					
	<p>11-4 PC鋼棒緊張工 PC鋼棒緊張工は、緊張側の定着装置の取付け及びPC鋼棒の緊張作業で、歩掛は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表11.4 PC鋼棒緊張工歩掛 (10箇所当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th>φ26(1 B26A, 1 B26B)</th> <th>φ32(1 B32A, 1 B32B)</th> </tr> <tr> <th>横・鉛直斜締</th> <th>縦・横・鉛直斜締</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋梁世話役</td> <td>人</td> <td style="text-align: center;">0.7</td> <td style="text-align: center;">0.8</td> </tr> <tr> <td>橋梁特殊工</td> <td>〃</td> <td style="text-align: center;">3.3</td> <td style="text-align: center;">4.6</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>〃</td> <td style="text-align: center;">2.0</td> <td style="text-align: center;">2.0</td> </tr> <tr> <td>諸雑費率</td> <td>%</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">4</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 諸雑費は、グラウトホース、ビニルテープ等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p>	名 称	単 位	φ26(1 B26A, 1 B26B)	φ32(1 B32A, 1 B32B)	横・鉛直斜締	縦・横・鉛直斜締	橋梁世話役	人	0.7	0.8	橋梁特殊工	〃	3.3	4.6	普通作業員	〃	2.0	2.0	諸雑費率	%	4		} 現 行 通 り																															
	名 称			単 位	φ26(1 B26A, 1 B26B)	φ32(1 B32A, 1 B32B)																																																	
		横・鉛直斜締	縦・横・鉛直斜締																																																				
	橋梁世話役	人	0.7	0.8																																																			
	橋梁特殊工	〃	3.3	4.6																																																			
	普通作業員	〃	2.0	2.0																																																			
	諸雑費率	%	4																																																				
	<p>11-5 PCケーブル工 11-5-1 PCケーブル工歩掛 PCケーブル工は、PCケーブル、シースの加工組立、PCケーブル挿入及びグラウト材の練混ぜ、注入等の作業で、歩掛は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表11.5 PCケーブル工歩掛 (ケーブル1t当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th>縦 締</th> <th>横 締</th> </tr> <tr> <th>1,900kN(195t)型(12S12.4A) 2,200kN(225t)型(12S12.7B)</th> <th>570kN(60t)型(1S21.8) 750kN(80t)型(12W7B)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋梁世話役</td> <td>人</td> <td style="text-align: center;">4.4</td> <td style="text-align: center;">4.6</td> </tr> <tr> <td>橋梁特殊工</td> <td>〃</td> <td style="text-align: center;">23.3</td> <td style="text-align: center;">21.5</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>〃</td> <td style="text-align: center;">17.3</td> <td style="text-align: center;">17.8</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン運転</td> <td>日</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">0.6</td> </tr> <tr> <td>諸雑費率</td> <td>%</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">15</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上記歩掛に、現場内小運搬作業は含まれる。 2. ラフテレーンクレーンは賃料とし、ラフテレーンクレーン規格は、排出ガス対策型(第1次基準値)油圧伸縮ジブ型25t吊を標準とする。ただし、これにより難しい場合は、現場条件に適した規格のラフテレーンクレーンを選定する。 3. 諸雑費は、シース、グラウト材、ビニルテープ、結束線及びシース棚筋等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p>	名 称	単 位	縦 締	横 締	1,900kN(195t)型(12S12.4A) 2,200kN(225t)型(12S12.7B)	570kN(60t)型(1S21.8) 750kN(80t)型(12W7B)	橋梁世話役	人	4.4	4.6	橋梁特殊工	〃	23.3	21.5	普通作業員	〃	17.3	17.8	ラフテレーンクレーン運転	日	0.6			諸雑費率	%	15		<p>11-5 PCケーブル工 11-5-1 PCケーブル工歩掛 PCケーブル工は、PCケーブル、シースの加工組立、PCケーブル挿入及びグラウト材の練混ぜ、注入等の作業で、歩掛は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表11.5 PCケーブル工歩掛 (ケーブル1t当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th>縦 締</th> <th>横 締</th> </tr> <tr> <th>1,900kN(195t)型(12S12.4A) 2,200kN(225t)型(12S12.7B)</th> <th>570kN(60t)型(1S21.8) 750kN(80t)型(12W7B)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋梁世話役</td> <td>人</td> <td style="text-align: center;">4.4</td> <td style="text-align: center;">4.6</td> </tr> <tr> <td>橋梁特殊工</td> <td>〃</td> <td style="text-align: center;">23.3</td> <td style="text-align: center;">21.5</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>〃</td> <td style="text-align: center;">17.3</td> <td style="text-align: center;">17.8</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン運転</td> <td>日</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">0.6</td> </tr> <tr> <td>諸雑費率</td> <td>%</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">15</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上記歩掛に、現場内小運搬作業は含まれる。 2. ラフテレーンクレーンは賃料とし、ラフテレーンクレーン規格は、排出ガス対策型(第1次基準値)油圧伸縮ジブ型25t吊を標準とする。ただし、これにより難しい場合は、現場条件に適した規格のラフテレーンクレーンを選定する。 3. 諸雑費は、鋼製シース、グラウト材、ビニルテープ、結束線及びシース棚筋等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p>	名 称	単 位	縦 締	横 締	1,900kN(195t)型(12S12.4A) 2,200kN(225t)型(12S12.7B)	570kN(60t)型(1S21.8) 750kN(80t)型(12W7B)	橋梁世話役	人	4.4	4.6	橋梁特殊工	〃	23.3	21.5	普通作業員	〃	17.3	17.8	ラフテレーンクレーン運転	日	0.6		諸雑費率	%	15	
	名 称			単 位	縦 締	横 締																																																	
		1,900kN(195t)型(12S12.4A) 2,200kN(225t)型(12S12.7B)	570kN(60t)型(1S21.8) 750kN(80t)型(12W7B)																																																				
橋梁世話役	人	4.4	4.6																																																				
橋梁特殊工	〃	23.3	21.5																																																				
普通作業員	〃	17.3	17.8																																																				
ラフテレーンクレーン運転	日	0.6																																																					
諸雑費率	%	15																																																					
名 称	単 位	縦 締	横 締																																																				
		1,900kN(195t)型(12S12.4A) 2,200kN(225t)型(12S12.7B)	570kN(60t)型(1S21.8) 750kN(80t)型(12W7B)																																																				
橋梁世話役	人	4.4	4.6																																																				
橋梁特殊工	〃	23.3	21.5																																																				
普通作業員	〃	17.3	17.8																																																				
ラフテレーンクレーン運転	日	0.6																																																					
諸雑費率	%	15																																																					
<p>11-5-2 PCケーブル使用量 PCケーブル使用量は、次式による。 使用量=設計量×(1+K)……式11.1</p> <p style="text-align: center;">表11.6 ロ ス 率 (K)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <tr> <td style="text-align: center;">ロ ス 率</td> <td style="text-align: center;">+0.06</td> </tr> </table>	ロ ス 率	+0.06																																																					
ロ ス 率	+0.06																																																						
<p>11-6 PCケーブル定着工 PCケーブル定着工は、PCケーブルを片引きする場合に固定側の定着装置を組立、取付する作業であり、歩掛は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表11.7 PCケーブル定着工歩掛 (10箇所当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th>縦 締</th> <th colspan="2">横 締</th> </tr> <tr> <th>1,900kN(195t)型(12S12.4A) 2,200kN(225t)型(12S12.7B)</th> <th>570kN(60t)型 (1S21.8)</th> <th>750kN(80t)型 (12W7B)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋梁特殊工</td> <td>人</td> <td style="text-align: center;">3.0</td> <td style="text-align: center;">1.2</td> <td style="text-align: center;">2.1</td> </tr> <tr> <td>諸雑費率</td> <td>%</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">41</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 諸雑費は、定着部型枠、グラウトホース、ビニルテープ等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p>	名 称	単 位	縦 締	横 締		1,900kN(195t)型(12S12.4A) 2,200kN(225t)型(12S12.7B)	570kN(60t)型 (1S21.8)	750kN(80t)型 (12W7B)	橋梁特殊工	人	3.0	1.2	2.1	諸雑費率	%	41			} 現 行 通 り																																				
名 称			単 位	縦 締	横 締																																																		
	1,900kN(195t)型(12S12.4A) 2,200kN(225t)型(12S12.7B)	570kN(60t)型 (1S21.8)		750kN(80t)型 (12W7B)																																																			
橋梁特殊工	人	3.0	1.2	2.1																																																			
諸雑費率	%	41																																																					

土木工事標準歩掛の一部改定
PC橋片持架設工

工種名	現 行	改 定																																																								
	<p>11-7 PCケーブル緊張工 PCケーブル緊張工は、緊張側の定着装置の組立、取付け及びPCケーブルの緊張作業で、歩掛は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表11.8 PCケーブル緊張工歩掛 (10箇所当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="2">縦 締 (両引き)</th> <th colspan="2">横 締</th> </tr> <tr> <th>1,900kN(195t)型(12S12.4A) 2,200kN(225t)型(12S12.7B)</th> <th>570kN(60t)型 (1S21.8)</th> <th>750kN(80t)型 (12W7B)</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋梁世話役</td> <td>人</td> <td>1.1</td> <td>1.5</td> <td>0.7</td> <td>1.1</td> </tr> <tr> <td>橋梁特殊工</td> <td>〃</td> <td>6.6</td> <td>8.7</td> <td>3.1</td> <td>5.0</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>〃</td> <td>3.0</td> <td>5.3</td> <td>1.8</td> <td>2.1</td> </tr> <tr> <td>諸雑费率</td> <td>%</td> <td colspan="2">6</td> <td colspan="2">13</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 諸雑費は、定着部型枠、グラウトホース、結束線、ビニルテープ等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>12. 足場及び防護工 足場及び防護工等は、次式とする。</p> $M = \left(\frac{S \cdot X}{m} + N \cdot y \right) \times A$ <p style="margin-left: 20px;">M: 施工費 S: 損料係数 X: 供用総月数 m: 1工事での使用回数 N: 歩掛係数 y: 橋梁特殊工単価 (円/人) A: 施工量</p> <p>12-1 柱頭部足場工 柱頭部の足場についての歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表12.1 柱頭部足場工 (柱頭部橋面積1m²当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>桁 高</th> <th>S</th> <th>N</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>柱頭部桁高6m未満</td> <td>728</td> <td>0.36</td> </tr> <tr> <td>柱頭部桁高6m以上</td> <td>951</td> <td>0.71</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 上記歩掛は、橋側足場を含む。</p> <p>12-2 橋側足場工 中央閉合部の支保工上に設置する足場で、歩掛は次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表12.2 橋側足場工 (施工延長1m当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>S</th> <th>N</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>510</td> <td>0.17</td> </tr> </tbody> </table> <p>12-3 橋面手摺工 橋面手摺についての歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表12.3 橋面手摺工 (施工延長1m当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>S</th> <th>N</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>265</td> <td>0.054</td> </tr> </tbody> </table> <p>12-4 防護工 防護工歩掛については、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表12.4 防 護 工 (防護面積1m²当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>S</th> <th>N</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>55</td> <td>0.017</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	単 位	縦 締 (両引き)		横 締		1,900kN(195t)型(12S12.4A) 2,200kN(225t)型(12S12.7B)	570kN(60t)型 (1S21.8)	750kN(80t)型 (12W7B)			橋梁世話役	人	1.1	1.5	0.7	1.1	橋梁特殊工	〃	6.6	8.7	3.1	5.0	普通作業員	〃	3.0	5.3	1.8	2.1	諸雑费率	%	6		13		桁 高	S	N	柱頭部桁高6m未満	728	0.36	柱頭部桁高6m以上	951	0.71	S	N	510	0.17	S	N	265	0.054	S	N	55	0.017	<p>現 行 通 り</p>
名 称	単 位			縦 締 (両引き)		横 締																																																				
		1,900kN(195t)型(12S12.4A) 2,200kN(225t)型(12S12.7B)	570kN(60t)型 (1S21.8)	750kN(80t)型 (12W7B)																																																						
橋梁世話役	人	1.1	1.5	0.7	1.1																																																					
橋梁特殊工	〃	6.6	8.7	3.1	5.0																																																					
普通作業員	〃	3.0	5.3	1.8	2.1																																																					
諸雑费率	%	6		13																																																						
桁 高	S	N																																																								
柱頭部桁高6m未満	728	0.36																																																								
柱頭部桁高6m以上	951	0.71																																																								
S	N																																																									
510	0.17																																																									
S	N																																																									
265	0.054																																																									
S	N																																																									
55	0.017																																																									

土木工事標準歩掛の一部改定
PC橋片持架設工

工種名	現 行	改 定																																																																																																																																																																						
	<p>13. 機種 の 選 定 PC橋片持架設工に使用する機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表13.1 機種 の 選 定 (1工事当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>作業種別</th> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>供 用 日 数</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">柱 頭 部 仮 支 承 工</td> <td>コンクリートパイプブレーター (肩掛け (軽便))</td> <td></td> <td>台</td> <td></td> <td></td> <td>コンクリート工を含む</td> </tr> <tr> <td>コンクリートブレーカ</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>D</td> <td></td> </tr> <tr> <td>空気圧縮機</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>D</td> <td></td> </tr> <tr> <td>P C 鋼 棒 解 放 工</td> <td>緊張ジャッキ・ポンプ</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td></td> <td>PC工を含む</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">作 業 車 据 付 解 体 工</td> <td>片持架設用移動作業車</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>B+E</td> <td>改造費は別途持込台数分計上</td> </tr> <tr> <td>場所打桁架設工具</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>C</td> <td></td> </tr> <tr> <td>作業車クライミング工</td> <td>チェーンブロック</td> <td>5 t吊</td> <td>台</td> <td>1</td> <td>B</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="10">主 桁 製 作 用 雑 器 具</td> <td rowspan="2">型 枠 工</td> <td>電気丸のこ</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>A</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>電気ドリル</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>A</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">鉄 筋 工</td> <td>鉄筋切断機</td> <td>1.5kW</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>A</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>鉄筋曲げ機</td> <td>2.2kW</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>A</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>鉄筋加工台</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>A</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>ガス切断機</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>A</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">コンクリート工</td> <td>電気溶接機</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>A</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>コンクリートパイプブレーター (肩掛け (軽便))</td> <td></td> <td>〃</td> <td>6</td> <td>A</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>高圧洗浄機</td> <td>3.7kW</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>A</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">P C 工</td> <td>緊張ジャッキ, ポンプ</td> <td></td> <td>〃</td> <td>(注)3</td> <td>A'</td> <td></td> </tr> <tr> <td>グラウトミキサ, ポンプ</td> <td></td> <td>〃</td> <td>〃</td> <td>A'</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>ウインチ</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>A'</td> <td>※</td> </tr> <tr> <td>全 体</td> <td>発動発電機</td> <td>45kVA</td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>A</td> <td>※発動発電機使用の場合</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 同時に施工する作業車の台数が4台のとき、※の機械については数量×2で計上する。 2. 商用電源を使用せず発動発電機を使用する場合は、発動発電機を別途計上する。 3. 緊張ジャッキ, ポンプの数量については13-1による。</p> <p>13-1 PC工における緊張ジャッキ, 緊張ポンプ, グラウトミキサ, グラウトポンプの台数は下表を標準とする。</p> <p>1) 使用するケーブルシステムがバーシステムの場合</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>同時に施工する作業車の台数</th> <th>使用するPC鋼材の種類</th> <th>ジャッキの種類</th> <th>ジャッキポンプの台数</th> <th>グラウトミキサ・ポンプの組数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">2</td> <td rowspan="2">φ26のみ</td> <td>50 t</td> <td>4</td> <td rowspan="4">1</td> </tr> <tr> <td>70 t</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">φ26, φ32混用</td> <td>50 t</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>70 t</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">4</td> <td rowspan="2">φ26のみ</td> <td>50 t</td> <td>6</td> <td rowspan="4">2</td> </tr> <tr> <td>70 t</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">φ26, φ32混用</td> <td>50 t</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>70 t</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) グラウトポンプ・ミキサ1組当り内訳は、ポンプ2台とミキサ1台である。</p>	作業種別	機 械 名	規 格	単 位	数 量	供 用 日 数	摘 要	柱 頭 部 仮 支 承 工	コンクリートパイプブレーター (肩掛け (軽便))		台			コンクリート工を含む	コンクリートブレーカ		〃	1	D		空気圧縮機		〃	1	D		P C 鋼 棒 解 放 工	緊張ジャッキ・ポンプ		〃			PC工を含む	作 業 車 据 付 解 体 工	片持架設用移動作業車		〃	1	B+E	改造費は別途持込台数分計上	場所打桁架設工具		式	1	C		作業車クライミング工	チェーンブロック	5 t吊	台	1	B		主 桁 製 作 用 雑 器 具	型 枠 工	電気丸のこ		〃	1	A	※	電気ドリル		〃	1	A	※	鉄 筋 工	鉄筋切断機	1.5kW	〃	1	A	※	鉄筋曲げ機	2.2kW	〃	1	A	※	鉄筋加工台		〃	1	A	※	ガス切断機		〃	1	A	※	コンクリート工	電気溶接機		〃	1	A	※	コンクリートパイプブレーター (肩掛け (軽便))		〃	6	A	※	高圧洗浄機	3.7kW	〃	1	A	※	P C 工	緊張ジャッキ, ポンプ		〃	(注)3	A'		グラウトミキサ, ポンプ		〃	〃	A'	※	ウインチ		〃	1	A'	※	全 体	発動発電機	45kVA	〃	1	A	※発動発電機使用の場合	同時に施工する作業車の台数	使用するPC鋼材の種類	ジャッキの種類	ジャッキポンプの台数	グラウトミキサ・ポンプの組数	2	φ26のみ	50 t	4	1	70 t	4	φ26, φ32混用	50 t	2	70 t	3	4	φ26のみ	50 t	6	2	70 t	6	φ26, φ32混用	50 t	3	70 t	4	現 行 通 り
作業種別	機 械 名	規 格	単 位	数 量	供 用 日 数	摘 要																																																																																																																																																																		
柱 頭 部 仮 支 承 工	コンクリートパイプブレーター (肩掛け (軽便))		台			コンクリート工を含む																																																																																																																																																																		
	コンクリートブレーカ		〃	1	D																																																																																																																																																																			
	空気圧縮機		〃	1	D																																																																																																																																																																			
P C 鋼 棒 解 放 工	緊張ジャッキ・ポンプ		〃			PC工を含む																																																																																																																																																																		
作 業 車 据 付 解 体 工	片持架設用移動作業車		〃	1	B+E	改造費は別途持込台数分計上																																																																																																																																																																		
	場所打桁架設工具		式	1	C																																																																																																																																																																			
作業車クライミング工	チェーンブロック	5 t吊	台	1	B																																																																																																																																																																			
主 桁 製 作 用 雑 器 具	型 枠 工	電気丸のこ		〃	1	A	※																																																																																																																																																																	
		電気ドリル		〃	1	A	※																																																																																																																																																																	
	鉄 筋 工	鉄筋切断機	1.5kW	〃	1	A	※																																																																																																																																																																	
		鉄筋曲げ機	2.2kW	〃	1	A	※																																																																																																																																																																	
		鉄筋加工台		〃	1	A	※																																																																																																																																																																	
		ガス切断機		〃	1	A	※																																																																																																																																																																	
	コンクリート工	電気溶接機		〃	1	A	※																																																																																																																																																																	
		コンクリートパイプブレーター (肩掛け (軽便))		〃	6	A	※																																																																																																																																																																	
		高圧洗浄機	3.7kW	〃	1	A	※																																																																																																																																																																	
	P C 工	緊張ジャッキ, ポンプ		〃	(注)3	A'																																																																																																																																																																		
グラウトミキサ, ポンプ			〃	〃	A'	※																																																																																																																																																																		
ウインチ			〃	1	A'	※																																																																																																																																																																		
全 体	発動発電機	45kVA	〃	1	A	※発動発電機使用の場合																																																																																																																																																																		
同時に施工する作業車の台数	使用するPC鋼材の種類	ジャッキの種類	ジャッキポンプの台数	グラウトミキサ・ポンプの組数																																																																																																																																																																				
2	φ26のみ	50 t	4	1																																																																																																																																																																				
		70 t	4																																																																																																																																																																					
	φ26, φ32混用	50 t	2																																																																																																																																																																					
		70 t	3																																																																																																																																																																					
4	φ26のみ	50 t	6	2																																																																																																																																																																				
		70 t	6																																																																																																																																																																					
	φ26, φ32混用	50 t	3																																																																																																																																																																					
		70 t	4																																																																																																																																																																					

土木工事標準歩掛の一部改定
PC橋片持架設工

工種名	現 行	改 定																																																				
	<p>2) 各種ケーブルシステム混用の場合</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">同時に施工する作業車の台数</th> <th style="width: 15%;">使用するPC鋼材の種類</th> <th style="width: 15%;">ジャッキ・ポンプの台数</th> <th style="width: 15%;">グラウトミキサ・ポンプの組数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">2</td> <td rowspan="3">2</td> <td>縦</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td rowspan="2">1</td> </tr> <tr> <td>鉛</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">3</td> <td>縦</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td rowspan="2">1</td> </tr> <tr> <td>鉛</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">4</td> <td rowspan="3">2</td> <td>縦</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td rowspan="2">2</td> </tr> <tr> <td>鉛</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">3</td> <td>縦</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td rowspan="2">2</td> </tr> <tr> <td>鉛</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) グラウトポンプ・ミキサ1組当り内訳は、ポンプ2台とミキサ1台である。</p> <p>13-2 供用日数</p> <p>A : 主桁製作用雑器具 $\text{供用日数} = \text{最初柱頭部施工日数} + \frac{B}{\text{片持架設用移動作業車台数}} + \text{最終側径間部施工日数} + \text{最終中央閉合部施工日数}$</p> <p>A' : PC工用機器 $\text{供用日数} = \text{最初柱頭部施工日数 (19日)} + \frac{B}{\text{片持架設用移動作業車台数}} + \text{最終側径間部施工日数} + \text{最終中央閉合部施工日数}$</p> <p>B : 片持架設用移動作業車延供用日数 = $34 \times P + 1$ ブロック当り施工日数 $\times n + S$ (必要な場合計上) P : 橋脚数 n : 総施工ブロック数 S : 片持架設用移動作業車引戻日数 = $n \times 0.18$ (小数点以下切上げ)</p> <p>C : 場所打桁架設工具供用日数 = 片持架設用移動作業車据付・解体日数 + $1 \times$ 移動回数 D : 仮支承撤去日数 E : 片持架設用移動作業車往復輸送日数</p> <p>また、各工程標準施工日数は、下表のとおりとする。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 70%;">工 種</th> <th style="width: 30%;">日 数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>柱頭部工施工</td> <td>84 (19)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">片持架設用移動作業車据付・解体</td> <td>据 付</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>解 体</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>1ブロック当り施工</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">側 径 間 部 施 工</td> <td>$L \leq 10$</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>$10 < L \leq 20$</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>$20 < L \leq 30$</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td>中央閉合部施工</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>仮支承撤去</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 緊張ジャッキ・ポンプ、グラウトミキサ、グラウトポンプ、ウインチについて柱頭部工施工日数は () 内の日数とする。 2. 柱頭部の施工延長は12mを標準とする。</p> <p>13-3 諸雑費 消費電力量及び消費燃料 商用電源を使用する場合は、消費電力量として機械器具損料の1%を計上する。 発動発電機を使用する場合は、消費燃料として機械器具損料の4%を計上する。 なお、機械器具損料に片持架設用移動作業車改造費は含まない。</p>	同時に施工する作業車の台数	使用するPC鋼材の種類	ジャッキ・ポンプの台数	グラウトミキサ・ポンプの組数	2	2	縦	2	横	1	鉛	3	縦	2	横	1	鉛	4	2	縦	4	横	2	鉛	3	縦	4	横	2	鉛	工 種	日 数	柱頭部工施工	84 (19)	片持架設用移動作業車据付・解体	据 付	11	解 体	6	1ブロック当り施工	11	側 径 間 部 施 工	$L \leq 10$	45	$10 < L \leq 20$	60	$20 < L \leq 30$	75	中央閉合部施工	31	仮支承撤去	10	現 行 通 り
同時に施工する作業車の台数	使用するPC鋼材の種類	ジャッキ・ポンプの台数	グラウトミキサ・ポンプの組数																																																			
2	2	縦	2																																																			
		横	1																																																			
		鉛																																																				
	3	縦	2																																																			
		横	1																																																			
		鉛																																																				
4	2	縦	4																																																			
		横	2																																																			
		鉛																																																				
	3	縦	4																																																			
		横	2																																																			
		鉛																																																				
工 種	日 数																																																					
柱頭部工施工	84 (19)																																																					
片持架設用移動作業車据付・解体	据 付	11																																																				
	解 体	6																																																				
1ブロック当り施工	11																																																					
側 径 間 部 施 工	$L \leq 10$	45																																																				
	$10 < L \leq 20$	60																																																				
	$20 < L \leq 30$	75																																																				
中央閉合部施工	31																																																					
仮支承撤去	10																																																					

土木工事標準歩掛の一部改定
PC橋片持架設工

工種名	現 行	改 定																																																																																																																																							
	<p>14. 単 価 表</p> <p>(1) 柱頭部ブラケット式上支保工，張出床版部・箱桁内部枠組10空m³当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋 梁 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表5.2</td> </tr> <tr> <td>型 枠 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>橋 梁 特 殊 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>仮 設 材 損 料</td> <td>枠組式</td> <td>10空m³ ・日</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン賃料</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型25 t 吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>表5.2</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 柱頭部ブラケット式本体工，中央閉合部吊支保工 1 t 当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋 梁 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表5.2</td> </tr> <tr> <td>型 枠 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>橋 梁 特 殊 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>仮 設 材 損 料</td> <td>I形鋼，H形鋼，形鋼</td> <td>t・日</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン賃料</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型25 t 吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>表5.2</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 金属支承〇〇 t 1 個当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋 梁 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表6.1</td> </tr> <tr> <td>橋 梁 特 殊 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>型 枠 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>支 承 据 付 材 料</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>必要数量計上</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン賃料</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型45 t 吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>表6.1</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	橋 梁 世 話 役		人		表5.2	型 枠 工		〃		〃	橋 梁 特 殊 工		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	仮 設 材 損 料	枠組式	10空m ³ ・日			ラフテレーンクレーン賃料	排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型25 t 吊	日		表5.2	諸 雑 費		式	1	〃	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	橋 梁 世 話 役		人		表5.2	型 枠 工		〃		〃	橋 梁 特 殊 工		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	仮 設 材 損 料	I形鋼，H形鋼，形鋼	t・日			ラフテレーンクレーン賃料	排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型25 t 吊	日		表5.2	諸 雑 費		式	1	〃	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	橋 梁 世 話 役		人		表6.1	橋 梁 特 殊 工		〃		〃	型 枠 工		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	支 承 据 付 材 料		式	1	必要数量計上	ラフテレーンクレーン賃料	排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型45 t 吊	日		表6.1	諸 雑 費		式	1		計					<p>現 行 通 り</p>
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																					
橋 梁 世 話 役		人		表5.2																																																																																																																																					
型 枠 工		〃		〃																																																																																																																																					
橋 梁 特 殊 工		〃		〃																																																																																																																																					
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																					
仮 設 材 損 料	枠組式	10空m ³ ・日																																																																																																																																							
ラフテレーンクレーン賃料	排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型25 t 吊	日		表5.2																																																																																																																																					
諸 雑 費		式	1	〃																																																																																																																																					
計																																																																																																																																									
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																					
橋 梁 世 話 役		人		表5.2																																																																																																																																					
型 枠 工		〃		〃																																																																																																																																					
橋 梁 特 殊 工		〃		〃																																																																																																																																					
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																					
仮 設 材 損 料	I形鋼，H形鋼，形鋼	t・日																																																																																																																																							
ラフテレーンクレーン賃料	排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型25 t 吊	日		表5.2																																																																																																																																					
諸 雑 費		式	1	〃																																																																																																																																					
計																																																																																																																																									
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																					
橋 梁 世 話 役		人		表6.1																																																																																																																																					
橋 梁 特 殊 工		〃		〃																																																																																																																																					
型 枠 工		〃		〃																																																																																																																																					
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																					
支 承 据 付 材 料		式	1	必要数量計上																																																																																																																																					
ラフテレーンクレーン賃料	排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型45 t 吊	日		表6.1																																																																																																																																					
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																						
計																																																																																																																																									

土木工事標準歩掛の一部改定
PC橋片持架設工

工種名	現 行	改 定																																																																																																																																																																					
	<p>(4) 柱頭部仮支承コンクリート10m³当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>世 話 役</td><td></td><td>人</td><td></td><td>表6.2</td></tr> <tr><td>特 殊 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr> <tr><td>鉄 筋 工</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr> <tr><td>型 枠 工</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr> <tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr> <tr><td>生 コ ン ク リ ー ト</td><td></td><td>m³</td><td></td><td>式6.1</td></tr> <tr><td>コンクリート殻処理費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td></td></tr> <tr><td>ラフテレーンクレーン賃料</td><td>排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型25 t 吊</td><td>日</td><td></td><td>表6.2</td></tr> <tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>〃</td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>(5) PC鋼棒解放工10箇所当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>橋 梁 世 話 役</td><td></td><td>人</td><td></td><td>表6.4</td></tr> <tr><td>橋 梁 特 殊 工</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr> <tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr> <tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td></td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>(6) ゴム支承1個当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>橋 梁 世 話 役</td><td></td><td>人</td><td></td><td>表6.5</td></tr> <tr><td>橋 梁 特 殊 工</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr> <tr><td>型 枠 工</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr> <tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr> <tr><td>支 承 据 付 材 料</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>必要数量計上</td></tr> <tr><td>ラフテレーンクレーン賃料</td><td>排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型25 t 吊</td><td>日</td><td></td><td>表6.5</td></tr> <tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td></td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>(7) 作業車据付・解体1台1回当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>橋 梁 世 話 役</td><td></td><td>人</td><td></td><td>表7.1</td></tr> <tr><td>橋 梁 特 殊 工</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr> <tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr> <tr><td>ラフテレーンクレーン賃料</td><td>排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型45 t 吊</td><td>日</td><td></td><td>〃</td></tr> <tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>〃</td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表6.2	特 殊 作 業 員		〃		〃	鉄 筋 工		〃		〃	型 枠 工		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	生 コ ン ク リ ー ト		m ³		式6.1	コンクリート殻処理費		式	1		ラフテレーンクレーン賃料	排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型25 t 吊	日		表6.2	諸 雑 費		式	1	〃	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	橋 梁 世 話 役		人		表6.4	橋 梁 特 殊 工		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	橋 梁 世 話 役		人		表6.5	橋 梁 特 殊 工		〃		〃	型 枠 工		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	支 承 据 付 材 料		式	1	必要数量計上	ラフテレーンクレーン賃料	排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型25 t 吊	日		表6.5	諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	橋 梁 世 話 役		人		表7.1	橋 梁 特 殊 工		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	ラフテレーンクレーン賃料	排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型45 t 吊	日		〃	諸 雑 費		式	1	〃	計					}
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																			
世 話 役		人		表6.2																																																																																																																																																																			
特 殊 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																			
鉄 筋 工		〃		〃																																																																																																																																																																			
型 枠 工		〃		〃																																																																																																																																																																			
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																			
生 コ ン ク リ ー ト		m ³		式6.1																																																																																																																																																																			
コンクリート殻処理費		式	1																																																																																																																																																																				
ラフテレーンクレーン賃料	排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型25 t 吊	日		表6.2																																																																																																																																																																			
諸 雑 費		式	1	〃																																																																																																																																																																			
計																																																																																																																																																																							
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																			
橋 梁 世 話 役		人		表6.4																																																																																																																																																																			
橋 梁 特 殊 工		〃		〃																																																																																																																																																																			
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																			
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																																																				
計																																																																																																																																																																							
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																			
橋 梁 世 話 役		人		表6.5																																																																																																																																																																			
橋 梁 特 殊 工		〃		〃																																																																																																																																																																			
型 枠 工		〃		〃																																																																																																																																																																			
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																			
支 承 据 付 材 料		式	1	必要数量計上																																																																																																																																																																			
ラフテレーンクレーン賃料	排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型25 t 吊	日		表6.5																																																																																																																																																																			
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																																																				
計																																																																																																																																																																							
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																			
橋 梁 世 話 役		人		表7.1																																																																																																																																																																			
橋 梁 特 殊 工		〃		〃																																																																																																																																																																			
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																			
ラフテレーンクレーン賃料	排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型45 t 吊	日		〃																																																																																																																																																																			
諸 雑 費		式	1	〃																																																																																																																																																																			
計																																																																																																																																																																							
		現 行 通 り																																																																																																																																																																					

土木工事標準歩掛の一部改定
PC橋片持架設工

工種名	現 行	改 定																																																																																																																																																																																				
	<p>(8) 作業車移動・据付, 作業車クライミング1台1回当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋 梁 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表7.2又は表7.3</td> </tr> <tr> <td>橋 梁 特 殊 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃 〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃 〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(9) 作業車引戻10m当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋 梁 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表7.4</td> </tr> <tr> <td>橋 梁 特 殊 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(10) 型枠製作, 設置・撤去10m²当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表8.1</td> </tr> <tr> <td>型 枠 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン賃料</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型25 t 吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(11) 鉄筋加工・組立1 t 当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表9.1</td> </tr> <tr> <td>鉄 筋 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>棒 鋼</td> <td></td> <td>t</td> <td></td> <td>式9.1</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン賃料</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型25 t 吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>表9.1</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(12) コンクリートポンプ車打設10m³当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表10.1</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>生 コ ン ク リ ー ト</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td>式10.1</td> </tr> <tr> <td>コンクリートポンプ車運転</td> <td></td> <td>h</td> <td></td> <td>表10.1</td> </tr> <tr> <td>圧送管設置・撤去費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>必要に応じ計上</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>表10.1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	橋 梁 世 話 役		人		表7.2又は表7.3	橋 梁 特 殊 工		〃		〃 〃	普 通 作 業 員		〃		〃 〃	諸 雑 費		式	1	〃	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	橋 梁 世 話 役		人		表7.4	橋 梁 特 殊 工		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表8.1	型 枠 工		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	ラフテレーンクレーン賃料	排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型25 t 吊	日		〃	諸 雑 費		式	1	〃	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表9.1	鉄 筋 工		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	棒 鋼		t		式9.1	ラフテレーンクレーン賃料	排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型25 t 吊	日		表9.1	諸 雑 費		式	1	〃	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表10.1	特 殊 作 業 員		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	生 コ ン ク リ ー ト		m ³		式10.1	コンクリートポンプ車運転		h		表10.1	圧送管設置・撤去費		式	1	必要に応じ計上	諸 雑 費		〃	1	表10.1	計					<p>現 行 通 り</p>
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																		
橋 梁 世 話 役		人		表7.2又は表7.3																																																																																																																																																																																		
橋 梁 特 殊 工		〃		〃 〃																																																																																																																																																																																		
普 通 作 業 員		〃		〃 〃																																																																																																																																																																																		
諸 雑 費		式	1	〃																																																																																																																																																																																		
計																																																																																																																																																																																						
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																		
橋 梁 世 話 役		人		表7.4																																																																																																																																																																																		
橋 梁 特 殊 工		〃		〃																																																																																																																																																																																		
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																																		
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																																																																			
計																																																																																																																																																																																						
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																		
世 話 役		人		表8.1																																																																																																																																																																																		
型 枠 工		〃		〃																																																																																																																																																																																		
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																																		
ラフテレーンクレーン賃料	排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型25 t 吊	日		〃																																																																																																																																																																																		
諸 雑 費		式	1	〃																																																																																																																																																																																		
計																																																																																																																																																																																						
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																		
世 話 役		人		表9.1																																																																																																																																																																																		
鉄 筋 工		〃		〃																																																																																																																																																																																		
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																																		
棒 鋼		t		式9.1																																																																																																																																																																																		
ラフテレーンクレーン賃料	排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型25 t 吊	日		表9.1																																																																																																																																																																																		
諸 雑 費		式	1	〃																																																																																																																																																																																		
計																																																																																																																																																																																						
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																		
世 話 役		人		表10.1																																																																																																																																																																																		
特 殊 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																																		
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																																		
生 コ ン ク リ ー ト		m ³		式10.1																																																																																																																																																																																		
コンクリートポンプ車運転		h		表10.1																																																																																																																																																																																		
圧送管設置・撤去費		式	1	必要に応じ計上																																																																																																																																																																																		
諸 雑 費		〃	1	表10.1																																																																																																																																																																																		
計																																																																																																																																																																																						

土木工事標準歩掛の一部改定
PC橋片持架設工

工種名	現 行	改 定																																																																																																																																																																															
	<p>(13) PC鋼棒工φ○○ 1t当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋 梁 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表11.1</td> </tr> <tr> <td>橋 梁 特 殊 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>P C 鋼 棒</td> <td></td> <td>t</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン賃料</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型25t吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>表11.1</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(14) PC鋼棒継手10箇所当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋 梁 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表11.2</td> </tr> <tr> <td>橋 梁 特 殊 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>継 手 装 置</td> <td>普通・G継手</td> <td>組</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表11.2</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(15) PC鋼棒定着工φ○○締付方向○○締10箇所当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋 梁 特 殊 工</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表11.3</td> </tr> <tr> <td>定 着 装 置</td> <td>固定側(緊張用又は固定用)</td> <td>組</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表11.3</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(16) PC鋼棒緊張工φ○○締付方向○○締10箇所当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋 梁 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表11.4</td> </tr> <tr> <td>橋 梁 特 殊 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>定 着 装 置</td> <td>緊張側(緊張用)</td> <td>組</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表11.4</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(17) PCケーブル工締付方向○○締○○t型1t当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋 梁 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表11.5</td> </tr> <tr> <td>橋 梁 特 殊 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>P C ケ ー ブ ル</td> <td></td> <td>t</td> <td></td> <td>式11.1</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン賃料</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型25t吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>表11.5</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	橋 梁 世 話 役		人		表11.1	橋 梁 特 殊 工		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	P C 鋼 棒		t			ラフテレーンクレーン賃料	排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型25t吊	日		表11.1	諸 雑 費		式	1	〃	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	橋 梁 世 話 役		人		表11.2	橋 梁 特 殊 工		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	継 手 装 置	普通・G継手	組	10		諸 雑 費		式	1	表11.2	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	橋 梁 特 殊 工		人		表11.3	定 着 装 置	固定側(緊張用又は固定用)	組	10		諸 雑 費		式	1	表11.3	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	橋 梁 世 話 役		人		表11.4	橋 梁 特 殊 工		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	定 着 装 置	緊張側(緊張用)	組	10		諸 雑 費		式	1	表11.4	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	橋 梁 世 話 役		人		表11.5	橋 梁 特 殊 工		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	P C ケ ー ブ ル		t		式11.1	ラフテレーンクレーン賃料	排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型25t吊	日		表11.5	諸 雑 費		式	1	〃	計					<p>現 行 通 り</p>
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																													
橋 梁 世 話 役		人		表11.1																																																																																																																																																																													
橋 梁 特 殊 工		〃		〃																																																																																																																																																																													
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																													
P C 鋼 棒		t																																																																																																																																																																															
ラフテレーンクレーン賃料	排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型25t吊	日		表11.1																																																																																																																																																																													
諸 雑 費		式	1	〃																																																																																																																																																																													
計																																																																																																																																																																																	
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																													
橋 梁 世 話 役		人		表11.2																																																																																																																																																																													
橋 梁 特 殊 工		〃		〃																																																																																																																																																																													
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																													
継 手 装 置	普通・G継手	組	10																																																																																																																																																																														
諸 雑 費		式	1	表11.2																																																																																																																																																																													
計																																																																																																																																																																																	
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																													
橋 梁 特 殊 工		人		表11.3																																																																																																																																																																													
定 着 装 置	固定側(緊張用又は固定用)	組	10																																																																																																																																																																														
諸 雑 費		式	1	表11.3																																																																																																																																																																													
計																																																																																																																																																																																	
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																													
橋 梁 世 話 役		人		表11.4																																																																																																																																																																													
橋 梁 特 殊 工		〃		〃																																																																																																																																																																													
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																													
定 着 装 置	緊張側(緊張用)	組	10																																																																																																																																																																														
諸 雑 費		式	1	表11.4																																																																																																																																																																													
計																																																																																																																																																																																	
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																													
橋 梁 世 話 役		人		表11.5																																																																																																																																																																													
橋 梁 特 殊 工		〃		〃																																																																																																																																																																													
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																													
P C ケ ー ブ ル		t		式11.1																																																																																																																																																																													
ラフテレーンクレーン賃料	排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型25t吊	日		表11.5																																																																																																																																																																													
諸 雑 費		式	1	〃																																																																																																																																																																													
計																																																																																																																																																																																	

土木工事標準歩掛の一部改定
PC橋片持架設工

工種名	現 行	改 定																																																																																																																																										
	<p>(18) PCケーブル定着工締付方向〇〇締〇〇t型10箇所当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋 梁 特 殊 工</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表11.7</td> </tr> <tr> <td>定 着 装 置</td> <td>固定側(緊張用又は固定用)</td> <td>組</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表11.7</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(19) PCケーブル緊張工締付方向〇〇締〇〇t型10箇所当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋 梁 世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表11.8</td> </tr> <tr> <td>橋 梁 特 殊 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>定 着 装 置</td> <td>緊張側(緊張用)</td> <td>組</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表11.8</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(20) 機械器具損料1工事当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンクリートブレーカ</td> <td></td> <td>日</td> <td></td> <td>表13.1</td> </tr> <tr> <td>空 気 圧 縮 機</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>片持架設用移動作業車</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>片持架設用移動作業車改造費</td> <td></td> <td>台</td> <td>持込み台数</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>場 所 打 桁 架 設 工 具</td> <td></td> <td>日</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>チェーンプロック</td> <td>5t吊</td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>主桁製作用雑器具</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>緊張ジャッキ・ポンプ</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>グラウトミキサ・ポンプ</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ウ イ ン チ</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>発 動 発 電 機</td> <td>排出ガス対策型 45kVA</td> <td></td> <td></td> <td>〃 必要に応じて計上</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>13-3</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(21) 機械運転単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適用単価表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンクリートポンプ車</td> <td>ブーム式90~110m³/h 配管式90~100m³/h</td> <td>機-3</td> <td> 機械損料1→コンクリートポンプ車 (ブーム式90~110m³/h 配管式90~100m³/h) 機械損料2→コンクリート圧送管 (径125mm) 単 位→m・h 数 量→L×1h </td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) Lはコンクリートポンプ車から作業範囲100mを超えた部分の圧送管延長とする。</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	橋 梁 特 殊 工		人		表11.7	定 着 装 置	固定側(緊張用又は固定用)	組	10		諸 雑 費		式	1	表11.7	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	橋 梁 世 話 役		人		表11.8	橋 梁 特 殊 工		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	定 着 装 置	緊張側(緊張用)	組	10		諸 雑 費		式	1	表11.8	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	コンクリートブレーカ		日		表13.1	空 気 圧 縮 機		〃		〃	片持架設用移動作業車		〃		〃	片持架設用移動作業車改造費		台	持込み台数	〃	場 所 打 桁 架 設 工 具		日		〃	チェーンプロック	5t吊	〃		〃	主桁製作用雑器具		〃		〃	緊張ジャッキ・ポンプ		〃		〃	グラウトミキサ・ポンプ		〃		〃	ウ イ ン チ		〃		〃	発 動 発 電 機	排出ガス対策型 45kVA			〃 必要に応じて計上	諸 雑 費		式	1	13-3	計					機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	コンクリートポンプ車	ブーム式90~110m ³ /h 配管式90~100m ³ /h	機-3	機械損料1→コンクリートポンプ車 (ブーム式90~110m ³ /h 配管式90~100m ³ /h) 機械損料2→コンクリート圧送管 (径125mm) 単 位→m・h 数 量→L×1h	<p>現 行 通 り</p>
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																								
橋 梁 特 殊 工		人		表11.7																																																																																																																																								
定 着 装 置	固定側(緊張用又は固定用)	組	10																																																																																																																																									
諸 雑 費		式	1	表11.7																																																																																																																																								
計																																																																																																																																												
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																								
橋 梁 世 話 役		人		表11.8																																																																																																																																								
橋 梁 特 殊 工		〃		〃																																																																																																																																								
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																								
定 着 装 置	緊張側(緊張用)	組	10																																																																																																																																									
諸 雑 費		式	1	表11.8																																																																																																																																								
計																																																																																																																																												
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																								
コンクリートブレーカ		日		表13.1																																																																																																																																								
空 気 圧 縮 機		〃		〃																																																																																																																																								
片持架設用移動作業車		〃		〃																																																																																																																																								
片持架設用移動作業車改造費		台	持込み台数	〃																																																																																																																																								
場 所 打 桁 架 設 工 具		日		〃																																																																																																																																								
チェーンプロック	5t吊	〃		〃																																																																																																																																								
主桁製作用雑器具		〃		〃																																																																																																																																								
緊張ジャッキ・ポンプ		〃		〃																																																																																																																																								
グラウトミキサ・ポンプ		〃		〃																																																																																																																																								
ウ イ ン チ		〃		〃																																																																																																																																								
発 動 発 電 機	排出ガス対策型 45kVA			〃 必要に応じて計上																																																																																																																																								
諸 雑 費		式	1	13-3																																																																																																																																								
計																																																																																																																																												
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																																																																																																																									
コンクリートポンプ車	ブーム式90~110m ³ /h 配管式90~100m ³ /h	機-3	機械損料1→コンクリートポンプ車 (ブーム式90~110m ³ /h 配管式90~100m ³ /h) 機械損料2→コンクリート圧送管 (径125mm) 単 位→m・h 数 量→L×1h																																																																																																																																									

土木工事標準歩掛の一部見直し
公園植栽工

工種名	現 行	改 定																																																																																																								
公園 公園植栽工	<p style="text-align: center;">17章. 公 園</p> <p>① 公園植栽工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、公園の植栽作業及び移植作業に適用する。なお、高木とは樹高3m以上、中低木とは樹高3m未満とする。</p> <p>2. 施工歩掛 2-1 植栽工 (1) 植栽 植栽は、現場内小運搬(100m以内)等を含む、配植、植穴掘、植付、埋戻し、養生までの作業を行うもので、施工歩掛は、次表を標準とする。なお、中低木は別途考慮する。</p> <p style="text-align: center;">表2.1 植栽歩掛 (100本当り)</p> <table border="1" data-bbox="340 730 1043 1043"> <thead> <tr> <th rowspan="2">形状寸法 (cm)</th> <th rowspan="2">世話役 (人)</th> <th rowspan="2">造園工 (人)</th> <th rowspan="2">普通作業員 (人)</th> <th colspan="2">機械運転時間 (h)</th> <th colspan="2">運 転 日 数 (日)</th> </tr> <tr> <th>トラ ッ ク クレーン装置付 4 t 積 2.9 t 吊</th> <th>小型バックホウ 排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型山積0.13m³(平均0.1m³)</th> <th>トラ ッ ク クレーン・油圧伸縮ジブ型 4.9 t 吊</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(幹周) 15未満</td> <td>3.2</td> <td>16.1</td> <td>9.6</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>15以上 25 "</td> <td>5.4</td> <td>27.4</td> <td>16.3</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>25 " 40 "</td> <td>5.0</td> <td>23.0</td> <td>14.0 (55.0)</td> <td>47.0</td> <td>2.1 (-)</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>40 " 60 "</td> <td>10.0</td> <td>44.0</td> <td>26.0 (87.0)</td> <td>57.0</td> <td>4.8 (-)</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>60 " 90 "</td> <td>16.0</td> <td>74.0</td> <td>45.0 (190.0)</td> <td>-</td> <td>10.5 (-)</td> <td>9.0</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 高木の幹周25cm以上は、機械施工を標準とする。ただし、バックホウを使用出来ない場合は、()内の数値を採用する。 2. 幹周は、地際より高さ1.2mの周囲長とする。なお、幹が枝分かれ(株立樹木)している場合の幹周は、各々の総和の70%とする。 3. 樹木の現場着後の歩掛とする。 4. 残土を植栽付近に敷均しする歩掛、また残土として運搬車へ積込む歩掛は、上表に含む。それ以外の残土処分が必要な場合は、別途計上する。また、運搬歩掛は含まない。 5. 支柱設置歩掛は含まない。 6. 標準的植穴掘以外の施工は、別途考慮する。 7. 現場条件により、上表により難しい場合は、別途考慮する。 8. トラ ッ ク クレーンは、賃料とする。 9. 本表は根鉢付樹木の標準歩掛であるため、ふるい根の場合は別途計上する。 10. 本歩掛の埋戻作業には、肥料、土壌改良剤を混合する場合も含まれる。</p>	形状寸法 (cm)	世話役 (人)	造園工 (人)	普通作業員 (人)	機械運転時間 (h)		運 転 日 数 (日)		トラ ッ ク クレーン装置付 4 t 積 2.9 t 吊	小型バックホウ 排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型山積0.13m ³ (平均0.1m ³)	トラ ッ ク クレーン・油圧伸縮ジブ型 4.9 t 吊		(幹周) 15未満	3.2	16.1	9.6	-	-	-	-	15以上 25 "	5.4	27.4	16.3	-	-	-	-	25 " 40 "	5.0	23.0	14.0 (55.0)	47.0	2.1 (-)	-	-	40 " 60 "	10.0	44.0	26.0 (87.0)	57.0	4.8 (-)	-	-	60 " 90 "	16.0	74.0	45.0 (190.0)	-	10.5 (-)	9.0	-	<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>2. 施工歩掛 2-1 植栽工 (1) 植栽 植栽は、現場内小運搬(100m以内)等を含む、配植、植穴掘、植付、埋戻し、養生までの作業を行うもので、施工歩掛は、次表を標準とする。なお、中低木は別途考慮する。</p> <p style="text-align: center;">表2.1 植栽歩掛 (100本当り)</p> <table border="1" data-bbox="1296 737 2000 1050"> <thead> <tr> <th rowspan="2">形状寸法 (cm)</th> <th rowspan="2">世話役 (人)</th> <th rowspan="2">造園工 (人)</th> <th rowspan="2">普通作業員 (人)</th> <th colspan="2">機械運転時間 (h)</th> <th colspan="2">運 転 日 数 (日)</th> </tr> <tr> <th>トラ ッ ク クレーン装置付 4 t 積 2.9 t 吊</th> <th>小型バックホウ 排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型山積0.13m³(平均0.1m³)</th> <th>トラ ッ ク クレーン・油圧伸縮ジブ型 4.9 t 吊</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(幹周) 15未満</td> <td>3.2</td> <td>16.1</td> <td>9.6</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>15以上 25 "</td> <td>5.4</td> <td>27.4</td> <td>16.3</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>25 " 40 "</td> <td>5.0</td> <td>23.0</td> <td>14.0 (55.0)</td> <td>47.0</td> <td>2.1 (-)</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>40 " 60 "</td> <td>10.0</td> <td>44.0</td> <td>26.0 (87.0)</td> <td>57.0</td> <td>4.8 (-)</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>60 " 90 "</td> <td>16.0</td> <td>74.0</td> <td>45.0 (190.0)</td> <td>-</td> <td>10.5 (-)</td> <td>9.0</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 高木の幹周25cm以上は、機械施工を標準とする。ただし、バックホウを使用出来ない場合は、()内の数値を採用する。 2. 幹周は、地際より高さ1.2mの周囲長とする。なお、幹が枝分かれ(株立樹木)している場合の幹周は、各々の総和の70%とする。 3. 樹木の現場着後の歩掛とする。 4. 残土を植栽付近に敷均しする歩掛、また残土として運搬車へ積込む歩掛は、上表に含む。それ以外の残土処分が必要な場合は、別途計上する。また、運搬歩掛は含まない。 5. 支柱設置歩掛は含まない。 6. 標準的植穴掘以外の施工は、別途考慮する。 7. 現場条件により、上表により難しい場合は、別途考慮する。 8. トラ ッ ク クレーンは、賃料とする。 9. 本表は根鉢付樹木の標準歩掛であるため、ふるい根の場合は別途計上する。 10. 本歩掛の埋戻作業には、肥料、土壌改良剤を混合する場合も含まれる。</p>	形状寸法 (cm)	世話役 (人)	造園工 (人)	普通作業員 (人)	機械運転時間 (h)		運 転 日 数 (日)		トラ ッ ク クレーン装置付 4 t 積 2.9 t 吊	小型バックホウ 排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型山積0.13m ³ (平均0.1m ³)	トラ ッ ク クレーン・油圧伸縮ジブ型 4.9 t 吊		(幹周) 15未満	3.2	16.1	9.6	-	-	-	-	15以上 25 "	5.4	27.4	16.3	-	-	-	-	25 " 40 "	5.0	23.0	14.0 (55.0)	47.0	2.1 (-)	-	-	40 " 60 "	10.0	44.0	26.0 (87.0)	57.0	4.8 (-)	-	-	60 " 90 "	16.0	74.0	45.0 (190.0)	-	10.5 (-)	9.0	-
形状寸法 (cm)	世話役 (人)					造園工 (人)	普通作業員 (人)	機械運転時間 (h)		運 転 日 数 (日)																																																																																																
		トラ ッ ク クレーン装置付 4 t 積 2.9 t 吊	小型バックホウ 排出ガス対策型(第1次基準値)・クローラ型山積0.13m ³ (平均0.1m ³)	トラ ッ ク クレーン・油圧伸縮ジブ型 4.9 t 吊																																																																																																						
(幹周) 15未満	3.2	16.1	9.6	-	-	-	-																																																																																																			
15以上 25 "	5.4	27.4	16.3	-	-	-	-																																																																																																			
25 " 40 "	5.0	23.0	14.0 (55.0)	47.0	2.1 (-)	-	-																																																																																																			
40 " 60 "	10.0	44.0	26.0 (87.0)	57.0	4.8 (-)	-	-																																																																																																			
60 " 90 "	16.0	74.0	45.0 (190.0)	-	10.5 (-)	9.0	-																																																																																																			
形状寸法 (cm)	世話役 (人)	造園工 (人)	普通作業員 (人)	機械運転時間 (h)		運 転 日 数 (日)																																																																																																				
				トラ ッ ク クレーン装置付 4 t 積 2.9 t 吊	小型バックホウ 排出ガス対策型(第2次基準値)・クローラ型山積0.13m ³ (平均0.1m ³)	トラ ッ ク クレーン・油圧伸縮ジブ型 4.9 t 吊																																																																																																				
(幹周) 15未満	3.2	16.1	9.6	-	-	-	-																																																																																																			
15以上 25 "	5.4	27.4	16.3	-	-	-	-																																																																																																			
25 " 40 "	5.0	23.0	14.0 (55.0)	47.0	2.1 (-)	-	-																																																																																																			
40 " 60 "	10.0	44.0	26.0 (87.0)	57.0	4.8 (-)	-	-																																																																																																			
60 " 90 "	16.0	74.0	45.0 (190.0)	-	10.5 (-)	9.0	-																																																																																																			

土木工事標準歩掛の一部見直し
公園植栽工

工種名	現 行	改 定																																																																																																																																																																																									
	<p>(2) 支柱設置 支柱設置は、建込み、結束からなり、支柱形式別、支柱材料及び歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表2.2 支柱材料及び設置歩掛</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2">形状寸法</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="9">植樹100本当り</th> </tr> <tr> <th>二脚鳥居 支 (添木付)</th> <th>二脚鳥居 支柱 (添木なし)</th> <th>三脚鳥居 支 柱</th> <th>十字鳥居 支 柱</th> <th>二脚鳥居 組 合 せ</th> <th>八ツ掛 (三脚) (竹)</th> <th>八ツ掛 (丸太) L=4m</th> <th>八ツ掛 (丸太) L=6~7m</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>適用範囲</td> <td>高木(幹周)</td> <td>cm</td> <td>30未満</td> <td>20以上 30未満</td> <td>30以上 60未満</td> <td>30以上 60未満</td> <td>40以上 75未満</td> <td>20未満</td> <td>20以上 35未満</td> <td>30以上 75未満</td> </tr> <tr> <td>世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1.8</td> <td>1.3</td> <td>1.8</td> <td>2.7</td> <td>3.6</td> <td>1.3</td> <td>2.0</td> <td>3.1</td> </tr> <tr> <td>造園工</td> <td></td> <td>"</td> <td>10.2</td> <td>7.7</td> <td>10.2</td> <td>15.3</td> <td>20.4</td> <td>7.4</td> <td>11.1</td> <td>17.6</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>"</td> <td>5.9</td> <td>4.4</td> <td>5.9</td> <td>8.9</td> <td>11.8</td> <td>4.3</td> <td>6.4</td> <td>10.2</td> </tr> <tr> <td>杉丸太</td> <td>長0.6m×末口6cm</td> <td>本</td> <td>100</td> <td>100</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>300</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td>"</td> <td>"0.6 × "7.5</td> <td>"</td> <td></td> <td></td> <td>100</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>"</td> <td>"0.75 × "7.5</td> <td>"</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>200</td> <td>400</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>"</td> <td>"1.8 × "6</td> <td>"</td> <td>200</td> <td>200</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>"</td> <td>"1.8 × "7.5</td> <td>"</td> <td></td> <td></td> <td>300</td> <td>200</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>"</td> <td>"2.1 × "7.5</td> <td>"</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>200</td> <td>400</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>"</td> <td>"4.0 × "6</td> <td>"</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>300</td> <td></td> </tr> <tr> <td>"</td> <td>"6.3 × 中径6</td> <td>"</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>300</td> </tr> <tr> <td>杉梢丸太</td> <td>"4 × 末口3</td> <td>"</td> <td>100</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>竹</td> <td>末口2.5cm</td> <td>"</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(注)3</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸雑费率</td> <td></td> <td>%</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 諸雑費は、杉皮、しゅろ縄、洋釘、鉄線等の費用であり、労務費、材料費の合計額に上表の率を乗じた額を上限として計上する。 2. 適用範囲外の支柱を用いる場合、又、現場条件により、上表により難い場合は、別途考慮する。 3. 竹は、別途計上する。</p>	名称	形状寸法	単位	植樹100本当り									二脚鳥居 支 (添木付)	二脚鳥居 支柱 (添木なし)	三脚鳥居 支 柱	十字鳥居 支 柱	二脚鳥居 組 合 せ	八ツ掛 (三脚) (竹)	八ツ掛 (丸太) L=4m	八ツ掛 (丸太) L=6~7m	適用範囲	高木(幹周)	cm	30未満	20以上 30未満	30以上 60未満	30以上 60未満	40以上 75未満	20未満	20以上 35未満	30以上 75未満	世話役		人	1.8	1.3	1.8	2.7	3.6	1.3	2.0	3.1	造園工		"	10.2	7.7	10.2	15.3	20.4	7.4	11.1	17.6	普通作業員		"	5.9	4.4	5.9	8.9	11.8	4.3	6.4	10.2	杉丸太	長0.6m×末口6cm	本	100	100					300	300	"	"0.6 × "7.5	"			100						"	"0.75 × "7.5	"				200	400				"	"1.8 × "6	"	200	200							"	"1.8 × "7.5	"			300	200					"	"2.1 × "7.5	"				200	400				"	"4.0 × "6	"							300		"	"6.3 × 中径6	"								300	杉梢丸太	"4 × 末口3	"	100								竹	末口2.5cm	"						(注)3			諸雑费率		%	3	3	3	3	2	4	3	3	<p>現行どおり</p>
名称	形状寸法				単位	植樹100本当り																																																																																																																																																																																					
		二脚鳥居 支 (添木付)	二脚鳥居 支柱 (添木なし)	三脚鳥居 支 柱		十字鳥居 支 柱	二脚鳥居 組 合 せ	八ツ掛 (三脚) (竹)	八ツ掛 (丸太) L=4m	八ツ掛 (丸太) L=6~7m																																																																																																																																																																																	
適用範囲	高木(幹周)	cm	30未満	20以上 30未満	30以上 60未満	30以上 60未満	40以上 75未満	20未満	20以上 35未満	30以上 75未満																																																																																																																																																																																	
世話役		人	1.8	1.3	1.8	2.7	3.6	1.3	2.0	3.1																																																																																																																																																																																	
造園工		"	10.2	7.7	10.2	15.3	20.4	7.4	11.1	17.6																																																																																																																																																																																	
普通作業員		"	5.9	4.4	5.9	8.9	11.8	4.3	6.4	10.2																																																																																																																																																																																	
杉丸太	長0.6m×末口6cm	本	100	100					300	300																																																																																																																																																																																	
"	"0.6 × "7.5	"			100																																																																																																																																																																																						
"	"0.75 × "7.5	"				200	400																																																																																																																																																																																				
"	"1.8 × "6	"	200	200																																																																																																																																																																																							
"	"1.8 × "7.5	"			300	200																																																																																																																																																																																					
"	"2.1 × "7.5	"				200	400																																																																																																																																																																																				
"	"4.0 × "6	"							300																																																																																																																																																																																		
"	"6.3 × 中径6	"								300																																																																																																																																																																																	
杉梢丸太	"4 × 末口3	"	100																																																																																																																																																																																								
竹	末口2.5cm	"						(注)3																																																																																																																																																																																			
諸雑费率		%	3	3	3	3	2	4	3	3																																																																																																																																																																																	

土木工事標準歩掛の一部見直し 公園植栽工

工種名	現 行	改 定																																																																																																																																																
	<p>2-2 移 植 工 移植工は、掘取、運搬、植栽からなる。</p> <p>(1) 掘 取 掘取は、人力又はバックホウによる床掘、掘下げ、クレーンによる吊上げ及び養生、根巻、埋戻しであり施工歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表2.3 掘取歩掛 (100本当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">形状寸法 (cm)</th> <th rowspan="2">世話役 (人)</th> <th rowspan="2">造園工 (人)</th> <th rowspan="2">普通作業員 (人)</th> <th rowspan="2">機械運転時間 (h)</th> <th colspan="2">運 転 日 数 (日)</th> <th rowspan="2">諸雑費率 (%)</th> </tr> <tr> <th>トラッククレーン装置付 4t積 2.9t吊</th> <th>小型バックホウ排出ガス対策型(第1次基準型)・クローラ型山積0.13m²(平積0.1m²) トラッククレーン・油圧伸縮ジブ型 4.9t吊</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">中 低 木</td> <td>(樹高) 50未満</td> <td>0.3 (0.2)</td> <td>2.0 (1.6)</td> <td>1.6 (1.6)</td> <td rowspan="4">-</td> <td rowspan="4">-</td> <td rowspan="4">-</td> </tr> <tr> <td>50以上 100 "</td> <td>0.4 (0.3)</td> <td>2.9 (2.4)</td> <td>2.3 (2.3)</td> </tr> <tr> <td>100 " 200 "</td> <td>0.7 (0.6)</td> <td>5.4 (4.5)</td> <td>4.5 (4.5)</td> </tr> <tr> <td>200 " 300 "</td> <td>1.7 (1.4)</td> <td>13.0 (10.0)</td> <td>11.4 (11.4)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">高 木</td> <td>(幹周) 15未満</td> <td>2.0 (1.7)</td> <td>10.3 (8.5)</td> <td>6.1 (6.1)</td> <td rowspan="4">-</td> <td rowspan="4">-</td> <td>4 (0)</td> </tr> <tr> <td>15以上 25 "</td> <td>4.4 (3.6)</td> <td>22.1 (18.3)</td> <td>13.2 (13.2)</td> <td>5 (0)</td> </tr> <tr> <td>25 " 40 "</td> <td>7.0 (6.0)</td> <td>36.0 (31.0)</td> <td>13.0 (13.0)</td> <td>9.0 (9.0)</td> <td>6 (0)</td> </tr> <tr> <td>40 " 60 "</td> <td>10.0 (9.0)</td> <td>55.0 (49.0)</td> <td>21.0 (13.0)</td> <td>9.1 (9.1)</td> <td>5 (0)</td> </tr> <tr> <td>60 " 90 "</td> <td>17.0 (14.0)</td> <td>88.0 (78.0)</td> <td>34.0 (34.0)</td> <td>14.8 (14.8)</td> <td>3.0 (3.0)</td> <td>5 (0)</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">表2.4 幹巻歩掛 (100本当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>形状寸法幹周 (cm)</th> <th>世話役 (人)</th> <th>造園工 (人)</th> <th>普通作業員 (人)</th> <th>諸雑費率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>25以上 40未満</td> <td>1.1</td> <td>4.9</td> <td>1.9</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>40 " 60 "</td> <td>2.0</td> <td>8.7</td> <td>3.4</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>60 " 90 "</td> <td>3.2</td> <td>14.2</td> <td>5.5</td> <td>20</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 表2.3の()内の数値は、根巻を行わない場合の歩掛である。 2. 幹巻が必要な場合は、上表の<幹巻歩掛>の歩掛を計上する。 3. あらかじめ根切りを行い埋戻ししておき、後日移植する場合は、別途考慮する。 4. 幹周は、地際より1.2mの幹の周囲長とする。なお、幹が枝分かれ(株立樹木)している場合の幹周は、各々の総和の70%とする。 5. 高木の幹周25cm以上は、機械施工を標準とする。 6. 高木の幹周25cm以上は、積込み、卸し時間を含む。 7. 掘取後の残土は埋戻しとして含むが、不足土量に係る費用が必要な場合は別途計上する。 8. 現場条件により、上表により難しい場合は、別途考慮する。 9. トラッククレーンは、賃料とする。 10. 本表は、根鉢付樹木の標準歩掛であるため、ふるい根の場合は別途計上できるものとする。 11. 諸雑費は、根巻(こも・わらなわ)幹巻(わら・しゅろ縄)の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた額を上限として計上する。ただし、緑化テープを使用する場合は、別途考慮する。 12. 上表は、新規に植栽する場合にも適用出来る。 13. 掘取歩掛には、100m程度の現場内小運搬を含む。</p>	形状寸法 (cm)	世話役 (人)	造園工 (人)	普通作業員 (人)	機械運転時間 (h)	運 転 日 数 (日)		諸雑費率 (%)	トラッククレーン装置付 4t積 2.9t吊	小型バックホウ排出ガス対策型(第1次基準型)・クローラ型山積0.13m ² (平積0.1m ²) トラッククレーン・油圧伸縮ジブ型 4.9t吊	中 低 木	(樹高) 50未満	0.3 (0.2)	2.0 (1.6)	1.6 (1.6)	-	-	-	50以上 100 "	0.4 (0.3)	2.9 (2.4)	2.3 (2.3)	100 " 200 "	0.7 (0.6)	5.4 (4.5)	4.5 (4.5)	200 " 300 "	1.7 (1.4)	13.0 (10.0)	11.4 (11.4)	高 木	(幹周) 15未満	2.0 (1.7)	10.3 (8.5)	6.1 (6.1)	-	-	4 (0)	15以上 25 "	4.4 (3.6)	22.1 (18.3)	13.2 (13.2)	5 (0)	25 " 40 "	7.0 (6.0)	36.0 (31.0)	13.0 (13.0)	9.0 (9.0)	6 (0)	40 " 60 "	10.0 (9.0)	55.0 (49.0)	21.0 (13.0)	9.1 (9.1)	5 (0)	60 " 90 "	17.0 (14.0)	88.0 (78.0)	34.0 (34.0)	14.8 (14.8)	3.0 (3.0)	5 (0)	形状寸法幹周 (cm)	世話役 (人)	造園工 (人)	普通作業員 (人)	諸雑費率 (%)	25以上 40未満	1.1	4.9	1.9	15	40 " 60 "	2.0	8.7	3.4	17	60 " 90 "	3.2	14.2	5.5	20	<p>2-2 移 植 工 移植工は、掘取、運搬、植栽からなる。</p> <p>(1) 掘 取 掘取は、人力又はバックホウによる床掘、掘下げ、クレーンによる吊上げ及び養生、根巻、埋戻しであり施工歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表2.3 掘取歩掛 (100本当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">形状寸法 (cm)</th> <th rowspan="2">世話役 (人)</th> <th rowspan="2">造園工 (人)</th> <th rowspan="2">普通作業員 (人)</th> <th rowspan="2">機械運転時間 (h)</th> <th colspan="2">運 転 日 数 (日)</th> <th rowspan="2">諸雑費率 (%)</th> </tr> <tr> <th>トラッククレーン装置付 4t積 2.9t吊</th> <th>小型バックホウ排出ガス対策型(第2次基準型)・クローラ型山積0.13m²(平積0.1m²) トラッククレーン・油圧伸縮ジブ型 4.9t吊</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">中 低 木</td> <td>(樹高) 50未満</td> <td>0.3 (0.2)</td> <td>2.0 (1.6)</td> <td>1.6 (1.6)</td> <td rowspan="4">-</td> <td rowspan="4">-</td> <td rowspan="4">-</td> </tr> <tr> <td>50以上 100 "</td> <td>0.4 (0.3)</td> <td>2.9 (2.4)</td> <td>2.3 (2.3)</td> </tr> <tr> <td>100 " 200 "</td> <td>0.7 (0.6)</td> <td>5.4 (4.5)</td> <td>4.5 (4.5)</td> </tr> <tr> <td>200 " 300 "</td> <td>1.7 (1.4)</td> <td>13.0 (10.0)</td> <td>11.4 (11.4)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">高 木</td> <td>(幹周) 15未満</td> <td>2.0 (1.7)</td> <td>10.3 (8.5)</td> <td>6.1 (6.1)</td> <td rowspan="4">-</td> <td rowspan="4">-</td> <td>4 (0)</td> </tr> <tr> <td>15以上 25 "</td> <td>4.4 (3.6)</td> <td>22.1 (18.3)</td> <td>13.2 (13.2)</td> <td>5 (0)</td> </tr> <tr> <td>25 " 40 "</td> <td>7.0 (6.0)</td> <td>36.0 (31.0)</td> <td>13.0 (13.0)</td> <td>9.0 (9.0)</td> <td>6 (0)</td> </tr> <tr> <td>40 " 60 "</td> <td>10.0 (9.0)</td> <td>55.0 (49.0)</td> <td>21.0 (13.0)</td> <td>9.1 (9.1)</td> <td>5 (0)</td> </tr> <tr> <td>60 " 90 "</td> <td>17.0 (14.0)</td> <td>88.0 (78.0)</td> <td>34.0 (34.0)</td> <td>14.8 (14.8)</td> <td>3.0 (3.0)</td> <td>5 (0)</td> </tr> </tbody> </table>	形状寸法 (cm)	世話役 (人)	造園工 (人)	普通作業員 (人)	機械運転時間 (h)	運 転 日 数 (日)		諸雑費率 (%)	トラッククレーン装置付 4t積 2.9t吊	小型バックホウ排出ガス対策型(第2次基準型)・クローラ型山積0.13m ² (平積0.1m ²) トラッククレーン・油圧伸縮ジブ型 4.9t吊	中 低 木	(樹高) 50未満	0.3 (0.2)	2.0 (1.6)	1.6 (1.6)	-	-	-	50以上 100 "	0.4 (0.3)	2.9 (2.4)	2.3 (2.3)	100 " 200 "	0.7 (0.6)	5.4 (4.5)	4.5 (4.5)	200 " 300 "	1.7 (1.4)	13.0 (10.0)	11.4 (11.4)	高 木	(幹周) 15未満	2.0 (1.7)	10.3 (8.5)	6.1 (6.1)	-	-	4 (0)	15以上 25 "	4.4 (3.6)	22.1 (18.3)	13.2 (13.2)	5 (0)	25 " 40 "	7.0 (6.0)	36.0 (31.0)	13.0 (13.0)	9.0 (9.0)	6 (0)	40 " 60 "	10.0 (9.0)	55.0 (49.0)	21.0 (13.0)	9.1 (9.1)	5 (0)	60 " 90 "	17.0 (14.0)	88.0 (78.0)	34.0 (34.0)	14.8 (14.8)	3.0 (3.0)	5 (0)
形状寸法 (cm)	世話役 (人)						造園工 (人)	普通作業員 (人)		機械運転時間 (h)	運 転 日 数 (日)		諸雑費率 (%)																																																																																																																																					
		トラッククレーン装置付 4t積 2.9t吊	小型バックホウ排出ガス対策型(第1次基準型)・クローラ型山積0.13m ² (平積0.1m ²) トラッククレーン・油圧伸縮ジブ型 4.9t吊																																																																																																																																															
中 低 木	(樹高) 50未満	0.3 (0.2)	2.0 (1.6)	1.6 (1.6)	-	-	-																																																																																																																																											
	50以上 100 "	0.4 (0.3)	2.9 (2.4)	2.3 (2.3)																																																																																																																																														
	100 " 200 "	0.7 (0.6)	5.4 (4.5)	4.5 (4.5)																																																																																																																																														
	200 " 300 "	1.7 (1.4)	13.0 (10.0)	11.4 (11.4)																																																																																																																																														
高 木	(幹周) 15未満	2.0 (1.7)	10.3 (8.5)	6.1 (6.1)	-	-	4 (0)																																																																																																																																											
	15以上 25 "	4.4 (3.6)	22.1 (18.3)	13.2 (13.2)			5 (0)																																																																																																																																											
	25 " 40 "	7.0 (6.0)	36.0 (31.0)	13.0 (13.0)			9.0 (9.0)	6 (0)																																																																																																																																										
	40 " 60 "	10.0 (9.0)	55.0 (49.0)	21.0 (13.0)			9.1 (9.1)	5 (0)																																																																																																																																										
60 " 90 "	17.0 (14.0)	88.0 (78.0)	34.0 (34.0)	14.8 (14.8)	3.0 (3.0)	5 (0)																																																																																																																																												
形状寸法幹周 (cm)	世話役 (人)	造園工 (人)	普通作業員 (人)	諸雑費率 (%)																																																																																																																																														
25以上 40未満	1.1	4.9	1.9	15																																																																																																																																														
40 " 60 "	2.0	8.7	3.4	17																																																																																																																																														
60 " 90 "	3.2	14.2	5.5	20																																																																																																																																														
形状寸法 (cm)	世話役 (人)	造園工 (人)	普通作業員 (人)	機械運転時間 (h)	運 転 日 数 (日)		諸雑費率 (%)																																																																																																																																											
					トラッククレーン装置付 4t積 2.9t吊	小型バックホウ排出ガス対策型(第2次基準型)・クローラ型山積0.13m ² (平積0.1m ²) トラッククレーン・油圧伸縮ジブ型 4.9t吊																																																																																																																																												
中 低 木	(樹高) 50未満	0.3 (0.2)	2.0 (1.6)	1.6 (1.6)	-	-	-																																																																																																																																											
	50以上 100 "	0.4 (0.3)	2.9 (2.4)	2.3 (2.3)																																																																																																																																														
	100 " 200 "	0.7 (0.6)	5.4 (4.5)	4.5 (4.5)																																																																																																																																														
	200 " 300 "	1.7 (1.4)	13.0 (10.0)	11.4 (11.4)																																																																																																																																														
高 木	(幹周) 15未満	2.0 (1.7)	10.3 (8.5)	6.1 (6.1)	-	-	4 (0)																																																																																																																																											
	15以上 25 "	4.4 (3.6)	22.1 (18.3)	13.2 (13.2)			5 (0)																																																																																																																																											
	25 " 40 "	7.0 (6.0)	36.0 (31.0)	13.0 (13.0)			9.0 (9.0)	6 (0)																																																																																																																																										
	40 " 60 "	10.0 (9.0)	55.0 (49.0)	21.0 (13.0)			9.1 (9.1)	5 (0)																																																																																																																																										
60 " 90 "	17.0 (14.0)	88.0 (78.0)	34.0 (34.0)	14.8 (14.8)	3.0 (3.0)	5 (0)																																																																																																																																												

現行どおり

土木工事標準歩掛の一部見直し
公園植栽工

工種名	現 行	改 定																																																																															
	<p>(2) 運 搬 樹木運搬は、4～4.5 t積トラックまたは、4 t積2.9 t吊、クレーン装置付トラックによるものとし、運搬歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表2.5 運搬歩掛 (100本当り)</p> <table border="1" data-bbox="340 331 1093 678"> <thead> <tr> <th colspan="2">形状寸法 (cm)</th> <th>運搬機械</th> <th>積載量 (本)</th> <th>運搬距離 5 km までの運転 時間 (h)</th> <th>5 km を超え 5 km 増 寸毎に加算する運搬 時間 (h)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">中 低 木</td> <td>(樹高) 50未満</td> <td rowspan="4">トラック 4～4.5 t 積</td> <td>110</td> <td>6.6</td> <td>0.5</td> </tr> <tr> <td>50以上 100 "</td> <td>50</td> <td>9.4</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>100 " 200 "</td> <td>45</td> <td>11.7</td> <td>1.1</td> </tr> <tr> <td>200 " 300 "</td> <td>45</td> <td>15.0</td> <td>1.1</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">高 木</td> <td>(幹周) 15未満</td> <td rowspan="2">トラック 4～4.5 t 積</td> <td>20</td> <td>21.3</td> <td>2.4</td> </tr> <tr> <td>15以上 25 "</td> <td>13.3</td> <td>29.4</td> <td>3.8</td> </tr> <tr> <td>25 " 40 "</td> <td rowspan="2">トラック クレーン装置付 4 t 積 2.9 t 吊</td> <td>7.7</td> <td>8.7</td> <td>8.7</td> </tr> <tr> <td>40 " 60 "</td> <td>2.5</td> <td>20.5</td> <td>20.5</td> </tr> <tr> <td>60 " 90 "</td> <td>トラック 4～4.5 t 積</td> <td>1.0</td> <td>49.0</td> <td>49.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 運搬距離が 5 km を超える場合は、超えた距離 5 km までごとに、右の欄の値を左の欄の値へ加算する。 2. 高木の幹周25cm未満については、積込み・卸し時間を含み、幹周25cm以上は、積込み・卸し時間を含まない。</p> <p>(3) 植栽工 施工歩掛は、2-1 植栽工 表2.1植栽歩掛を適用する。</p> <p>2-3 地被類植付工 (1) 張芝工 張芝は、地俵え、植付、目土かけ、小運搬等の作業を行うもので、施工歩掛は、次表とする。</p> <p style="text-align: center;">表2.6 張芝工歩掛 (100m²当り)</p> <table border="1" data-bbox="398 981 1034 1241"> <thead> <tr> <th colspan="2">名 称</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世</td> <td>話 役</td> <td>人</td> <td>0.2</td> </tr> <tr> <td>造</td> <td>園 工</td> <td>"</td> <td>1.1</td> </tr> <tr> <td>普</td> <td>通 作 業 員</td> <td>"</td> <td>2.3</td> </tr> <tr> <td>目</td> <td>土 使 用 量</td> <td>m³</td> <td>2.7</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">芝</td> <td>べ 夕 張</td> <td>m²</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>目 地 張</td> <td>"</td> <td>必要量を計上</td> </tr> <tr> <td>諸</td> <td>雑 費 率</td> <td>%</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、ベタ張、目地張に適用する。 2. 芝串を必要とする場合のみ、労務費の合計に上表の諸雑費を計上する。 3. 現場条件により、上表により難しい場合は、別途考慮する。</p>	形状寸法 (cm)		運搬機械	積載量 (本)	運搬距離 5 km までの運転 時間 (h)	5 km を超え 5 km 増 寸毎に加算する運搬 時間 (h)	中 低 木	(樹高) 50未満	トラック 4～4.5 t 積	110	6.6	0.5	50以上 100 "	50	9.4	1.0	100 " 200 "	45	11.7	1.1	200 " 300 "	45	15.0	1.1	高 木	(幹周) 15未満	トラック 4～4.5 t 積	20	21.3	2.4	15以上 25 "	13.3	29.4	3.8	25 " 40 "	トラック クレーン装置付 4 t 積 2.9 t 吊	7.7	8.7	8.7	40 " 60 "	2.5	20.5	20.5	60 " 90 "	トラック 4～4.5 t 積	1.0	49.0	49.0	名 称		単 位	数 量	世	話 役	人	0.2	造	園 工	"	1.1	普	通 作 業 員	"	2.3	目	土 使 用 量	m ³	2.7	芝	べ 夕 張	m ²	100	目 地 張	"	必要量を計上	諸	雑 費 率	%	5	<p style="text-align: center;">現行どおり</p>
形状寸法 (cm)		運搬機械	積載量 (本)	運搬距離 5 km までの運転 時間 (h)	5 km を超え 5 km 増 寸毎に加算する運搬 時間 (h)																																																																												
中 低 木	(樹高) 50未満	トラック 4～4.5 t 積	110	6.6	0.5																																																																												
	50以上 100 "		50	9.4	1.0																																																																												
	100 " 200 "		45	11.7	1.1																																																																												
	200 " 300 "		45	15.0	1.1																																																																												
高 木	(幹周) 15未満	トラック 4～4.5 t 積	20	21.3	2.4																																																																												
	15以上 25 "		13.3	29.4	3.8																																																																												
	25 " 40 "	トラック クレーン装置付 4 t 積 2.9 t 吊	7.7	8.7	8.7																																																																												
	40 " 60 "		2.5	20.5	20.5																																																																												
	60 " 90 "	トラック 4～4.5 t 積	1.0	49.0	49.0																																																																												
名 称		単 位	数 量																																																																														
世	話 役	人	0.2																																																																														
造	園 工	"	1.1																																																																														
普	通 作 業 員	"	2.3																																																																														
目	土 使 用 量	m ³	2.7																																																																														
芝	べ 夕 張	m ²	100																																																																														
	目 地 張	"	必要量を計上																																																																														
諸	雑 費 率	%	5																																																																														

土木工事標準歩掛の一部見直し
公園植栽工

工種名	現 行	改 定																																																																																																																																																																																																																																																																														
	<p>3. 単 価 表</p> <p>(1) 高木植栽100本当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="347 279 1048 702"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>世 話 役</td><td></td><td>人</td><td></td><td>表2.1</td></tr> <tr><td>造 園 工</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr> <tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr> <tr><td>樹 木</td><td>幹周 ○○cm</td><td>本</td><td>100</td><td>樹種名を記入</td></tr> <tr><td>改 良 剤</td><td></td><td>kg</td><td></td><td>必要量を計上</td></tr> <tr><td>支 柱</td><td></td><td></td><td></td><td>支柱単価表による</td></tr> <tr><td>ト ラ ッ ク 運 転</td><td>クレーン装置付 4 t積 2.9 t吊</td><td>h</td><td></td><td>表2.1 高木幹周25cm以上60cm未満 に計上</td></tr> <tr><td>トラッククレーン賃料</td><td>油圧伸縮ジブ型 4.9 t吊</td><td>日</td><td></td><td>表2.1 高木幹周60cm以上に計上</td></tr> <tr><td>バックホウ運転</td><td>排出ガス対策型(第1次基準 値)・クローラ型山積0.13m³ (平積0.1m³)</td><td>〃</td><td></td><td>表2.1 高木幹周25cm以上に計上</td></tr> <tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td></td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>(2) 支柱(支柱形式)設置100組当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="347 750 1048 1125"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>世 話 役</td><td></td><td>人</td><td></td><td>表2.2</td></tr> <tr><td>造 園 工</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr> <tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr> <tr><td>杉 丸 太</td><td>○○cm, ○○cm</td><td>本</td><td></td><td>〃</td></tr> <tr><td>〃</td><td>○○cm, ○○cm</td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr> <tr><td>杉 梢 丸 太</td><td>○○cm, ○○cm</td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr> <tr><td>〃</td><td>○○cm, ○○cm</td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr> <tr><td>竹</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr> <tr><td>〃</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr> <tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>〃</td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>(3) 掘取100本当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="347 1173 1048 1508"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>世 話 役</td><td></td><td>人</td><td></td><td>表2.3</td></tr> <tr><td>造 園 工</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr> <tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr> <tr><td>ト ラ ッ ク 運 転</td><td>クレーン装置付 4 t積 2.9 t吊</td><td>h</td><td></td><td>表2.3 高木幹周25cm以上60cm未満 に計上</td></tr> <tr><td>トラッククレーン賃料</td><td>油圧伸縮ジブ型 4.9 t吊</td><td>日</td><td></td><td>表2.3 高木幹周60cm以上に計上</td></tr> <tr><td>バックホウ運転</td><td>排出ガス対策型(第1次基準 値)・クローラ型山積0.13m³ (平積0.1m³)</td><td>〃</td><td></td><td>表2.3 高木幹周25cm以上に計上</td></tr> <tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>表2.3</td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表2.1	造 園 工		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	樹 木	幹周 ○○cm	本	100	樹種名を記入	改 良 剤		kg		必要量を計上	支 柱				支柱単価表による	ト ラ ッ ク 運 転	クレーン装置付 4 t積 2.9 t吊	h		表2.1 高木幹周25cm以上60cm未満 に計上	トラッククレーン賃料	油圧伸縮ジブ型 4.9 t吊	日		表2.1 高木幹周60cm以上に計上	バックホウ運転	排出ガス対策型(第1次基準 値)・クローラ型山積0.13m ³ (平積0.1m ³)	〃		表2.1 高木幹周25cm以上に計上	諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表2.2	造 園 工		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	杉 丸 太	○○cm, ○○cm	本		〃	〃	○○cm, ○○cm	〃		〃	杉 梢 丸 太	○○cm, ○○cm	〃		〃	〃	○○cm, ○○cm	〃		〃	竹		〃		〃	〃		〃		〃	諸 雑 費		式	1	〃	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表2.3	造 園 工		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	ト ラ ッ ク 運 転	クレーン装置付 4 t積 2.9 t吊	h		表2.3 高木幹周25cm以上60cm未満 に計上	トラッククレーン賃料	油圧伸縮ジブ型 4.9 t吊	日		表2.3 高木幹周60cm以上に計上	バックホウ運転	排出ガス対策型(第1次基準 値)・クローラ型山積0.13m ³ (平積0.1m ³)	〃		表2.3 高木幹周25cm以上に計上	諸 雑 費		式	1	表2.3	計					<p>3. 単 価 表</p> <p>(1) 高木植栽100本当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="1310 279 2011 702"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>世 話 役</td><td></td><td>人</td><td></td><td>表2.1</td></tr> <tr><td>造 園 工</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr> <tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr> <tr><td>樹 木</td><td>幹周 ○○cm</td><td>本</td><td>100</td><td>樹種名を記入</td></tr> <tr><td>改 良 剤</td><td></td><td>kg</td><td></td><td>必要量を計上</td></tr> <tr><td>支 柱</td><td></td><td></td><td></td><td>支柱単価表による</td></tr> <tr><td>ト ラ ッ ク 運 転</td><td>クレーン装置付 4 t積 2.9 t吊</td><td>h</td><td></td><td>表2.1 高木幹周25cm以上60cm未満 に計上</td></tr> <tr><td>トラッククレーン賃料</td><td>油圧伸縮ジブ型 4.9 t吊</td><td>日</td><td></td><td>表2.1 高木幹周60cm以上に計上</td></tr> <tr><td>バックホウ運転</td><td>排出ガス対策型(第2次基準 値)・クローラ型山積0.13m³ (平積0.1m³)</td><td>〃</td><td></td><td>表2.1 高木幹周25cm以上に計上</td></tr> <tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td></td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>(3) 掘取100本当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="1288 1173 1971 1508"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>世 話 役</td><td></td><td>人</td><td></td><td>表2.3</td></tr> <tr><td>造 園 工</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr> <tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td></td><td>〃</td></tr> <tr><td>ト ラ ッ ク 運 転</td><td>クレーン装置付 4 t積 2.9 t吊</td><td>h</td><td></td><td>表2.3 高木幹周25cm以上60cm未満 に計上</td></tr> <tr><td>トラッククレーン賃料</td><td>油圧伸縮ジブ型 4.9 t吊</td><td>日</td><td></td><td>表2.3 高木幹周60cm以上に計上</td></tr> <tr><td>バックホウ運転</td><td>排出ガス対策型(第2次基準 値)・クローラ型山積0.13m³ (平積0.1m³)</td><td>〃</td><td></td><td>表2.3 高木幹周25cm以上に計上</td></tr> <tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>表2.3</td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表2.1	造 園 工		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	樹 木	幹周 ○○cm	本	100	樹種名を記入	改 良 剤		kg		必要量を計上	支 柱				支柱単価表による	ト ラ ッ ク 運 転	クレーン装置付 4 t積 2.9 t吊	h		表2.1 高木幹周25cm以上60cm未満 に計上	トラッククレーン賃料	油圧伸縮ジブ型 4.9 t吊	日		表2.1 高木幹周60cm以上に計上	バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準 値)・クローラ型山積0.13m ³ (平積0.1m ³)	〃		表2.1 高木幹周25cm以上に計上	諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表2.3	造 園 工		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	ト ラ ッ ク 運 転	クレーン装置付 4 t積 2.9 t吊	h		表2.3 高木幹周25cm以上60cm未満 に計上	トラッククレーン賃料	油圧伸縮ジブ型 4.9 t吊	日		表2.3 高木幹周60cm以上に計上	バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準 値)・クローラ型山積0.13m ³ (平積0.1m ³)	〃		表2.3 高木幹周25cm以上に計上	諸 雑 費		式	1	表2.3	計				
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																																																												
世 話 役		人		表2.1																																																																																																																																																																																																																																																																												
造 園 工		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																																																												
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																																																												
樹 木	幹周 ○○cm	本	100	樹種名を記入																																																																																																																																																																																																																																																																												
改 良 剤		kg		必要量を計上																																																																																																																																																																																																																																																																												
支 柱				支柱単価表による																																																																																																																																																																																																																																																																												
ト ラ ッ ク 運 転	クレーン装置付 4 t積 2.9 t吊	h		表2.1 高木幹周25cm以上60cm未満 に計上																																																																																																																																																																																																																																																																												
トラッククレーン賃料	油圧伸縮ジブ型 4.9 t吊	日		表2.1 高木幹周60cm以上に計上																																																																																																																																																																																																																																																																												
バックホウ運転	排出ガス対策型(第1次基準 値)・クローラ型山積0.13m ³ (平積0.1m ³)	〃		表2.1 高木幹周25cm以上に計上																																																																																																																																																																																																																																																																												
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																																																																																																																																																													
計																																																																																																																																																																																																																																																																																
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																																																												
世 話 役		人		表2.2																																																																																																																																																																																																																																																																												
造 園 工		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																																																												
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																																																												
杉 丸 太	○○cm, ○○cm	本		〃																																																																																																																																																																																																																																																																												
〃	○○cm, ○○cm	〃		〃																																																																																																																																																																																																																																																																												
杉 梢 丸 太	○○cm, ○○cm	〃		〃																																																																																																																																																																																																																																																																												
〃	○○cm, ○○cm	〃		〃																																																																																																																																																																																																																																																																												
竹		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																																																												
〃		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																																																												
諸 雑 費		式	1	〃																																																																																																																																																																																																																																																																												
計																																																																																																																																																																																																																																																																																
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																																																												
世 話 役		人		表2.3																																																																																																																																																																																																																																																																												
造 園 工		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																																																												
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																																																												
ト ラ ッ ク 運 転	クレーン装置付 4 t積 2.9 t吊	h		表2.3 高木幹周25cm以上60cm未満 に計上																																																																																																																																																																																																																																																																												
トラッククレーン賃料	油圧伸縮ジブ型 4.9 t吊	日		表2.3 高木幹周60cm以上に計上																																																																																																																																																																																																																																																																												
バックホウ運転	排出ガス対策型(第1次基準 値)・クローラ型山積0.13m ³ (平積0.1m ³)	〃		表2.3 高木幹周25cm以上に計上																																																																																																																																																																																																																																																																												
諸 雑 費		式	1	表2.3																																																																																																																																																																																																																																																																												
計																																																																																																																																																																																																																																																																																
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																																																												
世 話 役		人		表2.1																																																																																																																																																																																																																																																																												
造 園 工		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																																																												
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																																																												
樹 木	幹周 ○○cm	本	100	樹種名を記入																																																																																																																																																																																																																																																																												
改 良 剤		kg		必要量を計上																																																																																																																																																																																																																																																																												
支 柱				支柱単価表による																																																																																																																																																																																																																																																																												
ト ラ ッ ク 運 転	クレーン装置付 4 t積 2.9 t吊	h		表2.1 高木幹周25cm以上60cm未満 に計上																																																																																																																																																																																																																																																																												
トラッククレーン賃料	油圧伸縮ジブ型 4.9 t吊	日		表2.1 高木幹周60cm以上に計上																																																																																																																																																																																																																																																																												
バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準 値)・クローラ型山積0.13m ³ (平積0.1m ³)	〃		表2.1 高木幹周25cm以上に計上																																																																																																																																																																																																																																																																												
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																																																																																																																																																													
計																																																																																																																																																																																																																																																																																
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																																																																																																																												
世 話 役		人		表2.3																																																																																																																																																																																																																																																																												
造 園 工		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																																																												
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																																																																																																																												
ト ラ ッ ク 運 転	クレーン装置付 4 t積 2.9 t吊	h		表2.3 高木幹周25cm以上60cm未満 に計上																																																																																																																																																																																																																																																																												
トラッククレーン賃料	油圧伸縮ジブ型 4.9 t吊	日		表2.3 高木幹周60cm以上に計上																																																																																																																																																																																																																																																																												
バックホウ運転	排出ガス対策型(第2次基準 値)・クローラ型山積0.13m ³ (平積0.1m ³)	〃		表2.3 高木幹周25cm以上に計上																																																																																																																																																																																																																																																																												
諸 雑 費		式	1	表2.3																																																																																																																																																																																																																																																																												
計																																																																																																																																																																																																																																																																																

現行どおり

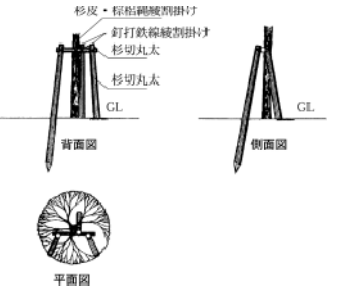
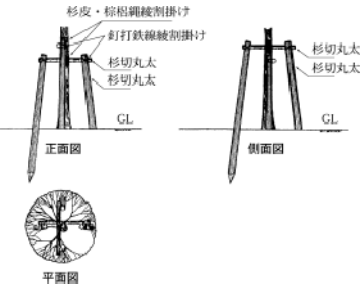
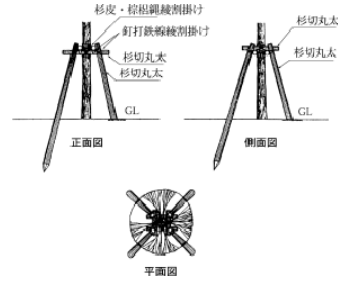
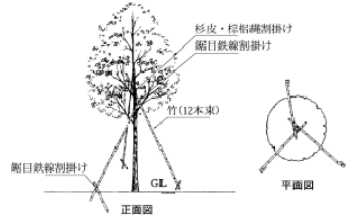
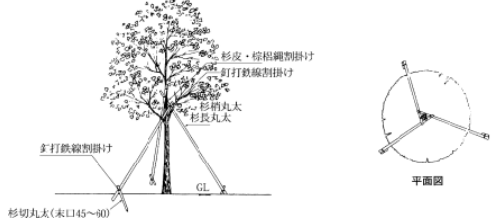
土木工事標準歩掛の一部見直し
公園植栽工

工種名	現 行	改 定																																																																																																																																																																							
	<p>(4) 幹巻き100本当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="353 255 1077 448"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表2.4</td> </tr> <tr> <td>造 園 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(5) 運搬工(中低木・高木)100本当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="353 504 1077 697"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ト ラ ッ ク 運 転</td> <td>4～4.5 t 積</td> <td>h</td> <td></td> <td>表2.5 中低木及び高木の幹周25cm未満, 60cm以上90cm未満に計上</td> </tr> <tr> <td>ト ラ ッ ク 運 転</td> <td>クレーン装置付 4 t 積 2.9 t 吊</td> <td>〃</td> <td></td> <td>表2.5 高木の幹周25cm以上60cm未満に計上</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(6) 芝100m²当り植付単価表</p> <table border="1" data-bbox="353 753 1077 1016"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表2.6</td> </tr> <tr> <td>造 園 工</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>芝</td> <td></td> <td>m²</td> <td></td> <td>芝名を記入する</td> </tr> <tr> <td>目 土</td> <td></td> <td>m³</td> <td>2.7</td> <td>目地張りの場合の数量は必要量とする。</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表2.6 (注) 2</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(7) 機械運転単価表</p> <table border="1" data-bbox="353 1072 1077 1168"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>適 用 単 価 表</th> <th>指 定 事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ト ラ ッ ク</td> <td>4～4.5 t 積</td> <td>機-6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>クレーン装置付 4 t 積 2.9 t 吊</td> <td>機-1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(8) バックホウ運転1日当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="353 1224 1077 1455"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>運転手(特殊)</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃 料 費</td> <td></td> <td>ℓ</td> <td>運転1h当り燃料消費量×T</td> <td>第1章②原動機燃料消費量による。</td> </tr> <tr> <td>機 械 損 料</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型山積 0.13m³(平積0.1m³)</td> <td>日</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) バックホウの運転日当り標準運転時間(T)は5.6h/日とする。</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表2.4	造 園 工		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	諸 雑 費		式	1	〃	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	ト ラ ッ ク 運 転	4～4.5 t 積	h		表2.5 中低木及び高木の幹周25cm未満, 60cm以上90cm未満に計上	ト ラ ッ ク 運 転	クレーン装置付 4 t 積 2.9 t 吊	〃		表2.5 高木の幹周25cm以上60cm未満に計上	諸 雑 費		式	1		計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人		表2.6	造 園 工		〃		〃	普 通 作 業 員		〃		〃	芝		m ²		芝名を記入する	目 土		m ³	2.7	目地張りの場合の数量は必要量とする。	諸 雑 費		式	1	表2.6 (注) 2	計					機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項	ト ラ ッ ク	4～4.5 t 積	機-6		〃	クレーン装置付 4 t 積 2.9 t 吊	機-1		名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	運転手(特殊)		人			燃 料 費		ℓ	運転1h当り燃料消費量×T	第1章②原動機燃料消費量による。	機 械 損 料	排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型山積 0.13m ³ (平積0.1m ³)	日	1		諸 雑 費		式	1		計					<p>現行どおり</p> <p>(8) バックホウ運転1日当り単価表</p> <table border="1" data-bbox="1294 1224 1984 1444"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>運転手(特殊)</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃 料 費</td> <td></td> <td>ℓ</td> <td>運転1h当り燃料消費量×T</td> <td>第1章②原動機燃料消費量による。</td> </tr> <tr> <td>機 械 損 料</td> <td>排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型山積 0.13m³(平積0.1m³)</td> <td>日</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) バックホウの運転日当り標準運転時間(T)は5.6h/日とする。</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	運転手(特殊)		人			燃 料 費		ℓ	運転1h当り燃料消費量×T	第1章②原動機燃料消費量による。	機 械 損 料	排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型山積 0.13m ³ (平積0.1m ³)	日	1		諸 雑 費		式	1		計				
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																					
世 話 役		人		表2.4																																																																																																																																																																					
造 園 工		〃		〃																																																																																																																																																																					
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																					
諸 雑 費		式	1	〃																																																																																																																																																																					
計																																																																																																																																																																									
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																					
ト ラ ッ ク 運 転	4～4.5 t 積	h		表2.5 中低木及び高木の幹周25cm未満, 60cm以上90cm未満に計上																																																																																																																																																																					
ト ラ ッ ク 運 転	クレーン装置付 4 t 積 2.9 t 吊	〃		表2.5 高木の幹周25cm以上60cm未満に計上																																																																																																																																																																					
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																																																						
計																																																																																																																																																																									
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																					
世 話 役		人		表2.6																																																																																																																																																																					
造 園 工		〃		〃																																																																																																																																																																					
普 通 作 業 員		〃		〃																																																																																																																																																																					
芝		m ²		芝名を記入する																																																																																																																																																																					
目 土		m ³	2.7	目地張りの場合の数量は必要量とする。																																																																																																																																																																					
諸 雑 費		式	1	表2.6 (注) 2																																																																																																																																																																					
計																																																																																																																																																																									
機 械 名	規 格	適 用 単 価 表	指 定 事 項																																																																																																																																																																						
ト ラ ッ ク	4～4.5 t 積	機-6																																																																																																																																																																							
〃	クレーン装置付 4 t 積 2.9 t 吊	機-1																																																																																																																																																																							
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																					
運転手(特殊)		人																																																																																																																																																																							
燃 料 費		ℓ	運転1h当り燃料消費量×T	第1章②原動機燃料消費量による。																																																																																																																																																																					
機 械 損 料	排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型山積 0.13m ³ (平積0.1m ³)	日	1																																																																																																																																																																						
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																																																						
計																																																																																																																																																																									
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																					
運転手(特殊)		人																																																																																																																																																																							
燃 料 費		ℓ	運転1h当り燃料消費量×T	第1章②原動機燃料消費量による。																																																																																																																																																																					
機 械 損 料	排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型山積 0.13m ³ (平積0.1m ³)	日	1																																																																																																																																																																						
諸 雑 費		式	1																																																																																																																																																																						
計																																																																																																																																																																									

土木工事標準歩掛の一部見直し
公園植栽工

工種名	現 行	改 定																																																																																																																																																		
	<p>4. 参 考 資 料</p> <p>4-1 鉢容量及び植穴容量</p> <p>表4.1(a) 鉢容量及び植穴容量</p> <table border="1" data-bbox="336 295 1003 630"> <thead> <tr> <th>形状</th> <th>幹 周 (cm)</th> <th>鉢 径 (cm)</th> <th>鉢の深さ (cm)</th> <th>植 穴 径 (cm)</th> <th>植穴深さ (cm)</th> <th>鉢 容 量 (m³)</th> <th>鉢穴容量 (m³)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="6">高</td><td>10未満</td><td>33</td><td>25</td><td>69</td><td>37</td><td>0.017</td><td>0.09</td></tr> <tr><td>10以上 15 "</td><td>38</td><td>28</td><td>75</td><td>40</td><td>0.028</td><td>0.14</td></tr> <tr><td>15 " 20 "</td><td>47</td><td>33</td><td>87</td><td>46</td><td>0.061</td><td>0.27</td></tr> <tr><td>20 " 25 "</td><td>57</td><td>39</td><td>99</td><td>53</td><td>0.11</td><td>0.44</td></tr> <tr><td>25 " 30 "</td><td>66</td><td>45</td><td>111</td><td>59</td><td>0.17</td><td>0.65</td></tr> <tr><td>30 " 35 "</td><td>71</td><td>48</td><td>117</td><td>62</td><td>0.21</td><td>0.76</td></tr> <tr><td rowspan="5">木</td><td>35 " 45 "</td><td>90</td><td>59</td><td>141</td><td>75</td><td>0.4</td><td>1.34</td></tr> <tr><td>45 " 60 "</td><td>113</td><td>74</td><td>171</td><td>90</td><td>0.74</td><td>2.28</td></tr> <tr><td>60 " 75 "</td><td>141</td><td>91</td><td>207</td><td>109</td><td>1.32</td><td>3.7</td></tr> <tr><td>75 " 90 "</td><td>170</td><td>108</td><td>243</td><td>128</td><td>2.08</td><td>5.45</td></tr> </tbody> </table> <p>表4.2(b) 鉢容量及び植穴容量</p> <table border="1" data-bbox="336 678 1003 949"> <thead> <tr> <th>形状</th> <th>幹 高 (cm)</th> <th>鉢 径 (cm)</th> <th>鉢の深さ (cm)</th> <th>植 穴 径 (cm)</th> <th>植穴深さ (cm)</th> <th>鉢 容 量 (m³)</th> <th>鉢穴容量 (m³)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="3">中</td><td>30未満</td><td>15</td><td>8</td><td>29</td><td>23</td><td>0.001</td><td>0.015</td></tr> <tr><td>30以上 50 "</td><td>17</td><td>10</td><td>33</td><td>26</td><td>0.002</td><td>0.022</td></tr> <tr><td>50 " 80 "</td><td>20</td><td>12</td><td>37</td><td>28</td><td>0.004</td><td>0.030</td></tr> <tr><td rowspan="4">低</td><td>80 " 100 "</td><td>22</td><td>13</td><td>41</td><td>31</td><td>0.005</td><td>0.040</td></tr> <tr><td>100 " 150 "</td><td>26</td><td>16</td><td>46</td><td>35</td><td>0.008</td><td>0.057</td></tr> <tr><td>150 " 200 "</td><td>30</td><td>19</td><td>54</td><td>40</td><td>0.013</td><td>0.090</td></tr> <tr><td>200 " 250 "</td><td>35</td><td>23</td><td>61</td><td>46</td><td>0.022</td><td>0.133</td></tr> <tr><td>250 " 300 "</td><td>40</td><td>26</td><td>69</td><td>51</td><td>0.032</td><td>0.188</td></tr> </tbody> </table> <p>(注) (埋戻し不足土量) = (鉢容量)</p> <p>4-2 支柱形式参考図</p> <p>① 二脚鳥居支柱 (添木付) ② 二脚鳥居支柱 (添木なし)</p>	形状	幹 周 (cm)	鉢 径 (cm)	鉢の深さ (cm)	植 穴 径 (cm)	植穴深さ (cm)	鉢 容 量 (m ³)	鉢穴容量 (m ³)	高	10未満	33	25	69	37	0.017	0.09	10以上 15 "	38	28	75	40	0.028	0.14	15 " 20 "	47	33	87	46	0.061	0.27	20 " 25 "	57	39	99	53	0.11	0.44	25 " 30 "	66	45	111	59	0.17	0.65	30 " 35 "	71	48	117	62	0.21	0.76	木	35 " 45 "	90	59	141	75	0.4	1.34	45 " 60 "	113	74	171	90	0.74	2.28	60 " 75 "	141	91	207	109	1.32	3.7	75 " 90 "	170	108	243	128	2.08	5.45	形状	幹 高 (cm)	鉢 径 (cm)	鉢の深さ (cm)	植 穴 径 (cm)	植穴深さ (cm)	鉢 容 量 (m ³)	鉢穴容量 (m ³)	中	30未満	15	8	29	23	0.001	0.015	30以上 50 "	17	10	33	26	0.002	0.022	50 " 80 "	20	12	37	28	0.004	0.030	低	80 " 100 "	22	13	41	31	0.005	0.040	100 " 150 "	26	16	46	35	0.008	0.057	150 " 200 "	30	19	54	40	0.013	0.090	200 " 250 "	35	23	61	46	0.022	0.133	250 " 300 "	40	26	69	51	0.032	0.188	<p>現行どおり</p>
形状	幹 周 (cm)	鉢 径 (cm)	鉢の深さ (cm)	植 穴 径 (cm)	植穴深さ (cm)	鉢 容 量 (m ³)	鉢穴容量 (m ³)																																																																																																																																													
高	10未満	33	25	69	37	0.017	0.09																																																																																																																																													
	10以上 15 "	38	28	75	40	0.028	0.14																																																																																																																																													
	15 " 20 "	47	33	87	46	0.061	0.27																																																																																																																																													
	20 " 25 "	57	39	99	53	0.11	0.44																																																																																																																																													
	25 " 30 "	66	45	111	59	0.17	0.65																																																																																																																																													
	30 " 35 "	71	48	117	62	0.21	0.76																																																																																																																																													
木	35 " 45 "	90	59	141	75	0.4	1.34																																																																																																																																													
	45 " 60 "	113	74	171	90	0.74	2.28																																																																																																																																													
	60 " 75 "	141	91	207	109	1.32	3.7																																																																																																																																													
	75 " 90 "	170	108	243	128	2.08	5.45																																																																																																																																													
	形状	幹 高 (cm)	鉢 径 (cm)	鉢の深さ (cm)	植 穴 径 (cm)	植穴深さ (cm)	鉢 容 量 (m ³)	鉢穴容量 (m ³)																																																																																																																																												
中	30未満	15	8	29	23	0.001	0.015																																																																																																																																													
	30以上 50 "	17	10	33	26	0.002	0.022																																																																																																																																													
	50 " 80 "	20	12	37	28	0.004	0.030																																																																																																																																													
低	80 " 100 "	22	13	41	31	0.005	0.040																																																																																																																																													
	100 " 150 "	26	16	46	35	0.008	0.057																																																																																																																																													
	150 " 200 "	30	19	54	40	0.013	0.090																																																																																																																																													
	200 " 250 "	35	23	61	46	0.022	0.133																																																																																																																																													
250 " 300 "	40	26	69	51	0.032	0.188																																																																																																																																														

土木工事標準歩掛の一部見直し
公園植栽工

工種名	現 行	改 定
	<p>③ 三脚鳥居支柱</p>  <p>④ 十字鳥居支柱</p>  <p>⑤ 二脚鳥居組合せ 四脚支柱</p>  <p>⑥ 八ツ掛 (三脚) (竹) 竹三本支柱</p>  <p>⑦ 八ツ掛 (丸太) L = 4 m ⑧ 八ツ掛 (丸太) L = 6 m ~ 7 m 丸太三本支柱</p> 	<p>現行どおり</p>

土木工事標準歩掛の一部改定
鋼製砂防工

工種名	現 行	改 定
鋼製砂防工	<p>鋼製砂防工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、鋼製砂防工の透過型のうち、格子形鋼製砂防堰堤、鋼製スリット堰堤B型を施工する場合に適用する。</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>格子形鋼製砂防堰堤</p> <pre> graph TD A[機材搬入] --> B[作業土工] B --> C[コンクリート工] B --> D[工場製作] C --> E[足場設置] D --> E E --> F[アンカー設置] F --> G[鋼製部材組立据付] G --> H[本締め] H --> I[無収縮モルタル] I --> J[現場塗装] J --> K[足場撤去] K --> L[機材搬出] H -- 繰返し --> E </pre> </div> <div style="text-align: center;"> <p>鋼製スリット堰堤B型</p> <pre> graph TD A[機材搬入] --> B[作業土工] B --> C[コンクリート工] B --> D[工場製作] C --> E[足場設置] D --> E E --> F[鋼製部材組立据付] F --> G[本締め] G --> H[現場塗装] H --> I[足場撤去] I --> J[機材搬出] G -- 繰返し --> E </pre> </div> </div> <p>(注) 1. 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。 2. 鋼製部材組立据付は、地組、仮締めを含む。</p> <p style="text-align: center;">図 2-1 施工フロー</p>	<p>鋼製砂防工</p> <p>1. 適用範囲 本資料は、鋼製砂防工の透過型のうち、格子形鋼製砂防堰堤、鋼製スリット堰堤B型を施工する場合に適用する。</p> <p>2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>格子形鋼製砂防堰堤</p> <pre> graph TD A[機材搬入] --> B[作業土工] B --> C[コンクリート工] B --> D[工場製作] C --> E[足場設置] D --> E E --> F[アンカー設置] F --> G[鋼製部材組立据付] G --> H[本締め] H --> I[無収縮モルタル] I --> J[現場塗装] J --> K[足場撤去] K --> L[機材搬出] H -- 繰返し --> E </pre> </div> <div style="text-align: center;"> <p>鋼製スリット堰堤B型</p> <pre> graph TD A[機材搬入] --> B[作業土工] B --> C[コンクリート工] B --> D[工場製作] C --> E[足場設置] D --> E E --> F[鋼製部材組立据付] F --> G[本締め] G --> H[現場塗装] H --> I[足場撤去] I --> J[機材搬出] F -- 繰返し --> E </pre> </div> </div> <p>(注) 1. 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。 2. 鋼製部材組立据付は、地組、仮締めを含む。</p> <p style="text-align: center;">図 2-1 施工フロー</p>

土木工事標準歩掛の一部改定 鋼製砂防工

工種名	現 行	改 定																																																														
鋼製砂防工	<p>3. 機種の選定 鋼製部材の組立・据付作業に使用する機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3.1 機種の選定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ラフテレーン クレーン</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊</td> <td>台</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 現場条件により、上表により難しい場合は、別途選定する。 2. ラフテレーンクレーンは、賃料とする。</p> <p>4. 施工歩掛 4-1 組立・据付工 鋼製部材の組立・据付歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 4.1 組立・据付歩掛</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>鋼製砂防形式</th> <th>1日当り組立・ 据付質量 Dw (t/日)</th> <th>編 成 人 員</th> <th>使 用 機 種</th> <th>諸雑费率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>格子形 鋼製砂防堰堤</td> <td>$D_w = \frac{W}{0.11W+3.76}$</td> <td>世 話 役 1 特 殊 作 業 員 1 普 通 作 業 員 1 と び 工 2</td> <td>ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊 1台</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>鋼 製 スリット堰堤B型</td> <td>$D_w = \frac{W}{0.09W+2.92}$</td> <td>世 話 役 1 特 殊 作 業 員 1 普 通 作 業 員 1 と び 工 2</td> <td>ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊 1台</td> <td>26</td> </tr> </tbody> </table> <p>W：組立・据付総質量 単位 (t) (注) 1. 本歩掛は、組立・据付けに伴う地組、仮締め、足場設置・撤去を含む。 2. 組立・据付質量は、アンカーボルト、ボルト、ナット、ワッシャを除く鋼製部材の総質量とする。 3. 諸雑費は、電力に関する経費、組立工具の損料、ドリフトピン、仮締めボルトの費用及び足場損料 (安全ネットを含む) であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 4. 日当り施工量 Dw は小数第1位までとし、小数第2位を四捨五入する。</p> <p>4-2 本締め工 本締め工歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 4.2 本締め工歩掛</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>鋼製砂防形式</th> <th>1日当り施工量 Dq (本/日)</th> <th>編 成 人 員</th> <th>諸雑费率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>格子形 鋼製砂防堰堤</td> <td>$D_q = \frac{Q}{0.5Q/1000+1.09}$</td> <td>世 話 役 1 特 殊 作 業 員 3</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>鋼 製 スリット堰堤B型</td> <td>$D_q = \frac{Q}{1.3Q/1000+0.6}$</td> <td>世 話 役 1 特 殊 作 業 員 2</td> <td>25</td> </tr> </tbody> </table> <p>Q：本締めボルト総本数 (本) (高力ボルト+トルシア型ボルト) (注) 1. 本歩掛は、組立・据付けの際の本締め工に適用する。 2. 諸雑費は、電力に関する経費、組立工具の損料の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 3. 日当り施工量 Dq は整数止めとし、小数第1位を四捨五入する。</p>	機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要	ラフテレーン クレーン	排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊	台	1		鋼製砂防形式	1日当り組立・ 据付質量 Dw (t/日)	編 成 人 員	使 用 機 種	諸雑费率 (%)	格子形 鋼製砂防堰堤	$D_w = \frac{W}{0.11W+3.76}$	世 話 役 1 特 殊 作 業 員 1 普 通 作 業 員 1 と び 工 2	ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊 1台	27	鋼 製 スリット堰堤B型	$D_w = \frac{W}{0.09W+2.92}$	世 話 役 1 特 殊 作 業 員 1 普 通 作 業 員 1 と び 工 2	ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊 1台	26	鋼製砂防形式	1日当り施工量 Dq (本/日)	編 成 人 員	諸雑费率 (%)	格子形 鋼製砂防堰堤	$D_q = \frac{Q}{0.5Q/1000+1.09}$	世 話 役 1 特 殊 作 業 員 3	22	鋼 製 スリット堰堤B型	$D_q = \frac{Q}{1.3Q/1000+0.6}$	世 話 役 1 特 殊 作 業 員 2	25	<p>3. 機種の選定 鋼製部材の組立・据付作業に使用する機械・規格は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 3.1 機種の選定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>機 械 名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ラフテレーン クレーン</td> <td>排出ガス対策型 (第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊</td> <td>台</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 現場条件により、上表により難しい場合は、別途選定する。 2. ラフテレーンクレーンは、賃料とする。</p> <p>4. 施工歩掛 4-1 組立・据付工 鋼製部材の組立・据付歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 4.1 組立・据付歩掛</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>鋼製砂防形式</th> <th>1日当り組立・ 据付質量 Dw (t/日)</th> <th>編 成 人 員</th> <th>使 用 機 種</th> <th>諸雑费率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>格子形 鋼製砂防堰堤</td> <td>$D_w = \frac{W}{0.11W+3.76}$</td> <td>世 話 役 1 特 殊 作 業 員 1 普 通 作 業 員 1 と び 工 2</td> <td>ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型 (第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊 1台</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>鋼 製 スリット堰堤B型</td> <td>$D_w = \frac{W}{0.09W+2.92}$</td> <td>世 話 役 1 特 殊 作 業 員 1 普 通 作 業 員 1 と び 工 2</td> <td>ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型 (第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊 1台</td> <td>26</td> </tr> </tbody> </table> <p>W：組立・据付総質量 単位 (t) (注) 1. 本歩掛は、組立・据付けに伴う地組、仮締め、足場設置・撤去を含む。 2. 組立・据付質量は、アンカーボルト、ボルト、ナット、ワッシャを除く鋼製部材の総質量とする。 3. 諸雑費は、電力に関する経費、組立工具の損料、ドリフトピン、仮締めボルトの費用及び足場損料 (安全ネットを含む) であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。 4. 日当り施工量 Dw は小数第1位までとし、小数第2位を四捨五入する。</p> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> </div>	機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要	ラフテレーン クレーン	排出ガス対策型 (第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊	台	1		鋼製砂防形式	1日当り組立・ 据付質量 Dw (t/日)	編 成 人 員	使 用 機 種	諸雑费率 (%)	格子形 鋼製砂防堰堤	$D_w = \frac{W}{0.11W+3.76}$	世 話 役 1 特 殊 作 業 員 1 普 通 作 業 員 1 と び 工 2	ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型 (第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊 1台	27	鋼 製 スリット堰堤B型	$D_w = \frac{W}{0.09W+2.92}$	世 話 役 1 特 殊 作 業 員 1 普 通 作 業 員 1 と び 工 2	ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型 (第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊 1台	26
機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																												
ラフテレーン クレーン	排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊	台	1																																																													
鋼製砂防形式	1日当り組立・ 据付質量 Dw (t/日)	編 成 人 員	使 用 機 種	諸雑费率 (%)																																																												
格子形 鋼製砂防堰堤	$D_w = \frac{W}{0.11W+3.76}$	世 話 役 1 特 殊 作 業 員 1 普 通 作 業 員 1 と び 工 2	ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊 1台	27																																																												
鋼 製 スリット堰堤B型	$D_w = \frac{W}{0.09W+2.92}$	世 話 役 1 特 殊 作 業 員 1 普 通 作 業 員 1 と び 工 2	ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊 1台	26																																																												
鋼製砂防形式	1日当り施工量 Dq (本/日)	編 成 人 員	諸雑费率 (%)																																																													
格子形 鋼製砂防堰堤	$D_q = \frac{Q}{0.5Q/1000+1.09}$	世 話 役 1 特 殊 作 業 員 3	22																																																													
鋼 製 スリット堰堤B型	$D_q = \frac{Q}{1.3Q/1000+0.6}$	世 話 役 1 特 殊 作 業 員 2	25																																																													
機 械 名	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																												
ラフテレーン クレーン	排出ガス対策型 (第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊	台	1																																																													
鋼製砂防形式	1日当り組立・ 据付質量 Dw (t/日)	編 成 人 員	使 用 機 種	諸雑费率 (%)																																																												
格子形 鋼製砂防堰堤	$D_w = \frac{W}{0.11W+3.76}$	世 話 役 1 特 殊 作 業 員 1 普 通 作 業 員 1 と び 工 2	ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型 (第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊 1台	27																																																												
鋼 製 スリット堰堤B型	$D_w = \frac{W}{0.09W+2.92}$	世 話 役 1 特 殊 作 業 員 1 普 通 作 業 員 1 と び 工 2	ラフテレーンクレーン 排出ガス対策型 (第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊 1台	26																																																												

土木工事標準歩掛の一部改定
鋼製砂防工

工種名	現 行	改 定																																																																																																								
鋼製砂防工	<p>4-3 アンカー工 アンカー工は、格子形鋼製砂防堰堤の組立・据付時に柱脚部を固定するためのアンカーボルトの施工であり、施工歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 4.3 アンカー工歩掛</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width:30%;">1日当り施工量 Dq (本/日)</th> <th style="width:30%;">編 成 人 員</th> <th style="width:40%;">諸 雑 費 率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">$Dq = \frac{Q}{0.02Q + 0.22}$</td> <td> <table style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width:20%;">世 話 役</td><td style="width:10%; text-align: center;">1</td></tr> <tr><td>特 殊 作 業 員</td><td style="text-align: center;">2</td></tr> <tr><td>普 通 作 業 員</td><td style="text-align: center;">1</td></tr> </table> </td> <td style="text-align: center;">13</td> </tr> </tbody> </table> <p>Q：アンカーボルト総本数（本）</p> <p>(注) 1. 本歩掛は、格子形鋼製砂防堰堤のアンカーボルトの施工に適用する。 2. 本歩掛には、ベースプレート下面のレベル調整用の無収縮モルタルの施工労務費を含む。 3. 無収縮モルタル材料は、別途計上する。 4. 諸経費は、電力に関する経費、削孔機具及びグラウトミキサの損料の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>4-4 現場塗装工（はけ塗り） 塗装工は、トルシアボルト頭部を含む、全ての外面に対する中塗り及び上塗り塗装であり、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表 4.4 塗装工歩掛 (100㎡当り)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width:15%;">名 称</th> <th style="width:10%;">単 位</th> <th style="width:30%;">格子形鋼製砂防堰堤</th> <th style="width:45%;">鋼製スリット堰堤B型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>塗 装 工</td> <td>人</td> <td style="text-align: center;">2.9</td> <td style="text-align: center;">3.2</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費 率</td> <td>%</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 本塗装歩掛は、塗装対象面積に対して中塗り、上塗りの2層の塗装（清掃及びタッチアップ作業を含む）を実施する場合の歩掛である。 2. 塗料や希釈材等の材料は別途計上するものとし、使用量は「鋼道路橋塗装便覧」によるものとする。 3. 諸雑費は、刷毛、ハンドミキサの費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。</p> <p>5. 単 価 表 (1) 組立・据付工, 鋼材質量10t当り単価表 (格子形鋼製砂防堰堤・鋼製スリット堰堤B型)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width:15%;">名 称</th> <th style="width:15%;">規 格</th> <th style="width:10%;">単 位</th> <th style="width:15%;">数 量</th> <th style="width:45%;">摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>世 話 役</td><td></td><td>人</td><td style="text-align: center;">10/Dw×1</td><td>表 4.1</td></tr> <tr><td>特 殊 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td style="text-align: center;">10/Dw×1</td><td>〃</td></tr> <tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td style="text-align: center;">10/Dw×1</td><td>〃</td></tr> <tr><td>と び 工</td><td></td><td>〃</td><td style="text-align: center;">10/Dw×2</td><td>〃</td></tr> <tr><td>ラ フ テ レ ー ン ク レ ー ン 賃 料</td><td>排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型25t吊</td><td>日</td><td style="text-align: center;">10/Dw</td><td>〃</td></tr> <tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td style="text-align: center;">1</td><td>〃</td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>(注) Dw：1日当り組立・据付質量 (表 4.1)</p>	1日当り施工量 Dq (本/日)	編 成 人 員	諸 雑 費 率 (%)	$Dq = \frac{Q}{0.02Q + 0.22}$	<table style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width:20%;">世 話 役</td><td style="width:10%; text-align: center;">1</td></tr> <tr><td>特 殊 作 業 員</td><td style="text-align: center;">2</td></tr> <tr><td>普 通 作 業 員</td><td style="text-align: center;">1</td></tr> </table>	世 話 役	1	特 殊 作 業 員	2	普 通 作 業 員	1	13	名 称	単 位	格子形鋼製砂防堰堤	鋼製スリット堰堤B型	塗 装 工	人	2.9	3.2	諸 雑 費 率	%	1	2	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	10/Dw×1	表 4.1	特 殊 作 業 員		〃	10/Dw×1	〃	普 通 作 業 員		〃	10/Dw×1	〃	と び 工		〃	10/Dw×2	〃	ラ フ テ レ ー ン ク レ ー ン 賃 料	排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型25t吊	日	10/Dw	〃	諸 雑 費		式	1	〃	計					<p style="text-align: center;">現行どおり</p> <p>5. 単 価 表 (1) 組立・据付工, 鋼材質量10t当り単価表 (格子形鋼製砂防堰堤・鋼製スリット堰堤B型)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width:15%;">名 称</th> <th style="width:15%;">規 格</th> <th style="width:10%;">単 位</th> <th style="width:15%;">数 量</th> <th style="width:45%;">摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>世 話 役</td><td></td><td>人</td><td style="text-align: center;">10/Dw×1</td><td>表 4.1</td></tr> <tr><td>特 殊 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td style="text-align: center;">10/Dw×1</td><td>〃</td></tr> <tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>〃</td><td style="text-align: center;">10/Dw×1</td><td>〃</td></tr> <tr><td>と び 工</td><td></td><td>〃</td><td style="text-align: center;">10/Dw×2</td><td>〃</td></tr> <tr><td>ラ フ テ レ ー ン ク レ ー ン 賃 料</td><td>排出ガス対策型 (第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型25t吊</td><td>日</td><td style="text-align: center;">10/Dw</td><td>〃</td></tr> <tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td style="text-align: center;">1</td><td>〃</td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>(注) Dw：1日当り組立・据付質量 (表 4.1)</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	10/Dw×1	表 4.1	特 殊 作 業 員		〃	10/Dw×1	〃	普 通 作 業 員		〃	10/Dw×1	〃	と び 工		〃	10/Dw×2	〃	ラ フ テ レ ー ン ク レ ー ン 賃 料	排出ガス対策型 (第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型25t吊	日	10/Dw	〃	諸 雑 費		式	1	〃	計				
1日当り施工量 Dq (本/日)	編 成 人 員	諸 雑 費 率 (%)																																																																																																								
$Dq = \frac{Q}{0.02Q + 0.22}$	<table style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width:20%;">世 話 役</td><td style="width:10%; text-align: center;">1</td></tr> <tr><td>特 殊 作 業 員</td><td style="text-align: center;">2</td></tr> <tr><td>普 通 作 業 員</td><td style="text-align: center;">1</td></tr> </table>	世 話 役	1	特 殊 作 業 員	2	普 通 作 業 員	1	13																																																																																																		
世 話 役	1																																																																																																									
特 殊 作 業 員	2																																																																																																									
普 通 作 業 員	1																																																																																																									
名 称	単 位	格子形鋼製砂防堰堤	鋼製スリット堰堤B型																																																																																																							
塗 装 工	人	2.9	3.2																																																																																																							
諸 雑 費 率	%	1	2																																																																																																							
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																						
世 話 役		人	10/Dw×1	表 4.1																																																																																																						
特 殊 作 業 員		〃	10/Dw×1	〃																																																																																																						
普 通 作 業 員		〃	10/Dw×1	〃																																																																																																						
と び 工		〃	10/Dw×2	〃																																																																																																						
ラ フ テ レ ー ン ク レ ー ン 賃 料	排出ガス対策型 (第1次基準値) 油圧伸縮ジブ型25t吊	日	10/Dw	〃																																																																																																						
諸 雑 費		式	1	〃																																																																																																						
計																																																																																																										
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																						
世 話 役		人	10/Dw×1	表 4.1																																																																																																						
特 殊 作 業 員		〃	10/Dw×1	〃																																																																																																						
普 通 作 業 員		〃	10/Dw×1	〃																																																																																																						
と び 工		〃	10/Dw×2	〃																																																																																																						
ラ フ テ レ ー ン ク レ ー ン 賃 料	排出ガス対策型 (第2次基準値) 油圧伸縮ジブ型25t吊	日	10/Dw	〃																																																																																																						
諸 雑 費		式	1	〃																																																																																																						
計																																																																																																										

土木工事標準歩掛の一部改定
鋼製砂防工

工種名	現 行	改 定																																																																																																				
鋼製砂防工	<p>(2) 本締め工100本当り単価表(格子形鋼製砂防堰堤・鋼製スリット堰堤B型)</p> <table border="1" data-bbox="342 244 954 451"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>100/Dq×1(1)</td> <td>表4.2</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>100/Dq×3(2)</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>本 締 め ボ ル ト</td> <td></td> <td>本</td> <td>100</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. Dq: 1日当りのボルト取付本数(表4.2) 2. ()内は鋼製スリット堰堤B型に適用する。</p> <p>(3) アンカー工100本当り単価表(格子形鋼製砂防堰堤)</p> <table border="1" data-bbox="342 544 954 871"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>100/Dq×1</td> <td>表4.3</td> </tr> <tr> <td>特 殊 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>100/Dq×2</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>100/Dq×1</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ア ン カ ー ボ ル ト</td> <td></td> <td>本</td> <td>100</td> <td></td> </tr> <tr> <td>無 収 縮 モ ル タ ル</td> <td></td> <td>m³</td> <td></td> <td>必要量を計上</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表4.3</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) Dq: 1日当りのボルト取付本数(表4.3)</p> <p>(4) 塗装工100㎡当り単価表(格子形鋼製砂防堰堤・鋼製スリット堰堤B型)</p> <table border="1" data-bbox="342 948 954 1195"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>塗 装 工</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表4.4</td> </tr> <tr> <td>塗 料</td> <td></td> <td>kg</td> <td></td> <td>必要量を計上</td> </tr> <tr> <td>塗 料 用 シ ン ナ ー</td> <td></td> <td>ℓ</td> <td></td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>表4.4</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	100/Dq×1(1)	表4.2	特 殊 作 業 員		〃	100/Dq×3(2)	〃	本 締 め ボ ル ト		本	100	〃	諸 雑 費		式	1	〃	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	世 話 役		人	100/Dq×1	表4.3	特 殊 作 業 員		〃	100/Dq×2	〃	普 通 作 業 員		〃	100/Dq×1	〃	ア ン カ ー ボ ル ト		本	100		無 収 縮 モ ル タ ル		m ³		必要量を計上	諸 雑 費		式	1	表4.3	計					名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	塗 装 工		人		表4.4	塗 料		kg		必要量を計上	塗 料 用 シ ン ナ ー		ℓ		〃	諸 雑 費		式	1	表4.4	計					<p>現行どおり</p>
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																		
世 話 役		人	100/Dq×1(1)	表4.2																																																																																																		
特 殊 作 業 員		〃	100/Dq×3(2)	〃																																																																																																		
本 締 め ボ ル ト		本	100	〃																																																																																																		
諸 雑 費		式	1	〃																																																																																																		
計																																																																																																						
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																		
世 話 役		人	100/Dq×1	表4.3																																																																																																		
特 殊 作 業 員		〃	100/Dq×2	〃																																																																																																		
普 通 作 業 員		〃	100/Dq×1	〃																																																																																																		
ア ン カ ー ボ ル ト		本	100																																																																																																			
無 収 縮 モ ル タ ル		m ³		必要量を計上																																																																																																		
諸 雑 費		式	1	表4.3																																																																																																		
計																																																																																																						
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																		
塗 装 工		人		表4.4																																																																																																		
塗 料		kg		必要量を計上																																																																																																		
塗 料 用 シ ン ナ ー		ℓ		〃																																																																																																		
諸 雑 費		式	1	表4.4																																																																																																		
計																																																																																																						

土木工事標準歩掛の一部改定
その他

工種名	現 行	改 定
	<p>井桁ブロック積工 連続地中壁工（柱列式除く） コンクリート矢板工 袋詰式サンドドレーン工 オープンケーソン工 洞門工（プレキャスト製シェッド） 路上表層再生工 プレキャストPC床版設置工 標識清掃工</p>	<p>  廃止 </p>

土木工事標準歩掛の一部改定
その他

工種名	現 行	改 定
	<p>土の敷均し締固め工 安定処理工 安定処理工(バックホウ混合) 法面整形工 法面工(吹付法面とりこわし工) プレキャスト擁壁工 サンドマット工 かごマット工 袋詰玉石工 土工(砂防) 路盤工 アスファルト舗装工 排水性アスファルト舗装工 路側取外し工 特殊ブロック設置工 舗装版破碎工 舗装版切断工 機械土工(残土受け入れ地での処理) 芝張替工 人力による舗装版破碎工</p>	<p>} 施工パッケージ型積算基準へ移行</p>